

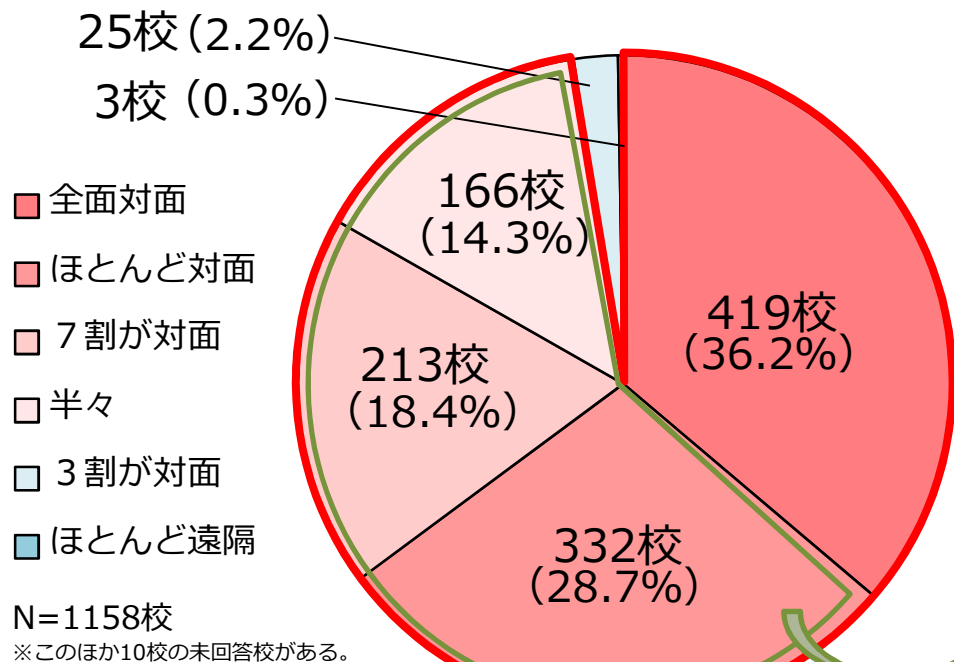
令和3年度後期の大学等における授業の実施方針等について

(調査の概要)

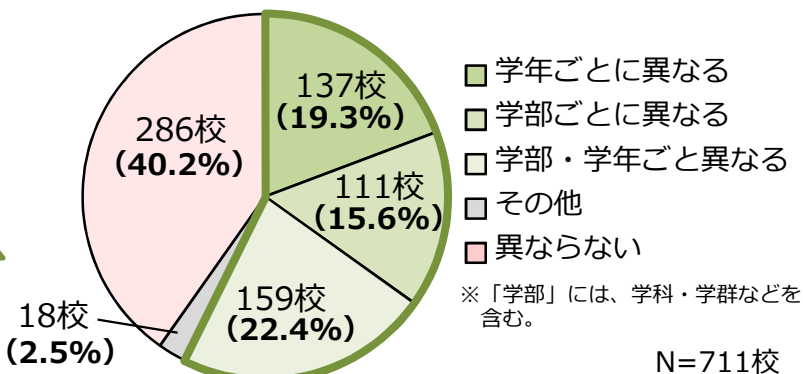
- 調査対象：全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- 調査時点：令和3年10月7日（調査時点での令和3年度後期の授業実施方針等について質問）
- 調査趣旨：各大学等の令和3年度後期の授業の実施方針等について調査し、全国の状況を把握するもの。

令和3年度後期における対面・遠隔授業の実施方針

- 半分以上を対面授業とする予定とした大学等**は、1158校中1130校（**約97.6%**）。
中でも、**7割以上を対面授業とする予定とした大学等**は964校と、全体の**約83.2%**にのぼる。



- ・ 対面・遠隔授業を併用するが、全体の半分以上を対面授業で行う予定とする大学のうち、**約6割は、学部や学年によって授業形態に差**があると回答。
- ・ 詳細についての自由記述からは、前期の調査結果と同様、履修人数の多い授業については、教室の収容定員との関係から遠隔授業にならざるを得ない等の回答が多数見られたが、1・2年生など低学年の学生に対して優先的に対面授業を行うとする回答もあった。



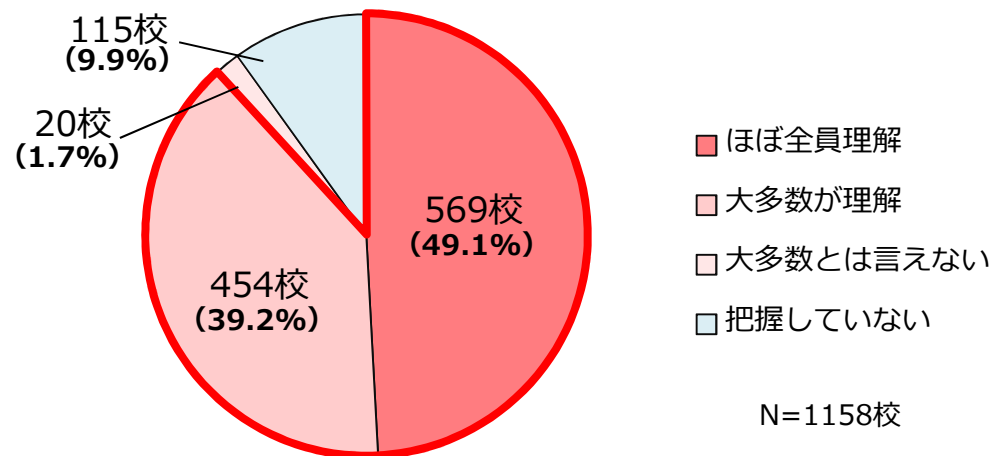
- ※ 10月7日時点で、現に授業をどのような形態で実施しているかを尋ねたところ、半分以上を対面授業で行う大学等の割合は約85.6%となっており、一部区域で直前まで実施されていた緊急事態宣言等の影響と考えられる。
- ※ 「全面对面」とは、感染対策を講じつつ、コロナ禍前と同じ範囲で対面授業を行っているものを指す。「ほとんど対面」は8割以上を対面授業としているもの、「ほとんど遠隔」は対面授業が2割以下の状況を指す。

→ 極端にキャンパスに通う機会が少ない学部・学年が生じることのないよう、引き続き、**低学年の学生への配慮を含めて、丁寧な対応を行うことが必要。**

大学等における令和3年度後期の授業実施方針等に関する調査（参考データ）

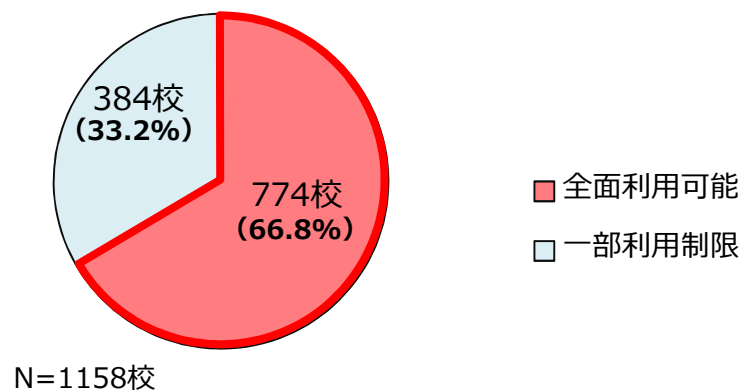
学生の理解・納得の状況

○自校の授業実施方針等について、学生のほぼ全員又は大多数が理解・納得していると回答する大学等は**全体の約9割**。



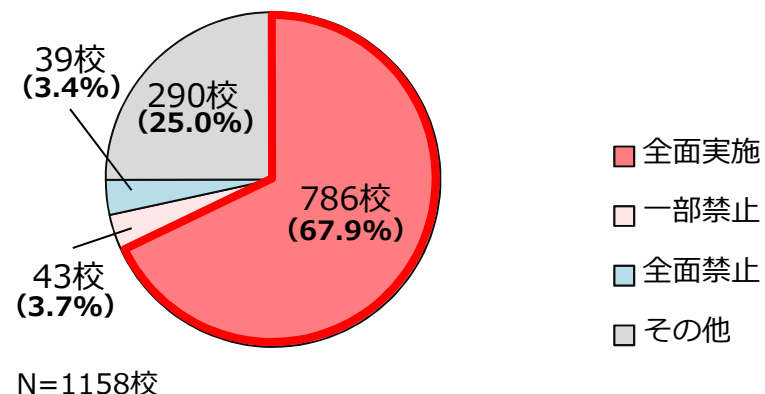
施設の使用可否の状況

○学内施設の利用を全面的に可能とする方針の大学等は、**全体の約7割**。残りの約3割では、施設利用の一部を制限予定。



運動部活動の状況

○**約7割の大学等**は感染対策を講じた上で運動部活動を全面的に実施する方針であり、一部・全部を禁止するのは約1割。



令和3年度後期の大学等における授業の実施方針に関する調査（各大学等の回答状況）

《記載上の留意事項等》

- ・調査対象：全国の大学及び高等専門学校を対象としているが、通信制課程のみを有する大学及び所属学生がいない大学は調査対象から除外している。
- ・調査時点：令和3年10月7日（調査時点での令和3年度後期の授業実施方針等について質問したもの）。
- ・「所在地」は、「主要なキャンパスが所在する都道府県」として各大学等から回答があった都道府県を記載している。
- ・「授業方針」について「②併用」と回答している大学等に対しては、これに伴う追加的な質問を行っている。（授業方針を「①全面対面」とした大学等は、質問の対象としていないため、該当の欄は灰色にして示している）。
- ・多肢選択式にて回答を得ている項目は、選択肢の文言を便宜的に省略している（調査票上の文言は事項に記載のとおり）。
- ・また、分量の関係上、回答一覧を3つに区分して掲載している。掲載順及び該当ページについては下記のとおり。

① 授業の実施方針・考え方等について	……	1頁	～	63頁
② 実施している工夫の内容・学生の理解等の状況について	……	64頁	～	126頁
③ 施設・部活動の取扱いについて	……	127頁	～	189頁

《各選択肢の調査票上の文言》

- ・授業状況（令和3年10月7日時点の状況）
 - ① 感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施している。
 - ② 面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施している。
 - ③ 面接授業は実施せず、遠隔授業を実施している。
- ・現在の割合（令和3年10月7日時点で対面・遠隔授業を併用している大学等における両者の割合）
 - ① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行っている。
 - ② 7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業としている。
 - ③ 面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行っている。
 - ④ 3割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業としている。
 - ⑤ ほとんど遠隔授業を行っている（面接授業は2割以下の予定）。
- ・授業方針（後期の授業についての実施方針）
 - ① 感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施する予定。
 - ② 面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施する予定。
 - ③ 面接授業は実施せず、遠隔授業を実施する予定。
- ・考えの変化
 - ① コロナ禍の中で遠隔授業の取組が広がった一方、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会の重要性を強く認識するようになった。
 - ② 現下の感染状況や学内施設のキャパシティ等を考慮すると、基本的な考え方に大きな変化はない。
 - ③ 現下の感染状況や今後の展望等を考えると、今後は、遠隔授業を広く展開していくことが適切であると強く認識するようになった。
 - ④ その他
- ・今後の割合（後期の授業について対面・遠隔を併用する予定の大学等における両者の割合の見込み）
 - ① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定である。
 - ② 7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ③ 面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。
 - ④ 3割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ⑤ ほとんど遠隔授業を行う予定である（面接授業は2割以下の予定）。

《各選択肢の調査票上の文言》（続き）

・学部・学年ごとの差

- ① 学部等ごとに面接授業と遠隔授業の比率の差があり、全体の実施比率に対して面接授業の実施割合が高い又は低い学部等がある。
- ② 学年ごとに面接授業と遠隔授業の比率が異なる実態があり、面接授業の実施割合が高い又は低い学年がある。
- ③ 学部等ごと、学年ごとのいずれについても、面接授業と遠隔授業の比率が様々であり、面接授業の実施割合が高い又は低い学部等や学年がある。
- ④ その他
- ⑤ 全体の授業の実施比率と異なる学部等や学年はない。

・併用の考え方

- ① 面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染症リスクが高い学生や、遠隔地に居住している学生、感染リスクを懸念する学生等に向けて、遠隔授業を実施する予定である。
- ② 実験・実習・実技など、特に対面による指導が不可欠と判断される授業について、十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ③ 多人数を対象とする授業については遠隔授業で実施し、それ以外については十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ④ 少人数での対話を中心とする演習（ゼミナール）等の授業について、十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ⑤ 講義等の座学の授業についても、学生を少人数グループに分けた上での交代制や、席配置の工夫等を講じて、面接授業を実施する予定である。
- ⑥ 面接授業の内容の同時中継や、収録によるオンデマンド配信など、一つの授業に対して面接・遠隔授業を同時に用いる予定である。
- ⑦ 感染対策を講じつつ面接授業を行うよりも、遠隔授業を行う方が高い教育効果が認められる場合において、遠隔授業を活用する予定である。
- ⑧ その他

・遠隔授業の向上方策

- ① 面接授業の内容の同時中継や、収録によるオンデマンド配信など、一つの授業に対して面接・遠隔授業を同時に用いることとしており、学生が教員等と直接に対面する機会も確保する。
- ② オンライン上で学生からの質問を受け付ける時間や機会を確保するなど、授業の双方向性を確保する。
- ③ ICT機器の使用手法等に関する研修の実施や、サポート・スタッフの配置等を通じて、円滑に遠隔授業が行われるよう配慮する。
- ④ より効果的な遠隔授業が実施できるよう、学生からの意見を受け付け、授業の在り方を改善していく仕組みを取り入れる。
- ⑤ その他

・学生の理解を得る取組

- ① 遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。
- ② 学生の不安を払しょくするため、遠隔授業であっても、面接授業による場合と遜色ない学修の質を確保している。
- ③ 学生の要望や意見を取り入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理し、教員等に対して周知を行う。
- ④ その他

・新入生等への配慮

- ① 新入生等の学生が面接授業を受ける機会を確保するため、優先的に面接授業を行う等の配慮を行う。
- ② 大学における学修に慣れていない新入生等に対して、コロナ禍における学びの際の工夫や留意点等について、継続的・定期的な周知・説明を行う。
- ③ 新入生等が、学内での人的交流を持てるよう、学生間又は教職員とのコミュニケーションの機会を設ける。
- ④ 新たな生活によるものなど新入生等の不安を軽減するため、学生支援に関する情報発信や、生活面に関する相談体制の強化を図る。
- ⑤ 情報通信機器等の貸し出しや学内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。
- ⑥ その他

・学生の理解・納得

- ① ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得している。
- ② 大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得している。
- ③ 大多数の学生の理解・納得が得られていとまでは言えない。
- ④ 学生の理解・納得の状況については把握していない。
- ⑤ 学生の理解・納得を得る必要があるとは考えていない。

《各選択肢の調査票上の文言》（続き）

・施設の利用可否

- ① 学内の施設・設備の利用は全面的に可能とする予定。
- ② 学内の施設・設備について、一部利用を制限する予定。
- ③ 学内の施設・設備の利用を含め、キャンパスへの立ち入りを禁止する予定。

・図書館の対応

- ① アクリル板の設置や換気の励行などによる感染対策を講じる。
- ② 利用人数の制限や、利用時間の短縮等を講じる。
- ③ 座席の利用制限や書架の閲覧制限など、機能の一部を限定する。
- ④ 最終学年のみ利用可能とするなど、学生の属性で利用可否を決める。
- ⑤ 事前許可制・申請制を採るなど、利用に当たっての手続きを設ける。
- ⑥ 学内にあるすべての主要図書館について学生の利用を禁止する。
- ⑦ その他

・運動部活動の対応

- ① 感染対策を講じつつ、すべての運動部の活動を実施する予定。
- ② 一部の運動部の活動を禁止する予定。
- ③ 全面的に運動部の活動を禁止する予定。
- ④ その他

・学生のメンタルケア

- ① 学内に、学生の相談に対応する相談窓口を整備している。
- ② 学生の悩みや不安に対し、必要に応じ、カウンセラーや医師等の専門家とも連携した対応を行っている。
- ③ 学内の相談窓口について、対面に限らない体制（電話、メール、ウェブ会議システム、SNS等）を整備している。
- ④ 学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握のための取組（全学生対象の調査、新入生への調査、学生へのヒアリング等）を行っている。
- ⑤ 学生が孤独感や孤立感を感じないように、学生が学生をサポートする取組（ピアサポート等）や学生が交流する取組（新入生交流会等）を行っている。
- ⑥ 就職活動に取り組む学生の不安を解消するため、相談体制の強化や情報発信の充実などの取組を講じている。
- ⑦ 望まない進路に進む卒業生に対する学校からの（例えば、卒業生向けのメールマガジンの配信や引き続きの求人情報の提供など）情報提供体制を構築している。
- ⑧ 上記に当てはまるもの以外の独自の取組や、悩みや不安を抱える学生の把握後の取組を実施している。
- ⑨ メンタルヘルス等に関する相談対応は現在一切行っていない。

《備考》

・本件調査について、聖霊女子短期大学、国際ファッション専門職大学、社会情報大学院大学、ハリウッド大学院大学、同朋大学、びわこリハビリテーション専門職大学、神戸松蔭女子学院大学、徳島文理大学、徳島文理大学短期大学部及び中九州短期大学からは11月17日までに回答がなかった。

・回答の自由記述中、「2-4」とあるのは「考え方の変化」の項目を、「2-5」とあるのは「考え方の変化の理由や具体的な状況」を、「2-6」とあるのは「今後の割合」を、「2-7」とあるのは「割合の設定理由」を、「2-8」とあるのは「学部や学年ごとの差」を、「2-9」とあるのは「学部や学年による差の内容・理由」をそれぞれ指している。

令和3年度後期の大学等における授業の実施方針に関する調査結果（一覧）

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1 北海道大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期においては、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性は十分認識しつつ、地域の感染拡大状況や教室のキャパシティを考慮しながら可能な範囲で対面(直接)授業を取り入れて実施して来たところである。令和3年度後期についても同様に、感染対策が十分講じられると判断する授業については、引き続き対面での実施を積極的に取り入れていく予定である。	③半々	令和3年度後期においては、前述2-5のとおり取り組むこととしており、令和3年度前期の実績を勘案すると、面接授業とおおむね半々になると判断したものである。	③学部・学年ごとに差	前述3-7のとおり、令和3年度前期の実績を勘案して選択したものである。なお、令和3年度前期においては、教育課程の特色により、実験、実習、実技の比率が高い学部や学年、卒業研究のため実験等が不可欠な学年においては、面接授業の実施比率が高い傾向であったところである。		
2 北海道教育大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	教員養成大学として、実技・演習・実習等を対面で実施することや、対面での交流による豊かな人間性の涵養を重要視している。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除を受け、本学における新型コロナウイルス感染症に対する行動指針(30%)のレベルを引き下げ、感染防止対策を十分に講じることができると見込まれ、面接授業を実施することとしている。	②7割対面	・一般教室における、コロナ禍以前の後期の面接授業数と令和3年度後期の面接授業数により算出。	③学部・学年ごとに差	北海道内5都市(札幌市・旭川市・釧路市・函館市・岩見沢市)にキャンパスが所在しており、各キャンパスのカリキュラムが異なること、並びに各地域における新型コロナウイルス感染症感染状況及び対策が異なっていることから、授業の実施方法の比率に差異が生じている。また、必修とする履修科目が、2年生次に多いこと、及び3、4年生で履修する実技系科目が増加することから、学年間で差異が生じている。	①②③④⑤⑥⑦	
3 室蘭工業大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度の授業方針を検討した際には、令和2年度における学生のアンケートや教員への聞き取り結果では面接授業を望む意見が多かった。並びに市内の感染状況も比較的落ち着いたことから、面接授業を主としつつ遠隔授業を併用する方針を決定した。後期においても、これらの状況・環境下に大きな変化は生じていないことから、基本的な考え方に変更はない。	①ほぼ対面	受講者数80名を超える大規模授業については、大学から担当教員へ遠隔授業を実施するよう依頼しており、また、時間割作成の際に授業の実施形態(直接・遠隔)について教員へ聞き取りを行っている。大規模授業・教員への聞き取りの内容を反映させた時間割を作成した結果、面接授業は大学全体で割合は上がった。	②学年ごとに差	1・2年生生の面接授業と遠隔授業実施比率は面接授業が85%、遠隔授業が15%程度である。1・2年生生は授業教員・座席を主とする基礎的な専門教育が中心で同クラス・大規模人数の授業が多くなっていることから、面接授業実施による感染リスクを考慮し遠隔授業を一部の科目で実施している。対して、3・4年生生の実施比率は面接授業が95%以上となっている。3・4年生生については演習・実験科目が中心となっているため面接授業を多数の科目で実施している。	②③④⑤	
4 小樽商科大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	講義を中心として対面授業の有効性を認識する一方で、小規模ながらもアクティブラーニングや対面学習、外部連携教員や留學を強めとする本学において、対面授業を行う機会が失われている。	④3割対面	令和3年度後期授業実施方針(可能な範囲で対面授業を拡大)の下で、後期授業を担当する全教員対象の授業実施方法に関する調査結果が概観である。	④その他	本学には「昼間コース」と「夜間コース」があるが「夜間主コース」の方が遠隔授業の割合が高くなっている。このことは、社会人学生をはじめとした夜間主コース学生にとって、履修科目及び受講形態に選択の幅を奪えるものであり、学生のニーズに対応した結果と考えている。	①②③④⑤⑥	
5 帯広畜産大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	上記2-4の②のとおりです。	③半々	2-4の②のとおりです。	④その他	※2-8及び2-9については、単科大学(畜産学部のみ)につき、回答不要とさせていただきます。	①②⑤⑥⑦	
6 北見工業大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度から続くコロナ禍での授業について、教員は遠隔授業への対応に慣れ、学生は遠隔授業に対する理解ができたものの、オンライン授業の継続による教職員・学生の身体的、精神的疲労が生じており、また、実験・実習・実習科目においては教育効果の低下が懸念されていた。令和3年度前期は新型コロナウイルスの感染状況とこれまでの講義実施状況を踏まえ、学生、教職員の健康・安全に配慮しながら、教育環境の整備、授業方法の改善を推進することで学びの保障を最大限に考えた。特に、新型コロナウイルスとの共存が避けられない中、②7割対面学習機会の多様な新たな教育環境の構築を目指し実験・実習・演習科目を中心に、令和2年度後期より対面授業数を増やすこととした。令和3年度前期を終えて、学内での感染者は数名程度、また学内でのクラスターも発生していないこと、また地域の感染者数も減少傾向となっていることから、学生の学習機会の確保のため、学内の教室のキャパシティを考慮しながら実験・実習・演習に限らず可能な限り対面授業を拡大することとした。	②7割対面	2-5で前述した通り、現時点では学内においてしばらく感染者の発生はなく、地域の感染者数も減少傾向となっているため、可能な限り対面授業を実施したいと考えている。しかしながら、遠隔授業の受講生には来日できていない留学生が受講しているケースや、担当教員の持病により感染によって重症化が懸念されるなどの理由によりオンライン授業としているケースがある。また、学生同士の距離を確保するため、講義室の座席数を半減しており、現在の座席数を維持する場合、これ以上の講義を対面実施するには講義室が不足する状況となる。以上を考慮すると、今後も現在と変わらない比率で授業が実施される見込みである。次年度以降は、ワクチン接種も進んでいることから、感染症拡大の状況を適宜判断して、さらに面接授業の拡大に努めたい。	②学年ごとに差	1年生は必修科目がほとんどであり、全受講者を収容できる広さの講義室がないため、座席の講義については遠隔授業となるケースが多い。また、コース移行前のため科目数も2〜3年生以上に比べて少なくしている。反対に4年生は卒業研究がメインとなり、その他の講義も少人数制のゼミナールや選択科目がほとんどのため、全ての科目において対面授業となっている。	①②③④⑤⑥	
7 旭川医科大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度の学部1年生については、成績不振により進級できない学生が多数いることが問題となった。2020年4月入学後からコロナ禍により登校が制限され、教員・学生間、学生間で十分なコミュニケーションがとれず、驚愕が繰り返されたこととが影響している可能性がある。教員間では、大学での学び方が身についていない学生が多いと懸念しており、登校機会を増やす仕組みが必要と考えている。	③半々	本学では、学生全員を登録させて面接授業を実施することは講義室等の設計上難しいことから、着席間隔1メートルを目安に半数を登録させる分散登録と200席程度によるオンライン授業を組み合わせて授業を実施している。授業は、学年を2つのグループに分けて、半数は登録校で授業を受ける。残り半数は自宅で「教室から200mで配信される授業」を視聴する分散登録を実施している。登録、自宅環境のグループは1週間前に入力している。現在の授業は、次のとおり実施している。講義：分散登録により、面接授業とオンライン授業を併用。実習・演習：主に分散登録で実施しているが、安全に実施できると担当教員が判断した場合には、全員登録で実施することもある。臨床実習・臨床看護学実習：担当教員、受入施設の判断により対面実習またはオンライン実習を実施。	⑤差はない	非該当	②⑤⑥	
8 札幌医科大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	保健医療学部では、学生の主体的な授業態度の形成や学修に対する意欲の醸成は、教員や他の学生との直接の関わりを通してより図られると考えるため。	①ほぼ対面		①学部ごとに差	医学部については、第1〜4学年は講義科目が多いため、面接授業を実施するが、一部遠隔授業を取り入れる予定。第5学年⑤⑦は臨床実習のため、面接授業を実施する。		
9 公立はこだて未来大学	01.北海道	02.公立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大		③半々		②学年ごとに差		①②④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
10	創価公立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	対面授業を基本として、履修登録者数と教室のキャパシティを考慮し、教員が個々に授業方法について判断している。シラバスには、授業の実施方法の予定を記載しており、対面授業または遠隔授業の併用方法を併記している状況である。履修登録者が確定して教室のキャパシティの問題により遠隔授業に切り替えた場合もある	②学年ごとに差	1年生向けの科目は、必修科目、選択必修科目が多いため履修者が多い。そのため、遠隔授業になる科目が多い傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦		
11	名寄市立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		③		
12	札幌市立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	科目の性質により、科目ごとに面接授業と遠隔授業またはその組み合わせ等による教育効果等を考慮して授業を実施する必要があるため。	④3割対面	新型コロナウイルス感染症拡大状況に左右されるため、現時点では予定が立てられないことから現状の3割面接授業を継続するものとして想定した。	③学部・学年ごとに差	教育内容や科目の性質が異なるため	②④⑤⑦		
13	公立千歳科学技術大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面	実験・実習については、対面で実施し、それ以外の講義系科目については、ハイブレンクス型（対面と2000）で実施している	③学部・学年ごとに差	1年次については、遠隔授業を実施する際の導入として、対面での講義を実施し、受講について説明を丁寧に行ってから遠隔授業へ移行している。また学期の分野により、遠隔授業の比率が異なっており、例えば情報系の学科については、遠隔授業の比率が高くなっている。	②③④⑥⑦		
14	北翔大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	現在の国や北海道の要請状況を踏まえれば、感染対策を行いつながる全面的に面接授業へ移行するのは難しいと考える	③学部・学年ごとに差	各学部や学年ごとの教室に対する学生密度の違いや、学科の実技・実習・演習の多さなどの特性による。	①②③④⑤⑥		
15	札幌大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	令和3年3月4日付2文科高第1125号「令和3年度の大学等における授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対策等に係る留意事項について」に基づき、可能な限り面接授業を実施している。ただし、全学共通の基礎教育科目など履修者が多くなる科目もあり、履修者数や教室収容率に一定の基準を設け、運用している。	②学年ごとに差	1年次生の履修科目の中心は全学共通の基礎教育科目となっており、多くの科目で履修者が100人を超える。このため、1年次の遠隔授業実施比率が他の学年より高くなっている。	②③④⑤⑥		
16	札幌学院大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では、前期・後期の区別なく2021年度の授業の方針として決定しているため、基本的な考え方には変化はありません。	③半々	ゼミナール系の科目は全学的に面接授業、それ以外の科目については、学部学科ごとの科目を面接授業と、どの科目を遠隔授業とするのかの方針を決定し、その結果として1タームで半々となった。	⑤差はない		②④⑤		
17	函館大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし							
18	藤女子大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		①学部ごとに差	学部ごとにキャンパスが異なり、学内施設のキャパシティや教室数の相違があるため	①②③④⑤		
19	北星学園大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学で定める危機管理ステージにおいて、対面（面接）授業を基本として授業を実施する旨の通知をしている。	①学部ごとに差	発話を伴う授業は感染拡大防止の観点から遠隔授業の比率が高くなる傾向がある。	①②⑤⑥⑦		
20	北海学園大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和2年度から、本学は対面授業の重要性と学生の交流機会の確保を重視し、教室のキャパシティを考慮し感染拡大防止人数を定め、できる限り対面授業を実施してきた。また同時に遠隔授業の課題を話し合いの場以上に挙げてきている。もちろん基礎疾患や家庭の事情で通学できない学生のための遠隔授業の取り組みもしている。したがって、令和3年3月時点と比べて、基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	履修者数が教室の収容人数の9分の1（座席数減）（メール以上）以上の科目は原則として対面授業とする方針のもと授業を実施している。	③学部・学年ごとに差	小規模のクラスが多く開講されている学部と、専門科目の多くが大人数の講義である学部とがあるため学部によって比率異なる。また、カリキュラムにより1年次はほとんどの学生が受講する科目がある場合もあり、上級年次の専門科目が少数である場合もあるため、学年によっても対面授業と遠隔授業の比率がさまざまとなっている。	②③④⑤⑥⑦		
21	北海道科学大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	本学では、新型コロナウイルスワクチン接種率を実施し、在学生の2回接種完了率が75%を超え、前期よりも面接授業を増やすという方針とした。一方で、ソーシャルディスタンスを確保するために、教室の収容人数を減らした状態でハイブリッド型授業等も活用し、最大限面接授業を実施できる割合を算出した。	②7割対面	本学において新型コロナウイルスワクチン接種率を実施し、在学生の2回接種完了率が75%を超え、前期よりも面接授業を増やすという方針とした。一方で、ソーシャルディスタンスを確保するために、教室の収容人数を減らした状態でハイブリッド型授業等も活用し、最大限面接授業を実施できる割合を算出した。	③学部・学年ごとに差	全学部において1年次はキャンパスへ通学し学ぶ機会や、交友関係の形成において面接授業が必要と判断し面接授業比率が高くなっている。また、国家試験受験を控えている薬学部・保健医療学部・獣医学部においては、教員からの直接の指導が必要である判断し面接授業の比率が高くなっている。比較的遠隔授業の実施比率が少ない学科・学年においても、50%程度の比率とするよう努めている。	②③④⑤⑥		
22	酪農学園大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	対面の割合を増やしているが、講義科目は教室のキャパシティの関係で160名以下の科目に限定することに前向きと変更が無い。	③半々	実験・実習・演習ならびに開講年次が1〜2年次の科目、資格や国家試験に関わる科目を優先し、かつ講義科目は教室のキャパシティの関係で160名以下の科目に限定しているため。	③学部・学年ごとに差	下級学年は講義科目も多く、教室のキャパシティの関係で対面比率が下がる。上級学年、実習等の多い学部は対面比率が上がる。	①②③④⑤⑥⑦		
23	旭川大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学としては、コロナ禍であっても対面授業が優先という考え方で実施してきたため今年度も方針は変わっていない	①ほぼ対面	2-5と同じ	⑤差はない		②④⑤⑥		
24	北海道医療大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	“前期から可能な限り対面での授業を実施する方針だったため、後期も特に変更はありません。また、対面・遠隔授業を併用している状況では学生の成績が二極化する傾向がみられる学部もあります。”	②7割対面	感染対策、対面での実施が不可欠な授業の日程を考慮し、対面・遠隔授業の日程を決定した。	①学部ごとに差	・薬学部：7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業としている。 ・歯学部：面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行っている。 ・看護福祉学部：面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行っている。 ・心理科学部：7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業としている。 ・リハビリテーション科学部：ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行っている。 ・医療技術学部：ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行っている。 学部毎に、実習及び授業内容、授業で使用する教室の収容人数と在学生数の違い等に応じて対応しているため、面接授業の実施比率に差異があります。	①②③④⑤⑥⑦		
25	北海商科大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	ワクチン接種も進んだものの、年度当初に定めた授業方針を継続している。	③半々	大学の方針を踏まえてどのように授業を行うのかを、各科目担当教員に調査を行っているため。	②学年ごとに差	ゼミナールや協働を行う科目など、機器操作が必要な授業内容を行う科目が多い学年では面接授業の実施比率が高い。	①②④⑤⑥		
26	星橋道都大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大		基本的な政府や北海道等の要請内容から、本学の危機管理ステージに合わせて上層で判断し、可能な限り、対面による授業対応を行っている。					
27	北海道情報大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	学生が安心して大学生活を送ることを第一に考え、教育効果も考慮して判断した。	③学部・学年ごとに差	低学年の学生については、大学生活に慣れていないため、面接授業の比率を高めている。	①②⑦		
28	札幌国際大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		①②③④⑤		
29	北洋大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①		
30	日本赤十字北海道看護大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし							
31	北海道文科大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・内容	併用の考え方	その他の内容
32 天使大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言下における「天使大学 新型コロナウイルスの感染状況に応じた活動制限ガイドライン」に基づく判断	③半々	緊急事態宣言下における「天使大学 新型コロナウイルスの感染状況に応じた活動制限ガイドライン」に基づく判断	③学部・学年ごとに差	臨地実習はできるだけ面接授業とする方針であるため、対象学年は面接授業が多い。また、臨地実習については学科ごとに内容が異なるため、実入施設の状況によって面接授業を遠隔授業にするかどうか、各学科の判断に委ねている。		②④⑤
33 稚内北星学園大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
34 札幌大谷大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	授業については遠隔授業の精度が高い学習効果が対面授業以上のものがある一方、授業以外の部分、特に人間関係の形成など重要な部分について対面での交流機会を強く認識している。	①ほぼ対面	学習効果の問題からオンラインを継続するべき科目を残し、学生生活全体を考慮し対面授業の割合を増やしていく予定	①学部ごとに差	講義科目が多い学科、実技科目が多い学科のばらつきが大きい		①②③④⑤⑥⑦
35 札幌保健医療大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	感染拡大防止の観点から引き続き授業実施における感染対策は前期と変更はない。講義科目は遠隔を中心とし、実習・実験・演習科目は対面とした。	③学部・学年ごとに差	学部学科によって対面中心で実施の実習・実験・演習科目の配置が異なるため		②④
36 日本医療大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	実習や実験は遠隔授業ではなかなか理解が進まない						
37 北海道千歳リハビリテーション大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生の95%がワクチン接種（職場接種）を行い、対面授業が可能となるように取り組みました。						
38 旭川大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学としては、コロナ禍であっても対面授業が優先という考え方で実施してきたため	①ほぼ対面	2-5と同じ	⑤差はない			②④⑤⑥
39 帯広大谷短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	令和3年10月1日からの緊急事態宣言の解除を受け、対面授業の実施を増やしていく	③学部・学年ごとに差	高齢者施設や保育施設への現場実習などは、遠隔講義などを推進し学生同士の接触をさせているため。		
40 釧路短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
41 光塩女子短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	学科、学年ごとに週1回をオンライン授業日として設定し、残りの4日は面接授業を予定しているため	④その他	養育科については学外実習前2週間は自宅でのオンライン授業等とし、学外実習終了後は食物栄養科と同様に週1回をオンライン授業日としているため		②⑤
42 札幌大谷大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	授業については遠隔授業の精度が高い学習効果が対面授業以上のものがある一方、授業以外の部分、特に人間関係の形成など重要な部分について対面での交流機会を強く認識している。	①ほぼ対面	学習効果の問題からオンラインを継続するべき科目を残し、学生生活全体を考慮し対面授業の割合を増やしていく予定	⑤差はない			①②③④⑤⑥⑦
43 函館大谷短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
44 函館短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
45 北星学園大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学で定める危機管理ステージにおいて、対面（面接）授業を基本として授業を実施する旨の通知をしている。	①学部ごとに差	発症を伴う授業は感染拡大防止の観点から遠隔授業の比率が高くする傾向がある。		①②⑤⑥⑦
46 北海道科学大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
47 北翔大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	現在の国や北海道の要請状況を踏まえれば、感染対策を行いつつながら全面的に面接授業へ移行するのは難しいと考える	③学部・学年ごとに差	各学科や学年ごとの教室に対する学生密度の違いや、学科の実技・実習・演習の多さなどの特性による。		①②③④⑤⑥
48 拓殖大学北海道短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
49 北海道武蔵女子短期大学	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	本学の危機管理フェーズが「1」となった場合、遠隔授業と対面授業の併用を行うことにしている。学習効果を考慮し対面授業を可能な限り行いたいという教員の他に、大学としても2年間しかない短大の特質上、キャンパスを過ごしてもらう時間を多くしたい考えがある。	⑤差はない		①②③	
50 札幌大学女子短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	感染症対策を施したうえで対面での実施を基本とし、多数の履修者がいる科目などは遠隔授業を行う。	⑤差はない			②③④
51 札幌国際大学短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差			①②③④⑤
52 函館学院大学北海道短期大学部	01. 北海道	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況が落ち着いているため、今後も対面授業を継続するが、一方で遠隔授業の良さも実感しているため、授業方法の一つとして今後遠隔授業は導入を検討する。						
53 函館工業高等専門学校	01. 北海道	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
54 苫小牧工業高等専門学校	01. 北海道	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
55 釧路工業高等専門学校	01. 北海道	04. 高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
56 旭川工業高等専門学校	01. 北海道	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前年度の遠隔授業期間中に認識した対面での獲得できないスキルがあることに関して、基本的な考え方に大きな変化はない。						
57 弘前大学	02. 青森県	01. 国立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	現在、近隣市町村において感染が広がっており、また、8割以上の学生がワクチンを接種したことから、基本的な考え方に大きな変化はない状況である。						
58 青森公立大学	02. 青森県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学においては、対面による学生同士や教員との交流が豊かな人間性の涵養が重要であると認識しており、なによりも教育の質を確保するため、学びの基本である面接授業をできる限り行っている。	⑤差はない			①②⑤
59 青森県立保健大学	02. 青森県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	令和3年度前期授業も8割以上の授業を面接で終了しており、現時点で遠隔授業を予定している科目は、21科目中5科目となって	⑤差はない			①②④⑤
60 青森大学	02. 青森県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	③遠隔授業を拡大	今後も感染がいつ拡大してもおかしくない状況であるため、原則対面授業を原則としているが、状況によっては原則に遠隔授業へ移行できるような体制と心構えを持って運営していきたい。また、多様な学びの機会を提供し、自主性・自律性を醸成していくためにも遠隔授業を一部取り入れていくことも重要と考え、広く展開していきたいと考えている。						
61 崇田学園大学	02. 青森県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし							
62 弘前学院大学	02. 青森県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	後期は、対面授業を主にコロナの状況に応じて遠隔授業も併設して実施する予定である。	①ほぼ対面	前期は、感染防止対策をたてながらほぼ面接授業を実施しており、遠隔授業の割合は①が妥当と思われる。	⑤差はない	学部・学年格差はない。（全学部、遠隔授業を実施予定）		②④⑥
63 八戸工業大学	02. 青森県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	感染対策の強化と感染者の発生（地域を含む）が抑制されつつあるため。	①ほぼ対面	感染対策の強化と感染者の発生（地域を含む）が抑制されつつあるため。	②学年ごとに差	実験・実習や卒業研究など学年による授業の実施方法が異なるため。		②④⑤⑥
64 八戸学院大学	02. 青森県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の予定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
65	青森中央学院大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前学期に比べて大学関係者の新型コロナウイルス感染者が減少傾向であることを根拠に、これまで以上に感染防止対策を十分に行ったうえで対面授業を基本として実施することとした。						
66	弘前医療福祉大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	感染が拡大すれば通隔授業を考えるが、現時点では②に近い。	①ほぼ対面	保健学部という医療系のため病院等での実習を含む実習が多いため面接授業の割合が高くなる。			②④⑥⑦	
67	青森明星短期大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
68	奥田学園大学短期大学部	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	変化なし						
69	青森中央短期大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前学期に比べて大学関係者の新型コロナウイルス感染者が減少傾向であることを根拠に、これまで以上に感染防止対策を十分に行ったうえで対面授業を基本として実施することとした。						
70	八戸学院大学短期大学部	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
71	弘前医療福祉大学短期大学部	02.青森県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	感染が拡大すれば通隔授業を考えるが現時点では②に近い。						
72	八戸工業高等専門学校	02.青森県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況に変化がないこと。また、本校では厳重な感染対策を行っており、感染者の発生が非常に限定的であることから。						
73	岩手大学	03.岩手県	01.国立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期・後期ともに感染対策を講じた上で、原則対面授業で実施。						
74	岩手県立大学	03.岩手県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	授業や実習等への影響を最小限に抑えるため、学内での感染発生状況に応じた対応指針を段階的に定めており、学外での感染発生状況や県・国からの要請等を踏まえた上で、その対応指針を基に方針を決定しているため。						
75	岩手医科大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学は前期からほとんどが面接授業を行っていたため、基本的な考え方に変わりはない						
76	富士大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	以前に比べ、学生・教職員の学内での感染対策についての理解が深まったため						
77	盛岡大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
78	岩手保健医療大学	03.岩手県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	・感染者が減少してきていること／対面での交流機会の重要性を認識	①ほぼ対面	・コロナ禍以前は全て対面／原則、県外在住の非常勤講師については通隔授業		⑥差はない	①②④⑤⑥	
79	岩手県立大学盛岡短期大学部	03.岩手県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	授業や実習等への影響を最小限に抑えるため、学内での感染発生状況に応じた対応指針を段階的に定めており、学外での感染発生状況や県・国からの要請等を踏まえた上で、その対応指針を基に方針を決定しているため。						
80	岩手県立大学宮古短期大学部	03.岩手県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	岩手県立大学新型コロナウイルス感染症対策指針に基づき、授業実施方針を決定している。令和3年度前期から授業内容に変化はなく、感染拡大防止に最大限の配慮をした上で対面授業を行う、としている。						
81	修紅短期大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
82	盛岡大学短期大学部	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	変化なし						
83	一関工業高等専門学校	03.岩手県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
84	東北大学	04.宮城県	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	本年6月以降に本学構成員のワクチン接種が進んだこと、及び学内での感染状況（県内、市内の感染状況に比べ感染率は低い）も踏まえている。	①ほぼ対面	本学構成員の新型コロナウイルスワクチン接種が進んだことや学内での感染状況（県内、市内の感染状況に比べ感染率は低い）を踏まえて判断した。	③学部・学年ごとに差	多人数での講義が多い学部（学年）や使用する教室の収容定員の関係で、学部等ごと、学年ごとのいずれについても面接授業と通隔授業の比率にはらつきが生じている。	①②③④⑤⑥⑦	
85	宮城教育大学	04.宮城県	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	関係委員会において令和3年度の授業実施方針を決定しており、後期授業開始前の感染状況等を考慮のうえ、後期においても当該方針を変更する必要はないと判断したため。	②7割対面	後期授業開始前に全学を対象として実施した授業形態調査の結果に基づくもの。		⑥差はない	②③④⑤⑥	
86	宮城大学	04.宮城県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況の変化に対して迅速に対応できるよう、令和2年度後期から、感染状況に応じた授業実施対応者をつくり、授業方式を判断しており、令和3年度は前期・後期どちらの授業実施についても、同様の基準により実施方式を判断した。						
87	仙台大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度後期授業は、9/24(金)～9/30(木)まではすべての授業を通隔授業で実施し、10/1(金)～一部の授業で対面授業を行ったが、コロナ禍において学生たちは他者とのつながりを求めていると感じられた。対面授業を行った学生たちは、友人との久しぶりの再会を喜び、また、授業の遅延について教員と学生が直接対面でやり取りしており、学生がより対面の意義を感じたと思われる。	③半々	事前に全教員（非常勤講師含む）に後期のすべての授業について授業形態（対面授業+通隔授業）に関するアンケート調査を実施し、対面授業と通隔授業の比率が概ね半々という結果であった。	⑥差はない	②④⑧	対面授業は、原則として実技・実習・演習・実習科目とし、講義科目はオンラインを基本としている。但し、学部長・教職支援センター長が必要と認める講義科目は対面授業を認めている。また、対面授業を行う方よりも、通隔授業を行う方が高い教育効果が認められる講義科目については積極的に通隔授業を認めている。	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・理由	併用の考え方	その他の内容	
88	東北学院大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	コロナ感染状況が良い方向に急激に変化したことにより、学生の対面志向も少しずつ見られるようになったため。(学生アンケートの結果は現在はまだ公表されていない。)		面接授業実施の条件を緩めたものの、教員及び学生に面接授業回避の傾向がまだまだ強く見られるので、面接授業をさらに奨励しても半程度となると予想される。しかし、対面を求める学生も確実に増えてはいる。	③学部・学年ごとに差	一部学部の3年生に、ここしばらく面接授業を受けていないという学生がいるとの話をしばしば聞くため。その学部はゼミナールが必須ではないことが影響していると思われる。	②③④⑥		
89	東北工業大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度後期は、前期に比べ学生・教職員のワクチン接種率も向上していることから、当初より予定していた面接授業については、しっかりとした感染予防対策を施した上で実施することとした。		前期同様、令和3年度後期においても以下の考え方を基に授業を行う予定とする。令和2年度のオンライン授業実施結果を受け、オンライン授業の方が学生にとって高い教育効果が認められた授業については、オンライン授業を継続する。一方で、実験・実習等、対面授業の方が教育効果が高いと思われる授業については対面で実施するが、教室の収容数を1/2に設定するため、教室稼働率をもとに決定した。	②学年ごとに差	1・2年生については、教職員および学友との対面における交流機会の重要性に鑑み、7割程度を対面授業とし、3・4年生については実験・実習等の授業を中心に、5割程度を対面授業とする予定である。	①②③④⑤⑥⑦		
90	東北福祉大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期の授業方針から、対面授業の履修人数の上限を撤廃し、教室収容人数の分の1に変更した。		教室収容人数により決定している。	③学部・学年ごとに差	実習や演習、ゼミ、外国語の授業等教育形態や単位修得状況により異なるため	①②③④⑤		
91	東北医科薬科大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期に引き続き、講義室の収容定員を一部制限する等万全な感染対策を講じたうえで、可能な限り対面授業を実施している。		文部科学省のガイドラインに沿って感染防止対策を怠って講義を行うためには、対面受講学生数を教室収容定員の50%と人数制限をかけるなければならない。そこで学生数の少ない学科は100%対面で講義を実施し、学生数の多い学科の講義では対面と遠隔を組み合わせて実施することとした。実験実習・臨床実習、卒業研究がある学年、国家試験が控えている最終学年は優先して対面で実施する必要があると判断し、学年により対面講義の割合を変えている。	②学年ごとに差	小松島キャンパスで開講される薬学部薬学科1～4年次及び医学部医学科1,2年次においては、感染対策として講義室の収容定員が制限されているため、遠隔授業を併用せざるを得ない状況である。そのため、他の学科・学年と比較して面接授業の実施比率が低くなっている。	①②③⑤⑥⑦⑧	感染対策のため訪問できない学外施設の見学は遠隔(バーチャル)で行い、講義や実習は十分な感染対策を講じた上で面接授業を実施する。	
92	東北生活文化大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし								
93	宮城学院女子大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	1時限は学生の通学時の密を避けるため、基本的に遠隔授業での実施としている。	②学年ごとに差	3,4年次は演習が多くなるため、面接授業が9割を超えている。①②			
94	石巻専修大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
95	仙台白百合女子大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
96	東北文化学園大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
97	尚絅学院大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	2021年度の授業運営方針に従って、運営を行っている。その中でも緊急事態宣言等が発出された場合の対応も含めて記載されているが、特に検討は行わなかった。			⑤差はない		①②③⑥⑦		
98	宮城誠真短期大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
99	聖和学園短期大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
100	東北生活文化大学短期大学部	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし								
101	仙台青葉学院短期大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		③学部・学年ごとに差	対面授業を必要とする実習や演習の比率が異なるため。	②④⑤⑧	座学の授業でも、授業の性質によって遠隔・対面を使い分けている。	
102	仙台赤門短期大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
103	仙台高等専門学校	04.宮城県	04.高专	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		③学部・学年ごとに差	1年生、2年生の授業は面接授業の実施比率が高い。ロボティクスコースの授業は遠隔授業の実施比率が高い。	①②③④⑤⑥⑦		
104	秋田大学	05.秋田県	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	従前から対面授業の重要性は認識しており、現在も変わらない。感染対策のため通常よりも座席間隔を広く取っており、全ての授業を対面で実施することは難しい。また、大人数講義など、授業によっては遠隔授業の方が効果的なものもある。	③半々	各授業担当教員に授業方法を確認している。なお、比率の基準を示して認定しているのではなく、個々の授業科目の内容・授業形態により対面・遠隔を決定している。	①学部ごとに差	教育文化学部は教職課程を有し、学校種・免許教科毎に科目が設定されるため科目が多岐にわたる人数・多科目となることから、対面授業の割合が多くなっていると考えられる。	①②③④⑤⑥⑦		
105	秋田県立大学	05.秋田県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	考え方に大きな変化はない。実験実習が多いこと、また、秋田県内の感染状況等も鑑み、感染対策を十分にした上での対面授業の実施方針であり、前・後期ともに実行できている。							

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
106	国際教養大学	05. 秋田県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	現在、政府や文科省が発出している感染防止に関するガイドラインに照し、教室内のソーシャルディスタンスを保たなければならないことから、各教室の定員の半数程度しか数割対面に収容できない状況のため、各教室にマイク、スピーカーや複数のスクリーンなどを設置し、オンライン授業に加えて、パレレル授業（教壇にいる学生とオンラインで繋がっている学生（スクリーン上）の学生が同時に授業を受ける形態）を可能とし、これまで継続的に提供している。 本学の教育は、教員と学生間、また学生同士の活発な質疑応答や、ディスカッション、プレゼンテーションなど、双方向のコミュニケーションを特色としているが、残念ながらパレレル授業は、教室内の学生とスクリーン上の学生がディスカッション等を行ううえの通信技術上の不安定（音遅やウィンドウ等）に課題があり、パレレル授業より互いの学生がオンライン上にはたが、教員も学生も教育効果が上がると思われる場合は、オンラインの形式を選択する科目が一定数ある。教員は学生の意見も聞きながら授業形態を決めているが、教員も学生も、活発な議論や効果的のプレゼンテーションができる環境や教育効果という点を重視し、オンライン授業の選択も可能とした。また、国内外の遠方からゲストをオンライン上で招聘するなど、オンライン授業のフラスの幅面を活用した授業も継続して提供している。地方、学生の教育活動の範囲を広げるため、実技や実験の科目や、フィールドワーク・調査が授業の中心となる一部の科目については、対面授業へと変更することとした。	④3割対面	本学は全国各地からの学生が在籍する学務・居住一体型キャンパスという特殊な環境であることからクラスター感染のリスクを勘案し、令和2年度は対面での授業はZoomを活用した遠隔授業で実施した。一方で、文科省の後期授業の実態方針調査の結果、本学の教育内容と類似している首都圏の大学や秋田県内大学の対面授業の開始状況を踏まえ、環境豊かなキャンパスでの少人数対面授業は本学の重要な特色であるため、ウィズコロナ・ニューノーマルで実施する方針を徹底しながら大学の運営を指すことの必要性を認識した。さらに、キャンパスで授業を受ける機会を失った今年度新入生や次年度入生する受験生のアカデミック及び学生生活面の支障不足に配慮し、2020年度と2021年度の新生入生キャンパス居住を決定し、一定の行動制限を課しながら、授業の履修を認めることとした。また、県内在住の場合も通学を認めている。遠隔では実施が不可能な一部の実技科目や学外のフィールドワークを伴う科目については、完全面接（対面）式で実施するが、その他の授業は、教育効果や学生の希望も勘案し、面接と遠隔の同時併行型、または遠隔授業で行う形式で実施する。面接授業については、①学別に居住を許可する学生は1年生であること、②健康面の理由等から、学生に対面か遠隔のどちらかを選択できるようにしていること、③教室定員を、ソーシャルディスタンスを確保するために通常の半分以下にしているため、ローテーションを組んで授業入室を行う必要があること、の3つの理由から完全な対面授業だけでは成り立たない状況のため、本学では面接と遠隔の同時併行型を面接授業とほぼ同等と考えている。	本学は全国各地からの学生が在籍する学務・居住一体型キャンパスであるが、2021年度キャンパス居住を認めないのは、2020年度と2021年度の新入生、つまり1・2年生のみであり、また通学学生の履修を認めているものの、一定の行動制限を守って県内から通学する学生に限られるため、1・2年生対象の科目を中心に対面授業を行うこととしたため、上述生向けの科目は遠隔授業の割合が高くなっている。さらに、健康上の理由等も配慮し、学生には対面か遠隔かの選択ができるようにしていること。また、本学では少人数制教育を実施しており教員定員が専任教員が専任教員となっており、授業形態は対面か遠隔かを決定する人数の学生しか収容できないことから、面接と遠隔を同時併行で提供する形式の授業の割合が高くなっている。（2-6回答参照）キャンパス居住学生は2020及び2021年度に入学した1～2年目の学生が多く履修する授業は対面授業の割合が高く、対面および面接と遠隔の同時併行型の割合は8割強となっている。	①②③⑤⑥⑦		
107	秋田公立美術大学	05. 秋田県	02. 公立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない		②④	
108	ノースアジア大学	05. 秋田県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
109	秋田看護福祉大学	05. 秋田県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
110	日本赤十字秋田看護大学	05. 秋田県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	現状では後期においても前期同様、感染状況に大きな変化が起きることが考えづらいため。	②7割対面	感染状況を講じつつ、できるだけ面接授業で実施したいが、講義のみの時間を広く取ると収容人数の関係から全学年の面接授業は不可能であり、一部を遠隔で行う必要があるため。	②学年ごとに差	感染状況を講じつつ、できるだけ面接授業で実施したいが、講義のみの時間を広く取ると収容人数の関係から全学年の面接授業は不可能であり、一部を遠隔で行う必要があるため。	②③④	
111	秋田栄養短期大学	05. 秋田県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
112	聖園学園短期大学	05. 秋田県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
113	日本赤十字秋田短期大学	05. 秋田県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	学生数が少ないため、十分な感染対策を講じて対面授業を行っている。						
114	秋田工業高等専門学校	05. 秋田県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	特になし						
115	山形大学	06. 山形県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では、令和3年度前期授業について、6月23日～8月22日を教育活動レベル1・5とし、「感染対策を徹底した上で対面授業とオンライン授業を併用して実施」した。それ以外の期間については、レベル2「原則、オンライン授業を実施。ただし、資格試験に必要な実技・実習・実技及び卒業研究、特別研究の対面授業、その他教育上必要な面接授業については、学生課程基盤教育機構長・学部長・研究科長の判断で可。」とした。令和3年度後期授業に関しては教育活動レベル2でスタートしているが、月に1回程度開催している新型コロナウイルスに係る総合対策本部会議において、随時レベルを見直す予定であり、基本的な考え方に大きな変化はない。	③半々	各授業の実施方法について、面接授業、オンデマンド遠隔授業、リアルタイム遠隔授業、面接授業と遠隔授業の併用の別について、令和3年6月に調査した。その結果、授業科目の約半数が面接授業で実施する旨の回答があった。	④その他	地域教育文化学部や医学部等、資格試験が関係する学部では、面接授業の実施比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥	
116	山形県立保健医療大学	06. 山形県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
117	山形県立米沢栄美大学	06. 山形県	02. 公立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	県の新型コロナウイルスの注意・警戒レベル等を参考に、一定の基準に達した場合は遠隔授業を行うが、それ以外は対面授業を行うという考え方は、以前から変わりはない						
118	東北芸術工科大学	06. 山形県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は講義科目に比べて専門科目演習時間の割合が高く、演習科目は原則として令和2年度より対面授業を行っており、それらを継続すること、また講義科目を遠隔授業で実施することに対し、理解度や質問のしやすさなど学生からの評価も高いが、原則として講義科目は遠隔授業、演習科目は面接授業としている。	②7割対面	⑤差はない		②④⑦		
119	東北公益文科大学	06. 山形県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	「新型コロナウイルス感染症の状況に応じた東北公益文科大学の活動方針」により、県や政府からの情報をもとに段階で対応を定めており、現在は県外在住の非常勤講師の担当科目を除き、すべての授業科目を対面で行っている。	⑤差はない		⑧	現在の感染状況のもとでは、県外在住の非常勤講師の担当科目をオンライン（リアルタイム）にしたり、就職活動のため本学が定着する感染拡大地域と往來した学生について健康観察期間中の授業をオンデマンド（録画）で配信したりといった方法を併用している。
120	東北文科大学	06. 山形県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
121	山形県立米沢女子短期大学	06. 山形県	02. 公立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	県の新型コロナウイルスの注意・警戒レベル等を参考に、一定の基準に達した場合は遠隔授業を行うが、それ以外は対面授業を行うという考え方は、以前から変わりはない						
122	羽根学園短期大学	06. 山形県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学は少人数で、施設面においても三密を避ける対応が可能のため						
123	東北文科大学短期大学部	06. 山形県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
124	鶴岡工業高等専門学校	06. 山形県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	対面で授業を実施したほうが、その場での学生の反応を随時見ることでの学生の理解度を確認しながら授業を進めることができるので、教育効果は高いと考えるため。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
125	福島大学	07. 福島県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	・コロナ禍における三密対策として、教室収容数を半減して対面授業を実施しており、教室収容数を超える大規模科目については遠隔授業を実施している。・令和3年度後期においては、学生数や学内施設のカパシティに増減はなく、前期と同様に対面授業を中心として授業運営を継続している。・基本的には対面授業を実施する方針であり、遠隔授業科目は全科目の5%程度となっていることから、令和3年度後期の授業運営に大きな問題は無いと考えている。	①ほぼ対面	・教室収容数を超える大人数講義科目については、遠隔オンデマンド型授業で実施する。・講義科目については、全学的に履修登録者数に応じて収容可能教室へ交換・調整し、対面授業で実施する。・演習科目については、全学的に演習教室を確保し、講義科目に優先して対面授業を実施する。・教室調整の結果、殆どの授業が対面授業で実施しており、遠隔授業科目は全科目の5%程度となっている。	・教室収容数を超える大人数講義科目を多く開講する学類は相対的に遠隔授業比率が高傾向にある。・演習科目については全学的に演習教室を確保して講義科目に優先して対面授業を実施する。・基本的には対面授業で実施する方針であり、遠隔授業科目は全科目の5%程度となっていることから、令和3年度後期の授業運営に大きな問題は無いと考えている。	②③④⑤		
126	福島県立医科大学	07. 福島県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
127	会津大学	07. 福島県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期授業は、十分な感染対策を講じたうえで対面授業を基本として実施した結果、学内の感染者は発生しませんでした。また、現在は地域の感染状況も落ち着いているため、後期授業においても前期授業と同様に対面授業を基本として実施します。ただし、前期授業と同様に、地域の感染状況が悪化した場合等は、急遽遠隔授業に変更する対応も行います。						
128	奥羽大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
129	郡山女子大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
130	医療創生大学	07. 福島県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	授業時間以外での質問機会の確保、授業理解度にかんじて、感染予防に留意し各研究単位で行っているが、時間に限りがあり課題を感じている。	①ほぼ対面	医療系学部のため、実習や実験など、学年が高くなるにつれ対面を重視、感染予防に留意できる教室調整ができています。	②学年ごとに差	医療系学部のため、共通教育科目の多い学年の一部において、遠隔実施を継続している。	②③④⑤	
131	東日本国際大学	07. 福島県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	昨年度（令和二年度）に一年間、遠隔授業を取り入れたことにより、講義科目や演習科目においてIT技術を活用した学びの広げ方を学生と教員それぞれが実感している。また、そうした変化とあわせて、教員・学生とが対面で直接的な人間関係の関わりを持つ対面授業の意義を深く認識するようになった。そうした状況などから2-4と回答した。	①ほぼ対面	感染状況等を勘案しつつ、教室定員を中心に、三密状態を避けることができる状態を確保しながら、対面授業を実施できる科目を精選した。その結果、各科目の受講者数と使用可能教室の状況の調整のうえ、2-6の方針を採用することになった。	③学部・学年ごとに差	対面授業と遠隔授業の実施比率は、まず学部ごと（経済経営学部と健康福祉学部）の学生数に大きな違いがあり、それが違いに現れている。また、学年ごとに、受講者数の多い科目が両学部とも1年生・2年生に集中する一方で、3年生・4年生の受講科目は相対的に受講者数が少ないという状況があるため、対面授業と遠隔授業の比率に違いがある。	①②③④⑤⑥	
132	福島学院大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
133	会津大学短期大学部	07. 福島県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	特に変化なし						
134	郡山女子大学短期大学部	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
135	桜の聖母短期大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
136	いわき短期大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	新型コロナウイルス接種率が上昇したため。						
137	福島学院大学短期大学部	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
138	福島工業高等専門学校	07. 福島県	04. 高专	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	①対面授業を拡大	本科生については、発生していることからクラスターが発生しやすく、遠隔授業を7月下旬から実施していた。しかし、実験実習等の教科は、対面授業でないと教授ができない面があり、今後の課題となっている。専攻科生については、発生もいないことから、10月1日から対面授業を再開した。						
139	茨城大学	08. 茨城県	01. 国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	本年度前期は以下の考え方により対面授業と遠隔授業を適切に組み合わせ実施してきた。本県の感染状況や教室キャパシティを考慮した結果、基本的な考え方を要する必要性は感じていない。なお、当該方針に基づき、前期段階において教育課程や授業の特性に応じて適切な授業実施形態を検討した結果、前期よりも後期の方が対面授業の割合が増加している。「対面授業や対面での交流機会の提供が重要であることを認識する一方、据下の感染状況においても、オンライン授業で得られた知見を適切に活用することにより教育の質を高める継続的な改善が必要であることを認識した。」	③半々	本学では領域連携や自治体主催の新型コロナウイルスワクチン接種の進展により、ワクチン接種済みの学生及び教職員が増加すると見込まれる10月13日から対面授業を本格的に再開し、③学部・学年ごとに差した。これに備えて授業計画を検討するよう教員に依頼し、修正された後のシラバスを確認した結果により判断した。	初年次においては、基礎教育（共通教育）が中心となり、比較的大人数の講義科目が開講されるため、感染拡大防止の観点からオンライン授業の比率が高い。しかし、対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性も考慮し、必修科目を含む演習授業及び実技系授業については、対面授業を基本としているため、5割程度が対面授業となっている。2年次以上については、学部や分野の特性に応じ各学部で実施方法を決定している。対面授業の実施率は学部によって異なり、主に教育課程の性質上、実験・実習科目の比率が高い学部や学年については対面授業の比率が高まる傾向にあり、対面授業の比率は8割から6割と差がある。	②③④⑤⑦		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・内容	併用の考え方	その他の内容
140	筑波大学	08.茨城県	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	昨年のうちから対面での交流機会等の重要性は認識しており、できるだけ対面授業を実施したところではあるが、ソーシャルディスタンスを確保したうえで教室収容定員には限りがあるため、おおむね、大規模な講義はオンラインで授業を実施し、実験・実習、ゼミ等を中心に、中・小規模の授業は対面で実施するという方針をとっている。	③半々	教室の収容定員をソーシャルディスタンスを確保したものに引き上げ、そのうえで、教員も十分な感染対策を講じ、対面のほうが望ましく、感染対策がとれる科目については対面で実施している。その結果、春学期に終了した学部レベル対象科目について、科目管理システムのデータに基づき8月下旬に実施し、当面授業と遠隔授業の割合がほぼ半々であったため、秋学期も同様の割合で実施されると推測される。	①学部ごとに差	人間学群、医学群、芸術専門学群などは実験・実習が多いため、対面授業の割合が高い。一方、実験・実習が少ない学部等ではオンライン授業の割合が高い。令和3年度は、入学当初からコロナの影響を強く受けた令和2年度入学者（現2年次）の授業について、特に意識して対面の機会を増やすことを全学の方針とした。	①②③④⑤⑥⑦	
141	筑波技術大学	08.茨城県	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	③遠隔授業を拡大	令和3年3月に前期の授業を基本的に対面で実施することを決定し、6月に新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、2学期の授業形態については対面が不可欠な実習・実験を9月から10月までに実施し、11月以降の授業を原則的にオンラインに切り替える方針を決定し、周知した。	④3割対面	③学部・学年ごとに差	実験・実習や、卒業研究で対面授業の実施比率が高くなる学部等や学年がある。	①②⑤⑥		
142	茨城県立医療大学	08.茨城県	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期の授業方針を決定後、学生のほぼ全員がワクチン接種を完了したこともあり、対面による交流や学習機会を増やしても差し支えなしとの考えに至ったため。	①ほぼ対面	②学年ごとに差	3年次生は後期に臨床実習科目を履修するため、全ての科目において対面授業を行っている。それ以外の学年の学生は、概ね②④⑥⑦	②④⑥		
143	茨城キリスト教大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本年の授業形態ガイドラインに依り、後期授業開始日の9月18日から9月30日まで遠隔授業を実施し、10月1日から原則対面授業とし、一部、教員の申請（基礎疾患等の理由）により遠隔授業を実施している。	①ほぼ対面	⑤差はない	新型コロナウイルスの感染状況が10月7日時点と変化がないかぎりにおいて判断。今後新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合には、感染状況に応じて原則遠隔授業となる可能性もある。	①②⑥		
144	常磐大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2021（令和3）年度前期においては、一定の基準にしたがい面接授業と遠隔授業を併用することにより、学生の学習機会の確保と感染対策の徹底の両立を図ることができた。このことを踏まえ、2021（令和3）年度後期においても同様に、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施することとしている。	①ほぼ対面	③学部・学年ごとに差	面接授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断しているため、教育課程の特性等との関係から、開設科目の授業の方法や担当年次等により差異が生じている。	②③④⑤⑦		
145	つくば国際大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	医療系大学であるので、学内実習は対面である必要を再認識した。令和3年度開始当初の予定通り、実習系授業は対面で行うものとし、後期から順次対面に戻すこととした。	③半々	②学年ごとに差	2-7の理由において、学年により授業タイプの比率が異なるため	②④⑤⑦		
146	筑波学院大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍に伴う感染症防止対策の徹底と学びの質保証との両立を図ることを基本として前期と同様に対応している。なお学内でクラスターが発生した場合は遠隔授業に切り替えを行う予定である。	①ほぼ対面	⑤差はない	履修人員や学内施設のキャパシティ等を考慮した結果、多人数を対象とする授業を除いて密を避ける形で対面授業を実施することが可能であると判断した。	②③④⑥		
147	日本ウェルネススポーツ大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	⑤差はない		③④⑤		
148	茨城女子短期大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
149	つくば国際短期大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	対面授業を基本として実施していたが、緊急事態宣言を受け遠隔授業に変更した。	①ほぼ対面	緊急事態宣言や学生に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合に遠隔授業を振り入れる。	⑤差はない	単科の短期大学であり、学年の行事によって差異はあるが、基本的には差異は無い。	⑧	対面授業を基本として、感染状況を踏まえ遠隔授業を振り入れる。
150	常磐短期大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2021（令和3）年度前期においては、一定の基準にしたがい面接授業と遠隔授業を併用することにより、学生の学習機会の確保と感染対策の徹底の両立を図ることができた。このことを踏まえ、2021（令和3）年度後期においても同様に、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施することとしている。	①ほぼ対面	③学部・学年ごとに差	面接授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断しているため、教育課程の特性等との関係から、開設科目の授業の方法や担当年次等により差異が生じている。	②③④⑤⑦		
151	茨城工業高等専門学校	08.茨城県	04.高专	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし							
152	宇都宮大学	09.栃木県	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍の状況及び学生アンケートの結果を踏まえ、前期中間、後期の授業についても対面とオンラインを併用している。講義科目の対面授業とオンライン授業はA日程とB日程に分けて、演習・実験・実習等は各教育プログラムごとに計画し、実施をしている。	②7割対面	⑤差はない	「新型コロナウイルス感染症のための宇都宮大学の方針」及び「令和3年度後期における授業の実施方針」による。	①②④⑤⑥		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
153	足利大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	工学部については今年度前期からハイブリッド型授業（同一授業における面接・遠隔授業の併用）による分教登校を実施しており、現状の教室等のキャパシティを考慮し後期も引き続き前期と同様の授業方針に大きな変化はない。看護学部についても教室等のキャパシティを考慮し前期と同様の授業方針に大きな変化はない。	③半々	工学部については、週2日の面接授業（主に実験・実習科目）と多くの講義・演習科目に取り入れたハイブリッド型授業（同一授業における面接・遠隔授業の併用）による分教登校の実施により判断した。看護学部については、感染症対策を徹底し教室定員の約半分を目安に面接授業中心に行うことによる判断。	③学部・学年ごとに差	工学部は学年ごとに面接授業の実施授業数に違いがあること。看護学部は10月11日以降、面接授業を中心に授業を展開することで学部間の比率に違いが生じている。	②③④⑤⑥	
154	白鷲大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	前期から対面での交流の促進性は認識しているが、本来の教室のキャパシティでの授業を行うことに対する抵抗が学生、教員にあるため、学生の学修機会を確保するため、遠隔授業と併用することやむを得ないことと考える。	②7割対面	講義授業で120名以上の履修希望者が見込まれる授業を遠隔授業とした。面接授業は、本学の教室キャパシティの7割程度の120人を最大収容人数とした。	③学部・学年ごとに差	教育学部は、実技、実験、実習の授業が多いため、面接授業の比率が高くなっている。また、1、2年生は、面接授業として行われる語学必修授業が組まれているため、比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
155	作新学院大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	授業ごとの履修者数が確定した段階で調査する予定	①ほぼ対面	既に対面での感染対策は講じており、今後感染状況の大きな変化は見込んでいない	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
156	国際医療福祉大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
157	宇都宮共和大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし	本学における感染拡大は見られないため、前期から対面授業を実施している。					
158	文星芸術大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
159	自治医科大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		②学年ごとに差	1～3学年の講義、実習については、新たな知識、概念を定着させる必要があることを勘案し、原則、対面型授業としている。4～6学年の講義については、学びの復習や応用に係る講義等の場合、科目責任者の判断によりメディア授業（遠隔授業）を併用することとしている。	②④⑤	
160	獨協医科大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大	豊かな人間性とコミュニケーション能力を涵養するためには、対面による学生同士や教職員との人的な交流が重要であると考えるため。						
161	佐野日本大学短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大							
162	宇都宮短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし	学内、学生等での感染拡大は見られないため、前期から対面授業を実施している。					
163	國學院大学栃木短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	なし	①ほぼ対面	現状を維持した場合	⑤差はない		①②③④⑤	
164	作新学院大学女子短期大学部	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生は、半年後に就職を控えているため、実技系科目や演習科目の対面を増やすことにより、より実践的な授業展開が可能となる	①ほぼ対面	既に対面での感染対策は講じており、今後感染状況の大きな変化は見込んでいない	⑤差はない		①⑥⑧	感染の疑いがある等で自宅待機をすすめる学生に対して、面接授業と並行してオンライン授業を行う
165	足利短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	感染の状況及び大学拠点接種によるワクチン接種等により、感染リスクが減少したことにより決断した。	①ほぼ対面	感染の状況及び大学拠点接種によるワクチン接種等により、感染リスクが減少したことにより決断した。	⑤差はない		②③④⑤	
166	宇都宮文星短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
167	小山工業高等専門学校	09. 栃木県	04. 高专	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度の授業実施方針として、面接授業の実施を基本と定めている。緊急事態宣言下においては、学年別教室とし、面接授業と遠隔授業を併用した。【授業実施方針】（1）人的交流の重要性を踏まえ、感染症対策を十分に行いながら、対面授業を実施することを基本とする。（2）学内及び通学圏内の状況にも十分配慮し、感染拡大等の懸念があると判断した際には、部分的または全的に遠隔授業への移行等の措置を講じ、学生の安全を確保しつつ、学修の継続が維持できるよう対応する。						
168	群馬大学	10. 群馬県	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	現下の感染状況や学内施設のキャパシティ等に変化がないため。	③半々	新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないが、学生及び教職員の安全に最大限に配慮することを最優先に、感染防止策を徹底した上で「対面授業実施にあたっての方針」を大学で策定した。これに基づき対面による授業は履修登録者数では半数程度で実施し、その後、感染状況や社会情勢を踏まえながら、段階的に対面による授業を拡大していく。	②学年ごとに差	初年次については対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性を鑑み、できる限りキャンパス内での学修機会を設けるよう配慮していること及び高年次については実験・実習、実技など、特に対面による指導が不可欠と判断される授業の人数での対面を中心とする演習（ゼミナール）等の授業が多く配置されていることにより、学年ごとに比率が異なる。	①②③④⑤⑥⑦	
169	高崎経済大学	10. 群馬県	02. 公立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
170	前橋工科大学	10. 群馬県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	演習、実験・実習科目の対面実施を重視し、これまで都道府県の警戒レベルに応じ、全科目面一的な対応としていたものから、演習、実験・実習科目は対面を原則とし、講義科目については学内の感染状況に応じて、遠隔又は対面とする方針とした。						
171	群馬県立女子大学	10. 群馬県	02. 公立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
172	群馬県立県民健康科学大学	10.群馬県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
173	青英大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大							
174	桐生大学	10.群馬県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
175	群馬バース大学	10.群馬県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	感染状況や学内教職員および学生の新型コロナウイルスワクチン接種状況を考慮し、前年同期に比し対面授業を主とする方針を決定した。						
176	群馬医療福祉大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	学生間の交流が少なく、交流の機会を多くあたえたいことや、大学での講義を希望する学生が多いため。						
177	高崎健康福祉大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生のモチベーションを維持するうえで対面授業の重要性を感じた。また、新型コロナウイルスワクチンの接種率により全学生の8割以上がワクチン接種を完了している。	②7割対面	学科単位で学生のワクチン接種率が90%以上が、100%教室着席数による面接授業を実施し、89%以下の学科は試験形態以下での着席にて面接授業を実施する方針とした。また、学年によって実験・実習の授業が異なる。	③学部・学年ごとに差		②③④	
178	高崎商科大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	対面授業のメリットや重要性を認識しているが、学生・教職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況や県内の感染状況、学内施設のキャパシティ等を考慮し、前期と同様の考え方で実施しています。	③半々	県内の感染状況や警戒度、また学内のキャパシティ等を考慮し、現時点にて決まっている。学科ごとの分教登校による授業⑤差はない実施方法を考えずに行うと判断しました。			①③④⑤	
179	上武大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		①学部ごとに差			②③④
180	関東学園大学	10.群馬県	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	教室の収容定員や非常勤講師の勤務地等で判断している	⑤差はない			②③④
181	共愛学園前橋国際大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	基本的に履修者が75名以下は対面授業、76名以上は遠隔授業としている。	⑤差はない			①②③④⑥
182	群馬医療福祉大学短期大学部	10.群馬県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大	学生間の交流が少なく、交流の機会を多くあたえたいことや、大学での講義を希望する学生が多いため。						
183	東京福祉大学短期大学部	10.群馬県	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない			⑥
184	高崎商科大学短期大学部	10.群馬県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	対面授業のメリットや重要性を認識しているが、学生・教職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況や県内の感染状況、学内施設のキャパシティ等を考慮し、前期と同様の考え方で実施しています。	③半々	県内の感染状況や警戒度、また学内のキャパシティ等を考慮し、現時点にて決まっている。学科ごとの分教登校による授業⑤差はない実施方法を考えずに行うと判断しました。				①③④⑤
185	新潟学園短期大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	既に学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流の機会の重要性を認識しているため、大きな変化はない。	①ほぼ対面	原則として対面授業であるが、担当教員の希望（遠方に居住等）によって判断した	①学部ごとに差			①②④⑥
186	桐生大学短期大学部	10.群馬県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
187	共愛学園前橋国際大学短期大学部	10.群馬県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	実習における対面授業の必要性・重要性は変わらず高いと確認しているが、一方で107活期による授業形態の選択の幅の拡大も十分考慮したいと考えている。						
188	青英短期大学	10.群馬県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大							
189	群馬工業高等専門学校	10.群馬県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
190	人間総合科学大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	実験実習授業については基本対面で行います。	④その他	実験実習科目が学科・学年により異なるため		②④⑤
191	埼玉大学	11.埼玉県	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	一部の科目において面接授業（対面授業）を実施し、学生がキャンパスを訪れ、生き生きと学ぶ姿を見て、交流の重要性をさらに感じるようになった。課外活動は制約のある中で行われている。	②7割対面	感染状況が改善した場合には、面接授業（対面授業）を増やす予定である。	①学部ごとに差		①②③④⑤⑥⑦⑧	一つの授業において、ある回は、面接授業（対面授業）、ある回は面接授業（対面授業）の内容の同時中継を実施（本学ではそのことをハイフレックス方式と呼称している。）、またある日は、オンデマンド配信など、授業の形態を、面接授業（対面授業）と遠隔授業の組み合わせで実施しているケースもみられる。学生が教員等と直接に対面する機会を確保するように努めている。
192	埼玉県立大学	11.埼玉県	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業を用いることで高い教育効果が望める場面があることが分かった一方、対面授業でなければ学問や、学生間及び学生と教職員の間の交流の重要性について改めて認識するようになった。また、本学は保健医療福祉系の人材を育成している大学であるため、実技系科目、特に臨床実習の教育の重要性について再認識をした。令和3年度教育については、現時点で前期より感染状況が安定していることも踏まえ、対面授業で実施する科目を拡大していく。特に、今年度の新入生や、昨年度対面授業の機会がなかった2年生については、対面授業実施の機会を増やすよう配慮を行う。	③半々	対面で行うこととした授業時間数の和を算出し、それを後期間間の全ての授業時間数の和で割って得た比率。	③学部・学年ごとに差		②⑤	本学は保健医療福祉系の教育を中心としており、病院や施設の御協力などで実施する臨床実習及び大学構内で実施する学内実習は、必要不可欠な教育である。そのため、臨床実習や学内実習がカリキュラム上多い学科専攻及び学年において、対面授業比率が高くなっている。
193	日本医療科学大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	・医療系の大学のため、実習が必要 ・大学関係者を行い8割以上の教職員・学生が接種済み ・教員は臨床経験者が大多数であり、専門業者による学内の消毒等方針の対策をとっている 以上の理由から、2-6の回答に至った。	②学年ごとに差		①②	3.4年生は対面での指導が必要な実習・実験が多いため、遠隔授業を少なくしている。しかし、感染対策のため登校者数を減らす目的から、1・2年生は約3割の授業を遠隔授業としている。
194	日本薬科大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	8~9月の感染状況に変化がないため、後期は前期と同様に実施することとしました。	②7割対面	6年制のなかで、国家試験を受験する6年生は面接授業を優先させる。その他の学年はキャンパス内の学生数を抑制するため面接授業と遠隔授業を2か月交替とする。この際、面接授業の期間に各学年は実習を実施する。	②学年ごとに差		①②⑥⑧	国家試験受験がある学年は十分な感染対策を実施して対面授業を実施する。
195	武蔵野学院大学	11.埼玉県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
196	浦和大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	きめ細かな教育は遠隔授業では困難であることが判明したため。						
197	ものつくり大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	「ものつくり大学 新型コロナウイルス感染症に対する活動制限に関する判断基準」に基づき、実技・実習系科目を面接で行い、一部の講義系科目については遠隔を行う予定である。	⑤差はない		②④	
198	共栄大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期から教室収容人数の制限や学内に留まる学生数の調整等、感染拡大防止に努めながら可能な範囲で対面授業を実施しており、後期も同様に行うこととしている。	③半々	感染のリスクを抑えて面接授業が実施できるように、1クラスあたりの人数を少なくするためのクラスを増設している。	③学部・学年ごとに差		①②④⑤	
199	埼玉学園大学	11.埼玉県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない			①②④⑤

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
200 尚美学園大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では取り扱う学術分野の特性から、コロナ禍でもこれまで面接授業を行っており、並行して学生のニーズに応じ遠隔授業も設置している。今後もこの考え方に変わりはない。	③半々	本学では留学生も受け入れているが、いまだに日本に入国できない学生も多く、そのニーズに応えるため、遠隔授業だけでも卒業できるような、授業のメニューに配慮しており、そのため面接授業と同等程度の遠隔授業数が必要となる。なお、学生の進捗率は面接授業を希望するため、どうしても面接授業の履修者数が多くなるが、感染対策を講じて乗り切るよう努力している。	⑤差はない	①②③④⑤⑥		
201 西武文理大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	教室内のソーシャル・ディスタンスを確保した場合の教室数と授業数を検討した場合、令和3年度前期と基本的な考え方に変わりはありません。	②7割対面	教室内のソーシャル・ディスタンスを確保した場合の教室数と授業数を検討した結果となります。	①学部ごとに差	サービス経営学部は、教室内のソーシャル・ディスタンスを確保した場合の教室数と授業数を検討した結果、対面7割・遠隔3割となった。看護学部は、対面で学ばせることで学修効果が上がることで、感染症予防対策の機能が可能であることから1割対面としている。	①②④⑤⑥⑦	
202 十文字学園女子大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし	9/30(木)までの緊急事態宣言の発出と本学独自の状況(授業回数の公平性等)により、後期授業開始日から10/7(木)までを原則すべての授業で同時双方向型主体の遠隔授業とした。10/8(金)からは、本学の「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に定めた行動制限レベルに基づき、同時双方向型主体の遠隔授業と面接授業を併用したハイフレックス型授業を実施する。	③半々	本学では、学生を学籍番号の奇数と偶数により2つのグループに分け、同時双方向型主体の面接授業と遠隔授業を適宜に実施する分散登校としている。このことから、概ね半々の実施となる。	③学部・学年ごとに差	実験・実習・演習等については、対面による指導が不可欠と判断される授業については面接授業を実施しており、学部学科や学年で、該当の授業数異なるため。	②④⑥	
203 平成国際大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	前期と比較し、対面を増やすよう時間割を作成した。	①ほぼ対面	受講学生が150名以上が見込まれる科目については遠隔授業として、専任教員については、担当科目のうち遠隔授業で行う科目を最低1科目のみとした(全ての科目を対面にしてよい)。	①学部ごとに差	法学部は全体の比率より低くなっているが、これは150名以上受講生がいる科目(遠隔授業)がスポーツ健康学部と比較して多いためである。スポーツ健康学部は全体の比率が高くなっているが、これはスポーツ実習科目(対面授業)が法学部に比べて多いためである。	①②③④⑥	
204 東京国際大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学は感染対策を講じつつ、すでに多くの授業で面接授業を実施しており、極力面接授業を実施する方針に変化はないため。	①ほぼ対面	極力対面授業を実施する方針により、面接授業と遠隔授業を併用しつつ面接授業の割合を高くするという考えから。	④その他	本学は、全学的に極力対面授業を実施することを方針として、面接授業と遠隔授業を併用しつつ、面接授業の割合を高めているが、特に医療健康学部においては、実習科目が多く、学修の特性上すべての授業を対面を実施している。	①②③④⑤⑥	
205 城西大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2020年度に実施した学生アンケートも参考にし、2021年度の授業形態を検討した。学生アンケートでは、遠隔授業の印象について、初年度、2年度以降ともに、満足との回答が約8割と高かった。多く寄せられた意見として、「通学時の感染が怖い」「遠隔授業では集中力が続かない」「友人との交流を持ちたい」であった。このことから、2021年度の授業形態については、基本的に面接授業とし、履修者数に応じて遠隔授業を併用等して実施することとした。	①ほぼ対面	現状の授業方針を継続する予定である。社会全体が、効果的な感染対策が定まれば、感染の抑制が図られれば、教室収容数の制限を解除し授業を実施する。ただし、アフターコロナにおいても、遠隔授業を取り入れていく予定である。	①学部ごとに差	理学部と薬学部においては、実験・実習を行うため、文系学部に比べ面接授業の実施率は高い。	①②③④⑤⑥	
206 東邦音楽大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
207 獨協大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度春学期授業開始の方針である感染防止対策を十分に先行しながら面接授業と遠隔授業を併用して行うことについて、秋学期においても基本的方針に変更はありません。ただし緊急事態宣言が9月末まで発令されていたこともあり、10月8日までは遠隔授業の割合を増やす対応を取りました。	②7割対面	感染防止対策の観点から履修登録者数の多い科目を遠隔授業で実施し、その他の科目は面接授業で実施することを基本とします。しかし、教員の健康面の配慮や科目の特性、遠隔授業ならではの教育効果なども考慮し、面接授業の割合はおおよそ7割と見込んでいます。	③学部・学年ごとに差	本学では、外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部があり、学部・学年により履修科目の違いとその特性によって、面接授業・遠隔授業の差異が生じる場合があります。	①②③④⑥	
208 日本工業大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学では令和3年度春学期(前期)より対面授業を中心とした運営を実施している。実験・実習科目については遠隔授業よりも対面授業の方が教育効果が高いことや学生間士の交流の機会の確保も重要であると考えている。以上の点を踏まえ、秋学期(後期)も感染対策を十分に講じながら運営することとした。	①ほぼ対面	200名以上の履修者が見込まれる遠隔授業でも十分な教育効果が確保できる知識伝達型の全学共通科目を中心に遠隔授業とした。	⑤差はない	②③④⑥⑦		
209 埼玉医科大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	医療系大学として実習や演習の重要性がより認識された。	③半々	新型コロナウイルスの感染状況による	③学部・学年ごとに差	学年により対面を実施する演習、実習の授業比率が高いため、座学が多い学年は必然的に遠隔授業が多くなる。	②④⑤⑥⑦	
210 埼玉工業大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	①対面授業(実験・実習・演習・卒業研究)②ハイフレックス型授業(一つの授業を対面とオンラインで同時に行う形式。学生は対面又はオンラインでの受講を選択できる)③オンライン授業の3つのパターンがあり、①と②授業を実施することを科目の割合以上が対面授業となる予定である。対面授業を確保上の理由等で大学に来ることができない学生がいた場合、そうした学生に対する配慮をすることとし、教員に対しても教員の健康上の理由で感染リスクが高い場合、非常勤講師の本務先の方針で対面授業実施が難しい場合に限ってオンライン授業を認めた。	⑤差はない	①②⑤⑥		
211 駿河台大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	④その他	可能な限り対面型の授業実施を行うことを基本とするが、受講者が一定数を超える授業や通常時の定員を減らした教室の状況により、遠隔授業や面接授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型の授業を行うことを基本方針としている。秋学期においては、対面での教育効果を認識し、感染対策を講じる一方でより感染力の強いデルタ株の進展や無症状感染者の授業参加率、教室の環境確保の点で春学期とは異なる対応が必要となっている。	③半々	夏期休業期間における感染状況や音響面における緊急事態宣言、学生のワクチン接種状況等を考慮して、秋学期については段階的に対面授業を再開し、9月17日から9月末は原則として遠隔授業、10月1日から10月10日の期間で必修演習科目における対面授業を再開し大学における感染症対策や感染予防措置等について周知、説明をしたうえで、10月10日からは春学期クラスルームでの授業において対面授業を行うこととしている。	③学部・学年ごとに差	1) 学部における差異については、①教室の定員を半分としている以上、各学部の定員・クラスサイズが異なることによる要因がある。②法学部や経済経営学部のように講義科目の比率が高い学部とメディア情報学部、スポーツ科学部、現代文化学部、心理学部のように実習実技科目の割合が一定数ある学部での差異がある。2) 学年における差異については、産学の講義科目と必修演習や実習実技科目の割合が影響している。低学年では共通教養系などで講義科目が一定数あることもあり、授業数としては産学の講義科目が多くなる。一方、3年度においては、前述の三つの学部において実習実技科目の割合が高くなる場合があることによる。なお、1年次生については、キャンパスに入学して学ぶ機嫌の確保等の観点から、必修実習科目を面接授業とする他、必修実習科目をハイブリッド型とし、学生をグループ分けする交代制により、対面で授業を行う機会を増やすこととしている。	①②③④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・理由	併用の考え方	その他の内容
212	聖学院大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では昨年の時点で、学内に施設使用状況、および感染予防対策を検討し、各授業の授業形態および履修者数を決定、各授業担当者に講義録を行った(11月)。感染予防対策を実施したうえで最大数の対面授業を実施し、併用方針として、2021年度の授業運営方針を決定していたため、秋学期においても基本的な授業運営の方針変更はない。	②7割対面	2021年度は感染予防対策の一環として本学教室定員を50%に設定し、最大限の対面授業実施計画を策定し、左記の計画を実施するにあたり、例年よりも強い各授業の履修者数を制限することとなったため、並行して一定数の科目において教室定員に限定されない遠隔授業を開講することとした。本学施設のキャパシティの問題から、本学では面接授業の割合を7割とした。	①学部ごとに差	本学人文学部児童学科、および心理福祉学部心理福祉学科は資格取得に係る多くの科目を開講していることから、他学部他学科よりも遠隔授業による授業実施が限定的。「実習・実習科目」の比率が高く、必然的に面接授業の割合が高くなった。	①②③④⑤⑥⑦	
213	女子栄養大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差		①②③④⑤⑥⑦	
214	日本保健医療大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	前期も対面授業を行い、学生の意見を聞き、対面の重要性を認識したため。	③半々	感染対策として分割して授業を行うなど使用できる教室に限りがあるため。	②学年ごとに差	演習科目や実習科目の面接授業の実施を重視した結果、講義科目の多い学年で面接授業の割合が低くなったため。	②③⑤⑥	
215	文教大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし	2021年度授業方針を定め、運営しており、感染状況の変化もあるが、対面授業の実施を続けていくことを変更するだけの要はないと考える。	②7割対面	各学部等において、各部ごとの方針に基づき、授業担当者と授業実施方法を補強し集計したものにに基づき判断。	③学部・学年ごとに差	教育学部：一部の講義科目を除き、学部全体として少人数規模の科目が多く、コロナ対策をしながら対面授業が可能。1年次科目は大規模となる講義科目が他の学年に比べ多いため、対面の比率が若干低い。2年次以降は学部全体で対面比率が高い/人間科学部：学部の特性として、大規模の講義科目が他の学部より多く、感染対策のためオンラインでの実施とした科目が他の学年に多い。/文学部：低学年に多い大規模の講義科目は、感染対策のためオンラインでの実施とした。特に1年次科目は大規模となる講義科目が他の学年に比べ多いため、学部内では1年次の対面授業の比率が低くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
216	大東文化大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	各授業科目の履修者数と各曜日・時間におけるキャンパス入構者数(見込み)を勘案した。	③学部・学年ごとに差	実習・実習系科目の割合が多い学部等については面接授業の実施割合が高い。また、初年次演習(ゼミ)系科目や、4年次のゼミ(演習)科目については面接授業での実施割合が高くなっている。	①②③④⑤⑥	
217	武蔵野短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大		①全面対面					
218	埼玉純真短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし		①全面対面					
219	城西短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2020年度に実施した学生アンケートも参考にし、2021年度の授業形態を検討した。学生アンケートでは、遠隔授業の印象について、初年度、2年次以降ともに、満足との回答が約8割と高かった。多く寄せられた意見として、「通学時の感染が怖い」「遠隔授業では集中力が続かない」「友人との交流を希望したい」であった。このことから、2021年度の授業形態については、基本的に面接授業とし、履修者数に応じて遠隔授業を併用等して実施することとした。	①ほぼ対面	現状の授業方針を継続する予定である。社会全体が、効果的な感染対策が施され、感染症の発生が見られなくなった際には、教室収容数の制限を解除し授業を実施する。ただし、アフターコロナにおいても、遠隔授業を取り入れていく予定である。	⑤差はない	①②③④⑤⑥		
220	国際学院埼玉短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	すでに前期授業において適宜遠隔授業を実施しており、また感染対策を講じつつ、学生の心に残るような交流の企画を講じてきた。	①ほぼ対面	感染状況に応じた本学独自の活動指針を設け、ホームページに公表しており、その指針を基本に学内の意思決定機関において、その都度判断している。	⑤差はない	①②		
221	浦和大学短期大学部	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大		①全面対面					
222	秋草学園短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし		①全面対面					
223	川口短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない		①②④⑤	
224	埼玉医科大学短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		②学年ごとに差	看護教育であり、学年で座学と実習授業と異なるため。	①②③④⑤⑥⑦	
225	埼玉女子短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	③全面遠隔		①全面対面	②大きな変化なし	昨年度からコロナ禍においても対面を重視していたため、その考え方に変化はない。	②7割対面					
226	山科学園短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大		①全面対面					
227	武蔵丘短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑤⑥⑦	
228	埼玉東萌短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	④その他	前期に予定していた教育実習が延期となった学生の状況や、8月頃の感染急拡大を受け、9月に後期授業の実施方法及び定期試験実施方法等についての方針を改めて策定した。前期は原則対面授業として、8月下旬から対面授業から遠隔授業へ切り替え等を行なったが、後期は、予め対面授業と遠隔授業を併用して行うこととし、今後の感染状況により、切り替え対応ができるようにしている。	①ほぼ対面	学生の学修機会確保と、感染拡大防止両方に考慮しつつ検討を行った。元々年間予定定員と埋め込んで予定していた授業は調整し、週5日単位の授業を行うこととし、一部の資格等に關する授業等を除き、後期は原則として全ての授業を12回の対面授業と3回の遠隔授業で実施する。遠隔授業を希望する学生や、今後の感染状況により遠隔授業への切り替え対応が出来るようにしている。	⑤差はない	①⑧	一部の資格等に關する授業等を除き、後期は原則として全ての授業を12回の対面授業と3回の遠隔授業を実施する。	
229	流通経済大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	教室定員により数割減で時間割を設定し、従前より少ない収容人数とすることで教室が密にならないようにする等	②学年ごとに差	低学年は一般教養の科目があり、一般教養科目は遠隔授業の比率が高いが、低学年は遠隔授業の割合が若干高くなっている。	①②③④⑥⑦	
230	明治大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	授業実施方針については、面接授業を前提としているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を考慮し、専門科目の一部で遠隔授業を併用することとした。	③半々	緊急事態宣言は解除されたが、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況は予想し難く、また、授業実施方法を頻りに変更すべきではないと判断し、後学期開始時の授業運営方針を年度末まで継続する方針である。	③学部・学年ごとに差	前学部は、4年生までは対面・遠隔の比率が半々であるが、臨床実習等を行う5・6年生は全て対面授業としている。保健医療学部は、専門科目に実習等の科目が多いため、面接授業を実施する科目の比率が高い。	①②③④⑥	
231	東都大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	現在の感染状況で面接授業を実施する場合は、前期と同様に各教室等の収容定員の50%を基準としているため。	③半々	施設のキャパシティを考慮して分散授業を実施した結果	③学部・学年ごとに差	定員未充足の学科については、教室収容定員の50%を満たしやまい、また演習や実習等対面で実施することが好ましい授業が	②③⑥	
232	千葉大学	12. 千葉県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度の授業の実施方針等を検討するに際しては、懇談会やアンケートの結果等を踏まえ、学生同士、学生と教員の交流の機会の確保の点も考慮しながら方針を検討、決定したところである。令和3年度前期にアンケートを実施し、面接授業の重要性を改めて認識した一方で、メディア授業に対する満足度が向上していることから、令和3年度後期の授業について、教育の目的や効果を考慮しながら、対面授業とメディア授業を併用して授業を実施している。	②7割対面	令和3年度後期の授業に先立ち、授業の実施方法について各別に調査を行っており、上記の調査結果を得ている。	①学部ごとに差	医学部、薬学部、看護学部においては、カリキュラムの構成上、高学年での多くの授業は医療現場での実習が実施される。医療現場での実習の教育効果を考慮し、これら授業は対面での実施が必要となることから、学部等における実施比率の違いが必然的に発生する。	②④⑤⑥	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
233	千葉県立保健医療大学	12.千葉県	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大 1年生は学科によっては対面授業がほとんどなく、学生や父兄から対面授業を強く要望する意見があったため。	③半々	本学の「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた活動指針」に基づき、講義形式の科目は原則的に遠隔授業とし、演習②学年ごとに差や学内実習などは対面授業としているため。		1年生は講義形式の科目が多いため、遠隔授業中心となっているが、学年が上がるにつれて、演習や実習が増えるので対面授業が中心となる。	②③④⑤⑥	
234	千葉経済大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし 令和3年度前期の授業方針と変わらない。履修者数の多い一部の授業のみ遠隔授業とし大多數の授業は対面授業とする。	①ほぼ対面	感染防止策として履修者数が200名以上の授業のみ遠隔授業を認めることとした	⑤差はない		②③	
235	千葉科学大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大 遠隔教育は、教育効果が低かったため。						
236	愛国学園大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし これまでの授業方針を変更しなくても実施できる状況にあるため						
237	開智国際大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし						
238	清和大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし 教務活動指針を定め、指針に基づいて決定。	③半々	教務活動指針を定め、指針に基づいて判断する。	②学年ごとに差	昨年度登校の機会が少なかった現2年次生と現1年次生の登校の機会を確保するため	①②③④⑤	
239	城西国際大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし 本年度開始前より、通学を前提とした授業を実施することを周知していたが、首都圏における緊急事態宣言の発出により、急速にオンライン授業に切り替えた。緊急事態宣言も解除され、大学の職域接種も10月15日終了することから、11月1日より、対面とオンラインを併用したハイフレックス型の授業を原則とすることを10月1日に全学生、非常勤を含む全教職員に通知した。	③半々	11月1日より、登校して対面授業を受ける学生と自宅等でのオンライン授業を受講する学生を学籍番号の末尾の偶数と奇数で分けることとした。そのため、面接授業と遠隔授業は概ね半々となる。	①学部ごとに差	実習、実験等の多い理系学部については面接授業の実施比率が高く、講義主体の文系学部においては遠隔授業の割合が高い傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦	
240	淑徳大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし 2021年度前期時点から対面での授業を基本とすることを淑徳大学学長方針としており、その方針については2021年度後学期時点でも変更はない。しかし、感染予防対策を講じた上で対面授業を実施するには教室数が不足するため、対面授業数の大幅な増加は出来ない状況である。	②7割対面	対面での授業を基本とするという淑徳大学学長方針に基づき、地域の感染状況や、教室の規模、受講者数、教育効果等を総合的に考慮し、感染症対策を十分に講じた上で対面授業の実施が適切と判断されるものについては、可能な限り対面授業とし、対面授業の実施が困難と判断される際には、対面授業に相当する効果を有する遠隔授業を行うこととした。	①学部ごとに差	各学部が有する免許・資格課程の数によって、対面授業を基本としている実験・実習・実技・演習科目が変動するため、学部学科ごとに差が生じている状況である。尚、総合福祉学部については「実験・実習・実技」科目については約9割以上が対面授業となっており、また、コミュニティ政策学部については「実験・実習・実技」科目については全科目（10割）が、「ゼミ・演習」科目については約9割以上が対面授業となっている。また、コミュニティ政策学部については「実験・実習・実技」科目については全科目（10割）が、「ゼミ・演習」科目については約9割以上が対面授業となっている。ただし、講義科目については履修人数が多い科目が多数あり、換気上定員を考慮した教室定員に収容できないことから、履修者50名以上の科目については対面授業実施割合が総合福祉学部は約9割、コミュニティ政策学部については約9割に留まっている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	科目により対面授業と遠隔授業を隔週で実施する。対面授業と遠隔授業（リアルタイム配信）の実施がないように、時間割調整を行った。
241	敬愛大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	①ほぼ対面	緊急事態宣言が解除（9月30日）されたことにより本学授業方針を決定。解除2週間後（10/19）から対面授業を実施する事としたもの。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
242	千葉工業大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし 本学では、令和2年度前期から工科大学として、対面での授業や学生同士の交流機会の重要性を認識し、感染予防対策の徹底や授業分散の工夫を講じてきました。教育に関する考え方は現在も変わっていません。	①ほぼ対面	大学として、知識の応用や実践的な技術の獲得には、オンラインによる教育だけでは不十分と考えています。そのため、本学では、原則として対面形式で授業を開講することとしており、それを踏まえた授業形態を精選しています。	②学年ごとに差	本学は工科系の5学部で構成しているため、学部間での大きな差はありません。また、1年生は人間力養成の科目を多く担当しているため、科目特性上で必然的に対面率が高くなります。	①②④⑤⑥⑦	
243	千葉商科大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	④その他 本学は、実学重視の教育理念から対面授業を重視し、可能な限り、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会を設けることが適切であると認識している。	①ほぼ対面	本学は、実学重視の教育理念から対面授業を重視し、可能な限り、学上にはキャンパスに通学して学ぶ機会を設けることが適切であると認識しているため。	④その他	全学部、面接授業、遠隔授業の割合がある程度一定となるよう調整している。	①②③④⑤⑥⑦	
244	中央学院大学	12.千葉県	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし	①ほぼ対面	千葉県を含む首都圏の感染状況が急速に減少に転じたため、少しでも多くの対面授業を実施することが大学にとって重要であり、学生にとっても必要であると考えた。本学は履修者が100名以上の授業が大部分であり、教室員の割合に比し必ず多く履修者が出席しているため、学内の感染予防対策を整えた上で、10月18日（月）より履修者数100名以下の科目について対面授業を実施することとした。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
245	麗澤大学	12.千葉県	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし 三密を回避する社会情勢には変化はないため、教室のキャンパティ等をコロナ禍以前に戻すことはできない。よって、前期同様、履修者の多い授業の遠隔授業はやむを得ない状況であるが、時間割を調整して可能な限り面接授業を実施している。	①ほぼ対面		①学部ごとに差			
246	和洋女子大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし 前期については、令和2年度前期の経験を活かして、特に新1年生には面接授業を増やすことや、全学年とも図書館の利用時間等の延長、授業以外の入構の機会を増やすことなどを効果的。後期においても、8・9月時点における感染状況が劇的に改善しているとは言えないため、前期同様の授業方針となっている。	③半々	令和3年度後期の面接授業の割合は約49.2%となっている（2021年10月現在のデータによる）。本学では「和洋女子大学 COVID-19に対する事業活動の基準」を策定し、2021年度から運用している。それに基づき授業運営基準により、それぞれの科目について面接授業または遠隔授業として設定された結果、全体の半数が遠隔授業となった。なお、基準では緊急事態宣言が発出されていく中でも、教室等施設について定員50%以下での使用と定めているため、基準変更あるいはコロナ禍以前（平常時）の状態に戻ることがない限り、現状から大幅に面接授業の割合を増やすのは困難である。	③学部・学年ごとに差	本学で定める授業運営基準では、免許・資格により必要不可欠な実験・実習・実技・演習科目などや、PC・書道・身体運動科などの遠隔で行うことが困難な科目について面接授業を認めている。そのため、例えば実習が多い学部・学年と講義が多い学部・学年ではそれぞれ遠隔・面接授業の割合に差異が生じることとなる。	②④⑤⑥⑦	
247	国際武道大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	④3割対面		②学年ごとに差		①②④	
248	神田外語大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大 前期より全国の感染者数は増加していたが、ワクチン接種率が上昇していることもあり、前期同様に対面授業に比率を65%から70%にした。	②7割対面	前期より全国の感染者数は増加していたが、ワクチン接種率が上昇していることもあり、前期同様に対面授業に比率を65%から70%にした。	②学年ごとに差	遠隔授業より授業目的を達成できる1、2年生の語学必修を対面授業、3、4年生の実習系授業、ゼミを対面授業としている。	①②④⑥⑦	
249	秀明大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	②7割対面	10月7日時点で対面50%、一時遠隔25%、遠隔25%で開講している。今後の感染状況を見たらうて、一時遠隔を対面へ移行する予定のため。	①学部ごとに差	実技系科目が必修となっていること等の理由から実施比率に高低が生じている。	①②③④⑥⑦	
250	川村学園女子大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし 感染状況により対面授業と遠隔授業を併用している。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
251	東京情報大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	後期の授業実施方針を検討していた8月・9月は、感染者が増加傾向にあり、また緊急事態宣言発出中であったため、前期と同様に面接授業と通隔授業の併用で実施することとした。	③半々	キャンパス内及び教室内の3密を抑制するために、以下の対策をして、面接授業と通隔授業を半々で行うこととした。①学年・面接授業と通隔授業の曜日を指定し登校数を抑制する。②教室の収容定員を通常の半分以上に座席の間隔を空ける。③履修者数が教室の定員を超える場合、通隔授業またはハイブリッド授業に切り替えるか、履修者を絞り教室への入室人数を抑制する。	①学部ごとに差	面接授業の割合が低い学部は、医療系の学部であり、ほとんどが必修科目で1クラス（教員）で実施する予定であったが、1教室に全員を収容することが難しかったため、通隔授業に切り替えて実施している。また、臨地実習も実習施設の都合で通隔での実施の割合が高い状況である。	①②③④⑤⑥	
252	東京基督教大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	③通隔授業を拡大	本学は3学期制。秋学期（8月下旬開始）時点で感染拡大を踏まえて通隔授業を増やした。冬学期（12月開始）では面接との併用授業を増やす予定	③半々	各学期の状況は学生の希望を踏まえて判断。全寮制のため、入寮希望学生の人数にもよる。	⑤差はない		②⑥	
253	聖徳大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学内での感染防止策を講じたうえで、令和3年度前期の実施方法を継続し、学生間の議論の場としての面接授業の重要性を認識しつつ、段階的に面接授業に移行していく。H1f環境の拡充工事が予定通り完了し、令和3年度後期授業より学生が通隔授業と面接授業を学内で受講しやすい環境を整備するとともに、面接授業と通隔授業のハイブリッド授業を展開しやすくなるよう設備の増強も実施した。また、本学を会場として希望する学生及び教職員に対し、新型コロナウイルスワクチン接種を9月中旬に完了した。	③半々	各学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法等を勘案して、面接授業と通隔授業の併用を基本として進めていく。基本的に面接授業のみで行う科目についても新型コロナウイルス感染症に係る健康上の理由等により出席できない事情のある学生に対しては、面接授業の同時中継またはオンデマンド配信などにより内容をフォローする。	③学部・学年ごとに差	各学部の教育課程に沿って令和3年度後期に開講される科目について、学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法（講義・演習・実験・実習）等を勘案して、面接授業と通隔授業の併用を基本としつつもそれぞれの科目の特性に合わせて実施方法が異なるため、実施比率に違いが生じる。【医学部】ゼミナール、特定の演習・実験・実習科目については、原則として面接授業。それ以外の科目は、原則として通隔授業を中心とし、状況に応じて面接授業を実施。【心理・福祉学部】原則として、面接授業と通隔授業を組み合わせて実施。一部の演習・実験・実習科目について面接授業を実施。【文学部】1・2年生については、面接授業を中心に実施。3・4年生については、原則として、面接授業と通隔授業を組み合わせて実施。ゼミナール、実験・実習科目については面接授業を実施。【人間栄養学部】演習・実験・実習科目については、1クラスを2グループに分割して、2教室同時進行で面接授業を実施。講義科目については、配信による通隔授業を実施。面接授業の欠席者については、オンデマンド配信等により内容をフォローする。【看護学部】原則として対面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを通隔授業で実施。【音楽学部】原則として対面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを通隔授業で実施。【全学共通科目】複数の学部の学生が同時に履修する科目については、原則として通隔授業で実施。	①②③④⑤⑥⑦	
254	江戸川大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では教室施設の利用を50%に低減して授業を行うため、対面で行う授業について原則として学籍番号を偶数・奇数にわけず半数の履修生を実施しています。この制約の緩和は、今後の感染蔓延状況などを踏まえて引き続き検討を行います。	④3割対面	後期の授業実施を計画する段階で地域の感染蔓延状況により各授業の実施形態を決定しています。本学では大学施設を確保しており、感染症対策が想定される11月以降については、今後の感染状況等も踏まえた上で、対面授業追加の検討をしています。ただし、当面の授業実施については、原則として学籍番号の偶数・奇数の半数対面方式により行うため、対面授業実施の定義となる。全ての学生が半分以上の授業時間を対面で受講する状況には寄与しないと想定しています。	②学年ごとに差	1年生については、教育効果等も考慮し実施割合が高くなるよう計画しています。	①②⑤⑥	
255	了徳寺大学	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
256	樟草学園大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②③④⑤⑦	
257	三育学院大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学びの質を考えると対面の重要性が大きいとの教員からの意見が多かった。	①ほぼ対面	面接授業の重要性からできる限り対面で行う予定だが、ソーシャルディスタンスを確保することで教室が不足することや、コロナでの講師の移動が困難なケースもあり、通隔授業が必要である。	②学年ごとに差	1年生は広いキャンパスと校舎で過ごすため、全員教室で授業を受けるゆとりがある。2年生は東京校舎での学びとなるが、建物が多く、学生数が多いため、ソーシャルディスタンスをとると入りきれず、通隔で自宅から授業を受けるグループもある。3年生は病院実習が中心となるため、全て対面となる。4年生は授業科目が少なく、卒業研究、総合実習、国家試験対策が中心となるので、通隔授業でも受講可能なことが多い。	②⑥	×
258	亀田医療大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期はほとんどの授業を面接授業で実施していた。後期も感染症対策を徹底し、前期と同様にできる限り面接授業の実施を行うこととなっている。	①ほぼ対面	通隔授業でも面接授業と変わらない教育効果が認められる授業について、通隔授業で実施予定であるが、原則は面接授業で実施予定である。	⑤差はない		②④⑤⑥	
259	東邦大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		③学部・学年ごとに差	学年によって実習や実験等の比率が異なることに加え、学部の規模やキャンパスの施設面も異なるため	①②③④⑤⑥⑦	
260	千葉経済大学短期大学部	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期の授業方針と変わらない。少人数授業が多く、実習・実技授業もあることからすべて面接授業とする						
261	千葉明德短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面	新型コロナウイルス感染の収束に至っていない状況下において演習科目は対面授業、講義科目は基本オンライン授業とする。但し、閉性者が多数発生した場合には、オンライン授業とする。	⑤差はない		②④	
262	昭和学院短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	新型コロナの陽性者は4月～9月までで5名で、学生のワクチン接種も進んでいることから、大きな変化はない。						
263	聖徳大学短期大学部	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学内での感染防止策を講じたうえで、令和3年度前期の実施方法を継続し、学生間の議論の場としての面接授業の重要性を認識しつつ、段階的に面接授業に移行していく。H1f環境の拡充工事が予定通り完了し、令和3年度後期授業より学生が通隔授業と面接授業を学内で受講しやすい環境を整備するとともに、面接授業と通隔授業のハイブリッド授業を展開しやすくなるよう設備の増強も実施した。また、本学を会場として希望する学生及び教職員に対し、新型コロナウイルスワクチン接種を9月中旬に完了した。	③半々	各学部の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法等を勘案して、面接授業と通隔授業の併用を基本として進めていく。基本的に面接授業のみで行う科目についても新型コロナウイルス感染症に係る健康上の理由等により出席できない事情のある学生に対しては、面接授業の同時中継またはオンデマンド配信などにより内容をフォローする。	③学部・学年ごとに差	各学部の教育課程に沿って令和3年度後期に開講される科目について、学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法（講義・演習・実験・実習）等を勘案して、面接授業と通隔授業の併用を基本としつつもそれぞれの科目の特性に合わせて実施方法が異なるため、実施比率に違いが生じる。【保健科】特定の科目については、原則として面接授業。それ以外の科目は、原則として通隔授業を中心とし、状況に応じて面接授業を実施。【総合文化学部】原則として対面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを通隔授業で実施。【専攻科】原則として対面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを通隔授業で実施。【全学共通科目】複数の学部の学生が同時に履修する科目については、原則として通隔授業で実施。	①②③④⑤⑥⑦	
264	清和大学短期大学部	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし							
265	千葉敬愛短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大							
266	東京経営短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
267	樟草学園短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②③④⑤⑦	
268	木更津工業高等専門学校	12. 千葉県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期から面接授業を実施しているため、考え方に大きな変化はない。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
269	東洋学園大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	コロナ禍での教室のキャパシティや教室数などを考慮して授業形態を決定した。	②学年ごとに差	ゼミや必修の語学科目などの少人数の科目を面接授業に設定したため、1年生の面接授業の科目数が多くなっている。	②④	
270	創価大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	④その他	本学は教育上、対面やキャンパス、寮等での学生間のコミュニケーションを重視しており、本年度前期についても約8割の授業を対面で実施する方針でスタートしたが、感染拡大状況や緊急事態宣言を受け、対面とオンラインの割合を変化させながら授業の実施を行った。後期については、8割の感染拡大状況から、9月からの授業について、対面とオンラインの割合は約半数で授業を実施している。そのような背景から対面重視の考え方は変化はない。	③半々	デルタ株への対応を考慮し、キャンパスの入構者や学生のフックン接種率、都下の感染拡大状況、入国制限と地方在住し①学部ごとに差 通学が困難な学生への配慮を下に判断している。		履修人数の少ない授業は面接授業、履修人数の多い授業は遠隔授業を原則として、1、2年生については、基礎科目等、比較的履修人数の多い授業が多く、3、4年生については、専門科目を中心に、履修人数の少ない授業が多くなっている。その上で、1、2年生については、必修科目等を面接授業とする等、面接授業の機会を確保している。また、実験、実習等、技能、技術を修得する科目が多い学部については面接授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
271	東京大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	大学の存在意義を鑑みれば、授業だけでなく、課外活動や様々な交流の機会を通した学生同士あるいは教員と学生とのネットワークづくりも極めて重要である。そのようなネットワークづくりは対面での人的つながりの形成が欠けずに有効であることは言うまでもなく、昨年度も人的ネットワークをつくることに留意した。2年度末の学生に対して、この秋学期に学部前期の授業課程から学部後期の専門課程に教育課程が移行していく段階において、全学として各学部・学部にネットワークづくりについてそれぞれ取り組みの共有とともに、格別の配慮を求めている。	④3割対面	東京都においては先月末に緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染症は収束が確認されたものではなく、先行きはまだ不透明なことから、現在の感染状況だけで適切な判断を行うには、なお困難な状況にある。従って、本学の活動制限方針のレベルに基づいて、授業は遠隔(前期)を引き続き、最大限の感染防止対策を講じた上で、対面授業とオンライン授業を併用して行う予定。	①学部ごとに差	専攻分野におけるカリキュラムや授業形態の違いによるもの、オンラインでも対面と変わらぬ教育効果が期待できる授業形態が多い分野と、対面による方が教育効果の高い実験や実習の多い分野とは、対面授業とオンライン授業の実施比率は異なっている。	②③④⑤⑥⑦	
272	東京医科大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、主に講義科目をライブ受講できるようWeb会議システムを利用した同期型授業を令和2年4月より導入した。前期型(双方向型)授業と本学のLMSを利用した非同期型(オンデマンド型)授業を組み合わせたことにより、教育の質を一切落とさずと、令和2年4月から当初の予定どおりの授業実施を可能とした。一方で大学に入学できないことによる学生の孤立化問題も顕在化していることから、特に新入生にある令和3年度の1年生に対しては、感染予防に十分留意した上で面接授業の割合を増やすなど、人間関係構築のためにも、面接授業と遠隔授業を併用していく予定である。	③半々	令和3年度後期も引き続き、遠隔で行える講義、実習、演習は遠隔で行うことを基本とするが、遠隔での実施が困難な実習・演習については面接授業で行うことから、面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。	③学部・学年ごとに差	各学部学科・専攻の1年生については、大学入学後に新たな人間関係を構築するためにも、感染予防に十分留意した上で、面接授業の割合を増やす予定である。また、各学部学科・専攻の②④⑤⑥⑦ 高学年については、臨床実習など対面で実施する必要があるため、面接授業の実施比率が高くなっている。	②④⑤⑥⑦	
273	東京外国語大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	基本的には、令和3年度前期と同様の認識に立っており、また、具体的な状況も変わりはない。方針としては、感染予防の観点から、大人数の履修者数が見込まれる授業については、遠隔(オンライン)授業として実施し、比較的少人数の履修者数が見込まれる語学の授業等においては、教室のサイズ(定員の1/2まで収容)に配慮しながら、対面により授業を実施している。なお、この間実施した学生アンケートにおいて、語学の授業については、対面での実施について、好意的な意見が寄せられている。	②7割対面	令和3年度前期と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けるために、学生の来学に際して交通機関の混雑が予想される時(1限)や、大人数の履修者が見込まれる授業については、可能な限り遠隔により行うこととしている。また、特定の曜日(水曜日)は遠隔(オンライン)授業として、時限(6・7限)を新設のうえ、遠隔授業を行う時限として、⑤差はない (海外協定校との連携授業等の実施が見込まれている)。上記のとおり、曜日時限により、面接(対面)と遠隔(オンライン)で行っている時限等を設定し、授業科目の性質や教員(非常勤講師を含む)の割合に応じて、授業編成を行った結果、このような比率となった。	⑤差はない	①②③④⑤⑥		
274	東京芸術大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度は、前期・後期ともに実技授業については対面で行う方向で進めている。	③半々	本学の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応方針に基づき判断している。	④その他	実験、レクシ等の対面授業は感染防止対策を講じた上で基本的に学内で実施し、講義等については、原則として、オンラインによる遠隔授業を実施している。	②	
275	東京工業大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	・コロナ感染が再度拡大する可能性もあり、また、キャンパスや設備についても大幅な改善が困難な状況であり、基本的な考え方は変化はない。引き続き、本学はキャンパスを中心とした対面の学びを基本としつつ、対面と同等の教育効果が期待できる授業科目や、授業運営方法の精緻から対面授業では十分な感染防止策を講じることが困難である授業科目については、オンラインで実施することとする。特に、実験、実技等を伴う科目、大学の設備を必要とする科目は、講義室、実験室等の密を避け、感染防止に最大限配慮した上で対面にて実施することとし、学生・教職員の健康と安全に最大限の注意を払い、キャンパス内における感染リスク回避に配慮したうえで、学内外の感染状況に応じて適宜柔軟に判断している。	③半々	・本学はキャンパスを中心とした対面での学びを基本としつつ、対面と同等の教育効果が期待できる授業科目や、授業運営方法の精緻から対面授業では十分な感染防止策を講じることが困難である授業科目については、オンラインで実施することとする。特に、実験、実技等を伴う科目、大学の設備を必要とする科目は、講義室、実験室等の密を避け、感染防止に最大限配慮した上で対面にて実施することとし、学生・教職員の健康と安全に最大限の注意を払い、キャンパス内における感染リスク回避に配慮したうえで、学内外の感染状況に応じて適宜柔軟に判断している。	③学部・学年ごとに差	実験系分野では面接授業が多くなり、非実験系分野では少ない傾向にある。また、実験科目が多い学年と少ない学年があるためばらつきがある。研究室に所属する学年は、実験があるため、面接で実施している機会が少なくなる。	①②④⑥⑦	
276	お茶の水女子大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルスの感染状況が収束した場合は面接授業の比率を向上させたい。という方針については昨年度から変わってはいない。また、学生のフックン接種率が後期にかけて進んだため、面接授業実施のための障壁は低くなったと感じている。	③半々	緊急事態宣言が解除されたことを受け、現在「基本オンライン」で実施している授業方針を10月下旬に検討する予定であるが、実験系授業科目や語学系授業科目については教室の収容定員との関係を引き続き「オンライン」を継続せざるを得ないと考えられている。	②学年ごとに差	科目数比率でもと教養系語学系の授業科目は「オンライン」であるので、低学年ほどオンラインの比率が高い。しかしながら、低学年ほど履修する科目数が多くなる傾向があり、特に学部2年生は結果的に昨年度のデータ分析から最も多くの面接授業を受けていることが分かっている。	①②③④⑥⑦	
277	東京学芸大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	今年度に入ってから、度重なる緊急事態宣言の延長により、コロナ感染収束の見通しがたない状況であったが、春学期は対面授業(一部遠隔授業含む)を重視した方針により、授業を実施した。秋学期に向けて、「令和3年度秋学期の授業のあり方」に関する方針のもと、教養系授業(一部遠隔授業含む)を前提として、更に、対面授業率を向上させることを目標に、感染拡大防止と修学機会の確保の両立を目指すことにした。	②7割対面	春学期同様に学生の修学機会の確保と感染拡大防止を図れるように、下記の計画を作り、対面授業と遠隔授業のシミュレーションをし、学内調整を行った結果の見込みである。方針1 令和3年度秋学期は基本的に同期型授業(対面授業)※を前提とする方針。感染予防の観点から、一般教養講義の収容率を約50% (30人程度)程度に抑える方針3 概ね一般講義講義の収容率約50% (30人程度)を超える履修者の多い授業は、「遠隔授業」※とする方針4 体育施設や研究室などのいわゆる特別教室等で行う授業は収容率50% (30人程度)を超えても原則対面授業で行う方針5 同一科目は対面授業か遠隔授業か、そのあり方を統一する ※対面授業であっても、指導効果を考慮して遠隔授業を一時的に導入することができる。また遠隔授業も教室の隣接がつかい、指導の効果を考慮して一部対面授業を含むことができる。	⑥差はない	①②③④⑤⑥⑦		
278	東京農工大学	13.東京都	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	これまでも対面授業や学生の交流機会の重要性を認識し、令和3年度前期においても1~2年度の講義を中心に可能な範囲で対面授業としてきたが、8月以降、学生や教職員のフックン接種率が進んだ状況等を踏まえ、後期からは感染拡大防止の措置を講じつつ、全体として可能な限りコロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施する方針とした。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
279	電気通信大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の効率の良さは常々実感されてきたところであるが、あまりに長く続いたため、やはり学生間の交流、学生教員間の交流の減少が弊害として認識されるようになってきた。大学を学ぶ場としてのみならず、交流は不可欠な場でもあるが、遠隔ではその機能を充分に果たせない。学生をなるべくキャンパスに呼ぶよう、10月25日より授業形態を対面主体方式に変更することとした。 ※【対面主体方式】教室の収容定員を緩和し、基本的に対面で授業を実施する。教員1名につき2名程度の学生・教員への配慮を行い、遠隔での授業も認め、必ずオンラインでも受講できる。	③半々	10月25日より対面主体方式で、学域の全572授業のうち247を完全な対面授業とする。これは対面でも必修と実施される実験、演習、卒業研究は含まれておらず、これを考慮すると半分は超えるものと思われる。	⑤差はない		①②③④⑥⑦	
280	一橋大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3（2021）年度春・夏学期は、対面授業とキャンパスの持つ教育効果を確保する観点から、対面授業とオンライン授業を併用して授業を実施し、この間、学生・教職員における感染拡大防止の取組（「3つの密（密接・密接・密閉）」や感染リスクが高まる「5つの場面」の回避、対象観察結果記録表作成、マスクの着用、適度な換気、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行など）を徹底してきた。そのおかげもあり、これまでのところ、授業や研習活動、サークル活動自体を原因とする感染事例は確認されていないことから、秋・冬学期も引き続き状況を注視しながらこの方針を継続している。	①ほぼ対面	令和3（2021）年度は、対面授業とキャンパスの持つ教育効果を確保する観点から、感染拡大防止に万全を期しつつ、可能な限り数多くの科目を対面授業とし、教室割振りが困難となる大人数科目の一部科目についてはオンライン授業も適切に活用するなど、様々な工夫を通じて学修機会の確保に取り組んでいるところである。前期、2～5、で記録のとおり秋冬学期についても現方針を継続するため、教室割振りが困難となる科目を除き対面授業（およそ8割）、残りの一部科目をオンライン授業（およそ2割）となる見込みである。	⑤差はない		①②③④⑥⑦	
281	政策研究大学院大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は、日本人学生がほとんどを占める4月入学の国内プログラム、留学生が90%を超える10月入学の国際プログラムの2つのプログラムを実施しているが、国際プログラムについては後述のとおり本学には起因しない特殊事情があるため、問2-2の回答は本学における傾向の回答として国内プログラム（修士）についての回答となっている。 ※国内プログラムは対面授業と遠隔授業は半々。（国際プログラムについて）本学のプログラムは1年修了が多く、国際プログラムの学生も10月に新規渡日する留学生が多数を占めている。新規渡日留学生については、感染対策を十分に講じているが一部に留まっていることや、渡日直後には自主隔離を要すること等からオンライン講義の比率が高くなっており、留学生にもその旨は説明しているところ。なお、国際プログラムの授業についても物理的に可能な状態となったものから順次対面に移行していく予定。	②7割対面	感染症対策のため、講義定員収容定員の半数を超える履修者がいる場合はオンライン講義で実施する。また、渡日していないまたは自主隔離中の留学生が履修を希望している講義はオンラインで実施するようにしている。	⑤差はない	③④⑥⑧	本学は、秋入学の学生のうち留学生が約半数を占めることから、渡日できていないまたは自主隔離期間中の学生が履修を希望している講義についてはオンライン（またはハイブリッド）講義を実施する	
282	東京海洋大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では、令和3年度前期の授業方針を決定する時点から、学生がキャンパスで学ぶ機会や対面での交流機会の重要性を強く認識しており、そのような意味で後期の授業方針を決定する時点での考え方は相違ない。しかしながら、政府による緊急事態宣言や東京都の感染状況、特に本学のキャンパスがある地域の感染状況や学内での感染状況等を踏まえ、学生やその家族等の安全確保のため、遠隔授業もあわせて実施することとし、授業方針を「感染症対策を十分に講じた場合に対面授業で実施することを原則とし、その上でお感染拡大防止の観点から、遠隔授業での対応が可能なものや遠隔授業で高い教育効果を見込めるものについては遠隔授業で実施する。」としたことである。そして、今後については、多くの授業が対面でも実施されるものと考えている。	①ほぼ対面	本学では、学生がキャンパスで学ぶ機会や対面での交流機会の重要性を強く認識しており、令和3年度後期の授業方針を「感染症対策を十分に講じた場合に対面授業で実施することを原則とし、その上でお感染拡大防止の観点から、遠隔授業での対応が可能なものや遠隔授業で高い教育効果を見込めるものについては遠隔授業で実施する。」としたことである。そして、今後については、多くの授業が対面でも実施されるものと考えている。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
283	東京都立大学	13. 東京都	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	昨年度中に決定した2021年度の授業実施方針に基づき、前期・後期とも授業を実施している。	②7割対面	現時点の対応を今後も継続していくことを見込んだもの。	①学部ごとに差	学部ごとの特性に応じて実施比率が異なっている。	①②③④⑤⑥⑦	
284	東京都立産業技術大学院大学	13. 東京都	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍以前より対面授業を実施していること、また、22歳から72歳までの学生が在籍していることから、高齢者に配慮して遠隔授業を併用するという基本的な考え方に大きな変化はない。	①ほぼ対面	緊急事態宣言が発令されていないから。	⑤差はない		①②⑥	
285	東京福祉大学	13. 東京都	03. 私立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		⑥	
286	跡見学園女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生・教員にアンケート調査を行ったため。	④3割対面	決定時点の新型コロナウイルス感染状況による（今後変更の可能性あり）。	②学年ごとに差	現在の面接授業実施率は、1～2年生が2割程度、3～4年生が5割程度。これは、1～2年生と3～4年生は別キャンパスで環境が異なるため（1～2年生は最寄り駅からバス通学）。	①②④⑥	
287	文京学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	①対面授業を拡大	授業等を通じて寄せられた学生の意見として対面を求める声が多かった。						
288	目白大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	在学生へ行ったフクオン接種状況や授業に対する本学独自のアンケート結果から、全面面接授業でなくとも、履修者が多い講義科目の一部の履修率は、遠隔授業のメリットが大きいや教育効果が面接授業と同等もしくは同等以上と見込まれると判断したため	②7割対面	東京都内の感染状況を鑑み、本学で定員（感染症対策のため、原則1名1名）を授業毎に調整した上で、実習・実技科目は面接授業とし、演習科目は基本面接授業とするが、履修人数や教育効果が面接授業と同等もしくは同等以上の教育効果が見込まれる科目は、遠隔授業も可能とした。また、講義科目は基本、遠隔授業とした。	①学部ごとに差	経営学部はカリキュラム上、講義科目が多く、また演習科目であっても、教育効果が面接授業と同等もしくは同等以上の教育効果が見込まれると判断しており、比較的に遠隔授業が多いが、人間学部や外国語学部など、実習・実技・演習科目が多い学部は面接授業が多い。	②③⑦	
289	東京成徳大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	学生の通学して学ぶ機会の確保や対面での交流機会の重要性、現在の感染状況を考慮し、授業形態を決定するという考え方は変化はない。	①ほぼ対面	原則、対面授業のもと、授業を実施しているため。	⑤差はない	特になし	①②③④⑤⑥	
290	帝京平成大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	医療系の大学として実習・演習授業があるため、感染症対策に万全を期しながら、本来の大学での学びとを両立させるべく、現時点の判断として、「対面式」を基本として授業を実施する方針で進めています。						
291	青山学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	特になし	②7割対面	2021年度の授業運用方針として、面接授業においては感染対策の観点から教養定員の65%を履修者の上限に設定しており、この基準での運用を行うために、全学共通科目を中心に全体に約1割の科目を遠隔授業として位置付け、残りの7割の科目については、教室等の配慮を行い、面接授業を推進している。	②学年ごとに差	1年次、2年次に多くの学生が履修をする全学共通科目を中心に、遠隔授業を設定しているため、学年によって面接授業の実施割合が異なる。	①②③④⑥⑦	
292	上野学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	授業実施方法についてのアンケートを行った際、遠隔授業の実施に大きな不満はないという結果ではあったが対面授業による学びの効果に変わるものはないという声も多かった。	②7割対面	対面授業によって学習効果上がる授業、演習については、感染対策を講じて対面で行うという方針が定められた。	⑤差はない		①②④⑤⑥	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
293 大妻女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	前期中様、対面で議論する、意見を交換する、共同作業するなど、実験・実習・実技系に限らず、対面となくではできないことが数多くある事も踏まえ、対面授業を主体とすることを基本方針としている。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部特殊教室を除き教室定員を50%として教室での密状態をできるだけ回避することを考慮とし、卒業生と対面など受講対象科目(多人数)はオンライン授業のメリットを生かせること判断された科目(全体の割合)をオンライン授業とした。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
294 学習院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	授業方針を決定する6月後半時点で感染拡大が収まっておらず、文科系科目が示している現行の指針に基づく教室定員数の制限を緩和できる状況になかったため。	③半々	今後、感染状況が改善した場合、文科系科目が示している現行の指針に基づくこと、教室定員数を制限せざるを得ないため、変遷が多い科目は遠隔で実施するほかなく、教室数を増やして、現状から大きく方針を変えることが難しい状況にあるため、現状と同様おむね半々となる予定である。	②学年ごとに差	【1.2年生の対面授業が少ない理由】1.2年生の多くが履修する必修科目は、履修者数が多い傾向にあるため、履修者数が教室の収容定員人数を超えてしまい、遠隔形式で実施せざるを得ない状況にあるため。	②③④⑤⑥	
295 共立女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大							
296 慶應義塾大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	これまで本学では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、学生、教職員、関係者の健康と安全を第一にさまざまな対策を講じてきた。オンライン授業にも、距離と時間の制約からの解放、反復学習や同時双方向の議論が可能となること、また、さまざまな専攻でキャンパスへの通学が困難な学生の卒業継続を可能にするなど、一定のメリットがある。一方で、キャンパスでの学び、教員や仲間とのふれ合いは、学生の人格形成の上で重要であることは言うまでもなく、教室、図書館、体育館、グラウンドなどキャンパスでの多様な学びの重要性も本学の教育の根幹であるとの考えから、2021年度春学期においては、安全を最優先としつつ、さまざまな工夫によって学生が対面授業を受ける機会を増やす対応を行った。さらに、キャンパス内外での課外活動やフィールドワークなどを通じた教育活動の機会も確保している。2021年度秋学期は春学期の対応を継続しつつ、2022年度への準備期間と位置づけ、対面授業およびキャンパスにおける教育・研究活動のさらなる充実、およびここまですべてのオンライン授業の利点を最大限に活用することを軸に、感染防止対策を含めた全学的な検討と対応を進めている。	③半々	2021年度秋学期も、春学期に引き続き、学生、教職員の健康と安全、感染拡大防止を最優先としつつ、各学部・研究科等における教育効果をふまえて、対面授業とオンライン授業（リアルタイム、オンデマンド）を併用したハイブリッド形式による授業実施を行う方針としている。秋学期においては、オンライン授業を予定していた科目の対面授業への切り替え等、それぞれのカンパスマでの準備に応じた柔軟な対応を行い、春学期よりも対面授業数は増加した。6月から実施した三田キャンパスでの新型コロナウイルスワクチン接種接種においては、約80%の学生が接種を行ったが、変異体の脅威は今後も予測が難しく、感染防止対策はこれまで同様に行っていく必要がある状況であることも考慮した。感染防止の観点から履修者数を教室の収容定員の1/2程度としているため、すべての授業を対面授業とすることは教室数という物理的な制約がある。そのため、比較的履修者数の少ない小規模科目は対面授業を中心とし、履修者の多い大規模授業は原則オンライン授業としている。また講義科目については、対面授業と同時にオンラインリアルタイム配信を実施し、対面授業に出席する学生を代替にするなどの工夫により人数を絞って対面授業を行う形式や、同一科目において、対面授業とオンライン授業を一定の割合で併行的に組み合わせる（例えば学期前半は対面、後半はオンラインとする／隔週で対面、オンラインとするなど）形式なども可としている。	①学部ごとに差	例えは医療系学部や理工系学部では、実験・実習科目が必修となっているなど、カリキュラムの特性および教育効果をふまえて、対面授業の割合を高くしている学部、研究科がある。	①②③④⑤⑥⑦	
297 工学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	元々、コロナ対策として、キャンパシティを考慮して教室配当していたため。	③半々	・「東京都におけるリバウンド防止措置」にて大学等への要請があり、感染対策を講じたため、キャンパス内の教育・研究および課外活動に十分な注意が必要な状況にわたりがないため。	③学部・学年ごとに差	・1年次は70-80%程度が遠隔授業だが、4年次は70%が対面授業となっている。セミナー等のため、学年が上がると対面授業の比率が上がる。・化学系実験や機械系演習・実験により対面授業の比率が上がる（先進工学部1年、工学部2,3年）、建築学部では実験等がないため2年次までは対面授業の比率が低い。3年次に演習科目があるため対面授業の比率が上がる。	②③④⑤⑥⑦	
298 國學院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度の前期と後期で授業方針は変更していないが、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会的重要性は従来から認識している。	②7割対面	履修者数が概ね50名未満の授業は対面を実施し、50名以上の授業は遠隔で実施する方針としている。	①学部ごとに差	履修者数が50名を超える授業が多いため、法学部では対面授業の実施比率が9割程度となっている。	②③④⑦	
299 国士館大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の学修の在り方を再検討したとともに、7月より新型コロナウイルスワクチンの接種率を上げたことで、対面授業に対する十分な準備ができたため。	①ほぼ対面	科目の特性などにより、対面授業とすべきものを優先的に開設したとともに、キャンパス内に滞在する学生数に考慮して比率を判断した。	①学部ごとに差	キャンパスにおける教室数や通学する学生数がかかるため、若干の比率差が生じている。	①②④⑤	
300 駒澤大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期より面接で実施する授業科目を過半数以上とする方針であり、それは後期も変わりがない。ただし、後期授業が始まる時点では動向に依存する授業が実施されたことあり、面接授業対象科目であっても半期15回中7回までは遠隔（オンライン）での授業実施をルールとして認めていたため、10月末までは7回を優先的に使用（遠隔で実施）するよう教員に促した。	①ほぼ対面	学生の安全を考慮し、教室に大勢が集まることによる履修者数200名以上の科目は全面（全授業）遠隔授業での実施とし、それ以外の科目（履修者数100名以下）は対面授業対象科目とした。	①学部ごとに差	2-7の回答欄に記載したとおり、本学では履修者数200名を基準にそれ以上は全面遠隔授業科目、それ未満は対面授業対象科目とした。その結果、在籍学生数の多い学部は必然的に全面遠隔授業となる科目が多くあり、在籍学生数の少ない学部との間で面接・遠隔の比率に差が出ることとなった。	①②③④⑥	
301 実践女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	これまで実施してきた感染予防策を更に強化し、2021年度は原則として対面での授業を実施する方針としました。ただし、後期授業は、一部の授業では遠隔授業（オンデマンド）で実施することとしました。後期についても、ワクチン接種は進んだものの、引き続き感染予防が必須との判断から、当初の予定通り実施します。	②7割対面	2021年度は原則として対面での授業を実施する方針としました。しかしながら、教室定員は感染対策に配慮した人数にする必要があるため、一部の授業では遠隔授業（オンデマンド）で実施することとしました。	③学部・学年ごとに差	学部ごとの比率は次の通りです。文学部：約7割 人間社会学部：約7割 生活科学部：約8割。本学では原則として対面授業を実施する方針とし、3割を避けるために一部の授業を遠隔授業としました。全体の方針としては必修科目（特に1年生の科目）については、可能な限り対面授業での実施としました。が、遠隔授業とする目的については、各学部・学科における教育内容や授業形態、効果等を踏まえて実施方法を検討しました。そのため、学部等において実施比率が異なる結果となっています。	①②⑦	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
302 芝浦工業大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために独自の活動制限指針を設定しコロナの感染拡大に注意しながら、レベル分けし、正②7割対面授業・課外活動を運用している。		工業系大学であるため、実験・実習科目については、対面授業で実施した方が効果が高いため、対面中心としている。一方①学部ごとに差		1-3年次の面接授業と遠隔授業の実施比率は、学部・学年で変りない。4年次や大学院生は、卒業研究の関係上面接授業の割合が高くなる。	①②③④⑤⑥⑦		
303 順天堂大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	●学生からの意見として、遠隔授業のメリットが挙げられている一方で、学生同士や教職員との交流の機会を求める声も挙げられているため。●対面授業での学生相互の学び合いの機会を求めている声も散見され、個々の学生の学習行動への影響が期待できるため。●現在も感染状況が収束していない状況に鑑み、令和3年度前期引き続き、対面/遠隔のハイブリッド型の授業計画とした。●前期も感染対策を十分に行いつつ原則対面授業を実施した。看護技術習得が重要な学部では、技術指導を伴う科目が多い状況から対面授業の重要性が高く、後期も原則対面授業とすることとなった。●前期開始の時点で、後期を含めた年間の方針を決めており、後期開始の現時点で、前期感染患者数が減ってきたとはいえ、感染対策を講じることに変わりはないため。●オンライン授業でも面接授業と遜色ない内容となるよう周知徹底しているが、システムトラブルが発生したり、学生の理解度確認が依頼などからできなかつたりすることから（イテラティブな関係上、学生の届出を必須とはしていないため）、面接授業の方が教育効果が高いとの認識となった。また、学生同士での直接の交流によって学習内容の理解が深まることもあり、そのような機会を確保することが重要であるとの認識に至った。	②7割対面	●令和3年度の後期の授業について、本学医学部では6年生は医師国家試験に向けた自己学習期間のため算出対象外としたうえで、4、5年生は臨床実習（および面接6割・遠隔1割）、1、2、3年生は講義を面接と遠隔の併用、実習は面接で行う予定（および面接6割・遠隔4割）をしていることから全体で7割程度の見込みとした。●より良い学習環境の提供と感染防止対策の両立を企図した結果、おおむねこのような比率が見込まれたこととなった。●教室内での密を避けるため、対面授業は複数教室でのキャンパス内LIVE配信を併用して実施するが、構内学生数を一定に保つたが学年別に配信人数の差を生じ、同時双方型・オンデマンド型の遠隔授業も継続して実施する。●前期授業は「対面6割・遠隔4割」で行い、後期は「対面4割・遠隔6割」で行い、年度で「対面：遠隔」の比率になるように計画した年度当初の方針を維持している。●オンラインでもある程度問題なく授業を実施できることがわかってきたが、それでも授業の教育効果を考えたときにコロナ禍以前の対面授業の方が効果が高いとの認識が教員の中で確立された。そのため、感染状況や感染対策に留意しつつ、できる限りコロナ禍以前の授業形態に戻す方針となった。	③学部・学年ごとに差	●本学医学部では6年生は医師国家試験に向けた自己学習期間のため算出対象外、4、5年生は臨床実習（および面接6割・遠隔1割）、1、2、3年生は講義を面接と遠隔の併用、実習は面接で行う予定（および面接6割・遠隔4割）となっており、各学年が受講する科目の特性があるため、学年ごとの比率が異なる。●各科目の授業形態と配当年次の割合による。●医療看護学部における遠隔授業の割合は「授業約7割、2年約8割、3年約50%、4年約35%と、学年により比率が異なる。1年についてはサテライト（さくら）キャンパスで開講する科目がすべて遠隔となったことやオンラインを伴う語学科目を遠隔で行うことなどにより遠隔の比率が他学年に比べて高い。また学年が上がるにつれて講義科目が少なくなり方法論等の実技科目や実習科目が多くなるため、対面比率が高くなる。	①②③④⑤⑥⑦		
304 上智大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	④その他	秋学期の授業は、10月末までをオンライン中心、11月以降は対面中心でオンラインも併用、という方針を示している。2021年度開始時より、対面中心の方針は変わっていないが、感染状況やリスクと考慮した上で、10月末までは、対面による指導が可能なと考えられる科目（2割程度）を除きオンラインとしている。	②7割対面	多人教科目は、本学のキャンパス、教室事情を考え、原則オンライン（オンデマンドを含む）とする方針を年度開始時より示している。これに、教員の健康上の問題でどうしても対面授業実施が困難と判断する科目や、オンライン実施とすることでより高い教育効果が望める科目を加え、約3割がオンライン授業となる（11月以降）。10月末までは2-5で回答のとおり。			①②③④⑤⑥⑦		
305 昭和大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	・既に感染対策を講じながら対面で実施することが望ましい授業は対応でき、感染状況が収束するまでは同様の方法が改善であると判断したため、初年次全寮制の中での教育であり、前期の実用内容にほぼ変わらざる対応の必要な科目、遠隔が好ましい科目については、これまでの実績を基に質的に低下を引き起こさないよう実施している。	③半々	・知識の教授がメインとなる講義については遠隔、実際に学生自身が実践すべき実習については面接実施の予定、低学年に在り、前期の実用内容にほぼ変わらざる対応の必要な科目、遠隔が好ましい科目については、これまでの実績を基に質的に低下を引き起こさないよう実施している。	③学部・学年ごとに差	・実習が多くを占める高学年について面接授業比率が高い。また、新カリキュラム導入により対象学年である2次について、他学年よりアクティブラーニングを多く含むことから、面接授業比率が高い。→6年次は国家試験に向け教育効果を考えた全ての授業を対面で行っている。			
306 昭和女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	前期調査時と同様に、感染対策を講じた上で、直接対面で授業を行い、人間形成や学べない経験の機会を学生、習得する機会を設けることが最重要と認識している。							
307 昭和薬科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生に対するアンケート調査や教員からの聞き取りなどから、対面授業の重要性がより強く理解されたため。	③半々	面接授業の重要性は十分理解しているが、適切な感染防止対策を講じようとする」と教室数や座席数が不足してしまうため。			②⑥		
308 杉野服飾大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし								
309 成城大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の収束が見送せない状況は今年初めから変化がないため、授業方針の基本的な考え方も、これまで大きな変化はなかった。	③半々	今年度については、面接授業を増加させたいとの意向はあったものの、引き続き教室内の感染対策（「密」を避ける等）を講ずる必要があったことから、教室定員を大幅に減らす必要があり、これに対応できる語学・演習・ゼミナール等の人数科目を原則面接授業として実施した結果、面接授業の実施率が概ね半割となった。後期に至っても新型コロナウイルス感染症の収束が見送せないことから、前期同様の授業用とした。よって、今後も面接授業は5割程度で推移することになる。	⑤差はない		①②③④⑥		
310 聖心女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差		①②③④⑥⑦		
311 大正大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	学生の学習機会確保のため、面接授業を原則としつつ遠学による感染リスクを避けるため、遠隔合同授業の選択も可能とする。この方針は、令和3年度前期（春学期）より継続のため、後期（秋学期）についても基本的な考え方に変化はない。また、10月下旬以降、教職員等による、感染防止対策のなかで面接授業におけるアクティブラーニングを再開予定。その際、遠隔合同授業受講者が教育的に不利益とならぬよう配慮する。							
312 清泉女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大学からの依頼により遠隔授業としたものを除き、基礎実習がある、ワーク実履種である等、一定の条件を満たした科目のみ、遠隔授業とすることを認めているため、大学が比率を把握することができる。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦		
313 聖路加国際大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし		③半々	面接授業の機会の確保と感染防止対策の徹底を両立するため	②学年ごとに差	授業実施形態（講義・演習・実習）の実施比率による	②③④⑤⑥		
314 高千穂大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	学内行事や授業において、面接形式を望む声がある一方、教室内における感染を不安視する保護者等の意見もある。また、ワーク実履種の学生もいるものと思われるが、大学と学生の双方が感染防止対策を講じて、本来の大学生活に戻すべきと考えている。							

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
329	東洋大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>本学において、令和2年度後期授業に関する方針を策定した際は、「学修機会の確保（学びを止めない）」「学生等の悩みや不安に寄り添った対応（誰一人取り残さない）」「感染防止対策の徹底（圧しなく飲れる）」を掲げて検討を行った。さらに、これらに加え、令和3年度授業方針の策定に当たっては、キャンパスへの通学や対面による授業実施を強く望む学生の声を踏まえつつ、これまで以上に充実した学修を提供することを旨として、各委員会や各学部等において検討を進めてきた。以上の検討を進めるなかで、本学では既に対面により学ぶ機会、学生と教員、及び学生同士の交流機会の重要性を再認識するに至っており、令和3年度後期においても、その基本的な考え方に大きな変化はない。</p>	②7割対面	<p>面接授業と遠隔授業の比率に関しては、新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じたうえで、可能な限り同感染症が発生した以前の状態に戻すことを前提としている。この前提のもと、令和2年度における授業修習者の実績値に鑑みて、各キャンパスへの入構者総数や特定の時期に対する履修者合計数を算出して判断した。</p>	①学部ごとに差	<p>本学は、東京都、埼玉県及び群馬県にわたり複数のキャンパスを有していることから、学部・研究科や学年等を単位とせず、キャンパス単位で入構者数の調整や、面接授業と遠隔授業の調整といった総数管理を行っている。すなわち、各キャンパスの在籍学生数や教室状況等に合わせた総数管理を行うため、キャンパスごとに面接授業の比率が異なっている。各キャンパスにおける面接授業の実施比率は、①白山キャンパス（東京都）が約70%、②赤羽台キャンパス（東京都）が約70～80%、③川根キャンパス（埼玉県）が約70～80%、④飯倉キャンパス（群馬県）が約90%である。これらのうち、東京都に置く山崎キャンパスでは面接授業の比率が70%程度となる予定であるが、同キャンパスに比して、その他のキャンパスでは面接授業の比率が高くなる予定である。なお、面接授業に係る上記の比率については、感染防止対策を適切に図る観点から、緊急事態宣言などの発出状況に鑑みて、必要に応じた縮減措置を期間を限定しながら実施してきている。</p>	①②③④⑤⑥⑦	
330	東京音楽大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	<p>カリキュラムの中心である実技科目について、令和2年度後学期から面接授業で実施しており、令和3年度春学期及び秋学期も引き続き同じ方針で実施するため。</p>	①ほぼ対面	<p>実技科目及び実技を伴う科目は面接授業で、講義・演習科目は遠隔授業で実施することとした。</p>	⑤差はない		②⑦	
331	二松学会大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	<p>本学では対面による授業を基本としているから。</p>	⑤差はない		①②④⑤⑥	
332	日本大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>本学は、学生数も多く、対面授業を望む学生、オンライン授業を望む学生、通学を心配する学生及び自宅の通学環境が不安定な学生もおり、このような多様な学生にも対応していくことが重要だと考えております。特に、通学に不安を抱える学生への配慮として、対面授業をオンラインでの受講も認めております。さらに、学生数、授業形態及び学習領域も異なるため、キャンパス単位で本学共通のガイドラインに基づいた感染症対応が講じられております。学部によっては、講義科目のように履修者が多い科目では、ソーシャルディスタンスを確保した上での教室確保や時間割の都合により、履修者の分散が困難なため、オンラインでの授業を実施しています。しかし、令和3年度後学期から、履修者数が教室の収容数の半数以上の場合は、対面授業に切り替える計画を行っている学部もあります。</p>	④3割対面	<p>これまでキャンパス内でのクラスターを発生させないよう授業実施に関するガイドラインを大学として策定し、運用して対策を講じ、入構者の制限や毎日の健康観察や入構時の検温など、構内への感染者の構内立ち入りを防止するよう対応してきました。しかし、新型コロナウイルスは、発症する直前（無症状状態）から感染のリスクが高まるため、構内にも感染者がいることを想定し、教室等1か所1集合できる人数を収容定員の50%とする運用だけでなく教室に限らず人との間を1m以上空けるようガイドラインで定めています。これを踏まえると、特に文系学部のような、履修者数が多い科目が多数開講されている学部では、ガイドラインに定める要件を満たすことができず、オンライン授業の実施を必要とする状況があるため、オンライン授業の比率が高くなっていきます。</p>	①学部ごとに差	<p>理系や医療系の学部では、実験・実習等の科目を中心に面接授業を実施しています。特に、理工学部では、全学年を2つグループに分け、面接授業のグループと在宅のグループに分けて選修わりて入構し対面授業を実施しています。また、面接授業の様子をオンライン中継し同時双方向で学習できる環境を用意するなどを講じたことから、面接授業の割合が増加しました。しかし、文系学部のような、履修者数が多い科目が多数開講されている学部では、教室の収容定員を50%に削減したり、人との間を1m以上空けるようガイドラインで定めていますので、これにより面接授業の比率もオンライン授業の比率が高くなっていきます。</p>	①②③④⑤⑥⑦	
333	日本医科大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	<p>患者と接するクリニカル・クラークシップについて、感染防止対策を徹底し、コロナ禍前と同様の状態にした。</p>	①ほぼ対面	<p>対面授業の重要性と学生の安全、院内感染の防止等を踏まえ、総合的に判断した。</p>	⑤差はない		特になし	①②④⑤⑥
334	日本歯科大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	<p>全国的な感染状況に懸念があるため、また、感染症対策により講堂等の使用する施設規模が増しているため、全学的な面接授業への復帰は現状の施設規模では困難。</p>	③半々	<p>全国的な感染状況に懸念があるため、また、感染症対策により講堂等の使用する施設規模が増しているため、全学的な面接授業への復帰は現状の施設規模では困難。</p>	③学部・学年ごとに差		<p>基本的に実習や演習を面接授業とし、講義を遠隔としているが、その比率が学部・学年によって異なるため。</p>	②⑤
335	日本社会事業大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>対面授業の重視は従来からの本学の方針である。対面授業実施に向けて感染防止対策を徹底してきたことから対面授業の割合が高くなっている。</p>	②7割対面	<p>密を避けるために大規模授業はオンライン授業としたため。</p>	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
336	日本女子大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	<p>面接授業は実験・実習・外国語科目を除いた演習科目。遠隔授業は外国語科目・講義科目。</p>	③学部・学年ごとに差	<p>理学部や家政学部の実験・実習の多い学部は面接授業が多い。</p>	②③④⑦	
337	日本女子体育大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>後期授業開始時はまだ緊急事態宣言中でもあった為、前期での方針と変わらずとした。</p>	②7割対面	<p>体育大学の為、講義科目をオンラインとし、実技科目及び実技を伴う演習科目を対面授業とした。</p>	②学年ごとに差	<p>教職科目に該当する実技科目が多く、開講する学年が対面形式の比率が高くなっている。</p>	②④	
338	ルーテル学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	<p>昼食を避けるため、午前は遠隔、午後は対面とした。</p>	⑤差はない		①②③④⑦	
339	文化学園大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		②⑥⑦	
340	法政大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	<p>一部の大規模授業や学生間の密度の高い対話を必須とする授業などを除き、顧客な感染防止措置をとることによって学内での感染拡大を抑制することが可能であることが、令和2年度及び令和3年度前期の経験によって確認された。また、新型コロナウイルス発生以前に学内の人間関係を構築していた現3年生以上に比べては、オンラインでも学生間のコミュニケーションを維持することがある程度可能であったのに対して、コロナ禍の中で入学した1・2年生がオンラインのみによって学内で人間関係を構築していくことが極めて困難であることから、令和2年度、3年度の入学生に対して面接授業で受講する機会をできる限り確保することが必要であると確認された。しかし、教室での面接授業による感染リスクを抑制するためには、各教室の教室収容学生数を従来よりも少なく設定することが不可欠であること、一部の授業科目についてはオンラインで効果的に活用した方が密度の高い授業を実施できることから、オンライン授業として行い、他は面接授業とすることが最適な授業実施形態であると判断した。</p>	②7割対面	<p>本学では、令和3年度の授業実施については、「対面授業を基本とし、オンライン授業を活用する」ことを基本方針とし、とくに令和3年度の1・2年生に対しては学生間のコミュニケーション機会の確保が特に重要であることも勘案して面接授業とオンライン授業の配分を決定するよう各学部に通知している。各科目における授業形態（面接・オンライン等）については、カリキュラムや授業科目の特性を考慮し、学部の数値で判断しているため、実施比率が異なる状況となっている。</p>	③学部・学年ごとに差		①②③④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
341	星薬科大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	面接授業でも遠隔授業でも教授内容における学修の質は確保できていると考えているが、教員と学生が遠くコミュニケーションが取りづらい。前回は授業内容について話しあえる機会が、面接授業のみのため効果も大きいと考えている。	④3割対面	学生ができるだけ大学に登校することには賛成であるが、施設の関係もあり、座席などにゆとりをもたすことを考慮すると、ある程度登校する学生数を確保するを優先し、残りを見ながらできるだけ登校する割合を増やしたいと考えている。	②学年ごとに差	コミュニケーション系の科目（語学を含む）の場合は、クラス別に全員面接授業もしくは全員オンライン授業で区分けしている科目があり、その科目を実施する際は面接授業の実施率は上がる。また、実習を実施する期間も、当該年度の面接授業の実施率に合わせる。面接授業の実施率は、講義のみの期間は概ね30%程度であるが、語学実施日や実習期間は50%程度となる見込みである。		
342	武蔵大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言下では、原則として遠隔授業を実施していたが、10月15日より感染防止対策を徹底の上、対面授業を再開する。	①ほぼ対面	10月15日より一部の科目を除き対面授業を実施する。10月15日以降もオンラインで授業を実施する科目は全体の1割以下である。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
343	京都市大学	13.東京都	03.私立大学	③全面遠隔			①対面授業を拡大							
344	武蔵野音楽大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	豊かな人間性を涵養するためには、直接の対面による学生同士や学生と教職員の間の人的な交流が行われることも重要な要素であるため。	②7割対面	日本に入国できない留学生や基礎疾患がある者等、特別な理由で面接授業にも出席できない学生に対応するため、該当する科目をオンラインで開講する。	⑤差はない		①②④⑥	
345	明治大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>本学では、2021年度の授業については、三密の回避をはじめ徹底した感染防止策を講じながら、対面授業を中心に通学を前提とした授業運営を行うことを基本方針としています。新型コロナウイルスの感染状況や政府・自治体からの要請を踏まえながら、期間を限定して、オンライン授業を中心とした授業運営に切り替える可能性がありますが、この基本方針については、2021年度春学期から秋学期にかけて、変更はありません。</p> <p>なお、9月20日から始まった2021年度秋学期の授業については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、授業開始3週間（10月9日まで）はオンライン授業を中心とした授業運営に切り替え、授業開始4週目（10月11日）から対面授業を中心とした授業運営を実施しています。</p>	②7割対面	<p>新学期中に対面授業とオンライン授業が混在するほど学生が時間割に基づき学校が課を立てることに難しさを覚えること、インターネット環境等の整備された学内のオンライン授業の受講スペースに制約があること等を踏まえ、2021年度は対面授業を基本とし、オンライン授業については時間や場所に振れないオンデマンド型授業を中心に実施することとしています。</p> <p>また、大学構内での三密回避を徹底しながら対面授業を実施するにあたり、2021年度の教室収容定員は通常の3分の2以下を標準とし、通常教室では座席間隔を1m程度確保することとしたため、教室収容定員の観点から対面授業の実施可能な科目数に制限が生じます。</p> <p>これらの事情を総合的に勘案し、通学を前提とした授業運営にシフトすることができ、かつ感染防止策を講じることができるラインとして、また、対面授業とオンライン授業の混在の影響を低減することができる適正な割合として定めた見直しとして、対面授業7割、オンライン授業3割という比率を全学的な目標として定めています。</p>	③学部・学年ごとに差	全学的に新入生の登校機会を確保を目的に、必修科目など登校機会を確保につながる科目を重点的に対面形式で実施することを予定しているため、学年により、対面授業とオンライン授業の実施比率が異なります。また、キャンパスによって教室事情が異なることや学部分野によってオンラインでの代償が異なる科目の比率が異なること等から、学部等や学年によって対面授業とオンライン授業の実施比率に差が生じます。	①②③④⑤⑥⑦	
346	明治学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	2020年度の授業方針を検討・決定した時から、「本学の教育の基本は面接授業である」と決め、以後は一貫してこれと「コロナ対策」をどう両立させるかを考えてきた。その考え方に変化はなく、感染予防（学生・教職員の健康）と学生の学びの両立を両立している。この秋学期からは、面接授業を基本とする方針をより実現するため、教室定員を1/3から1/2に増やし、遠隔で実施予定であった秋学期の授業も対面で実施するよう変更した。学生の遠隔授業受講に当たっては事前申請としているが、その申請の数をより厳しい運用とした。あわせて大学でのフクチン感染対策を実施し、対面授業参加時の不織布マスク着用を強く推奨するなどして感染予防を進めている。秋学期開始2週間前（フクチン感染検出2回目）の完了を予定していたが、フクチン配送スケジュールの関係で、結果的に2回目の完了が10月上旬となった。また緊急事態宣言や感染状況を受けて、フクチン感染検出2回目完了後、十分な抗体を算出されるまでの2週間、対面授業を遠隔授業とした。（10月1日時点は遠隔授業となっている）。そのため当初実現可能であった対面授業7割について、秋学期開始後4週間は実現できなかった。	②7割対面	教室を1/2定員で使うことにすると一定数の授業を遠隔で行う必要があり、その残りを面接授業で行うという考え方になっている。緊急事態宣言が発出されるなど感染状況の悪化が生じた場合には、面接授業を一時的に遠隔授業に切り替える。	③学部・学年ごとに差	面接授業を実施する教室は全学部で共有しており、学年、履修者数に見合う教室を各授業に割り当てている。今年秋学期は教室定員の1/2で面接授業を実施するため、随時限や履修者数により教室を割り当てられない授業が学部を問わず発生している。また限の食料や発着管理が必要となる語学授業は感染リスクを考慮して遠隔授業としている。このため学部・学年により面接授業実施率が異なる。	①②③④⑤⑥⑦	
347	明治薬科大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大							
348	立教大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍の影響が1年半に及び、大学生活への影響が長期化しており、可能な範囲で対面での学修、交流を実施していくことと重要性を改めて認識している。	②7割対面	本学では感染状況に応じた活動制限レベルを設定しており、令和3年度はレベル1に引き下ろす予定である。（10月18日から）レベル1では、感染防止策を講じながら、基本的には対面で実施することとし、遠隔授業も活用していく方針である。			①②④⑥⑦	
349	立正大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度は前期から緊急事態宣言発出の有無で授業方針を決定しており、その方針に変更はない。	②7割対面	教室定員を取容定員の1/2としており、施設上、面接授業の実施が難しい科目を遠隔授業とした。	①学部ごとに差	施設に余裕がある熊谷キャンパスの学部は品川キャンパスと比較し、面接授業の比率が高い。	①②③④⑦	
350	早稲田大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	教室内での新型コロナウイルスへの感染が疑われる事例は皆無であったこと、また、オンライン授業について、学生、教職員ともにその効果を確認することができた一方、熟練は対面ではないと難しいと、学生同士、学生同士と教職員とが対面交流する機会の重要性についても改めて認識するようになった。	②7割対面	面接授業と遠隔授業の選択は、カリキュラム上の必要性に応じて科目ごとあるいは科目ごとに設定しているが、学生に対するオンライン授業アンケートの結果から、ポストコロナに対するオンライン授業の遠隔授業を希望する学生が多かったことも視野に入れて授業方法を設定している。	②学年ごとに差	今年度入学者及び昨年度ほぼ遠隔授業であった2年生に配当されている科目については、なるべく面接授業にて実施し、科目選択の際に面接授業の科目あるいは遠隔授業の科目を学生が選択できるように各学部等で工夫している。また、留学生の多い英語学位プログラム等は、入国制限の関係から遠隔授業が中心となるざるをえない。	①②③④⑥⑦	
351	国際仏教学大学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	感染を恐れている教員、学生が少なからずいて、これからの感染状況について、好転の予想がつかないなかで、面接授業と遠隔授業を今までの割合で継続するのが妥当と判断している。	④3割対面	感染を恐れている教員、学生が少なからずいるなかで、面接授業を実施するにあたり、これまでの実績において特段の不備は認められないので、これまでの実施方法を継続する。	⑤差はない		③④	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・理由	併用の考え方	その他の内容
352 学習院女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度春学期開始時点で、それまでのアンケート結果や限定的な授業実施経験から、遠隔授業のあり様の確信性は認めつつも、学生が通学して学ぶ機会や対面で交流機会の重要性を認識しており、その考え方に基本的な変化はない。	②7割対面	10月7日現在で対面で実施している7割強の科目については、新型コロナウイルス感染症に係る情勢に大きな変化がない限りはそのまま対面を継続することが見込まれる。残りの科目については、遠隔で実施することの必要性、望ましいとされる教室内密度管理等の事由によって遠隔としており、今後の数か月でそれらの事由に変化があること想定されないことから、7割強を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。』とした。	②学年ごとに差	その特性から遠隔（リアルタイム双方向）での実施が適していると判断した共通科目の外国語の授業で多く遠隔授業を実施している。当該外国語科目は必修科目として学年の履修者が多いことから、低学年ほど遠隔授業の比率が高い傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦	
353 東京国際工科専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		②学年ごとに差	2年生以上は実習・演習が増えるため、対面授業の割合がやや高くなる。	②④⑦	
354 東京保健医療専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		②⑤	
355 情報経営イノベーション専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	特に変更はありません。	①ほぼ対面	教室のキャパシティ等を勘案し判断しました。	⑤差はない	異なる学部はない。	①②④⑥	特になし
356 大学院大学至善館	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では、当初の方針のとおり、学習効果を第一に考え、2020年3月に遠隔授業を取り入れて以降の経験も踏まえ、各科目の特色、更には、各回の授業の内容を検討し、その上で、感染対策が十分にとることができると判断したものについては、オンラインでの授業を再開することとしている。なお、本学は社会人を対象とした大学院だが、緊急事態宣言が解除された後も、所属企業の指示で、対面授業への参加を禁止されている学生もいる。こうした学生へのフォローも必要となっている。	③半々	2-5に記載した、全体として、学習効果に影響を与えるクラスノムの構成、また、各科目の特色、各回の授業の内容、および感染対策について、2020年3月に遠隔授業を取り入れて以降の経験と踏まえ、総合的に判断したものである。なお、本学は社会人を対象とした大学院だが、緊急事態宣言が解除された後も、所属企業の指示で、対面授業への参加を禁止されている学生もいる。こうした学生へのフォローも必要となっている。	②学年ごとに差	学習効果に影響を与えるクラスノムの構成という観点から、1年次は、面接授業の実施比率を高くしている	⑦	
357 駒沢女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	後期の授業方針は、前期の感染症拡大防止措置を講じた上で、面接授業と遠隔授業を併用する授業方針に変更はない。また、対面で実施する方が高い学習効果を得られる授業科目、例えば、「実験・実習・実技」など本学の施設・設備を必要とする科目、学外の施設等で行う実習および「演習・語学」などは、可能な限り対面授業で実施することについても前期と同様である。なお、前期は、緊急事態宣言の発出期間については、対面を前提とした実習等の科目以外は、原則として遠隔授業に切り替えてきた。9月2日の時点で、後期開始日（9月20日）以降については、緊急事態宣言の延長を想定し、授業形態の変更や周知等の準備等を考慮し、後期授業開始より4週間の授業について、前期同様、可能な限り遠隔授業に切り替えることを決定し、より積極的に遠隔授業を活用する体制で実施している。	②7割対面	学生、ご家族、教職員の健康・安全および感染症拡大防止と学修機会の確保の両立を図るべく、遠隔授業と対面授業とを併用している。加習型科目の科目は、これまでの経験、知見を踏まえ、遠隔授業のメリットを活かして実施し、また対面で実施する方が高い学習効果を得られる授業科目、例えば、「実験・実習・実技」など本学の施設・設備を必要とする科目、学外の施設等で行う実習および「演習・語学」などは、感染症拡大防止措置を講じた上で、可能な限り対面授業で実施している。	①学部ごとに差	人間健康学部健康栄養学科、看護学部看護学科については、カリキュラム上、実習、演習が多く、また、国家資格取得を教育目標に掲げていることから、主に面接授業を実施する。	①②④⑤⑦	
358 亜細亜大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	春学期（前期）に実施した授業アンケートにおいて、秋学期に登校できるかどうかの設問に対し、「登校できる」との回答が8割を超えていたため。	①ほぼ対面	キャンパスを学びの場の基本としつつも、留学生が入国できる目途が立たない・基礎疾患等で学生が登校できない等の状況があるため。	⑤差はない		①⑥	
359 桜葉林大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	④その他	春学期からの認識の変化はない。春学期は対面で開始したが、感染拡大や病床逼迫の状況を鑑みてオンラインへ切り替えるなどの措置を執った。秋学期も対面授業を原則として行う。	①ほぼ対面	主に、ソーシャルディスタンスが確保できない履修人数、混雑緩和のため1、2時限目の授業の理由。	①学部ごとに差	航空・マネジメント学科はコースごとによりカリキュラムがほぼ1本のためほぼ対面のみで実施。大学院は社会人が多いこともあり、約90%オンライン実施	①②③④⑥	
360 国立音楽大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	対面授業に出席している学生の生き生きとした様子や教員から報告される学生の様子等を聞き、対面の重要性を再認識したため。また、本学は音楽大学のため生の音を聴いて学ぶ大切さを感じているため。	②7割対面	感染対策を講じつつ極力対面授業を実施する方向で考えている	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
361 国際基督教大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	特になし	③半々	特になし	④その他	一学部のみで原則年別の授業を行っていない	①②⑥	
362 白百合女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学の活動指針レベルに従って決定がなされるため前期との変化は特になし。	①ほぼ対面	感染防止対策の一つとして、教室内での適正な人と人の間隔をとるために、定員数50%程度にした。履修者が130名以上の科目については遠隔事業とした。また、教員側に身体的に配慮すべき事項があり、感染リスクが高いと認められた場合には、担当科目を遠隔授業とした。	⑤差はない	異なる状況はない。	①②③④	
363 成蹊大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	感染患者数の減少とワクチン接種が進んでいることを鑑み、できるだけ対面での授業実施を実施することを検討しているが、「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」が変更になっただけでなく、引き続き距離での密着や密接が生じないよう、また十分な対人距離を確保して面接授業を実施しなければならないことや、重症化リスクを抱える学生や教員への配慮も必要であることから、オンラインやハイブリッド方式で実施せざるを得ない授業も相当数ある。	③半々	「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」に従って、引き続き距離での密着や密接が生じないよう、また十分な対人距離を確保して面接授業を実施しなければならないことから、オンラインやハイブリッド方式で実施せざるを得ない授業も相当数あるため。	③学部・学年ごとに差	面接授業は、対面での実施である方がより教育効果が望める。または遠隔での実施が難しい科目を中心に実施しており、その配当率毎が学年により様々であることから、学部や年度で実施比率は一律とはなっていない。なお、1年次生と2年次生については、「令和3年度の大学等における授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対応等に係る留意事項について（周知）」（令和3年3月4日付高等教育局長通知）を踏まえ、全学共通科目で1、2年次配当の科目を対面で実施する対応を行っている。	①②④⑥	
364 玉川大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	教育の質保証の観点から、大学教育における対面授業の実施の必要性を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた十分な感染対策を講じた上で、前期より多くの授業を対面授業で行えるようになってきた。後期は、遠隔授業では体得することが難しい内容の語学科目や対面授業により理解を深めることができる演習科目などの授業を全て対面で行うこととした。	①ほぼ対面	教育の質保証の観点から、学生の学修機会の確保、対面授業の必要性を踏まえ、東京都の感染者数およびワクチンの接種状況から判断し、感染防止を強化した安全対策を講じたうえで、前期より多くの対面授業を行えるようになった。	③学部・学年ごとに差	本学の授業方針について、対面授業を実施することの必要性のある「実験・実習・実技科目」、必修科目、「演習科目」を前期は優先したが、これに加えて後期は「必修選択科目」、「語学科目」を加えた。前期同様に農学部、工学部、芸術学部については、「実験・実習・実技科目」の比率が高く、農学部、工学部、教育学部については、「必修選択科目」の比率が高い傾向にある。そのため学部により実施比率が異なる。また、1・2年生対象の「必修科目」の開設が多くあるため学年によって実施比率に差が出てくる。	①②④⑤⑥	

No.	No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
365	津田塾大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生にはキャンパスの中で対面でしか学ぶことができないことや授業以外での学生同士の交流の機会を増やしたいことから2021年度は、ハイブリッド授業（オンラインで参加する学生のほか、対面で参加する学生のいる授業形態）の割合を増やすこととしていた。しかし、少数教育を重視した教室の構造上の課題や教室の収容定員に対する換気量が基準を満たしていない教室があることから、ハイブリッド授業の数を増やしたくても増やせないという施設面での課題があった。本年7月以降、他大学での職域接種や東京都が大学と連携した職域接種により、教職員、学生のワクチン接種率が高くなってきたこと、夏期休暇中に教室の換気量を増やす工事や電源コンセントの増設工事を行うことで環境整備が進んだことにより、後期は、緊急事態宣言期間中以外ではできるだけ対面でも参加できるハイブリッド授業の割合を増やすこととし、後期の第4タームは助走期間としてハイブリッド授業を除々に増やしていき、第4タームにはさらにハイブリッド授業の割合を増やすことを考えている。	③半々	ワクチン接種の割合が高くなっていること、教室の施設整備が進んだこと、キャンパスの中でしか体験できない学びや学生同士の交流の機会をできるだけ増やしたいと考え、大方針として、後期はハイブリッド授業の割合を増やすこととし、標準上での理由や授業内容と教室の収容定員との関係などからハイブリッド授業の実施が難しい場合を除き、ハイブリッド授業を行うこととした。		キャンパスの施設の構造上の理由や授業科目の特性により、ハイブリッド授業の割合が異なる。	①⑥		
366	帝京大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	キャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性は認識しており、前期よりもできる限り多くの対面授業を提供できるように受講者の多い科目でも教室変更を行い、増員対面できるように対応しているが、必要に応じてオンライン講義も実施している。	①ほぼ対面	原則は対面を行うこととしているが、教室定員に対し履修者数が多い授業で収容する教室が無い授業は遠隔授業へ変更した。	①学部ごとに差	学生数の関係で感染防止を考慮すると1講義室内での実施が困難であり、対面とオンラインのハイブリッドで実施している学部があるため。	①②④⑤⑥		
367	東京経済大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的には前期と同様の考え方である。	①ほぼ対面	面接授業を基本とするが、履修者数が多く「三密」が避けられない授業、遠隔授業を実施することのメリットが大きい授業に比べてのみ遠隔授業とする。	①学部ごとに差	学部の専門科目において「三密」が避けられない授業がないため、面接授業の実施比率が高くなっている学部がある。	②③④⑤⑦		
368	東京女子体育大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	・学部の特性から英扶・演習科目が多いため原則として面接授業を基本としている。科目特性や施設により面接授業が困難な場合は分散または遠隔授業としている	③学部・学年ごとに差	短期大学の学科においては施設等十分に面接授業を行うことができる	②③④⑤		
369	東京神学大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
370	東京造形大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	美術系大学という事情により、制作活動や授業において大学の施設を使用する必要があること、遠隔授業では教育効果が低い科目もあることから面接授業と遠隔授業を併用することとした。	②7割対面	講義科目は遠隔授業、演習・実習科目は面接授業を原則とし、感染リスクを避けつつ、学生の学習効果を念頭に科目ごとの授業運営方針を決定した結果、上記の比率となった。	⑤差はない	特記事項なし	①②④⑥	特記事項なし	
371	桐朋学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	前期から変わらず、7割対面、3割遠隔として安定した授業を行っているため。	②7割対面	一般・語学と音楽理論授業を3割遠隔、演習系授業を7割対面としながら、遠隔授業についても、必要に応じて対面とサテライトとを両用しながら進めている。	⑤差はない	比率は異なっていない。	①②③④	⑧その他回答ではない。	
372	日本獣医生命科学大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期より学生が通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性を認識し、面接授業と遠隔授業を併用して実施していた。地域の感染状況等及び大学の規模や特色を踏まえ、後期も継続して運用する。	②7割対面	令和3年度後期授業の実施状況を鑑み、現在の東京都下における新型コロナウイルスの感染状況を考慮して上記比率を見込んでいる。	②学年ごとに差	高学年は実習科目が多く、実習科目を面接授業の形式により、優先して実施しているため、面接授業の比率が高くなる。また、低学年は講義科目が多いため面接授業の比率が低い傾向にある。しかし、1年生の科目においては可能な範囲で学生相互、教員とのコミュニケーションを図ることを目的として面接授業を行っている。	①②③④⑥⑦		
373	武蔵野大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期は、新型コロナウイルスが感染拡大する時期には、学生の教育機会の損失を最小限にとどめるべく、一時的にオンライン授業に転換した。オンライン授業は一時的の効果を上げているものの、キャンパスにおける対面授業、学生の交流機会を確保することの重要性から、教室の三密防止策（収容定員の制限）などの対策を講じて対面授業も再開している。令和3年度後期においても、一定数のオンライン授業を併用しつつ、対面授業を原則とする方針である。	②7割対面	教室の三密防止策（収容定員の制限）をとったうえで各キャンパスの学習レベルの授業科目（クラス単位）について、対面授業（面接授業）とオンライン授業（遠隔授業）の割合を算出している。全体としては割合授業を対面授業として行う予定である。対面授業には一部をオンライン授業により実施するハイブリッド型を含んでいる。	③学部・学年ごとに差	各キャンパスの学部レベルの授業科目のうち、全体としては7科では、対割程度を対面授業（面接授業）で行う予定であるが、実験・実習・実技など対面実施が不可欠な科目、あるいは語学科目など比較的少人数の科目の多い学部授業（面接授業）の比率が高く、教室の三密防止策（収容定員の制限）により、多人数を対象とする科目の多い学科は対面授業の比率が低くなる傾向にある。1年生は全学共通の語学科目やゼミ科目など、対面授業で行う科目が一定数あるものの、学科によっては多人数を対象とする必修の基礎科目が多く、対面授業の実施が難しい。そうした学科では、人数が分散する選択科目の多い2/3年生、ゼミ科目が中心の4年生は対面授業の比率が高くなるため、学年によって対面授業とオンライン授業（遠隔授業）の比率に差異が生じている。	①②③④⑥⑦		
374	武蔵野美術大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	課外活動の自粛が続く、学生にも一定のストレスが生じている。対面での学生同士の交流からも学ぶ点は多いと考えため	②7割対面	一般講義系の科目は3密回避のため可能な限り遠隔授業とする。一方必修科目または実技科目については、美術大学である以上、対面に実施する方針である。	④その他	大学としては対面授業を原則としているが、学科によっては教員やスタッフの判断により一部授業をオンライン（遠隔授業）とするケースもあり得る。未入国留学生のオンライン対応も実施予定である。	①②③④⑥		
375	明星大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	「命と身体の安全と学習の機会保障を両立させ、対面授業のメリットとオンライン授業のメリットを活かし、教育のさらなる質的向上を目指す」という授業形態の方針に大きな変更はないため。	③半々	教室内およびキャンパス内が密にならないよう、授業のために登校する日あたりの学生数を併用の0%程度に抑えるために、対面授業とオンライン授業を併用し、全授業数の50%程度を対面授業で実施する必要がある。	③学部・学年ごとに差	遠隔授業実施のため大学の環境整備が進み、学部・学科において、各科目の教育目標の達成に照らして、対面授業と遠隔授業を組み合わせることが可能になった。実験・演習科目など、対面授業であることが必要な科目を多く有する学部・学科と昨年度からの実績を踏まえて遠隔授業も効果的な科目を多く有する学部・学科とは対面授業の比率が異なる。	①②③⑤⑦		
376	和光大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大		③半々		①学部ごとに差		②③④⑤⑥⑦		
377	杏林大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度の前期から、大学の方針は対面の面接授業を主にしており、多くの学生から対面を強く望む意見を聴取したため、大学の方針と学生の意向の一致を確信した。また、感染拡大の状況の変化に合わせて対応している。							
378	日本文化大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①全面対面	①全面対面	①対面授業を拡大								

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
379	東京工科大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では令和3年度前期より、原則として対面での授業実施とし、履修人数が多く教室で実施することができない科目については遠隔授業を実施する方針としており、この方針に変更はないため。	①ほぼ対面	履修者予定数と教室の座席数に基づいています。なお、本学では9月30日まで緊急事態宣言が出ていることから、10月15日までには遠隔授業を中心に授業を実施していますが、10月18日以降は、原則として対面授業を実施します。	③学部・学年ごとに差	現時点で遠隔授業を予定している科目は、1・2年次の学生の履修が多く見込まれる科目であること、また学部の教育内容の特性により、遠隔授業での実施を予定している科目もあり、割合にばらつきがある。	①②③④⑤⑥⑦	
380	日本赤十字看護大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では令和3年度の方針を令和2年12月に決定しています。令和2年度後期は前期に行った全面的な遠隔授業から面接授業を再開させましたが限定的な再開であったため、令和3年度においては感染対策を方針にしながら多くの面談授業の機会が必要と方向性を定めました。なお、キャンパスを置く都内の感染状況によっては必要な演習・実習を除く講義科目を面接授業から遠隔授業に切り替え学生及び教職員の外出機会を削減して安全を図るといった方針もあわせて確認しています。この方針は令和3年度後期においても基本的な考え方に変更はありません。	②7割対面	本学は看護系大学のため、実習や技術演習を特に重要視しています。それ以外の科目でもグループワークやディスカッションなど学生の能動的学習が必要な科目を優先しつつ、講義科目においてもできるだけ面接授業の機会を持つことが必要と考えています。一方で、教室の収容人数の問題もあつた必要な距離をとって座席配置をした場合、全学年を全面的に面接授業とすることが難しい現状があります。このような現実的な状況を見据えて面接授業70~80%を目標に設定しています。	④その他	さいたま看護学部（埼玉県）は開学2年目のためまだ2学年しか在籍していません。このため、看護学部（東京都）に比べて教室に若干の余裕があるため、学年ごとに隔日単位で教員日と遠隔授業日を定めています。一方で看護学部（東京都）は学部生に加え大学院生も在籍しているため、隔日単位ではなく日単位で教員日と遠隔授業日を定めています。以上により実施比率に違いが出る場合があります。また、同じ看護系ですが感染状況も若干違いがあるため柱となる基本的な方針に大きな違いはありませんが、その運用に一部違いが出る場合があります。	①②④⑤	
381	恵泉女学園大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		②③④⑤	
382	多摩大学	13.東京都	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期は感染対策を講じて対面授業を実施したが、学内でクラスター感染が発生することはなかった。昨年度に実施したオンライン授業と比較すると、対面授業の方が教育効果が高いことから、令和3年度後期も対面授業を継続する。						
383	東京純心大学	13.東京都	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
384	萬葉大学	13.東京都	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期の授業方針検討・決定した際の考え方や後期の授業方針を検討・決定した際の考え方には変更はありません。本学では、東京都の状況、政府分科会のレベル水準を下に決定しております。2021年10月1日より、東京都の緊急事態宣言が解除されることが決定しました。同時に東京都の感染状況を示す主要な指標の多くが、政府分科会の「レベル」の水準になったことから、2021年度秋学期第3週目以降（10月11日～）キャンパスでの「対面授業」を再開することを決定しました。	①ほぼ対面	履修者が80名未満であれば対面授業とし、80名を超えた場合はオンライン授業としている。	⑤差はない		③④	
385	東京富士大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	対面授業を実施できる科目を増やした。対面授業が実施できる登録履修人数の制限を緩和した。	③半々	教室の収容人数と登録履修人数との関係を見直し、対面授業を実施した場合の教育効果も考慮した。	⑤差はない		②③④⑤	
386	LEO東京リーガルマインド大学 院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	いまだコロナ禍が収束したといえる状況ではないこと、及び学生アンケートで遠隔授業に対する高い満足度を得られていること。引き続き遠隔授業を併用していく方針です。	⑤ほぼ遠隔	コロナウイルスの感染防止を第一としつつ、科目の履修人数、授業実施形態（講義形式、ゼミ形式）、遠隔授業の場合の教育効果などを総合的に検討して判断しました。	⑤差はない		③④⑥	
387	デジタルハリウッド大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大		④3割対面		②学年ごとに差		①②③④⑥⑦	
388	白梅学園大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	②大きな変化なし							
389	東京医療保健大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	キャンパス所在地の周りの感染状況によって決定される学内0019-19対策本部「対面授業制限レベル」に基づき判断して	③学部・学年ごとに差	キャンパスの所在地の周りの感染状況が異なるため、また演習・実習の有無により状況が異なるため。また、学内の対面授業制限レベルに基づき、終日までの講義の実施が不可の場合は1・2年生を全面的に遠隔授業を中心としたり、面接授業の比率が低くなっている学部もある。	②③④⑤⑦	
390	東京聖栄大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学内での感染防止を注視しながら、キャンパスに活気を取り戻すためにも一層早い課外活動の再開を検討している。	③半々		①学部ごとに差		①⑤	
391	グロービス経営大学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面		⑤差はない		⑤⑥	
392	文化ファッション大学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	都内の感染状況が落ち着いた状況ではあるが、未だ通学に対して不安を抱く学生や、授業開始までに新規入団が間に合わない留学生在がいるため	②7割対面	特務機材の使用、対面による授業の必要性があるが、未だ通学に対して不安を抱く学生や、授業開始までに新規入団が間に合わない留学生在がいるため	①学部ごとに差	専攻によって、実習など対面による指導が不可欠と判断される授業の数が異なるため	①②④⑤⑥⑦	
393	大原大学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	緊急事態宣言の発令その他の特別な要請がなければ、通常と通りの対面授業を前提としている。						
394	東京未来大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	実技・実験・実習に関する科目、コミュニケーション主体及び各種のアクティブラーニングを重視している本学において、遠隔授業に一定のメリットを認めつつ、対面による交流の重要性と必要性を再認識した。特に行事などのプロジェクト参加を教育内容の1つの柱に位置付けている本学にとって対面での活動、交流は人材育成の目的において不可欠なものであることも再認識した。						
395	こども教育宝仙大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生対象の授業アンケートや学生面談等を通して、学業不振の学生のなかには遠隔授業への取り組みに苦労している状況が分かった。また、教員と学生との関係作りの点においても対面授業の重要性を強く認識するに至ったから。	③半々	基本的に演習や実技、実習に関する授業は対面（面接）を積極的に取り入れる。大人数の講義系科目は、遠隔授業を継続する	⑤差はない		①②③④⑤	
396	東京有明医療大学	13.東京都	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本学は令和3年度前期から、面接授業（対面授業）を基本とする方針のため、考え方に変化はない。						
397	東京工芸大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	④その他	令和3年3月上旬には緊急事態宣言が発令されなかったことから、令和3年前期の授業方針は対面授業を主体とするものとした。その後、キャンパス所在地である東京都・神奈川県を対象とした緊急事態宣言が発令されたことを受けて令和3年後期の授業実施方針は遠隔授業と面接授業を併用するものに変更した。	③半々	感染対策のため講義科目・語学科目は原則として遠隔授業で実施することとした。一方、教育の質の確保のための演習科目・実習科目は面接授業での実施としたことで、結果的に概ね半々の比率となった。	①学部ごとに差	2-7に回答したとおり「講義科目・語学科目は原則として遠隔授業で実施」した際、教育内容の違いにより、講義科目が多い	②③④⑦	
398	産業能率大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		②学年ごとに差	後学期もコロナ禍での感染拡大防止のため、前学期同様に対面授業では教室定員を1/2として、座席も市松模様にて着席させる座席の指定等、安全対策に配慮したうえで、8割程度実施している。各キャンパスの教室キャパ及び担当学年の科目内容や特性を考慮し、ライブ授業やオンデマンド授業を配当している。	②③④	
399	ヤマザキ動物看護大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生及び教職員のワクチン接種率が上昇しており、また緊急事態宣言も一旦解除されたことにより、対面での授業、コミュニケーションの重要性を高め①の考えに至っている。	②7割対面	緊急事態宣言が9月30日で解除されたが、東京都は10月24日まで「リバウンド防止期間」である上記に伴い感染者の動向を注視しながらオンラインを併用しつつ、徐々に対面を増やしていくため対面は7割程度となることが見込まれる。	⑤差はない		①②④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・理由	併用の考え方	その他の内容	
400	東京医療学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	原則、講義科目は遠隔授業、演習、実習科目は対面授業としている。	③半々	原則、講義科目は遠隔授業、演習、実習科目は対面授業とし、更に教室のキャパシティ、学生の分散を加味すると概ね半々となった。	②学年ごとに差	学年によって、講義、演習、実習の科目数が異なるため。	②④⑤⑥⑦		
401	事業構想大学院大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		⑧	全ての授業において面接、遠隔のハイブリッドで授業を行っています。	
402	帝京科学大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
403	宝塚大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期と比較して、本学が備えている施設では、収容定員の半分以上で運用する場合には、履修者全てを収容できる施設がない。そのため、ハイブリッド型授業で対応せざるを得ない状況である。また、面キャンパスともに、感染者が多い地域にキャンパスがあるため、通学には高い感染リスクが伴う。学生の意見としても、授業評価アンケートの中で遠隔授業でできる授業に願って、わざわざ感染リスクを犯して登校したくない旨の意見がなされていた。本学としても、医療系の学部を擁する大学として、学生への感染リスクや修得期間の負担を軽減するよう、演習科目や修得効果が高いことが見込まれる授業以外は、遠隔授業で対応すべきだと考えている。	③半々		③学部・学年ごとに差	東京メディア芸術学部1年次生は初年次科目を面接授業としたため、面接授業の割合が高い。4年次生は卒業研究のみの学生が多く、遠隔授業の割合が高い。看護学部2年次生に関しては、臨地実習が行われるため基本臨地で面接を行うため、面接授業の割合が高くなる。看護学部2年次生に関しては、演習科目が少ない傾向があり、他の学年に比べて遠隔授業の割合が高い。	②③④⑥⑦		
404	青山学院女子短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④		
405	愛国学園短期大学	13.東京都	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	文部科学省等からの通知を参考に、本学独自で新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインを策定、適宜更新をし、基本的な対応を実施している。種別的な大学で施設のキャパシティも三密防止が可能であること、教職員の仕事もおむね終えたことから、引き続き面接授業を実施することとした。							
406	上野学園大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	授業実施方法についてのアンケートを行った際、遠隔授業の実施に大きな不満はないという結果であったが対面授業による学びの効果に優るものはないという声も多かった。	②7割対面	対面授業によって学習効果上がる授業、演習については、感染対策を講じて対面で行うという方針が定められた。	⑤差はない		①②④⑤⑥		
407	大妻女子大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	前期同様、対面で議論する、意見を交換する、共同作業するなど、実験・実習・実技系に限らず、対面で行うことができないことが多くある事も踏まえ、対面授業を主体とすることを基本方針としている。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部特殊教室を除き教室定員を30%として教室での密状態をできるだけ回避することを基本方針とし、全学共通科目など受講対象者が多くオンライン授業のメリットが生かせずと判断された科目(全体の2割程度)を、オンライン授業とした。	⑤差はない		①②③④⑤⑦		
408	共立女子短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
409	国際短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	②大きな変化なし								
410	駒沢女子短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	後期の授業方針は、前期の感染症拡大防止措置を講じた上での面接授業と遠隔授業を併用する授業方針に変更はない。また、対面で実施する方が高い教育効果を得られる授業科目、例えば、「実験・実習・実技」など大学の施設・設備を必要とする科目、学外の施設等で行う実習および「演習・語学」などは、可能な限り対面授業で実施することについても前期と同様である。なお、9月2日の時点で、後期開始日(9月20日)以降については、緊急事態宣言の延長を想定し、授業形態の変更や開講の準備等々を考慮したうえで、後期授業開始より4週間の授業については、当初の授業実施方法を変更し、感染防止のため1.5割程度の割合で、対面授業遠隔授業に変更した。	①ほぼ対面	カリキュラム上、実習、演習が多く、また、国家資格取得を教育目標に掲げていることから、主に面接授業を実施する。	⑤差はない		①②④⑤⑦		
411	美少女女子大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	これまで実施してきた感染予防策を更に強化し、2021年度は原則として対面での授業を実施する方針としましたが、3密を避けるため、一部の授業では遠隔授業(オンデマンド型)で実施することとしました。後期についても、ワクチン接種は進んだものの、引き続き感染予防が必要との判断から、当初の予定通り実施します。	②7割対面	2021年度は原則として対面での授業を実施する方針としました。しかしながら、教室定員は感染対策に配慮した人数にする必要があるため、一部の授業では遠隔授業(オンデマンド型)で実施することとしました。	③学部・学年ごとに差	学科ごとの比率は次の通りです。日本語コミュニケーション学科:約7割 英語コミュニケーション学科:約7割。本学では原則として対面授業を実施する方針とし、3密を避けるために一部の授業を遠隔授業としました。全体の方針としては必修科目(特に1年生の科目)については、可能な限り対面授業での実施としましたが、遠隔授業とする科目については、各学科における教育内容や授業形態、効果等を踏まえて実施方法を検討しました。そのため、学科・学年等において実施比率が異なる結果となっています。	①②⑦		
412	東徳大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	判断時点(9月)での東京都の感染状況及び学内施設のキャパシティを勘案すると、コロナ禍以前の状態での感染対策を十分に維持できるとはいいが、やむを得ず一部の科目を遠隔授業とした。今後の感染状況を鑑みて、遠隔から対面への切り替えについて随時判断する予定である。	①ほぼ対面	判断時点(9月)での東京都の感染状況を勘案し、教室ごとの収容定員を超えざる科目については教室変更もしくは遠隔授業に変更した。また、キャンパス内の滞留人数抑制のため、併設する人文学部と調整しながら対面授業を実施することとした。	⑤差はない		①②③④⑦		
413	女子栄養大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差	1年後期は実験実習が多いため全科目を面接授業としている。2年生の講義科目のうち8科目は遠隔授業を行い、実習科目②④のある日の講義科目については面接授業を行っている。			
414	女子美術大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	美術大学である本学は、設備等の環境を含め、技術の修得には面接授業が相応しいこと、また知識と技術を修得するだけでなく、人間教育の場であることをコロナ禍のもと再認識し、一方で遠隔授業により、高い教育効果が得られる場合もあることが判明したため、面接授業と遠隔授業それぞれの利点を生かし、教育活動の向上のため、多様な授業形式を積極的に導入する予定である。	③半々	令和3年度後期の授業方針は、実技・実習授業は授業性質上、原則面接授業にて、また講義授業は教室のキャパシティ等を考慮し、原則遠隔授業である。従来、本学の授業運営形態は、1日の授業のなかで半日を実技・実習授業、半日を講義授業に充てていたため、面接・遠隔授業は、おおむね半々の割合で行うこととなる。	②学年ごとに差	カリキュラムを反映し、学年ごとに面接授業と遠隔授業の実施比率が異なることが差異の理由である。1年次は講義授業の比率が高く遠隔授業の割合も高くなり、2年次は専門分野である実技授業の比率が高くなるため面接授業の比率が高くなる。	①②⑥⑦		
415	杉野服飾大学短期大学部	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし								
416	星美学園短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期はできるだけ対面、それが変化するこはなかった。	①ほぼ対面	コロナ対策の観点から、理地が整えられる範囲で、どの授業も対面ができるような実施を考えた。	⑤差はない		②⑧	基本的には遠隔または対面で実施する学年を週ごとにほぼ均等に割り振っており、学年や授業によっての比率の振り分けは全体としていない。②で特に必要とされた授業のみ対面が多くなっている。	
417	帝京大学短期大学	13.東京都	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	キャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性は認識しており、前期よりできるだけ多くの対面授業を提供できるように受講者の多い科目でも教室変更等を行い、極力対面できるように対応した。	①ほぼ対面	原則は対面を行うこととしているが、教室定員に対し履修者数が多い授業で収容する教室が無い授業は遠隔授業へ変更した。	⑤差はない	なし	①		
418	帝京短期大学	13.東京都	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
419 戸板女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	常に半数の学生が登校して面接触授業を行い、残りの半数が遠隔授業とする体制とした	③半々	全学生の学籍番号末尾で2班に分け、週単位で対面授業と遠隔授業を交互に行うため、半数の比率となった。根拠は、学内の収容人数は常に半数以下になるよう設定した。	⑤差はない		①②⑤⑥⑦		
420 東京家政大学短期大学部	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底を図る観点を踏まえ各学部・学科等で、教育効果、授業内容から必要とされる対面授業を50%以上実施する大学の方針に基づき検討し決定した。学生へ公開した対面授業実施科目の資料による。	③学部・学年ごとに差	学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立を図る観点から、教育効果、授業内容から必要とされる対面授業を50%以上実施する大学の方針に基づき各学部・学科等で検討した。対面授業実施内容に関連があるため、対面授業実施比率が高い理由、実験・実習・実技・演習等の科目が多い学科等（保育科）	①②③④⑤⑥⑦		
421 東京交通短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①		
422 東京成徳短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	学生の通学して学ぶ機会の確保や対面での交流機会の重要性、現下の感染状況を考慮し、授業形態を決定するという考え方に	①ほぼ対面	原則、対面授業の方針のもと、授業を実施しているため。	⑤差はない	特になし	①②③④⑤⑥		
423 新渡戸文化短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	①遠隔授業のオフィスアワーについて面接触機会を設けた。②後期は実習授業が増えるため、面接触率が55%から65%に増やして実施している。	②7割対面	講義は遠隔授業、実習は面接触授業を基本とし、且つ、学年別に分散の可否を加味して時間割の設定を行った。	⑤差はない		①②④⑤⑥		
424 東京立正短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	10/4以降、各専攻課程ごとに隔週の面接触授業に遠隔授業併用の形をとるため、ほぼ公平比率	①ほぼ対面	10/4以降、各専攻課程ごとに隔週の面接触授業に遠隔授業併用の形をとるため、ほぼ公平比率	⑤差はない	各専攻課程ごとに隔週の面接触授業に遠隔授業を併用	⑧	10/4以降、各専攻課程ごとに隔週の面接触授業に遠隔授業併用	
425 東邦音楽短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
426 文化学園大学短期大学部	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		②⑥⑦		
427 目白大学短期大学部	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	在学生へ行ったワクチン接種状況や授業に対する本学独自のアンケート結果から、全面対面授業でなくとも、履修者が多い講義科目や一部の演習授業は、遠隔授業のメリットが高い点や教育効果が面接触授業と同等もしくは同等以上と見込まれると判断したため	②7割対面	東京都内の感染状況を鑑み、実習・実技科目は、定員の半分以上として、時間割を調整し面接触授業を実施している。また、演習についても、本学教室の定員（感染症対策のため、間引いた座席）を授業毎に調整した上で、実習科目は面接触授業を実施するが、履修人数や教育効果が面接触授業と同等もしくは同等以上の教育効果が見込まれる科目は、遠隔授業も可能とした。また、講義科目は基、遠隔授業とした。	①学部ごとに差	ビジネス社会学科は、カリキュラム上、講義科目が多く、基本講義科目は遠隔授業であるが、製菓学科、歯科衛生学科は実習・実技が多く配置されており、面接触授業が多い。	②③④⑦		
428 創価女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	本学は教育上、対面やキャンパス・寮等での学生間のコミュニケーションを重視しており、本年度前期についても、約前回の授業を対面を実施する方針でスタートしたが、感染拡大状況や緊急事態宣言発令、対面とオンラインの割合を変化させながら、授業の実施を行った。後期については、8月の感染状況から、9月からの授業について、対面割合の割合で授業を実施している。そのような背景から対面重視の考え方に変化はない。	③半々	法人でコロナ対策会議を実施し、その中で議論された方向性に基づいて、短大として検討し判断してきた。考え方や根拠は次の通りである。デルタ株への対応を考慮し、キャンパスへの入籍者数や学生のワクチン接種率、都下の感染拡大状況、地方に在在し、通学が困難な学生への配慮をもとに判断している。	⑤差はない		①②⑦⑧	面接触で履修者数が多い場合は、教室を二つに分けている。	
429 白梅学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	②大きな変化なし								
430 東京女子体育短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	・学部の特性から実技・演習科目が多いため原則として面接触授業を基本としている。科目特性や施設により面接触が困難な場合は分散または遠隔授業としている	③学部・学年ごとに差	短期大学の学科においては施設等十分に面接触授業を行うことができる	②③④⑤		
431 フェリスアソシエイト短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の学習効果は認識しているが、学生個々の能力差を把握して学習成果を上げるためには面接触授業中心の方式により行うことがより効果的であるため。	①ほぼ対面	本学は保育者の養成短期大学であり、教育実習をはじめ2年間で9週の実習を行い単位を取得する。その実習の事前指導では対面により個別の指導が必須であり、その際の専門科目も含めたアクティブラーニングによる効果を得るため。	⑤差はない		①②③④⑤⑥		
432 桐朋学園芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
433 山野美容芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生からの要望も取り入れながら、学内でのコロナ感染拡大予防の徹底を行い、昨年度から段階を踏んで計画的に面接触授業の割合を増やしていった。	①ほぼ対面	本学では実習科目を多数開設しており、卒業年次生を中心として技術力等習得のため面接触授業を実施予定。	②学年ごとに差	3密の状況を極力減らすため学内収容人数を調整する観点から、卒業年次生を優先して全面対面、1年次生は面接触・遠隔を隔週で実施予定。	①②⑥		
434 日本歯科大学東京短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面	基本的には座学で行われる授業は遠隔で、実習は遠隔授業での実施は難しいため面接触授業を行う。	③学部・学年ごとに差	歯科技工学科第1学年においては、技術の習得が重要な時期であること、歯科衛生学科第2学年は、臨床臨床実習が多く、こまめに行っていることから、面接触授業の比率が高くなる。			
435 東京歯科大学短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	特に成績不良の学生では、学生間での情報共有が不十分な者や、遠隔授業に集中できない者も見受けられることから、感染状況をみながら対面授業を増やすことを検討した。							
436 ヤマザキ動物看護専門学校	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生及び教職員のワクチン接種率が上昇してきており、緊急事態宣言も解除されたことから、対面の学修・コミュニケーションの重要性を認め①と認識している。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス国内感染状況の動向を注視しながら、遠隔授業を併用している。本学のカリキュラムに多く組み込まれている実習科目は、技術の習得のため遠隔授業の実施は難しく、結果として割合以上の授業を対面で行っている。	②学年ごとに差	3年次の面接触授業の実施比率は、学校全体の数値に比べ低いが、これは3年次後期に設定されている実習科目が1・2年次より大幅に少ないためである。	②⑤		
437 有明教育芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	③全面遠隔		①全面対面	②大きな変化なし								
438 貞静学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大	学修成果を達成するためには、面接触が不可欠であると考えている。							
439 東京工業高等専門学校	13. 東京都	04. 高専	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	在籍学生は関東圏から広く集まっており、通学状況や今後の感染状況の動向を考えると、もう少し様子を見てからの対応が良いと判断したため。	②7割対面		②学年ごとに差		②④		
440 東京都立産業技術高等専門学校	13. 東京都	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	基本的な考え方に変化はない							
441 サレジオ工業高等専門学校	13. 東京都	04. 高専	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
442	北里大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	実験・実習・実技科目を多く開講している本学においては、面接授業の方法が教育効果が高いと考えているため。	③学部・学年ごとに差	感染者数の多い東京都に位置する薬学部では、全学年を2つのグループに分け、面接授業・遠隔授業を交互に実施するという対策を講じている。一方で、感染者の少ない青森県に位置する薬学部では、全て面接授業とする。また、実習科目は全て面接授業で行われるが、主に1年生が受講する一般教育科目では、4割程度が遠隔授業である。	①②③④⑤⑥⑦	
443	女子美術大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	美術大学である本学は、設備等の環境を含め、技術の修得には面接授業が相応しいこと、また知識と技術を修得するだけでなく、人間教育の場であることをコロナ禍のもと再認識した。一方で遠隔授業により、高い教育効果が得られる場合もあることが判明したため、面接授業と遠隔授業それぞれの利点を生かし、教育活動の向上のため、多様な授業形式を積極的に導入する予定である。	③半々	令和3年度後期の授業方針は、実技・実習授業は授業性質上原則面接授業にて、また講義授業は授業のチャットやディクテーション、原則遠隔授業である。従来、本学の授業運営形態は、1日の授業のなかで半日を実技・実習授業、半日を講義授業に充てていたが、面接・遠隔授業は、おおむね半々の割合で行うこととなる。	②学年ごとに差	カリキュラムを反映し、学年ごとに面接授業と遠隔授業の実施比率が異なることが学業の理由である。1・2年度は講義授業の比率が高く遠隔授業の割合も高くなり、3・4年度は専門分野である実技授業の比率が高くなるため面接授業の比率が高くなる。	①②⑥⑦	
444	専修大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和3年度後期においてキャンパスに入構できる上級生を生涯キャンパスで4000人、神田キャンパスで2400人に設定したうえで、対面授業科目の検討を行い、新生生のほとんどは週3日から4日程度、1年生のときに対面授業を受ける機会が少なかった新2年生は週2日から3日程度、新3年生や新4年生については週1日から2日程度、キャンパスに通学してもらうという方針に基づいて授業を計画した。その後、令和3年度後期の授業方針を検討・決定するにあたっては、「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」（厚生労働省）の速報値で、8月中旬まで感染が確認された人のうち20歳未満の割合が、感染力の強いデルタ株の影響もあり、1か月前に比べて6倍近くに増えたとのこと、首都圏とりわけ東京都の陽性者数に占める20代の割合が、最も多い状態にあること、またそのようなデータが、最近の本学学生の陽性者数の増加にも現れていることから、本学の学生及び教職員の感染リスクをできるだけ低くすべきという考えに基づき、後期の学部授業は当分の間（後期授業開始から1か月程度を想定）、資格取得にかかわる科目等、一部の講義・実習・実験授業を除き、原則として全てオンライン授業で行うこととした。なお、現在は、9月末まで緊急事態宣言が解除されたことに伴い、段階的に対面授業への移行を進めていくところである。	②併用	本学では、一律に対面授業の割合を数値目標とするのではなく「新生生のほとんどは週1日から2日程度、1年生のときに対面授業を受ける機会が少なかった新2年生は週2日から3日程度、新3年生や新4年生については週1日から2日程度、キャンパスに通学」という方針にもとづいて授業を計画している。	②学年ごとに差	質問2-7において回答したとおり、本学では、新入生と1年次に対面授業を受ける機会が少なかった2年度は、3・4年度より対面授業を受ける機会を増やして通学してもらうという方針にもとづいて授業を計画している。	①②③④⑤⑥⑦	
445	東海大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	本学の教育では対話を重視してきた歴史がある。このコロナ禍において、友と語り、悩み、解決するという活気あるキャンパスライフをおくるために、対面での活動が重要であるということを確認したため。	③半々	全開講科目の時間割ごとに授業形態を集計した結果、遠隔授業40%、面接授業39%、遠隔と面接の併用7%だったため。さらに、感染対策として、教室定員の50%の割合を考えた場合、全体の約6割を対面で行うことが可能となったこともあり、割合を一つ目の目標とした。	①学部ごとに差	実験実習等の対面が必須となる科目や、対面授業より遠隔授業がより効果的としても、教養の習としても良いと判断される科目等、学部や学年によって異なる場合がある。さらに、50科目を超える一般教育科目と専門科目に加え、学生の興味やスキルアップなどを目的とした語学や情報系などの「全学共通科目」があり、コロナ禍以前と同じレベルの40科目以上を開講していることから、学生個人ごとに対面授業の比率は異なってくる。	①②③④⑤⑥⑦	
446	日本体育大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	前学期中の職域接種により、約65%の学生が2回目の接種を終えており、感染症の状況などもふまえて、感染防止対策を徹底しながら面接授業を進めていくこととした。	②7割対面	後学期授業については、1回目の授業を原則遠隔授業、2回目からは実技・演習科目等は原則面接授業、講義科目は原則遠隔授業としていたが、10月からの緊急事態解除に伴い、4回目（10/14）以降は、いずれの科目でも面接授業を可視とした。これにより、遠隔授業から面接授業に変更する授業が見込まれるため。	③学部・学年ごとに差	実技・演習等の授業と講義の授業で、面接授業が遠隔授業かを決めていることから、学部、学科、学年によりそれぞれ開講数①②③④⑤⑥⑦に違いがあるため。		
447	横浜国立大学	14. 神奈川県	01. 国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度春学期は、感染防止策を講じて学内の安心・安全な環境を整えた上で、学期の授業については可能な限り対面授業を実施した。しかし、秋学期当初の10月のみについては、夏のデルタ株拡大や、本学ワチン職域接種2回目（10月中旬）で終了するなどを勘案し、1ヶ月間は遠隔授業を中心に実施するが、11月からは春学期同様に対面授業を中心とした授業方法に戻すことを決定している。	②7割対面	本学では、今年度の授業方針として、感染防止策を最大限講じて可能な限り対面授業を行うこととしている。教室を最大限の収容人数は、授業方法により、試験職員又は収容率50%を上限としたため、履修人数確保が大きい授業の多くは遠隔で行うこととなった。春学期はこのよう方針によって約8割の授業を対面中心で実施したが、秋学期については、10月中は遠隔中心に実施する方針とした関係で外国語科目や他の一部科目が遠隔で実施することとなり、結果として7割程度を対面で行う予定である。	③学部・学年ごとに差	一部の学部や学年においては、他の学部や学年に比べて対面授業の比率が低くなっている。比率が低い理由としては、履修人数確保が大きい授業が他学部や他学年に比べて多くあることに加え、いままでの遠隔授業のノウハウを活かし、その実用方法を工夫することにより教育効果を得られる講義科目を中心として遠隔授業で実施することとなったこと、対面と遠隔を併用して行う授業において学生が参加方法を選択させたところ遠隔を選択した学生が多かったことなどが理由である。また、2020年度秋学期授業アンケート結果においては、「理解度」、「興味・関心」、「満足度」の平均値の全てが、2019年度結果を上回るなど、遠隔授業の教育効果が数値としても確認されていることによる判断でもある。	①②③④⑤⑥⑦	
448	総合研究大学院大学	14. 神奈川県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は全国にある大学共同利用機関の研究所等にキャンパスを置いており、各キャンパスにおいて学生及び指導教員・授業担当教員の意見等を採り入れた結果、2〜4の回答となった。	③半々	全体の3分の1の専攻が①ほとんどの授業を面接授業で行う予定を選択し、全体の3分の1の専攻が⑤ほとんど遠隔授業を行う予定を選択し、残りの3分の1の専攻が③面接授業と遠隔授業をほぼ半々で行う予定を選択していたため。	③学部・学年ごとに差	本学は全国にある大学共同利用機関の研究所等にキャンパスを置いており、各キャンパスにおいて学生及び指導教員・授業担当教員の意見等を採り入れた結果、キャンパスごとに異なる状況となった。	①②③④⑤⑥⑦	
449	横浜国立大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の授業方針を決定した際には、特に新入生から対面での交流を望む声があることや、本学でも学生同士つながりが人間形成を育むことの重要性を強く認識した。	②7割対面	語学や実験・実習科目等の面接授業が適当と判断される科目及教室の半々程度を考慮して判断した。面接科目については、検定・手指消毒・換気・教室内のソーシャルディスタンス等の感染防止対策を徹底した上で実施した。	②学年ごとに差	面接授業を実施する科目のうち、1年次での履修を推奨している科目が多いため、1年次での面接授業実施比率が高くなっている。	②③④⑥⑦	
450	神奈川県立保健福祉大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		③半々	講義科目については遠隔授業、実習・演習・実験・実技については対面授業としたことによる。	②学年ごとに差	講義科目と実習・演習・実験・実技科目の配当年次の違いによる。	②	
451	神奈川大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	大きな変更なし	②7割対面	前学期と同様であるが履修人数の多い講義系科目は教室定員の関係から遠隔授業となが、授業の多い法学部や経済学部等の講義科目は遠隔授業の割合が高い。特に、1・2年度の講義科目は卒業要件に重要な基礎的な科目が配置されているため履修人数が多く、結果的に面接（対面）授業が少なくない。他方、クラス単位の演習を行う科目の多い外国語学部等や、実験・実習科目の多い理化学部・工学部等では、比較的学年を問わず面接（対面）授業の割合が高くなっている。	③学部・学年ごとに差	2-7で回答したとおりである。	①②③④⑤⑥⑦⑧	少人数での対話を中心とする語学、演習（ゼミナール）等の授業においても、教員が感染症に不安がある場合、受講生の多くが遠隔を望んだ場合には通常のよう、遠隔授業を許可している
452	関東学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	感染拡大防止のために有効な対策が明らかになってきており、また、遠隔授業・面接授業双方の教育上のメリットや必要性についての認識が高まったため。	③半々	授業形態は原則として対面型とし、感染拡大防止の対策を行った上で実施する。教室での密を避けることが難しい状況および科目特性や教育上のメリットがある場合については、遠隔での授業実施を検討した。	③学部・学年ごとに差	授業形態が実験・実習の科目が多い学部は、面接授業の実施割合が高くなっている。また、全学部において新入生の科目は面接授業の実施割合が高い傾向にある。	①②③④⑥⑦	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
453 鶴見大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	各回答につきまして、文学部と歯学部で異なるため以下の通り記載しました。2-1.(文学部) ②(歯学部) ② 2-2.(文学部) ②(歯学部) 該当なし。3.(文学部) ②(歯学部) ①(歯学部) ①(文学部) 基本的な考え方に大きな変化はない。(歯 ②7割対面 文学部) 学生の熟練度は対面授業の方が高い。遠隔授業では、学生の受講態度に問題がある場合があった。遠隔授業では、講義資料に限界がある。学生の反応も乏しい。		(文学部) 面接授業を主体とする方針のもと学内施設のキャンパシを考慮し、履修者の多い科目、教育効果を見込める科目については遠隔授業とした。(歯学部) 2-6.にて該当しないため回答無し	①学部ごとに差	学部内の科目ごとに重視する教育形態(実習・演習・実技・講義等)が異なるため。	①②③④⑤⑥	2-5 から2-10.に關して歯学部は該当しないため、文学部の対応として回答いたします。	
454 フェリス学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	ただし、後授業開始後2週間については、履修者が確定しないこと、また適切な教室配当を行うための準備期間として、一部の科目を除き遠隔授業を行う方針であるため、10/7現在としては遠隔授業の割合が多い。	①ほぼ対面	9月末に緊急事態宣言が解除されたことを受けて、対面授業を基本としつつ、教員の基礎疾患を理由とした遠隔授業も可としているため。	①学部ごとに差	音楽学部は実技を伴う科目が多く、大学内の設備等の利用が必要となる場合や教育効果の観点から、面接授業の割合が多い。	①②⑥⑦		
455 横浜商科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	対面授業での重要性は強く意識するものの、コロナ禍で学生の状況と学内施設のキャンパシを考慮した場合、最大4割程度が最適と考える。	④3割対面	セミナーやクラス制の必修授業を中心に対面授業の機会を設けたため	②学年ごとに差	クラス制の必修授業に依存しているため、高学年への移行に伴い対象科目は減少し面接比率は下がる傾向にある。	②④		
456 情報セキュリティ大学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面	昨年度末、教職員・学生ともコロナ禍でのリモートでの選り取りに習熟し、コロナ禍での遠隔授業実施のノウハウが蓄積してきている。感染拡大防止(リパウンドへの備えを含む)と科目ごとの教育効果の両立の観点から、本学大学院としては当該程度の比率が妥当と判断している。			②⑥⑦		
457 横浜薬科大	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差		①⑥⑦		
458 横浜薬科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	感染状況に合わせて可能な限り面接授業を実施	④3割対面	学生への希望調査結果	②学年ごとに差	5年生は実務実習主体のため、面接授業が多い	①②④⑤⑥		
459 麻布大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	全国的にワクチン接種が進んできているが、デルタ株をはじめとする変異株の急激な感染による感染拡大の懸念から、気を緩めることなく、感染防止対策の徹底が必要な状況に変わりはないと考えている。	③半々	十分な感染対策を講じた上で面接授業を行うに当たり、教室のキャンパシの都合から、半々にわづらを得ない。	③学部・学年ごとに差	ライセンス教育に関わる大学として、特に実験・実習科目は面接授業として実施することを重視しており、カリキュラムによって実施比率に差があるため。	②④⑤⑥⑦		
460 神奈川歯科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	学習効果に鑑み、面接授業の割合を上げていきたいが、教室内の三つの状況を回避する上で半数程度が妥当と考えられる。	③学部・学年ごとに差	1、2年生に比べ、高学年で遠隔授業の割合が増加しているが、大学での学習経験の少ない低学年では、遠隔授業は不安が大きく、同授業を避けているものと推察する。	②⑥		
461 鎌倉女子大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生へのアンケート結果からは、対面授業へのニーズとともに遠隔授業の必要性も確認しているが、感染予防対策等の確立に伴い、大学本来の対面での交流を増やしている。	②7割対面	教室の収容人数を、間を空けて着席し感染予防に努められるような人数とすること。	③学部・学年ごとに差	1、2年生対象の授業、実験系の科目では、面接授業が多くなっている。	①②③④⑤⑥⑦		
462 湘南工科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学の教育目標の達成には対面授業の実施が非常に重要であることを変わらぬ認識として持っている。							
463 相模女子大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	全体的な感染者数だけを見ればいったんピークを過ぎつつあるように見えるが、若年層への感染拡大やデルタ株の感染力の強さを考えれば、予断を許さない状況が続いているため	③半々	講義科目は原則としてオンラインでの実施とし、演習・実習・実技等の科目は感染防止対策を取りながら対面を実施するとい	①学部ごとに差	実習科目が多い、またはオンライン対応のできる科目の少ない学部では対面比率が高く、講義科目が多い、またはオンライン対応のできる科目の多い学部では遠隔比率が高くなっている。	②③⑤⑦		
464 洗足学園音楽大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の影響は未だ収まることがなく、長期的な対応が必要とされることが予測されるものの、ワクチン接種状況の進展等の改善がみられるから。	②7割対面	新型コロナウイルス感染症の影響は未だ収まることがなく、長期的な対応が必要とされることが予測されるものの、ワクチン接種状況の進展等の改善がみられるから。	⑤差はない		①②④⑦		
465 聖マリアンナ医科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の学習状況をより把握するために対面授業の重要性を再認識した。	②7割対面	国家試験等に向けた学習に対してハイブリッド授業の効率性を感じたため。	②学年ごとに差	国家試験や共用試験に向けた学習ではハイブリッド授業がよりよくなる感じたため。	②④⑤⑥⑦		
466 神奈川工科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	感染者数の減少に伴い感染リスクも減減すると考えられること。	③学部・学年ごとに差	学部・学年により、実験・実習・演習科目の配当にばらつきがあるため。	①②④⑤⑥		
467 昭和音楽大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期は、全ての科目を面接授業で行っていたが、コロナウイルス感染者が爆発的に増加し緊急事態宣言も発令されたため、9月のみ全面遠隔授業の対応をとった。その後、感染状況が落ち着いたので10月から全ての科目を面接授業に戻している。							
468 桐蔭横浜大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍以前と比較すると、遠隔授業等テクノロジーを活用した新しい学びを展開することに積極的になった。その状況は令和3年度前期と後期で変化はしていない。	③半々	面接授業が必要なものについてはすでに実施しており、令和3年度後期については、面接・遠隔の対応を定める必要性が現時点では考えられないため。	①学部ごとに差	より厳しい体調管理や感染症対策により、面接での実験・実習を削減している。そのため、実験・実習の多い学部において、面接授業の割合が多くなる。	①②⑥⑦		
469 東洋英和女学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期に8割の授業を対面で行ったが、学生が生き生きと勉強し、生活を送る姿を見ることができた。しかし、感染状況の悪化により、学生の安全と健康を守る必要が生じたため、やむを得ず遠隔授業の比率を増やした。現在においても対面授業の重要性は高いと考え、方針発表の際にはそのことに触れられている。少しでも対面割合を増やべく、ゼミナール等の少人数授業は対面での実施をめざし学内調整を行っている。	④3割対面	感染状況の悪化に伴い、遠隔授業を中心として、実習などの対面授業が必要不可欠な科目のみを対面授業とした。令和2年度後期と同じ授業形態とした。現在、ゼミ等の少人数授業を対面で行うよう学内調整中である。	③学部・学年ごとに差	実習がある学部は対面授業の比率を増やしたが、その他の学部は、基本的に遠隔授業としているから、学年の差については、低学年は「概論」などの大人数授業を多く取らねばならぬ。それらの科目は感染対策上オンライン授業となるため、割合に差が生じる可能性がある。	②④⑧	対面で予定していたが、オンライン化せざるを得なかった科目は、双方向性の修学機会を確保するため、リアルタイム型としてZoomを利用している。	
470 松福大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々		①学部ごとに差	看護学部においては、面接授業のみとしている。文系学部においては、原則的に面接授業としているが希望する学生には遠隔授業を行っている。	①②		
471 田園調布学園大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大人教科目でオンラインでも教育効果が高いと思われるもののみをオンライン実施とした。	⑤差はない		①③④⑤⑦		
472 横浜美術大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	入オンライン上で入学前教育や初年次生対象のクラス分けテストを実施した際に、実際に対面でのみ体験できる事項が確かになっていましたこと、実技を中心とした美術大学であるため、オンライン対応のみでは限界が生じ、実際に対面で学生に指導を行いたいという思いが強く感じました。	③半々	現在、新規感染者が増ったとはいえ、いつ第六波がくるか予断を許さない状況であると認識している。本学における行動指針も前期と同じであることを考慮し、今後の授業に關しては慎重に検討が必要である。	⑤差はない		①②⑥		
473 日本映画大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
474	横浜創英大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	看護・保育幼児教育の養成校であることから、演習、実技により修得できる学習内容が多くあるため						
475	湘南医療大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生の声が対面を希望しており、特に実習においては臨地実習を希望しているため						
476	湘南鎌倉医療大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	④その他	学部の性質上、カリキュラム科目の主体は演習による専門科目であり、コロナ禍の中で、開学（2020年4月）を迎えた当初より、対面授業に重点を置いている。	①ほぼ対面	学部の性質上、カリキュラム科目の主体は演習による専門科目であり、コロナ禍の中で、開学（2020年4月）を迎えた当初より、対面授業に重点を置いている。			②④⑤⑥	
477	川崎市立看護短期大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	昨年度において、ほとんどの科目を遠隔で実施したが、1年次生の修得状況が芳しくなかった。特に1年生における看護の基礎科目及び技術実習を行う科目については、学生・教員ともに大変困難があったため、感染対策を徹底し面接授業を行うこととした。また、学内のグループワーク、演習及び臨地実習を行うことから学生のほとんどが新型コロナウイルスワクチンの接種を完了していることも面接授業を行うこととした材料としている。						
478	和泉短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々			⑤差はない		②⑤⑥
479	鶴見大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はない	①ほぼ対面	面接授業を主体とする方針のもと学内施設のキャパシティを考慮し以下のとおりとする。 保健科・大人数科目は遠隔授業を可能とする。 歯科衛生科：100人以下の講義・演習科目は対面授業を基本とする。 100人以上の講義・演習科目は遠隔授業を基本とする。 実習科目は対面授業を基本とする。	①学部ごとに差	学科ごとに重視する教育形態（実習・演習・実技・講義等）が異なるため	②③④⑤	
480	横浜女子短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々			①学部ごとに差		②⑤⑦
481	昭和音楽大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期は、全ての科目を面接授業で行っていたが、新型コロナウイルス感染症が爆発的に増加し緊急事態宣言も発令されたため、9月のみ全面遠隔授業の対応をとった。その後、感染状況が落ち着いたため10月から全ての科目を面接授業に戻している。						
482	上智大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	④その他	2021年度は感染状況を鑑み、年間を通して面接授業をしつつ、基礎疾患等を抱える学生等に配慮し、オンラインで同時中継することを決定している。	①ほぼ対面	ごく一部の科目はオンデマンド授業だが、それ以外は、面接授業をしつつ、基礎疾患等を抱える学生等に配慮し、オンラインで同時中継している。				①⑥
483	小田原短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	演習、実験、実習、実技科目を面接授業として実施	②学年ごとに差	1年生は講義科目が多いため、2年生よりも遠隔授業の比率が必然的に高くなる	②④	
484	鎌倉女子大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生へのアンケート結果からは、対面授業へのニーズとともに、遠隔授業の必要性も確認しているが、感染予防対策等の確立に伴い、大学本来の対面での交流を増やしている。	②7割対面	教室の収容人数を、間を空けて着席し感染予防に努められるような人数にすること。	③学部・学年ごとに差	在学期間が2年であり、その期間がコロナ禍のため、できるだけ多くの授業を面接できるようにしている。	①②③④⑤⑥⑦	
485	相模女子大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	全体的な感染率数だけを見ればいったんピークを過ぎつつあるように見えるが、若年層への感染拡大やデルタ株の感染力の強さを考えれば、予断を許さない状況が続いているため。	②7割対面	義科目は原則としてオンラインでの実施とし、演習・実習・実技等の科目は感染防止対策を取りながら対面を実施するという方針のもと、学内で検討をした。				②③⑤⑦
486	洗足こども短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
487	神奈川歯科大学短期大学部	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	講義科目は遠隔授業を主とし、実習・演習科目は面接授業を行う。（後期は演習・実習科目が多く配置されている。）	③半々	学年によって比率は異なるが、講義と演習・実習の比率が5:5であるため。	②学年ごとに差		②③⑤	
488	東海大学医療技術短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学は看護学科単科の短期大学であり、閉学を予定しているため、授業は最終学年の実習科目のみである。コロナ禍であっても施設物が許す限り、臨地実習にて実習科目を行うという考え方に大きな変化はない。						
489	湘北短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	感染状況、行政からの要請等を踏まえ、学生の安全を最優先に考えて授業方法を決定する方向性に大きな変化はない。						
490	新潟大学	15. 新潟県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度第1学期までは新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先し、非対面型授業を基本として実施してきたが、一方で非対面型が続くことを不安に思う声が増え、聞こえてきたことや本学に限らず社会的孤立の問題が表面化したため①とした。	②7割対面	学生のワクチン接種の状況を踏まえ、十分な感染対策を講じつつ、実施が可能となる対面授業を増やすことを検討している。	③学部・学年ごとに差	「対面型授業」を基本としている「実験・実習」「演習」等の授業形態が多い学部・学年では対面授業の実施比率が高く、講義形式の授業が多い主に文系学部では遠隔授業の実施比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
491	長岡技術科学大学	15. 新潟県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期に①として回答しているが、後期についてもその考えに大きな変化はないため。	①ほぼ対面	令和3年度授業の実施に関する基本方針を、次のとおりとしている。 1. 演習、実験、実習等の学生の実技を要求する授業は対面を基本とする。 2. 講義は対面を基本とし、多様な受講機会を提供のためオンラインと併用とする。 3. 研究指導は、対面を基本とし、必要に応じて遠隔にて対応する。ゼミ等については、講義の方針に準じて行う。		⑤差はない	①②④⑤⑥	
492	上越教育大学	15. 新潟県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	授業運営に関する基本方針に大きな変更はない。	②7割対面	シラバスにオンライン授業実施について記載する欄を設けており、そのデータを集計した。		⑥差はない	①②④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
493	新潟県立看護大学	15.新潟県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	現在の感染状況や県からの移動自粛要請等を勘案して決定しており、令和3年度前期から基本的な考え方に変化はない。	①ほぼ対面	現在の感染状況や県からの移動自粛要請等を勘案し、令和3年度前期同様に実施する見込み。	⑤差はない		②⑤	
494	新潟県立大学	15.新潟県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期は、4月の前期開始時点では、県内外の感染拡大状況を踏まえて、令和2年度後期同様、面接授業7割、遠隔授業3割でスタートした（ちなみに令和2年度前期は、ほぼすべての授業が遠隔授業だった）しかし前期開始後、複数の学生に罹患者が発生したことを契機に受け止め、GW明けからは、遠隔授業7割、面接授業3割に授業実施形態を変更し、その後、大学におけるワクチン接種接種が実現し（7月～8月）、教職員学生の8割以上がワクチン接種済みとなり、市内の感染拡大防止環境が飛躍的に改善したことを踏まえて、上述の通り、令和3年度後期は、感染拡大防止対策上、遠隔授業での実施が適切な一部大規模授業を除いて、原則、面接授業での授業実施となった。	①ほぼ対面	2-5で記載したとおり、大学におけるワクチン接種接種が実現し、教職員学生の8割以上がワクチン接種済みとなり、市内の感染拡大防止環境が飛躍的に改善したことが、後期原則面接授業の判断根拠である。	⑤差はない	②④⑤⑥		
495	長岡造形大学	15.新潟県	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	対面でのコミュニケーションを通じて学ぶことがより重要であると再認識し、今年度は、感染防止対策を講じたうえで、演習、実習科目を中心に、対面授業を実施している。前期に引き続き、対面授業と遠隔授業の利点を生かした授業を実施していく。	②7割対面	感染力の強い変異株の影響、自身体での感染状況、本学でのワクチン接種の進捗等を総合的に考慮し、前期と同等の活動を実施するために、感染症対策を講ずることなく引き続き実施する旨の本学の授業実施方針に基づき、各授業の担当教員が授業計画を立て、それを集計し、算出した。	⑤差はない	②③④⑤⑥⑦		
496	三条市立大学	15.新潟県	02.公立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
497	長岡大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		コロナ禍対策を踏まえて、原則全ての授業を面接授業としており、令和3年度後期も前期同様にこの基本的な考え方に変化はない。				
498	新潟医療福祉大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	学内クラスターを発生させないという前提に基づき、後期も引き続き感染対策を徹底している。	④3割対面	教育の質保証、学生のモチベーション維持を十分に考慮した上で、学科の特性にわせて決定をし結果である。	③学部・学年ごとに差	原則、座学はオンライン授業、実習・演習は対面授業としており、学部、配当学年によって、遠隔と対面割合が異なるケースがある。	②③⑦	
499	新潟青陵大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	当初は後期からは全面対面授業を予定していたが、デルタ株の拡大の中で、全面対面授業は見合わせることにした。	③半々	学内に滞在する学生を半分に制限するということから、各週ごとに対面授業を行うこととしている。	③学部・学年ごとに差	基本的に対面と遠隔の割合は半々だが、実技を伴う一部の授業について全面対面授業を認めているため。	②⑥	
500	新潟工科大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし	学内で罹患者が発生しなかったこと、地域でも感染者が少数で特別な対応をとるまで至らなかったこと、など。						
501	新潟経営大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		③学部・学年ごとに差		①	
502	新潟国際情報大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
503	敬和学園大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期とは大きな変化はない。	①ほぼ対面	現在の感染状況や学内施設のキャパシティが根拠	⑤差はない		①③④⑤⑥	
504	新潟薬科大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	講義科目において、学内に滞在する学生数が通常（コロナ前）の半数以下になるよう調整する。一部学部においては、学年ごと（低学年は面接授業の比率を多く）に遠隔授業を決定することとした。	③学部・学年ごとに差	学部により使用するキャンパスが異なること、取組教員が異なること、また、遠隔授業を実施する場合は、大学に慣れていない低学年は面接授業の比率を多くする配慮をしたため。	②④⑤	
505	国英大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし							
506	新潟産業大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		爆発的な感染拡大（第5波）を受け、後期の授業形態について慎重に検討。本学が力を入れるフィールドワークや課外活動を継続的に保障するための総合的に比較考量した結果、感染防止を徹底したうえで前期に続いて面接授業を行うこととした。				
507	事業創造大学院大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	対面による教育のメリットについて再認識する機会があったため。	②7割対面	2か月周りで感染拡大するコロナ禍の影響等を考慮したため	⑤差はない		①②③④	
508	新潟リハビリテーション大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	本学の取組教員が小規模であることから、現在の学内環境で対応可能であり、学生からの意見・学修状況から対面授業重視で進めていくことを基本的な考え方としており、後期も継続していくことに変わりはない。	①ほぼ対面	主要科目、実技を伴う科目は、国家資格取得のために重要であることから、対面を基本としている。一方、遠方の非常勤講師の授業の場合、感染症対策の観点から遠隔授業で対応する方針としている。	⑤差はない	②③④⑤		
509	新潟食料農業大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	他大学に勤務する非常勤講師や遠隔地に住む非常勤講師など、面接授業実施が困難な場合についてのみ遠隔授業で実施。	⑤差はない		⑧	2-7のとおり、他大学に勤務する非常勤講師や遠隔地に住む非常勤講師など、面接授業実施が困難な場合についてのみ遠隔授業で実施。
510	開志専門職大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		本学は幸いにして閉学間もない。しかも専門職大学で1つの授業人数が40人以下となっております。大教室を利用してソーシャルディスタンスを確保した授業が実現できており、現在まで感染者を出さずに済んでいる。今年度後期もこの方針で実施していく。				
511	長岡崇徳大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大						
512	新潟青陵大学短期大学部	15.新潟県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	学内に滞在する学生を半分に制限するということから、各週ごとに対面授業を行うこととしている。	③学部・学年ごとに差	基本的に対面と遠隔の割合は半々だが、実技を伴う一部の授業について全面対面授業を認めているため。	②⑥	
513	新潟工業短期大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
514	新潟中央短期大学	15.新潟県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		前期も全面対面での授業を実施しており、後期も特に変化なく続けていたため、大きな変化はない。				
515	日本歯科大学新潟短期大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		②学年ごとに差		②⑥	
516	明倫短期大学	15.新潟県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的に2-4での回答の通りにつき、県内および市内の感染状況に応じて対応（遠隔授業の切り替え）していくため、特に変化はない。	①ほぼ対面	後期は実習科目の割合が増えるため、面接授業の実施を基本とするが、県内及び市内の感染状況に応じて、面接授業と遠隔授業の併用等柔軟に対応する。なお、一部英語科目などの必修科目は、受講者が多く、講義における十分な感染対策を実施できないことから、遠隔授業を実施する予定である。また、学生が濃厚接触者となり、保健所より一定期間の自宅待機を指導された学生に対しては、対応が可能な限り、授業内容に遅れが生じることがないように、個別に遠隔授業対応を実施することも可能としている。	②学年ごとに差	遠隔授業は歯科衛生士学科1学年の一部の科目において実施する予定としており、他の学部・学年では実施の予定はない。実施比率は遠隔授業が1割未満であり、9割以上は面接授業であるため、極端に高い比率ではない。	②③④⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の決定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
517	長岡工業高等専門学校	新潟県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
518	富山大学	16. 富山県	01. 国立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学では、授業実施形態の判断について、新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動方針を定め、それに基づき、県内の感染状況等を考慮し、総合的に判断している。その判断方法については、令和3年度前期から変化していない。						
519	富山県立大学	16. 富山県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は本来、対面での授業を提供する大学であり、後期も、原則として感染対策を講じた上で対面授業を行うこととしているが、入学試験前等の一定期間、受験生への感染対策として、学生の入講を禁止し、その間は全ての授業を遠隔で実施。	②7割対面	原則として感染対策を講じた上で対面授業を行うこととしているが、本学の入試や、大学入試共通テスト前等の一定期間については、受験生への感染対策として学生の入講を禁止し、その間は全ての授業を遠隔で実施。	④その他	看護学部の所在地である富山キャンパスは、大学入試共通テストの会場とならないため、試験前の入講制限期間を設けていない。	②④⑤⑦	
520	高岡法科大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	・学生のワクチン接種者が増えたため、学生に授業アンケートを行った結果、遠隔授業の希望もあつたが、対面授業の希望が多かった。・オンライン授業が多かったため、学生同士や教職員との交流の機会が少なくなってしまい、人間関係が希薄になる要素があつた。・遠隔授業のみではメンタルヘルスを必要とする学生に適切な対応ができないため。	①ほぼ対面	現在は新型コロナウイルス感染症の数値が落ち着いており、対面授業を実施している。しかし、富山県独自の対策指針がステージ3（非常事態）になった際は、原則、遠隔授業とする。		⑤差はない	①②④⑥	
521	富山国際大学	16. 富山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし	富山県内の新型コロナウイルス感染症の状況は前期授業の実施方針を決定した時期とほぼ同様の状況下であったため、「原則、面接授業」という本学の基本的な方針（考え方）には変化はない。						
522	桐朋学園大学院大学	16. 富山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②⑥	
523	富山短期大学	16. 富山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	富山県及び市内の警戒レベル	⑤差はない		②④⑤	
524	富山福祉短期大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
525	富山高専専門学校	16. 富山県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
526	金沢大学	17. 石川県	01. 国立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本学では、令和2年度第3クォーター（10月）から、感染症対策を徹底したうえで「原則対面」により授業を実施してきた。令和3年8月末には職場接種を完了し、約8割の学生がワクチンを接種した。このような状況を踏まえ、感染防止策を徹底しながら、大学の教育活動を一歩ずつ前に進め、本来に属することで学生の学びの場、他者との交流・共創の経験の場を確保することが重要であると判断した。						
527	北陸先端科学技術大学院大学	17. 石川県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	国内の感染状況は減少傾向にあるものの（回答日時）、本学では、対応できない個人留学生が多いことへの対応や、約9割の学生が大学構内にある寄宿舎に居住している状況、講義室の収容人数の制限等を考慮し、今年度前期から基本的な方針は変更しないこととした。	②7割対面	本学では、対面授業、オンライン授業、または、ハイフレックス授業（対面またはオンラインのどちらで受講するかを学生が選択できる）の形態により授業を実施しており、いずれの実施形態で実施するかは、授業担当教員が授業内容等に応じて判断することとしている。	⑤差はない	特になし	②④⑥	
528	公立小松大学	17. 石川県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
529	石川県立大学	17. 石川県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	本学ではフィールドワークを含む実験実習に重点を置いているため、実験実習は原則すべて面接授業で実施する方針は前期と変わらない。一方、3学科共通の講義は感染対策を講じつつ3教室から2教室にすることで、より多くの科目を面接授業で行うことを可能にした。	①ほぼ対面	学生のワクチン接種率が上昇し、感染が疑われる軽症状態を検査する抗原検査キットを活用し、無症状者にはPCR検査を実施する体制が整ったことから、ほとんどの授業を面接授業で行う基準が整備され、感染が発生しても迅速調査しやすいように、各科目の履修指定を行うこととした。	②学年ごとに差	1、2年生で面接授業の比率が他の学年に比べて低い。これは英会話を始め学生が語をする機会が多い英語授業を遠隔授業としているため。通学時間を考慮して、英語授業の前後も遠隔授業にせざるを得ない時間帯となっていることが主な理由である。	②④⑤	
530	金沢美術工芸大学	17. 石川県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和2年度に学内の感染対策のノウハウがある程度蓄積されたことにより、講義と演習・実習で、それぞれ適切な対策を講じて十分に対面授業に対応できると判断した。なお、県内の警戒レベルが変更された場合は、遠隔授業の対応を増やす予定である。	①ほぼ対面	美術大学であるため、実習・演習を重視しており、遠隔授業による学修の質の担保には限界があることから、対人間の距離や手指消毒、体調不良時に受検しないことなどの感染対策を厳に行いながら、対面授業を行うこととしている。	⑤差はない		②③④⑤	
531	石川県立看護大学	17. 石川県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の対面での交流機会確保の観点から、感染状況の変化に左右されず面接授業を行っている。	②7割対面	1、2年生は原則面接授業とし、3年生は臨地実習中心なので授業は遠隔で、4年生は授業が少ないので遠隔中心。	②学年ごとに差	1、2年生は交流確保の観点から原則面接授業とし、3年生は臨地実習中心なので授業は遠隔で、4年生は授業が少ないので遠隔中心。	②⑤	
532	金沢星稜大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	受講者100名以上を遠隔授業、100名以下を面接授業を基本として実施	①学部ごとに差	経済学部（13年次）は100名以上の履修者の授業が多いため、遠隔授業の比率が高い。	②③④⑤	
533	金沢工業大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	各クラス面接授業と遠隔授業を設け、全ての授業で面接対応し、さらに実験実習科目においては全て対面授業とする科目を設定した。ため、特に実験・実習科目については、全て面接授業とする方針である。	②7割対面	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が学生で78%を超えている事が確認されたので、前期より面接授業時間を増加させた。	②学年ごとに差	4年生の科目である、プロジェクトデザインⅡは研究指導であるため、他の学年より面接授業の割合が高い。	①②④⑤⑥	
534	金沢医科大学	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	成績分布の二極化傾向や孤立状況が確認されるため。						
535	北陸大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	感染対策が浸透し、現在の感染状況下での面接授業は可能と判断されました。また、留学生の入国の見通しが立って、遠隔授業を実施せざるを得ない事情があります。	①ほぼ対面	前期の授業実施方法に大きな問題がなかったこと。今後の感染状況が予測できないことから、現行の方針を継続すること	①学部ごとに差	経済経営学部において、授業内容や教育効果を鑑み遠隔授業とした科目があることに加え、留学生が多いことから来入国者への対応として、遠隔授業科目比率が他学部より高い。医療系学部の実習科目は遠隔で実施することが困難であり、コロナ以前と同様に面接授業を実施する必要がある。	②⑤⑥⑦	
536	金沢学院大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	学生のワクチン接種が進み、県内の感染者数が減少傾向にあることから、後期は対面授業の対象学年を広げ、学生生活の正常化を進めた。						
537	金城大学	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
538	北陸学院大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染状況が変化するため、感染対策を講じつつ教育の質を担保するという考え方は変わらないため	③半々	感染状況が変化するため、感染対策を講じつつ教育の質を担保するという考え方	①学部ごとに差	免許・資格課程をもつ学科については、実習に関わる授業を中心に、教育効果と対面授業が不可欠と判断した授業について対面授業を増やしているため	②⑤	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
539	かなざわ食マネジメント専門職大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	③通隔授業を拡大	本学は定員40名の小規模大学であり、当初は面接授業を実施していく予定だったが、感染拡大の状況を踏まえ、遠方の教員による授業を通隔授業にするなど対応を行った。学生・教員の感染リスクを減らし、今後の社会復帰を考えた将来的に通隔授業も併用し、今後の変化に対応できるように整えていく必要があると認識するようになった。	①ほぼ対面	通隔授業が必要な科目がなく、また学内で感染対策を取って面接授業を行うことができているため。	⑤差はない	1学年のみのため、異なる比率での学部・学年はない。	①②④		
540	金沢学院短期大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	学生のワクチン接種が進み、県内の感染者数が減少傾向にあることから、後期は対面授業の対象学年を広げ、学生生活の正常化を進めた。							
541	北陸学院大学短期大学部	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染状況が変化の中で、感染対策を講じつつ教育の質を担保するという考え方は変わらないため	③半々	感染状況が変化の中で、感染対策を講じつつ教育の質を担保するという考え方	①学部ごとに差	免許・資格課程をもつ科目については、実習に関わる授業を中心に、教育効果上対面授業が不可欠と判断した授業について対	②⑤	面接授業を優先しているため	
542	金城大学短期大学部	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし							
543	金沢星稜大学女子短期大学部	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし							
544	石川工業高等専門学校	17. 石川県	04. 高专	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし	今後も感染状況を注視しながら、柔軟に対応する予定である。						
545	国際高等専門学校	17. 石川県	04. 高专	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							
546	福井大学	18. 福井県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期に引き続き、後期も、学生が安心し、納得する形で学生生活を送ることができるよう、十分な感染対策を講じた上で、面接授業の実施や学内施設の利用機会を確保するために、原則、面接授業で実施している。なお、受講者の多い科目は、通隔授業（オンデマンド型、面接授業との併用）としている。	①ほぼ対面	上記2-5. を踏まえ、前期に引き続き、後期の授業についても、原則、面接授業で実施している。他方、受講者の多い科目は、通隔授業（オンデマンド型、面接授業との併用）としている。	①学部ごとに差	1学年あたりの定員の少ない学部では、1学年全員で受講しても講義室のコロナ対策収容定員内に収まることから、9割以上の科目で面接授業を実施している。なお、1学年あたりの定員が多い学部では、同収容定員数の関係から、大人数（80名以上）の履修が見込まれる授業をオンデマンド実施の方針としたため、学部・学科等によって、必修科目が多い低学年において、通隔授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦		
547	福井県立大学	18. 福井県	02. 公立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							
548	敦賀市立看護大学	18. 福井県	02. 公立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし	考え方に変化はない						
549	福井工業大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	授業科目は受講者が多いため、原則通隔授業。専門科目は原則面接授業。	②学年ごとに差	1年生は専門科目よりも教養科目の比率が高いため。	①②③④⑤⑥⑦		
550	仁愛大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	感染状況を鑑み、学内施設の感染防止対策を行うための教室は収容人数の1/2としている。そのため大人数の授業は通隔授業を実施するという考え方を継続する。	①ほぼ対面	学生および教職員のワクチン接種率が概ね8割であること、また、県内の感染状況が減少傾向にあるため。	⑤差はない		①②③④⑤		
551	福井医療大学	18. 福井県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし							
552	仁愛女子短期大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	withコロナへの意識が高まった。	①ほぼ対面	開講授業科目数	③学部・学年ごとに差	情報系の専攻は、学習内容やキャリア支援において通隔実施が効果的であると判断される科目が多いため、通隔実施の比率が高くなっている。保育士養成課程は、実習や演習など、対面による授業実施が必要であるため、面接授業実施の比率が高い。いずれも、感染防止基準（教室定員の1/2）と授業担当者の判断及び学数頻度を考慮し、実施形態を検討している。	②④⑤⑦		
553	福井工業高等専門学校	18. 福井県	04. 高专	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし	本校が所在する福井県では、他県より比較的感染が落ち着いている状況であり、基本的な考え方に影響を及ぼすことはなかった。						
554	山梨大学	19. 山梨県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	①悪い設備で臨城接種を実施したこと、教職員のワクチン接種率が高い ②県内の感染者が減少してきた							
555	都留文科大学	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	基本的に上記2-4①の考え方を重視しており、前期は感染状況が落ち着いていたため一部の科目を除いて面接授業(9割程度)を実施していた。その後、前期末に感染状況が急激に悪化し、感染力の高いフルタ株の脅威も懸念されたことから、活動指針レベルを5段階に引き上げて通隔授業のみとした。感染リスクが落ち着き10/11後期開始、面接授業(7割程度)を面接授業を併用してスタートした。このまま感染状況が安定すれば前期と同様の形態に移行し、基本的に対面授業を行なう予定。	①ほぼ対面	地域及び学内の感染状況が落ち着いていることから、本学の活動指針に基づき、授業科目の一部を面接授業とし、それ以外は面接授業を基本として行うこととした。	⑤差はない		①②③④⑦		
556	山梨県立大学	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は小規模（収容定員20名ほど）～中規模（収容定員70名ほど）の教室が多数を占めており、身体的距離の確保や換気などの基本的な感染予防対策を講じたうえで面接授業を実施することが困難であることから、全面的な面接授業の再開には至っていない。	②7割対面	本学は小規模（収容定員20名ほど）～中規模（収容定員70名ほど）の教室が多数を占めており、身体的距離の確保や換気などの基本的な感染予防対策を講じたうえで全面的に面接授業を実施することが困難であると判断した。実技や演習を伴う科目は原則として面接授業で行うものとし、教室の収容定員の半分を臨時の収容定員と定め、定員内に収まるように時間割の調整を行った。	③学部・学年ごとに差	実技や演習を伴う科目は原則として面接授業で行うものとし、教室の収容定員の半分を臨時の収容定員と定め、定員内に収まるように時間割の調整を行った。	②③④⑤⑥		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の予定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
557	山梨学院大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年前期より、学生同士や学生と教職員の間の直接対面による交流の機会を削り、学生の多様な学びの機会を確保するという考え方に変わりはなく、原則として対面授業の実施を大学の方針として通知している。	②7割対面	令和3年前期より、原則として対面授業の実施を大学の方針として通知しているが、感染症の状況やオンライン授業の優位性等に鑑みて、一定数のオンライン授業の実施が見込まれるため。	①学部ごとに差	経営学部と国際バレルアーツ学部においては、日本への入国が現時点ではできていない留学生が多く在籍しているため、遠隔授業の実施比率を高めている。			
558	身延山大学	19. 山梨県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
559	山梨英和大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生からの声、保護者からの訴え、県内感染者数の減少、県内大学の動向、社会情勢	③半々	山梨県へのまん延防止措置解除や、首都圏の緊急事態宣言解除、山梨県の感染者数の推移を考慮し、本学行動指針レベルに	⑤差はない		①②③④⑦		
560	健康科学大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	国や県の示す基準が緩和されていないため変更はしていない。	③半々	今後、新型コロナウイルスの感染状況が改善されるか未知の部分も多いが国や県による基準を参考に判断している。	③学部・学年ごとに差	学部、学科ごと学生数に応じた教室確保の問題や実習の有無等により面接授業実施の割合に差が生じている。また、学科によっては後学年はカリキュラム上後学年による教養科目が多いため、遠隔授業が比較的多く実施されており、それに対し後学年②④は専門科目の応用的な展開を要する科目が多いため面接授業が比較的多く実施されている等学科、学年間でも差が生じている。			
561	大月短期大学	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	成績不振者の増加や学生からの聞き取り等を参考に判断した。	②7割対面	通常の講義科目は面接と遠隔を半々で実施し、ゼミや演習科目については全面対面としている。	⑤差はない		②④⑤⑥		
562	山梨学院短期大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の授業方針を決定する際の「対面による授業実施の重要性」は実習が増える後期においても変更はない。	①ほぼ対面	教室定員を上回る授業は、2教室を使用しているオンライン分散授業を行うが、それ以外は対面を重視する。	①学部ごとに差	面接が多い科は100%面接。面接が少ない科は95%面接。残り5%は構内でのオンライン分散授業としている。(コロナ禍の教	②③④⑤⑥	室定員は通常の50%制限のため)	
563	帝京学園短期大学	19. 山梨県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
564	信州大学	20. 長野県	01. 国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし								
565	公立諏訪東京理科大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的には全ての授業を対面を実施することを目標とし、しかしながら、教室のキャパシティ等の関係によりどうしても面接授業の実施が難しい授業を遠隔授業とし、この考え方は結果として、8割が面接授業となっています。物理的に教室や設備を増設する以外、対面授業を増やすことが現状ではできないため、考え方を工夫することもできない状況です。	①ほぼ対面	基本的には全ての授業を対面を実施することを目標とし、しかしながら、教室のキャパシティ等の関係によりどうしても面接授業の実施が難しい授業を遠隔授業とし、この考え方は結果として、8割が面接授業となっています。	②学年ごとに差	1年生にとって、横のつながりの醸成は重要であることから、原則的にすべての授業を対面を実施する(対面10割)。また、4年生の研究活動(卒業研究)に關しても、対面を実施する(対面10割)。2年生は新生であった令和2年度の対面機会が多く取れなかったことから、特に令和3年度前期については対面授業を多く設定することを意識した(対面比率前期対面程度、後期6割程度)。3年生については、他学年と比較して対面授業の実施比率は低くなっている(対面6割程度)。	①②③④⑤⑥⑦		
566	長野県立大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染対策を徹底しているため。	③半々	感染対策を徹底したうえで対面・オンライン授業の併用。	③学部・学年ごとに差	実験・実習科目などを対面で行う必要のある科目を有する学科と受講数において感染対策上対面授業が実施できない学科がある等、学科により状況が異なるため。	②③④⑤⑦		
567	長野県看護大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	長野県が発出する感染警戒レベルに応じた学内活動方針を決定している。学生・教職員のクワン検査により感染リスクは低くなったが、コロナが収束しない現状を踏まえ前学期の対応を継続する。	①ほぼ対面	後学期の授業実施方針により、長野県の感染警戒レベルが4(特別警戒Ⅰ)以下であれば、少なくとも1グループ(約20名)は面接授業ができる。	⑤差はない	②④⑤⑥⑧	遠方の非常勤講師の授業は、コロナ感染状況により遠隔授業を考慮する。		
568	長野大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	双方向型の担保や対話対論の要素を取り入れた授業の実現という観点から、対面授業の重要性を認識しているため、感染対策を講じたうえで、可能な限り対面授業を実施できるよう教育活動基準を整備した。	①ほぼ対面	地域の感染状況や警戒レベルを基に、本学の教育活動基準を決定し、原則、対面授業としている。	⑤差はない	②③④⑥			
569	松本歯科大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
570	松本大学	20. 長野県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルスの根本的な治療が確立していないこと、感染減少と増大が繰り返されていることから、基本的な考え方に変更はありません。なお、松本大学では、「新型コロナウイルス感染症対応本部」を設置、「松本大学活動制限指針」(以下、「指針」という)大学活動における行動基準を策定しております。指針では感染状況に応じて6段階に活動制限レベルを定め、県や県等で公表される、新型コロナウイルス感染症状況の情報を分析して、活動制限レベルを決めています。	①ほぼ対面	コロナ治療薬が準備できていない状況では、これまで同様、感染減少と増大が繰り返されることを想定され、これまでに対応が大きい変更されることはないと考えます。	①学部ごとに差	人間健康学部スポーツ健康科学科について、他の学部学科よりも実技科目が多く、そのため面接授業を実施しなければならない科目が多くなっています。人間健康学部健康実務学科については、他の学部学科よりも実験・実習科目が多く、そのため面接授業を実施しなければならない科目が多くなっています。	①②⑤⑥		
571	清泉学院大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学においては、面接授業を主とする方針のもと、長野県の感染警戒レベルに応じて遠隔授業対応を決めている。長野県感染警戒レベル「5」(特別警戒Ⅱ)、特指法に基づく「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の場合は遠隔授業としている。							
572	佐久大学	20. 長野県	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大								
573	長野保健医療大学	20. 長野県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし								
574	松本看護大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本校の学生は、看護師として将来仕事に就くものが多いと予想される。そのため専門的知識の習得、実習等による現場での経験が必要となり面接授業を推奨している。現状、コロナウイルス感染の警戒レベルが下がり面接授業を行っていい。実習も控えていることもあり、コロナウイルス感染症対策を万全にして実施していく。遠隔授業については、非常時に急遽活用ができるように準備・研修を進めたい予定である。							
575	飯田女子短期大学	20. 長野県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	実習演習科目が多く対面を必要とする授業に支障がないよう配慮している	⑤差はない		①②④⑤		
576	長野女子短期大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期の、座席が密にならないよう、クラスを2つに分け、面接授業を2教室同時中継で行う実施方法を再検討し、後期も同様に実施することに決定した。							
577	上田女子短期大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
578	松本大学松商短期大学部	20.長野県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	①ほぼ対面	コロナ治療薬が準備できていない状況では、これまで同様、感染減少と拡大が繰り返されていることから、基本的な考え方に変更はありません。なお、松本大学では、「新型コロナウイルス感染症対策本数」を設け、「松本大学活動制限指針」（以下、「指針」という）という大学活動における行動基準を策定しております。指針では感染状況に応じて6段階に活動制限レベルを定め、国や県等で公表される、新型コロナウイルス感染状況の情報を分析して、活動制限レベルを決めています。			①②⑤⑥		
579	松本短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
580	清泉学院短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
581	信州豊南短期大学	20.長野県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	①ほぼ対面	2学部の後期開講授業科目のうちの遠隔授業実施の割合	①学部ごとに差	遠隔授業は感染拡大地域からの教員の科目のみ実施しており、学科に該当の非常勤教員が1対3の割合となっていることによる。		面接授業を基本とし、感染拡大地域から出講していた非常勤教員のみ遠隔授業を行っている。コロナもやや落ち着きを見せていることから、1月以降見直しについて検討する予定。	
582	松久大学信州短期大学部	20.長野県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
583	長野工業高等専門学校	20.長野県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
584	岐阜大学	21.岐阜県	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大		キャンパス内のワクチン接種率が7割以上となったため					
585	岐阜薬科大学	21.岐阜県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし		令和2年度後期以降、各学年2教室に分散させ、主教室（教員が対面で講義）と別教室とを映像・音声を集めるリモート講義を実施しており、令和3年度後期においても同様に実施する。					
586	岐阜県立看護大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	②7割対面	1週間のうち面接授業日が2日、遠隔と面接のハイブリッド授業日が2日で、平均すると面接授業が約7割となる。	②学年ごとに差	3年次生は毎日医療機関で対面での実習を行っている。	①②		
587	情報科学芸術大学院大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	③半々	前期学生アンケートの結果から		学生アンケートや現状を踏まえて教職員で話し合い判断した	⑤差はない	①②⑥⑦	
588	中京学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	②7割対面	実習及び演習科目については対面で、講義形式の科目は遠隔授業として判断した。		⑤差はない		②④	
589	岐阜協立大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大		オンライン授業の多かった令和2年度に、学生へのアンケートや面談を行う中で、学生が対面授業などのキャンパス内での活動を望んでいることを大勢として強く把握した。教員も教える立場から対面授業を希望する者が大半であった。これを受けて、「感染状況が許す限り出来るだけ対面授業を行う」という方針は、令和3年度前期から既に確認されているので、その意味では「4は必ずしも指導できるものであるが、対面での授業機会の重要性を強く認識」という文言が当てはまるため、③と回答した。					
590	岐阜女子大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大		学生間の会話、アドバイザー・教員との対面による繋がりによる学園生活の安定					
591	朝日大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	②7割対面	・新型コロナウイルスの大学距離接種の実施により一定数の学生が接種した。・演習科目、実習科目及び必修の講義科目は面接授業。・大人数収容の講義室やクラス分けにより収容率を50%以上にするよう授業を実施。・手洗い機、体温測定及び講義室の消毒を実施。以上のことから、学部学科に応じて比率の差はあるが、面接授業と遠隔授業を行う予定とした。	③学部・学年ごとに差	講義ごとに密にならない収容人数の設定で授業を行うが、条件を満たさない場合もあるため学部学年等により差異が生じる。	①②③④⑤⑥		
592	岐阜聖徳学園大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	①ほぼ対面	本学では感染状況別に活動指針を定めており、今後も現状が続くのであれば、感染防止対策の上、対面授業を実施し、状況に応じて対面授業と遠隔授業を効果的に併用していくため。		⑤差はない	①②④⑤⑥		
593	東海学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大		資格課程に係る実験・実習系授業が多いので、対面による授業効果を重視する方針に変わりはない。					
594	中部学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大		全学生のワクチン接種率が8割を超えた、非常事態制限の解除、学内抗原検査体制の整備など					
595	岐阜医療科学大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	②7割対面	講義科目は面接授業と遠隔授業を併用、実習科目は面接授業実施のため	③学部・学年ごとに差	キャンパスのキャパシティの差、学科により全員面接授業をする学年が違いため	①②⑥		
596	岐阜保健大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	①ほぼ対面	建物に入室したときに窓にならないように人の重なりが出来るだけ少なくなるように増設定めました。演習科目を対面授業とし、講義科目は、遠隔授業での授業をしています。	③学部・学年ごとに差	看護学部1年生は講義科目が多いため、遠隔授業を週2回実施しています。看護学部2年生は、演習科目が多いため、週1回の遠隔授業を実施しています。リハビリテーション学部1年生は、講義科目の中にディスカッション授業があるため、週1回の遠隔授業にしています。リハビリテーション学部2年生は、学科毎に分かれているので、人数が少なく、窓になりやすく、演習科目が多いため、週1回の遠隔授業を行っています。	①②④⑤		
597	岐阜市立女子短期大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	③半々	実習・演習など面接授業での実施が必要である科目を面接授業で実施することとした。その上で授業時間において、学生に⑤差はないできるだけ不便が生じないように配慮して決定した。		⑤差はない	②		
598	中部学院大学短期大学部	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大		全学生のワクチン接種率が8割を超えた、非常事態制限の解除、学内抗原検査体制の整備など					
599	岐阜聖徳学園大学短期大学部	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	①ほぼ対面	本学では感染状況別に活動指針を定めており、今後も現状が続くのであれば、感染防止対策の上、対面授業を実施し、状況に応じて対面授業と遠隔授業を効果的に併用していくため。		⑤差はない	①②③④⑤		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
600	正眼短期大学	21. 岐阜県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
601	中京学院大学短期大学部	21. 岐阜県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	実習及び演習科目については対面で行い、講義形式の科目は遠隔授業として判断した。	⑤差はない		②④	
602	東海学院大学短期大学部	21. 岐阜県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	資格課程に演習・実技系授業が多くあって、教養科目についても演習・実技授業との関連があるので、対面による授業を重視する方針に変わりはない。						
603	日本自動車短期大学	21. 岐阜県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	教育効果を考えると対面授業の方が学生の理解が深く、感染拡大の状況に対応して授業を展開していくことに変わりはない。						
604	大垣女子短期大学	21. 岐阜県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	専門的な学修をする学科構成であり、実技や実習など実際に手を動かして学ぶ必要がある授業科目が多く、芸術系学科においては実技やレッスなどの指導上、対面での必要があった。また、専門的な学びを学修し社会に出るうえで、学生たちの交流は貴重な機会であると認識しているため。						
605	高山自動車短期大学	21. 岐阜県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	基本的な考えとして、感染対策を講じつつ、対面授業を行う方針である。						
606	岐阜保健大学短期大学部	21. 岐阜県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	実習科目は、対面で伝わること、技術チェックが可能なため	①ほぼ対面	キャンパスに入室したときにも感染をならぬよう人の密な環境が出来る限り少なくなるよう曜日を設定しました。実習科目③学部・学年ごとに差は、対面授業を推奨しています。		リハビリテーション学科は、理学と作業の学科層にわかれていてるので、密になりづらく、演習科目が多いため、週回の遠隔授業を行っています。	②④⑤	
607	平成医療短期大学	21. 岐阜県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期に引き続き、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施している。	③半々	感染防止対策を十分にしながら、可能な限り面接授業を実施する。	②学年ごとに差	主に講義科目は遠隔授業、演習科目は面接授業としている。2年次は演習科目が多くなるため、概ね1年次は週2日、2年次は週3日の面接授業としている。3年次は実習で学外に出ていることが多く、実習以外は感染状況に応じ面接授業としている。	②⑤	
608	岐阜工業高等専門学校	21. 岐阜県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本校では、新型コロナウイルスにおける活動方針レベル対応表を設定しており、感染状況（国や県による非常事態宣言等）に応じ変更しており、後期も前期同様の授業方針としているため。						
609	静岡大学	22. 静岡県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の面接（対面）授業の実施方針では、1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%を原則とするが、部長が特に必要と認めた授業については、各教室の状況に応じ、より緩和された学生数とすることができることとしていたが、令和3年度後学期については、当該学期の履修登録期間中に緊急事態宣言が発令されたことから、1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%以内を原則とし、これを満たさない場合は遠隔（在宅）授業を実施することとした。	③半々	令和3年度後学期の授業の実施方針は以下のとおりとしている。【基本方針】令和3年度前期と同様、面接（対面）授業と遠隔（在宅）授業を適宜併用する。【面接（対面）授業の実施方針】①1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%以内を原則とすること。②授業時のマスク着用を必須（運動時を除く。）とし、教室では各自間隔を空けて着席するなどにより、教員や学生間の距離の確保に努めること。【授業実施に当たっての留意事項】各科目の対面授業又は在宅授業の実施については、本年度前期と同様、部長の判断によるものとする。各部署において面接（対面）授業を導入する授業科目を集計した結果、後学期の面接（対面）授業の実施率は57.2%であった。	③学部・学年ごとに差	面接（対面）授業を導入する授業科目は、各部署長の判断に委ねられているため。	②③④⑤⑦	
610	浜松医科大学	22. 静岡県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は対面授業のみならず実習等についても感染対策に十分留意したうえで従っており、基本的な考え方に大きな変化はない。	③半々	後期における面接授業と遠隔授業の比率がおおむね半々であった昨年度と、大きな変更は予定されていないため。	②学年ごとに差	医学科5年次生は1年を通して実習のため、対面（面接）授業の比率が高い。	②④	
611	静岡県立農林環境専門職大学	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	④その他	令和3年度前期と同様、全ての授業を面接授業で実施することとしたため、変化なし						
612	静岡県立大学	22. 静岡県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大学として方針を定めた上で、各学部教授の授業内容による判断	①学部ごとに差	経営情報学部は、情報リテラシー、ICT授業の進展によって、現状のコロナリスクを考慮し、遠隔授業の割合が高くなっている。	①②③⑤⑥⑦	
613	静岡文化芸術大学	22. 静岡県	02. 公立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	感染状況に応じて授業の実施方針を検討することには変わりはない						
614	静岡社会健康医学大学院大学	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
615	光産業創成大学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
616	静岡福祉大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	本学で定めた対応方針に基づき、地域の感染状況を見ながら授業方針を決定している。						
617	浜松学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	④その他	学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会の重要性については前期中から認識しており、前期から後期について大きな変化はなく、可能な限り対面授業を実施している。						
618	静岡英和学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はない	①ほぼ対面	実験・実習・実技など、特に対面による指導が不可欠と判断される科目や受講者数が40名以下の科目については対面授業を実施する	②学年ごとに差	1年次は必修科目が多く、受講者数の多い科目を履修することから、オンライン授業の割合が多くなる傾向がある	①②③④⑥	
619	常葉大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルスに関する情報も少しずつ増え、感染防止対策を施したうえで、可能な範囲で対面での授業を実施している。	①ほぼ対面	本学の感染拡大防止のための行動方針に基づき、授業の実施方法を検討している。現在のレベルでは、感染防止対策を強化したうえで、対面授業可、遠隔授業も併用となっている。	⑤差はない		①②③④⑤⑧	面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い教員や感染リスクを懸念する教員が遠隔授業を実施する。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
620	静岡理工科大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の声などから、改めて重要性を認識したため	①ほぼ対面	93名以上の履修者数が予想される授業を予め遠隔授業とした	⑤差はない		①②③④	
621	聖隷クリストファー大学	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本学は保健医療福祉・教育の専門職の養成をおこなっており、対面授業を原則とする考え方に変更はありません。						
622	静岡産業大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	面接授業・遠隔授業の利点・観点、学生・教員に対するアンケート調査の結果、3密配慮下の教室の収容人数に基づき。	②7割対面	面接授業・遠隔授業の利点・観点、学生・教員に対するアンケート調査の結果、3密配慮下の教室の収容人数に基づき。	⑤差はない		②③④⑤⑦	
623	日本大学短期大学部	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	短期大学部は、三島校舎及び船橋校舎の2校舎あり、学系分野も異なっています。特に、三島校舎においては、前学期の授業実施方針では、対面授業の比率が40%でありましたが、選挙に不安を抱える学生、オンラインを臨む学生だけでなく対面授業を臨む学生に対応するよう、1つの授業で、対面による受講とオンラインによる受講を学生自身が選択できるようにした。また、船橋校舎においては、後学期も令和3年度の授業実施方針を継続し、学生を2グループに分け選考わりで登校し、登校の遅の授業は、対面授業をとするなどを実施してきた。	②7割対面	これまでキャンパス内でのクラスターを発生させないよう授業実施に関するガイドラインを大学として策定し、運用して対策を講じ、入構者の制限や毎日の健康観察や入構時の検温など構内への感染者の構内立ち入りも防止するよう対応してきました。しかし、新型コロナウィルスは、発症する2日前（発症状態）から感染のリスクが高まるため、構内にも感染者がいることを想定し、教室等1か所に集合できる人数を収容定員の50%とする運用だけでなく教室に限らず人との間隔を1m以上空けるようガイドラインで定めています。そのため、履修者数が、教室の収容定員の半数より少ない場合は、対面授業を実施し、履修者数が、教室の収容定員の半数より多い場合は、オンライン授業を実施しております。	①学部ごとに差	三島校舎及び船橋校舎においても、実験実習科目が多い科目が、対面授業の比率がより高くなり、講義科目が多い科目について①②③④⑤⑥⑦		
624	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度前期と同様、全ての授業を面接授業で実施することとしたため、変化なし						
625	静岡県立短期大学	22. 静岡県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		②	
626	静岡英和学院大学短期大学部	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はない	①ほぼ対面	実験・実習・実接など、特に対面による指導が不可欠と判断される科目や受講者数が40名以下の科目については対面授業を実施する	②学年ごとに差	1年生は必修科目が多く、受講者数が多い科目を履修することから、オンライン授業の割合が多くなる傾向がある	①②③④⑥	
627	常葉大学短期大学部	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルスに関する情報も少しずつ増え、感染防止対策を施したうえで、可能な範囲で対面での授業を実施している。	①ほぼ対面	本学の感染症拡大防止のための行動指針に基づき、授業の実施方法を検討している。現在のレベルでは、感染防止対策を強化したうえで、対面授業可、遠隔授業も併用となっている。	⑤差はない		①②③④⑤⑧	面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い教員や感染リスクを懸念する教員が遠隔授業を実施する。
628	浜松学院大学短期大学部	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
629	沼津工業高等専門学校	22. 静岡県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期：R3.8.30'9.17の遠隔授業（試験）を除き対面授業で実施 後期：R3.10.4'対面授業で実施						
630	名古屋大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では、令和2年度後期から、学生へのアンケート結果や学生と教員の対話等を通じて2-4①を強く認識し、授業実施方針に反映していた。令和3年度の授業実施も、学生の精神的健康面も考慮し、令和2年度から引き続き対面での授業が望ましい授業は対面授業を実施していく方針に変更はなく、後期においても継続していくことから、基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	2021年度の授業実施においては対面を重視し、前期において対面授業は7割程度となっている。後期においても実施方針に変更はないため、同様に7割程度の対面実施を見込んでいることから②を選択した。	①学部ごとに差	理系学部は文系学部比べて実験・実習科目が多いため、対面授業の比率が高い。	①②③④⑤⑥⑦	
631	名古屋工業大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染状況が落ち着いた状況ではあるものの、6密の可能性があるが完全に除去される訳ではなく、職域接種による学生のワクチン接種率も6割程度に留まることが、引き続き、感染対策を講じることを前提とした授業の実施方針を決定する必要があると判断したため。	③半々	本学の講義室の収容定員を考慮して、学生番号を偶奇に分け、対面授業とオンライン授業を交互に実施する方法で運営しているため	①学部ごとに差	第2部は1学年の定員が20名と少数であるため、ほとんどの授業を面接授業で実施しているため。	②④⑤⑥⑦	
632	愛知教育大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	愛知県の感染状況は、全国的な状況と同じく8月をピークに落ち蓄積してきているものの、引き続き予断を許さず感染拡大防止に努めることが必要と考えたため、前期から大きな変更を行っていない。	②7割対面	愛知教育大学では、学修機会の確保と感染拡大防止の両立のため、令和2年度に引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施することを年度当初に決定しているが、個別の授業ごとに授業内容やその時々感染状況を踏まえ各教員において授業方法を判断することとなっているため、これまでの実績を踏まえた見込みとして判断した。	②学年ごとに差	第1学年において、対面授業と遠隔授業の割合がおよそ半々となっており、他の学年に比べて遠隔授業の割合が高く、対面授業の比率が低くなっている。理由としては、1年次に履修するのは共通教育科目などの、受講人数が多く、講義形式で実施するために遠隔授業で実施されることが多い科目の割合が高いことが考えられる。	②④⑤⑥	
633	豊橋技術科学大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	繰り返し学修、自学自修などの効果が認められる遠隔授業と学生の反応を直接、確認しながら行うとともに、アクティブラーニングの効果を含む従来の授業だけではない遠隔授業とのそれぞれの教育効果を生かすために、引き続き面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施する。さらに、まだ来日することができない留学生については対面授業が実施できないので、十分な教育効果を担保しながら遠隔授業を実施している。	②7割対面	講義科目では面接授業と遠隔授業の比率がおおむね半々であり、演習科目、実験科目、実習科目については、面接授業の比率が高くなる状況で、全体としては、7割程度の面接授業の比率となる。	⑤差はない	豊橋技術科学大学は工学部・大学院工学研究科のみの単科大学であり、また学年ごとに実施比率はほぼ同じである。	①②③④⑤⑦	
634	名古屋市立大学	23. 愛知県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	新規感染者数の急激な減少等による緊急事態宣言の解除など面接授業が実施可能な環境が広がっていると認識しています。が、密の回避など基本的な感染防止対策を引き続き行う必要があり、受講者数を教室定員の一定割合に制限するなどの措置を継続予定です。学内施設のキャンシティ等を理由として一定割合遠隔授業が継続することになると考えています。	①ほぼ対面	令和3年度前期において、本学では7割以上が面接授業になると試算したところです。後期においては、教室の有効利用を図るなど、更なる面接授業の増加を検討しているため、面接授業の実施割合が上昇する見込みです。	③学部・学年ごとに差	本学では、密を回避するため、受講人数を教室定員の一定割合以下に抑えるという規制をおこなっています。学部・学年によって所属人数や利用できる教室などの要素が異なるため、学部等や学年により、面接授業と遠隔授業の実施比率に差が出る状況が一部存在すると考えています。	①②④	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
635	愛知県立芸術大学	23.愛知県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和2年度から、感染対策を講じつつ、面接授業を行っているため	①ほぼ対面	実技系の授業が多いため、極力面接授業を主体としている	⑤差はない		②④⑤		
636	愛知県立大学	23.愛知県	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	結果的に第5波が収束し、緊急事態宣言が9月30日に解除されたが、後期授業の実施について検討していた時期は第5波の最中であり、ワクチン接種の進展があるとはいえず、将来にわたり、コロナ禍が収束することが予想されないため、前期と同様の授業方針とした。	②7割対面	間2-5と同様の判断。ただし、第6波が襲来した場合は、通隔授業の割合を増やせるよう、あらかじめ対面授業の中で通隔授業が可能な授業を選定している。	①学部ごとに差	座学ではなく、実験や実習が多いなど、各学部などの授業の状況や内容により、対面授業の比率に差が生じる。	①②③④⑤⑦	特に無し	
637	愛知工科大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面				①全面対面 ①対面授業を拡大		前期からの変化ではなく、以前から①のような考え方である。					
638	名古屋産業大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面				①全面対面 ①対面授業を拡大		6月29日より、大学にて新型コロナウイルス(モデルナ社)の職場接種を行っており、接種率も向上している。学生からは、対面を希望する意見も増えており、学習効果の面からも対面の機会を増やす必要がある。					
639	人間環境大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差	キャンパスが異なる他、カリキュラムの特性による。	②⑤		
640	名古屋文理大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	従前から愛知県の方針に従って授業を実施しているが、特設トータル等も発生していないため、前期の授業方針を継続する	①ほぼ対面	愛知県下の感染状況を鑑みながら方針を決定している。学科構成の特性もあり、実験・実習や演習など対面で行わざるを得ない科目もあり、その関係から感染対策を講じながら面接授業を行う。	⑤差はない		②④⑤⑧	基礎疾患を持つ感染リスクの高い教員の科目において、通隔授業を行っているものがある。	
641	愛知みずほ大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	演習・実習科目の割合及び授業の効果より判断	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦		
642	愛知学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期においても、面接授業を原則として開始した。緊急事態宣言発令に伴い通隔授業としたが、学生および教職員からも面接ぎゅぎょの重要性を認識している。	①ほぼ対面	ワクチン接種も比較的進み、全体として感染予防についての認識も高く、教室環境の対策もとれていると考えられるため	①学部ごとに差	一部学部においては、ハイブリット授業を実施	①②④⑤⑥⑦		
643	愛知工業大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面				①全面対面 ①対面授業を拡大		デルタ型ウイルスの感染力と若年層の感染増加に一層の危機感を覚えます。					
644	金城学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	面接授業の優先順位を決め、感染状況等を踏まえ新型コロナウイルス緊急対策会議で面接授業削減比率を決定する。2021年度については、最高7割、最低3割を原則とした。	③学部・学年ごとに差	実験実習が多い学部等については、面接授業が多い。また、学年においては学部等の考え方による。	⑧	全学共通科目は、通隔授業とし、専門教育科目は、学部等の判断による。	
645	福山女子学園大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	①対面授業を拡大	ワクチン接種が進み、ある程度の安全性が見込めるため。	①ほぼ対面	原則は対面授業とするが、特例的な措置として、授業担当教員等に基礎疾患等があり健康上の配慮が必要な場合や、教室・施設設備の都合上対面での実施が難しい場合、通隔授業を認める。	⑤差はない		①②④		
646	大同大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学期終了時に、学生・授業担当者にアンケートを実施している。意見には対面授業の実施や来学するの活動を求める声があり、本学の理念「実学生主義」の考えからも、可能な限り来学して、対面での授業や学生生活を提供したいため	②7割対面	全学をまたぐ教養科目(特に産学科目)については、感染対策や講義室定員を考慮し、通隔に実施。学科・専攻等の科目に④その他については、原則対面に実施する。	④その他	ほぼ横這いではあるが、学科・専攻によって、非常勤の本務都合等の関係により、少し低い場合がある。	①②③④⑥		
647	中京大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	現状、感染状況は若干落ちているが、いつ状況が悪化するかわからない。感染状況が悪化した場合にも対応できる体制を維持するためには基本的な考え方を大きく変えることは考えづらい。	②7割対面	春学期と授業方針は変わっておらず、春学期の実績から上記を回答した。	①学部ごとに差	学部・学科の特性により語学、演習、実技等対面を実施する必要がある授業の比率に違いがあるため。	①②③④⑥⑦		
648	名古屋学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大	感染状況が減少しており、このままこの状態が続けば、コロナ禍以前の通り、対面授業を開始する方が学生にとってより良いと思われるため。							
649	名古屋商科大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面				①全面対面 ①対面授業を拡大							
650	名古屋女子大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期と後期ともに授業の実施方法は同じであるため、感染状況が落ちている場合は面接授業を実施しているため。	①ほぼ対面	実験や実習等、限られた教室でしか実施できない授業で履修者が教壇の5割以上となる場合に限り、半数に分けて面接授業を行い、残りの半数は通隔授業を実施するため。	③学部・学年ごとに差	看護学科では演習や実習が多いため、面接授業の割合が高い。教壇課程を持つ学科でも、教育効果の観点から面接授業の割合が高い。	①②④⑤		
651	南山大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	感染状況次第で好転すれば、面接授業中心としたと考えている。	①ほぼ対面	本学は4学期制を採用しているが、緊急事態宣言が発令されなかった今年度の第1クォーターにおいては、8割以上の科目を対面授業として実施した。緊急事態宣言下で始まった第3クォーター開始時は、対面授業の実施率が49%であったが、宣言解除後、対面授業を増やしており、11月17日からの第4クォーターでは、現行の状況が続けば、第1クォーター同様、対面授業が9割以上になると考えている。	③学部・学年ごとに差	教室定員の3分の1ないし2分の1で教室前向きをしているため、大人数講義の多い社会科学系の学部では通隔授業が多くなる。また、演習系科目は対面で行っているが、学部・専攻によって演習のない学年もあることから、学年による面接授業の実施比率に差が生じている。	①②③④⑤⑥		
652	日本福祉大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	少数単位で実施する。ゼミや演習・実習・実技系科目については対面授業を追求しているが、講義や教室のキャパシティを踏まえ、講義系科目については、通隔授業を主として運営している。	③半々	令和3年度後期の授業実施方針については、方針の検討段階において、愛知県が緊急事態宣言下にあったことをうけて「対面授業と通隔授業の併用」を基本とすることを決定した。なお、9月30日まで愛知県が発出されていた緊急事態宣言は解除されたが、感染リスクが解消されたとはいえず、冬季の感染再拡大も予測されるなど、引き続き判断を許さない状況にあることから、前期同様に対面と通隔の併用にて授業を運用することとしている。	③学部・学年ごとに差	学部間の実施比率については、演習・実習・実技系の科目が多く配置されている学部において対面授業の比率が高くなっている。また、学年間の実施比率については、初年次教育および大学での学修経験が深い1年生に対して優先的に出校の比率を上げている。なお、本学は8キャンパスで教育活動を展開しており、学部・学年以外にも、キャンパスの施設環境(教室キャパ)によっても実施比率が異なっている。	①②③④⑤⑥⑦		
653	名城大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症に係る活動制限指針を定め、それに則って今後の授業方針を決定しているため、令和3年度前期からの変化はなかった。							
654	名古屋音楽大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	基本は面接授業を行っているが、担当教員の判断により通隔で実施したとしても学修成果が変わらない科目は通隔で実施し	⑤差はない		①②⑤⑥⑦		
655	豊田工業大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面				①全面対面 ④その他		昨年度の学生へのアンケート調査結果から、面接授業が必要であるとの強い認識をもち、令和3年度は前期から十分な感染防止対策を行ったうえで、全面的な対面授業を実施している。例外として、前学期開始直後の2週間は面接授業再開にあたり、3密の発生状況を確認するため、学年ごとに出校曜日を設定し、人数制限を行った。また、緊急事態宣言発令下においては、感染拡大防止のため、実験・実習・実技以外の科目は、学生が面接・通隔を自由に選択できるハイフレックス方式により授業を実施している。					

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
656	名古屋外国語大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	本学においても大学拠点接種会場となりワクチン接種が進んでいること、感染数を抑制したことにより悪化を緩和できることから、対面授業数を増やすことが出来ると判断したため。	①ほぼ対面	令和3年7月に後期授業実施方針を決定しているが、その後発出された緊急事態宣言のため一時的にすべての授業で遠隔授業を行ったものの、その後宣言が解除されたことにより感染防止対策を十分に取ったうえで当初方針を履行できると判断した。	②学年ごとに差	1・2年次生は大人数の講義科目も多く、3・4年次生は少人数の演習科目が中心となるが、受講者数の多い授業は遠隔授業としているため、学年により実施比率が異なる。	①②③④⑥⑦		
657	名古屋造形大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	各専門分野の演習は基本的に面接授業、分野共通の講義の一部を面接授業（第二外国語、資格関連の科目）としている。	②学年ごとに差		②		
658	愛知産業大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	引き続き、前期と同様の感染対策が必要であると判断している。	①ほぼ対面	学生がキャンパスに入学して学ぶ機会や、対面での学生同士や教職員の間人的交流が重要であるとの考え方。	⑤差はない		①②③④⑤		
659	東海学園大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	各学部で授業実施形態を検討した結果、対面授業の重要性を認識し、全体的に面接授業の割合がより高くなった。	①ほぼ対面	県内の感染状況や社会情勢に基づく大学の方針により、面接授業の割合が増加。10月8日以降の各学部の授業実施形態における面接授業と遠隔授業の比率を授業数（クラス数）をベースに計算した。	①学部ごとに差	資格・免許取得に必要な実習・実技・実験科目がある学部は、面接授業の割合が高い。	②⑤		
660	豊橋創造大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	2回の職場接種により、学生の8割以上がワクチン接種を完了したため、面接授業を基本とすることとした。							
661	愛知東邦大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		②③⑤		
662	星城大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①全面対面	②大きな変化なし							
663	愛知文教大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							
664	桜花学園大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		教育課程の特徴、キャンパスのキャパシティ、在籍学生の通学範囲、キャンパス構成員の感染状況等から検討し、新型コロナウイルス発生以降面接重視の授業運営を実施。個別代替授業申請制度の構築等学生の個別具体的な事情に関しても、学務機能を確保したうえでの対応を検討している。現時点でキャンパス内における感染は発生しておらず、昨年度は学内プログラムにて実施した学外実習も本年度は地域の感染状況や受入機関の事情等考慮しつつ現場にて実施している。					
665	愛知大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	これまで学生や保証人から様々なご意見をいただき、また、本学の本来の姿である対面による授業、交流の重要性と必要性を強く認識していますが、感染状況や社会情勢、学内施設のキャンパス等を考慮し、令和3年度春学期の授業方針と同様となりました。	①ほぼ対面	対面での実施を基本方針とし、履修者が多く見込まれる授業については遠隔授業としています。多くの授業を対面で行っているものの、各学生の時間前上では学部や学年によって比率に差異が生じることがあり得ると考えています。	③学部・学年ごとに差	社会科学系学部においては大人教員数が、人文系学部においては少人数科目が多く存在することから、学期間で比率の差が生じることが起こり得ると考えています。また、講義系授業（大人教員数が多い）の履修が多い低年次においては、遠隔授業の比率が高くなり、実習系の授業（少人数科目が多い）の履修者が多い高年次においては、対面授業の比率が高くなり易くなるかと考えています。	①②③④⑤⑧	学内の質を上げるために、教室の通常の収容定員の半分程度に抑えて対面授業を実施しますが、過去の実績から履修者が多く見込まれる授業については、遠隔授業とします。	
666	愛知学泉大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大		上級生と下級生の交流の減少があり、学生相互の学びの場が減少した。学生会活動、同好会活動の減少も懸念。大学内での交流を深めるため、通常授業に近い形で授業を行っている。					
667	至学館大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	以前から感染症対策は行っており、感染状況、施設など前期と大きく変わらないため。	②7割対面	基本的に面接授業であるが、受講者が多い授業等でオンラインによる双方向型の遠隔授業を実施している。	⑤差はない		①②③④⑤		
668	中部大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	面接授業における安全性を確保するため、講義室を収容定員の3分の2に減員して実施する必要があり、全講義を対面では実施できないため。	②7割対面	2-5で回答したとおり	③学部・学年ごとに差	実験・実習科目が多く配置されている自然科学系学部および資格系学部は、人文社会科学部と比較して面接授業の比率が高い。また、全学的に1・2年次配当科目のほうは面接授業の割合が高い。	①②③④⑥		
669	藤田医科大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	感染対策を行ったうえで可能な範囲で積極的に面接授業を取り入れてきていたため。	②7割対面	医療系大学のため実習が多く開設されており、実習科目がある日は面接授業を実施している。	②学年ごとに差	学年により、座学と実習の比率にばらつきがあるため	②⑤⑥		
670	名古屋芸術大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	後期授業開始時（9月20日）において緊急事態宣言発令中であったことを考慮し、対面授業による学修機会の確保を図りつつ、感染対策として遠隔授業を活用することとしたうえで、前期に引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施することとした。	①ほぼ対面	実技科目については原則として対面授業を感染予防対策を徹底して実施することとしつつ、講義科目については受講者数が多い数（概ね25名以上）の授業は遠隔授業を実施することとした。	⑤差はない		①②③④⑦		
671	愛知医科大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学内の感染対策専門家とも協議し、現状ではこれまでと同様の対応が必要と判断しているため。	③半々	感染状況を踏まえ、安全確保に必要な措置と判断している。	③学部・学年ごとに差	学部ごと、学年ごとで医療現場での実習の量も異なるため比率は様々である。ただし講義については概ね半々で行っている。	②④⑤⑥		
672	愛知淑徳大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的に面接授業重視。ただし、感染状況によって柔軟に対応することは、当初より変更なし。	①ほぼ対面	演習、実習、実技等が多いため、面接を中心とする。	③学部・学年ごとに差	教育内容の違いによる	①②④⑤		
673	名古屋経済大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染状況が前期と大きく変わらなため	①ほぼ対面	本学のガイドラインに従い、緊急事態宣言解除後、対応レベルをからが引き下げ、引き続き感染対策をしつつ、リスクの低い活動から徐々に実施していくこととしている。	①学部ごとに差	人間生活科学部は、85%の授業を面接授業で行う。免許・資格取得のための専門科目を全て面接授業で行っているため、面接授業の比率が高くなっている。	①②③④		
674	名古屋学芸大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	8月～9月にワクチン接種を行い、7割以上の学生が2回接種を完了していること、学生の対面での交流機会の重要性を鑑み判断した。	①ほぼ対面		①学部ごとに差	学部により授業の特性が違いため、学年により学生の経験値等が違うため。	①②③④⑤⑥⑦		
675	日本赤十字豊田看護大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	感染予防対策と教育の質保証を両立させという方針に変化はないため。							
676	修文大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							
677	岡崎女子大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大							
678	一宮研神大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		②学年ごとに差	学年によって対面授業と比較して遠隔授業で実施しても効果があまり変わらない授業科目にばらつきがあるため	①②④⑤⑥		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の予定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
679	名古屋柳城女子大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	感染者が減少しているため、学生にできるだけ対面で授業を行なうように考えている。	③半々	夏休みが感染リスクが高いと考えているため、夏ご飯を学内で食べないように考えている。	⑤差はない		②④⑤		
680	名古屋国際工科専門職大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
681	豊橋創造大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	④その他	2回の職種接種により、学生の8割以上がワクチン接種を完了したため、前期授業を基本とすることを決めた。また、履修者とのコミュニケーションが必要とされる職業を養成していることから遠隔授業では限界がある。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況が低下し、緊急事態宣言が解除にまつこと、これまでの本学の感染対策により学内での感染者の広げなかった実績がある。							
682	愛知学院大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
683	名古屋文理大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
684	名古屋女子大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期と後期ともに授業の実施方法は同じであるため、感染状況が落ちている場合は面接授業を実施しているため。	①ほぼ対面	実験や実習等、限られた教室でしか実施できない授業で履修者が多い場合は対面授業を実施している。	③学部・学年ごとに差	看護学科では演習や実習が多いため、面接授業の割合が高い。教育課程を持つ学科でも、教育効果の観点から面接授業の割合が高い。	①②④⑤		
685	名古屋短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	教育課程の特徴、キャンパスのキャパシティ、在籍学生の通学範囲、キャンパス構成員の感染状況等から検討し、新型コロナウイルス発生以降距離指導の授業運営を実施。個別性指導と講義の構築等学生の個別具体的な事情に即して、学修機会を担保したうえで対応を種々検討している。現時点でキャンパス内における感染は発生しておらず、前年度は学内プログラムにて実施した学外実習も本年度は地域の感染状況や出入機関の事情を考慮しつつ現場にて実施している。							
686	愛知みずほ短期大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	1.愛知県の新規感染者数減少と緊急事態宣言の解除 2.対面授業において履修した感染予防対策を講じていること。3.資格取得に関わる授業においては、実技等対面による学修が必要であること。	⑤差はない		①②③⑤⑥		
687	名古屋柳城短期大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	感染者が減少しているため、学生にできるだけ対面で授業を行なうように考えている。	①ほぼ対面	夏休みが感染リスクが高いと考えているため、夏ご飯を学内で食べないように考えている。	⑤差はない		②④⑤		
688	名古屋文化短期大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	学生個人、または寮舎の状況により感染に対する意識には幅があるため、学内施設のキャパシティも考慮し、面接と遠隔の併用を継続する予定である。	①ほぼ対面	原則面接授業を行うが、学内施設のキャパシティによる制限を受ける授業については複数の教室を使用する遠隔授業が必要と判断している。	⑤差はない		①②③④⑥		
689	愛知工科大学自動車短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
690	愛知大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	これまで学生や保護者から様々なご意見をいただき、また、本学の本来の姿である対面による授業、交流の重要性と必要性を強く認識していますが、感染状況や社会情勢、学内施設のキャパシティ等を考慮し、令和3年度春学期の授業実施方針と同様となりました。	①ほぼ対面	対面での実施を基本方針とし、履修者が多く見込まれる授業については遠隔授業としています。多くの授業を対面で行っているものの、各学生の時間割上は学部や学年によって比率に差異が生じることがあり得ると考えています。	⑤差はない	①②③④⑤⑧	学内の密を避けるために、教室の通常の収容定員の半分以上程度に抑えて対面授業を実施しますが、過去の実績から履修者が多く見込まれる授業については、遠隔授業とします。		
691	愛知学院短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	上級生と下級生の交流の減少があり、学生相互の学びの場が減少した。学生余活動、同好会活動の減少も感じ、大学内での交流を促すため、通常授業に近い形で授業を行っている。							
692	修文大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
693	愛知文教女子短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
694	岡崎女子短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
695	聖学館大学短期大学部	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	以前から感染症対策は行っており、感染状況、施設など前期と大きく変わらなかった。	②7割対面	基本的に面接授業であるが、受講者が多い授業等でオンラインによる双方向型の遠隔授業を実施している。	⑤差はない		①②③④⑤		
696	名古屋経営短期大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	6月29日より、大学にて新型コロナウイルス(モデルナ社)の職種接種を行っており、接種率も向上している。学生からは、対面を希望する意見も増え、学習効果の面からも対面の機会を増やす必要性がある。							
697	愛知江南短期大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		③学部・学年ごとに差		②④⑤		
698	愛知医療学院短期大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	基本的に面接授業を行っているが、感染防止に配慮した教室の収容人数に収容できない場合に限り遠隔授業を併用しているため、また、各授業科目の目的に応じて判断している。	⑤差はない		②④⑤⑥⑦		
699	豊田工業高等専門学校	23.愛知県	04.高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	実験・実習は遠隔授業では補えない。精神的不安を抱く学生へのケアが多く必要となった。							
700	三重大学	24.三重県	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期について、ほとんどの授業を面接授業とオンライン授業の併用によるハイブリッド授業に移行しており、現在の新型コロナウイルス感染症の状況やコロナ禍での教室の収容数を考慮すると、現行のままでもいくのが望ましいと考えるため。	①ほぼ対面	開講される全授業に対し、ハイブリッド授業及び面接授業で全授業回の半数以上を占める授業科目の合計数の占める割合で算出した。	①学部ごとに差	面接授業の実施については、各部署の判断のもと、対面での授業実施が必要不可欠なものを選択するとともに、履修者数、コロナ禍で教室の収容状況等様々な点を考慮しながら決定しているため、学部・学年で状況は異なっている。	①②④⑤⑥⑦		
701	三重県立看護大学	24.三重県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②⑤		
702	四日市大学	24.三重県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	履修者に対する教室のキャパシティと効果が高いと認められた授業を遠隔授業とした。	②学年ごとに差	教養系科目は履修者が多くなりがちのため、遠隔授業が増える傾向にある。	①②③④		
703	皇学館大学	24.三重県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言下では遠隔授業を行ったが、やはり対面授業が教育効果が高いという考えは変わらなかったため。	①ほぼ対面	基本的には全授業対面で行いたい。教室を収容定員の半分で運用しており、教室が不足していることから、一部遠隔授業を取り入れている。	⑤差はない		①②④⑤		
704	鈴鹿医療科学大学	24.三重県	03.私立大学	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	教育の質を担保できるように遠隔授業技術は向上したが、医療に従事することを目的としている本学の特性から、実験・実習や演習など、面接が必要であるとの認識が深まった。また、遠隔授業は通学時間が削減されることが、e-learningを導入し、毎回の振り返りや予習ができるような教育体制が急速に進み、教育改善効果を感じている。							
705	鈴鹿大学	24.三重県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差	留学生が多い学部は、入園できない学生が存在するため遠隔授業を実施している。	①③		
706	四日市看護医療大学	24.三重県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生が遠隔と対面によりうまく対応しているから。	②7割対面	感染対策との兼ね合いで	②学年ごとに差	4年生は講義に出てくる割合が少ないため	①②⑥⑦		
707	三重短期大学	24.三重県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	遠隔授業は通信トラブルが多いことに加え、面接授業に比べて質問しにくい等の意見があった。また、遠隔授業により精神的に実情をきたす学生も見受けられたため。	①ほぼ対面	原則、面接授業実施を基本としながらも担当教員の個別の事情(遠隔に慣れている、新型コロナウイルス感染症罹患歴やリスクが高い等)や科目特性(実技は学生に発生させることが必須)を考慮し、一部で遠隔授業を残した。	⑤差はない		②④⑤		
708	鈴鹿大学短期大学部	24.三重県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差	実習が多い学部・専攻は面接授業の比率が高い	①③		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の想定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
709	高田短期大学	24.三重県	03.私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	面接授業を基本とし、教員が出席できない状況となった場合、または教員が感染と判断された場合について、遠隔授業で運用する予定である。			②④	
710	ユニテック短期大学	24.三重県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
711	鈴鹿工業高等専門学校	24.三重県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	遠隔授業の有用性を認識するとともに、一方低学年の学生については、面接授業の重要性を強く認識している。						
712	鳥羽商船高等専門学校	24.三重県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本校においても、昨年度および今年度（短期間）遠隔授業を実施した期間があるが、元々の考えとして学生がキャンパスに通学して学ぶことが重要であると考えているため。						
713	近畿大学工業高等専門学校	24.三重県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期の緊急事態宣言中（9月）は遠隔授業、10月からは面接授業を実施している。宣言の有無により面接授業、遠隔授業を切り替えていく方針である。						
714	滋賀大学	25.滋賀県	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	地域における感染状況や学生のキャンパスにおける学習機会の確保等を勘案し、令和3年度前期の授業方針を維持している。	①ほぼ対面	後期授業の実施形態については、後期開講前に定めた授業実施方針に沿って実施されており、後期開講中において授業実施方針の変更を予定していないため。学生の学習効果や利便性等により遠隔講義を一部導入することが妥当と考えられるため。	①学部ごとに差	教育学部では実験・実習・実技科目が多いので面接授業が高比率になるため。	①②③④⑤⑥⑦	
715	滋賀医科大学	25.滋賀県	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2020年度後期から、原則全ての講義について面接授業を行うこととしているが、居住地・家族構成や学生個別の状況によって学習効果が異なることを防ぐため、実習・演習を除く全ての講義についてZoomによるハイフレッド形式で実施するとともに、収録した授業をオンデマンド配信する運営をしている。	①ほぼ対面	2020年度後期から、原則全ての講義について面接授業を行うこととしているが、居住地・家族構成や学生個別の状況によって学習効果が異なることを防ぐため、実習・演習を除く全ての講義についてZoomによるハイフレッド形式で実施するとともに、収録した授業をオンデマンド配信する運営をしている。	②学年ごとに差	カリキュラム上、低学年は講義形式の授業、高学年は実習が中心であるため。	①②⑤⑥	
716	滋賀県立大学	25.滋賀県	02.公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年4月に大学活動レベルについて決定され、この運用により今年度授業を実施しているため、令和3年度前期と比べて大きな変化はない。	①ほぼ対面	本学では、緊急事態宣言中・宣言の指針に従って、その態度、大学活動レベルを変更して対応している。そのため、10/7①学部ごとに差	②学年ごとに差	教員に基礎疾患等がある場合には学部長の判断により遠隔授業を認めているため、この運用によって学部ごとに比率が異なってくる想定されるため	①②③④⑤⑥	
717	成安造形大学	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期を通しての授業方針を検討したため現状に合った方針となっており、変更の必要はない。なお、令和4年度については変更を検討中。	②7割対面	授業方法の確認を行ったため、また本学は美術系の大学のため実習授業の割合が多く、遠隔の実施が難しいため。	②学年ごとに差	2年以上に実習科目の比率が高くなるため	②③	
718	聖泉大学	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	今年度前期の時点においても、学生が通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性について認識を強くしていたところであり、学習機会の確保と感染対策の両立という点では大きな変化はない。	①ほぼ対面	感染状況が悪化しない限り、状況に応じて見直しを図り、対面授業を増加している。	③学部・学年ごとに差	実習や演習が多い学部、学年においては、面接授業の割合が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
719	長浜バイオ大学	25.滋賀県	03.私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	基本的にすべての科目で面接授業を実施する方針である。教室の収容人数（座席数の5割）からやりくりして遠隔授業にしている科目がある。但し、現在、全授業・全実験実習の中で遠隔授業を行っているのは1科目のみである。	②学年ごとに差	本学は1学部のみで構成されているため学部間の差はない。令和3年度後期は、大学の全授業のうちで、3年次配属の「環境保全学」のみ遠隔授業を行っているが、それ以外は実験実習も含め面接授業を行っている。したがって、1、2、4年生は「感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で全て面接授業を実施」しており、3年生は、1つの遠隔授業を除く「全て面接授業を実施」している。	②④⑤	
720	びわこ成蹊スポーツ大学	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	密を避けるため、講義室の間隔を確保する方針により、多数の科目については遠隔とせざるを得ない。ただし、対面授業の必要性は強く感じている。	①ほぼ対面	席間を確保するため、座席の間隔を最低1m確保するため、原則、講義室の座席の2分の1を超えないよう教室配座を行うこととしている。この原則は「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式」に準拠し、教員のキャンパリアから2割弱の科目数を遠隔授業としている。	⑤差はない		②③④⑤⑥	
721	びわこ学院大学	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面					
722	滋賀文教短期大学	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	前期同様感染拡大状況と学内行動参考基準を基に後期も決定したため、11月上旬以降の授業形態は、10月下旬に再度検討予定。	④3割対面	9月中旬～11月上旬は、週1日の面接授業日を設けている。11月上旬以降の授業形態は、10月下旬に決定する。併用した場合は、現状の週1日を面接授業とした場合を想定した。	⑤差はない		②	
723	滋賀短期大学	25.滋賀県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本学では、令和2年度の6月から感染予防対策を徹底した上、原則、対面授業を実施している。						
724	びわこ学院大学短期大学部	25.滋賀県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面					
725	京都大学	26.京都府	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	②大きな変化なし	なし						
726	京都教育大学	26.京都府	01.国立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	必要な知識や技能を修得するためには、他の受講生の取組をよく観察し、互いに学び合うことが重要であると認識している。顔が活動など授業だけでなく「人間形成」によっても学生間の交流が欠かせないと考えている。						
727	京都工芸繊維大学	26.京都府	01.国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の時点から、キャンパスライフで得られる経験の重要性や、学習機会確保の観点から授業方針の検討・決定を行っており、後学期についても大きな変化はありません。	①ほぼ対面	全授業回をオンラインのみで実施する科目は、担当教員に持病がある場合などの一部に限られます。なお、実験・実習を除く講義科目（産学中心のもの）については、対面授業と同時にオンライン配信も行う予定です。	⑤差はない		①②④⑥⑦	
728	京都市立芸術大学	26.京都府	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の方針を決める際に、授業実施方法と感染対策について慎重に検討し、ソーシャルディスタンスの確保などの感染対策を維持するためには、現状以上に対面授業を増やすことは難しいため。	③半々	面接授業を対面で実施するためには、密を避ける等の感染対策を講じた。従来のスペースが必要となり、学科授業を実施していた教室の大部分を実験スペースに転用することで実技の対面授業を維持することができている。そのうえで、遠隔では実習を除く一部の学科授業については、対面で実施している。	③学部・学年ごとに差	実習科目については、遠隔の実施が困難なため、それらの科目がカリキュラムの中心となっている専攻と、それ以外の専攻では、面接授業の実施比率に差が出ている。また、学が上がるにつれ実技中心となるため、面接授業の実施比率が高くなる。	②④	
729	京都府立大学	26.京都府	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	対面・ハイブリッド型・オンラインの授業形態で実施するところ、ハイブリッド型の参加者をすべて対面とした想定割合。	③学部・学年ごとに差	実験・実習・実習が多い学部においては、対面授業の比率が高くなる傾向にある。	②③④⑥⑦	
730	京都府立医科大学	26.京都府	02.公立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	基本的に、実習は対面で実施する予定である。また、講義については、コロナの感染状況を勘案しながら実施することになるが、オンラインに転じて、ハイブリッド形式でも実施することとしており、おおむね半分程度になると思われる。	③半々	病棟での実習を含めて各学年で実施する実習については、教育目標を達成する必要性から、感染対策に十分配慮して実施する必要がある。その一方で、各学年全員が1つの講義室で受講するにもスペースの問題があることから、半分程度の比率になるものである。	②学年ごとに差	実習時間の多い学年については、対面での授業時間が増加するが、産学中心の学年はオンラインの比率が比較的高くなる。	②③④⑥⑦	
731	福知山公立大学	26.京都府	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍でいつ感染拡大するか、また緊急事態宣言が発出されるか分からない状況で、大きく授業方針を変えることができなかった。取り組みとして、中にはむをせず対面授業を調整できない学生もいるので、「遠隔による授業の受講希望申請書」を提出してもらい対応している（前学期に引き続き）。	②7割対面	現状では比較的感染者数が落ち着いているので、このまま進めていきたい。ただ、今学期に緊急事態宣言が発出されたら、前学期と同様に遠隔に切り替えられる利便から順次切り替えを提出してもらい対応している（前学期に引き続き）。	①学部ごとに差	地域：7割対面、2割遠隔、1割併用 情報：ゼミ、IT実習、コンピュータプログラミング以外全て遠隔 情報学部は情報学専攻のため、実習者が多人数となる科目が多い。そのため、基本は遠隔で開講している。	①②③④	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
732	平安女学院大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	令和3年の前期では、原則は対面授業とし、新型コロナウイルス感染症状況が悪化した場合は柔軟に遠隔対応に移行する予定だったが、後期においてもその方針を続ける予定である。	①ほぼ対面	本学は面接授業を重視しており、新型コロナウイルス感染症が悪化した場合のみ遠隔へと移行している。ただし、不安や体調不良により進学できない学生や公欠学生への補習に対応するために、適時遠隔授業やハイブリッド授業を活用している。	③学部・学年ごとに差	大阪にキャンパスがある学部と京都にキャンパスがある学部では、新型コロナウイルス感染症状況が異なる。具体的には悪化することが多い大阪にキャンパスがある学部の方が遠隔授業の実施割合が高い。また、学部ごとについては、大学生活を初めて体験する1年生は対面授業の割合を意図的に高めている。一方、卒業などゼミにおける個別指導が重要な4年生については、元々授業をとっている人数が他の学年に比べて少ないこともあり、遠隔授業の割合が自然と多くなっている。	①②⑥	
733	大谷大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	大学の学びは、ラーニング・コミュニティ等におけるグループ学習や課外活動も必要不可欠であり、授業のみから得られるものではないことから、大学生活を総合的に捉えると、対面での交流機会を必須と考えるという従来の方針により、一部科目(全開講数の5%程度)受講者多数、身体的接触や更衣を伴う体育科目等を除き、原則面接授業を実施している。ただし、基礎疾患を持つなど感染症リスクの高い学生においては、遠隔授業で対応している。また、今後の授業においては、遠隔授業実施で得られた知見から面接授業の実施のみに拘らず、遠隔授業のメリットを活かし、反転教育等、オンラインを活用したブレンド型授業を展開していかなければならないと考えている。						
734	京都外国語大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学園祭等の開催について学生との相談時に学生の意見を通して認識した。	①ほぼ対面	緊急事態宣言の解除や感染者数の現況を考慮し本学の行動基準に照らし合わせて判断した。	⑤差はない		①③	
735	京都産業大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学活動指針レベルに基づき、感染対策の側面と、学生同士や学生と教職員の間での人的交流の機会を確保するという側面の両面から、国や地方自治体の要請、社会情勢等も考慮のうえ、総合的に判断する。	②7割対面	本学活動指針レベルに基づき、感染対策の側面と、学生同士や学生と教職員の間での人的交流の機会を確保するという側面の両面から、国や地方自治体の要請、社会情勢等も考慮のうえ、総合的に判断する。現状においては、面接授業の制限を段階的に緩和していく予定である。	①学部ごとに差	原則、実験・実習・演習科目については面接授業、その他の科目(講義科目など)については遠隔授業とすることを、令和3年度秋学期授業の実施方針とするが、一部、実験・実習・演習科目についても遠隔授業とする科目、講義科目についても面接授業とする科目があるため、若干、面接授業の割合が変わる。	①②③④⑥	
736	京都女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	昨年来のコロナ対応で得た知見を利用し、適切に対応できるように心がけている。このため考え方に大きな変化はない。	②7割対面	緊急事態宣言の発出など、自治体の要請時には、80名を超える授業や講義スタイルの授業については、遠隔による対応を原則とし、少人数の演習・実習・実験・実技スタイルの授業については、感染防止に十分な対応をとり、対面による授業を実施している。シラバスデータの開講形態からも、②の実態がもっとも近くなっている。	③学部・学年ごとに差	全学的に低学年(1-2)は、大人数での講義スタイルの授業が多く、遠隔授業が多くなる。また、家政学部や発達教育学部は、実技・実験・実習が各回生でカリキュラムに組み込まれており、このため対面を行う機会が多くなる。	②③④⑧	妊娠、基礎疾患や既往症のある教員からの申し出により、対面が実施しにくい場合は遠隔授業で実施している。
737	京都薬科大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	対面授業を原則としつつ、講義室の収容人数や授業の特性を考慮し、現在の比率を決定した。	⑤差はない		②④⑤⑥	
738	京都光華女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	オンライン授業のメリット、対面授業の必要性について現在検証段階にあると考えている。今後は、授業内容の性質にあわせて、より教育効果の高い授業形態を実施していく必要があると感じている。一方で、授業形態によって授業形態が変わる授業もあるため、大学としての管理方針には課題がある。また、コロナ禍での体調不良による欠席の取り扱いについても明確な基準が必要である。	①ほぼ対面	感染拡大の改善見込みを確み判断した。	③学部・学年ごとに差	例えば実験・実習科目が多くある管理栄養士専攻や、少人数指図書目が多い言語聴覚専攻に於いて、対面比率が高い傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦	
739	種智院大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
740	京都橘大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	面接授業およびキャンパスにおける学生活動を重要視し、一定数以上の受講者がいる科目を除き、原則対面授業としている。緊急事態宣言等に伴う入構者数の制限等が自治体から付され限りその方針を継続するため。	①ほぼ対面	面接授業およびキャンパスにおける学生活動を重要視し、一定数以上の受講者がいる科目を除き、原則対面授業としている。なお、感染症対策が図れる教室内の座席配座を考慮し、80名以上の受講者がいる科目を遠隔実施としている。	①学部ごとに差	2-7に記載のとおり、80名以上の受講者がいる科目を遠隔実施としているため、入学定員が80名以下の学部学科における授業は対面が多くなる。反面、入学定員が80名以上の学部学科における授業は遠隔が多くなる。	①②③④⑤⑥⑦	
741	同志社大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たない状況下においては、いわゆるゼロ密を目指して感染拡大予防に努めるため、授業教室は、原則として教室着席時に前後左右1m以上の間隔を空けた「コロナ定員」で運用している。本学では、面接授業を可能な限り多く実施することを基本としているが、収束見通しが立たない状況下においては、教室定員の緩和は難しいと判断したため。	③半々	2-4及び2-5で回答した通り、基本的な考え方に大きな変化はないことから、令和3年10月7日時点と同様の比率で行われると見込まれる。	③学部・学年ごとに差	教室定員を、原則として教室着席時に前後左右1m以上の間隔を空けた「コロナ定員」で運用するという教室配当上の制約があるが、学部・学科ごとの収容定員に差があることや、各学部・学科のカリキュラムに基づき教育効果の観点から面接授業が望ましい科目を学部・学科ごとに判断しているため。	②③④⑤	
742	同志社女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	春学期と比べても未だに新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が収束したとは言えないため、春学期同様の考え方に立つ。その考え方は「2021年度対面授業実施に際しての留意事項」に則り、対面授業を原則とする一方で、「受講者数が教室の収容率50%を超過する授業科目」等を中心に一部の科目を遠隔授業として実施する、というものである。	①ほぼ対面	「2021年度対面授業実施に際しての留意事項」に則り、対面授業を原則とする一方で、「受講者数が教室の収容率50%を超過する授業科目」等を中心に一部の科目を遠隔授業として実施するという方針により判断。	⑤差はない	②③④⑥⑦		
743	京都ノートルダム女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は、令和2年度後期から、3密を徹底的に避けることを前提に、対面による通常授業を基本とし、授業によっては、オンラインと対面を適切に組み合わせブレンド型授業を行うこととしている。また、受講者数が多い講義など対面での3密を避けることが難しい授業については、原則としてオンライン授業とする。令和2年度は、この方針を継続して授業を実施する(令和3年度前期は、緊急事態宣言が発出されたため、オンライン授業を主として実施することとなった)。	①ほぼ対面	京都府における緊急事態宣言が9/30をもって解除されたことに伴い、対面授業を主として実施することを決定した(受講生が非常に多い科目や、オンラインで実施することが非常に学習効果が高いと考えられる一部の授業を除く)。授業実施にあたっては定数からの要請等を考慮して実施としており、緊急事態宣言後特段の要請はなかったため、上記判断とした。	⑤差はない	②③④⑦		
744	花園大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の理由・内容	併用の考え方	その他の内容
745	佛教大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業についても工夫次第で教育効果の高い授業が実施できることも分かってきた一方で、アンケート結果などからも面接授業が必要であるとの認識が高まった。	①ほぼ対面	緊急事態宣言の介助により本学の定める活動基準のレベルが引き下げられたことによる。	①学部ごとに差	保健医療系において学生人数が多くはないことや実技・演習を伴う授業が多数開講されていることから面接授業の実施比率が高くなっている。また一定の受講生数以上の授業を遠隔授業としたが学部の実定規模によって面接授業の実施比率に違いが出ている。		①②③④⑥⑦
746	立命館大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート、授業アンケート等の結果を分析し、対面での授業やキャンパス内での交流が制限されたことに伴い、とりわけ新入生・低回生を中心に学生間のコミュニティ形成上の課題や孤独感を抱えている学生が一定数存在することが判明した。また、学生に加えて父母からも対面交流が減少したことについて改善を求める声が寄せられている。	②7割対面	本学では、授業実施の基本方針を策定し大学のBOPレベルに応じた授業運営を行っている。大前提として感染防止対策を最大限講じた上で、学生に対してキャンパスでの対面授業に出発する機会をできる限り提供している。一方で、既往症や家族の状況から引き続きキャンパスへの通学が困難な学生も存在するなど、学生が抱えている多様な状況も考慮し、遠隔授業の併用も行うこととした。また、教員等の施設条件の制約から、大規模講義を中心に3密を避けるために受講者数の制限を行う中で、教室条件からWEB授業への切り替え等もしている。実施として、対面授業を行う1つ、同時オンライン授業の配信を行う授業や、授業回によって対面授業回とオンライン授業回を切り替え、出席調整を行う授業など、対面授業と遠隔授業の2分割で授業できない授業形態も設定される。今年度に対面授業回が全授業回のうち1/3を超えない授業と1/3以下の対面授業を行う授業を行った。その結果、9割以上の授業において、対面授業回が全授業回の1/3を超える授業となっている。	①学部ごとに差	本学は16学部・21研究所と多様な教育組織で構成されている。学部の教育課程ごとに特色があり、学部ごとにカリキュラムが異なることや、キャンパス前に施設条件が異なること、留学生が多い学部ではオンライン授業を提供する比率が多くなるなどの差異が生じている。また、1回生などの低回生の小集団授業はできる限り対面授業を実施するように全学にむけて要請した。	①②③④⑤⑥⑦	
747	龍谷大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では「新型コロナウイルス感染防止のための龍谷大学行動指針」（指針）を策定し、感染状況に応じて活動制限レベルを設定している。令和3年度前期及び後期の授業方針については指針に基づき決定しており、基本的な考え方に大きな変化はない。ただし、感染力の強い変異株にも考慮し、キャンパス内の感染対策の強化を図った。	①ほぼ対面	今後、新型コロナウイルスの感染抑制傾向が続く場合には、原則対面授業での実施とし、一部授業等でのソーシャルディスタンスを確保できない大人数授業等は、オンラインで実施する予定である。	②学年ごとに差	1年次においてはキャンパスでの学生生活・学修生活（学修態度や学び方の醸成）に慣れる時期であり、対面授業の比率を高めている。	①②③④⑥	
748	京都先端科学大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	京都府から発表されている感染状況や学内でのワクチン接種情報、また面接授業で使用できる教室のキャパシティによって判断した。	①学部ごとに差	学部学科の特性によって、授業実施方法が異なるため。保健医療学部（特に看護学科）については、国家試験に関する実習科目が多く設定されており、これを遠隔授業で実施する事は困難であるため、対面率が高くなっている。大学全体の対面率が50%程度に対して、健康福祉学部は対面率57.6%となっている。	①②③④⑤	
749	京都精華大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期より基礎科目は対面で実施しており、キャンパスでの機会や学生同士、学生・教員間の交流機会の重要性については早期より認識し、様々な局面においても重視するポイントとなっている。	②7割対面	授業計画においては8割の授業が面接授業で行うこととしているが、遠方から出席していたり、本務先となる機関が出張を禁じているなどの事情を抱えた非常勤講師に関しては、開講責任者と相談の上、遠隔授業への変更を認めている。今後の感染状況によっては遠隔授業の割合が多少増える可能性がある。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
750	明治国際医療大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	本学が定めている活動制限指針に基づき設定している。	⑤差はない		①②④	
751	京都芸術大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	対面重視であることは従前からの方針であり、その点において前期からの変化はない。	②7割対面	知識伝達型の講義系科目を遠隔中心に、技術伝達型の演習系科目を対面中心に。	①学部ごとに差	芸術大学として学部ごとの教育特性があり、特性に合わせて遠隔・対面の選択をしている。	①②⑦	
752	京都文教大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学の危機管理レベル（レベル0～4で設定）に合わせて授業実施している。ただし、感染防止の観点から大規模演習科目や教室の割振りが困難となる科目は非対面型授業で実施する。レベル1では感染防止の観点からキャンパスへ入構する学生数を平常時最大の70%程度、総学生数の約3割割（1000名程度）としている。（本学：授業における危機管理レベル）・危機管理レベル0：平常時通りの対面型授業を実施する。・危機管理レベル1：原則対面型授業での実施とし、履修者数が100名以上の講義科目で教室でのソーシャル・ディスタンスが確保できない科目は非対面型授業で実施する。・危機管理レベル2：対面型授業での実施を基本とするが、一部の科目は非対面型授業として実施する。・危機管理レベル3：原則非対面型授業での実施とし、カリキュラム上必要要件が高い科目について対面型授業として実施する。・危機管理レベル4：非対面型授業のみで実施する。	①学部ごとに差	こども教育学部は教員養成の学部、学科で教育実習以外にも、学校現場に即して学ぶ実地教育科目が多くあります。また、幼稚園・保育園、小学校のほほ全教科の内容に対応するため、多種多様な授業を開講しています。学校インターンシップをはじめ、理科の実験、園芸や体育の実技、基礎科の実習など、実験・実技・実習をともなう授業科目を多数開講しているためです。	①②③④⑤	
753	嵯峨美術大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	感染力の強い変異株などの影響によりいまだ全国的に収束が見えず、特に10代～30代の若い世代の方々の感染割合が高い状況であるため。	②7割対面	各授業の実施予定形式（面接もしくは遠隔）の集計結果による。	⑤差はない		②③④⑥	
754	嵯峨美術短期大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	感染力の強い変異株などの影響によりいまだ全国的に収束が見えず、特に10代～30代の若い世代の方々の感染割合が高い状況であるため。	②7割対面	各授業の実施予定形式（面接もしくは遠隔）の集計結果による。	⑤差はない		②③④⑥	
755	京都情報大学院大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はなく、感染状況等に関わらず、学びの多様性などを考慮すると、遠隔授業の効果も大きいことから、遠隔講義にも一層力を入れていることである。	①ほぼ対面	本学では、原則として、対面授業と遠隔授業を併用するハイブリッド形式で授業を行う方針としている。対面が遠隔かという二項対立ではなく、対面での受講を希望する学生と、何らかの事情で登校に不安を感じる学生や一時的に体調不良の学生の双方に対し、同じように受講の機会を提供する。	⑤差はない		①⑥	
756	京都医療科学大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業と面接授業の評価が明らかになってきた（教員・学生とも遠隔の評価低い為）						
757	京都華頂大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学においては、かねてから対面（面接）授業を重視しており、令和3年3月時点と現時点の考え方に基本的な変化はない。もとより、対面（面接）授業を重視しつつも、感染状況や京都府からの入構制限に係る要請等を踏まえ、遠隔授業を導入する等臨機応変に対応してきたところであり、今後も同様である。						
758	京都美術工芸大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	特に変化なく、状況にあわせて対面8割～5割程度の幅で即時対応できるように調整している。	②7割対面	関係者庁からの要請に加え、自治体からの要請のうち構内滞在人数50%程度を基準としている。	③学部・学年ごとに差	実習・演習科目を対面授業で実施するにあたり、学部・学科・学年ごとの実習・演習科目数の差	②③④	
759	京都看護大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない			②④⑤⑦
760	池坊短期大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	短大の学修内容や2年という期間を考慮すると、対面での教育は他に代え難いものがある。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
774	大阪工業大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	感染対策を講じたうえで原則対面授業とし、感染拡大防止の観点で多人数、授業の一部科目はオンライン授業とする方針に変更はないが、後期開始に際しては、緊急事態宣言下であったことに加え、感染拡大状況の悪化を鑑み大阪府から本学への「原則オンライン授業」要請に基づき、実験・実習等の科目を除き、授業開始から2週目（10月7日）までをオンライン授業主で行うことを判断した。	①ほぼ対面	感染対策を講じたうえで原則対面授業とし、多人数授業等一部の科目のみオンライン授業を継続するという考え方に基づく。また、学生・教員相互の直接的なコミュニケーションを大切に、実験・実習等の体験を重視した実学志向の考え方に基づいている。	⑤差はない	特になし。	①②③④⑤⑥⑦	
775	大阪歯科大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差		①②③④⑤⑥	
776	相愛大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	実験や実習・実技による授業科目が多く、全てを遠隔授業にすることは難しいが、教地や設備面から全てを対面にするのも②7割対面難しい状況のため。	②7割対面	大学が単なる授業提供の場だけではなく学生間、学生と教職員の結びつきや交流等の場でも重要な役割を担い、感染拡大防止対策を講じることでできる限り対面授業を実施したい。	①学部ごとに差	免許取得を伴う学部や実験・実習を主とする学部では対面授業の比率が高い。	①②④⑤	
777	桃山学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期から方針を変更していないため、大きな変化はない。	①ほぼ対面	・2021年度秋学期の授業方針を次のとおり定めた。「新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、原則として対面授業とする。ただし履修登録者が多い科目は前記避けたために遠隔授業とする。（一部省略）」この方針のもとに対面授業と遠隔授業を振り分けた結果①の回答となった。	⑤差はない		①②③④⑥	
778	摂南大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	コロナ感染者数の減少、緊急事態宣言の解除に伴い、対面授業の実施を検討した。	②7割対面	今後ワクチン接種率が増加すると予想され、対面での実施が可能になると考えるため。	③学部・学年ごとに差	実験・実習科目の有無や科目ごとの授業実施方法に差が出る可能性があるため。	①②④⑤⑥	
779	桃山学院教育大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	面接授業の割合は、前期が96%で、後期は11月1日から95%になる予定	①ほぼ対面	本学の感染対策と感染状況を考慮した。	⑤差はない		②③④	
780	大阪医科薬科大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	授業は可能な限り面接授業を実施することが望ましいが、現状では教員の収容定員を考慮し、面接授業と遠隔授業を併用して実施する。	③学部・学年ごとに差	学生間の交流機会が少ない年、解剖学実習や臨床実習など面接授業でしかできない2年、5年は面接授業を優先し、産学が多い3年、4年は遠隔授業の比率を高めている。	②④⑤⑥	
781	大阪音楽大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	合奏や合唱等は遠隔授業の取組が困難であったため。	②7割対面	感染状況等を踏まえながら遠隔授業を少しずつ対面授業に置き替えているが、講義科目を中心に一部の科目については年度末まで遠隔授業の実施を依頼しているため。	⑤差はない		①②④⑥	
782	大阪学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差	少人数で実施する科目が多い学部は、対面授業が多い。	②③④	
783	大阪芸術大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	なるべく大学の施設・設備を用いての授業を実施するよう考えている。前期も感染状況が減少した時に対面授業を増やしていき	①ほぼ対面	履修授業を実施し、コロナワクチン接種者が増加しており、大阪府の緊急事態宣言が解除されたことを受け、今後の感染状況を見ながら、対面授業を増加させる方針であるため。実習科目が多いので、大学の施設・設備を利用しての授業が望ましい。	③学部・学年ごとに差	実習・演習科目において、大学の施設・設備を使用することが望ましい科目が多いが、科目によっては遠隔授業の実施で効率・効果の上がるものもあり、その割合は学部・学年で様々であることが実態である。	①②③④⑤⑥	
784	大阪産業大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大		③半々	すべての科目において面接授業を基本とし、履修者の多い科目については学生を学籍番号をもとに3グループに分け、面接授業を受けるグループと遠隔授業を受けるグループに指定し、感染対策を行いつつ面接授業を行う方針から、当該授業に限定すれば履修者全員が「対面」で授業を実施しています。人数での授業については全て面接授業を実施しています。これが大体2-3割程度といえます。以上より、合算して「おおむね半々」の③を選んでいます。	③学部・学年ごとに差	本学においては、文系であれば履修者の多い講義が多くなるため、一部履修者の遠隔授業の比率が高くなります。一方で理系であれば履修者の履修者全員が「対面」で面接授業を許可しており、面接授業の比率が高くなります。	①②④⑤⑥	
785	大阪樟蔭女子大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	昨年度の感染状況とは違い、学内での感染予防の徹底、教職員・学生のワクチン接種の進行により、新型コロナウイルスの感染リスクが下がったと考えられる。また、現状で緊急事態宣言が解除となり、新規感染者数が大幅に減少したことが報道されている。しかし、感染リスクがゼロになった訳ではないので、引き続き、大人数の授業（特に講義）は遠隔授業で行い、実験、実習、また、対面の方が学習効果が高い演習などは、感染に気をつけて対面授業を行うことになる。	③半々	上記2-4-1の理由のとおり	①学部ごとに差	学部・学科により、授業形態のバランスが異なっているため。	①②③④⑤⑥⑦	
786	大阪商業大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	考え方に大きな変化はなく、前期と同様に感染対策を講じた教定員に収まらない科目は遠隔授業としている。	①ほぼ対面	教育効果の観点から、教室における感染対策を講じたうえで、原則として対面での授業を行うことを当初より予定していた。	⑤差はない	なし	②③④⑧	感染対策を講じた教定員に履修者が収まらない科目は遠隔授業としている。
787	大阪体育大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	対面授業の重要性は認識しており、講義科目においても可能な限り対面での授業を実施しているが、遠隔授業でも教育の質が担保できるものにあつては、無理に対面授業を行う方向性にはしていない。	②7割対面	実験・実習・演習は教育の質の担保から原則対面としている。講義科目については、一定の履修者数以上は遠隔とし、それ以下は対面を原則としている。また、学内を含めた感染状況や悪化・改善された場合は特に講義科目について基準を見直すこととしている。	⑤差はない		②③④⑤⑦	
788	大阪電気通信大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言の解除を受け、10月7日より遠隔授業中心の体制を解除したところです。後期の今後の授業方針については、前期の授業方針を検討・決定した際の考え方に戻ったところですが、今後感染状況により変更する可能性があります。	③半々	面接授業の方が教育効果の期待できる科目については、面接授業で実施します。	①学部ごとに差	コロナ禍以前より、PC必修としていた学部・学科については、遠隔授業の受講環境が整っていることや所属する学生のITスキルが高いこともあり、遠隔授業の実施比率が高くなっています。	①②③⑤⑥⑦	
789	大阪大谷大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	政府が発出する緊急事態宣言が解除されたことで本学で定めている教育活動の指針に基づき対面授業主体で実施する。ただし、200名以上並びに共通教育科目の選択科目は遠隔授業で行う。	①ほぼ対面	本学の授業実施方針に則り、2021年4月当初の予定通り、除外する授業（①履修者200名以上の科目②共通科目選択科目）以外は全て対面授業を行う。授業実施方法は、時間割に明記しており、その項目から比率を計算。	⑤差はない	特になし	①②③④⑤⑥	
790	造手門学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	本学は、コロナ禍以前からITを含めたあらゆる手段を駆使し、教育効果を最大化するための教育手法の検討をしており、令和3年度はその教育手法を取り入れた授業運営の試行期間としている。そのため、コロナ禍に関係なくオンライン授業に適した科目についてはオンラインで実施するとしても、それ以外一部の大人教員科目については感染防止対策のためオンラインで実施することとしている。	①学部ごとに差	国際教養学部国際教養学科の面接授業実施率が高いが、語学を学ぶための科目が多く、面接授業の方が効果的であるため。	②③④⑧	本学は、コロナ禍以前からITを含めたあらゆる手段を駆使し、教育効果を最大化するための教育手法の検討をしており、令和3年度はその教育手法を取り入れた授業運営の試行期間としている。そのため、コロナ禍に関係なくオンライン授業に適した科目についてはオンラインで実施するとしても、それ以外一部の大人教員科目については感染防止対策のためオンラインで実施することとしている。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の決定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
791	関西大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	2021年度の授業は感染拡大防止策を講じたうえで、原則対面授業（履修者が多い大規模科目を除く）としており、その方針に変更はないため。	①ほぼ対面	遠隔授業となる授業は履修者数250名を基準としており、開講科目・クラス数の状況からその比率を算出している。	⑤差はない		①②③④⑤⑥		
792	関西医科大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大	ワクチン接種も進んだことから、コロナ前の体制に戻していきたい							
793	関西外国語大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	大阪府では、令和3年度前期において、緊急事態措置やまん延防止等重点措置がとられたが、8月2日から再び緊急事態措置が実施され、大阪府から大学に対してわが校の授業の実施などの要請がなされるなど、前期と同様の環境であった。	①ほぼ対面	可能な限り対面授業を行うべきとの考えから体制や環境を整えてきたため。	⑤差はない		①⑥		
794	近畿大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	豊かな人間性を涵養するためには、教員と学生、学生同士がキャンパス内で時間を共にすることが非常に重要であると考え、令和3年度の前半、研究活動の実施については原則対面とし、効果的にオンデマンド授業を一部導入する方針を決定した。その考え方に変化はないが、後期開始時においても引き続き緊急事態宣言等の発令や、大阪府から大学等へのオンライン授業の要請、またデジタル株の強力な感染力の影響もあり、メディア授業を中心に実施せざるを得ない状況が続いた。今後も、各種緊急や大阪府からの要請、感染状況を注視し、一定数の学生が大学の施設接種でワクチン接種が完了している状況も踏まえ、キャンパス入構にあたりPCR検査や抗原検査の定期的な活用を推奨するなど感染防止対策を徹底したうえで、段階的にキャンパス内で教育・研究活動を実施したいと考えている。		緊急事態宣言は解除されたが、大阪府からの要請により「授業は、人と人との接触をなるべく減らすためのオンラインを活用するとともに、面接触授業の場合、クラスを分割した授業や大教室の活用等により密を回避すること」となっている。また、感染拡大が完全に収束したとは言えない状況であり、再度の感染拡大も想定されるため、感染対策を踏まえようとして科目特性と履修人数等を考慮し、メディア授業と対面授業を併用して実施することとし、段階的に対面授業を増やしていく予定である。	③学部・学年ごとに差	授業の実施形態については、実験・実習等は原則対面で行い、大人数の講義科目、語学科目の一部については、効果的にオンデマンド授業を実施するなど、学部の力によりキュラムにより科目特性と履修人数等を考慮し決定している。	②③④⑤⑦		
795	四天王寺大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	特に演習、実験、実習科目や就職支援、教員採用試験対策等の取り組みにおいて、対面での実施時よりも教育効果という点で課題が見られた。また、コロナ禍に入學した1・2年生の大学への帰属感や大学生活への満足度の面で低下しているように感じる。こうした状況からキャンパスで学ぶ重要性を強く意識している。	③半々	ゼミ等一部の対面授業、全面遠隔授業を除き、学籍番号末尾の奇数・偶数で各科目を分け、全ての授業で対面と遠隔を同時に実施しているため。	⑤差はない		①②③④⑥		
796	帝塚山学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	秋学期の授業方針として、集合授業の実施を原則としながら、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、大阪府の大阪モデル「グリーン」「イエロー」時を遠隔授業中心の授業形態、授業形態「レッド」時を遠隔授業中心の授業形態として教育活動を行うとしている。10月7日時点での大阪モデルは「イエロー」であるが、秋学期開始時点で緊急事態宣言が発令中であったため10月16日まで遠隔授業を中心とし、10月18日以降は全面遠隔授業となる予定である。ただし、全体の6割程度、新型コロナウイルス感染症対応に関わらずオンデマンドで授業を行う科目がある。以上を踏まえ、2-6の設問では①で回答した。今後、状況が悪化すれば遠隔授業中心に移行する可能性があるため、2-3の設問では②と回答した。秋学期全体の実際の面接触率は、現段階では不透明である。		大阪モデル「グリーン」「イエロー」の場合は、オンデマンド科目（全体の%程度）を数えて面接触授業中心となるため、学部・学年ごとの比率に差はない。ただし、状況が悪化し、遠隔授業中心に移行した場合は、実験実習科目のみ面接触授業となるため、実験実習科目の多い学部（人間科学部）と、少ない学部（リベラルアーツ学部）では、比率に差が出てくる。遠隔授業中心時の面接触率は、人間科学部38%、リベラルアーツ学部14%である。	①②③④⑥⑦		
797	梅花女子大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	特にオンライン授業に慣れていない1年生や昨年度同様な状況の2年生を優先して対面授業を実施しようとする判断	②学年ごとに差	学部が低い方が履修科目数が多い為、面接触授業の比率もそれに比例する。	①②③④⑥		
798	阪南大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	従来より本学では、face to faceの教育を重視しています。したがって、新型コロナウイルスの感染状況や人の混雑を確保した教室の収容人数を確保しながら可能な限り対面授業の実施を目指しています。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染状況に応じて、面接触授業の実施割合を段階的に見直しながら、最終的に9割程度を限度に面接触授業を実施する予定です。	②学年ごとに差	大学での授業に慣れていない低学年を優先的に面接触授業を実施できるように検討している。	①②③④⑥		
799	大阪経済法科大学	27.大阪府	03.私立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大	2021年度前期の授業は、感染予防対策を講じたうえで、面接触授業での実施を基本とし、一部の授業については、感染予防や教育効果等を踏まえ、遠隔授業で実施することとした。しかし、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、大阪府からの大学授業におけるオンラインによる遠隔授業への切り替え要請や、その他の緊急事態宣言の発令もあり、面接触授業を当初の方針に基づいておこなうことができなかった。後期の授業については、面接触授業の実施に向けて、学内での施設接種を早期より取り組み、多くの学生・教職員がワクチン接種し、高いワクチン接種率を実現しており、年度当初の予定通り、面接触授業での実施を基本とし、一部の授業については、感染予防や教育効果等を踏まえ遠隔授業で実施することとしている。	①ほぼ対面	面接触授業での実施を基本とし、一部の授業については、感染予防や教育効果等を踏まえ、遠隔授業で実施することとしており、後期に開講する授業のうち、9.2%を対面授業、8%を遠隔授業としているため。	②学年ごとに差	教育効果や遠隔授業の習熟度を考慮して、1・2年生は対面授業を重視するなど、学年が低いほど対面授業の比率を高めている。2021年度秋学期は、対面授業と遠隔授業の割合を1年生は9割1、2年生は7割9、3年生・4年生は8割4となるように、遠隔授業の履修登録の上限を1年生は4単位、2年生は8単位、3年生・4年生は10単位と設定し、対面授業の受講を基本とするようしている。また、演習科目等の対面の指導が不可欠な授業については対面授業での実施を基本としている。なお、来日できない留学生や基礎疾患等により対面授業を受講できない学生は、事前に確認の上、遠隔授業のみ履修を可能としている。	①②④⑤⑥		
800	大阪国際大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート等を通じ、大学から学への丁寧な見える説明が必要であることを再認識したことによる。	③半々	現下の感染状況や学内施設のキャパシティ、授業形態等に基づく総合判断による。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦		
801	関西福祉科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度春学期は原則、対面（90分）、遠隔における課題対応（30分）を主軸として展開。ゼミ・実験・実習・実技、演習系科目においては授業第一週目から対面60分、遠隔の課題対応30分で実施。履修科目については履修人数・教員担当が確定するまでは第一週目から第三週目までは対面授業を行わず、遠隔授業による対応とし、第四週目から対面60分、遠隔による対応30分として展開した。秋学期も春学期を踏襲して授業を展開している。	①ほぼ対面	上記2-5で回答した通り、春学期授業の取り組みを踏襲した上で秋学期授業にもも同内容の趣旨で展開している。	⑤差はない	特記事項なし	②④⑤⑧	上記2-5の回答内容に基づき授業を展開。また、同級生5名以上に講義系科目で履修人数の多い授業では交代制を導入しているが、対面授業にあたっていないグループは取組によるオンデマンド配信を視察し受講している。	
802	太成学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
803	常磐会学園大学	27.大阪府	03.私立大学	③全面遠隔		①全面対面	①対面授業を拡大	前期2~10週に遠隔授業をしたが、その後の11~15週の出席率が高く授業も熱心に取り組めた。							
804	大阪観光大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	ワクチン接種率も上がっていることから、多人数を対象としている授業について遠隔授業を行う	①ほぼ対面	多人数を対象としている授業について遠隔授業を行う	⑤差はない		②③④		
805	大阪人間科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面			⑤差はない		②④⑤	
806	羽衣国際大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の既定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
807 大阪成蹊大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	昨年度から引き続き、教育効果を考慮して面接授業で実施すべき科目は感染対策を講じたうえで実施するが、遠隔であっても、教育効果を損なわない科目については履修人数などをもとに遠隔授業で対応する。	①ほぼ対面	教育効果を考えたうえで、面接授業を基本と考え、遠隔授業であっても教育効果を損なわない、特に多数の科目については⑤差はない遠隔授業で対応する。			①②③④		
808 関西医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	登下校時のバスの乗車可能人数、教室の収容人数など、「密」を避けた上で、授業を実施するための可能人数から登校人数を算出しているため基本的に考え方に実質はない。	②7割対面	登下校時のバスの乗車可能人数、教室の収容人数など、「密」を避けることを優先事項とし、各学科・学年の登校日を週3日としているため、上記の割合となる。			①②④⑥		
809 千里金蘭大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
810 東大阪大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	各種資格に係る実習等においては面接授業を行うための科目を除きほとんどの授業を面接授業で行うこととしている。	③学部・学年ごとに差	2-7と同様、実習等授業の学部や学年等による差異があるため	②④⑤		
811 大阪女学院大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	前期は緊急事態宣言が発出されている期間も長く、学内の陽性者確認もあって、オンライン授業が実施される期間が長かった。後期が始まり、最初の1週目こそ緊急事態宣言であったことからオンライン授業を実施せざるを得なかったものの、10月1日から対面授業を実施しており、学生からも友人と同じ場所で学べることへの喜びの声が多く聞かれるため、①と回答した。							
812 島野大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期も感染対策を講じた上で可能な限り対面の機会を増やしたいという考えであり、その考えに変化はない。	③半々	現在の感染状況と学内施設のキャパシティを考慮し、感染対策を講じて実施可能な範囲としている。	②学年ごとに差	3年生は実技を伴う科目や実習科目が多いため、面接授業の実施比率が高い。	②		
813 大阪青山大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	方針に変化は特になし、感染状況を考慮し、対策を講じた上で遠学や対面での交流機会の確保に努力する	①ほぼ対面	感染状況を踏まえて判断するが、学生負担の考慮や本学の教育上の特性からほとんどの授業を対面で実施する。		⑤差はない	②④⑤		
814 四條畷学園大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大								
815 大阪河崎リハビリテーション大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面			⑤差はない	②④⑤		
816 大阪総合保育大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面			⑤差はない	①②③④		
817 森ノ宮医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大								
818 大阪保健医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性は以前から認識しているが、感染状況や学内からの要請に基づいて、対応を検討するという点で変化はない。							
819 大阪物産大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面			⑤差はない	②④⑤⑥		
820 滋慶医療科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	今年4月に新設した単科の学部で在学学生は1年生のみであり、前期の限はまた授業実施の準備がなかったため比較検証等ができなかったが、前期の経験を踏まえ、特に1年生のみであるため対面での教育や交流が重要であることを強く認識するようになった。	①ほぼ対面	単科でかつ学生が1年生のみであり、密になることなく十分な空間的余裕をもって授業を実施できることから、後期はすべて対面で授業を行う方針である。ただし、非常勤講師2名が、所属元の大学の方針等によりオンラインでの授業を希望されている。このため、学生は実学した上で、当該科目のみ講師が遠隔からオンラインで実施している。	⑤差はない	②④⑤⑧	現在の方針として、遠隔授業を行うのは、非常勤講師が自己のやむを得ない事由によりオンライン対応を希望される場合である。		
821 大阪行岡医療大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	演習や実習における技術修得およびコミュニケーションスキルの上達には対面は欠かせない							
822 大和大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	コロナ禍の中での学生との担任を通じたZoomや電話等による面談で、学生の意見や要望等を聞き、強く認識するようになったため。							
823 大阪国際工科専門職大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生間の交流が図れない、授業理解度の確認が困難	①ほぼ対面	緊急事態宣言の発出の有無		⑤差はない	①②⑤⑦		
824 平安女学院大学短期大学部	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	令和3年の前期では、原則は対面授業とし、新型コロナウイルス感染状況が悪化した場合は柔軟に遠隔対応に移行するなど行ったが、後期においてもその方針を続ける予定である。	①ほぼ対面	本学は面接授業を重視しており、新型コロナウイルス感染が悪化した場合のみ遠隔へと移行している。ただし、不安な体調不良により通学できない学生や公文学生への補習に対応するために、適時遠隔授業やハイブリッド授業を活用している。	③学部・学年ごとに差	感染状況をモニターしつつ、対面授業を中心に進め、個別の事情に対応できるように柔軟な体制を大学の子ども教育学部と相談しながら進めている。	①②⑥		
825 大阪キリスト教短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	対面授業ではあるが、学生本人の医療的ケアへの必要性や健康上の基礎疾患があるものは、特別に申請することにより遠隔授業での受講を許可している。							
826 大阪城南女子短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
827 大阪夕陽丘学園短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	開講前に授業実施についてのアンケートを担当教員に取った結果による		⑤差はない	②⑤		
828 大阪信愛学院短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		③学部・学年ごとに差	看護学科3科目は授業科目が全て実習なので全て面接、看護学科4科目は実習科目が多いので面接授業が多い。子ども教育学科は実習や演習が多く面接授業が多い。	①②④⑤⑦		
829 大阪成蹊短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ柔軟に対応しながらも面接授業でしか得ることができない教育効果を重視し、判断し	③学部・学年ごとに差	保育士や調理師、栄養士等実生施設として数多くの実習・実技・演習科目を抱えており、器具や施設等、遠隔では対応できない授業が多いため。	②④⑤⑥		
830 大阪女学院短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	前期は緊急事態宣言が発出されている期間も長く、学内の陽性者確認もあって、オンライン授業が実施される期間が長かった。後期が始まり、最初の1週目こそ緊急事態宣言であったことからオンライン授業を実施せざるを得なかったものの、10月1日から対面授業を実施しており、学生からも友人と同じ場所で学べることへの喜びの声が多く聞かれるため、①と回答した。							

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
831 関西外国語大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	大阪府では、令和3年度前期において、緊急事態措置やまん延防止等重点措置がとられたが、8月2日から再び緊急事態措置が実施され、大阪府から大阪府に対してわが校授業の実施などの要請がなされるなど、前期と同様の環境であった。	①ほぼ対面	可能な限り面接授業を行うべきとの考えから体制や環境を整えてきたため。		⑤差はない	①⑥		
832 常磐会短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍以前は、対面のみで、クラスでの取り組みが頻りにあり、学生同士の協力体制が強かったと感じる。現在は通学することが少ないため交流の機会も減ったため対面の重要性を強く意識した。	②7割対面	後期開始時点(9/27)では緊急事態宣言が解除されていないと予想し、2週間を遠隔授業、その後2週間を面接授業、11/1からは実習が始まるため、実習前2週間は遠隔授業ということに決定した。実習後は原則面接授業を実施予定。但し情勢により遠隔授業に切り替わる可能性がある。		⑤差はない	①②④⑧	授業により面接、遠隔授業実施の判断をしているのではなく、その時の情勢により、全体を遠隔授業で実施するか、面接授業で実施するかを決定している。	
833 堺女子短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本学の授業カリキュラムは実技授業が多いため、遠隔授業では技術力の取得等、不安要素が多く、検定試験の合格への影響も懸念される為							
834 大阪音楽大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	合奏や合唱は遠隔授業の取組が困難であったため。	②7割対面	感染状況等を勘案しながら遠隔授業を少しずつ面接授業に戻しているが、演奏科目を中心に一部の科目については年度末までは遠隔授業の実施を依頼しているため。		⑤差はない	①②④⑥		
835 大阪学院大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面				⑤差はない	②④⑤⑥	
836 大阪千代田短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	もともと面接授業でないという、実技を伴う授業も多い(ピアノ、造形など)ので、感染対策を講じながら学年により登録日を分ける分散登校を前期から継続して実施しているため	②7割対面				⑤差はない	①②④⑥	
837 関西女子短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期と特段の変化はありません。コロナ下においては、昨年4月より原則75分対面+15分遠隔授業で実施しており、まん延防止等重点措置下や緊急事態宣言下においては、90分遠隔授業の比率が高まります。	①ほぼ対面	全授業において、75分対面+15分遠隔授業です。(一部時間割当が異なる実習科目を除く)		⑤差はない	②④⑧	全授業において、75分対面+15分遠隔授業です。(一部割当時間が異なる実習科目を除く)	
838 近畿大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	③全面遠隔		①全面対面	②大きな変化なし	豊かな人間性を涵養するためには、教員と学生、学生同士がキャンパス内で時間を共にすることが非常に重要であると考え、令和3年度の教育・研究活動の実施については原則対面とし、効果的にオンデマンド授業を一部導入する方針を決定した。その考え方に変化はないが、後期開始時においても引き続き緊急事態宣言等の各種発生、大阪府から大学等へのオンライン授業の要請、またデルタ株の強力な感染力の影響もあり、メディア授業を中心に実施せざるを得ない状況が続いた。今後も、各授業や大阪府からの要請、感染状況を注視し、一定数の学生が本学の領域接種でワクチン接種が完了している状況も踏まえ、キャンパス入構にあたりPCR検査や抗原検査の定期的な活用を推奨するなど感染防止対策を徹底したうえで、段階的にキャンパス内で教育・研究活動を実施したいと考えている。							
839 四條畷学園短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし								
840 四天王寺大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	実技・演習・実習などが多く、対面授業の実施により教育の質を高くするとともに教育効果を上げるため。							
841 大阪国際大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート等を通じ、大学から学生への丁寧に見える説明が必要であることを再認識したことに因る。	③半々	現在の感染状況や校内施設のキャンパシティ、授業形態に基づく総合的に判断する。		⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦		
842 東大阪大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	各種資格に係る実習等においては面接授業を行うため一部の科目を除きほとんどの授業を面接授業で行うことにしている。	③学部・学年ごとに差	2-7と同様、実習等授業の学部や学年等による差異があるため	②④⑤		
843 藍野大学短期大学部	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期から面接・遠隔授業を併用しており、今のところ学内における感染拡大は生じていないが、感染拡大を予防するためには、後期も継続すべきであると考えられた。	②7割対面	緊急事態宣言の解除に伴い、授業形態の制限をゆるめていく考えではあるが、感染拡大予防の観点から、一部の科目は遠隔授業も継続して行う。また、看護系の短期大学であり、演習や実習があるため。	②学年ごとに差	看護系の短期大学であり、高学年では臨床実習があるため、面接授業の比率が高くなる。	②④⑤		
844 大阪健康福祉短期大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	1学年の学生については学生同士、学生と教職員が対面することが制限されたためにモチベーションが低下し、退学に至った例が出てしまった。2学年の学生については、入学時よりコロナ禍にあるため、本学体験できる授業内容を十分体験できないことによる影響が出てきているように思われる。	①ほぼ対面	十分な感染対策が可能であること、学生のワクチン接種が進んできていること。		⑤差はない	①②④⑤		
845 大阪府立大学工業高等専門学校	27. 大阪府	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
846 神戸大学	28. 兵庫県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学の授業実施方針において、感染拡大防止に配慮しつつ、学部・研究科での対応が可能な範囲で対応による授業を開講することとしているため、考え方に大きな変化はない。	②7割対面	兵庫県への緊急事態宣言が9月30日をもって解除となり、県からは引き続き感染防止の徹底を図るため、遠隔授業を積極的に活用しようという要請があったが、現在県内の感染数も減少してきていることや、ワクチン接種が進んできていることから、今後面接授業の割合が増加すると考えられるため。	①学部ごとに差	理系などの実験、実習科目が多い学部・研究科については、面接授業の割合が高い傾向にあるが、大人数での講義科目が多い学部・研究科については、感染防止対策や教室の収容定員の問題等があることから、すぐに面接授業に切り替えることが困難であるため。	①②③④⑤⑥⑦		
847 兵庫教育大学	28. 兵庫県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学生の学修機会の確保と新型コロナウイルス感染症への対策の徹底の両立を図る取組を進めていくことが必要なため、後期についても感染防止に最大限注力し、オンライン授業を適切に活用しつつ、対面で実施することが必要と授業担当職員が判断した場合は、感染防止対策を一層徹底のうえ、対面授業を実施している。また、履修者が40名以上の授業については、原則オンライン授業で実施している。	③半々			⑤差はない	②③⑥		
848 神戸市外国語大学	28. 兵庫県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	緊急事態宣言が発令されていない時期は原則すべての授業をハイブリッド方式で行うことにより様々な学生に対して、その希望に合わせて感染予防と学習の両立を提供したい。		⑤差はない	②③⑥		
849 神戸市看護大学	28. 兵庫県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学学生のワクチン接種率が9割以上となっていることから、11月以降は感染拡大防止に留意して、原則面接授業とする。		⑤差はない	①②④⑤		
850 兵庫県立大学	28. 兵庫県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期から対面を中心とした授業実施を予定していたため	①ほぼ対面	十分な感染防止対策により対面が可能な場合は原則対面実施	①学部ごとに差	教室キャパ等により対面実施が困難な場合は、授業内容や学年によって優先順位を付けるため	①②③④⑤⑥⑦		
851 芸術文化観光専門職大学	28. 兵庫県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
852 甲南大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	常に対面授業の重要性について意識しており、可能な限り対面授業を実施する方針であることから、変化は無い。	①ほぼ対面	感染対策（換気、3密の回避など）の観点から、原則として受講者数150名以下の授業について対面で実施しており、結果として8割以上の科目が対面で実施できている。	③学部・学年ごとに差	開講学部別では、学定員が少なく、かつ実験や実習などの対面による指導が不可欠な授業科目が多く開講されている。理系学部の専門教育科目が面授授業の実施比率が高い。また、人文系学部など学定員が少なく、少人数での演習（ゼミナール）等の授業を実施する学部もまた面授授業の実施比率が高い。一方で、従来受講者数が多い授業科目を開講している社会科学系の専門教育科目の面授授業の実施比率は、学定員の少ない学部と比較すると低い。学年では、1年次専攻の少人数の基礎科目と4年次の卒業研究や実験などは対面での実施が不可欠であることから、1年次と4年次の面授授業の実施比率は高い。	①②③④⑤	
853 甲南女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	対面での交流機会の重要性は、令和3年度前期より認識しており、10月7日時点で遠隔授業を中心に行っているが、実験・実習・演習等の面授授業が適している科目は、面授形式で実施している。	②7割対面	50名以上の履修者がいる講義等の科目は遠隔授業で行い、50名未満の実験・実習・演習等は面授授業で行う。座席を1m間隔で配置するとすると教室が不足し、全ての授業を対面で行うことは物理的に不可能となる。当該基準を用いることで、面授授業の実施件数を最大化している。	③学部・学年ごとに差	学部や学年によって、実験・実習・演習等の割合が異なり、受講者が50名を超える必修の講義等の割合も異なるため。	①②③④⑤⑥⑦	
854 神戸海星女子学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
855 神戸学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症（第5波）の影響や、学生へのワクチン接種は現在進行中であることを踏まえた結果、リターン・ディスタンス確保のため講義等の受講率を抑えることは必然と考えられる。そのため、前期と同様に履修者数の多い科目は教室内に収容が困難であることから、遠隔授業で実施するなどの基本施策を講じる。	①ほぼ対面	実験実習などは面授授業の方が教育の質が高められる授業があることに加え、大学内での学生間の交流や活発な議論も人格形成の一環であると考え、講義室といった学内施設の収容に影響のない範囲で面授授業の実施を計画している。	①学部ごとに差	感染防止対策のため、学内施設の収容率を抑えた結果、履修者数が一定数以上の科目は原則として遠隔授業での実施としている。学部間の入学生数の大小があるため、小規模の学部ではればほぼ全ての科目が面授授業となるが、大規模の学部では遠隔授業の割合が増すこととなる。しかしながら、大規模の学部においても8割以上の授業が面授授業での実施となる。	①②③④⑤⑥⑦	
856 神戸女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	授業の基本方針に大きな変化はない	②7割対面	新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る大学の取り組み方針により決定	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
857 神戸薬科大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	厚生労働省及び文部科学省の指針により、教室の定員を1/2以下とすることを守りながら、現時点において最大限教室を運用しており、この指針が緩和されないかぎり、これ以上対面授業を増やすことができないため。	②7割対面	既に上記の比率で9月21日より授業を実施しているため。	⑤差はない	単科大学であること、また、各学年の対面授業数を調整し、不公平が少なくなるようにしている。	①②④⑤⑥	
858 神戸親和女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	基本的には、面授授業を実施する。履修人数が多く収容人数の多い教室でも3密状態になってしまう場合のみ遠隔授業で実施する。	⑤差はない		①②④⑤⑦	
859 神戸国際大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期は面授授業の割合を大幅に増加し授業を開始したが、緊急事態宣言や学内での感染者発生によりオンライン授業に変更した。6月以降段階的に面授授業割合を高めたが、学生も度重なる変更で混乱があったと感じたため。	②7割対面	令和3年度はソーシャルディスタンス確保のため、教室定員を制限して面授授業を開始したことから特に履修者が多い科目（全体の1/4程度）についてはオンデマンド授業科目として設定し、面授授業と並行して実施している。	①学部ごとに差	リハビリテーション学部は医療技術者を養成する課程のため実習授業が多くオンラインでは対応しにくいことから面授授業で実施している。	①②③④⑤⑥⑦	
860 兵庫大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の有効性や教育効果が高い科目はそのまま実施している。他方、演習、実験科目は面授授業を継続している。加えて、学生がキャンパスに来る機会を増やすことで、学友や教員との交流の時間を多くもってもらいたいという狙いから、前期よりも面授授業の割合を増やしている。	①ほぼ対面	2-5の回答と同	⑤差はない		①②③④	
861 神戸常盤大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は、すべての学部において、専門職人（医療・教育職等）を育成する教育課程であり、技術を習得しなければならない科目が多数ある。適切な感染防止対策を講じた上で、学内施設でのキャンパス等も考慮し、「できる限り対面授業を実施する」という基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	本学では、前期に実施した職域（大学拠点）接種の接種率は、全学で80%を上回り、本学以外で接種した者を加えると、大学全体で85%を超えた。これは、感染防止への高い意識の表打ちであり、一定の集団免疫を獲得していると考え、基本的な考え方に基づき、8割程度を面授授業で行うと予定した。	③学部・学年ごとに差	カリキュラムの特性上、学部や学科によって、実習時期が異なることに起因するため。	②③④⑥	
862 宝塚医療大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
863 芦屋大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし		⑤ほぼ遠隔	学生数1000人に対して、面授授業を原則2割以下（200人）に調整することとしている。今後の情勢において、面授授業実施の緩和を検討する。	③学部・学年ごとに差	教職課程において、面授授業が必要な時期が、学部学科、学年で差異が生じている。	②	
864 大平前大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生のメンタルの部分を充分に考慮する必要がある。	①ほぼ対面	実習の有無と受講者数	①学部ごとに差	受講者数の多い授業が多い学部は面授授業の実施率が低い。	②③④⑤	
865 関西学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	大学拠点接種や自治体での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいるものの、感染力の強い変異株がまん延し、感染拡大防止に一般の注意を要する状況に変わりはない。そのため、秋学期授業は、春学期と同様に一部の対面授業をオンライン授業に移行し実施する。自治体よりオンライン授業の積極的な活用を求められているが、キャンパスにおける学機機会および学生生活の確保は学生の成長のために重要であるため、地域社会における感染状況を踏まえ十分な感染防止対策を講じながら、各キャンパスでの対面授業も実施し、文学図書館、PC教室、コモンス（共同学習スペース）、運動施設、食堂・店舗を開放する。	④3割対面	緊急事態宣言は解除されたものの、感染力の強い変異株には依然として注意を要するため、当面の間は引き続き基本的な感染防止対策を講じた上で対面授業とオンライン授業を組み合わせ実施し、対面授業では教室の出席者数を通常定員の2分の1以下とする感染防止対策や学内での密を回避するという点で実施が困難なケースがある。本学では、授業開講部局ごとに教育効果を考慮した上で対面授業のオンライン授業への移行を検討した。教育分野により授業方法も異なり、学生数（学定員）も異なるため、各授業開講部局によって差が生じている。	③学部・学年ごとに差	1年、2年の授業科目は対面での実施を優先したが、教養科目や学部の基礎教育科目など比較的大人数の履修者に対して実施されるものが多い。教室の出席者数を通常定員の2分の1以下とする感染防止対策や学内での密を回避するという点で実施が困難なケースがある。本学では、授業開講部局ごとに教育効果を考慮した上で対面授業のオンライン授業への移行を検討した。教育分野により授業方法も異なり、学生数（学定員）も異なるため、各授業開講部局によって差が生じている。	①②③④⑤⑥⑦	
866 甲子園大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	教室等においては、密を避け、その他感染症対策を実施している。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
867	神戸女学院大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が前期と同様であり、ワクチン接種が当初見込まれていたより遅れているため、オンラインを行った結果令和3年度年度前期前方向を踏襲することとした。	②7割対面	・本学では授業科目ごとに、本学活動基準レベル1および2における授業形態を次のように定めている（一部において、例外科目あり） 【レベル1】・参考事象…兵庫県又は大阪府における感染状況の5指標が概ね「ステージ3」以下を目安とする。 ・授業形態方針…感染拡大防止に留意し原則対面とするが、過去4年間に5回を超えたことが倍以上ある科目は遠隔。【レベル2】・参考事象…兵庫県又は大阪府における感染状況の5指標が概ね「ステージ4」を目安とする。 ・授業形態方針…レクチャー、実技、実験、必修科目は対面、他は遠隔。 ・10/7(木)時点では活動基準レベルが2であるが、現在は感染拡大状況が改善していることから、今後、レベル1への移行が想定される。レベル1における授業形態を集計したところ、約7割が対面授業である。	⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦		
868	園田学園女子大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は、前期の時点では、大学の教室収容数の関係から、履修者数が10名以上の講義科目については遠隔授業、10名未満の講義科目については面接授業、その他の演習、実験、実習、実技科目については面接授業を開始いたしました。これは、感染症対策として通常の教室の収容定員から60%~70%の収容数で実施するためです。また、兵庫県に緊急事態宣言が発令中については、全ての講義科目を遠隔授業として実施いたしました。この方針は、後期も変更はありません。教室収容数が、コロナ禍以前の収容数として実施が可能となれば、面接授業の実施数も増加するものと考えております。	②7割対面	感染症対策を講じたうえで面接授業を実施するためには、学生と学生の間を空けて着座させる収容数に減じる必要があり、通常の教室収容定員では全授業の実施が困難であるとの判断から、上記の基準を設定し実施いたしました。	⑤差はない	特にありません。	②③④⑤	
869	武庫川女子大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の学習面での理解度や、仲間作りがなかなかできないことを考えると、可能な限り大学に登学し、対面で交流する機会をできるだけ確保したいと考えている。	②7割対面	原則、受講者が大人数となる講義科目については遠隔授業、それ以外の演習・実験・実習・実技・ゼミ指導等は対面授業を実施する方針のもとで実施形態を決定している。	①学部ごとに差	カリキュラム構成として当初より講義科目が多い、文学部、経営学部等については必然的に遠隔授業の比率が高くなっており、本学では授業形態を基準として遠隔・対面での実施方針を定めているため、学年単位での比率に関して特に傾向は無い。	②③④⑥⑦	
870	兵庫医科大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	ほぼ全員の学生がコロナワクチン接種済みであり、講義室も換気が行っていること、また、医学教育の性質上、遠隔実施では対面授業と同じ学習効果を担保することは難しいため						
871	姫路獨協大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	原則、前期と体制は同じとしている。ただし課からの要請なども加味して判断している。	①ほぼ対面	本学の危機管理対策本部会議において緊急事態宣言が解除され、感染者が減少したと判断された場合、原則面接授業を行うこととなっているため。	③学部・学年ごとに差	医療系学部の医療保健学部、薬学部、看護学部によっては、実習関係の授業時間が学年によってかなり異なるため。	①②③④	
872	流通科学大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	対面を基本として、同じ科目において、対面とオンデマンドを学生が選択可としている運用であるため、後期も継続する。	①ほぼ対面	1つの科目で対面と遠隔の両方を実施することで学生の履修希望を模ねない形としている。	⑤差はない		①②④⑥	
873	神戸芸術工科大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は元々実習・演習主体のカリキュラム構成となっており、かつ大学や学校における実地学習、学生間、学生と教員の交流等の重要性は十分認識しております。コロナ禍により大学の授業運営方針の変遷は、以下のとおりです。●令和3年度前期、対面授業を基本とするが、対面授業の実施が困難な科目、履修生数が多くなる科目は遠隔授業の実施を可能とする。令和3年度後期・前期同様、対面授業を基本とするが、対面授業の実施が困難な科目、履修生数が多くなる科目等は遠隔授業の実施を可能とする。	③半々	令和3年度より、webシラバスの記載事項に「対面、遠隔の別」を付けています。「対面授業のみ」あるいは「混合授業（対面+遠隔/授業週の日曜日より異なる）」の合計を面接授業とみなした数を根拠としています。	⑤差はない	②③④⑤⑥		
874	関西福祉大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	9月20日から後期授業が開始されたが、緊急事態宣言中は遠隔授業を中心に実施し（ただし、実技・実習・演習等を除く）、病除後は対面授業を中心に実施している。	①ほぼ対面	原則対面を基本方針に、人数・教育効果等を総合的に判断している。	⑤差はない		②④⑥⑦	
875	関西国際大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	春学期末に行った学生へのアンケート調査結果により、学生側のネットワークやIT機器、学生のICTリテラシーのスキル等により、学生の学びに差が生じることが明らかになった。遠隔授業では授業を受けてもらえない学生の把握が難しい場合もあり、フォローアップ等の機会も限られる。教員との関係づくりや、学生間のコミュニケーションも行きにくい。	①ほぼ対面	本学においては、原則全授業、面接授業での実施である。ただし、非常勤講師で本務校等の規定により、面接授業での出席ができない教員や、留学生で入国できない、面接授業に参加できない学生、基礎疾患等により、面接授業への出席を医師の診断で控えるように診断書が提出されている学生に向けて、Zoomを用いた同期型のオンライン授業を実施している。また、学生が、コロナを発症し病院やホテルなどに隔離された場合、搬送先の病院やホテルにオンラインで同期型の授業を受ける環境がないことも想定されることから、このような場合に向けて、オンデマンドでの授業配信の仕組みを整え、実施できる状況にある。	⑤差はない	なし	①②⑥	
876	神戸医療福祉大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	感染状況は落ち着きを見せつつあるものの、未だに感染拡大に対して警戒が必要な状況であると判断している。また、遠隔授業を継続することに際して、学生やその保護者からの理解を徹底していると考えている。そのため、今年度後期期に引き続き遠隔授業を中心としつつ、対面による実施が必要な授業については感染対策に留意して対面により実施する方針を継続することが適切であると判断している。	⑤ほぼ遠隔	本年8月時点では、感染第5波が最盛期を迎えており今後の感染拡大状況の見通しが不明確であったため、前期に引き続き実習科目や実技科目、技術の習得を主たる目的とする科目は感染対策を実施した上で対面により行い、講義科目やほとんどの演習科目は遠隔により行うこととした。今後は感染拡大の状況の推移を踏まえ、対面による授業の範囲の拡大について検討を進める。面接授業の範囲を拡大することについての変更については現時点でほとんど寄せられていないが、その際は学生の健康と安全を最優先した上で判断であるという本学の方針を説明し、理解を求めている。	③学部・学年ごとに差	スポーツコミュニケーション学科においては実技や実験、実習の割合が高く、他の2学科（社会福祉学科・経営福祉ビジネス学科）に比して面接授業の割合が高いものとなっている。また、すべての学科で実技や実験等の授業は2年生・3年生を中心に開講されており、2年生・3年生においては他の学年より面接授業の割合が高いものとなっている。	②	
877	神戸情報大学院大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学では、原則として、教室からZoom発信にて授業を実施しており、学生は、自分の好み（教室または自宅）にて受講できる体制としている。学生によっては自宅受講したい者（家族に基礎疾患があり外出したくない）や、教室で受講したい者（下宿生など）などニーズが多様であり、それに対応している。	③半々	本学では、原則として、教室からZoom発信にて授業を実施しており、学生は、自分の好み（教室または自宅）にて受講できる体制としている。学生によっては自宅受講したい者（家族に基礎疾患があり外出したくない）や、教室で受講したい者（下宿生など）などニーズが多様であり、それに対応している。	⑤差はない		①②④⑥⑧	入学したものの、いまだびがが発給されず日本に入国できない留学生は、遠隔授業とせざるを得ない。
878	関西看護医療大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	①対面授業を拡大							

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
879	兵庫医療大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の時点ですでに校内施設のキャパシティの限り対面授業を実施しており、後期になってもその方針に大きな変化はないため。	①ほぼ対面	感染防止に十分配慮しつつ、同時に講義室等の収容人数を可能な限り拡大することとした。	③学部・学年ごとに差	医療系学部であることから、座学が中心となる学年と、病院での実習等が中心となる学年とで異なっており、また、学部ごと②⑧にも同様に差異があるため。		原則として授業は対面を実施するが、校内施設のキャパシティ上で困難な場合にはオンデマンド型オンライン授業により実施する予定である。	
880	姫路大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	通学して学ぶ機会や対面での交流機会の確保の必要性を感じるが、感染対策を講じての授業運営ではキャパシティ的に半半程度が通隔授業となっている。	③半々	基本的に面接授業を実施したいが、各教室の収容人数をコロナ対策として5割程度に抑えること、教室のキャパシティの問題から面接授業と通隔授業の比率を半々で行うこととなる。	③学部・学年ごとに差	教育学部は1~4年の授業を2学年ごとに面接授業の週、通隔授業の週に分けて分次登校の形をとっている。実施比率は面接：通隔5:5と各学年同じとなっている。看護学部は、3年がほぼ実習科目となるため面接授業の割合が高い。4年も科目数が少ないため面接授業の割合が高い。2年については、必修の講義が多いため、教室のキャパシティ上、実施比率は5:5となっている。	①②④⑤⑥⑦		
881	大阪芸術大学短期大学部	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
882	大手前短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生のメンタルの部分を充分に考慮する必要がある。	①ほぼ対面	実習の有無と受講者数	①学部ごとに差	受講者数の多い授業が多い学部は面接授業の実施率が低い。	②③④⑤		
883	神戸女子短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差		①②④		
884	神戸常盤大学短期大学部	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	本学は、すべての学部において、専門職系（医療・教育職等）を育成する教育課程であり、技術を習得しなければならない科目が多数ある。適切な感染防止対策を講じた上で、学内施設のキャパシティ等を考慮し「できる限り対面授業を実施する」という基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	本学では、前期に実施した職域（大学拠点）接種の接種率は、全学で80%を上回り、本学以外で接種した者を加えると、大学全体で85%を超えた。これは、感染防止への高い意識の裏打ちであり、一定の集団免疫を獲得していると見られ、基本的な考え方に基づき、8割程度を面接授業で行うと予定した。	③学部・学年ごとに差	カリキュラムの特性上、学部や学科によって、実習時期が異なることに起因するため。	②③④⑥		
885	福栄短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	保育者養成校として、実習での直接体験の重要性と2年間の学生生活、特に学生間の交流の重要性を改めて認識した。							
886	豊岡短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
887	甲子園短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
888	神戸教育短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
889	聖和短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	大学拠点接種や自治体での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいるものの、感染力の強い変異株がまん延し、感染拡大防止に一層の注意を要する状況に変わりはない。そのため、新学期授業は、各学期と同様に一部の対面授業をオンライン授業に移行し実施する。自治体よりオンライン授業の積極的な活用を求められているが、キャンパスにおける学修機会および学生生活の確保は学生の成長のために重要であるため、地域社会における感染状況を踏まえ十分な感染防止対策を講じながら、各キャンパスでの対面授業も実施し、大学図書館、PC教室、 commons（共同学習スペース）、運動施設、食堂・店舗を開放する。	③半々	緊急事態宣言は解除されたものの、感染力の強い変異株は依然として注意を要するため、当面の間は引き続き基本的な感染防止対策を講じた上で対面授業とオンライン授業を組み合わせ実施し、対面授業では教室の出席率数を通常定員の分の1以下とする感染防止対策を継続する。ワクチン接種の進展により感染拡大が抑制されることを期待しているが、一方で感染拡大のリバウンドが懸念されるため、地域社会における感染状況やワクチン接種の効果などを考慮し、実施条件を検討していく。	②学年ごとに差	免許、資格取得のために外部に実習に行く時期があるが、その間は残された学年は対面授業の実施比率が上がる。	①②⑤⑥		
890	園田学園女子大学短期大学部	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学の短期大学部については、前期の時点から、全てを面接授業での実施を進めてまいりました。しかしながら、兵庫県に緊急事態宣言が発令されることとなり、その期間中においては、60名以上の講義科目についてはのみ通隔授業で実施いたしました。後期開始時にも緊急事態宣言が発令中であったため、60名以上の講義科目についてはのみ通隔授業で実施していましたが、9月30日付で解除されたことに伴い、全てを面接授業で実施することに決定しております。今後も、感染状況によっては、同様の方針で対応してまいりますこととしております。							
891	産業技術短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	「学生への教育効果を考えると極力面接授業を実施することが望ましいが、感染状況によっては一部通隔授業を実施し、学生に登校させない日を想定することも必要である」という基本的な考えは変わっており、現在もその方針に沿って面接授業と通隔授業を併用している。	②7割対面	現在は面接授業約6割、通隔授業約4割で実施しているが、今後感染状況が改善されるようであれば、スポット的なものも含め、通隔授業の一部を面接授業に切り替えられる可能性がある。	⑤差はない	②⑤⑥			
892	東洋食品工業短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
893	兵庫大学短期大学部	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	通隔授業の有用性や教育効果が高い科目はそのまま実施している。他方、演習、実験科目は面接授業を継続している。加えて、学生がキャンパスに来る機会を増やすことで、学友や教員との交流の時間を多くしてもらいたいという狙いから、前期よりも面接授業の割合を増している。	①ほぼ対面	2-5の回答と同	⑤差はない	①②③④			
894	淡川短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
895	武蔵川女子大学短期大学部	28.兵庫県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の学習面での理解度や、仲間作りがなかなかできないことを考えると、可能な限り大学に登学し、対面で交流する機会をできるだけ確保したいと考えている。	②7割対面	原則、受講者が大人数となる講義科目については通隔授業、それ以外の演習・実験・実習・実技・ゼミ指導等は対面授業を実施する方針のもとで実施形態を決定している。	①学部ごとに差	カリキュラム構成として当初より講義科目が多い学科等については必然的に通隔授業の比率が高くなっている。本学では授業形態を基準として演習・対面での実施方針を定めているため、学年単位での比率に関して特に傾向はない。	②③④⑥⑦		
896	姫路日ノ本短期大学	28.兵庫県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
897	明石工業高等専門学校	28.兵庫県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	クラスターが発生するなど、特別な事情がない限り、対面授業をする方針である。							
898	神戸市立工業高等専門学校	28.兵庫県	04.高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
899	奈良教育大学	29.奈良県	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	感染状況を勘案して、原則面接授業とすることも考慮しているが、教室の収容・定員等の都合により引き続き通隔授業を行う授業があるから。	⑤差はない	②③④⑤⑥			

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
900 奈良女子大学	29. 奈良県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	前期から後期にかけて大学としての方針に変更がないため。十分な感染拡大防止対策が出来る場合に限り、担当教員が必要と判断すれば、対面による授業等を実施しているが、感染対策を講じた上での教室の収容人数には限りがあるため、収容人数以上の受講生がいる場合には、遠隔講義へと切り換えている。	③半々	ワクチン接種や新薬開発など、現在の感染状況よりも改善していくことが予想されるが、教室については、引き続き感染対策を講じた収容人数となる見込みであるため、対面を実施したくても対面を行えない状況が続くものと考えられる。			②⑤⑦	
901 奈良先端科学技術大学院大学	29. 奈良県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	地元自治体の感染状況や感染対策（緊急事態宣言発出の有無）等に大きな変更が無いため。	①ほぼ対面	来日できない留学生や感染リスクが高い学生等の学習機会を確保するために遠隔授業を残しておく必要があると考えている。		本学は1研究室1専攻の大学院大学でありキャンパスも1か所なので本設間は該当しない。	①②④⑤⑥⑧	来日できない留学生等に学習機会を確保するため遠隔授業および収録によるオンデマンド配信を実施している。
902 奈良県立医科大学	29. 奈良県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	現在の感染状況を加味すると、講義は四方を空けての配座をしており、講義室のキャパシティを考慮すると前期から変更でき	②7割対面	可能な限り対面で実施したいと考えているが、講義は四方を空けた配座にて行うため、講義室のキャパシティを考慮すると3～5割程度の対面授業となっている。実習はほぼ対面で実施しているため、全体として7割程度を対面授業で行っている。	②学年ごとに差	先述のとおり、実習は原則対面で実施しており、医学科・看護学科ともに学年が上がるにつれ、実習の授業が増えるため。	②⑤⑥	
903 奈良県立大学	29. 奈良県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度の授業方針として原則対面授業とし、感染対策に考慮しながら一部遠隔授業を行うという方針に変わりはない。	①ほぼ対面	対面での実施を基本としつつ、感染対策上の観点等（受講者数と教室収容人数）から一部遠隔授業を併用し各授業の形態を定めた。	③学部ごとに差		①②③④⑤⑥	
904 帝塚山大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	可能な限り対面授業を実施する。	③学部・学年ごとに差		①②③④⑤	
905 天理大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	演習、実習、実技など遠隔授業で教育効果が十分に得られない授業が多くある。	①ほぼ対面	昨年度の状況や、最近の状況から判断。	⑤差はない		①②③④⑥	
906 奈良大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	令和3年度前期の授業方針を検討・決定した際の考え方に沿って判断しました。	②学年ごとに差	全学的には、演習科目や実習系科目を優先的に対面授業で実施しているため、実習科目が多い学科については、対面授業の実施比率が高くなっておりませんが、一方で、授業内容や授業効果を鑑み、遠隔授業を優先的に実施している一部の学科では、遠隔授業の実施比率が高くなっておりま	①②③④	
907 奈良学園大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	感染拡大防止の観点から見れば学内施設でのキャパシティの問題が一審大い	②7割対面	感染状況が大きく変われば対面授業の比率が高まるが、現状から急進に改善することは考えにくいため、現状通りとした。	③学部・学年ごとに差	専門教育科目を優先して対面授業にしている学部があり、低学年では共通教育科目の比率が高いため、自ずと遠隔授業の割合が低くなる。そのため、学年、学部によって対面授業の比率が高くなる。	①②	特になし
908 畿央大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	①対面授業を拡大	本学の場合は学科の特性上、演習・実習・実技を伴う科目が多く存在するため。						
909 天理医療大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		④3割対面		⑤差はない		②⑥	
910 奈良芸術短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	実習が授業の中心のため	⑤差はない		①②⑥	
911 奈良佐保短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
912 白鳳短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生に新型コロナウイルスに対する正しい認識と危機意識があり、感染拡大防止策を万全に取り組んでいれば、十分効果が得られると考えているから。						
913 奈良工業高等専門学校	29. 奈良県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度の対面授業の再開時に決定した。可能な限り、対面授業を優先しつつも、近隣地区の感染状況等を踏まえて、授業形態を決定するという方針を踏襲している。						
914 和歌山大学	30. 和歌山県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度はコロナ感染対策・3密回避をするために遠隔で実施する必要があると認められる授業以外は、対面授業を実施するとを基本方針とし、前期には授業の約9割が対面で実施されました。後期以降の授業についても、遠隔授業は感染対策のために必要であると認められる授業に限定し、前期に引き続き対面授業を中心に実施しています。	①ほぼ対面	全学教務委員会が令和3年度は対面授業を基本方針とする決定をしており、遠隔授業は事前の調査で、コロナ感染対策・3密回避をするために遠隔で実施する必要があると認められた授業に限定しています。そのため、コロナ感染対策・3密回避のために遠隔で実施が認められた授業が約1割、対面授業が約9割になっています。	①学部ごとに差	学生定員の少ない学部では感染対策・3密回避のために教室等の収容人数を制限しても、かなりの高率で対面授業が可能ですが、学生定員の大きな学部では感染予防対策として人数制限を設けると、面接に変更せざるを得ない授業が増えるため、遠隔授業の割合が比較すると高くなっています。	②③④⑥⑦	
915 和歌山県立医科大学	30. 和歌山県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	特に実習等においては対面授業の方が学習効果が高いと考えられるほか、学生間及び教員との交流機会が減少することで、大学への進意がままらず、将来の人材確保（研修医等）に悪影響を及ぼす可能性も考えられるため。	②7割対面	教員、施設の収容可能人数を考慮して判断	①学部ごとに差	学部により、授業で使用可能な教室の収容人数、数に差があるため	②④⑤	
916 高野山大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	③遠隔授業を拡大	本校が交通面で不便な場所に立地しているため、他キャンパスの学生から遠隔授業を望む声が多く聞かれるため。						
917 和歌山信愛大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生同士、学生教職員の交流が増えた。						
918 和歌山リハビリテーション専門学校	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期に引き続き、後期においても対面授業において基本方針は変わりなし。学生は通学して対面授業を受けることが当然の大学の在り方であると認識しているから。						
919 和歌山信愛女子短期大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
920 和歌山工業高等専門学校	30. 和歌山県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期も全学的に面接授業により実施しており、基本的に考え方は変更していない						
921 鳥取大学	31. 鳥取県	01. 国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方として対面授業の実施を重要視している。国内・県内の感染状況を鑑み、遠隔授業を推進する場合でも、到達目標上や得ないと思われる科目については遠隔授業を実施している。	①ほぼ対面	原則収容人数の70%未満が確保できれば対面、確保できなかった場合は遠隔授業を実施する。また、「鳥取大学新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針」の授業（講義、演習、実習）レベルに基づいて判断しており、授業の内容から遠隔授業とするには難しい科目である場合、対面授業を行う予定である。	③学部・学年ごとに差	実習、実験の多い学部については、対面授業の比率が高くなるため。1クラスの履修人数が多く、収容できる教室数が限られるため、1年生を優先的に対面授業としているため。	①②③④⑤⑥⑦⑧	授業担当教員が、教育効果を考えて面接、遠隔授業を実施する。面接授業を行う際は、十分な感染対策の上で実施する。

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
922 公立鳥取環境大学	31. 鳥取県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	特に大きな変化はない	①ほぼ対面	警戒段階別対応方針に基づき決定することにしており、現状では、試験定員での授業を実施している。施設のキャパシティの都合上、試験定員で講義の割りあてがかわない授業については遠隔により実施している。	⑤差はない		②③④⑤		
923 鳥取看護大学	31. 鳥取県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	・学生一人ひとりを捉えることが難しい、・学生の反応の把握が難しい、・理解度の格差に対する配慮が難しい							
924 鳥取短期大学	31. 鳥取県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期の約1か月間、遠隔授業を行った。ほかは、原則対面授業を行っている。							
925 米子工業高等専門学校	31. 鳥取県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	いつでもオンライン授業に切り替えられるよう、教員が準備しておく体制がより広まった							
926 鳥根大学	32. 鳥根県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	未だコロナウイルスの収束が見通せない中ではあるが、徹底的な感染対策を行ったうえで可能な限り対面授業を進めてきた。学生アンケートの結果からは、オンライン授業によるメリットが明らかになった面もあるものの、対面授業や対面での交流機会の重要性が改めて感じられた。感染症の状況が比較的落ち着いている鳥根県においては可能な限り対面授業を行いたい。							
927 鳥根県立大学	32. 鳥根県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	(松江キャンパス)8月中旬にワクチンを2回接種した学生の割合が9割近くになったこともあり、学生の学修機会と学生生活の充実をはかるため、面接授業を主として実施することとした。※ただし、履修者数が多い科目等においては、感染予防の観点から引き続き遠隔授業を行う。	①学部ごとに差	(松江キャンパス)保育士養成の学科においては、実技が多いため後期の授業において面接授業の割合が高い(ほぼ面接又は面接授業内で一部遠隔実施)	①②③④⑤⑥⑦		
928 鳥根県立大学短期大学部	32. 鳥根県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	8月中旬にワクチンを2回接種した学生の割合が約7割近くになったこともあり、学生の学修機会と学生生活の充実をはかるため、面接授業を主として実施することとした。※ただし履修者数が多い科目等においては、感染予防の観点から引き続き遠隔授業を行う。	①学部ごとに差	保育士養成の学科においては、実技が多いため後期の授業において面接授業の割合が高い(ほぼ面接又は面接授業内で一部遠隔実施)。	①②③④⑤⑥⑦		
929 松江工業高等専門学校	32. 鳥根県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
930 岡山大学	33. 岡山県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期の授業実施方針は、オンライン授業の方が教育効果が高いと考えられる場合を除き、まずは対面授業の実施を検討し、講義室を確保できない等、大学で定める対面授業実施のガイドラインを遵守することが難しい場合、オンライン授業として実施する方針であった。4月から6月にかけて、学内の履修者数、取組も感染症の急激な変化により対面授業の実施を強く制限してきたが、10月からは、対面で実施することが望ましい授業科目でかつ感染防止措置を講じることができている授業科目については、部局長の確認の上で、可能な限り対面で実施する方針とし、年度当初の方針と近いものとなった。	③半々	10月からは、対面で実施することが望ましい授業科目でかつ感染防止措置を講じることができている授業科目については、部局長の確認の上で、可能な限り対面で実施する方針としている。学内の履修者へのワクチン接種がほぼ完了したことなどを勘案し、今後は、状況を見ながら段階的に対面授業を増やしていくべきと考えているが、面接授業7割程度には至らないと見込んでいる。	①学部ごとに差	学部によっては、多人数を対象とする授業が多く、3密を避けて対面授業を実施できる講義室が不足しているなどの問題があり、対面授業の比率が低くなる場合がある。また、実技や実習科目が多い学部においては、対面授業の比率が高くなる場合がある。	①②③④⑤⑦		
931 岡山県立大学	33. 岡山県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染状況が今後どのように変化するか不明であり、ある程度遠隔授業を取り入れざるを得ないため、当面は現行の考え方で授業を実施する予定である。	③半々	感染状況が今後どのように変化するか不明であるため、学内施設のキャパシティや授業の内容を考慮しながら、ある程度遠隔授業を取り入れることとしている。	①学部ごとに差	デザイン学部において、その性格上、面接の比率が高くなって	②④⑥		
932 新見公立大学	33. 岡山県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	原則面接授業を実施している、学内教員は全て面接授業を実施している。学外からの非常勤講師については、その所属先の大学などの指示により遠隔授業となることがあり、後期も状況により遠隔授業実施の可能性がある。	⑤差はない		②④⑧	十分な感染対策を実施した上で面接授業を実施する。学外からの非常勤講師の行う授業についても原則面接授業を実施するが、状況により遠隔授業を実施する場合がある。	
933 吉備国際大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度は対面授業でスタートしたが、感染状況の悪化、緊急事態宣言の発令により、5月6日から5月20日までオンライン授業となった。オンライン授業が長く中で、疲労や孤立、悩みを抱える学生も見られるようになり、学生の精神的なサポートの必要性が高まった。これらの対策として、少人数のゼミを一部対面で実施したり、健康管理センターなどを中心に相談支援体制も整えたが、やはり対面での学生と教員、学生同士の交流機会の重要性を再認識した。							
934 岡山商科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	面接授業を原則としているが、まだどが関係で未入国学生がいるので、面接とオンラインを併用するハイブリット型を採用していることから、どちらかという選択は困難であるが、原則面接としていることから。	⑤差はない		①④⑥		
935 岡山理科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染症対策に関する政府や県の方針に基づき状況を判断し、大学としての方針を決定している。	⑤差はない		①②③④⑥⑦		
936 くらしき作陽大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	コロナ禍当初より、可能な限り面接授業を実施する方針のため。							
937 ノートルダム清心女子大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	④その他	学内での職域接種の2回目が10月1日に完了した。	①ほぼ対面	学内での職域接種の2回目が完了し、抗体獲得に約2週間程度を設けた後(10/15から)、面接授業の割合を増やしたため。	①学部ごとに差	実習・実技・実技など、学内の施設を使用せざるを得ない授業が多くある学科は面接授業の比率が高いため。	①②④⑤⑥		
938 川崎医科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	ほとんどの学生が2回目のワクチン接種を終了したこと、また、実習や演習も多く、それらの科目は対面で実施することに意義があるため							

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
939 就実大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ適隔	②併用	②大きな変化なし	本学では、授業の受講方法を検討する際の基準となる「活動制限指数」があり、前期授業と同様、受講者が多く密集・密接を避けた対面授業の実現が難しい科目を全期間オンデマンド型とし、残りの科目を三密を避けながら原則対面授業として開講する。現在「活動制限指数」のレベル3のため、ほぼすべての科目をオンライン授業としている。	①ほぼ対面	全期間オンデマンド型オンライン授業で開講する科目は、全科目数のうち約4割程度であり、現在の「活動制限指数」が今後引き下げられる場合、全期間オンデマンド型オンライン授業の科目以外は、感染対策を講じた上で対面授業となる見込みのため。		⑤差はない	①②③④⑤		
940 川崎医療福祉大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	④その他	コロナ禍が本格化した昨年度より、緊急事態宣言の発出や地方自治体からの遠隔授業の実施が無い限りは対面授業を中心に実施する方針としています。							
941 山陽学園大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	後期授業の方針を変更する予定はないため、現状の比率を継続する。	②学年ごとに差	実験・実習等の対面指導すべき授業が多い配当学年があり、比例して対面授業の実施比率が高くなる。	②③④⑥		
942 倉敷芸術科学大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	面接授業を中心に授業を実施できており、考え方に變更ない。							
943 岡山学院大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
944 中国学園大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
945 環太平洋大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	インプット型の科目をオンデマンド化する。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦		
946 岡山医療専門学校	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大								
947 実作大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
948 倉敷市立短期大学	33. 岡山県	02. 公立大学	③全面遠隔		①全面対面	②大きな変化なし								
949 就実短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ適隔	②併用	②大きな変化なし	本学では、授業の受講方法を検討する際の基準となる「活動制限指数」があり、前期授業と同様、受講者が多く密集・密接を避けた対面授業の実現が難しい科目を全期間オンデマンド型とし、残りの科目を三密を避けながら原則対面授業として開講する。現在「活動制限指数」のレベル3のため、ほぼすべての科目をオンライン授業としている。	①ほぼ対面	全期間オンデマンド型オンライン授業で開講する科目は、全科目数のうち約4割程度であり、現在の「活動制限指数」が今後引き下げられる場合、全期間オンデマンド型オンライン授業の科目以外は、感染対策を講じた上で対面授業となる見込みのため。		⑤差はない	①②③④⑤		
950 岡山短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
951 作陽短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	コロナ禍当初より、可能な限り対面授業を実施する方針のため。							
952 中国短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
953 実作大学短期大学部	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし								
954 山陽学園短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	後期授業の方針を変更する予定はないため、現状の比率を継続する。	②学年ごとに差	実験・実習等の対面指導すべき授業が多い配当学年があり、比例して対面授業の実施比率が高くなる。	②③④⑥		
955 川崎医療短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期と同様、感染が拡大して緊急事態宣言が発令される状況となった場合には、講義科目を遠隔で実施する等、面接授業と遠隔授業を併用する体制を整備している。	①ほぼ対面	現下の感染状況と、学生・教職員のほとんどがワクチン2回接種済である状況から判断されるが、感染拡大状況次第であるため、今後感染発生や緊急事態宣言の再発令等があれば、遠隔授業が生じり得る。		⑤差はない	②⑤		
956 津山工業高等専門学校	33. 岡山県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	学校が所在する地域の感染状況に大きな変化がないため。							
957 広島大学	34. 広島県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	前期に実施した学生への学生生活に関するアンケートにおいて、「指導教員やチューターとコミュニケーションが取れていると感じますか」や「同級生や友人とコミュニケーションが取れていたと感じますか」の質問に対し、「十分とれている」「やや取れている」と回答した学生の割合が、それぞれ昨年度より増加していることがわかった。	①ほぼ対面	10/1時点でシラバスが入力されている後科目(6,920科目)のうち、「授業の実施方法」で対面を含む科目(対面のみ、対面・オンラインの併用)が5,886科目あり、後科目全体の85.1%であった。	①学部ごとに差	ほぼすべての学部で対面を含む科目が90%を超えているが、情報科学部のみ59.5%にとどまっている。これは、特に講義系の科目において、オンラインの活用による教育効果が得られることが一因と思われる。	①②③④⑤⑥⑦		
958 県立広島大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では、コロナ禍における学生の学修機会の確保と感染対策の徹底の両立を図ることを重視し、令和3年度前期の授業開始時点も、面接授業と遠隔授業を組み合わせて授業を実施してきており、その後の第4波、第5波の感染者数増加による国の緊急事態宣言や県の施設対策も踏まえて、当該期間中においては、なるべく遠隔授業中心の授業形態の対応をしています。本県では10月14日まで県独自対策が継続されており、その後は令和3年度前期当初の考え方を基本に面接授業をより増加させることとし、質の高い教育実現に取り組むこととしています。	③半々	10月15日からの授業は面接と遠隔を併用して行い、実際の割合は今後調整した結果となるが、感染防止対策として講義室の収容人数は半数としており、施設キャパシティ上の制約を受けることが想定されるため。	③学部・学年ごとに差	実験・実習の多い学部は対面に依るざるを得ないことから対面授業が多くなっている。・学内での学修機会を設けるため、学部1・2年の対面の比率を高くするよう配慮している。	①②④⑤⑥		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
959	広島市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	<p>広島県や国（文部科学省）の対処方針等に沿って感染対策を徹底しつつ、学生間士の交流の機会の確保を含め、大学における教育活動の効率が最大限に確保されるよう取り組みを基本的な方針・目標として、2021年8月31日付で2021年度後期授業の実施方針を次のように学生等へ示しています。</p> <p>現下の緊急事態措置に係る広島県や国（文部科学省）の対処方針において、対面式授業の実施を前提としているものであること、また、経路知としても、基本的な感染防止対策（マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気等）をしている中で、対面式授業においては、ほぼ感染することはないと考えられること、加えて、高い感染予防効果が確認されているワクチン接種が進みつつあることを踏まえ、次を授業実施の基本方針とする。</p> <p>① 2020年度以前3年間の履修者数データに基づき、講義室内のソーシャルディスタンス確保が難しい講義（座学）科目（講義室収容定員の5割超の履修者数が見込まれる場合）についてはオンライン授業とし、これ以外の講義（座学）科目は対面式授業とすることを基本とする。なお、履修者が確定した後、必要が生じたときは、授業形態を見直す場合がある。</p> <p>② 演習・実習・実験・実技科目については、基本的な感染防止対策を徹底した上で、対面式授業とすることを基本とし、必要に応じて、感染防止と教育効果を上げることを目標として、オンライン授業を取り入れるものとする。</p> <p>③ 学生本人に基礎疾患がある等の理由により、対面式授業への参加が困難な場合は、個別に対応するものとする。</p>	①ほぼ対面	2-5に記述した2021年度後期授業の実施方針のとおりです。	①学部ごとに差	2-5に記述した2021年度前期授業の実施方針のとおり、演習・実習・実験・実技科目については、履修者数によらず対面式授業を基本としていることから、実習科目が多い芸術学部では面接授業の割合が高くなる傾向にあります。	①②③④⑤⑦	
960	福山市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>学生と教職員を新型コロナウイルスに感染させないことを最優先の原則とする。学部別、大学院ともに、「3つの密」を回避するなかで、対面授業を実施する。ただし、必要に応じてオンライン授業（遠隔授業）を実施する。</p>	②7割対面	履修登録者数を授業実施形態の判断の目安とする。	③学部・学年ごとに差	<p>教育学部は定員が100名で、コースが2つに分かれており、履修登録者が50名以下の授業が大半であるため、面接授業の実施比率が高くなっている。都市経済学部は定員が50名で、低学年は全員が履修する必修科目が多く、遠隔授業の実施比率が高くなっている。両学部とも、高学年はゼミなどの少人数の授業が多くなり、面接授業の実施比率が高くなっている。</p>		
961	観音大学	34. 広島県	02. 公立大学	③全面遠隔			①対面授業を拡大							
962	日本赤十字広島看護大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	<p>令和3年度は面接授業と遠隔授業を併用して実施する方針でありシラバスにも明記されており、感染状況を考慮しても考え方は変化はありません。</p>	①ほぼ対面	講義科目のうち面接と遠隔の併用授業を行う科目は全体の約3割弱であり、その併用授業科目も遠隔授業を行う割合を約3分の1以内としております。また、講義科目以外の実習及び実習の科目は面接授業（臨地または校内）を予定しているため、本学の面接授業の割合を8割以上としました。		該当なし	②⑤⑥⑧	濃厚接触者で自宅待機している学生や、感染リスクを懸念する学生には個別に対応している。
963	エリザベト音楽大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①対面授業を拡大	<p>実技科目も多くあり、対面授業を基本としているから。</p>						
964	広島経済大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	<p>本学では、対面授業での経験が個々の成長には不可欠であるとの認識により、キャンパスライフを過ごす機会を出来る限り提供していくことが役割であると考えているため、緊急時以外のオンライン授業への転換は行わないという考えに変化はない。</p>						
965	広島工業大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	<p>ソーシャルディスタンスの確保を踏まえた上での学内施設のキャンパスライフを考慮すると一部オンライン授業とする必要があるものの、学内の感染者数は多くなく、増加の傾向もないため年度当初の基本方針から変更の必要はないと考える。</p>	②7割対面	対面と同様の教育効果を見込める授業科目について、登校すべき理由を一定確保する観点から判断した。	②学年ごとに差	4年次においては開講科目が少なく、卒業研究などの授業が中心となるため対面授業の割合が多い。	②⑦	
966	広島修道大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	<p>前期に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、原則履修者数100名未満の授業（語学、ゼミナール、実習・実技科目）を対面、100名以上の授業を非対面で行う。</p>	①ほぼ対面	（1）初年次生を対象とする科目、履修者数100名未満の授業（語学、ゼミナール、実習・実技科目）は、原則対面授業とする。（2）2021年度前期に実施した教学センターにおける調整の結果、履修者数100名以上と見込まれている授業（クラス）は、原則オンデマンド型を基本とした非対面型授業とする。			①②③④⑤⑥	
967	広島女学院大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	<p>2021年度前期までは、国や自治体からの要請や大学生の特性（通学範囲が広い・活動範囲が広い）ことによる感染拡大等の社会的影響なども考慮し、感染状況に合わせて「原則、対面」「原則、オンライン」いずれかを入れ替えながら授業を実施してきた。徐々に、感染防止に必要な知識やワクチン接種なども進み、大学への入構を制限しオンライン授業のみを実施することにより、大学の施設・設備を利用できないこと、教員と学生、学生同士のコミュニケーションが取れないこと、本来の活動ができないこと等に対する不満が強くなってきていた。そのため、感染防止策を最大限講じたうえで、希望する学生は自由により大学に接種することができるように「ハイフレックス（ハイブリッド）型授業」をとることとした。</p>	①ほぼ対面	2021年度後期開始の段階では、緊急事態宣言が発令中であったため、2-5の理由により当面、学生自身が大学での対面受講・在宅でのオンライン受講を選択できる形「ハイフレックス（ハイブリッド）型授業」をとることとした。緊急事態宣言の解除、異時点出の集中対策期間の終了に合わせて、出来る限り「対面」（感染による重症化リスクのある学生等やむを得ない事情がある場合は在宅受講可）による授業に戻す意向である。	①学部ごとに差	面接授業の実施割合が高い学部：人間生活学部 実験・実習・学外実習のための事前事後指導等は、面接授業を行う為、学部や学年によっても差があるが、専攻すると4割程度面接授業のみを実施。面接授業の実施割合が低い学部：人文学部	①②③④⑤⑥⑦	一部の「対面が必要な科目」を除き、「面接」「オンライン」いずれの方法でも教育効果に差が大きいと思えない理由については、引き続きハイフレックス（ハイブリッド）型授業が行われると思われる。
968	広島国際学院大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	③遠隔授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差	実習・実験等の授業科目数の違いのため。	②	
969	広島文教大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	<p>大学所在地の感染拡大状況に応じた対応を取ることとしており、前後期通して対面授業実施の基準は変化はないため。</p>	②7割対面	大学所在地の感染拡大状況に応じた対応を取ることとしており、前期授業期間の遠隔授業期と面接授業期の比率による。	②学年ごとに差	2-4年生が全学的に履修する講義形式の選択必修科目はクラス当たりの受講者が多く、感染拡大防止に必要な数の教室の確保が難しいため、学生の感染不安を緩和するために遠隔授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
970	安田女子大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	<p>本学はコロナ禍以前と同様に、原則対面授業としている。ワクチンの接種接種に積極的に取り組み、9割の学生が接種完了した。</p>						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
971	福山大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	約1mの間隔を空けて学生を着席させた場合の各教室の収容可能人数と、履修学生数との兼ね合いから、履修学生数が60人を超える科目は遠隔授業とし、60人に満たない科目は対面授業とすることを基本としている。ただし、授業の特性によって履修学生が多い科目でも履修学生を複数のグループに分けて面接授業を行っている場合もある。ただし、実験・実習・実技科目については、学生を2グループに分けるなどして対面授業を行うことを基本としている。	①学部ごとに差	2-7に記載したように、履修学生数が60人を超える科目は遠隔授業とし、60人に満たない科目は面接授業とすることを基本としているため、各学部の在籍学生数によって面接授業と遠隔授業の比率が異なる結果となっている。しかしながら、どの学部学科においても、実験・実習・実技科目については、学生を2グループに分けるなどして対面授業を行うことを基本としている。	①②③④⑤⑥	
972	比治山大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	教室のキャパシティ等の課題はあるが、授業科目の特性に合わせた授業方法になっている。	③半々	後期のオリエンテーション開始までに各授業の実施方法の調査を行った。	①学部ごとに差	実験・実習の科目が多い学部で対面授業の割合が高い。	②③④⑤⑦	
973	福山平成大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	今年度より「新型コロナウイルス感染拡大防止のための授業等に係る行動基準」を定め、その基準に沿って授業方針を決定しているため、基本的な考え方に大きな変化はありません。	①ほぼ対面	問2-5で回答したとおり、本学で定めた行動基準に照らして判断しました。	⑤差はない		②③④⑤	
974	広島文化学園大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大						
975	広島国際大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	オンライン授業の良さを積極的に取り入れ、学習効果が高まるよう時間割等を構成している。	③半々	開講する全授業科目について調査を実施している。	③学部・学年ごとに差	1年次は友人、教職員との人間関係など大学生活の基本を構築する必要があるため、少なくとも週4日以上は対面で通学する日を取るように、時間割を構成している。実習・演習科目が多い学科については、対面授業の比率が高い。	①②③④⑤⑥⑦	
976	広島都市学園大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々		③学部・学年ごとに差		①②④⑤⑥⑦	
977	山陽女子短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	教室は収容定員の半分というルールを守りながら対面授業を実施することが学生の学力向上に必要と考えた。	②7割対面	原則面接授業としたが、教室は収容定員の半分というルールに従うとどうしても遠隔にせざるを得ない授業もあり、7割程度を面接授業で行っている。	⑤差はない		②③④⑥	
978	出穂山大学短期大学部	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	教室のキャパシティ等の課題はあるが、授業科目の特性に合わせた授業方法になっている。	③半々	後期のオリエンテーション開始までに各授業の実施方法の調査を行った。	①学部ごとに差	実技科目が多い学部で対面授業の割合が高い。	②③④⑤⑦	
979	広島文化学園短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大						
980	安田女子短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし		本学はコロナ禍以前と同様に原則対面授業としている。ワクチンの領域接種に積極的に取り組み、9割の学生が接種完了した。				
981	呉工業高等専門学校	34. 広島県	04. 高专	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大		③半々	令和3年度前期において、実習科目以外は遠隔授業で授業を実施したが、遠隔授業アンケートを学生に実施した結果、遠隔授業では面接授業と比べ、分らないところが聞きにくいなどの意見が多かった。そのため、実習科目以外の産学科目において、試験の平均点が低い科目など、多数の学生がいわゆる苦手としていると想像される科目については、面接授業を実施する。以上の結果、面接授業と遠隔授業の割合は、半々程度になると予想される。	②学年ごとに差	高专は、学年が進行するにつれ、一般科目（座学）の科目が減少し、専門科目（実習系科目）が増加する教育課程となっている。	①②④⑤⑥	
982	広島商船高等専門学校	34. 広島県	04. 高专	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大		前期期間中に、本校学生において新型コロナウイルス陽性者の確認があったことから、約1か月間面接授業が行えなかった。本校は多くの学生が実生活をしており、発生に関しては厳しい行動制限を課した。その間に、多くの学生が強いストレスを感じる結果となり、通学生との意識のずれも生じた。これらのことから対面授業並びに学生同士の交流の機会の重要性を強く認識するようになった。				
983	尾道市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大		③半々	県内、市内の感染状況を踏まえて大学としての実施方針を決定して判断した。	③学部・学年ごとに差	講義ではなく演習等の授業が主となる学科があるため。	①②	
984	山口大学	35. 山口県	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	本学では、前期も感染対策を講じつつ面接授業を主として実施することとしており、前期は8割以上が対面授業を行った。現在の感染状況等からも後期についても方針に変更はない。	①ほぼ対面	前期も8割以上面接授業を行っており、後期も面接授業を主とする方針に変更はないため。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
985	下関市立大学	35. 山口県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	原則として、面接授業で実施する。教室定員の50%を目安に教室割割をしているが、200人以上の科目はすべて遠隔授業（オンライン）としている。	②学年ごとに差	1、2年生は語学や初年次演習など、4年生はゼミ中心の人数の少ない科目を多く履修する。一方、3年生は専門や教養など大人数のクラスが多いので、遠隔授業の比率が高い。	②③	
986	山口県立大学	35. 山口県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学生・教員にアンケート調査を行った結果、前期と同じ授業方針を望む声が大勢を占めたため。	③半々	前期と授業方針を変更していないため、前期と同様と見込んだ。	①学部ごとに差	学科によって、実験・実習等の割合が異なり、それが面接授業の実施比率に影響している。	②	上記②に加えて、講義であっても遠隔では十分に教育効果が得られない授業や、学部1、2年生の交流機会を確保するための授業については、十分な感染対策の上で面接授業を実施する。
987	山陽小野田市立山口東京理科大学	35. 山口県	02. 公立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大						
988	梅光学院大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大		令和3年度前期には新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言の影響で面接授業を実施しつつもオンライン授業も取り入れた形態で行っていたが、感染者数の減少や学生の学びの質の確保の面でも面接授業の重要性は高いものだという認識で、令和3年度後期はすべての授業で面接授業としている。				
989	徳山大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	9月末（令和3年度後期開始時）には学内、山口県はもとより、全国的にも感染者数が沈静化しつつあるうえ、学生のワクチン接種が進んできたこともあり前期に比べると、面接授業を実施しやすい環境にあるから。	①ほぼ対面	【考え方】学習効果考えた場合に、対面授業の方が効果が望める科目が多いことから、極力対面授業を実施したい。【特徴】山口県内・全国、学内の感染状況及び学生を始めた学内関係者のワクチン接種率を踏まえ、これまで通り感染対策を講じていくことにより更に計画的に面接授業を実施できると見込んでいる。但し、感染状況が悪化する場合には、学内で設定しているガイドラインに則り、臨機応変に対応していくことになる。	①学部ごとに差	本学では、原則として教室の収容定員に対して1/2を超える場合には遠隔授業で対応することとしているが、本学の有する経済学部・福祉情報学部の2学部を比較すると、前者の入学学生・在籍生の方が多い（前者8月、10月）。よって、特に履修者が集中しやすい経済学部の必修科目・選択必修科目等では収容定員の1/2を超える科目が生じやすく、逆に福祉情報学部の場合には収容定員の1/2を超える科目が生じにくい状況があるが、面接授業・遠隔授業の実施比率に差が生じることに繋がっている。	①②③④⑤⑥	
990	東亜大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学の新型コロナウイルス対策本部が毎週開催され、感染状況指標に応じた活動方針が定められ、それに基づいて判断している。	②学年ごとに差	教養科目、受講生70名以上の専門教育科目は、原則、遠隔授業を実施する。	①②③④⑤⑥	
991	至誠館大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	感染者の減少、ワクチン接種者の増加、感染対策を実施しての面接授業が可能であることを	⑤差はない		②③⑤	
992	宇部フロンティア大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	特になし	①ほぼ対面	演習・実習科目は面接授業とする。演習・実習科目について一部を面接授業とし残りを遠隔授業として必要授業回数を実施することも可能とする。非営利講師の授業は面接授業とする。ただし、本人が遠隔授業を望めば遠隔授業も可能とする。専任教員の講師科目のうち、遠隔授業では教育効果が期待できる程度が大きいものを優先して時間割等に支障がない範囲で面接授業を実施する。上記面接授業以外を遠隔授業とする。	⑤差はない		②⑤	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
993	山口学芸大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
994	宇都フロンティア大学短期大学部	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	演習・実習科目は面接授業とする。演習・実習科目について一部を面接授業とし残りを遠隔授業として必要授業回数を実施することも可能とする。非常勤講師の授業は面接授業とする。ただし、本人が遠隔授業を望めば遠隔授業も可能とする。専任教員の講義科目のうち、遠隔授業では教育効果に支障が生じる程度が大きいものを優先して時間割等に支障がない範囲で面接授業を実施する。上記面接授業以外を遠隔授業とする。	⑤差はない	特になし	②⑤	
995	下関短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	なし						
996	山口短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②④⑤	
997	山口芸術短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
998	岩国短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生からの声が重要な意見であることから、対面での授業及び校内行事の実施を日々検討し、中止ではなく実施の方向で動いている。						
999	徳山工業高等専門学校	35. 山口県	04. 高专	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	面接による授業を基本としているため	⑤差はない		①②④⑥	
1000	宇都工業高等専門学校	35. 山口県	04. 高专	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期の授業方針を継続し、対面での授業や交流の機会を重視している。	①ほぼ対面	地域の感染状況が落ち着いており、ほとんどの面接授業は学内で感染対策を講じたうえで従来どおり行えるかと判断した。ただし、1学年合同(200名規模)授業は、十分な座席間の距離を取れる教室が確保できないため、遠隔授業を行う。	①学部ごとに差	1学年合同(200名規模)授業は、感染対策として十分な座席間の距離を取れる教室が確保できないため、遠隔授業で行う。それ以外の授業は面接授業を行う。遠隔授業の科目数(単位数)は、以下のとおり。1年1科目(1)、2年2科目(2)、3年1科目(1)、4年1科目(1)、5年0科目。	①②③④⑤⑥	
1001	大島商船高等専門学校	35. 山口県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期から面接授業を開始している。						
1002	徳島大学	36. 徳島県	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	感染状況は日々変化し、収束の見通しが立たないため。	③半々	感染状況にかかわらず、面接授業と同等又はそれ以上の教育効果が認められるものについては、今後も遠隔授業とすることが考えられる。また、授業形態の多様化を受けて、併用の増加が見込まれる。	③学部・学年ごとに差	特に実習や実験を必須とする学部・学年において、面接授業の比率が高くなっている。	①②④⑤⑥⑦	
1003	鳴門教育大学	36. 徳島県	01. 国立大学	③全面遠隔		②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和3年度前期の授業は面接授業と遠隔授業を併用して実施した。令和3年度前期の遠隔授業に関するアンケートを実施した結果、全国的に感染者数が増加していたことや、遠隔授業の利点を踏まえ、回答者中8割近くの学生が遠隔授業を肯定的にとらえていることが明らかになった。一方で、キャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会を学生は重要視していることや、遠隔授業のみでは対応が難しい課題等も明らかになった。したがって、令和3年度後期の授業は、令和3年度前期に引き続き、面接授業と遠隔授業を併用して実施する予定としている。また、面接授業の実施に当たっては、徳島県内の感染状況や県外移動等に十分に配慮して実施することとし、感染状況が悪化した場合は遠隔授業のみに変更することも想定している。	①ほぼ対面	(1) 徳島県内において、「とくしまアラート」が9月26日(日)に「感染拡大注意(漸増)」に引き下げられている。 (2) 感染防止のため、10月4日から10月8日までの一週間は、全て遠隔授業としているが、その後の授業については、十分な感染拡大防止対策を行った上で、面接授業を可能としている。 (3) 今後、教育効果の観点から、面接授業の実施を主体とし、必要に応じて遠隔授業を可能とする授業実施方針とすることが見込まれる。	⑤差はない	②⑤		
1004	四国大学	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	感染防止対策を徹底した上で、可能な限り実験・実習を含む対面での教育機会や学生の人間形成のための学びの場を確保したいと考えている。						
1005	四国大学短期大学部	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	感染防止対策を徹底した上で、可能な限り実験・実習を含む対面での教育機会や学生の人間形成のための学びの場を確保したいと考えている。						
1006	徳島工業短期大学	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1007	阿南工業高等専門学校	36. 徳島県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業について、オンデマンドの繰り返し学習などへの評価がある一方、生活リズムを崩し継続的な学習が困難となった学生も確認された。クラスなどの仲間への確実な確保が、いわゆる人間力を養成する機会が失われた。「学生生活が楽しくない」とする声も少なからず聞かえてきており、それはオンライン交流だけではおぼろげに考える。						
1008	香川大学	37. 香川県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度当初から後期も引き続き、感染防止策を講じたうえで、対面により実施することを基本としているが、感染リスクが高いとされる次の学習活動については、対面での実施を見合わせている。①長時間、近距離で行うグループワーク、②近距離で一斉に大きな声で話す活動、③音楽における、室内、近距離で行う合唱や音楽発表会、④体育における、密着する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動	①ほぼ対面	問2-5で示した授業実施方針に基づき判断した結果である。⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦		
1009	香川県立保健医療大学	37. 香川県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は看護師、臨床検査技師等を養成する大学であるため、実習・演習を伴う授業については、前期と同じく対面を実施する	②7割対面	上記2-5と同じ考え方による。	②学年ごとに差	実習・演習を伴う授業は対面、それ以外は遠隔としており、学年ごとに実習・演習の割合が異なることから、結果として実施②③④比率が異なることになる。		
1010	四国学院大学	37. 香川県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし	本学の施設の種類や編成の状況、実習等実技授業があることに加え、長辺や関係者等にクラスターが発生していないこと、関係者のフロンティア接続が広く浸透していることから、方針はあまり変更しない予定						
1011	高松大学	37. 香川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	①対面授業を拡大	まん延防止等重点措置が9月30日まで延長になったことに伴い、10月8日まで遠隔授業を実施、10月11日より対面にて授業を行う予定である。						
1012	香川短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	本学の設置学科は大半が免許・資格養成系であり、実技を伴う演習科目が多いことから、感染対策を講じた上で原則的に対面授業を行うことを基本方針としている。						
1013	高松短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	①対面授業を拡大	まん延防止等重点措置が9月30日まで延長になったことに伴い、10月8日まで遠隔授業を実施、10月11日より対面にて授業を行う予定である。	①全面対面					
1014	せとうち観光専門職短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1015 香川高等専門学校	37.香川県	04.高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	後期開始時には感染拡大が収まっている。感染拡大地域などに警戒していた学生などを除き、特に面接授業に問題は生じていない。						
1016 愛媛大学	38.愛媛県	01.国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	・コロナ禍が長期間になり、対面授業やサークル活動などができず、キャンパスへ来ない学生が一定数存在する中、キャンパスライフを望む学生の意見が増えている。・本学を感染の発生にしない努力を継続しながら、学生への「学びの機会、キャンパスライフを提供する」ことの重要性を強く認識している。	③半々	感染状況によるが、ソーシャルディスタンスを保つには、従来の教室定員を減少させなければならぬことに加え、現在、大人数教室が多数ある共通講義棟の改修を行っており、教室数が不足している。	①学部ごとに差	学年によって、座学、実験・演習、グループワークなど適する授業形態が異なること。通関での実施に適する科目と適さない科目があること。ソーシャルディスタンスを確保するための教室確保の課題があることなど。	①②③④⑤⑥⑦	
1017 愛媛県立医療技術大学	38.愛媛県	02.公立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1018 松山大学	38.愛媛県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	授業の特性を踏まえ、面接授業よりも通関授業の方が効果的であると判断される科目についてはハイブリッド型授業やオンデマンド型授業を実施する。	①ほぼ対面	実習が多い学部・学年は面接授業が多くなっている。	①学部ごとに差	該当せず	①②③④⑤⑥	
1019 聖カタリナ大学	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1020 松山東雲女子大学	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度前期は、対面授業と通関授業を併用するハイブリッド型授業を実施したが、学科・専攻によっては、実習・演習系の授業が多い学科・専攻もあり、改めて対面での授業運営の重要性を感じることとなった。						
1021 今治明德短期大学	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況に変化が無い。						
1022 聖カタリナ大学短期大学部	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1023 松山東雲短期大学	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度前期は、対面授業と通関授業を併用するハイブリッド型授業を実施したが、学科・専攻によっては、実習・演習系の授業が多い学科・専攻もあり、改めて対面での授業運営の重要性を感じることとなった。						
1024 松山短期大学	38.愛媛県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期においてほぼすべて面接授業を実施したが、その時の考えた方から大きな変化はない。						
1025 新居浜工業高等専門学校	38.愛媛県	04.高専	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	特になし	①ほぼ対面	通関授業は非常勤講師等の一部の外部講師のみであり、学内教員の授業は全て対面で行っているため。	⑤差はない		①②	
1026 弓削商船高等専門学校	38.愛媛県	04.高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	8月上旬までに寮生の85%以上がワクチンを2回接種済みであること、夏季休業明けの帰寮・登校の際に、ワクチン接種の2回接種または、PCRや抗原検査による陰性確認を行なったため、安全性に関しては担保されていると考え。						
1027 高知大学	39.高知県	01.国立大学	②併用	⑤ほぼ通関	②併用	②大きな変化なし	本年度においては、感染状況を注視しながら統一した基準に従って判断していくこととしたため。	②7割対面	面接授業の必要性が高い初年次科目及び実験・実技・実習科目を優先的に面接形式とし、その他の授業についても、教室確保が可能な場合には面接形式で行う方針である。	③学部・学年ごとに差	共通教育の初年次科目及び実験・実習・実技は原則対面を実施するため、学部や学年等によって面接授業と通関授業の実施比率が異なる。	①②③④⑤⑥	
1028 高知県立大学	39.高知県	02.公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステータスを参考に学内で判断した。	⑤差はない		②④⑤⑥	
1029 高知工科大学	39.高知県	02.公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
1030 高知リハビリテーション専門学校	39.高知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1031 高知学園大学	39.高知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1032 高知学園短期大学	39.高知県	03.私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1033 高知工業高等専門学校	39.高知県	04.高専	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度後期についても、前期と同様に感染防止対策を行いながらの学びを継続することが必要と考え、令和2年度は、通関授業と対面授業（面接授業）を併用することで、両方の利点を活かした効果的な授業を実施することができた。令和2年度におけるコロナ対策という消極的な意味でなく、授業効果を高めるという積極的な意味で、通関授業と対面授業を併用していく。	②7割対面	対面授業を基本とするが、令和2年度の学生の授業評価等を考慮して、担当教員が通関授業の方が授業効果が高いと判断する場合は、通関授業もしくは両方の併用により、授業を実施す。10月中旬に、全教員に授業形態（対面、通関、両方の併用等）調査を行う。	②学年ごとに差	2-7で回答しているように、授業形態（対面、通関、両方の併用等）調査は10月中旬に行う予定であるため、正確な実施比率は現時点で分からないが、低学年（1,2年）では自分で勉強時間、方法をうまくコントロールできないので、対面授業の方が授業効果が期待されるため、対面授業の実施比率が高くなる傾向がある。一方、高学年（3年生以上）では専門科目が多くなり、自主的に勉強する意識が高くなっているため、通関授業での授業効果が期待されるため、通関授業の実施比率が高くなる傾向がある。	①②④⑤⑥⑦	
1034 九州工業大学	40.福岡県	01.国立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	ポストコロナ期を迎えるにあたり、①の考え方に変化した。本学では、学生から授業・教育環境改善に関する意見を聴取するため、必ず逐次意見を収集している。授業のあり方について、面接授業と通関授業それぞれのメリット・デメリットに基づいた学生からの意見が寄せられている。これらの意見のほか、本学の新型コロナウイルス感染症対策を利点に実施していること、各種準備状況等を踏まえると面接授業の急な増加には踏み込めない状況である。	③半々	本学では、今後、地域の感染状況や新型コロナウイルスワクチン接種状況を踏まえて、講義の収容人数の置しや食堂の混雑への対応を逐次見直し、これまでより面接授業を増やすことを検討しているため。	②学年ごとに差	本学では、実験実習科目や低学年の科目を中心に面接授業を実施する方針としているため。	②④⑥⑦	
1035 福岡教育大学	40.福岡県	01.国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	本学は昨年度から一貫して、本学が定めるガイドラインに沿った感染対策を講じて対面授業を実施することを原則とする基本方針を掲げており、令和3年度後期においても考え方に変化はない。	②7割対面	2-5で記載のとおり、本学は原則として感染対策を講じて対面授業を実施することを基本方針とし、全学の授業実施方法を照会の上、集約しており、7割の授業科目が全ての授業回を対面の形態、2割が対面と通関の併用、1割が全て通関の形態で実施する予定であるため。	②学年ごとに差	1年生や2年生は必修科目が多く、感染対策を講じた教室確保数では取れない受講者の多いクラスがあるため。	①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1036 九州大学	40. 福岡県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度の授業の実施については、キャンパスでの学生間の人間関係構築及び授業の効果的な実施等を重視する観点から、様々な感染症対策を前提に、積極的に対面授業を行うことを基本とするが、感染状況や学内の感染リスクの状況に応じて遠隔授業への切り替えを柔軟に行うこととしており、③半々の考え方をとっており、令和3年度前期と後期では基本的な考え方に変化はない。		学務情報システム（学生の学籍情報および履修成績情報等を管理するシステム）に登録している授業形態及び各学部等への調査により判断。本学では令和3年度の授業の実施にあたっては積極的に対面授業を行うことを基本としているものの、構成員の感染状況や学内の感染リスクの状況に応じて遠隔授業への切り替えを柔軟に行うこととしており、秋学期の準備を進める時期に第5波が到来していた影響は少なからずあったものと考えられる。今後、感染状況が安定した場合には、さらに遠隔授業の比率が増えることも想定される。	③学部・学年ごとに差	授業の実施方法については、全学において基本的な方針を定めているが、各学部等の教育内容、個々の科目の特性等に応じて、対面、遠隔、併用の最適バランスを検討し、設定することとしている。	①②④⑥⑦	
1037 北九州市立大学	40. 福岡県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	感染症専門家からのアドバイスのもと感染症予防対策を実施しており、教職員及び学生の感染症予防に対する理解を十分に得られているため、また、前期も原則対面授業を行ったが大きな問題もなく実施できたため。	①ほぼ対面	本学の方針として、原則対面授業を行い、教室において人と人との距離を十分に取ることでないような受講生数が80名を超える大規模授業や、その他感染リスクが高いと考えられる授業形態の科目は遠隔授業としている。	②学年ごとに差	遠隔授業を予定している多数の授業には主に教養科目が含まれており、教養科目の受講比率の高い1年生では遠隔授業の比率が高くなり、ゼミなど専門科目の受講比率の高い3・4年生では対面授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑦	
1038 九州歯科大学	40. 福岡県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	ワクチンの接種接種により、感染拡大の懸念は抑えられているが、密を避けるなどの基本的な感染対策は引き続き実施する必要があるため。	①ほぼ対面	実習については対面のみで実施している（50％程度）、講義については、遠隔のみでも可能なもの（5％程度）を除き、対面と遠隔の受講生を入れ替えて実施している（45％程度）。	②学年ごとに差	実習実習が主である上級学年は対面比率が高い。基礎知識の修得が主である低学年は遠隔比率が高い。	②④⑥	
1039 福岡女子大学	40. 福岡県	02. 公立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	感染拡大の状況等に基づく行動指針を定め、その段階に応じて授業方針等を決定している。	②7割対面	可能な限り対面授業を実施するが、教室定員や留学生の入国状況等により、対面授業の実施が難しいため遠隔での授業があることから、7割程度となっている。	②学年ごとに差	1年生のゼミや必修の英語科目については、対面授業の実施基準を緩和している。	①②③④⑤⑥⑦⑧	未入国の留学生在が履修している授業については、遠隔または遠隔と対面のハイブリッド方式で授業を行う。
1040 福岡県立大学	40. 福岡県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	緊急事態宣言が発出されていない状況では、原則として面接授業を行うこととしているため（緊急事態宣言が発出された場合は、遠隔授業が主となる）。	⑤差はない		①②⑥	
1041 福岡工業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍により、休退学の増加や単位取得に影響があった	①ほぼ対面	2-5に記載の影響により、大学方針として「対面授業の実施」を掲げ対応	①学部ごとに差	学科の特性（情報系）により、一部の学科で遠隔比率が高い学	②④⑤	科あり
1042 九州共立大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1043 九州女子大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1044 九州国際大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	履修定員を試験収容の概ね5割を目途に設定し、前年度の履修人数により、多数の授業科目を遠隔授業にすることとしている	⑤差はない		①②③④	
1045 福岡歯科大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	当初から対面授業の重要性を認識しているため						
1046 九州産業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	なし	①ほぼ対面	従来から「可能な限り対面の機会を取り入れて実施すること」を基本方針としており、緊急事態宣言の解除に伴って通常の大学運営に戻っていくこととしている。	③学部・学年ごとに差	本学は、経済学部をはじめとする文系学部、理工学部をはじめとする理工系学部、芸術学部を設置しており、それぞれの学部・学年の特性に応じた科目を配当している。そのため、実験・実習等が多い学部、学年は面接授業の比率が高くなっている。	①②④⑤⑥	なし
1047 久留米大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	すでに、令和3年度後期授業開始時より、対面授業として、演習科目、共通外国語科目、専門科目、資格系科目（教職科目等）、情報処理系科目を対面講義として実施している。また、今後、感染状況が良好した場合を想定し、対面講義の拡大を検討しているが、昨年度に感染教員が増加したこともあり、対面講義数の増加は僅かなものになる予定であり、比率に大きな変化はない。	③学部・学年ごとに差	文学部社会福祉学部、人間健康学部において、多くの資格取得に必要な科目でカリキュラムが編成されており、その多くは対面講義で実施されていることから比率が高くなっている。	②③④	
1048 西南学院大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期同様、本学独自の「2021年度授業実施方針」に基づき、コロナ感染の状況に応じて授業運営を実施している。	①ほぼ対面	本学独自の「2021年度授業実施方針」に基づき、コロナ感染の状況に応じて授業運営を実施している。	⑥差はない	特になし	①②③④⑤⑥	
1049 第一薬科大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	前期も後期と同じ授業方針で実施していたため	①ほぼ対面	遠隔授業を希望する学生数による	⑤差はない		①②	
1050 中科学園大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	シラバスで面接授業か遠隔授業かを明記させている	③学部・学年ごとに差	対面が必要な実験実習科目が学科学年によって大きく異なるため	①②③④⑤⑥	
1051 西日本工業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言下等ではハイブリッド（学生が対面と遠隔を選択）授業、宣言等が発出されていない場合には、原則、対面授業の方針の変更はない。	①ほぼ対面	令和3年度後期開講授業323の内、コロナ禍対応後の教室定員に対し、履修数がオーバーする授業26を現行、ハイブリッド（学生が対面と遠隔を選択）授業へ移行することとしている。	④その他	大学統一方針として、コロナ禍対応の教室収容人数（コロナ前のほぼ半分）をオーバーする履修者がいる場合には、ハイブリッド（学生が対面と遠隔を選択）授業へ移行することとしている。後で設置したキャンパスは、少人数教室が多く、本学全体の方針として、ハイブリッドへ移行する授業が多くなった。	②④⑥	
1052 福岡大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	①全面対面	①対面授業を拡大							
1053 日本経済大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	コロナ禍がこのまま継続するとは考えにくい。対面で行うべき授業は行いながらも密を避け、次の波が来ても対応できる体制は維持している。	②7割対面	実習、実技、演習、ゼミ、教職科目等対面指導を行う方が効果が高いと思われるものは、面接授業で、大人数の授業や対面に拘る必要のない授業は遠隔授業で行う。	⑤差はない		②③④⑥	
1054 久留米工業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	面接授業に関しては、アクリル板設置や座席指定などを行い実施している。	③半々	面接授業については、感染症予防策を行い遠隔授業に關しても、ライブ配信環境の整備をすすめている。	③学部・学年ごとに差	1～3年生に関しては、ほぼ同じ比率で実施している。	②⑤⑥	
1055 産業医科大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	講義室の確保などが課題であるため	②7割対面	福岡県の感染状況等で総合的に判断したうえで、面接授業でなければならぬ授業を行うことも感染リスクを最小限とする。	②学年ごとに差	座学の講義については、基本的に面接授業とするが、講義数に限りがあることなどにより、感染状況によっては学年ごと（科目ごと）に異なる対応をとる。	②④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1056	筑紫学園大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	⑤ほぼ通隔	②併用	②大きな変化なし	前期授業開講のさいに、あらゆる感染防止策を講じた授業実施方針を決定・実施した結果、学生がキャンパスにきて学ぶ機会を確保したうえで学内の感染患者数が拡大することとなった。この経験を活かし、後日も感染患者数などの状況に前開講時とあまりかわらなかつたため、授業実施方針の基本的な考え方に変化はなかった。	①ほぼ対面	本学では、学生がキャンパスにきて学ぶ機会を確保するために基本的には面接授業での実施を前提としたが、感染対策のため、それぞれの科目ごとの受講者数に応じて、面接・通隔授業の決定をした。具体的には、受講者数が近い科目については面接授業、90名以上の科目については通隔授業とし、その結果、比率としておよそ8割の授業が面接授業となった。			①②③④⑤	
1057	福岡女学院大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	2021年8月に後期に向けてのアンケートを実施した結果、大多数の学生が通隔授業を中心とする授業形態を希望した。従って、令和3年度前期から基本的な考え方に変更はない。	②7割対面	各学年のゼミ形式の必修科目及び免許・資格取得に関する演習・実技・施設・実習科目を中心に面接授業を実施。上記に該	①学部ごとに差	免許・資格取得のために、実験・実技・実習が必要とされる学部・学科では、面接授業の実施比率が高くなっている。	①②④⑥	
1058	西南学院大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	今後の感染状況の予想が困難であるため、当初の予定通り通隔授業と面接授業を併用して実施している。	③半々	面接授業でない実施できない科目を中心に時間割を作成した。比率を決めて授業形態を決定したわけではない。	①学部ごとに差	人文学部においては感染対策として発生を伴う科目を通隔授業として割り当てた。	②③④⑤⑦	
1059	九州情報大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	通隔授業への取り組みも2年目となり、通隔ならではの効果も認められるものの実技や実習系の授業には限界がある。また、対面で個別の状況を確認しながら授業を行うからこそ、学生個々へのきめ細やかな対応も可能となる。授業のみならず、学	②7割対面	感染状況の推移を見ながら、受講者の多い科目についても段階的に対面に移行していくべきだと考えている。但し、使用できる大教室は限られており、密を避けて座席間隔を確保して着席させようとする使用に制限がかかるため、教室を分ける、2グループを対面、通隔、両面での授業実施など、何らかの工夫を凝らすことで対面割合を増やす方向で考えている。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
1060	九州栄養福祉大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	以前より基本的には面接授業を推進しているが、教室のキャパシティや時間割の状況により一部通隔授業を行っている。	①ほぼ対面	基本的には面接授業を行う予定であるが、感染防止対策上、受講者数が講義室のキャパシティを超える授業及び学生の通学等を考慮して一部ではあるが通隔授業を実施する。	①学部ごとに差	キャンパスや教室のキャパシティにより、リハビリテーション学部は通隔授業の実施比率が低く1割未満となっている。	①②③④⑥	
1061	日本赤十字九州国際看護大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍の対応により通隔授業の取組が飛躍的に深まり、通隔授業・面接授業のいずれにも評価する学生の声があるが、通隔授業下での成績評価結果や疑問が解消しないことによって学習意欲が減退する学生の存在等を鑑みると、面接授業の実施は大学として重要であると認識している。しかしながら、登下校時に使用する公共交通機関の混雑も懸念されており、これまで敬遠して実施していた授業を複数の教室を使用し、行う必要があること、医療施設における臨床実習が可能になることを見据え常に学生が実習に行くことができる(感染リスクがない)状態を維持するための対応などを考え、緊急事態宣言および福岡県のコロナ警報が発令されている間は、登校する学生数を制限せざるを得ない。看護職者を育成する大学としては、実習・演習・実技を伴う科目を優先して面接授業としてきた。しかし、9月の緊急事態解除を受け、後期の定員にはなるが、福岡コロナ警報の解除(10/14)後に面接授業を増やすこととしている。	①ほぼ対面	後期開始(10月1日)直前まで緊急事態宣言下であり、引き続き福岡コロナ警報(10/14まで予定)が発令されたことにより、感染対策を優先し、後期は実習・実技を伴う科目を優先して面接授業としている。コロナ禍の対応により通隔授業の取組が飛躍的に深まり、通隔授業・面接授業のいずれにも評価する学生の声があるが、通隔授業下での成績評価結果や疑問が解消しないことによって学習意欲が減退する学生の存在等を鑑みると、面接授業の実施は大学として重要であると認識しており、福岡コロナ警報の解除後に、ほとんどの授業を面接授業で行うこととしている。	⑤差はない	これまであまり大学に登校できていない、2年生について、可能な限り面接授業とする方針である。しかし、本学は非常勤講師大学であり、リベラルアーツ科目については学外から非常勤講師を招かざるを得ず、主としてリベラルアーツ科目を履修する1年生は非常勤講師担当科目の割合が大きい。非常勤講師自身の感染リスクや大学内に外部の方が立ち入ることによる学内の感染リスクを回避するため、すでに通隔で進行中の非常勤講師担当科目のいくつかはこのまま通隔授業で実施することとしているが、どの学年も面接授業の割合は90%以上の予定である。	②④⑤⑦	
1062	聖マリア学院大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	全面的に対面授業に切り替えるには時間尚早と判断したため	②7割対面	特定の学年が後期は全て実習(対面)となるため総合的に②になるが、それ以外の学年については、三密を避ける環境で授業を行うには大学施設のキャパシティを考慮すると半々程度が妥当であると判断している。	②学年ごとに差	演習や実習科目が多い2年次以降に対し面接授業の割合を高くした。大学のキャパシティの問題もあり、1年生は後期は対面の比率が低くなっているが、前期大学で学ぶことを直接的に教授するために対面を高くしていた。	②④	
1063	福岡女学院看護大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生からは通隔より対面の方がより深く理解できるという声や、就職先からは例年にならぬほどの能力の低下を指摘されるなど、これまで日常的交流で培ってきた学生および教職員間のコミュニケーションの重要性を再認識したため。	①ほぼ対面	授業は面接授業を原則としており、後期は特に実習を含め、技術やグループワークを行う授業が多いことから8割以上が面接型で授業ができると判断した。比率については、開講科目の通隔と対面の回数を時間割上で把握している。	⑤差はない		①②④⑥	
1064	保健医療経営大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		④⑤⑦	
1065	純真学園大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	なし	①ほぼ対面	多人数を対象とする授業では通隔授業を採用している。	⑤差はない		②③④⑤⑥	
1066	福岡看護大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	ワクチン接種者学生が約98%の状況であるが、密対策で1学年で大講義室2部屋に分けて講義を実施するなどしており、施設のキャパシティ的にも通隔授業を併用する必要がある。	③半々	座学中心で通隔対応可能な授業は通隔授業、演習や実技が必要な授業は対面授業という考え方。	②学年ごとに差	看護学部であり、臨床実習の比率が多い3年生は対面が多くなり、座学が多い。また、卒業作成期間の4年生は通隔授業が多い状況である。1年、2年も実技を必要とする演習科目次第で比率の差が出ている。	②⑦	
1067	福岡国際医療福祉大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②④⑤	
1068	折尾寛真短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	対面授業の方が理解しやすいとの意見が学生からある。教員も対面のほうが教えやすいとの意見が多い。						
1069	九州女子短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
1070	西南学院大学短期大学部	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	今後の感染状況の予想が困難であるため、当初の予定通り通隔授業と面接授業を併用して実施している。	①ほぼ対面	面接授業でない実施できない科目を中心に時間割を作成した。比率を決めて授業形態を決定したわけではない。	①学部ごとに差		②③④⑤⑦	
1071	東京紫短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
1072	福岡女子短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	①対面授業を拡大						
1073	近畿大学九州短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						
1074	久留米信愛短期大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし	現状を鑑みて、これまでの授業方針を踏襲することとした。						
1075	香蘭女子短期大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	学力感染対策を徹底しながら面接授業を行いたい、前期試験期間中から後期授業開始段階にかけて緊急事態宣言が発令され、かつ学生の感染者も発生したため引き続き慎重な対応が必要と認識している。	①ほぼ対面	学力感染対策を徹底しながら面接授業を行いたいと考えている。	①学部ごとに差	選択科目を多く開講している学科で履修者の傾りがある。受講者数とキャパシティの関係で密が避けられない授業やマスタを着用しながらの受講が困難な授業もあり、通隔授業の割合が高くなっている。	①②③④⑤	
1076	純真短期大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面			①全面対面	②大きな変化なし						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1077	精華女子短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	コロナ陽性者が出ない限り面接授業を行いたい。保育所から実習前2週間は他の学生等との接触を控えるようにとの指示があり、実習が多い幼児保育学科は遠隔授業にせざるを得ない。	②7割対面	実習の多い幼児保育学科は、保育所から2週間は他の学生などとの接触を控えるようにとの指示が出ているため、学年ごと①学部ごとに差に際しては面接授業をせざるを得ないため。	①学部ごとに差	幼児保育学科は全面面接授業にしたいが、保育所から実習前2週間は他の学生などとの接触を控えるようにとの指示があり学年ごととの両面面接授業をせざるを得ない。食物栄養専攻と生活総合ビジネス専攻は全面面接授業を行う。	②③④⑤⑧	実習で制約のある幼児保育学科を除き、他の学科は陽性者が出ない限り全面的に面接授業を行う。
1078	中村学園大学短期大学部	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	シラバスで面接授業か遠隔授業かを明記させている	③学部・学年ごとに差	対面が必要な実験実習科目が科学学年によって大きく異なるため	①②③④⑤⑥	
1079	西日本短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1080	福岡工業大学短期大学部	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	大学方針として「対面授業の実施」を掲げ対応	⑤差はない		②④⑤	
1081	福岡学院大学短期大学部	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	2021年8月に後期に向けてのアンケートを実施した結果、大多数の学生が遠隔授業を中心とする授業形態を希望した。従って、令和3年度前期から基本的な考え方に変更はない。	①ほぼ対面	在学年数が2年間という短期間であり、なおかつ必修科目が多いため、ほとんどの授業を面接授業で実施する。	⑤差はない		①②④⑥	
1082	九州産業大学造形短期大学部	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	なし	①ほぼ対面	従来から「可能な限り対面の機会を取り入れて実施すること」を基本方針としており、緊急事態宣言の解除に伴って通常の学習運営に戻していくこととしている。	⑤差はない	なし	①②④⑤⑥	なし
1083	九州大谷短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1084	福岡こども短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない		①②③④⑤⑥	
1085	福岡医療短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1086	久留米工業高等専門学校	40. 福岡県	04. 高専	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	基本的に面接授業を実施するが、感染症のため息付しないまたは登校できない等の学生もいるため、これらの学生に対しては遠隔授業対応をすることとしている。	⑤差はない		①②	
1087	有明工業高等専門学校	40. 福岡県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	前期以前から感染対策は十分に施しており、感染拡大も見られないため。						
1088	北九州工業高等専門学校	40. 福岡県	04. 高専	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	実験・実習の科目が多く、遠隔授業には限界があり、面接授業の重要性を認識した。	①ほぼ対面	面接授業を基本とするが、濃厚接触者等による出席停止や基礎疾患を持つ感染リスクの高い学生等に向けて面接・遠隔合同授業を行う。	⑤差はない		①②④⑥	
1089	佐賀大学	41. 佐賀県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし	令和2年度以降、交流機会の減少から、メンタル面で不調をきたす学生に対する配慮や、教育の質保証のために対面授業の必要性を認識している。	①ほぼ対面	全ての授業科目を分母とし、授業科目の中で対面の活動が行われている科目を面接授業とし、分子としている。面接授業には、面接授業の内容の同時中継授業や、授業回毎に面接と収録によるオンデマンド配信を組合せる授業や、学生を少人数グループに分けた上での交代制での面接授業と遠隔授業を併用する授業が含まれる。	③学部・学年ごとに差	学部によっては、大学での学修に慣れていない1年生の授業を優先的に面接授業によって実施し、低学年の面接授業の実施割合が高い学部があり、一方、実験・実習等の少人数で対面での指が可能な授業が多くなる高学年の面接授業の割合が高い学部もある。	②③④⑤⑥⑦	
1090	西九州大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	実験・実習・実技などは対面で実施した方が授業効果が高い	③学部・学年ごとに差		②③⑤⑦	
1091	佐賀女子短期大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし							
1092	西九州大学短期大学部	41. 佐賀県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	④その他	遠隔授業と面接授業の併用にメリットがある科目は、遠隔授業を展開していくことが重要だと考える	①ほぼ対面	本学は栄養士や介護福祉士等資格を取得する養成校であるため、実習科目が多い。共通教育等一部の科目は、遠隔授業とするが、多くは面接授業で行う予定である。	①学部ごとに差	講義形態によって、面接授業か遠隔授業かを決定しているため、学年によって比率に違いがある。	①②③④⑥⑦	
1093	九州龍谷短期大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	①全面対面	②大きな変化なし							
1094	長崎大学	42. 長崎県	01. 国立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	令和3年度の授業開始に先立ち、令和3年度の授業実施の基本的方針を提示しており、当該方針に沿って、感染状況に応じて対面とオンラインを併用して対応しているため、大きな変化はない。	②7割対面	令和3年度の授業に関しては授業実施の基本的方針を定めており、その中で学部新入生等低学年学生への対面の機会確保によるオンラインを効果的に活用した反転授業及び反復学習による教育の質の向上並びに学内外でのデジタルコンテンツの共有等による人的・時間的な効率化及び教育の拡充を掲げており、コロナ禍におけるオンラインの効果的な活用を方針として進めているため。	①学部ごとに差	実験・実習など、授業科目の種類・特徴に応じて面接授業を選択する割合が学部毎に異なっているため。また、低学年生に対しては、学生間、学生-教員間の直接的な交流の機会を増やすため面接授業の実施割合を高くするよう指示している。	⑧	授業科目の種類・特徴や対象学生に応じて、対面・オンライン、ハイブリッド、ハイフレックスの形式を選択する。なお、対面授業を実施する場合は、別に設ける対面授業を実施する基準をクリアした場合に限る。また、対面授業は感染状況に応じてオンラインに切替えられるように対応しておく。
1095	長崎県立大学	42. 長崎県	02. 公立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	現状の面接授業の比率が7割程度であり今後のコロナウイルス感染症の状況の変化に応じてこの比率が上下すると考えられるため	②学年ごとに差	語学の授業の多くが面接で授業を実施するため語学の授業を履修する1年生において学年と比較して面接授業の比率が高い	②③④⑤⑥⑦	
1096	長崎総合科学大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	基本的に教育の質を確保するためには、面接授業で実施する方針であるため						
1097	活水女子大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	特になし						
1098	長崎純心大学	42. 長崎県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		②学年ごとに差		②	
1099	長崎国際大学	42. 長崎県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍となって1年半が経過し、学生は様々な制限により通常の大学生活が営まれていない。本年度後期についても、これまでと同様の対応を行った場合、4科別の学部において低学年生活の約半分以上がコロナ禍対応となることを考え、今年度後期については、感染対策を充分に行うことを前提に可能な限り面接授業の再開を判断した。なお、この判断については例年行われている学生アンケートも参考とした。	①ほぼ対面	今年度前期に本学で行われたワクチンの接種により、学生の8割以上、教職員が9割以上が接種を終了したことを受けて、授業における感染拡大のリスクは軽減されたと判断し、面接授業の割合を増やした。	⑤差はない	①②③④⑤⑥		
1100	長崎外国語大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	令和3年度前期と変化はない						
1101	鎮西学院大学	42. 長崎県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大規模教室で実施する科目については、状況に応じて遠隔授業での対応をお願いしている。	①学部ごとに差	国家資格取得と直結する科目については、原則として対面授業で実施している。	②③⑤⑥⑦	
1102	長崎女子短期大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1103	長崎短期大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1104	佐世保工業高等専門学校	42. 長崎県	04. 高専	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	本校においては令和3年度前期より対面授業を実施しており、対面授業の重要性について強く認識している。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の設定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容	
1105	崇城大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生のワクチン接種は進んだが、全ての学生が接種したわけではなく、対面授業を受けることが難しい学生については、遠隔でも受講可能な環境を考えている。	②7割対面	感染防止の観点から、教室のキャパシティを考慮すると、全て対面授業にすることは難しい。	③学部・学年ごとに差	各学部の特性から面接授業の比率が高くなっている場合がある。また、1年生は大学の学際性に慣れていないことを考慮し、面接授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦		
1106	熊本大学	43. 熊本県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	授業を通して学生同士及び学生・教員間の人的交流を促進するという観点から、今年11月以降、十分な感染対策を講じた上で対面による授業を順次増加していく方向としている。	②7割対面	現在、今年11月初旬以降、十分な感染対策を講じた上で、対面による授業を順次増加していく方向としていることから判断し①学部ごとに差たものである。	①学部ごとに差	学部等によっては、使用教室数が少ないこと、また必修科目が多く、1科目の受講者数が多くなるため、面接授業が少なからざるを得ない。	①②③④⑤⑥⑦		
1107	熊本県立大学	43. 熊本県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	前年度行った教員への調査結果（前年度後期と同程度の状況であると認識している。）	④その他	建築士、管理栄養士等の資格取得に必要な授業は対面が多い、300人程度の受講がある授業は教室のキャパシティを制限しているため遠隔で実施。	②③④⑤		
1108	熊本学園大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	・演習(ゼミ)、実習、実技、語学など対面が望ましいと判断される科目は面接授業による実施、履修者数が90名未満の講義科目については面接授業による実施。	①学部ごとに差	受講者数が多い講義科目は、本学の教室において密になるため遠隔授業となる。そのような科目が多い学部（商学部、経済学部）では面接授業の割合が低くなっている。	②③④		
1109	尚絅大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面											
1110	九州ルーテル学院大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	政府より緊急事態宣言・まん延防止等重点措置を9月30日(木)を以て解除するの正式発表により、10/8以降の授業を面接授業を中心とした授業に切り替えることとした。	③学部・学年ごとに差	多人数を対象とする授業が多い学科については、遠隔授業の比率が高い。ただし、ハイブリッド型の授業を取り入れ、できる限り学生が登学の機会を確保できるように取組んでいる。	①②③④⑤⑥		
1111	九州看護福祉大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面											
1112	平成音楽大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面											
1113	熊本保健科学大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	①対面授業を拡大	学生たちと意見交換する中で、友人や仲間と対面で接する機会や一緒に過ごす時間を必要としていることを強く感じるから。	①ほぼ対面	令和2年度後期はすべての回の遠隔で行った授業において、令和3年度後期は半分以上の回の面接授業にすること等により、現在7割程度の面接授業比率を8割程度にまで高めていく計画を立てている。	③学部・学年ごとに差	実習・演習系の授業を優先的に面接授業を行っていることから、高い学年ほどその割合が高い。また、医学検査学科やリハビリテーション学科では1年次から実習・演習系科目が相対的に多く配置されるなど、同じ学年でも学科によってその割合が異なる。	②③⑤		
1114	尚絅大学短期大学部	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	学外実習を控えている学生が多数いるので昼食をはさまない時間割にし、遠隔と対面を混ぜた授業形態を後期も取っていく方	②7割対面	コロナ感染症拡大の状況を見極めながら学外実習が一段階する11月末までは遠隔授業の割合を7割程度とし、12月より面接授業を次期に増やすこととしているため。	①学部ごとに差	総合生活学科：ソーシャルディスタンスを確保する環境のため面接授業を行っている。食物栄養学科：ソーシャルディスタンスを確保する環境のため面接授業を行っている。幼児教育学科：ソーシャルディスタンスを確保する教室の確保が難しいため遠隔授業を取り入れている。	②⑥		
1115	熊本高等専門学校	43. 熊本県	04. 高专	①全面対面											
1116	大分大学	44. 大分県	01. 国立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	①対面授業を拡大	令和3年3月時点で大分県内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低水準にあることを踏まえて、令和3年度は、令和2年度に比べて対面形式の授業の比率を増やす方針としたが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、令和3年度前期は再びオンライン形式の授業の比率を増やさざるを得ない状況となった。令和3年9月時点で大分県内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低水準になりつつあることや大学拠点接種などによりワクチン接種が進んでいることなども踏まえて、令和3年度後期は、令和3年度前期に比べて対面形式の授業の比率を増やす方針とした。	①ほぼ対面	令和3年度後期の授業については、10月1日から10月14日までの間は、県外から帰県する学生が多いことを踏まえて、授業は、原則としてオンライン形式で実施するが、この期間中も実技、実習等、対面が不可欠な科目については、感染予防策を徹底した上で、対面形式で実施し、10月15日以降は、感染予防策を実施することが可能な授業（実技、実習等を含む）は、対面形式で実施し、受講者数が多い等の理由で感染予防策を実施することが困難な授業（実技、実習等を含む）やオンライン形式の方が教育効果の高い授業については、オンライン形式又はハイブリッド形式で実施する方針を決定しており、授業担当教員への調査結果を基に判断した。	⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦			
1117	大分県立看護科学大学	44. 大分県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々	学内施設のキャパシティを考慮し、併用授業の時間割を構成すると、概ね半分程度、対面授業を行うことができるため	①学部ごとに差	演習、実習の多い学年は面接授業が多くなるため	②③④⑤⑦		
1118	日本文理大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		①学部ごとに差		①②③④⑤⑥		
1119	別府大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	大分県下等の感染状況も考慮し、授業方針を定めている。	②7割対面	現状では入国できていない留学生等がいることも考え、ある程度は遠隔授業の実施が必要となることも考慮	⑤差はない		①②④⑥⑦		
1120	立命館アジア太平洋大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	①対面授業を拡大	APUでは正課・正課外のすべてが学び・成長の場として捉え、多文化コミュニティ・ラーニングの強化し、多様な学生に応じた複数の学びのトラックの導入を検討している。次期教育改革の制度直しにあわせて、双方面接授業を徹底し多文化環境を駆使したリアルなデザイン・学びあいを旨とするMulticultural Community Learning を構築する計画を示している。学生の約半数が国際学生である立命館アジア太平洋大学（APU）では、そもそも入国制限下の学生が一定数存在するため、全学生に対して通学できない背景がある。日本国内へ入国できない学生に対して、一定数の科目は面接授業のみならず遠隔にて受講可能な授業を展開させるを得ない。	③半々	学生は約半数が国際学生である立命館アジア太平洋大学（APU）では、そもそも入国制限下の学生が一定数存在するため、全学生に対して通学できない背景がある。日本国内へ入国できない学生に対して、一定数の科目は面接授業のみならず遠隔にて受講可能な授業を展開させるを得ない。	②学年ごとに差	国際学生比率が回生ごとの遠隔比率にも大きく影響している。学生の約半数が国際学生である立命館アジア太平洋大学（APU）では、そもそも入国制限下の学生が一定数存在するため、全学生に対して面接授業の外にできない授業がある。特に2021年9月入生の国際学生についてはごくわずかの国際留学生を除き国内へ入国できておらず、1回生が物理的に対面で実施できない背景があり、結果として1回生の遠隔比率に大きな影響が生じている。	①②④⑥⑦		
1121	大分県立芸術文化短期大学	44. 大分県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	基本的な方針に変化はないが、その時々状況に応じて適宜対応する	③半々	学科や当該科目の特性に応じて面接授業と遠隔授業を決定しており、その割合は概ね半々となっている	①学部ごとに差	学科や当該科目の特性に応じて面接授業と遠隔授業を決定しているため	②⑥⑦		
1122	大分短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面											
1123	東九州短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面											
1124	別府清部学園短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面				面接授業を基本的に開講しているが、感染者もしくは濃厚接触者等への受講確保のためハイブリッド授業の一部実施している。							
1125	別府大学短期大学部	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	④3割対面	②併用	②大きな変化なし	大分県下等の感染状況も考慮し、授業方針を定めている。	②7割対面	コロナの影響で登校できていない学生がいることも考え、ある程度は遠隔授業の実施が必要となることも考慮	⑤差はない		①②④⑥⑦		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の予定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1126	大分工業高等専門学校	44. 大分県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1127	宮崎大学	45. 宮崎県	01. 国立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	1年生は大学生活をスタートさせる大事な時期であり、これからの大学生活をお互い支え合うための友人作りの大切な時期であることから、キャンパスでの対面授業を重視している。授業では、学部の専門授業に入る前の基礎教育（教養教育）が中心となるため、各学部連帯クラスでの授業があることから、学部を横断した関係を構築する良い機会ととらえ、対面での授業を重視している。また、学生全体に対し、長引く行動制限から心の不調を感じている学生に対し、学生支援部内に設置している「学生なんでも相談室」への相談や、安全衛生保健センターの精神科医や臨床心理士によるメンタル相談を積極的に活用するよう呼びかけている。	①ほぼ対面	本学の危機管理対策本部会議において、授業開始から1週間は全ての授業で遠隔を実施する。なお、現在、県内の感染者数が減少しているため、2週目以降は、ほとんどの授業について、十分な感染対策を講じた上で対面を実施するが、今後、感染者数が増加傾向にある場合は、遠隔授業に切り替えることを決定している。		⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦	
1128	宮崎公立大学	45. 宮崎県	02. 公立大学	②併用	⑤ほぼ遠隔	②併用	②大きな変化なし	令和2年度は、遠隔授業が主体であったが、大学として本来の姿を取り戻していくため、学生のアンケートも参考に、令和3年度より、対面授業を主体とした方針とした。但し、教室が密にならないよう、元々の収容人数の半数程度としたため、履修人数が多い授業や、どうしても教室のやりくりができない授業は、遠隔授業とする方針となった。	①ほぼ対面	2-5で回答した通り、令和3年度は、対面授業を主体とする方針であるため。		⑥差はない	②③④	
1129	宮崎県立看護大学	45. 宮崎県	02. 公立大学	①全面対面		②併用	②大きな変化なし	本学ではBOP（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための警戒段階別方針）を策定し、感染状況に応じた授業の実施方法等を定め、それに基づき対応を行っているため、授業方針と基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	新型コロナウイルス感染症の第2波の懸念から、前期と同程度の遠隔授業を実施することが想定されるため。		⑤差はない	①②④⑦	
1130	南九州大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	退学や休学する学生の中にオンライン授業等であることが間接的にも要因として見られることがあるため。	①ほぼ対面	県の対応に合わせ大学の対応を決定しており、県内の感染者数に落ち着きが出たため。また、ワクチン摂取率も上がってきた	①学部ごとに差	学部によって実習や演習などへのオンライン対応が違うため	②	
1131	宮崎産業経営大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	学生の理解度や問題の把握については面接授業の方が皮膚感覚でとらえられる	①ほぼ対面	基本的には面接授業を行う。しかしながら通学や学内において感染に不安のある学生に対しては遠隔授業を認めている		⑤差はない	①②④	
1132	宮崎国際大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1133	九州保健福祉大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	今回のコロナ禍での対応当初から対面での重要性を強く感じている。ただし、万が一の場合にも備えて、遠隔授業での準備・対応は常に想定している。						
1134	南九州短期大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面		②併用	①対面授業を拡大	退学や休学する学生の中にオンライン授業等であることが間接的にも要因として見られることがあるため。	①ほぼ対面	県の対応に合わせ大学の対応を決定しており、県内の感染者数に落ち着きが出たため。また、ワクチン摂取率も上がってきたように見受けられるため。		⑤差はない	②	
1135	宮崎学園短期大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大	学生アンケートから友達との交流を求める意見も相次いだため。						
1136	都城工業高等専門学校	45. 宮崎県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1137	鹿児島大学	46. 鹿児島県	01. 国立大学	③全面遠隔		②併用	②大きな変化なし	後期の開始に合わせて令和3年度の授業等の実施方針の見直しを行ったが、前期の考え方をほぼ踏襲しており、基本的な考え方に大きな変更等はないから。	②7割対面	令和3年度前期授業における面接授業の割合がおよそ7割であったことや後期の授業等の実施方針が前期の方針をほぼ踏襲していることから7割程度は面接授業が可能であろうと判断した。	③学部・学年ごとに差	各学部等や学年において、行われる授業の内容、受講する学生の人数や受け入れる教室の収容人数などそれぞれ異なるため。	①②③④⑤⑥⑦	
1138	鹿児島体育大学	46. 鹿児島県	01. 国立大学	②併用	④3割対面	②併用	①対面授業を拡大	9月までの感染状況を踏まえ、教室の座席間隔を前期よりも広くとっている（1.5m→2m）	③半々	令和3年度後期の開始時点においては、学生・教職員の安全確保のため教室の座席間隔を広くとっており、対面授業の実施に十分な収容数が確保できない場合には、遠隔またはハイフレックスによる授業を実施している。そのため、現時点では面接授業が3割程度となっているが、感染状況等を踏まえ、段階的な座席間隔の見直しを検討しており、今後対面授業の割合が増加することが見込まれるため。		⑤差はない	②③④⑥	
1139	鹿児島国際大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1140	第一工科大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	実験・実習等、特に対面による指導が不可欠と判断される授業は面接授業を優先。	③学部・学年ごとに差	航空工学部においては、実習等が主の学部であり、面接授業の比率が高く、また、1年生においては、初めての大学生活であり、不安を解消すべき面接授業の比率を高くしている。	②④⑥	
1141	志摩館大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1142	鹿児島純心女子大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	②併用	②7割対面	①全面対面	②大きな変化なし	感染状況やワクチン接種状況（接種率）等から総合的に判断していく。						
1143	鹿児島県立短期大学	46. 鹿児島県	02. 公立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	環境での感染状況を踏まえ、一部の教職員学生への配慮をのぞいて、通常に戻す方向で考えている。						
1144	鹿児島純心女子短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1145	鹿児島女子短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし							
1146	第一幼児教育短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	学科の特性上、面接授業に重点が置かれており、必要に応じてハイブリッド、ハイフレックスを取り入れつつも基本的には対面で行う。						
1147	鹿児島工業高等専門学校	46. 鹿児島県	04. 高专	①全面対面		①全面対面	②大きな変化なし	特になし						

No. 学校名	所在地	設置種	授業状況	現在の割合	授業方針	考え方の変化	考え方の変化の理由や具体的な状況	今後の割合	割合の想定理由	学部や学年ごとの差	学部や学年による差の内容・理由	併用の考え方	その他の内容
1148 琉球大学	47. 沖縄県	01. 国立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	令和3年9月30日付けで緊急事態宣言が解除されたものの、沖縄県は令和3年10月1日～31日を「経済活動再開に向けた感染拡大抑制期間」とし、県内大学に引き続き感染対策の徹底を要請している。これらのことから令和3年度後期においても、現時点では基本的な考え方に大きな変化はない。具体的には、現在、琉球大学新型コロナウイルス感染症拡大防止の活動制限指針はレベル2となっており、講義、演習、実習等は「部長等が承認する場合には、感染拡大防止の措置を講じた上で、対面の実施を基本とする。対面での実施が難しい場合には、遠隔で実施する。」とされている。これに基づき、令和3年9月17日付けで「令和3年度後学期授業科目の実施方法について」発出し、「後学期の授業については、遠隔授業を中心として、感染症防止対策を講じた上での対面授業、対面授業と遠隔授業の併用等により授業を提供する予定」とした。	③半々	本学の状況は2-5で回答しておりであり、これまでと同様の比率が継続されると見込んだ	③学部・学年ごとに差	本学では、活動制限指針レベル別に授業の実施に関するガイドラインを制定し、感染対策に留意した遠隔授業の実施を行っている。ガイドラインでは、対人距離の確保のための教室の収容定員50%以下とすることやリスク低減のための受講生の分散等を求めている。そのため共通教育科目の受講生の低年次学生と少人数のゼミが多い高年次学生や、実験実習が多い学部・に所属する学生とそうでない学生などの違いにより、面接授業と遠隔授業の比率が異なる要因が生じている。	①②③④⑤⑥	
1149 名城大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度前期の授業方針と同様に、面接授業と遠隔授業を同時に実施しており、学生はいずれかの方法で授業に参加することができる。一方で、全ての学生が面接授業を選択したとしても、感染拡大防止対策を講じつつ、教室の再配置を行い授業をすすめている。	①ほぼ対面	学生を対象としたく令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査>及び令和2年度混成型授業の実施に関する実態調査>のアンケート結果を根拠としております。	③学部・学年ごとに差		①②④⑥	
1150 沖縄県立芸術大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の大学内における感染リスクを低減する必要があるため	③半々	面接授業を実施する際は、必要性や感染対策計画を作成し、教授会に諮り決定する。	③学部・学年ごとに差	座学の多い1年生は遠隔授業が多い、学年が上がるにつれ、実技等の面接授業が多くなる。	②	
1151 沖縄県立看護大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし	感染拡大が継続していたため前期と大きな変化はない。	③半々	前年度臨地実習を十分実施できていないため、原則演習・実習科目は対面授業、講義科目は遠隔授業としている。	②学年ごとに差	1年次は講義科目も原則対面授業とし4:1で対面が多い。理由は、入学後から分科登校や遠隔授業で学生同士お互いをよく知らず、グループワークが上手くできないこともあり可能な限り対面授業としている。	②④⑤	
1152 沖縄科学技術大学院大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	③半々	①全面対面	③遠隔授業を拡大	前期に関しては全ての学生がキャンパスにおいて授業を受講できたため、遠隔授業を実施する必要がなかった。後期においては海外渡航規制の影響で新帰国学生が多く日本に入国できなかったため、授業方針を変更し、遠隔授業をオプションとして取り入れた。状況に応じて最適な指導方法を選択し、一つの授業形態から別の授業形態へと迅速かつ円滑な移行ができるよう面接授業だけでなく、遠隔授業の実施経験や教員に対するサポートの提供を行うことが重要であると認識している。						
1153 沖縄国際大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	基礎疾患（等）を持っている教員からの申請により判断	⑤差はない		①	
1154 沖縄大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	①ほぼ対面	②併用	①対面授業を拡大	対面での交流について、学生及び保護者から機会の確保に対する要望が寄せられている。	①ほぼ対面	大学独自の活動制限レベルを定めており、感染状況を鑑みながら会議でレベル判定をしている。	①学部ごとに差	健康栄養学部について、実験・実習等のためカリキュラム上、面接授業の比率が高い。	②④⑤	
1155 沖縄キリスト教学院大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1156 沖縄キリスト教短期大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	①全面対面		①全面対面	①対面授業を拡大							
1157 沖縄女子短期大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	③半々	②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		④⑤	
1158 沖縄工業高等専門学校	47. 沖縄県	04. 高专	②併用	④3割対面	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業への対応に苦慮した学生が比較的多く、遠隔授業の実施期間中においても、これらの学生に対しては、教員が直接指導できる環境や学生間の交流が必要であったことに加え、実験や実習などの授業科目の遠隔授業への移行あるいは一部導入が難しい場合が多く、対面できる状況の必要性を強く認識した。						

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1 北海道大学	①②③④		①②③		①②③④⑤⑥	令和3年度入学者を対象とする入学式及びオリエンテーション・ガイダンスについては、新入生同士の交流を促すよう、収容人数を制限する等の感染対策を講じて対面形式により実施した。また、令和2年度入学者については、入学当時（令和2年度）の入学式は中止となったものの、新年度の新たな学修に取り組む節目となることに配慮し、1年遅れの令和3年4月に入学式を実施した。	②大多数が理解	令和3年度の授業実施方針はすでに本学ホームページで公表しているため、学生は本学の方針を理解していると考えている。また、本学ホームページ上で学生から広く意見を受け付けている「学生の声 on Web」には当該授業実施方針に関する意見投稿は届いていないこと、さらに、全ての学部学生を対象としたアンケート調査においては、現在の授業の形態に関する肯定的回答も多いことから、大多数の学生は納得していると考えている。		これまで本学では学生の理解や納得を得るために、「総長から学生へのメッセージ『令和3年度第2学期の学生生活に向けて』の発信」、「コロナ禍における学生生活をテーマにした総長と学生との懇談会」、「オンライン授業についての学生アンケート」、「オンライン授業をテーマとした学生参加型FDの実施」、「学生からの意見や質問を広く受け付けるための別窓窓口の継続」、「ランニングサポート型による学習支援」など、様々な取組を行ってきたところである。今後についても、「学部1年次の保護者を対象とした総長とのオンライン懇談会」を開催するなど、引き続き、学生等の意見等を聞く様々な取り組みやサポートを行いながら、学生の理解・納得が得られるよう努めていく。
2 北海道教育大学	①②④		①②③		①③④⑤		④把握していない	上述のとおり、学生の理解・納得の状況について調査を実施していないため把握していない。	上述のとおり、学生の理解・納得の状況について調査を実施していないため把握していない。	回答時点において取組予定はない。
3 室蘭工業大学	②③④		①②③		②③⑤		②大多数が理解	大学等などで授業形態について通知しているが、特に不満や意見等は寄せられていない。		
4 小樽商科大学	②③		①②③		①⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度前期授業改善アンケートにおいて一定の満足を得ていたこと、また、令和3年度後期授業実施方針に基づき後期授業を開始した中、学生の混乱・クレームがほとんどないため。		後期授業終了時に、授業改善アンケートを実施する。
5 帯広畜産大学	①②④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	ホームページやポータルサイトのメッセージ等で十分に学生に周知しており、苦情などないから。		これまで同様に対応する予定です。
6 北見工業大学	①②③④		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	学生には後期時間割通知の際、後期対面授業と通隔授業が併用で行われる旨知らせており、学生から後期授業形態に関する問合せや不満等は現時点では寄せられていない。また、基礎疾患等により新型コロナウイルスへの罹患に対するリスクの高い学生や、留学生で入国困難な学生には在宅での通隔授業受講を認めることとしており、学生の状況に応じた配慮をしている。		特になし。
7 旭川医科大学	①②	非該当	①	非該当	①⑤	非該当	②大多数が理解	授業方針については、昨年度から感染状況が変わるたびに発信してきた。その都度、学生からは、質問・意見等をもらい決定の意図を説明してきた。令和3年度の後期授業方針についても、学生からの質問・意見等に都度対応することで方針への理解が深まっていると考えている。		特になし
8 札幌医科大学	②④		③		③⑤		②大多数が理解	大学全体としては、学生の意見・要望を集約する学生支援会議を10月末に開催することとしており、これに向けて医学部の学生から、登校を希望する要望が寄せられた。医学部では10月18日から新型コロナウイルス感染状況の改善を受け、全ての学生に対して対面授業を再開することを決定しており、大多数の学生の要望を受け入れた形となったと考える。保健医療学部の授業運営に当たっては、新型コロナウイルス感染状況に応じて目まぐるしく変化する中であっても、学生一人ひとりが不安感や不満なく授業を受けることができるよう、学部長及び教務委員長から学生へ向けたメッセージを適宜発信するなどして、学生の理解が得られるよう努めている。		学生の意見・要望を集約する学生支援会議を10月末に開催する。また、保健医療学部ではこれまで同様、学部長及び教務委員長から学生へ向けたメッセージの配信、学部内の新型コロナウイルス感染症対策チームによる学生向け「感染対策ガイドライン」の実施などを通して、ウイルスコロナの授業形態・授業運営について十分な説明を行い、学生の理解や納得が得られるよう取り組んで行く考え。
9 公立はこだて未来大学	①②③④		①		①④⑤		②大多数が理解	各授業に対する学生の授業評価アンケートの結果から。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
10 創価公立大学	②		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	大学全体の授業実施方針については、メール配信により周知を行っている。		
11 名寄市立大学	①②		①②		⑤		②大多数が理解			
12 札幌市立大学	②		①②③		②④⑤		②大多数が理解	後期ガイダンスなどにおいて授業形態についての情報提供を行っているから。		継続して学生に対して授業形態等についての情報提供を行う。
13 公立千歳科学技術大学	①②④		①③		①②③		②大多数が理解	年に2回、学期末に行っている授業評価アンケートを根拠としている。	特になし	これまでの取り組み（授業評価アンケート）を継続する。
14 北翔大学	①②③		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	対面授業を増やすことの方針については、HP、ポータルサイト、保護者への学長メッセージなどにより周知している。		コロナウィルスの感染拡大状況を踏まえながら、可能な限り面接授業を増やしていきたいと考えている。
15 札幌大学	③④		①②③		④⑤		①ほぼ全員が理解	手指消毒と不織布マスクの着用徹底、教室内における換気の徹底と一定の距離を保てる座席配置など感染症対策に関するガイドラインを策定し公表している。また、面接授業を実施する科目については履修人数や登壇回数に明確な基準を設けており、遠隔で実施する科目については、各学期が開始されるまでに学生に公表している。		引き続き、ガイドラインに沿った感染症対策を徹底する。また、遠隔授業に関する学生の意識変化を確認するため、調査の実施を検討中である。
16 札幌学院大学	③		①②		③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態の考え方については事前に周知し、特に意見等は出ていないので、十分に理解・納得していると考えている。		
17 函館大学							①ほぼ全員が理解			
18 藤女子大学	②③④		①③		③④⑤⑥	学科教員による履修相談を行った	④把握していない			納得が得られないケースがあった場合は、個別に対応する
19 北星学園大学	①②③④		①②③		①②④⑤		①ほぼ全員が理解	大学中や全学生への一斉メール等により周知を図っており、授業開始後も特に問題は発生していないこと。	なし	未定
20 北海学園大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生に対するオンライン授業アンケート結果や「学生による学生のための学芸員サポートシステム」に寄せられる質問・意見、新型コロナウイルス対策本部へのメールなどから多数の学生は授業形態などについて理解し協力してくれていると判断している。		機会をとらえ対策本部から授業などに関する詳しい配信を行っているのを継続するとともに、学生による新入生のためのガイダンス動画の作成や、サポートスタッフの発案を行うべく予定である。
21 北海道科学大学	①②③④		①②		①③④⑤⑥	令和2年度実施 遠隔授業通信環境整備支援基金(遠隔授業の受講に伴う通信環境を整備するための支援をする制度) 学生一人一律30,000円(一回限り)	②大多数が理解	2021年度の学生生活アンケートにおいて、授業実施体制の改善を求める声がほとんどなかったこと、前期授業アンケートの結果、遠隔授業に関する疑問に対して、肯定的な回答が増えていることから、大多数の学生の理解・納得は得られていると判断している。		今後も社会情勢に鑑みながら、必要に応じて本学の教育実施体制について学長よりメッセージを発信する予定。学生や保護者から何らかの要望や問い合わせがあった際には、学科教員と連携し理解・納得していただきたくて説明することを心掛けている。
22 酪農学園大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	大学として全学生に授業実施方針を出しており、科目担当教員からも履修者に対し、シラバス、eラーニングにて周知を行っているため。		分かりやすい情報発信と、問い合わせに対する適切な対応。学生へのアンケート実施。
23 旭川大学	①②③④		①②③		④⑤		②大多数が理解	授業評価、学生満足度調査等のアンケートで聞き取りした結果		
24 北海道医療大学	①②③⑤	授業の録画を保存し、試験前に自由に視聴できるよう公開している。	①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	“ガイダンス、メール、学生用ポータルサイト等の複数の方法を利用し、丁寧な説明を行っているほか、フクケン接洽もほぼ全員実施。前期より対応による授業を中心として行っているため、特に問題はないと解している。また、授業実施形態に関して学生から不平不満の声が上がっていないため。”		学生用ポータルサイトやメールを活用し、学生への情報発信をさらに実施するほか、ガイダンスの中で、授業実施形態について説明していく予定。
25 北海医科大学	①②③④		①③		⑤		④把握していない			HPやMS等を通じたアナウンスの継続と、オフィスアワーの活用により学生との意思疎通を図る他、アンケートを実施して学生の理解状況の集約を検討する。
26 星槎道都大学							②大多数が理解	本学の判断基準である危機管理ステージを全学的に示し、大学ホームページや学生用アプリで程度、状況を周知しているため。		コロナ禍における語学の英化により、一層の学生理解・納得を得るために大学ホームページや学生用アプリを活用して、情報をスピード感を持って発信していく。
27 北海道情報大学	②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	学生に対してWeb等で周知を行い、特段反対意見はなかったため。		
28 札幌国際大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解			
29 北洋大学	②③④		①②③		④⑤		②大多数が理解	緊急事態宣言など特別なケースをのぞき、可能な限り面接授業を実施しているため		
30 日本赤十字北海道看護大学							①ほぼ全員が理解			
31 北海道文教大学							②大多数が理解	学生にアンケート調査を行い、その結果をもとに対策を行っているため。		

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
32	天使大学	②③④		①②③		③④⑤		②大多数が理解	学生に対して細めに情報を提供し、その都度理解を求めているため	なし	面接授業の増加などを検討している
33	種内北星学園大学							①ほぼ全員が理解			
34	札幌大谷大学	①②③		①②③		②③⑤		②大多数が理解	再三の情報提供を行っているほか、本学の方針について理解を求めている。個別の調査は行っていないが、受講状況を見ても概ね、理解と納得はしていただいていると考える。		冬に全学年面談を実施予定。
35	札幌保健医療大学	②		①②		②③		①ほぼ全員が理解			引き続き、教務ガイダンスや各科目授業内での説明を徹底して行う
36	日本医療大学							①ほぼ全員が理解	学生への通知、教員からの説明を行い、既に通学を開始しているため		
37	北海道千歳リハビリテーション大学							①ほぼ全員が理解	学生へのメール、ホームページの掲載、担任からの直接説明を行っている		学生へのメール、ホームページの掲載、担任からの直接説明を継続する。
38	旭川大学短期大学部	①②③		①②③		④⑤		②大多数が理解	アンケート調査等で聞き取りした結果		
39	帯広大谷短期大学	②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	遠隔授業への出席率の他、課題提出や単位取得の状況が対面授業時と比較しても特段の変化が見られないため		
40	創路短期大学							①ほぼ全員が理解			
41	光塩学園女子短期大学	②		①		④		④把握していない	学生にアンケート調査等を実施していないため		A D担当教員との面談等
42	札幌大谷大学短期大学部	①②③		①②③		②③⑤		②大多数が理解	再三の情報提供を行っているほか、本学の方針について理解を求めている。個別の調査は行っていないが、受講状況を見ても概ね、理解と納得はしていただいていると考える。		
43	函館大谷短期大学							④把握していない			
44	函館短期大学							②大多数が理解			
45	北星学園大学短期大学部	①②③④		①②③		①②④⑤		①ほぼ全員が理解	大学HPや全学生への一斉メール等により周知を図っており、授業開始後も特に問題は発生していないこと。	なし	未定
46	北海道科学大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	文章およびガイダンスで対面授業を説明し、後期に実施する任務の講習へほぼ全ての学生から申し込みがあったこと		
47	北翔大学短期大学部	①②③		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	対面授業を増やすことの方針については、HP、ポータルサイト、保護者への学長メッセージなどにより周知している。		コロナウィルスの感染拡大状況を踏まえながら、可能な限り面接授業を増やしていきたいと考えている。
48	拓殖大学北海道短期大学							④把握していない			
49	北海道武蔵女子短期大学	③④		①③		③⑤		③大多数とは言えない	大学としては理解、納得が得られるよう情報を発信しているつもりだが、学生の声を聴くとそれが「つもり」だったと考えるに至った。		よりきめ細やかな対応
50	札幌大学女子短期大学部	②③④		①		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	間隔を確保した座席配置が可能な少人数教育を実施しているため。		引き続きマスク着用、消毒液配置、座席間隔確保など、感染を防止する対応の徹底とともに、学外実習前にPCR検査を受診させるなど、感染対策に万全を期すように努める。
51	札幌国際大学短期大学部	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解			
52	国学院大学北海道短期大学部							①ほぼ全員が理解			
53	函館工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	授業の形態等について、学生から質問や意見を聞かないため		
54	苫小牧工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
55	創路工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
56	旭川工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	遠隔授業における不安である意見が学がったものの、現在の方針において学生の意見箱、保護者からの意見がないため。	特になし	学校に取組について、周知を徹底する。
57	弘前大学							①ほぼ全員が理解	昨年度のコロナ禍対応と同様の形態であるため。	一部の範囲で異なる状況にはない。	現時点で特に予定していない。
58	青森公立大学	②		②		⑤		④把握していない	コロナ禍以前と授業の形態等にほぼ変化がないことから、学生の理解・納得の状況について調査していない。		特になし
59	青森県立保健大学	②③		①		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	後期ガイダンスにおいて、全学生に資料を用いて説明を行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策の理解啓発を実施し、正解率が低い設問等はその後で結果の解説を行った。		
60	青森大学							①ほぼ全員が理解	コロナ禍となり、対面授業や遠隔授業を状況に合わせて組み合わせ、学生の理解を得ながら運営してきた。コロナの状況も落ち着きつつある中で、以前までの対面授業を原則とした授業を展開することについて、学生の意見等も踏まえながら検討し、学生も伝達し、不安な面を埋めながら、学生および教職員が納得した形で展開をしていく状況となっている。	特段、学部による理解度の違いはない。	引き続き学生に寄り添った検討、対応を行っていきたい。
61	崇田学園大学							①ほぼ全員が理解	教職員・学生一斉メールにより周知徹底を行っている。またクラス担任制を導入しており、クラス単位での周知連絡も徹底している。		
62	弘前学院大学	①		①		①④		①ほぼ全員が理解	これまででも面接授業が主のため、学生はその形態が行われることとを理解している。	学部間の理解不足は、これまで学生から遠隔授業等の問い合わせがほとんどないためと理解している。	遠隔授業等がスタートした時は、大学HP及び学内LINE等で公表、周知する。
63	八戸工業大学	①②③		①		⑤		②大多数が理解			ガイダンス等で丁寧な説明を行う。
64	八戸学院大学							④把握していない	学生へ理解・納得の状況調査を実施していないため		面接時では検討していない

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
65 青森中央学院大学							①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染対策をすることが日常となり、本学の感染対策の理解を得られた結果、新学期にはあった新型コロナウイルスの感染が怖いので大学に行きたくない、または公共交通機関を利用したくない等の理由で欠席の連絡がなくなったため。		大学ホームページでの速やかな情報公開と学内ポータルサイトを活用した積極的な情報提供。
66 弘前医療福祉大学	②③		①③		②④⑤		②大多数が理解	昨年度の学生満足度調査では、60%以上の学生が理解を示していることから上記のように推測している。ただし、少数の学生(3人)はコロナへの不安感をアンケートに反映している。		感染が拡大した場合には通開授業を採用する。そのうえで学生の理解を得られるように説明を行うとともに経済的支援を含めて支援のあり方を検討する。
67 青森明の星短期大学							①ほぼ全員が理解			
68 奥田学園大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
69 青森中央短期大学							①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染対策をすることが日常となり、本学の感染対策の理解を得られた結果、新学期にはあった新型コロナウイルスの感染が怖いので大学に行きたくない、または公共交通機関を利用したくない等の理由で欠席の連絡がなくなったため。		大学ホームページでの速やかな情報公開と学内ポータルサイトを活用した積極的な情報提供。
70 八戸学院大学短期大学部							④把握していない	学生へ理解・納得の状況調査を実施していないため		現段階では検討していない
71 弘前医療福祉大学短期大学部							②大多数が理解	昨年度の学生満足度調査では、80%以上の学生が授業について理解をしていることから上記のように推測している。		感染が拡大した場合には通開授業実施の検討を始める。そのうえで学生の理解を得られるように説明を行うとともに経済的支援を含めて支援のあり方を検討する。
72 八戸工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	本校では、令和2年6月以降、対面形式での授業を継続しており、そのことに関する苦情・相談等の事例がないため。	なし	なし
73 岩手大学							①ほぼ全員が理解	後期の授業開始にあたり、学長メッセージとして、対面で大学教育の重要性を学生に伝えるとともに、感染拡大防止策を徹底し、安全・安心に配慮した対面授業を実施することを宣言している。また、これまでに対面授業の講義において感染が拡大したケースが起きていないことも、学生の理解・納得につながっていると考える。		
74 岩手県立大学							②大多数が理解	全学的な調査は行っていないものの、大きな混乱もなく授業を実施できていたため。	特定の学部や一部の範囲において、学生の理解や納得の度合いが異なるという状況は、現時点において把握していない。	現時点において新たに取組む予定の事項はないが、引き続き学生への周知を徹底するとともに、その時期の状況を踏まえ、柔軟に対応していきたい。
75 岩手医科大学							①ほぼ全員が理解	医療系大学という本学の性質上、面接授業の重要性を学生が理解していると考えられるため	特になし	特になし
76 富士大学							②大多数が理解	授業へ出席するための積極的な質問が多いため、課題レポートの提出状況が良かったため。	特になし	学生への連絡時期を少しでも早める。学生へのインタビューを実施し、授業内容の状況を把握する。
77 盛岡大学							①ほぼ全員が理解	学内感染対策本部による授業形態等の判断について、全ての学生に対し、学内ポータルシステム等により、いち早く周知してしていることから。		3-8で公表した内容を、今後も継続、徹底していく。
78 岩手保健医療大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	・保証人及び学生に本学の取組を説明している。／・不安等がある場合は個別に対応することを説明している。		時期を見て、上記3-8と同様に保証人及び学生に説明する。
79 岩手県立大学盛岡短期大学部							②大多数が理解	全学的な調査は行っていないものの、大きな混乱もなく授業を実施できていたため。	特定の学部や一部の範囲において、学生の理解や納得の度合いが異なるという状況は、現時点において把握していない。	現時点において新たに取組む予定の事項はないが、引き続き学生への周知を徹底するとともに、その時期の状況を踏まえ、柔軟に対応していきたい。
80 岩手県立大学宮古短期大学部							①ほぼ全員が理解	令和3年度前期に引き続き、後期も全学的に対面授業を行っているところだが、ほぼ全ての学生が登録し授業を受けており、理解・納得しているものと受け止めている。		引き続き十分な感染症対策を行っていく。
81 修紅短期大学							①ほぼ全員が理解			
82 盛岡大学短期大学部							④把握していない	昨年度から一部通開授業を取り入れたものの今後も対面(面接)授業を基本としており、授業形態についてあらかじめ学生に理解を求める必要性は低いと考えるため。		特になし
83 一関工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
84 東北大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和2年12月に「令和3(2021)年度の授業方針について」を本学HPサイトに掲載し周知を行っている。また、2月に学生モニターとの意見交換において、学生の理解を確認している。加えて、新学期オリエンテーション等での周知も行っている。		引き続き、オリエンテーションやガイダンス及びシラバスを通じて周知を行う。
85 宮城教育大学	①②③		①		④		④把握していない	学生の理解状況等に係る調査は実施していない。		特に実施の予定はない。
86 宮城大学							①ほぼ全員が理解	令和3年度(後期)の授業形態の事前周知に対して、大学の方針に賛同を申し立てる学生はいなかったため、ほぼ全ての学生の理解・納得を得られていると思われる。		・感染防止対策の徹底と周知、・面接授業への出席に不安を訴える学生への合理的配慮
87 仙台大学	②③④		②		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	全学生に付与している大学独自のメールアドレスがあり、このメールを通じて授業形態等について説明し、複数回にわたり時間割の配布や後期授業形態についてメールを送っている。また、その際、意見や質問等があれば、事務局(教育部教育企画課)へ連絡するよう周知しているが、学生からの授業形態等についての相談等はなく、授業運営は問題なく実施されている。		昨年度の4年生に対して卒業時アンケート調査を実施し、通開授業等の授業形態や内容等に関する調査を行った。この調査結果を基に授業形態や内容等を検討しているため、今年度も卒業時アンケート調査を実施して、学生の意見を聴取し、学生の理解や納得を得るために取組む予定である。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
88 東北学院大学	①②④		②③		①③⑤		②大多数が理解	全ての授業について実施形態を一覧にして公開しているが、形態の説明と受講方法について詳しい解説を、「受講ガイド」として公開・配布しているから。		「そもそも対面授業とは、遠隔授業とは」という、通学制大学における授業のあり方等について、分かりやすい解説をガイドに添削したいと考えている。学生アンケートは毎学期実施して、学生の授業に対する感想・要望等は把握している。
89 東北工業大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生へのアンケートの中で、授業実施方針の妥当性を問う設問を設けており、その回答結果を根拠としている。		
90 東北福祉大学	②④		②③		①②③④⑤		②大多数が理解			「学内ポータルサイト」で大学の方針を伝えたり、担当教員が学生の相談に応じ、きめ細やかな授業を行う。
91 東北医科薬科大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度後期の授業実施方針については、ホームページに掲載し学生及び保証人へ周知するとともに、学生向けのオリエンテーションでも説明を行い、周知を徹底した。その際、学生の理解・納得に関するアンケートは実施していないが、学生及び保証人からの問い合わせについては、個別に対応した。		引き続き、授業実施方針への問い合わせに対しては、丁寧な説明に努め、理解や納得が得られるよう努める。
92 東北生活文化大学							①ほぼ全員が理解	不都合を訴える学生がほとんどいない。		
93 宮城学院女子大学	②③		①②③		②④⑤		②大多数が理解			
94 石巻専修大学							②大多数が理解	1年次生との面談、学生生活アンケート、学生会と学長との懇談等で授業運営方針を伝えている		学内における新型コロナウイルス感染予防対策の周知
95 仙台白百合女子大学							②大多数が理解			
96 東北化学工業大学							①ほぼ全員が理解	授業実施方針については、学生専用ポータルサイトで周知し、後期ガイダンスにおいても丁寧に説明している。ROPレベルによって、遠隔・対面・ハイブリッド等の多様な形態で実施し、様々な状況の学生に対応している。また感染予防対策についても専門家による動画視聴と理解度テストを行い、全学生の9割以上の受講率である。		
97 尚絅学院大学	①②③④		②		①⑤		④把握していない	学生からの意見を委けて対応を検討・実施しているが、必ずしも全学生の意見を反映しているかは不明なため。		アドバイザーによる面談の中で対応。
98 宮城誠真短期大学							①ほぼ全員が理解	小規模短期大学であり、感染防止対策を徹底している。		遠隔授業についての体制整備をより万全にする。
99 聖和学園短期大学							④把握していない			学生・教員向けのアンケートを実施予定
100 東北生活文化大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	不都合を訴える学生がほとんどいない。		
101 仙台青葉学院短期大学	④		②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
102 仙台赤門短期大学							①ほぼ全員が理解			
103 仙台高等専門学校	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生アンケートや、教員が指導する中で学生の意見を把握した結果、回答に至った。		
104 秋田大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	授業の形態について、学生ポータルサイトへの掲載により全学生向けに周知徹底しており、その際に授業等について何かあれば所属の学務担当へ連絡するよう周知しているが、授業の形態等への意見はほとんどなかったことから、大多数の学生は理解・納得していると認識している。		引き続き、授業の形態等について、学生ポータルサイトへの掲載により全学生向けに周知徹底を図り、その際、学生の意見を取り入れられるようにする。
105 秋田県立大学							①ほぼ全員が理解	後期授業の第1回目の講義内において担当教員より大学の方針を伝えている。学生は十分に理解していると考えている。		十分に理解して納得している。

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
106	国際教養大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	<p>学長をはじめ副学長、学部長名により、適宜、新学期の授業形態、学生の受け入れ方針、感染対策等について、授業実施ガイドラインを作成するなど学生に対して丁寧な説明と情報提供を行うとともに、学生からの意見や質問を随時受け付け、仮に取まとめて学内で共有している。学内での交流機会の減少に対応して、遠隔授業中にアイスブレイキングや学生間のグループワーク向けの連絡調整の時間を確保したり、教員・学生の質疑応答の機会としてオフィスアワーを延長したり、学生間の授業外の協働作業を促進するためのツールを活用したり、評価の在り方を見直し、学期を通して継続的に学習するような形にするなど、各委員や授業の特色に応じた工夫が見られ、受講生から高い評価を得ている。現時点では遠隔授業に関する質問は少数にとどまり、苦情等の意見は寄せられていないことから、大学の方針と取組みに対して概ね理解が得られていると考えられる。</p>		
107	秋田公立美術大学	②④		①		③⑤		①ほぼ全員が理解			
108	ノースアジア大学							①ほぼ全員が理解	学生から疑問の声等は一切あがらなかったため	なし	これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策については、こまめにポータルサイト等で周知していく。
109	秋田看護福祉大学							④把握していない			
110	日本赤十字秋田看護大学	①②④		①②③		①⑤		②大多数が理解	全学生へのアンケートの結果、遠隔授業の満足度が高かったため。		
111	秋田栄養短期大学							①ほぼ全員が理解			
112	聖閣学園短期大学							①ほぼ全員が理解	これまでに新型コロナウイルスの感染者がいないため。		
113	日本赤十字秋田短期大学							①ほぼ全員が理解	入学当初より対面授業を基本としており、本学の新型コロナの対応方針をガイダンスで説明し、変更等があれば都度メールにて連絡している。		ガイダンスで大学の対応方針を説明し、不明点があれば対面、電話、メール等で相談に乗る。
114	秋田工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
115	山形大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	<p>10月7日時点では教育活動レベル2として、原則オンライン授業を実施しているが、11月1日から教育活動レベル1.5に引き下げ、対面授業とオンラインを併用して実施することになるため、後期授業開始時と比較して面談授業の割合が拡大することになる。本学では、令和3年3月～4月の前期授業開始前に「2021年度授業開始に向けてのセルフチェック」を実施した（回答率は全学生数の約2割）。その中で、「オンライン授業を受講する準備は整っていますか。」という設問に対し、約95%の学生が「居所（自宅・アパート等）で受講する準備が整っている」と回答している。また、「面談授業に関する不安等はありませんか。」という設問に対し、約81%の学生が「ない」「あまりない」と回答している。</p>		令和3年10月現在、令和3年度後期授業に向けての「セルフチェック」を実施している。その中で、学生の状況把握に努めた上で、必要に応じてアドバイザー教員等と連携し、学生の理解や納得を得るための方法を検討していくこととしている。
116	山形県立保健医療大学							②大多数が理解	面談授業を行うことについての不満や不安の声は聞かれない。		
117	山形県立米沢栄養大学							②大多数が理解	方針に対し特段意見は寄せられていないため	なし	引き続き理由を明確にして丁寧な説明に努める
118	東北芸術工科大学	②④		③		②③④		②大多数が理解	<p>学生印委員からの意見聴取、及び定期的な学生面談、学生アンケートを実施しており、面談授業・遠隔授業のどちらにもメリット・デメリットあることは学生も熟知しながら、いずれも現状の形態に対する理解は概ね得られている結果となっているため。</p>		引き続き、学生印委員との意見交換や定期的な学生面談、学生アンケートを実施する。
119	東北公益文科大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	<p>学期開始にあたり、学年ごとに学部生全員を対象としたガイダンスを行い、授業の進め方等について説明している。ガイダンス後にはアドバイザー教員との面談の時間も設けている。時間割の変更等については、迅速に一斉メールで学生に周知している。</p>		
120	東北文科大学							①ほぼ全員が理解			
121	山形県立米沢女子短期大学							②大多数が理解	方針に対し特段意見は寄せられていないため	なし	引き続き理由を明確にして丁寧な説明に努める
122	羽根学園短期大学							①ほぼ全員が理解	授業形態についての本学の方針などについて、前期授業アンケート調査から理解・納得を得ていると判断できるため		感染防止対策に関する国・県の方針に変更がある場合は、本学の対応についてメール等で学生に通知し、理解や納得を得る。
123	東北文科大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
124	鶴岡工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	<p>感染予防を徹底することで対面授業の実施は可能であることが明らかだったので、令和3年の前期開講時点で対面授業を実施する旨を学生及び保護者に伝えているため。</p>		対面授業を継続するために、感染予防の徹底を学生に訴え続ける

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
125 福島大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	・令和2年度前期においては全ての授業科目が遠隔開講となったことから、令和2年7月に遠隔授業に関する学生アンケート調査を行い、遠隔授業の再開に係る学生の満足度や受講上の要望などを把握した。（遠隔授業に総合的に【満足・やや満足】の回答率→同時双方向67.4%、オンデマンド54.3%）。一方で遠隔授業の課題として、課題・宿題量の多さや意見交換手段の改善等が挙げられた。遠隔授業の全学実施は本学初の試みであり、令和2年10月の全学FD研究会において全学共通テーマとして教員相互に意見交換を行ったところである。・休学者の増加の兆候は見られない。・本学では全学的な新型コロナウイルス感染症対策を講じるため「危機対策本部」を設置し、毎週情報交換している。同会議では昨年度の授業運営・課外活動の精進事項を整理し、学生向けに「学生生活ガイドライン2021」を編纂し、令和3年度の新入生ガイダンスで説明したほか、全学生に周知を徹底している。・これらを活用して学生には感染防止対策を周知徹底するとともに、昨年の学生アンケート回答やFD研究会の意見交換等を踏まえて、令和3年度の授業運営を進めている。	・毎年、学生団体代表と教育・学生担当副学長との懇談会を開催し、意見交換を行っている。今年も開催する予定であり、学生側の意見や要望などを直接取りこめたいと考えている。・授業期間中は、昼休みに放課部学生によるマスク・手洗い・距離・換気等の感染予防メッセージを流している。また、昼食時間には役員・教職員によるキャンパス内巡回活動をっており、学生にマスク着用や昼食時に飲食を心がけるよう、声掛けている。	
126 福島県立医科大学							②大多数が理解	医歯系大学であり、コロナに理解があることや可能な限り直接授業を実施していることから。		
127 余津大学							①ほぼ全員が理解	学生教員意見交換会を開催した中で、学生からの授業実施形態についての批判的な意見は10名程度であったため。	特になし	特になし
128 奥羽大学							①ほぼ全員が理解			シラバスに沿って対面授業を行っているので学生の理解、納得が得られている。
129 郡山女子大学							④把握していない	現状に対処することで手一杯、余力を割けない。また、別件で把握に至った学生の意見をみると顕微化しており、どのように対応しても、最大公約数・最小公倍数を取りえない。理解は得られても納得を得ることは困難。ただし、不満・苦情等は現時点では個別事案のみであり、すべて対応を試みている。学外の実習を控えた学科等では、実習の受け入れ先からの強い要請（圧力）により、遠隔授業にしなければならない等、大学の意思・意図にかかわらず、如何ともし難い事案もある。		
130 医療創生大学	①②③④		①③		②③⑤		①ほぼ全員が理解	殆どの授業が対面（対面に不安がある場合に対しては遠隔同時配信）を実施しており、各チューターによる個別面談も実施し学部内での共有を図っている。		チューターによる個別面談については、定期的に継続して実施していく。
131 東日本国際大学	①②③		①②		②④⑤		①ほぼ全員が理解	本学の直接授業と遠隔授業の実施方針については、春学期当初のオリエンテーションから、学期中にも繰り返し学内掲示板等で学生に案内を行っている。またあわせて、各科目ごと、学生が所属するゼミなどを通じて繰り返し周知を行っており、現状、授業の運用方針については大きな混乱も見られない。以上から3-7の通りに回答した。		直接授業と遠隔授業の実施方法の周知の徹底については、引き続き、各授業やゼミ等で丁寧に進めていくことになっている。また、直接授業と遠隔授業の内容の改善については、学内での教員、学生が共同で参加するFDの実施などを通じて取り組む予定である。
132 福島学院大学							①ほぼ全員が理解	後期授業の方針の周知後、問い合わせや関連する文庫が発生していない。		社会の状況を確認・予測しながら、できるだけ早い段階で判断・周知する。
133 余津大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	コロナ禍以前と特に変更ないため		特になし
134 郡山女子大学短期大学部							④把握していない	現状に対処することで手一杯、余力を割けない。また、別件で把握に至った学生の意見をみると顕微化しており、どのように対応しても、最大公約数・最小公倍数を取りえない。理解は得られても納得を得ることは困難。ただし、不満・苦情等は現時点では個別事案のみであり、すべて対応を試みている。学外の実習を控えた学科等では、実習の受け入れ先からの強い要請（圧力）により、遠隔授業にしなければならない等、大学の意思・意図にかかわらず、如何ともし難い事案もある。		
135 桜の聖母短期大学							①ほぼ全員が理解			
136 いわき短期大学							①ほぼ全員が理解	周知連絡の徹底（授業内アナウンス・メール連絡・保護者会時の説明など）		
137 福島学院大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	後期授業の方針の周知後、問い合わせや関連する文庫が発生していない。		社会の状況を確認・予測しながら、できるだけ早い段階で判断・周知する。
138 福島工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学生から、特に苦情などは来っていない。		特になし。
139 茨城大学	②③④		①②③		①④⑤		②大多数が理解	全体的な把握を目的とした調査は実施していないが、授業アンケート説明に「あなたは遠隔授業において十分な学習ができましたか？」を設けており、科目によって差はあるが、80%弱～90%弱が「そう思う」「ほぼそう思う」の肯定的な回答をしている。また、説明「この授業に全体として満足しましたか？」では80%強～90%弱が「十分に満足」「概ね満足」と回答している。		引き続き授業アンケート、学生生活調査等の実施・分析、学長や学部長等と学生の意見交換などを実施するとともに、授業実施方針等を積極的に公開する。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
140 筑波大学	②④⑤	オンライン授業教員支援ポータルサイトを開設し、オンライン授業実施に必要な情報を提供している。	①②③		①②④⑤		②大多数が理解	学生アンケートなどにより、定期的に学生の意見に耳を傾け、また、学生に向け随時通知を発信しているため。		特に新たな事項はないが、昨年度に引き続き、活動形態を変更する場合等には、学生に向け丁寧な情報を発信していく。
141 筑波技術大学	①②④		①②		③④⑤		②大多数が理解	「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための本学の活動方針」を策定するとともに、感染症拡大状況に応じた授業形態の変更や注意喚起について、大学中などで周知し、また、学部長から学生へ説明を行っている。コロナ禍における授業・生活両面における相談窓口を設けているが、2学期の授業形態に関する大学の方針についての意見等はこれまでに寄せられていない。また、1学期に対面授業を実施する際に学生へ授業形態の希望調査を行い、学生の意向を把握するとともに、遠隔授業を希望する学生がいた場合は、遠隔授業を併用する等の対応を各教員へ義務付けている。		既に学生への説明を行っており、現時点では説明などの取組計画はない。
142 茨城県立医療大学	①②④		①		①③④⑤		④把握していない	全学生の理解・納得の状況を把握するための調査等を行っていないため把握できていないが、苦情等は受けていない状況である。		学生と大学教職員との懇談の場等を活用する予定。
143 茨城キリスト教大学	②③④		①		③④⑤		②大多数が理解			
144 常磐大学	②③④		①③		②⑤		②大多数が理解	2021（令和3）年度前期（春セメスター）に実施した「授業アンケート」（全学生対象）において、授業に対する総合的な満足度について質問したところ、「非常に思う（非常に満足している）」または「ある程度思う（ある程度満足している）」と回答した学生の割合は、回答者全体の83.0%であったことから、2021（令和3）年度後期（秋セメスター）においても同様に、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施することについては、おおむね大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。		遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるような丁寧な説明・情報提供に努める。また、学生の要望や意見を取り入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理をし、教員等に対して周知を行う。
145 つくば国際大学	②③④		①②④	オンライン授業に関するアンケートを学生に対し行い、教員にフィードバックする。	①③④		②大多数が理解	対面を希望する学生と、逆の学生と様々ではあるが、オンライン授業アンケートを行い学生の認識を確認したり、学内メールシステムを利用するなど周知に注力してきた。	新入生の中には対面再開を恐れる者が、ごく少数いるようであった。	対面再開にともない、ガイダンスの機会の増加、注力をする予定
146 筑波学院大学	①②③		①②		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業の形態を含むコロナに対する本学の対応を全学生に対しメールで発信し、疑問等については個別に対応している。		今後も本学の新型コロナウイルス感染症に対する方針をきめ細やかに学生に発信し、理解を得ていく予定である。
147 日本ウェルネススポーツ大学	⑤	特になし	①		⑥	特になし	①ほぼ全員が理解			
148 茨城女子短期大学							①ほぼ全員が理解	学習意欲が高まり、学生同士の交流や意見交換ができることや、その場で教員に質問ができることで理解度が高くなると感じていることが理由である。		
149 つくば国際短期大学	②		③		①		①ほぼ全員が理解	コロナ禍の状況であっても、状況を踏まえ、対面授業を基本としていることは学生も理解している。	学年においての差異は無い。	実習先の状況により、実習期間が変更となる場合に受講できない科目において、科目担当教員がそれぞれ配慮をし、内容を補填している。
150 常磐短期大学	②③④		①③		②⑤		②大多数が理解	2021（令和3）年度前期（春セメスター）に実施した「授業アンケート」（全学生対象）において、「自分にとっての」授業の意義について質問したところ、「強く思う（非常に意義があった）」または「やや思う（ある程度意義があった）」と回答した学生の割合は、回答者全体の82.9%であったことから、2021（令和3）年度後期（秋セメスター）においても同様に、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施することについては、おおむね大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。		遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるような丁寧な説明・情報提供に努める。また、学生の要望や意見を取り入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理をし、教員等に対して周知を行う。
151 茨城工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学生と保護者に向けて、令和3年度後期の授業に関する方針を、国の緊急事態宣言及び茨城県非常事態宣言発令時等並びに宣言の解除決定時に、本校HPへの掲載や学生に付与したGmail宛に発信している。その発信内容に対して、学生及び保護者からのクレームはほぼ無い。	特になし	特になし
152 宇都宮大学	①②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	ホームページや学生が必ず目にする媒体を通じて周知している。なお、アンケート結果では、各授業形態の満足度が70～90%を示している。		引き続き、コロナ禍における学生へのアンケートを実施し、その結果を踏まえて授業に関する方針等を決定する。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
153 足利大学	①②④		②③		③④⑤		②大多数が理解	国や県から発信される感染状況に応じた方針に変化が生じる都度、それに伴う大学・学部の授業方針等を学生が登録している常用のメールアドレスにメッセージとして発信しているが、その内容に対する問い合わせは種少数であるため。		①オフィスアワーを積極的に活用する旨の案内を行う。②感染症対策を徹底し、対面形式での学修支援を両立する。③3年度に向けた対面授業拡大に関する案内を行う。
154 白鷺大学	①③④		①②③		②③④		④把握していない	後期についてのアンケート調査は行っていない。期末に行う予定である。		遠隔授業に対してのアンケート調査
155 作新学院大学	①③		①		⑤		②大多数が理解	学校の方針（周知事項）に対しての質問状況から理解、納得していると受けとっている	特になし	履修にあたっての重要な事項については、継続的に学生へ周知をはかっている
156 国際医療福祉大学							①ほぼ全員が理解			
157 宇都宮共和国							②大多数が理解	後期の授業開始にあたりアンケートを実施したところ、一部に遠隔授業を希望する回答があった	特になし	引き続き感染対策を実施する
158 文星芸術大学							④把握していない			
159 自治医科大学	②		①②③		①④⑤		②大多数が理解			
160 獨協医科大学							④把握していない	授業方法等に関するアンケート等を実施していないため。	特になし	未定
161 佐野日本大学短期大学							①ほぼ全員が理解			
162 宇都宮短期大学							②大多数が理解	後期授業開始にあたりアンケートを実施。一部の学生に遠隔授業を希望する回答があった。		引き続き感染対策を実施いたします。
163 國學院大学栃木短期大学	②		①		④⑤		①ほぼ全員が理解	学生への質問・回答により		
164 作新学院大学女子短期大学部	②③		②		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学校の方針（周知事項）に対しての質問状況から理解、納得していると受けとっている	特になし	質問があった際、随時対応する
165 足利短期大学	②		②		③⑤		①ほぼ全員が理解	丁寧な説明と情報提供を行い、学生からの質問を受け付けた。		
166 宇都宮文星短期大学							④把握していない			
167 小山工業高等専門学校							②大多数が理解	・低学年（1学年、2学年）に対し、授業実施形態についてのアンケート調査を実施し、遠隔授業についてもほぼ全ての学生が対応できていること、また、面接授業またはどちらでもよいと答える学生が1/4程度いることを確認した。・授業実施方針について、学生および保護者に向けて、ホームページや保護者会等で説明するとともに、ホームページでも周知しており、現段階で学生からの質問や意見はない。・時間割編成において、実技・実習・実験系の対面が必要な科目を生じた学年別登校が可能な時間割を作成し、授業実施形態のスムーズな移行ができるように工夫した。また、これについて全教職員に説明し、学生からの質問等に対応できるように備えているが、今のところ、質問や意見はない。	特に顕著な差はない。	・授業実施の基本方針についての丁寧な説明・感染状況を含め、社会状況の各ステージに対する対応の目録の明瞭化および周知・ホームページ、ホームルーム、保護者会、後援会などの多面的な周知・学生の意見や質問をキャッチするために、学生相談室、学習支援室、キャリア支援室からなる総合学生支援センターが、担任や各教員と互いに連携
168 群馬大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学では、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、学生の安全を第一に考え、本学の機会を確保するためオンラインによる授業実施を決定したことについて、学長メッセージをはじめ、教務システム、大学ホームページ等を通して学生全員に理解と協力を求めた。なお、授業等の改善を図るため、学生全員に振り廻りアンケート調査を依頼し、オンライン授業（Zoom）を利用した授業や、学習支援システム（moodle等）を利用した授業等の満足度を調査し、回答した学生の大多数の学生が「満足している」「どちらかといえば満足している」との結果を得ている。また、オンライン授業を主とする授業の実施に関する「学生と教員によるオンライン座談会」や「学長と学生との懇談会」においても授業科目ごとの課題の提出、通信機能のトラブル、図書館の利用及び課外活動の制限等の意見は寄せられたが、授業形態及び授業内容に関する否定的な意見は、特になかったため、学生の理解が得られていると考えている。	特になし	学長メッセージ、教務システム、大学ホームページにより学生全員に理解と協力を求める。
169 高崎経済大学							②大多数が理解	少しでも早く後期の授業実施方針を伝えるため大学から学生に対し、令和3年7月14日付で後期に引き続き面接授業を原則とすることを伝えた。その際には面接授業に反対する学生からメールや電話があった。そのため令和3年9月8日付で改めて学長から学生に対し、決定に至った経緯も含めた丁寧な通知と送付し、学生の理解・納得が図られるよう努めた。その結果、現在では学生から反対のメール等は届いていないため、大多数の学生が理解・納得していると考えている。	特になし	特になし
170 前橋工科大学							①ほぼ全員が理解			
171 群馬県立女子大学							①ほぼ全員が理解	令和3年7月に本学HPにて方針を示し、学生に周知し、理解をいただいた。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
172 群馬県立県民健康科学大学							④把握していない			
173 青英大学							②大多数が理解	学生への授業調査の結果をもとに回答		掲示、メール等で方針等を周知予定
174 桐生大学							②大多数が理解			
175 群馬バース大学							①ほぼ全員が理解	本学調査にて遠隔授業を希望している学生は全体の3%弱であったため。		
176 群馬医療福祉大学							①ほぼ全員が理解	学生からの授業形態に関する要望もなく、特別な事情がある学生に対しては個別に対応しているため。		
177 高崎健康福祉大学	②		②		①②③④⑤		②大多数が理解	早い時期から学生に対し伝達しており、授業方針に関する異論特になし がてしていない。		学生専用のポータルサイトやメールを使用して必要な情報は迅速かつ適切に返信する。
178 高崎商科大学	②③		①②③		②③④⑤		④把握していない	大学では県内のコロナウイルス感染状況や待機状況より、授業の実施方法や課外活動等の方針を出している。その際に学生・保証人には丁寧に本学の状況・方針を伝え理解を求めており、授業の実施方法について学生の理解・納得の状況を把握する必要はないと判断しております。		県内のコロナウイルス感染状況や待機状況等より、授業の実施方法や課外活動等の方針を出し、学生・保証人に丁寧に本学の状況・方針を伝え、引き続き理解を求めていきます。
179 上武大学	②		②		①		④把握していない			
180 関東学園大学	②		②		⑤		①ほぼ全員が理解	特に学生から授業形態について要望はなく、面接授業、遠隔授業を兼ねて受講している		
181 共愛学園前橋国際大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	危機対応レベルに沿っての方針が大学として一貫しており、危機レベルに合わせて、学生にメールやwebで周知するため。		
182 群馬医療福祉大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	学生からの授業形態に関する要望もなく、特別な事情がある学生に対しては個別に対応しているため。		
183 東京福祉大学短期大学部	①②③		①②		⑤		②大多数が理解	学生にアンケートを実施した結果、遠隔のみ又は遠隔・対面併用を希望が多数だったため。		
184 高崎商科大学短期大学部	②③		①②③		②③④⑤		④把握していない	大学では県内のコロナウイルス感染状況や待機状況より、授業の実施方法や課外活動等の方針を出している。その際に学生・保証人には丁寧に本学の状況・方針を伝え理解を求めており、授業の実施方法について学生の理解・納得の状況を把握する必要はないと判断しております。		県内のコロナウイルス感染状況や待機状況等より、授業の実施方法や課外活動等の方針を出し、学生・保証人に丁寧に本学の状況・方針を伝え、引き続き理解を求めていきます。
185 新潟学園短期大学	②③④		①②③		③④⑤		②大多数が理解	2021年9月実施、学修状況調査アンケートの「遠隔授業に対してのコメント欄」から理解を・納得を得られていることを確認		
186 桐生大学短期大学部							②大多数が理解			
187 共愛学園前橋国際大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
188 青英短期大学							②大多数が理解	学生への授業調査の結果をもとに回答		掲示、メール等で方針等を周知予定
189 群馬工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
190 人間総合科学大学	①②③		①		⑤		②大多数が理解	特に不満足は届いていない		
191 埼玉大学	①②③④		①③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業に関する方針が決まり次第、ホームページ上で公開しており、学生からの問い合わせがあった場合にもできる限り対応してきていることから、理解してくれているものと考えている。		授業に関する方針について早期に決定し、周知を図る。
192 埼玉県立大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業方針について、学長からのメッセージ発信や学生への通知(メール、ホームページ等)で広く周知している。また、個別の問い合わせがあった場合も、必要性について丁寧に説明することで納得いただいている。		引き続きホームページやメールでの周知、学生と教員の面談時など情報提供を行い、あらゆる機会を用いて学生の理解が得られるよう取り組んでいく。
193 日本医療科学大学	②④		①②③		④		①ほぼ全員が理解	ポータルサイト・HPを使い学生に周知・徹底を図っている。 なし		学生の必要なものを提供するべく学生支援を行い食料や感染防止に関わるものなどを支援する
194 日本薬科大学	①②⑤	遠隔授業、面接授業ともにはあるが、ICTによる動画等の機能を活用した事前課題の付与等により、予習型授業を推進している。	①②③		①②③④		①ほぼ全員が理解	キャンパスライフアンケートを実施し、学生の回答から学生の理解・納得の状況を確認しています。	特にありません。	今後の結学期(後期試験の開始前、来年度前期授業の開始前等)に、試験・授業等の方針を丁寧に説明し、学生・保証者からの質問等にも速やかに対応することに努めたいと考えます。
195 武蔵野学院大学							①ほぼ全員が理解			
196 浦和大学							④把握していない			各科目の授業の内容と方法については、学習支援機器を使い、授業回ごとに知らせるようにしている。
197 ものつくり大学	①③④		②③		②③④⑤		②大多数が理解			
198 共栄大学	③		①③		①③⑤		②大多数が理解	前期に実施したアンケート調査では、遠隔授業の満足度が高く、後期も理解・納得した上で取り組んでいるものと推測している。		授業実施形態に関する説明、情報提供。
199 埼玉学園大学	②		①		②④		①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを学生に周知し、対面授業を行っているが、学生から不満・不感の声は特に上がっていない。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
200 尚美学園大学	①②		②		②③④⑤		②大多数が理解	学生ポータルシステムを必ず毎日確認するよう指示し、ポータルから常時、学生の理解を深める情報を配信すると共に、教員によるアドバイザー制度を採用し、高等学校までと近い環境を作っているため。		
201 西武文理大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	後期授業の開始にあたり、各学年毎に学部長から学生に向けて、授業に関する方針を説明致しました。		
202 十文字学園女子大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学は昨年度後期開始時から、分散登校によるハイフレックス型授業を実施しており、学生には年間の登校スケジュールを予め特になしめ連携してあるため。		特になし
203 平成国際大学	②④		②③		⑤		②大多数が理解	基礎演習（1・2年次生必修科目）、研究会（3・4年次生必修科目）の担当教員が受講学生へ理解や納得しているか確認をしている。		引き続き基礎演習（1・2年次生必修科目）、研究会（3・4年次生必修科目）の担当教員が受講学生への理解や納得しているか確認し、より一層説明を深めていく。
204 東京国際大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	感染状況を鑑み、令和3年7月に学生全員に対して、令和3年9月から前期同様再開する方針であることを周知し、態度、補足の情報をお知らせしている。また、留学生に対しては、別途、案内を出すなど、学生の状況に応じた対応により、一定の理解を得られていると思われる。		感染状況を鑑みながら、必要に応じ授業や試験に関する情報を学生に案内し、理解を得られるようにする。
205 城西大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	各々の授業において、担当教員が常時、学生の授業参加状況を把握するよう定めている。	特に理学部や薬学部の実験実習については、授業形態を学生が理解した上で、面接授業を行っている。	学生アンケートを実施し、次年度の授業実施方針に生かす予定である。
206 東邦音楽大学							①ほぼ全員が理解	学生オリエンテーションを通じ全学生（教員）に説明を実施しています。		学生オリエンテーション、Website等を通じ、状況の変化に応じ常に情報発信を実施する予定です。
207 獨協大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度秋学期授業の方針について、学長等からのメッセージをホームページに掲載し、かつ学生個人に対してはポータルサイトを通じて一人一人に周知を行っています。		大学の方針等について、学長等からホームページで発信し、かつ学生個人に対しては、ポータルサイトを通じて周知を行います。また、学生へのアンケートを継続して実施する予定です。
208 日本工業大学	②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生アンケート等を勘案し、令和3年度における授業の方針を2月中に発出し、学生に理解を求めている。それに対し、授業の形態等に関する意見は、ほとんど寄せられていない。		感染状況等を勘案し、授業運営の方針に変更が生じる場合には、ホームページやポータルサイト等を通して、速やかに周知することとしている。
209 埼玉医科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	前年度と比較して面接授業の比率が増えたため。また、学生に学内ポータルサイトを通じて現在の授業形態について定期的に発信している。		学内ポータルサイトを通じて授業の取り組みについての情報発信を行う。また、学生アンケートを実施予定である。
210 埼玉工業大学	①②		②		④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度前期授業の方針について、学長や教務部長からのメッセージをホームページに掲載し、かつ全学生と保護者に対してはポータルサイトを通じて一人一人に周知を行い、学生向け質問窓口（フォーム）での問い合わせ内容に、授業形態に関する問い合わせがほとんどなく授業を開講できた。この状況下における対応として大多数の学生が理解・納得していると認識している。また、やむを得ず、大学へ進学できない等の事情がある学生については、本人からの申し出により相談を受け個別に対応している。		
211 駿河台大学	①②③		①③		①②④⑤		④把握していない	昨年12月の段階で2021年度授業の基本方針をホームページやポータルサイトで周知している。しかしながら、2021年度授業の基本方針について学生アンケート等の手段による確認は行ってないため。		可能な限り対面型の授業実施を行うことを基本とするが、受講者が一定数を担える授業や通常の定員を減らした教室の状況により、遠隔授業や面接授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型の授業を行うこととしている。今後は感染状況も踏まえながら、学生同士や学生と教職員間の交流の機会を増やす等の取り組みも検討していきたい。

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
212	聖学院大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	2021年3月時点で2021年度授業運営方針を示したうえで、春学期の履修登録前にガイダンスと個別履修相談を実施し、文章による全体周知と個別相談の機会を設けた。本取組は秋学期授業開始前にも実施し、学生への説明に努めた。		
213	女子栄養大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
214	日本保健医療大学	①②		②		①⑤		②大多数が理解	演習科目、実習科目は原則面接授業という方針を学生に周知したため。		授業の運営方針について周知を続けるほか、ワクチン接種等の対策について正確な情報を発信する。
215	文教大学	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	コロナ禍2年目となり、感染拡大防止のためにも大規模授業や朝になりやすい授業形態のものは対面以外での実施方法をせざるを得ないことについて、学生の理解が深まった。また、教員もオンラインへの理解・習熟度が高まり、より教育内容を提供できる体制がより整ってきている。また、大学としても対面授業時に感染防止対策の充実や対面で参加できない学生へのサポートなどを進めてきている。これらの複数の要因から学生からの授業体制等に対する不満・疑問などは昨年度に比べ大幅に減ってきていることから、この回答とした。	学部・学年による差異などを客観的に把握し、判断できるだけの材料はない。	
216	大東文化大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解			
217	武蔵野短期大学							①ほぼ全員が理解			
218	埼玉純真短期大学							①ほぼ全員が理解			
219	城西短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	各々の授業において、担当教員が常時、学生の授業参加状況を把握するよう定めている。		学生アンケートを実施し、次年度の授業実施方針に生かす予定である。
220	国際学院埼玉短期大学	①②③④		①③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	前期授業アンケートにおいて、学生から積極的の回答を得ている。		引き続き、丁寧な対応を続けていく。
221	浦和大学短期大学部							④把握していない			各科目の授業の内容と方法については、学習支援機能を使い、授業回数に知らせるようしている。
222	秋草学園短期大学							①ほぼ全員が理解	事前に学生に丁寧に説明しているため、学生も納得している。		
223	川口短期大学	②		①		②④		①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを学生に周知し、面接授業を行っているが、学生から不満・不安の声は特にならないうえに、		
224	埼玉医科大学短期大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	webクラス等を利用し、学生への周知を行っているため。		
225	埼玉女子短期大学							①ほぼ全員が理解			遠隔授業の高度化
226	山科学園短期大学							①ほぼ全員が理解			
227	武蔵丘短期大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートの結果は高評価であり、苦情等も挙がっていない		
228	埼玉東萌短期大学	②④		①②③		④⑤		①ほぼ全員が理解	学内サイトやメール配信、クラスホームルーム等で丁寧に説明を行うとともに、学生・保護者宛に文書でも丁寧に説明を行った。		
229	流通経済大学	①②		①②③		③⑤		①ほぼ全員が理解	学生から特に意見がない為	-	-
230	明海大学	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	授業内における学生からの聴取及び授業評価アンケートの結果から、大多数の学生は授業の形態等について理解・納得していると判断した。		授業実施形態について、学期開始時に学生に対してわかりやすく説明するとともに、面接授業の遠隔受講対応等、きめ細かく対応しており、今後も継続していく。
231	東都大学	①②		①②		①⑤		①ほぼ全員が理解	学生からの意見（授業アンケート等）をみて	特になし	特になし
232	千葉大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度前期にアンケートを実施し、現行の方式となったことで授業コンテンツを繰り返し見ることができるところから授業の理解が進んだといった意見や、自分のペースで受講できるため理解が深まったなど、新たな授業形式を活用している点を確認できているほか、授業への参加にあたり、個別の事情により、授業方法への配慮を申し出る学生に対しては、大学と学生とで授業の形式を検討するなどの対応を行っている。		引き続き、全学のホームページやメディア授業サイト、各科目のシラバス等を通じて、授業の実施方法等を丁寧に説明していくほか、通信環境の確保が困難な学生については、モバイルルーターの貸与を継続して行うこととしている。

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
233 千葉県立保健医療大学	①②③		②③		②③④		④把握していない	学生に対して、3-7のような調査を実施していない		
234 千葉経済大学	②③		③		④⑤		④把握していない	学生へは掲示板や一斉メール等でお知らせしており、理解納得の状況を把握する方法を用意していないため		令和4年4月から学生ポータルシステムを導入しITを使って学生情報を入力できるよう取り組んでいる
235 千葉科学大学							①ほぼ全員が理解			コロナの感染対策をしっかりと行う。
236 愛国学園大学							②大多数が理解	年度末に実施した教育環境についての学生アンケートでもリモート授業に対する要望がほとんどなかったことから現在の授業形態に概ね満足していると判断したため		特になし
237 開智国際大学							②大多数が理解			
238 清和大学	①②③④		①②③		①④⑤		①ほぼ全員が理解	履修登録時に授業形態を提示している	学生や保護者・保証人に対する授業実施形態に関する案内全てに問い合わせ（相談）先を明記しているが、昨年度と比べ授業形態に関する問い合わせがほぼ皆無である	
239 城西国際大学	①②		①②③		③④⑤		②大多数が理解	学部毎にアドバイザーを通して、確実に情報が伝わるよう取り組んでおり、その際に出た個々の質問に対して丁寧に回答するようにして、理解を促している。また、基礎疾患を抱えるなど、特別な事情を抱える学生に対し、申請によるオンライン授業の実績が継続できるようにしており、学生の様々な状況に合わせた対応をしている。		既に各アドバイザーによる確実な情報の周知や、様々な事情を抱える学生に対応する取り組みをしており、引き続き、学生からの質問に対して、丁寧に回答できるようにしていきたい。また、ハイフレックス型の授業をよりよくするための機器の整備やFD等を通じた授業の質の向上に取り組んでいきたい。
240 淑徳大学	①②③		①②③		①②③④⑤		④把握していない	大学のポータルシステムを使用し、全学生に向けて次年度の授業方針を配信しているが、学生の理解・納得の状況を把握するための調査は実施していない。	学生の理解・納得の状況を把握するための調査は実施していない。	・新入生オリエンテーション等の行事及びアドバイザーによる指導の機会を利用した説明 ・大学のポータルシステムを使用し全学生向けの調査 ・こまめな情報発信に努め、窓口での直接対応以外の方法（メール・郵送等）により事務手続きの受付を行う
241 敬愛大学	①②		②③		①⑤		①ほぼ全員が理解	後期授業方針を学内ポータルシステムにより発信（メール&掲示）。また、後期ガイダンス（オンライン）にて周知。本件に関する学生問合せはなし。		
242 千葉工業大学	②③		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学では、令和2年度の前期から工科系大学として、対面による授業の重要性を認識し、多様な工夫を取り入れて、いち早く対面授業の開講をおこなってきました。そのため、全授業科目を対面で行っている授業アンケートでは、コロナ禍前よりも授業満足度が向上しています。また、対面率を増加することに授業理解度も向上しており、本学の取組が学生に受け入れられています。さらに、今後の授業運営を見据えて、いち早くクォータンの施設整備を行っており、学生が安心して学修できる環境整備に努めています。		教育効果を十分に加味した授業形態の選別については、更に精度を高めてきたいと考えています。そのために、シラバスの再編成や授業形態別の授業の在り方を、大学としてより教育の質を担保できるように努めていく予定です。
243 千葉商科大学	①②③④⑤	変化するコロナ情勢の状況と教育体制に臨み、どのような通開授業方法が教育の質確保として適切か、各情報系の教員と教務担当職員が一体となり毎学期開始前に検討し、本学独自の通開授業実施要領を作成している。	①②③④	通開授業のうち、オンデマンド方式の授業については、学生とのコミュニケーションを損なうことがないよう、教員は授業時間内・質疑応答に対応できるよう待機することを必須とし、双方向を担保している。	①②③④⑤⑥	1年生必修のゼミナール授業の各クラスに担当職員を配置し、学生の悩みや不安を解消できる体制を敷いている。	①ほぼ全員が理解	学生には、状況に応じた授業方法や学生生活について「学長メッセージ」を定期的に配信し説明を行っている。また、詳細は学長メッセージと連動して教務課が丁寧に説明している。学部や学年における差はない。説明後に疑義の連絡はないことから、理解を得られていると考える。		学生へのアンケート調査を行い、改善の要素がある場合は検討する。
244 中央学院大学	①②③④		①②③		①③④⑤⑥	学生相談室・学生サポートセンターがオンライン面談等の機会を提供しており、学生生活に不安を抱えている学生に対する支援を実施している。	②大多数が理解	前期終了後に実施した学生アンケートにおいて、後期の授業形態について学生がどのような希望を持っているかを問う設問で学生の意見を収集、確認し、危機管理対策本部で情報共有を行い、後期の授業形態を決定する際の判断材料とした。10月10日（月）から対面授業を始めるにあたり、対面授業に不安がある学生からは通開授業の受講希望を付け付けており、引き続き配慮を行う予定である。	感染状況が収束傾向にあるため、全体の80%以上の科目については対面授業に戻す予定である。その上で基礎疾患のある学生や通学に不安のある学生等については通開での授業受講を望んでいるため、特に大学への要望（否定的な意見）は寄せられていない。	今年度前期と同様に、授業終了後に学生アンケートを実施する予定であり、例年の授業評価アンケートも実施する。同じく教員に対しては授業実施状況アンケートも予定しており、必要に応じてポータルサイトのアンケート機能を利用して各種の調査も検討する。
245 麗澤大学	③④		②				④把握していない			
246 和洋女子大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	9月10日に履修ガイダンスを実施。感染状況の悪化により対面での実施ができなかったが、収録授業やパワーポイントを用いた丁寧な履修について周知している。また、不明点を申し出た学生については個別に教職員が相談・対応している。	特定の学部等や学年において理解・納得の度合いに差異があるという状況はないものと把握しています。	
247 国際武道大学	①②		①②		②⑤		④把握していない			
248 神田外語大学	①②③④		①②③		①②③④⑤⑥	令和2年度の入学生は、昨年度入学式が出来なかったため、令和2年10月に新入生歓迎会としてイベントを開催した。	②大多数が理解	学生からの問い合わせや質問では、特に不満が多く出していないため。		学生に対して丁寧な説明を行う。
249 秀明大学	①②③④		①②③		⑤		①ほぼ全員が理解			
250 川村学園女子大学							④把握していない	後期の授業方針について周知しているが、意見の聴取は行っていない。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
251 東京情報大学	①②		①②		②④⑤		②大多数が理解	前期末に実施したアンケートの中で「後期もこの授業と同じ方法でオンライン授業を実施したいか」という質問をし、約66%が「とてもそう思う」「そう思う」という回答であったため。		現時点では予定なし
252 東京基督教大学	①②③④		②③		②③④⑤		②大多数が理解			アンケートの実施、学長メッセージの配信、学生との懇談会の実施
253 聖徳大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	コロナ禍以前と比較して、中途退学者が減少している。遠隔授業に関する学生からの意見では、「繰り返し授業の振り回りができること」「自分のペースで進められること」「実技について教室で受講するよりも細かい動きを把握できたりしやすい」等、多くの学生から肯定的な意見が出されている。		新入生に対しては、感染防止対策を講じたうえで、従前から本学独自の取り組みとして実施している学外研修を、今年度も日帰りで行う。この研修では「チームワーク力」「コミュニケーション力」「企画力」「課題解決力」「自己管理能力」「達成感」を得ることができると実施する方向で進めている。次年度も授業開始前にはオリエンテーションを対面で実施し、学部ごとに詳しく説明するとともに、学生同士及び教員との交流と機会としても活用する。
254 江戸川大学	①②③		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートの結果について、2019年度から2021年度までと比較し、「総合的に見て、この授業を他業や他の人に勧めたい」という項目の回答が同等または向上していることから、特定の学部や学年で差異はないと考えています。大多数の学生は授業の形態について理解・納得していると考えています。		新型コロナウイルス対策として、本学キャンパスを会場とした大学職員研修を10月10日までに実施完了しました。研修は学生の希望者全員を対象に行っています。また、このワークショップを体験した学生の免状獲得がなされる11月以降、地域の感染状況を見ながら、一部の科目での対面授業の増設ができないかを検討しています。一方、新型コロナウイルスの影響でオンライン受講に受講方法に限られる学生もいることから、並行してオンライン授業の実施も行っています。
255 了徳寺大学							①ほぼ全員が理解	大学の考え方をHPや一斉メールにて学生へ繰り返し説明を行っており、個別の疑義や意見に対しても丁寧に説明回答を行っている。		HPや一斉連絡による説明周知を行いながら、今後とも個別の疑義や意見に対しても丁寧に向かい合っていく。
256 樟草学園大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
257 三育学院大学	②③④	×	①②	×	④	×	①ほぼ全員が理解	校舎を変更したり、理解・納得していなければ授業を受けられない状況にあるため、ほぼすべての学生が理解している。	×	×
258 亀田医療大学	②③④		①②③		②③④⑤		④把握していない	遠隔授業の満足度、実態調査を行い、次年度の改善に向けての取り組みを行っているが、方針の理解・納得については把握していない。		特になし
259 東邦大学	②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生に対して大学ウェブサイトや学内ポータルサイト等を通じて丁寧な説明を行っている。また、学生からの相談体制も設け、丁寧な体制構築、対応に努めており、授業形態に関する不支持の意向や苦情等は多くなく、また、あった場合も説明の上、納得をいただいている。		
260 千葉経済大学短期大学部							④把握していない	学生へは掲示板や一斉メール等でお知らせしており、理解納得の状況を把握する方法を用意していないため		令和4年4月から学生ポータルシステムを導入しICTを使って学生情報を入手できるよう取り組んでいる
261 千葉明德短期大学	③④		①		②③④⑤		②大多数が理解	後期授業前にガイダンスにて説明を実施した。各科目の初回授業にて、各担当から形態等について説明している。		
262 昭和学院短期大学							①ほぼ全員が理解	2021年度大学生調査で、授業に対する満足度が95%を超えている。		特になし
263 聖徳大学短期大学部	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	コロナ禍以前と比較して、中途退学者が減少している。遠隔授業に関する学生からの意見では、「繰り返し授業の振り回りができること」「自分のペースで進められること」「実技について教室で受講するよりも細かい動きを把握できたりしやすい」等、多くの学生から肯定的な意見が出されている。		新入生に対しては、感染防止対策を講じたうえで、従前から本学独自の取り組みとして実施している学外研修を、今年度も日帰りで行う。この研修では「チームワーク力」「コミュニケーション力」「企画力」「課題解決力」「自己管理能力」「達成感」を得ることができると実施する方向で進めている。次年度の授業開始前にはオリエンテーションを対面で実施し、学科ごとに詳しく説明するとともに、学生同士及び教員との交流と機会としても活用する。
264 清和大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	履修登録時に授業形態を提示している	学生や保護者・保護人に対する授業実施形態に関する案内全てに問い合わせ（相談）先を明記しているが、昨年度と比べ授業実施形態に関しての意見や問い合わせがほぼ皆無である	特になし
265 千葉敬愛短期大学							①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染拡大の防止		
266 東京経営短期大学							①ほぼ全員が理解			
267 樟草学園短期大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
268 水産工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
269 東洋学園大学	③④		③		①③⑤		②大多数が理解	所在地が東京のため、通学に不安を感じる学生がいる一方でオンライン授業には馴染めない学生がいるなど学生の感じ方は多様である。		春学期に引き続き、対面授業であっても基礎疾患や特段の事情がある学生は、オンラインで受講できるように申請ができるなど、学生の状況に応じて対応する。
270 創価大学	①②③		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	授業の実施方針については、学生・教員・職員代表による全学協議会を定期的に開催し、学生の意見を必ず聞くようによりており、意思疎通が図れるように努めている。方針の発表については、大学や、学生向けポータルサイト、大学が発行する個人宛のメールにて周知を行っている。発表された方針をはじめ、日常の問い合わせは、恒常的に設置されている問い合わせフォーム等から受付を行っており、内容によって必要な部署とも共有し対応を行っている。		3-8の取り組みを継続的にを行い、学生第一の大学運営に努めます。
271 東京大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	全学生対象のアンケート等は実施していないものの、総長と学生との対話を通じ、大学の考えを伝える機会を設けるとともに、現状に対する要望はあるものの現状について一定の理解を得ていると捉えている。	学部や学年による差異は把握していない。	現時点で具体的な取り組みは予定していないが、各学部等における学生間、学生・教員間の交流機会やネットワークづくりの取り組みなどを通じ、学生の理解を得られるように努める。
272 東京医科大学	①②③④		①②③		①②③④		②大多数が理解	学内外のHPへの掲載や全学メール等で、新入生及び在学生に対して、令和3年度の授業方針を早くから周知しており、大多数の学生が授業の形態等について理解している。		
273 東京外国語大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	・ホームページや学務情報システムを通じて、令和3年度後期の授業形態を案内している。・新型コロナウイルス感染症による履修リミットが大きい基礎疾患等を有する学生に対して配慮のうえ、授業を実施している。		・ホームページ等を活用して、情報の充実を図る。・学修相談窓口として設置しているアカデミック・サポート・センターの活動を通じて、理解を得る。
274 東京芸術大学	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	定期的に学生に対してアンケート調査を行っており、その回答から、大多数の学生が理解しているとの判断に至った。		
275 東京工業大学	②③④⑤	ライブ型の遠隔授業ではなく、オンデマンド型の遠隔授業のように双方向性が不足しづらい授業形態の場合については、その授業の質を保証するために各学院の教授会で授業方法等についてチェックする仕組みを全学レベルで導入している。ライブ型の遠隔授業では、録画したものを後日ストリーミング配信するようにして、学生がいつでも復習できる体制を整えている。	①②③④	・個別の問い合わせには、丁寧に回答している。	①②③④⑤		③大多数とは言えない	後学期の授業・学生生活について、オンラインで説明会を行ったが、大多数までとはいかなかったため。		・説明会の資料及び録画を一定期間、視聴できることとした。
276 お茶の水女子大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度前期終了時に実施した学生向けのアンケートにおいて学生の希望は基本オンラインが最大多数であり、授業の理解度・満足度は高く、理解を得られていると考えている。方針の決定については学生向けのメールマガジンにおいて周知と説明を行った。		今後も学生アンケート等により学生の授業満足度や要望を把握し、従前の学生向けメールマガジン・学修支援サイト、教育担当副学長主宰のオンライン説明会等で周知し、理解を求めていく。
277 東京学芸大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和3年8月に、学生・大学教員へ、「令和3年度後学期の授業のあり方」に関する方針を周知し、理解を得ている。また、授業担当教員は、個々のシラバスにおいて授業形態（対面又は遠隔）を明確に示し、教員と学生が事前に授業形態に関し意思疎通及び共通理解を図るとともに、学生に授業選択の機会を与えているほか、春学期に行った授業アンケートの結果を踏まえ改善を図っている。なお、本学は、学生同士、教員との交流は教育上重要な要素と考えており、学生の修学機会の確保のため、春学期同様に感染防止策を講じて原則対面形式で授業を7割程度実施する予定である。		引き続き、学生への丁寧な説明・周知を行い、更なる感染防止対策を講じる。
278 東京農工大学							①ほぼ全員が理解	大学のHPや学生向けの電子掲示板を通じて授業実施の対応方針を繰り返し丁寧に説明を行うとともに、授業の中でもそういった点を説明してきている。		今後も引き続き大学のHPや学生向けの電子掲示板、授業等を通じて授業実施の対応方針を繰り返し丁寧に説明する。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
279 電気通信大学	①②③④		①②③	令和2年度入学生向けに、学生ボランティアに依頼して「勉強仲間をつくる会」という対面イベントを開催してもらった。感染対策に気を付けながら小グループにわかれてスタンラリーをしたり、ディスカッションしたりする会で、137名が参加した。初めて会う学生も多く、会のお話グループで帰る様子も見られ、手応えを感じた。	①③④⑤⑥		③大多数とは言えない	つい最近「対面主体方式」への切替を学生に通知したところであるが、教室の学業から対面授業が全てという考えが大きな障りになるの否かはもう少し様子を見なければわからないため。	3-8でも回答したとおり、まだ切替を通知したばかりであるので、もう少し時間が経たないとこの質問には回答できない。	現段階では未定。
280 一橋大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度後期における現在の方針（感染拡大防止に万全を期しつつ、可能な限り数多くの科目を対面授業とする方針）については、学内ポータル・メール・大学WEBサイト上でこれまで繰り返し周知をし、感染拡大防止と学修確保の両者の両立に向けた取り組みへの協力要請をしている。その結果、これまでのところ、学生からの苦情等は起きておらず、秋・冬学期も引き続き現方針を維持することができている。		
281 政策研究大学院大学	②④		①②		②		②大多数が理解	秋入学学生に向けては、入学ガイダンス、在学生についてはメール等で未学のコロナ禍における対応を説明を行っている		教員向けにオンライン講義の習熟度を高めるためマニュアルの更新や、学生向けには通常実施している授業アンケートからオンライン講義に対する意見を拾い上げるなど、学生の意見を聞く取り組みを引き続き実施する。
282 東京海洋大学	②③④		①②③	遠隔授業実施前にアンケート調査を行い、学生が困っていることなどを把握し107サポート等が個別に対応したり、オリエンテーションの際に学生にパソコン等を持参してもらい、本学の教務システムへの接続やWi-Fiへの接続など、遠隔授業の実施に必要な基本的な設定等を行ったりするなど、遠隔授業開始前に学生の不安を払拭するよう努めた。	③④⑤⑥		①ほぼ全員が理解	これまでも緊急事態宣言の発出や東京都の感染状況等を踏まえ授業の形態等を変更する場合には、在学生やその父母等に対して本学ウェブサイトの専用サイトを通じて情報提供を行うとともに、在学生には教務システムを利用して情報メール配信を行ってきた。この教務システムを利用したメール配信は、学生が授業を履修する上で必ず確認しなければならない情報ツールであり、学生は全員が必ず認識している。また、それぞれに相談窓口を設けているが、これまでも特に学生からの質問等はなく、「ほぼ全ての学生が理解・納得している」とも考えている。そこで、令和3年度後期についても、同様の方法により周知を行っているため、「ほぼ全ての学生が理解・納得している」とも考えている。		今後についても引き続き、授業の形態等を変更する場合には、決定次第速やかに学生等に情報提供するとともに、学生にアンケート調査を実施し学生の更なる理解や納得を得られるよう努める。
283 東京都立大学	①②③④		①②③		④⑤		②大多数が理解	本学では2021年度前期より、授業形態を原則対面実施とし、かつ昨年度までの経験を踏まえ効果的にオンライン授業を活用する「新しい対面授業」を実施している。また、基礎疾患があるなどコロナ感染に不安を感じる学生に対しては大学に来ない選択を可能とし、体調不良を訴える学生に対しても届出により履修上の不利益が生じない策を講じている。このように、対面授業を実施すると同時に対面授業の受講に不安を感じる学生への対応策を講じていることから、大多数の学生は本学の授業形態等について理解・納得していると認識している。		授業実施方針を前年度中に周知し、次年度入学者も含め、本学の対応方針への理解を得られるよう取り組む。
284 東京都立産業技術大学院大学	①②③④		①②③		③④⑤		④把握していない	現段階では学生からの意見を把握する機会を設けていないため。		今後、授業評価アンケート等で、学生からの意見を随時確認し、必要に応じて授業方針の改善を検討していく。
285 東京福祉大学	①②③		①②		⑤		②大多数が理解	学生にアンケートを実施した結果、遠隔のみ又は遠隔・対面併用を希望する者が多数だったため。		
286 跡見学園女子大学	①②		①②		②③④⑤		②大多数が理解	学生へのアンケート調査を実施しているため。	特になし。	学生へのアンケート調査の実施。
287 文京学院大学							②大多数が理解	授業等を通じて寄せられた学生からの直接の意見を参考にしている。		大学としての方針・考えを、学長メッセージなどの形で積極的に配信する。
288 目白大学	②③		①②		①④⑤		①ほぼ全員が理解	HP等による大学の方針の周知、並びに授業担当者によるシラバスや授業内での説明により、学生への周知を徹底している。		本学独自のアンケート調査や学生との意見交換を実施する
289 東京成徳大学	①②③		①②		①③④⑤		②大多数が理解	前年度や今年度前期に調査を実施し、結果を基に「原則対面授業、一部遠隔授業」の方針を決め、授業を実施しているため。	特になし	学生調査を実施し、結果を基に、学生の理解を得られるような方針を今後も検討していく。
290 帝京平成大学							①ほぼ全員が理解	医療系の大学として実習・演習授業があるため、感染症対策に万全を期しながら対面式を基本として授業を実施していることを理解・納得している。		
291 青山学院大学	①②③		①②		①②③④⑤		③大多数とは言えない	面接授業中心に授業を運用する方針であるが、感染拡大の点から、遠隔授業中心の授業運用を望む学生も一定数存在する	特になし	特になし
292 上野学園大学	①②③④		①③		③⑤		①ほぼ全員が理解			学生、教員の意見等を把握するため定期的にアンケートを実施していく。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
293 大妻女子大学	②③④		①②③		③⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業形態の検討状況、結果についてを適宜、学生へ届けている中で、また前期の授業アンケートにおいても学生からの真摯な意見をほとんど寄せられていないため。		今後は対面授業主体となり、学生の登校機会が増加するので、クラス指導主任やゼミ担当教員との対話の機会を増やし、学生の理解・納得、安心感を深めていきたいと考えている。
294 学習院大学	②③④		①		①②④⑥	1.2年生も年に数回は面接授業を受ける機会を確保するために、1.2年生の多くが履修するような履修者数の多い科目についても、一度は面接授業を実施できるような機会を年度で4回設けている。また、学生相談室ホームページ上に「新型コロナウイルス感染症と心の健康について～今、この状況で出来ること～」を掲載し、メンタルヘルスに関する啓発を行うとともに、相談室利用を呼び掛けている。新入生の相談に対して相談員は、感染症拡大時に特種的な心の反応に注意して対応し、大学生活に関するあらゆる事について総合的な案内をする役割を担うようにしている。特に学業上の疑問については速やかに教務課や各学科につなぐようにしている。また生活や心身の状態に関しても積極的に尋ね、学生課・保健センター、外部関係機関との連携をとっている。	③大多数とは言えない	令和3年度前期に実施した授業評価アンケートにて、授業の実施方法(遠隔、対面、併用)について問う項目を設けた。アンケートに回答した学生の約78%が前期の実施方法のままでありと回答したが、大多数とは言えないと考える。	授業方針等の変更を行う際には、大学HP上にその旨を随時公表し、学生への周知を図る。	
295 共立女子大学							①ほぼ全員が理解			
296 慶應義塾大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	2021年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化を注意深く見守りながら、各キャンパスにおける適切な感染予防対策を引き続き実施しており、学生にも授業実施方針や感染防止ガイドライン等について、在学生向けウェブサイトや学生ポータル等を通じて丁寧に周知している。さらに、学生に向けて塾長からの動画メッセージ等も積極的に発信している。		今後も、在学生向けウェブサイトや学生ポータル等を通じて、丁寧な情報発信を行っている予定である。
297 工学院大学	①②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	・学生が自主的に授業の内容をシラバスや時間割表、LMSでそれぞれの授業毎に告知している「受講法説明書」等を確認の上、受講していることが伺え、特段問題が生じていないため。		
298 國學院大学	②③④		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	授業の形態等については、学内ポータルサイトやホームページ等をおして詳細な説明を行っている。また、電話・窓口・ホームページ等で学生からの質問・意見等も随時受け付け、丁寧な回答を心がけることによって学生の理解・納得が得られるよう常に努めている。		現在、面接授業の受講に際しては、感染対策を徹底する上で必要となる具体的な実施事項を記載した「対面授業受講の上での留意事項について」を作成し、学生には留意事項を遵守した受講を呼びかけている。また、遠隔授業の受講に際しても、「遠隔授業受講マニュアル」を作成し、遠隔授業の実施形態、受講に際して必要となる機材や受講方法、担当教員への質問方法などを学生には分かりやすく説明している。今後も、これらの取組みを継続的に行うとともに、「授業に関するアンケート」を年度単位で実施し、結果を分析・検証の上、次年度の教育活動に反映する予定である。
299 国士館大学	①②③		①②③		②④⑤		④把握していない			
300 駒澤大学	①②③		①②		①⑤		④把握していない	様々な要望に対応できる実施形態で行っているが、授業方針に関する苦情は、オンライン授業を希望する学生からも、面接授業を希望する学生からも受けているので、感覚としては3に近しいが、すべての学生の理解・納得の状況について把握するための施策は行っていないため、回答を4とした。		
301 実践女子大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生・保護者に対しては、8月30日に、後期授業については当初の予定どおり約7割の対面授業と約3割のメディア授業（オンデマンド型を中心）という原則は変更しないが、感染拡大の状況を確認した上で判断する旨のメッセージを事前に送っています。その上で、9月10日には、緊急事態宣言が延長したことに伴い、10月1日まで原則として対面授業をメディア授業に切り替える旨の、9月28日には緊急事態宣言の解除に伴い、当初の計画どおり約7割の対面授業と約3割のメディア授業とする旨のメッセージを送っています。これらメッセージに対し、一部の基礎単科がある学生から対応についての問い合わせはありましたが、それ以外に学生からの問い合わせはほとんどなく、大きな混乱なく授業は進んでいます。そのため、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているのではないかと考えております。		授業アンケート等により、学生の状況や意見を把握すると共に、カリキュラムアドバイザーによる履修相談等で丁寧に説明を行います。また適切に情報を発信し、学生の理解を得るよう努めます。

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
302 芝浦工業大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	通隔授業に関するアンケートを教員・学生に対して実施し、その結果、講義科目は通隔授業、実技実習科目は面接授業の方が効果が高いことが分かった。それを踏まえた授業運営方針を、各学生へ各自ポータルサイトを通じて、配信している。		
303 順天堂大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	●オンライン授業に関する学生アンケートの結果、多少の個人差はあるが、特にオンデマンド配信による授業形態は、自分のペースで学習できることや、繰り返し復習もできるなど好評であったこと。●後期授業がはじまり、通隔授業を行っているが、大きなトラブルなく運用できていること。及び、通年度の調査であるが、約7割の学生が通隔授業等の大学の対応に「満足」「やや満足」との回答実績があることによる。●授業形態等については学生用紙、学生用ポータルサイト（Juntendo Passport）をツールで配信し、周知が徹底されている。●後期授業開始前に学年ごとにオリエンテーションを実施し、授業実施方針・方法や感染対策の徹底について説明を行っている。●新後期開始時に学生専用サイトで、今年度の授業方針を公開し、新学期ガイダンスで周知した。後期はその方針に変更は無く、後期開始前のガイダンス（全学年）で改めて後期の授業方針を周知した。●学生へのアンケートやカリキュラム委員会での学生との意見交換の場において、現在の授業形態に対する反対意見等は出てこなかったため、ほぼすべての学生が理解・納得していると判断をしている。ただし、個別授業への要望等は出てきているため、学習環境がさらに充実するよう対応を進めている。	●全学年に対し、学年の状況に沿った説明等を行っているため無いと判断している。	●対面授業を中心として、コロナ禍をきっかけに浸透したオンライン・オンデマンド授業をデジタルトレーニングとして学習理解度をより効果的に高めることができる場合は積極的に活用する旨学生に説明し一層の理解を得る。●現在実施している対面授業・通隔授業のハイブリッド方式について、授業内容の理解に問題がないか確認することを目的として、定期的にカリキュラム委員会に学生を呼んで意見を聞く機会を設けていく予定である。
304 上智大学	①②③		①②③		①③④⑥	コンビニエンスストアのプリンタから文書を印刷できるネットプリントサービスの導入	④把握していない	秋学期開始直後であり、学生の状況を把握する状態には至っていない。		学生アンケートを実施予定。
305 昭和大	①②③④		①②③		②③④		②大多数が理解	・学生の授業評価アンケートでは、通隔授業についても、利点をあげる学生も多く、一方で、通隔ではなく面接授業を望む声も出された状況であったため、学生意見採取の機会に、特になし現在の授業体制についての理解度を確認している。		・授業評価アンケートで出された意見を基に後期以降の授業及び今後のカリキュラム作成に反映させる予定である。・毎月開催している教育委員会にて学生委員と意見交換を行う。・半期に一度開催する教育委員・学生委員との部談会にて意見交換を行う。・毎月行っている学生指導連絡会が情報共有を行う。
306 昭和女子大							①ほぼ全員が理解	2021年9月30日付け学長メッセージ「2021年度後期の授業実施について」において、10月15日以降は対面授業をまとし、やむを得ない事情で対面授業に参加できない学生に限り、ハイブリッド形態（対面とオンラインを併行）の授業で対応する旨広く周知しており、ほぼ全ての学生が理解しているものと思われる。一部の学生から不安の声や意見が届いているものの、大多数の学生は納得しているものという認識である。		国外在住学生および健康上の理由等のやむを得ない事情で対面とオンラインを併行）の授業等対応する。
307 昭和薬科大	①②③④		①②③		②③④		③大多数とは言えない	後期についても前期を踏襲した授業形態とすることは周知しており、これに対する疑問や質問、苦情はない。このことから一定の理解は得られていることが推測できるが、納得しているかどうかを知るにはアンケートや聞き取りを行わなければならないため。		機会を見て引き続き丁寧に説明を行い一層の理解を得るよう努め、運営アンケート調査や聞き取り調査などを通じて問題点を把握し、改善することで納得を得られるよう努める。
308 杉野服飾大							①ほぼ全員が理解			
309 成城大	①②③④⑤	授業科目の担当教員向けのアンケートを実施し（2021年8月）、授業運営に係る負担や課題について調査を行った。その結果を受けて大学全体としてのサポート体制等について検討・改善を行い、通隔を含めた授業の質の確保に努めている。	①②		③④⑤		②大多数が理解	本年8月に実施した学生向けの「授業実施に関する実態調査（アンケート）」では、9割強の学生が通隔授業を円滑に受講できていると回答している。また、授業形態別の満足度では、は、他の学年と比較すると低迷している。2年生は、入学時から対面80.6%、対面と通隔の組み合わせ80.3%、通隔（リアルタイム）、授業や大学生活においてコロナ禍による大きな影響を受けイム）78.2%、通隔（オンデマンド）77.0%と、どの形式も満足度が高くなっている。		
310 聖心女子大	①②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない			
311 大正大学							①ほぼ全員が理解	感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施している。また、選挙による感染リスクを避けるため、通隔合同授業の選択も可能としている。これを踏まえ、授業の形態等について、学生の理解・納得は得ていると考える。		今後も引き続き「学生の学習機会の確保」と「感染症対策の徹底」の両立に努めていきたい。
312 清泉女子大	①②③		②③		②③④⑤		②大多数が理解	新型コロナウイルスの感染状況、緊急事態宣言発出の有無等を踏まえた本学の授業実施方針について、学生でメッセージを随時ホームページに掲載しており、全ての学生が知りうる状況になっているため。		
313 聖路加国際大	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	コロナ禍のもと通隔授業を多くの授業で採用した2020年度の学修実態について、学生に対しアンケートを実施し要望・意見を収集した。学生の声を踏まえ2021年度の方針を決定し、前期・後期の方針決定毎に学生に説明を行っている。学生から授業方針について問い合わせを受けるとは昨年と比較し大きく減っている。		今後も引き続き、授業方針の説明を丁寧に行っていく
314 高千穂大							②大多数が理解	以下の本学のコロナ対応を説明しているため。・学生の通学・帰宅時間が交通機関のラッシュと重複しないよう1時間と5時間通隔授業とした。・2～5時間通隔授業として、感染防止の教室収容定員として、履修学生をグループ分けして対面と通隔を併用する。・演習（ゼミナール等）は感染対策のうえ対面とする。		

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
315	拓殖大学	③④		②③		②③④⑤⑥	図書館内設置PC(館内専用貸出用ノートPC含む)を遠隔授業対応可能とした。	②大多数が理解	理解していなければ履修登録ができないが、殆どの学生は履修登録をおこなっている。理解が進むよう新入生・在学生向けにそれぞれがダンスを実施している。履修登録していないケースの多くは、理解していないことが原因ではない。	特になし	一部の教室に、ハイフレックス型の授業ができるよう機器を設置する予定。また、後期に授業アンケートを実施し、結果を踏まえ改善できる点については対応する。
316	多摩美術大学	①	該当なし	①②	該当なし	①⑤	該当なし	②大多数が理解	本学は、実践系の大学であることから、感染症対策に十分配慮しながら、対面授業を確保しているため。	該当なし	現在実施している大学中や授業/学生支援システムを活用し、積極的な情報発信を進めていく。
317	中央大学	①②③④⑤	全教員が利用可能な授業支援システムの中で、ITを用いた授業について知見を有する教員の授業実践術を共有し、そうした教員のグッド・プラクティスを、各教員がそれぞれの実施する授業の改善のために参考できるように、情報を蓄積している。また、教員に対するサポートとして講演会や説明会を実施するなどして、情報機器の操作、リテラシー等について、教員個々に大きな差が生じないように工夫を行っている。	②③		③④⑤⑥	本学では2021年度については、①新入生(学部・大学院・専門職大学院の新入生、約6,000人)を対象として、情報環境支援等の措置で一律5万円の特別支援を実施している。また、これに加えて、②コロナ禍による急激な家計悪化により授業料の納入に困難を抱えている新入生、在学生に対しては、別途、昨年よりも緩和された条件の下に、拡大された内容をもって、「経済援助給付奨学金」をもより広く支給できるようにしている。	④把握していない	本学の授業実施方針については、全学生に対するメール等での周知に加え、公式HPサイトにも公表しているが、その内容に対して個々の学生がどこまで理解・納得しているかについては調査していない。ただし、オンライン授業に関するアンケートの結果における各授業形態に対する満足度を確認する場内においては、今後における改善点も見受けられるものの、学生の認識と授業方針自体の大きな齟齬は見受けられないものと思料する。		学生の理解や納得を得るためには、授業の形態の如何を問わず、教員の質の確保がされていることが極めて重要であることから、まずもって提供する授業の質的向上に取り組むつと、各種アンケート結果等から確認できる改善点について全学で共有し、学生の声を踏まえながら可能な限り授業の改善に取り組んでいく予定である。なお、オンライン授業に対するアンケート調査においても、学生からの意見聴取が可能となっていることから、今後においても当該アンケートを継続的に実施しながら、学生の理解に係る状況の把握と、今後の各種取組の改善に努めていく予定である。
318	東京医科大学	①③④		①②③		③④		②大多数が理解	学生に対しコロナ禍における遠隔授業の趣旨や利点を説明している。		学生の学修機会の確保や遠隔授業の質の担保等、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ効果的な対面授業と遠隔授業の運用を図る。
319	東京家政大学	②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立を図る観点と踏まえ、教育効果、授業内容から必要とされる対面授業を50%以上実施する大学の方針を、年度当初、HP、ポータルで連絡するとともに、前期・後期ごとに、各学部・学科等で選定した具体的な対面授業科目を、HPで学生へ公開している。また各科目ごとに、授業担当教員から授業実施形態について、履修者に向け連絡している。		新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢等により、学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立を図る観点と踏まえ、授業実施の方針等を変更する場合は、継続的にHP、ポータルを用いて情報発信を行う。学生支援アンケートも継続し、学生の意見から授業改善に取り組む。
320	東京家政学院大学	①②		①		③⑤		①ほぼ全員が理解	メール等で周知しており、わからないことを問い合わせる学生用問い合わせフォーム、メールや電話での問い合わせにも対応している。		
321	東京歯科大学							①ほぼ全員が理解	全ての学生と保護者に方針の説明を実施しており、個別の相談にも対応しているため。	特になし	特になし
322	東京慈恵会医科大学	②③④⑤	同期型遠隔授業についても、非同期型と同様に集中管理して適切に授業が行われていることを把握する。	①②③		②③④⑤		②大多数が理解	週に1回以上の情報発信を行いつつ、録音の学生アンケートで寄せられた意見を教員にフィードバックした上、回答し、その回答に対する学生のさらなる意見を求める対話も繰り返す対話を継続していることから。		現在の取組を継続的にし、学生の意見だけでなく、教員の意見も踏まえて改善を行っていく
323	東京女子大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	後期授業開始時は、緊急事態宣言下であったため、全学生が一週間に1日程度登校ができ、全学生が対面授業の機会を持つように設定した。なお、学期途中であっても、感染状況が改善された場合は、2週間の移行期間を設けて直接授業に移行することとした。この決定に対して、直接授業を増やしてほしいという要望が数件あった。緊急事態宣言の解除を受けて、10月18日から7割程度を直接授業で行うこととしたが、この決定に対して、遠隔授業中心を求める要望が数件あった。両方の意見が数件あったが、ほぼ、全ての学生が、授業の形態等について理解・納得していると考ええる。	特になし	学生や教員にアンケートなどを行う予定
324	東京女子医科大学	①②③④		①④		①②③④	毎授業毎に復習テストを実施し、学生の理解度の向上を図ると共に、その理解度を把握するようにしている。	②大多数が理解	学生からのアンケート調査を定期的に実施し、学生の授業形式の理解度を確保している。年2-3回実施しているカリキュラム相談会が定期的に状況の確認を実施している。		全学生に向けて、定期的なポータル発信の促進。各学年別に、対面またはオンラインでのオリエンテーション。
325	東京電機大学							②大多数が理解	本学では遠隔授業申請を受け付けており、許可があれば受講について遠隔を主体的に行える体制を整えている。特設の事情が発生場合は、本制度を利用するよう周知している。特設の申請数はごく少数であり、また問合せの件数も少ないことから、大多数の学生は授業の形態等について理解・納得していると捉えている。		引き続き、授業実施形態の周知、遠隔受講申請の受付、個別問合せの対応等を行っていく。
326	東京農業大学	①③		①②		③④⑤		②大多数が理解	授業の形態等については、学生ポータルサイト等を通じて全学生に周知している。また、周知内容に問い合わせ先を記載しているが、担当部署に寄せられる質問・疑問等の連絡は少なく、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているものと考えている。		今後も学生や保護者からの要望を踏まえた直接授業を中心に授業を実施するとともに、これを学生と保護者に丁寧に説明することで理解・納得を得ていきたい。
327	東京薬科大学	①②③④		①②③		①③⑤		②大多数が理解	オンライン・対面併用型であり、コロナ感染リスクを心配する学生は特別措置として全面オンラインにする等の配慮をしている。また、オンライン化について学生アンケートを実施して改善に取り組んでいる。		○授業アンケートを実施している。○定期的にオンライン講義の成績評価が適切に見直しを行っている。
328	東京理科大学	①②③④⑤	FDセミナーを開催し、授業実施方法や、改善例等の実施事例発表、参加者同士の意見交換を実施している。また、当日の資料や動画を公開し、参加できなかった教員も随時閲覧できるようにしている。	①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学長や学部長から授業実施方針やメッセージを学生に対し発信をしており、それに対して学生からの照会等がほとんど寄せられていないことから、この状況下における対応として大多数の学生が理解・納得していると認識している。また、2021年7月に本学学生に実施した「授業形態に関するアンケート」の分析結果より、大多数の学生が、各種授業環境の整備ができており、高いモチベーションで学習を維持できている点等が示唆されている。		前期に実施した授業形態に係るアンケートをはじめ、本学では、授業改善のためのアンケート、卒業予定生対象アンケート等も実施しているため、これらのアンケート結果から複合的に集計・分析等を行い、抽出された課題や要望等をふまえて、検討・改善に取り組む予定である。また、学生から授業等に対する質問や要望がより寄せられるよう、オフィスアワーのオンライン実施を拡大する。

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
329	東洋大学	①③④⑤	大学として、「感染防止のための授業運用ガイドライン」や「非対面授業（メディア授業）の実施ガイドライン」といった各種ガイドラインを整備することで、一定の質確保に努めている。例えば、後者の参考資料として「非対面授業（メディア授業）のキープポイント集」や「非対面授業（メディア授業）の運営におけるインターネット回線のトラブル対策について」を整備して、遠隔授業の配信に際し、教員側で留意すべきことや知っておくべき事項を共有している。これらに加え、遠隔授業を実施することで得た知見・アイデア等のナレッジを学内に共有する取組を実施している。具体的には、学内LMSを通じて教員間でナレッジを共有するコンテンツを整備した。また、2021年2月には、コロナ禍における教員の気づきや授業の工夫、授業運営や学生支援に係る知見・経験等を共有できるよう、教員のみならず学生も参加する動画コンテンツ「FD・SDチャンネル」を開発した。今後も同チャンネル内の動画コンテンツを充実させ、メディアを活用して、FD・SDの体系化につなげていく。	①②③④	学期ごとに「授業の手引き～学生の皆さんが安心して学修を続けるための～」を作成している。この手引きでは、感染防止対策から授業を受講するに当たっての基本的な内容を掲載している。より具体的な内容は、「TOYO Online Class Portal」（オンライン授業情報まとめサイト）及び「TOYO Campus Info」（学生生活情報まとめサイト）の2つのポータルサイトを開設し、状況に合わせて随時発信している。「TOYO Online Class Portal」では、非対面授業（メディア授業）の種別、非対面授業（メディア授業）受講の準備～自宅/キャンパス内から受講する場合～、非対面授業（メディア授業）の受講上の注意、FAQのほか、遠隔授業受講にあたっての各種マニュアルをPDF、もしくは動画も作成しながら学生の理解を促している。「TOYO Campus Info」では主に学生生活を送るためのサポートに主眼を置いた内容であるが、Wi-Fiの接続方法をはじめとした遠隔授業の受講につながる各種情報を掲載している。	②③④⑤		①ほぼ全員が理解	「授業の手引き～学生の皆さんが安心して学修を続けるための～」をポータルサイトで発信するとともに、本学ホームページにおいても「新型コロナウイルス感染症に関連する対応について」という特設ページを設け、大学全体の方針を中心に情報発信をしている。さらに、各学部等やキャンパスの特性に応じて汎用的な対応を認めていることから、その生体学部等や事務局において適切なアナウンスをそれぞれ行っている。その結果、学生からの問い合わせ状況もごく少数にとどまっており、またその問い合わせ内容に鑑みても、ほぼすべての学生が授業の形態等について理解・納得していると考えて良いと判断する。	ポータルサイト等のコンテンツを、更に充実させていくことに主眼を置いた対応を継続し、引き続き学生の理解や納得を促していきたい。	
330	東京音楽大学	②		①②		②④		①ほぼ全員が理解	学内電子掲示板を通じて逐次詳細を通知し、質問等にも対応しているため、また令和2年度秋学期及び令和3年度春学期の授業実施方法と大きく変わっていないため。		
331	二松学舎大学	①②③④		①		④⑤		②大多数が理解	令和3年度前期に実施した授業アンケートにおいて、8割の学生が満足できたと回答したから。		授業アンケートの実施、代表学生へのヒアリング等
332	日本大学	①②③④		①②③		②③④⑤⑥	新入生向けのZoomセミナーをZoom社のトレーナーが各学の新入生向けのセミナーを開催し、オンライン授業への支援を計画している。	②大多数が理解	各学部のホームページや各学部のポータルシステム等を利用して後学期の授業実施方針を周知しています。学生から一部問合せがあったが、丁寧に説明を行い、理解を促しています。	学生の保護者から、対面授業や登校する機会を増やしてほしい旨の問合せがありました。また、感染に不安を抱えた学生が、これまでと同様にポータルサイトやフォームを開発し、学生から対面授業で履修登録をしていたが、オンラインによる受講への質問に対して丁寧に説明を行います。へと変更したい申し出がありました。	
333	日本医科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
334	日本歯科大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	年度当初の学生に対するオリエンテーションや保護者説明会にて丁寧な説明を行い、大学としての方針を早期に固めたため		
335	日本社会事業大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	社会情勢の変化に応じて学生に向けて説明資料を配布し、Webポータルで案内をしている。科目担当教員には、初回授業時に学生に説明すべき枠組みを提示するとともに、各科目ごとの特性に応じた実施方法を学生に提示している。教員についても相談できるよう学生とのコミュニケーションツールを設定するよう依頼している。		学生の理解や納得を得るために、引き続き、授業に関する共通の枠組みを作成・提示するとともに、学生の質問等を受け付ける専門の窓口を活用して丁寧に説明を行う。また、アカデミックアドバイザーを全学生に配置しているため、学生の状況を把握するとともに学生に寄り添った対応を行う予定。
336	日本女子大学	②③④		①②③		①⑤		②大多数が理解	2021年度前期授業アンケートによる。		
337	日本女子体育大学	②		②		⑤		①ほぼ全員が理解	履修登録を全学生が終了しており、授業への質問がほとんどない状況であるため、また、前期においてほぼ全ての学生の成績入点状況により、回答した。		
338	ルーテル学院大学	②④		①②③		③④		②大多数が理解	アンケートや授業評価等による		
339	文化学園大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解			全学生への情報配信を継続。
340	法政大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	令和3年度後期の授業方針については、学生に対してメール、ポータルサイト、HP等を通じて理解を促してもらいように丁寧に説明を行っている。ただし、現在までに学生の理解・納得の状況調査については、おこなっていない。今後、学生へのアンケートなどを通じて把握をしていく予定である。		引き続き、授業方針を決定した経緯について、メール、ポータルサイト、HP等を通じて学生に丁寧に説明していく予定である。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
341 星薬科大学	③		②		①②⑤		②大多数が理解	授業の受講についての学生の要望には、できる限り柔軟に対応するようにしているが、特に多くの要望が寄せられているわけではないため、多くの学生は授業形態を理解しているものと考える。		特になし
342 武蔵大学	①②③④		①②③		②③⑤		②大多数が理解	学生ポータルサイトや大学公式Webサイトで周知している。		現状の取組内容を継続する。
343 東京都市大学							②大多数が理解			
344 武蔵野音楽大学	①		①		③		①ほぼ全員が理解	ポータルサイトにより周知しているが、不安や疑問等の問い合わせはないため。		
345 明治大学	①②③④⑤	本学の学習支援システムであるOlioNetシステムを通じて、教員及び学生向けのオンライン授業マニュアルを整備し、全学的なオンライン授業の質の確保に努めています。また、学内の授業事例を参考に把握できるように、教員向けにオンライン授業・メディア授業事例紹介WEBサイトを作成し、2021年度春学期に学内公開するなど、授業方法の改善やさらなる授業の質の向上に向けて取り組んでいます。	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	前年度の経験を踏まえ、2021年度の授業運営にあたっては、学生の意見を汲み取ることに重点を置き、授業運営を行っています。2021年度春学期は、授業運営に関する全学の学生アンケートを2回実施しました。1回目は、緊急事態宣言下での学生の意見を把握することを目的に実施し、2回目は、春学期の振り返りと秋学期に向けての学生の意見を把握することを目的に実施しました。2回目のアンケートでは、授業及び学生生活の双方に関する改善を願い、大学全体としての学生の意見を汲み取れるよう工夫しました。また、ホームページに常設している		前年度に引き続き、ホームページに常設しているお問い合わせフォームや全学的な学生アンケート等を活用しながら学生の意見を積極的に汲み取り、授業担当教員や学生にそのフィードバックを行いながら、授業運営を行っていくことを予定しています。
346 明治学院大学	①②③④		①②③④	学生向けのオンライン授業サポートページを作成し、周知している。 https://st.mgvo.ac.jp/info/	④⑤		①ほぼ全員が理解	授業方針や形態等についてはWebサイト等で細かく周知している。ほぼ全ての学生が面接授業・遠隔授業の授業形態を理解し、それぞれ履修登録し、授業に参加している。履修登録期間においても大きな問題は見られなかった。また、基礎疾患等を有するなどの理由で対面授業を遠隔で受講するための申請も、大学が示した期日までに手続きがほぼ完了している。また授業の形態等について、個別の要望やフレームは事務部や授業担当教員にほとんど寄せられていない。		大学からの情報伝達手段として今の学生の動向に合わせてSNSでの情報発信をさらに強化する。また、Webサイトやポータルサイトの内容を充実させ、大学の方針を引き続き速やかに伝達していく。
347 明治薬科大学							①ほぼ全員が理解			
348 立教大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	コロナに対して不安を抱える一部の学生、保護者からは遠隔授業継続の希望意見があり、適切な範囲で配慮する対応を行っているため。		随時、校長からのメッセージを発信し、理解を得られるように努めつつ、学部においても学部長や学科長からの説明を行うようにしている。
349 立正大学	①②		①		①②③④		②大多数が理解	授業方針は複数回説明しており、面接授業に出席できない理由のある学生には申請により遠隔での受講を認めているため。		ポータルサイトで継続的な情報発信
350 早稲田大学	②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	現時点では、各学生、保護者からの問い合わせベースでのみ把握している状況であり、今後学生アンケート等を通じて把握に努めていく。		学生に対するアンケートを実施する予定。
351 国際仏教学大学院大学	②③		①②		②③⑤		①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
352 学習院女子大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	授業形態に関して、学生に対しては本学ウェブサイト上や学内ポータルシステムなどで、予告も含め複数回、方針を伝えていた。また、学期前ガイダンスなどにおいても、授業形態を詳しく説明しており、対面と遠隔の科目が混在する中での履修上の注意も周知している。また、健康上の理由等から対面参加が困難な学生に対しては、遠隔で授業を受ける選択権も与えており、個々の状況に合わせた学修が可能となるように設計している。		必要に応じて学生アンケートを実施する。
353 東京国際工科専門職大学	②		①②		②③⑤		①ほぼ全員が理解	全学生対象のガイダンスや学内用SNS等で方針について不明点などは問い合わせよう告知しているが、問い合わせがほぼないため。		
354 東京保健医療専門職大学	②③		①		④		④把握していない			
355 情報経営イノベーション専門職大学	②③	特になし	①②③	特になし	②③④⑤	特になし	①ほぼ全員が理解	8月初旬、9月中旬にて全学生向けガイダンスを実施し周知を図った。	一部の学生や保護者からより対面増加の意見を頂いている状況である。	方針を漏れなく丁寧に伝え、相談窓口も設ける。
356 大学院大学至善館	②③④		①③		①③		①ほぼ全員が理解	適宜、クラスレップ（クラスの代表学生）とのミーティングを実施し、彼らの学修の進捗状況や本学に対する意見を聞いているが、遠隔授業について、とても好意的に受け止められている。		
357 駒沢女子大学	②③		①②③		①②		①ほぼ全員が理解	令和3年度前期に実施した遠隔授業学生アンケートの集計結果では、オンライン授業およびオンデマンド授業についての学生の満足度は、いずれも約80%の割合であった。教員や友人とのコミュニケーション不足や、大学に通う実感不足の声がある反面、感染への不安の解消、課題や授業資料の管理のしやすさ、移動時間が短縮されたことで勉強に費やす時間が増えた、繰り返し学習できる、集中できるなどの意見も多く、学生の理解と納得は得られていると考える。		
358 亜細亜大学	①②③		②③		②③④⑤		④把握していない	春学期に実施した授業アンケートにおいて、学生の理解・納得の状況を把握する設問項目を設定していなかったため、学生の理解を把握しているとは言えないため。	一人暮らしをしていたが、令和2年度のオンライン授業実施により既に実家に帰った学生については、引越しが必須になること、登校できない事情を持つ学生は、引き続き遠隔式で受講できることや、東京の感染状況から、納得が得られないように感じよう授業体制を整備する。	
359 桜葉林大学	①②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	緊急事態宣言下等レベル別の活動指針を公表している他、学期毎の授業ガイドラインを定め、各学期始めのオリエンテーションにて周知するようにしているため。		
360 国立音楽大学	①②		①②		⑥	オンライン授業に出席してこない学生へ個別に連絡をしている。	②大多数が理解	クレーム等はほとんどないため	特になし	より対面授業を増やしていく
361 国際基督教大学	①②③④		①②		①⑤		②大多数が理解	アンケートを実施したため	特になし	特になし
362 白百合女子大学	②		①		①②④⑤		④把握していない	特になし。	特になし。	特になし。
363 成蹊大学	①②③		①②		①③⑤		④把握していない	授業の実施方針は感染対策を十分に行った上で対面での実施が可能である授業を実施することをベースに決める以外に方法がないこと。また、学生からの声は様々で、対面での授業を望む者、望まない者がそれぞれいるため、学生の理解・納得の状況を調査しても、それに基づき授業の実施方針を変えられる状況にないことから、現時点では確認することをしていない。		授業の実施方針について、学生が十分に納得できるよう、ホームページやポータルサイトで適宜説明することを続ける。
364 玉川大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	前期に実施した学生による授業アンケートの結果、授業に関して肯定的な回答が8割を超えており、後期の授業方針をホームページ等で公表したことによる学生からの意見や問い合わせがないため、大多数の学生が理解・納得していると考えられる。		

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
365	津田塾大学	①②③		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	昨年よりもハイブリッド授業の割合を増やしてはいるものの、少人数教育を重視した教室の構造上の問題や教室の設備面での課題から、他大学と同等に対面授業を増やすことができないことがあり、学生、保護者からの質問があった際には、大学の表情を丁寧に説明し、理解してもらえよう、努めている。		
366	帝京大学	①②③④⑤	講義終了後、講義視聴システムにおいて講義の視聴が可能。	①②③		①②③④⑤		④把握していない	感染対策上やむを得ない場合を除き、面接授業を主として開講。対面授業に積極的でない学生でも、対面での必修科目は出席がすることを旨としているため、学生に対しての講義等は行って必要。対面授業の科目はオンライン対応しないことが多いの	各種感染対策の徹底・授業開始時における学生へのアナウンス。可能であれば代替案を示す。	
367	東京経済大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	2021年度の授業形態を含む大学の方針については、早い段階で告知しており、後期の授業も原則として前期と同様に行うこととしたため、関連する問い合わせ等は少なかったため。		授業アンケート
368	東京女子体育大学		①受講生に対するメールアドレスの公開(受講者と双方向の連絡を適切にとるため)②出席状況、課題受け取り状況の公開③課題の出題範囲の公開④課題の採点結果の公開(課題を通じた学習内容に対してフィードバック)	③		③④		①ほぼ全員が理解	面接授業を受講できない学生について配慮するよう授業担当者に周知し欠席者に対して学習機会を確保するようにしている		
369	東京神学大学							①ほぼ全員が理解			
370	東京造形大学	①②	特記事項なし	①②	特記事項なし	③⑤	特記事項なし	④把握していない	授業運営方針について、通知した際に学生からの問い合わせ件数が少ないことから、概ね理解を得ていると推測できるが、実際にアンケートなどで状況を確認していないためと回答した	特記事項なし	個別に説明するなどの対応を行う予定
371	桐朋学園大学	①②③	⑤その他回答ではない。	①②③	④その他回答ではない。	②④	⑥その他回答ではない。	①ほぼ全員が理解	方針や授業方法をHPやポータルサイトへ提出するほか、アンケートを実施することにより確認を行っている。	異なる状況ではない	アンケート結果をもとに、必要に応じてカウンセリングを実施する。
372	日本獣医生命科学大学	①②④		①②③		①③④		②大多数が理解	令和3年度後期授業実施方針についてはホームページでの公開、学内ポータルでの通知、カリキュラムガイダンスでの周知を行った。授業評価アンケートの回答により概ね不満足なく授業の運営が出来ているため。		学費支援システム等における情報提供及び周知を行う。
373	武蔵野大学	①②③④⑤	オンライン授業の推進を支援する部署で、教員・学生向けの支援サイトを作成している。教員向けには、講義資料の作り方、ツールの使用方法、ガイドライン、教育の成功事例などを案内している。学生向けには、受講ガイドなどを案内して、授業の質向上や円滑な授業運営となるよう取り組んでいる。	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートや学生生活実態調査などでオンライン授業についてまた、授業の学生の意見や学務の状況を調査・検討している。方針(対面授業の実施)については大学ホームページで周知しているほか、シラバスに授業の実施形態(対面・オンラインの授業種別)を明示しているため。		
374	武蔵野美術大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	大学の公式方針として、大学Webサイトへ公開したり、学生ポータルサイトへ周知しているため		
375	明星大学	②③		①②		②③④⑤		④把握していない	大学の公式ウェブサイトにて授業形態の方針等、2021年度の授業についてまた、授業の学生の意見や学務の状況を調査・検討している。方針(対面授業の実施)については大学ホームページで周知しているほか、シラバスに授業の実施形態(対面・オンラインの授業種別)を明示しているため。		引き続き、自宅等でのインターネット利用環境が不十分な場合は、「オンライン授業用教室」が学内に準備されていること、パソコンを持参すればその教室を利用できること、また、パソコンを所持していない等の場合に備え、大学に貸し出し用パソコンが準備されていることを学生に案内していく。
376	和光大学	①②③④		①②③		⑤		②大多数が理解	授業形態について、学生が混乱している状況は0ではないが、それほど起きていないと判断している。		授業形態の種類が多すぎると学生が混乱するので、なるべくシンプルに分かりやすく工夫、また周知を心掛ける。
377	杏林大学							②大多数が理解	大学主体のワクチンの職場接種の2回目が終わるまでは、教育効果や得られる授業を取り入れるが、その後は対面授業を主に行っていくという方針を伝えたところ、一部(少数)の学生・保護者から感染の不安から遠隔の併用を求め意見があった。しかし、大多数の学生からは反対の意見がないため、ほぼ理解・納得したと認識している。		遠隔の併用を求める意見については、対面授業の重要性和感染防止対策を説明するなど、納得が得られるよう個々に応じた対応を実施する。
378	日本文化大学							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
379 東京工科大学	①②③④		①②		①②③④⑤	令和2年度新入生に対しては、令和2年度後期開始時に各学部で対面のガイダンスを実施した。令和3年度新入生に対しては、各学部より対面のガイダンスや対面授業を実施し学生が交流できるような機会を設けた。	②大多数が理解	基本的に対面授業で実施することを周知し、特に学生から反対の意を示すメールがないことから。		適宜学生に情報発信をしていく。
380 日本赤十字看護大学	②③④		①②③		①⑤		②大多数が理解	令和3年度の授業方針について、在学生に対しては新学年の始まる前（2・3月）に質問時間も設けて4月ガイダンスに先駆けて実施しています。新入生に対しては4月ガイダンスで全て対面により丁寧な説明を心掛けています。また、本学では学生の疑問や質問を何でも発信できる方法として「匿名投稿」を設置して、メールで意見や質問ができる体制としています。後期においても9月上旬に後期の授業方針について通知するなど、可能な限り早く必要な情報をお知らせするようにしています。		現在の取り組みを引き続き継続し、必要な情報をできる限り早く学生に周知できるようにすることとしています。また、本学は看護系大学のため学生やその保護者におかれても実習についての情報に大きなニーズがあると認識しています。特にワクチン接種の有無による取り扱いなどに不安を有している場合がありますので、接遇の有無に伴う利益・不利益の無いことや臨地での実習の実施など、学生の不安を解消できるように取り組んでいくこととしています。
381 恵泉女学園大学	①②③		①		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業開始前のアナウンス（学生・保護者双方）により、授業開始前夜に意見問い合わせ等も少なく、混乱が生じることがなかったため		
382 多摩大学							②大多数が理解	一部の学生・保護者からオンライン授業の要望を頂戴しているが、本学の方針を説明している。	学年毎の違いは感じない。	
383 東京純心大学							①ほぼ全員が理解			
384 高悦大学	②⑤	リアルタイムのオンライン授業とオンデマンド型の授業が混在する場合があるので、学生が迷わないように授業情報ページにて「授業実施方法・授業アクセス方法」という提示を行って誘導している。	①		④		②大多数が理解	学生生活アンケートを実施した結果、オンライン授業の評価が高かったため。		質疑応答や課題提出などを通じた双方向性（対話性）の確保を更に充実させる。
385 東京富士大学	①③		②		③④⑤		②大多数が理解	学生全員が確認できるシステムを使って周知し、質問を受け付けている。	特に差はない	機会あるごとに周知する。
386 LEC東京リーガルマインド大学院大学	③		①②		②③		①ほぼ全員が理解	ホームページやパンフレットなどで、授業の形態等について、事前に公表していることに加えて、オリエンテーションでも説明をしたが、学生からのクレーム等は全くないため。		特にありません。
387 デジタルハリウッド大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解			
388 白梅学園大学							②大多数が理解	対面時の合理的配慮について申請が可能としており、かつ申請についてはごくわずかである。		
389 東京医療保健大学	①②③④		①②③		①②③④		②大多数が理解	「学生による授業評価アンケート」及び「学生の学修に関する実態調査アンケート」の集計結果による。また、授業形態等に関する方針を定期的に周知したり、各 semester 開始時のガイダンスでも説明を行っている。		対面授業制限レベルや授業方法、感染対策などを新聞形式でまとめた「通開授業だより」や「学長のメッセージ動画」をWeb上でお知らせしており、今後も継続していく。
390 東京聖栄大学	②③		①②③		②③④		①ほぼ全員が理解	学生の安全を第一に考え、授業形態について周知した。		
391 グロービス経営大学院大学	①②③④		①②③		②③④		①ほぼ全員が理解			
392 文化ファッション大学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		④把握していない	学校の方針に対しての調査を行っていないため。		授業実施方法等について、本大学院の活動指針を定め、感染状況により活動レベルを変更している。活動レベルを変更する際には、学生に理由を説明しており、今後も同様に取り組む予定である。
393 大原大学院大学							①ほぼ全員が理解	特別な対応ではないため	特にございません。	特にございません。
394 東京未来大学							④把握していない	アンケート調査等を実施しているが、理解・納得を得ているとの公式な判断に至っていない。		検討中である。
395 こども教育宝仙大学	①		①②③		②④⑤		③大多数とは言えない			これまでも実施してきた通開授業に関する学生対象アンケートを前期・後期2回ずつ（計4回）行い学生のニーズを把握し改善に努める。
396 東京有明医療大学							①ほぼ全員が理解	授業方針の周知及び理解については、学長が学生、教職員全体にメッセージを発信し、方が一、学生から意見や問い合わせがあった場合は、アドバイザー教員を中心に各教員が対応するよう指示をしている。また、令和3年度前期授業アンケート結果等から、直接授業（対面授業）を基本とする方針は学生にとって有益であったと考えている。	学科や学年によって大きく異なる状況はない。	引き続き、学生アンケートや教職員間の情報共有により、学生の意見や要望を各種委員会等で検討をしていく。
397 東京工芸大学	②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	ホームページ、学内ポータルサイト、書面にて周知し円滑に授業が運営されている。また、学友会から大学に対する要望を扱い上げる学生連絡評議会において学生に対して十分に説明し理解を得ている。		情報の継続的・定期的な周知・説明及び丁寧な学生対応
398 産業能率大学	②③		②		①⑤		①ほぼ全員が理解	学生の対面授業への出席状況および保護者や学生からの問い合わせがないことを根拠とした。		
399 ヤマザキ動物看護大学	①②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	やむを得ない自由で登校を自衛したい学生について授業担当教員がオンライン等を用いてアプローケアを行う対応をしているため、学生の事情に柔軟に対応していると考え		今後の新型コロナウイルスの国内感染状況や本学関係者のワクチン接種状況を随時把握し情報に即した方針を速やかに検討・決定し、学生に随時連絡する体制を維持することとする

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
400 東京医療学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	東京都は感染者が多く、また本学は医療系の大学である為、学生の感染予防に対する認識が強い。		
401 事業構想大学院大学	②③		②		③		①ほぼ全員が理解			
402 帝京科学大学							②大多数が理解			
403 宝塚大学	②③④		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	特に学生からの苦情は寄せられていない。		これまで通り、授業の形態等の変更については、その都度HPへの掲載、並びに個々学生への直接メールやTeams等での周知に努めるとともに、学修支援室等で学生からの相談や心のケアに努める。
404 青山学院女子短期大学	①②③		①②③		⑥	学生募集を停止したため、実質的な新入生はいない。	①ほぼ全員が理解			
405 愛国学院短期大学							①ほぼ全員が理解	後学期開始に先立ち、9月上旬に本学の基本姿勢及びその理由を保護者及び学生にホームページの掲示でお知らせし、学生には直接メールでも知らせた。さらに、後学期開始直前にも同様の手段で実施体制を周知している。	ありません。	新型コロナウイルス感染症の状況の変化の都度、前期8-3と同様の手段により、保護者及び学生に対応を周知する。
406 上野学園大学短期大学部	①②③④		①③		③⑤		①ほぼ全員が理解	全学生に通知できるツールを利用している。		学生、教員の意見等を把握するため定期的にアンケートを実施していく。
407 大妻女子大学短期大学部	②③④		①②③		③⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業形態の検討状況、結果についてを適度、学生へ周知している中で、また前期の授業アンケートにおいても学生からの異論を唱える意見はほとんど寄せられていないと考		今後は対面授業主体となり、学生の登校機会が増加するので、クラス指導主任やゼミ担当教員との対話の機会を増やし、学生の理解・納得、安心感を深めていきたいと考えている。
408 共立女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
409 国際短期大学							①ほぼ全員が理解			
410 駒沢女子短期大学	②③		①②		①②③		①ほぼ全員が理解	令和3年度前期に実施した通開授業学生アンケートの集計結果では、オンライン授業およびオンデマンド授業についての学生の満足度は、いずれも約80%の割合であった。教員や教人ととのコミュニケーション不足や、大学に合う実感不足の声がある反面、感染への不安の解消、課題や授業資料の管理のしやすさ、移動時間が短縮されたことなどで勉強に費やす時間が増えた、繰り返し学習できる、集中できるなどの意見も多く、学生の理解と納得は得られていると考		
411 美少女女子短期大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生・保護者に対しては、8月30日に、後期授業については当初の予定どおり約7割の対面授業と約3割のメディア授業（オンデマンド型を中心）という原則は変更しないが、感染拡大の状況を踏まえて変更する旨のメッセージを事前に送っています。その上で、9月10日には、緊急事態宣言が延長したことに伴い、10月2日まで原則として対面授業をメディア授業に切り替える旨の、9月28日には緊急事態宣言の解除に伴い、当初の計画どおり約7割の対面授業と約3割のメディア授業とする旨のメッセージを送っています。これらのメッセージに対し、一部の基礎疾患がある学生から対応についての問い合わせはありましたが、それ以外に学生からの問い合わせはほとんどなく、大きな混乱なく授業は進んでいます。そのため、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているのではないかと考えております。		授業アンケート等により、学生の状況や意見を把握すると共に、カリキュラムアドバイザーによる履修相談等で丁寧に説明を行います。また適切に情報を発信し、学生の理解を得るよう努めます。
412 津徳大学短期大学部	②③		①②		⑤		④把握していない	授業方針周知後の状況については把握していないが、事務局への問い合わせや本務教員が担当するゼミ等の少人数クラス時での問い合わせや進捗等は積極的にことから、ある程度の理解・納得は得られていると考えている。		特になし
413 女子栄養大学短期大学部	③		②		①		②大多数が理解			
414 女子美術大学短期大学部	①②③		①②③		②		②大多数が理解	ホームページ上にて全学生に向け、大学として、また学長名義にて令和3年度後期の授業方針について、判断の根拠を含め説明している。新入生以外の学生に対しては、教員・助手が担任制をとり、日常的にきめ細やかに授業に関するサポートを行っており、そのなかで令和3年度の後期授業方針についても説明している。		
415 杉野服飾大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
416 星美学園短期大学	①②⑤	コロナ以前から「学生の声」として、学生が自由に意見を投稿できる制度があり、そこでの声を積極的に取り上げている。	③		①		①ほぼ全員が理解	学生が分からないことがあった時に、メール（必要な電話）で質問できるようになっているので、そこで解決できる。		
417 帝京大学短期大学	②③④		①②③		①③④⑤		④把握していない	感染対策上やむを得ない場合を除き、面接授業を主として開講することを旨としているため、学生に対しての調査等は行っていない。		なし
418 帝京短期大学							①ほぼ全員が理解	学生・保護者からのクレームなし		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
419 戸板女子短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
420 東京家政大学短期大学部	②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立を図る観点を踏まえ、教育効果、授業内容から必要とされる対面授業を50%以上実施する大学の方針を、年度当初、HP、ポータルで連絡するとともに、前期・後期ごとに、各学部・学科等で選定した具体的な対面授業実施科目を、HPで学生へ公開している。また各科目ごとに、授業担当教員から授業実施形態について、履修者に向け連絡している。		新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢等により、学生の学修機会の確保と感染症対策の徹底の両立を図る観点を踏まえ、授業実施の方針等を変更する場合は、継続的にHP、ポータルを用いて情報発信を行う。学生授業アンケートも継続し、学生の意見から授業改善に取り組み。
421 東京交通短期大学	①②④		①②③		⑤		①ほぼ全員が理解			
422 東京成徳短期大学	①②③		①②		①③④⑤		②大多数が理解	前年度や今年度前期に調査を実施し、結果を基に「原則対面授業、一部遠隔授業」の方針を決め、授業を実施しているため。特になし		学生調査を実施し、結果を基に、学生の理解を得られるような方針を今後検討していく。
423 新渡戸文化短期大学	①②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	日々学生には声掛けを行っており、申し出がある場合は適宜対応している。		前期授業アンケートを集約し、改善を要するものは対応を行う。
424 東京立正短期大学	①②③④		④	10/4以降、各専攻課程ごとに隔週の面接授業に遠隔授業併用の形をとるため、ほぼ公平	④⑤⑥	東京での一人暮らしの学生及び留学生対象の連絡会の開催	①ほぼ全員が理解	10/4以降、各専攻課程ごとに隔週の面接授業に遠隔授業併用の形をとるため		
425 東邦音楽短期大学							①ほぼ全員が理解	学生オリエンテーションを通じ全学生（教員）に説明を実施しています。		学生オリエンテーション、Website等を通じ、状況の変化に応じ常に情報発信を実施する予定です。
426 文化圏大学短期大学部	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解			全学生への情報配信を継続。
427 目白大学短期大学部	②③		①②		①④⑤		①ほぼ全員が理解	HP等による大学の方針の周知、並びに授業担当者によるシラバスや授業内での説明により、学生への周知を徹底している。		本学独自のアンケート調査や学生との意見交換を実施する。
428 創価女子短期大学	①②③		①②		③④		①ほぼ全員が理解	授業の実施方針の発表については、大学ホームページ、学生向けポータルサイト、大学が発行する個人宛のメールにて、周知している。発表された方針をはじめ、日常の問い合わせは恒常的に設置されている問い合わせフォーム等から受付を行っており、対応を行っている。		
429 白梅学園短期大学							②大多数が理解	対面時の合理的配慮について、申請可能としており、かつ申請についてはごくわずかである。		
430 東京女子体育短期大学	⑤	①受講生に対するメールアドレスの公開（受講者と双方方向の連絡を適切にとるため）②出席状況、課題受け取り状況の公開③課題の出題巻頭の公開④課題の採点結果の公開（課題を通じた学習内容に対してフィードバック）	③		③④		①ほぼ全員が理解	面接授業を受講できない学生について配慮するよう授業担当者に周知し欠席者に対して学習機会を確保するようにしている		
431 フェリスアども短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生への周知事項は学内ポータルサイト、クラス担任からの各種通信手段などにより随時行っている。また、適宜、遠隔授業の理解促進するアンケートの中で授業の満足度を確認し、学生の要望（自由記述）を確認している。		次年度に向けて、入学決定者に対し早期に通信アカウントを発行し、遠隔による入学前課題の指導や所連絡を行い、遠隔と面接の効果や重要性を説明する。
432 桐朋学園芸術短期大学							①ほぼ全員が理解			
433 山形美容芸術短期大学	①②④		①②③		①②		①ほぼ全員が理解	後期授業開始2か月程度前に、本学の授業実施方針について学内電子掲示等で予告。保護者には文書にて郵送した。また、後期開始1週間ほど前に履修決定を同様に通知した。また、質問等問い合わせは個別対応した。		なし
434 日本歯科大学東京短期大学	②③④		①②③		①②③④		①ほぼ全員が理解			
435 東京歯科大学短期大学							①ほぼ全員が理解	学生および保護者への説明会で、感染拡大を抑制することを目的に面接授業と遠隔授業を併用していくことを説明し理解を得ており、学生も遠隔授業に順応できている。ただし、実習を対面授業とした場合でも、相互実習においては、歯科は飛沫を伴った処理が多いため、感染予防の観点からマネキンで代替するなどして直接口数回に絞る実習は制限をしているため、一部の学生から不満の声が上がった。		定期的なアンケート調査やホームページ等で授業の困りごとへの情報共有を行い、必要な説明や授業方法の改善を図っている。
436 ヤマザキ動物看護専門職短期大学	②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生から意見があった場合、授業担当教員及び事務局がそれぞれの事情に合わせて柔軟に対応していると考え。		新型コロナウイルス国内感染状況や本学園関係者のワクチン接種状況を随時把握し、情勢に即した方針を速やかに検討・決定し、学生に随時連絡する体制を維持する。
437 有明教育芸術短期大学							①ほぼ全員が理解			
438 貞祥学園短期大学							①ほぼ全員が理解	不安や疑問等がある場合には申し出るよう学生へ伝えており、必要に応じて個別面談を実施している。現状、特に反対意見はない。		
439 東京工業高等専門学校	②③④		①③		①⑤		①ほぼ全員が理解			
440 東京都立産業技術高等専門学校							①ほぼ全員が理解		HPで保護者・学生向けに説明を行うとともに、ホームルームで学生に対し説明を行った。	
441 サレジオ工業高等専門学校							②大多数が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
442 北里大学	①②④		①		①③④⑤		②大多数が理解	本学では、2020年度後期から2021年度まで、原則面接授業・一部遠隔授業で実施しており、在学生の理解は得られていると考えている。		新入生オリエンテーションや各科目の1回目の授業において、学生に十分な説明を行う。
443 女子美術大学	①②③		①②③		②		②大多数が理解	ホームページ上で全学生に向け、大学として、専ら学長奏権にて令和3年度後期の授業方針について、判断の権限を全め説明している。新入生以外の学生に対しては、教員・助手が担任をとり、日常的にきめ細やかに授業に関するサポートを行っており、そのなかで令和3年度の後期授業方針についても説明している。		
444 専修大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度後期授業の方針に関しては、学内ポータルを通して周知するとともに、学長メッセージでホームページに掲載している。なお、学長メッセージには、令和3年度後期授業の基本方針に加えて、方針決定に至った理由を明記することで、基本方針への理解・納得を促している。		
445 東海大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	本学では、授業の開講形態に関しても含めて、ワンストップで様々な質問やクレームを受け付ける新型コロナウィルス対応サポートセンターを開設している。後期の授業について原則、半数以上の授業を対面授業で実施する旨を9月16日に本学ホームページに掲載した。その中には感染症患者や課外活動についてルールを細かく定めて実施する旨も併せて掲載している。掲載後、新型コロナウィルス対応サポートセンターへの後期の授業方針に対する質問・苦情等は本学学生28000人に対し、0件であった(10/6現在)。そのため、一定程度の理解を得られていると考える。なお、最近のセンターへの質問については、本学で行ったワクチン職域接種に關しての内容が大半である。	オフィシャルHPや学習支援システム(TIPS)を通じて、授業の開講形態等について引き続き情報提供を行っていく。また、HPでは「新型コロナウィルス対応サポートセンター」に問い合わせができること、ガイダンス等で、「授業実施に對して、意見や要望、不安や不満が生じた時には、登校時やオフィスワー等を活用して、先生に相談をするように」と個別に対応する。	
446 日本体育大学	①②④		②		③⑤		④把握していない	学生対応の中では②とも思われるが、アンケート等を実施しているものではないため④とした。		学生周知の徹底を図る。
447 横浜国立大学	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	令和3年4月に実施した学生調査において、全面対面又は対面中心の授業を望む声が約6割であり、また、Afterコロナの授業形態については約7割の学生が授業により対面・遠隔の使い分けを希望している。本学の秋学期の方針は、このような学生の意向に沿ったものであることから、大多数の学生の理解は得られると考えている。	秋学期当初の10月のみについては、夏のデルタ株拡大や、本学ワクチン職域接種2回目が10月中旬で終了するなどを勘案し、1ヶ月間は遠隔授業を中心を実施するが、11月からは春学期同様に対面授業を中心とした授業方法に戻すことを決定し、9月30日に公表した。この判断は、遠隔授業のメリットについても学生が認識してきていることであるが、一方で、前命としては対面(併用の含む)中心の授業方法が、多くの学生の希望であるということも、本学が認識している判断からの結果である。また、対面授業に不安のある学生についても、個々の事情に応じてできる限り配慮して授業を進めていく予定である。	
448 総合研究大学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業の実施形態等については、学生・教員の意見や要望を聞いたうえで、調整し実施しているため。		引き続き、学生の意見を聞いていくとともに、これまで学生の意見を聞いていない専攻についても、意見聴取の機会を設ける予定。
449 横浜市立大学	②③④		①②③		①②⑤		②大多数が理解	緊急事態宣言の発令及び延長を受け、後期授業実施方針について周知を行ったが、個別の科目について問い合わせがあるものの、全体方針についての意見等は見られないことから、一定の理解・納得は得られていると認識している。	大学の方針の決定や変更の都度、学内のポータルサイトや大学HP、また担任教員を通じ適切な周知を行う予定。	
450 神奈川県立保健福祉大学	①②		①②		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生、保護者から遠隔授業に関する苦情等は少ない。		
451 神奈川大学	①②③④⑤	学生用、教員用にそれぞれ「遠隔授業サポートサイト」を大学ポータル内に設置し、遠隔授業に関する情報を集約して発信している。	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	前学期、後学期ともに遠隔授業に関するアンケートを実施し、学生の意見について調査して結果を報告している。FD研修会でのアンケート結果の報告、分析も行っている。保護者からの意見についても記録し、遠隔授業を検討する会議に報告している。面接授業の受講に対して基礎疾患等の不安を有する学生について、一定の配慮を行っている。上記対応により授業の実施形態に関してそれほど不満の声は寄せられていないため。	後学期にも学生向けに調査アンケートを実施し、FD研修会で集計結果を報告、分析するなどの対応を行い、効果的な授業実施形態の検討はかかる。	
452 関東学院大学	①②③		①②		②③④⑤		②大多数が理解	学生を対象に実施した、遠隔授業等の授業形態に関する調査結果において、ほぼ全てまでは善いだが、大多数の学生の理解・納得が得られていると判断することができたため。	学生を対象とした遠隔授業等の授業形態に関する調査を、今後も継続して実施する。	

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組	
453 鶴見大学	②③	3-1について、文学部の対応として回答するため進学部は含めておりません。	①②③	3-4について、文学部の対応として回答するため進学部は含めておりません。	①	3-5について、文学部の対応として回答するため進学部は含めておりません。	②大多数が理解	3-7 (文学部) ②授業形態についてはポータルシステム等を通じて周知しており、学生からの特段の申し出はない。(進学部) ①オリエンテーションでの説明やポータルサイトでの説明を行っている。また、つく講義で出席を厳しく確認しており、出席状況から学生が講義形式を理解していることが確認できる。		(文学部) 該当なし (進学部) ポータルサイトでの説明以外にクラス担任教員からの連絡により、周知徹底を図る。	
454 フェリス学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	履修登録時に授業形態(対面・遠隔等)をシラバスで明示していること。また、基礎疾患、感染不安を持つ学生の遠隔受講も可能にし、さらに対面授業再開後も通学の強要を求めないことのないように、授業方法の改善にも努めている。特にゼミ等の演習科目では、教員が学生の学修状況等を直接確認しつつ、学生の納得・理解も得られるような授業形態で実施している。			
455 横浜商科大学	③		①		④⑤		④把握していない	対面授業においては、進学困難学生も一定数おり、時間割を調整し遠隔授業中心の時間割を組むように指導している。そういう意味では対面授業に対する理解を得られているとは言えないが、状況については把握している。			
456 情報セキュリティ大学院大学	①②③④		①②③		③⑤		①ほぼ全員が理解	新入生オリエンテーションでの説明、学内ポータルサイト等での定期的な情報提供に加え、各学生への指導教員による履修指導を必須としているため。			
457 横浜薬科大	①③		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	面接授業と遠隔授業の選択制にした。(随時、変更も可能)		遠隔授業をリアルタイムで双方向対話ができる機能、授業の充実	
458 横浜薬科大学	①②		③		①⑤		②大多数が理解	授業の履修状況に概ね問題がないため			
459 麻布大学	①②③④		②		②③④⑤		②大多数が理解	30年度前期も同様の方針で授業を行い、学生アンケートを実施した結果、大多数の学生が理解していた。後期については、まだ調査は実施していないが、授業形態に関する問い合わせが少ないため、大多数の学生は理解・納得していると判断した。	学部・学科による違いは、特段、感じられなかった。	現在、予定していない。	
460 神奈川歯科大学	①②		①②		②③④		②大多数が理解	定期的に行っている。授業評価アンケートの結果からそのように考えている。	特になし	今後は特にありませんが、現在行っているアンケートの内容を工夫・改善していきたい。	
461 鎌倉女子大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態について具体的に示し、7月14日に時間割として秋の授業の周知をし、授業開始1週間前に再度授業形態とその理由についてポータルサイトを通じ全学生に周知している。以前よりも、この内容に関する問い合わせや苦情が少なくなっている。		今後も継続されるならば、学科単位での履修に関するオリエンテーションでの説明を更に丁寧に行っていく。	
462 湘南工科大学							①ほぼ全員が理解	大学Webサイトやメール、ガイダンスで案内、個別の質問に回答するなど、学生の理解の増進に努めており、学生からのクレームなどはほぼ見られないため		引き続き丁寧な説明を行っていく予定である。	
463 相模女子大学	②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	学生ポータルサイトにて周知を行っているため、大多数の学生は理解していると考えられるが、納得度の調査は未実施。		引き続き、大学の方針が決まり次第、速やかに全学生へ周知する。また、学生が大学に意見を伝える手段を検討する。	
464 洗足学園音楽大学	②③		①②③	学生の質問を受け付け、その内容を履修者全員にフィードバックする。学生同士が授業のテーマについて、話し合う場を提供する。履修者の受講環境へ配慮する。データダイアットに配慮する。適切な課題量となるようにする。	④⑤		②大多数が理解	HP、ポータルサイト等において、本学の方針を周知してきているから。		本学の方針において、変更等が生じた場合、HP、ポータルサイト等において、周知を徹底する。	
465 聖マリアンナ医科大学	①②④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	各学年代表との会議を実施し、学生の意見を反映させた方針を策定しているため。		今後も各学年代表とカリキュラム委員会を実施し学生の意見を取り入れていく。	
466 神奈川工科大学	②③		①③		②③④⑤		②大多数が理解	期初に学生・保護者に向けて授業実施方針をガイダンス等で説明し、ポータルサイトで公表しているため。		感染状況の変化に応じて、面接と遠隔の比率を柔軟に変更できるような体制を早期に実施できるよう検討している。	
467 昭和音楽大学							①ほぼ全員が理解	新入生を含む個々の学生に対して、ポータルサイト等を利用して、複数回にわたり案内を行うと同時に、質疑応答等を行っている。		ポータルサイト等を利用して、丁寧に案内や説明を繰り返し行う。	
468 桐蔭横浜大学	①②③④		③		④⑤		②大多数が理解	授業運営が円滑に実施できるようになってきており、授業の実施形態等に対する学生・保護者の要望もほとんどなくなっているため。			
469 東洋英和女学院大学	①②③④⑤	教務委員会の下部組織に「オンライン授業部会」を設け、教職協会の支援体制を設けた。「オンライン授業部会」による授業実践支援、授業実施支援、アンケート調査分析によって、教育の質の確保に努めている。	①②③		②③⑤		②大多数が理解	少数の学生や保護者より問い合わせや疑問の意見が寄せられたが、その他多数の学生や保護者は理解・納得していると考えられる。方針発表に際しては、十分な検討を行い、その結果を学長名にてHPに公表および学内ポータルサイトにて学生に通知している。	理解した上で受け入れにくい様子は見聞きした。現在2年生で昨年度遠隔授業のみであった学生が、本年度後期に遠隔授業が中心となったことに落胆の声を複数聞いた。そのような学生に生に対し丁寧に説明していく。方針が変わるたびに、サポートすべき授業形態の説明などを行っていることを今後も続け、行い、図書館やコンピュータールームなどの利用ができる旨を学生に納得感および安心感を提供すべく努めていく。案内した。		
470 松陵大学	②④		①		①②③④		②大多数が理解				
471 田園調布学園大学	②		②		⑤		①ほぼ全員が理解	特に苦情などなく、授業出席率も高いため			
472 横浜美術大学	①②③④		①②③		②④		②大多数が理解	遠隔授業実施後に学生に対しアンケートを実施、各学生に対し遠隔授業に対する満足度を調査し、集計を行った。		遠隔授業に関するアンケートを毎年実施し、改善点を各担当委員会等で検討、より質の高い遠隔授業の実施に努める。	
473 日本映画大学							②大多数が理解				

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
474 横浜創英大学							②大多数が理解	本学で職域接種（大学拠点接種）を実施する前は、少数だが不安を感じるとの声があったが、2回接種完了後は学生から不安との声を聴いていない。		
475 湘南医療大学							①ほぼ全員が理解	学生アンケートによる		授業評価アンケートや学習環境アンケートを継続的に行っていく
476 湘南鎌倉医療大学	②③		①		①④⑤		②大多数が理解	学部の性質上、「特に専門科目は」対面授業を主に行うことを伝え、多くの学生に理解されているが、感染リスクを極度に警戒する学生も一定数いる。		すでに理解を得ているが、状況に応じ、学生ポータル等で連絡する予定。
477 川崎市立看護短期大学							①ほぼ全員が理解	後期課程が開始される際に各学年において、後期授業ガイダンスを開催し、本学の後期課程実施方針を説明しており、その後、学生及び保護者等から異議や苦情等がないことから理解・納得が得られていると考えている。		
478 和泉短期大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	本学ホームページ、学内ポータルサイト、対面オリエンテーションと何度も説明しており、それに対して否定的な意見などは一切挙がっていないため		
479 鶴見大学短期大学部	②③		①②		②⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態についてはポータルシステム等を通じて周知しており、特段学生からの質問はない。		
480 横浜女子短期大学	②		①		③		①ほぼ全員が理解			
481 昭和音楽大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	新入生を含む個々の学生に対して、ポータルサイト等を利用して、複数回にわたり案内を行うと同時に、質疑応答を行っている。		ポータルサイト等を利用して、丁寧に案内や説明を繰り返し行う。
482 上智大学短期大学部	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	面接授業を実施しつつ、基礎疾患など面接授業を受けるのに不安のある学生に配慮し、授業を同時中継することでオンラインでの受講を可としている。コロナ禍で学生一人ひとりに寄り添った対応をしており、この形態に関する不満は挙がっていない。		引き続き感染状況を見ながら相応しい授業形態について検討していく。
483 小田原短期大学	②④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解			
484 鎌倉女子大学短期大学部	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態について具体的に示し、7月14日に時間割として秋の授業の周知をし、授業開始1週間前に再度授業形態とその理由についてポータルサイトを全学年に周知している。ほぼ100%、この内容に関する問い合わせや苦情が少なくなっている。		今後も継続されるならば、学科単位での履修に関するオリエンテーションでの説明を更に丁寧に行っていく。
485 相模女子大学短期大学部	②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	学生ポータルサイトにて周知を行っているため、大多数の学生は理解していると考えられるが、納得度の調査は未実施。		引き続き、大学の方針が決まり次第、速やかに全学生へ周知する。また、学生が大学に意見を伝える手段を検討する。
486 洗足こども短期大学							①ほぼ全員が理解			
487 神奈川歯科大学短期大学部	③④		①②		②③		②大多数が理解	学生へのアンケートの結果に基づき判断した。		
488 東海大学医療技術短期大学							①ほぼ全員が理解	学生・保護者へガイダンス、文書にて説明していること、それに当たり臨地実習に対して不安・相談がないことから、理解・納得していると考ええる。		
489 湘北短期大学							②大多数が理解	ガイダンスで教員から学生に説明を行っていること、ポータルや書面（郵送）でも学生・保護者に対して周知していることから、大多数の学生は授業の形態等について理解・納得していると思われる。		特になし
490 新潟大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	8月10日、本学ホームページにて次の掲示をした。「本学における令和3年度第1学期の授業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先し、非対面型を基本として実施してきました。令和3年8月現在においても、新型コロナウイルス感染症の収束は見せず、第2学期の状況も予断を許さない状況です。本学では今後の感染状況を見据えながら必要性の高い授業科目に限り「対面型授業」を実施することとし、授業の教育効果と学生生活の充実を図ります。その際、面型授業を基本とする授業科目区分」として次のような科目を挙げた。『英語』、『初級外国語（ペーシング1を除く）』、『健康・スポーツ』のうち、『体育実践』、『情報』、『テラシー（受講者が100人以下の科目）』、『自然科学（理学）＜実験＞』、『大学学習法』、『初年次教育に関する科目』、『実験・実習』、『インターシップ』、『ゼミナール』、『演習』、『卒業（修了）論文』。さらに、9月10日に令和3年度第2学期の各開設科目の授業実施方法について、一覧表をWeb上に掲載し学生に通知した。8月に対応を協議した時点では第5回の応じや急務の対応要請を受け、第1学期の対応を維持しており、上記の方針通知の後には目立った反応はみられなかった。したがって、感染には渡るため状況に応じて対応する大学の方針について学生に理解されているものと考え②とした。		これまでと同様、当該学期ごとに定める授業の実施方針の周知（ホームページ掲載や学生への連絡通知）、学生・保護者等の問い合わせについて一つひとつ丁寧に対応し十分な説明を行うこと、授業評価アンケートにおける学生の満足度の確認、学部等のガイダンスにおける説明と質問受付、学生同士や教員と学生の授業外のコミュニケーション機会を増やす等。
491 長岡技術科学大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	新入生を含む全学生に対し、授業の形態等をメール、HPで十分に説明している。授業に不安を感じる学生への支援体制を十分にしている。		引き続き、学生への周知を徹底するとともに、アクセンゾリチャージャーの活用を図る等、授業について不安を感じる学生への支援体制を強化する。
492 上越教育大学	①②③④		①②③		②③⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートでのオンライン授業満足度は5点評価で平均4.11だった。		現在の取組を続けていく。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
493 新潟県立看護大学			②		⑤		①ほぼ全員が理解	遠隔授業に関する苦情は寄せられていない。		
494 新潟県立大学	②		①		③④⑤		①ほぼ全員が理解	大学におけるワクチン接種機材など、大学実施の感染拡大防止対策が効果的であるとの認識が学生間に共有されていることは、学生から大学の後期授業方針に対しての懸念や不安の訴えがほとんどなかった（学生から大学への問合せは1件だけであり、大学の方針を説明したところ、納得した）ことから裏付けられている。		
495 長岡造形大学	②③④⑤	感染症対策に配慮した安全で、かつ教育効果を高めるための対策として、教室内に大型モニターを複数設置する等、積極的に教室環境の改善に向けた機器の整備を行う。	①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	全学生を対象に後期の授業実施方針に関する調査を実施した結果、回答者の約7割の学生が「方針に納得している」、残りの3割の学生が「社会状況から仕方ないと納得している」と回答したため。		学生ポータルサイトを通じて、学生へ大学の方針を周知しており、今後も個別に問い合わせ等があれば随時対応していく。また、実施調査や授業評価アンケート等を通じて学生の声に積極的に耳を傾け、先々の方針決定の参考としていく。
496 三条市立大学							①ほぼ全員が理解	オリエンテーションで十分に周知している。		
497 長岡大学							②大多数が理解	令和3年度後期授業実施方針を周知し、前期同様に対面授業を実施しているが、学生から否定的な意見等は無い。		オリエンテーション等において、授業実施方針を説明する。
498 新潟医療福祉大学	①②		①②		④⑤		①ほぼ全員が理解	HP上で学長メッセージの発信内容で周知し、各学科内においても学生に対しての説明を行っている。		
499 新潟青陵大学	①②③		①②		④⑤		①ほぼ全員が理解	学科・学年ごとに全員参加で行うオリエンテーションにおいて説明し、その後、特段の意見も出ていないため。		
500 新潟工科大学							①ほぼ全員が理解	ホームページ、個別連絡などを徹底しており、保護者にも周知を行っていることから、理解を得られているものと推察する。学生からの苦情なども出てきていない。		引き続き丁寧な情報発信と周知を徹底する。
501 新潟経営大学	②		②		①		②大多数が理解			
502 新潟国際情報大学							①ほぼ全員が理解	遠隔授業アンケートで対面を希望する学生が多数いて、令和2年後期より継続して対面授業をしているがクレームはないため。		学内の感染防止対策の強化。特に昼食時の黙食と食事後マスクをして会話の徹底で学内感染を防止する。
503 敬和学園大学	①②③		①		③⑤		②大多数が理解	9割方対面授業を行っている現状ではあるが、それに対して目立った混乱は生じていない。		
504 新潟薬科大学	②④		①②③		①③④		①ほぼ全員が理解	大学が定めた授業実施方針に従って、問題なく授業を実施できていると実感しているため。		
505 国際大学							①ほぼ全員が理解	学長や危機管理本部からのメッセージで十分周知している。		
506 新潟産業大学							①ほぼ全員が理解			面接授業の継続実施に対する学生からの要望や意見に耳を傾けるとともに、再び感染拡大（第6波）の状況が助れることも想定し、遠隔授業への速やかな切り替えができるよう準備を整える。
507 事業創造大学院大学	①③④		①②③		②③④		②大多数が理解	学生に対する聞き取り等による		安全を重視する社会人学生・外国人留学生より遠隔授業を希望 引き続き聞き取りやアンケート調査などを実施し、反映していく。また、安全を重視する社会人学生・外国人留学生より遠隔授業を希望 引き続き聞き取りやアンケート調査などを実施し、反映していく。
508 新潟リハビリテーション大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態の検討に当たり、大学が考慮した事項に関する学生への懸念や、学長・学部長メッセージの発信等の取組を実施している。		個別の問合せ等は都度対応している。
509 新潟食料農業大学	②③		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業実施の方針を予定次第、すみやかに学生へ周知し対応を指示している。		
510 開志専門職大学							①ほぼ全員が理解			危機管理委員会、校医、看護師連携による「あるべき対策と授業方法」を随時検討、実践し、学内SNS等でリアルタイムに発信していく。
511 長岡崇徳大学							①ほぼ全員が理解			
512 新潟青陵大学短期大学部	①②③		①②		④⑤		①ほぼ全員が理解	学科・学年ごとに全員参加で行うオリエンテーションにおいて説明し、その後、特段の意見も出ていないため。		
513 新潟工業短期大学							①ほぼ全員が理解	オリエンテーション、ホームルームでの説明		特になし
514 新潟中央短期大学							①ほぼ全員が理解	以前実施したアンケートの結果から、対面授業を希望する割合が8割以上と高かったため		特になし
515 日本歯科大学新潟短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解			
516 明倫短期大学	①②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	基本的に面接授業を実施することについて学生は理解しており、面接授業に出席するため自主参加している。また、県内および市内の感染状況に応じて遠隔授業となることも理解しており、急速遠隔授業の実施が必要となった場合でも、オンラインにより適宜受講している。		長期間の遠隔授業の実施が見込まれる場合は、学生及び保護者等への案内通知を送り、理解を得る。

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
517 長岡工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	現在の授業体制に対する疑問・批判は寄せられていない。		今後授業形態等の方針転換があれば、十分な説明を付して周知する予定である。
518 富山大学							④把握していない	本学では、設問2-5の回答のとおり、本学で定める活動指針に基づき、授業実施形態を判断しており、大学ウェブサイトへの掲載状況より、学生への周知・説明を行ってきたが、学生の理解・納得の状況について、調査等は行っていないため、上記のとおり回答した。		今後これまでと同様に、大学ウェブサイトや各種システムなど、様々な媒体により、説明・周知していく予定である。
519 富山県立大学	②		①		①③⑤		②大多数が理解	後期授業の実施方針や、成績通知の方法、履修登録のスケジュール等については、全学生に対し、E-mailやLMS等で周知するとともに、学生からの問い合わせにも答えできたところがある。		
520 高岡法科大学	①④		①③		③⑤		②大多数が理解	令和3年度前期の学生への授業評価アンケートの結果、授業の満足度、授業形態の感想・意見を総合的に鑑みて回答した。	特定の学年において、理解・納得の度合いに違いがあるとは考えられないと認識している。	授業評価アンケートを半期毎に年2回実施しており、POAサイクルが回るように組織的に取り組む。
521 富山国際大学							④把握していない	授業方針等に関するアンケート調査は実施していないため。		
522 桐朋学園大学院大学	①②		①		⑤		①ほぼ全員が理解			
523 富山短期大学	②		①		⑤		①ほぼ全員が理解	オリエンテーション時に授業に関する方針を説明し、理解・納得を得たため。		ガイドラインの周知や警戒レベルに応じた対応
524 富山福祉短期大学							①ほぼ全員が理解			
525 富山高専専門学校							①ほぼ全員が理解			
526 金沢大学							②大多数が理解	令和3年度第3クォーターの授業実施方針に関し、直接、学生に意向調査をしたわけではないが、これまで「原則、対面授業」の方針の下で実施した授業に係る「授業改善アンケート」を見る限り、学修満足度も高く、大きな反対意見は無い。また、基礎疾患を有する等で感染を不安視する学生に対しては、個別にオンライン授業の受講についての配慮も実施していることから、対面授業実施の方針は、大多数の学生の理解を得ていると判断する。		本学では職種接種も完了したことから、今後も感染防止策を徹底しながら、大学の活動を一歩ずつ前に進め、コロナ禍以前の日常に戻していく方針である。一方で基礎疾患を有する学生や、ワクチンを受けることができない学生もいることから、そのような学生にはオンライン授業提供の配慮等、丁寧な対応及び情報発信を行いたい。
527 北陸先端科学技術大学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	令和2年度に学生を対象に実施した授業に関する満足度調査アンケートにおいて、希望が多かった授業の形態を令和3年度に特になし採用している。		学生を対象にした授業に関する満足度調査アンケートの実施等について検討する。
528 公立小松大学							①ほぼ全員が理解	前期においても全面的な対面授業を行ったが、授業アンケートで対面授業について不満を訴える回答は無かった。	いずれの学部についても、授業アンケートの理解度・満足度の指標は例年と比べてそんなにない。	
529 石川県立大学	③④		②③		④⑤		②大多数が理解	昨年度は通開授業に教員と学生双方が不慣れな状況で、待たなしで通開授業が開始されたため、情報通信機器等の準備が間に合わない学生が一定数おり、アンケートを行って通開状況を確認し、情報通信機器等の貸し出しなどの学生支援を行った。今年度から新入生に対して全員がノートPCの購入を義務化し、大学との通信に必要なことを年度開始時に丁寧に説明する時間を設けたことによる、情報通信機器の貸し出しを必要としないう状況となっている。	前期のみならず後期の開始にあたり、時間をかけてオリエンテーションを行い、後期の授業に関する必要事項を丁寧に説明したことで、オリエンテーションに参加しなかった一部学生を置いて、授業の形態等について理解・納得していると考えられる。	授業評価アンケートを実施して、各科目に対する理解度などの学生視点の評価を教員にフィードバックする。
530 金沢美術工芸大学	②③		①②③		②③④		②大多数が理解	令和2年度の授業アンケートにおいて、多くの学生が理解を示す回答をしており、令和3年度前期、後期とも新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、令和2年度よりも対面授業を拡充しているため。		
531 石川県立看護大学	②		①②		①②③		②大多数が理解	一部の学生から面接授業や対面授業の改善希望があるが、極めて少数であり、大学からの回答にある程度納得していると理解している。		
532 金沢星稜大学	②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	前期授業評価アンケートの結果。		
533 金沢工業大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生への周知について、学期前にクラス別オリエンテーションおよび修学アドバイザー（クラス担任）による個別面談を確実に実施し、個人個人の修学状況を確認しているため。		
534 金沢医科大学							①ほぼ全員が理解			
535 北陸大学	①②④		①②		②④⑤		①ほぼ全員が理解			
536 金沢学院大学							①ほぼ全員が理解			
537 金城大学							②大多数が理解			
538 北陸学院大学	②③④		①②③		①④⑤		①ほぼ全員が理解	授業実施方針や時間割（対面・通開）について、学生に対し丁寧に情報提供を行っている。また、面接授業と通開授業の併用により、学生の学修への取り組みが主体的になった等の効果もみられる。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
539	かなざわ食マネジメント専門職 大学		①		②		①ほぼ全員が理解	後期開始にあたり、授業運営について事務局より告知を行い、学生の反応について確認を行った。		担任による面談や、事務局の相談サポート体制の強化
540	金沢学院短期大学						①ほぼ全員が理解			
541	北陸学院大学短期大学部	②③④	①②③		①④⑤		①ほぼ全員が理解	授業実施方針や時間割（対面・遠隔）について、学生に対し丁寧に情報提供を行っている。また、面接授業と遠隔授業の併用により、学生の学修への取り組みが主体的になった等の効果もみられる		
542	金城大学短期大学部						②大多数が理解			
543	金沢星稜大学女子短期大学部						①ほぼ全員が理解			
544	石川工業高等専門学校						①ほぼ全員が理解			今後も感染状況等を注視しながら、柔軟に対応する予定である。
545	国際高等専門学校						②大多数が理解	新型コロナウイルスワクチン接種を希望する学生には同一法人の大学とともに接種接種を実施するなど、現在約半分の学生がワクチン接種済みであり、接種後等においては大多数の学生の接種が完了している。学生・保護者にはその状況を説明したうえで、本学では対面授業を再開している。なお、対面授業再開について学生・保護者からの問い合わせはない。		新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、授業実施方針が変更となる場合は、その都度、授業変更理由を学生・保護者に対して説明を行う予定である。
546	福井大学	①②③④	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和2年度前期に全学生を対象に実施した。遠隔授業の効果の検証および改善に資するためのアンケート調査を後期の終了時にも実施した。前期のアンケート同様、「移動が不要で効率が良い」「自分のペースで学修ができる」「繰り返し学修ができる」等、面接授業と比較して、自分のタイムコントロールがしやすい点をメリットとして挙げる学生が多くを占めた。また、シラバスに記載されている「到達目標」について、約7割の学生が「達成できた、概ね達成できた」と回答しており、約6割の学生から、コロナ収束後もオンライン授業を継続してほしいとの意見があった。これらのアンケート結果より、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していると考えられる。		令和2年度後期終了時の学生アンケート結果も踏まえ、引き続き、授業改善に取り組む予定である。また、学生・教職員協会の委員会の開催を予定しており、学生からの率直な意見を聴取する予定である。
547	福井県立大学						①ほぼ全員が理解			
548	敦賀市立看護大学						①ほぼ全員が理解		そのような傾向はみられない	
549	福井工業大学	①②③④	①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	大学ホームページや学内アナウンスで周知しており、またガイダンスでも対面で周知しているため		
550	仁愛大学	③④	①②③		①②④⑤		③大多数とは言えない	理解・納得が得られているとまでは言えないが、コロナ禍により基礎疾患等により感染リスクの高い学生や遠隔授業など感染リスクを懸念する学生に対して、学生の申請により遠隔授業等の個別対応をおこなっている。令和2年度は申請があったものの、令和3年度は申請がなく面接授業に理解・納得していると考ええる。		学生への授業評価アンケートを実施しており、授業への改善・変更等を調査している。回答内容は、担当教員が学生にフィードバックし、大学へ要望すべき事項は所管委員会を通じて要望している。
551	福井医療大学						①ほぼ全員が理解			
552	仁愛女子短期大学	②③④	①②		②④⑤		①ほぼ全員が理解	授業の形態等については、ガイダンス前に学内教育情報システムに時間割を掲載し、ガイダンス当日には時間割を配布し、周知した。		1. 遠隔授業について、修学支援を必要とする学生が受講する場合のサポートを強化する予定。2. 面接授業の感染対策等についての本学の方針をさらにオリエンテーションで説明を行った。
553	福井工業高等専門学校						①ほぼ全員が理解			
554	山梨大学						①ほぼ全員が理解	ガイダンス時に、大学からの連絡はキャンパスネットワークシステム（以下ONS）に掲示を行う事を指導しており、授業実施方針は、ONS及び大学HPに掲示を行い周知している。		
555	都留文科大学	②③④	①③		①③④⑤		②大多数が理解			
556	山梨県立大学	①②③④	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	「新型コロナウイルス感染防止に向けた山梨県立大学の授業等の対応方針」を定め、ホームページに掲載して学生等には情報提供を行っており、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえながら適宜対応レベルを変更して対応している。危機対応特になし応レベルの変更を行う際には、学生担当部署から全学生へ学内メールを通じて周知するとともに、不安のある学生については窓口を設けて相談に応じている。		学生同士の悩みや不安を共有するためのオンライン座談会「黒六ほっとカフェ」や専任カウンセラーの相談など、すでに取り組んでいる事例の成果等を検証し学生が安心してキャンパス内で学べるための環境を引き続き整備していく。

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
557 山梨学院大学	①②③		②		④⑤		④把握していない	学生が本学の方針を理解・納得しているかどうかの調査はおこなっていないため		学生や保護者のポータルシステムを整備し、学生への理解や納得を得るための円滑な情報発信を確実におこなっていく。
558 身延山大学							①ほぼ全員が理解			
559 山梨英和大学	②④		①③		①③④		②大多数が理解	納得していない学生がいることは確かだが、大多数の学生は授業アンケート等でコロナ対応手段としての通隔授業にメリットを感じている為。		
560 健康科学大学	②③④		①②③		③④⑤		②大多数が理解	後期授業に限定した説明ではないが、4月のガイダンスにおいて1年間の見込みとして授業方針について説明している。前期末での授業評価アンケートでは対面授業を希望する意見も見られたが、ほとんどの学生が本学がコロナ禍の状況に応じた授業運営をしていくことについて理解していると考えられる。		引き続き新年度のガイダンスや学年全員が履修する科目等で学科教員から説明し、理解を求めていく。
561 大月短期大学	①②④		①③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	アドバイザー制を導入し、履修等に関する質問を受け付けるなどの工夫を行っている。		ワクチン接種状況や授業形態に関する意向を把握するアンケートを実施する予定。
562 山梨学院短期大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生からの意見聴取を行い、理解していることを確認している。また改善点も確認している。	なし	なし
563 帝京学園短期大学							①ほぼ全員が理解	既に昨年度から対面授業を実施しており、コロナ禍以前と同様の学修機会を確保できているため		
564 信州大学							①ほぼ全員が理解	本学では、随時更新される学内対策本部通知を本学HPに掲載するだけでなく、その都度学生全員にメールで連絡している。また、質問等があれば大学に問い合わせることができ、回答によっては該当する学生全員に連絡する体制が整っているため。		
565 公立諏訪東京理科大学	①②③		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	日々、学生からの要望や質問を受け付けることができる仕組みをとっているが、ここに本学方針に対する意見がほぼ無い状況 特にないであること、授業アンケート結果などから。		丁寧な説明と情報提供につとめています。
566 長野県立大学	②③		②		②④⑤		②大多数が理解	対策等の情報周知が図られているため。		引き続き対策などの情報の周知
567 長野県看護大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	前学期と後学期の授業実施方針に大きな変更がないため。また、警戒レベルに応じた学内対応は、情報の一斉メールや共有ドライブ・ホームページ掲載がルール化されている。		
568 長野大学	②④		①②		①②⑤		②大多数が理解	後期のガイダンス時に、授業運営方針について学生に周知している。		学生に対して、HPやポータルサイトを通じて学内の方針を伝えるとともに、学生との懇談会を実施して学生の意見や要望を聞く機会を設けている。
569 松本歯科大学							①ほぼ全員が理解			
570 松本大学	①②③④		①		④⑤		③大多数とは言えない	学生向けのアンケートにおいて、オンライン授業に肯定的な意見と否定的な意見があり、理解は得ているものの、納得をしていない学生もいると推察されるため。		
571 清泉学院大学							①ほぼ全員が理解	全学生に対して、本学ホームページ及び個別一斉メールにより、前接授業を実施する旨を通知している。その通知に対し学生より疑問を呈する意見は寄せられていないので、学生には面接授業実施について理解・納得していると解している。		従前どおり、本学ホームページ及び学生に対する個別一斉メールで周知する。
572 佐久大学							④把握していない	詳細な調査をしていないため		
573 長野保健医療大学							②大多数が理解	授業方針や対面授業実施に対応した感染症対策を学長名で全学生に配信しているため。		大学としての感染症対策は、都度学生連絡ツールにて発信する。
574 松本看護大学							②大多数が理解	利用状況にて学生要項・シラバス等を確認し、後期授業について（新型コロナウイルス対策を含む）説明を行っている。	特になし	特になし
575 飯田女子短期大学	②		①②		①②		①ほぼ全員が理解			
576 長野女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
577 上田女子短期大学							②大多数が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
578 松本大学松商短期大学部	①②③④		①		④⑤		③大多数とは言えない	学生向けのアンケートにおいて、オンライン授業に肯定的な意見と否定的な意見があり、理解は得ているものの、納得をしていない学生もいると推察されるため。		
579 松本短期大学							②大多数が理解	オリエンテーションにて学生要項、シラバスを確認し、後期授業について（新型コロナウイルス感染症対策を含む）説明を特になし行っている。		特になし
580 清泉女学院短期大学							①ほぼ全員が理解	全学生に対して、本学ホームページ及び個別一斉メールにより、直接授業を実施する旨を通知している。その通知に対し学生より疑問を呈する意見は寄せられていないので、学生は直接授業実施について理解・納得していると解している。		従前どおり、本学ホームページ及び学生に対する個別一斉メールで周知する。
581 信州豊南短期大学	②③④⑤	当該科目の履修者がすべて教室に集合し、教職員によるサポートのなかで遠隔授業を実施している。このように形で質の確保に取り組んでいる。	①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	感染拡大地域の教員のみ遠隔授業を行っており、その割合はごくわずかであり、かつ友人と一緒に教室で受講できる形をとっている。また遠隔授業の際にも必ず教室にサポート職員がおり、資料の配布や席からのトラブルへの対応を図っており、これらのことから上記の回答となった。		
582 松久大学信州短期大学部							④把握していない	詳細な調査をしていないため		
583 長野工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
584 岐阜大学							①ほぼ全員が理解	授業実施方針に関する問い合わせや意見が学生から寄せられていないため。	特定の学部等や学年において理解・納得の度合いが高く又は低くなっている状況は認識していない。	特に予定していない。
585 岐阜薬科大学							②大多数が理解	進級に当たって対面による実習講義が必須であることから、概ね理解・納得が得られていると認識している。		別教室で講義が受けやすいよう、施設整備を検討している。
586 岐阜県立看護大学	②③		①		③④		①ほぼ全員が理解	授業の実施方針について学生に説明したところ特段の意見はなかった。		
587 情報科学芸術大学院大学	①②		②		⑤		②大多数が理解	学生アンケートと面談から		
588 中京学院大学	②③④		①②		②④⑤		②大多数が理解	学生に対し、アンケート調査（web講義受講状況調査）を実施した結果、授業に関する方針について特に意見がなかったため		特にありません
589 岐阜協立大学							②大多数が理解	学生は対面授業を実施することを望む傾向があり、これに基づき「感染状況が許す限り出来るだけ対面授業を行う」とし、特定の学部で理解・納得の度合いが異なることは無いが、入学している。大多数の学生はこれに納得していると考えられるが、以来コロナ禍に翻弄されている2年次の学生には大学生活に対して感染することを心配する少数の学生や保護者から対面授業に対して自問する傾向はあると感じている。		コロナ禍当初からビデオメッセージなども用いた学生への授業形態についての説明を行っている。少し線点は異なるが、対面授業をスムーズに行うために今後重要性が増すフロンティア種について、啓発活動を行っている（強制や義務ではないことを説明した上で、大学が提供する接機機会の周知も広く行っている）。
590 岐阜女子大学							①ほぼ全員が理解	学生の意見（前期の振り返り）の記述内容で把握		
591 朝日大学	①②③④		①②③		①②③⑤		②大多数が理解	教務ポータルサイトでの掲示、メール配信及びゼミやオリエンテーションで説明した。	大きな差はないが、IT機器の習熟度に差があることから教員及び事務局がフォローしている。	必要な周知事項は、文書送付及びメール送信等を行い、必要に応じて学生対象のホームルームを実施するなど理解に努める。
592 岐阜聖徳学園大学	②③④		①②③		②④⑤		④把握していない	面接授業を重視した授業を進めているので学生に理解・納得を得ることは考えていなかった。遠隔の授業実施に当たっては学生の理解や納得の状況を把握する必要があるかもしれない。		
593 東海学院大学							②大多数が理解	授業科目に実験・実習が多くあるので内容理解のためには対面による授業が最も適していると考えられる。学生の意識が同様であると考えられることは、本学の「学生生活満足度調査」結果から窺い知ることが出来る。		感染拡大防止と授業理解が両立可能な状況ができれば、直ちに遠隔授業に切り換えるような準備は常に講じている。
594 中部学院大学							④把握していない	10月12日にコロナ対策本部会議において、11月1日より全面的な対面授業の実施を決定した。10月下旬に学生の意見を聞く会を開催する。		10月下旬に学生の意見を聞く会を開催し、学生生活全般に関する意見交換を行う。
595 岐阜医療科学大学	①②		①②		①③④		②大多数が理解	状況は理解しているが面接授業を受けたいという学生は一定数いるため		学部間で理解・納得の度合いが異なる状況はない
596 岐阜保健大学	③		①②③		②⑤		②大多数が理解			
597 岐阜市立女子短期大学	②④		③		③⑤		②大多数が理解	授業アンケートの回答結果による。		
598 中部学院大学短期大学部							④把握していない	10月12日にコロナ対策本部会議において、11月1日より全面的な対面授業の実施を決定した。10月下旬に学生の意見を聞く会を開催する。		10月下旬に学生の意見を聞く会を開催し、学生生活全般に関する意見交換を行う。
599 岐阜聖徳学園大学短期大学部	②③④		①②③		②④⑤		④把握していない	面接授業を重視した授業を進めているので学生に理解・納得を得ることは考えていなかった。遠隔の授業実施に当たっては学生の理解や納得の状況を把握する必要があるかもしれない。		特になし

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
600 正眼短期大学							①ほぼ全員が理解			
601 中京学院大学短期大学部	②③④		①②		②④⑤		②大多数が理解	学生に対し、アンケート調査（web講義受講状況調査）を実施した結果、授業に関する方針について特に意見がなかったため		特にありません
602 東海学院大学短期大学部							②大多数が理解	授業科目に演習・実技が多いため、内容理解や習得のためには対面による授業が最も望ましいと考え、学生の意識が同様であることは、本学の「学生生活満足度調査」結果に現れている。		感染防止と授業理解・内容習得が両立可能な状況ができれば、直ちに通隔授業に切換えできるような準備態勢はとっている。
603 中日本自動車短期大学							①ほぼ全員が理解			
604 大垣女子短期大学							①ほぼ全員が理解	専門的な学習をする学科構成上、当初から対面授業を重視し、学生に周知して対面授業を実施してきた。（緊急事態宣言下で、通隔で実施すべきといった）授業が寄せられることはなく、理解されているものと考えている。	ほぼ全ての学生が理解しているとはいえ、対面授業を強制して、一部の通隔授業の実施や対応をしている実態もある。	感染状況に応じて、各学科の特性を考慮しながら、学生が不利益にならないよう取り組む予定。
605 高山自動車短期大学							①ほぼ全員が理解	学生・保護者等に面接授業に対する本学の考え方を電子メールと文書にて説明し、抗原検査キットも同封し、随前先に送付した（本学は海外学生が9割）。大学移動日前日に、抗原検査を実施し、抗原検査が「陰性」の学生のみを自移動した。また大学移動後2回目の抗原検査を全学生対象に実施し、検査結果が「陰性」の学生のみ学生寮に入った。翌日より対面授業を実施して、本学の上記のような対応について、学生本人や保護者等から（通隔で実施すべきといった）授業が寄せられることはなく、理解されているものと考えている。		学科の性格上、面接授業をせざるを得ないので、十分な感染対策を講じつつ、面接授業を実施する。面接授業の必要性については、丁寧に説明を繰り返す予定である。
606 岐阜保健大学短期大学部	③		①②③		②⑤		①ほぼ全員が理解			
607 平成医療短期大学	②③④		②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	学期初めのオリエンテーションにおいて、授業形態や留意点について説明している。		引き続き、学期初めのオリエンテーションにおいて、授業形態や留意点について説明を行う。
608 岐阜工業高等専門学校							②大多数が理解	本校では、新型コロナウイルスにおける活動方針レベル対応表を設定し、対応表についてH9での学生の意識や担任等の教員より学生へ説明しており、学生や保護者の理解を得ていると考えている。		
609 静岡大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生を対象に実施した以下のアンケートにおいて、通隔（在宅）授業について一定の理解は得られていることが確認できた。ただ、面接（対面）授業の方が通隔（在宅）授業に比べ、教育効果や満足度が高い傾向も見られた。○アンケート名：令和3年度前期授業アンケート ○アンケート実施期間：令和3年7月14日から令和3年7月21日 ○対象学生：本学の学部生と大学院生 ○回答数：5,245名（回答率：51.6%） ○調査結果【教育効果について】・資料・教材配信型授業で適切に学習できましたか？3.6 ・動画配信型授業で適切に学習できましたか？3.7 ・面接（対面）授業で適切に学習できましたか？3.9（5：とてもそう思う、～3：どちらともいえない、～1：全くそう思わない）【満足度について】・資料・教材配信型授業の総合満足度を教えてください。3.5 ・動画配信型授業の総合満足度を教えてください。3.7 ・面接（対面）授業の総合満足度を教えてください。3.9（5：とても満足、～3：どちらともいえない、～1：とても不満）なお、アンケートの自由記述欄においては、通隔（在宅）授業について以下のような肯定的な意見が見られた。・家族に基礎疾患を持つ者がいるため、オンライン授業がとてまありがたかった。在宅授業は聞き流しができないため理解が深まりやすいと感じた。・在宅授業の方が自分のペースで勉強できてよい。・非対面であるため安心して授業を受けることができた。		令和2年度と同様、令和3年度においても、アンケートを実施し、授業の実施方法等の改善等に努めていく。
610 浜松医科大学	①②③		②		①⑤		②大多数が理解	今年1月に実施した学生へのアンケート結果で、問：Web授業で学習意欲が高まったか（回答：高まった30.6%、やや高まった43.9%）、問：Web授業をこれからも継続すべきだと思うか（回答：ぜひ続けたい65.1%、たまになら続けたい24.9%）、と多くの学生が理解しているため。		該当しない。全体アナウンスと併用し学生の疑問点等に丁寧に回答することを続ける。
611 静岡県立農林環境専門職大学							①ほぼ全員が理解			
612 静岡県立大学	①②		①②③		③④		②大多数が理解	学生のアンケート結果から	不明	学生へのアンケート
613 静岡文化芸術大学							①ほぼ全員が理解	学生にはポータルサイトで周知し、質問や要望はその都度回答している		特になし
614 静岡社会健康医学大学院大学							①ほぼ全員が理解			
615 光産業創成大学院大学							①ほぼ全員が理解			
616 静岡福祉大学							②大多数が理解	本学の方針を公表後、特に苦情等が届いていないため、理解・納得しているものと判断している。		特になし
617 浜松学院大学							①ほぼ全員が理解			
618 静岡英和学院大学	③		②		③⑤⑥	ゼミを優先的に対面	②大多数が理解			
619 常葉大学	②		①③		②④		③大多数とは言えない	感染防止対策を施したうえで、可能な範囲で対面での授業を実施しているが、通学への不安を口にする学生やオンライン授業の利便性を好意的に受け取る学生もいるため。		引き続き、本学の感染症拡大防止のための行動指針に基づき、授業の実施方法を検討し、感染防止対策を施したうえで、可能な限り、対面での授業を実施する。その際には、適度、学生に説明をしながら進めていく。また、例年実施している学生と教職員の間での懇話会において、学生からの意見を聴き、学生の理解や納得を得られるよう努めていく。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
620 静岡理工科大学	②③		①②		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
621 聖隷クリスティーア大学							①ほぼ全員が理解	方針を周知しており、特に意見等がないため。		状況に応じ方針を周知し、理解を得ていく。
622 静岡産業大学	②③⑤	授業方法に関するガイドラインの作成・改定と学生・教職員への周知、学生の教員に対するアンケート調査の実施と結果の活用。	①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生に対するアンケート調査の結果に基づく。		学生・教員に対する継続的なアンケート調査の実施と結果の活用。授業方法に関するガイドラインの状況に合わせた改定と学生・教職員への周知。
623 日本大学短期大学部	①②③④		①②③		①②③④⑤⑥	新入生向けのZoomセミナーをZoom社のトレーナーが本学の新入生向けのセミナーを開催し、オンライン授業への支援を計画している。	①ほぼ全員が理解	各学部のホームページや各学部のポータルシステム等を利用して後学期の授業実施方針を周知しています。学生から一部問合せがあったが、丁寧に説明を行い、理解を得ています。	後学期の授業方針をホームページに掲載し、学生からの問合せが特になし。	これまでと同様にポータルサイトやフォームを開設し、学生からの質問に対して丁寧に説明を行う。
624 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
625 静岡県立大学短期大学部	④		①②		⑤		②大多数が理解			
626 静岡英和学院大学短期大学部	③		②		③⑤⑥	ゼミを優先的に対面	②大多数が理解			
627 常葉大学短期大学部	②		①③		②④		③大多数とは言えない	感染防止対策を施したうえで、可能な範囲で対面での授業を実施しているが、通学への不安を口にする学生やオンライン授業の利便性を好意的に受け取る学生もいるため。		引き続き、大学の感染症拡大防止のための行動指針に基づき、授業の実施方法を検討し、感染防止対策を施したうえで、可能な限り、対面での授業を実施する。その際には、進取、学生に取組をしながら進めていく。また、後年実施している学生と教職員の懇談会の場において、学生からの意見を聴き、学生の理解や納得を得られるよう努めていく。
628 浜松学院大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
629 沼津工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	コロナ禍における授業の実施について、学生及び保護者へ逐一情報発信を行っています。保護者よりご意見をいただくこともありますが、納得いただけるよう丁寧な説明を行っています。特になし。また、シラバスの変更が必要な場合は、学生への周知と同意を得ることを徹底しております。		特になし
630 名古屋大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生への周知に際しては、学務情報システムを活用し学生個々へ一括メール送信等により、丁寧な情報提供に努めており、併せて個々の授業実施についてもLMSにより詳細な情報を提供しているため。		引き続き丁寧な情報提供に努め、大学として決定した事項については、学生個々への一括メール送信等による情報発信を行うこととしている。
631 名古屋工業大学	①②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	後期の授業の実施方針を周知した際に学生から特段の問い合わせや意見等はなかった。		教員・学生等に関してオンライン授業に関するアンケートを行い、その結果を元に教員・学生合同の意見交換会(オンライン開催)を実施する。アンケート・意見交換会の結果(特に学生からの意見)をオンライン授業のあり方を見直す際に、質保証の担保及び授業への理解度向上を目指し、次年度における授業の実施方法を改めて検討する。
632 愛知教育大学	①②③④		①②③		④⑤		②大多数が理解	授業アンケートにおいては、遠隔授業について、時間・距離的なアドバンテージや個人の学びが深まったなどの肯定的な評価の他に、即時的なやりとりの困難さやディスカッションにより学びを深める機会が少ななどが課題として挙げられているものの、令和2年度入学生、令和3年度入学生とも、在学生も言明て大きなトラブルなくこれまで遠隔授業を履修できており、感染拡大防止のためという認識も含め、授業に関する方針は一定の理解が得られているものと考えられる。		大学ホームページや学生ポータルサイトなどを通じて丁寧に説明を尽くし、混乱を生じないよう個別の授業の授業形態がすぐ確認できるようにシラバスに明示することに加え、不明な点があれば速やかに解消できるよう問合せへの対応を行うなど、これまでの取組を継続して行う予定。
633 豊橋技術科学大学	①②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	それぞれの授業の実施形態等については、シラバスにおいて毎回の授業ごとに明確に記載されており、感染状況に応じて大学の活動態様が変更となった場合は、授業担当教員からメールおよびWebにて受講している学生に直接、連絡が届けられ十分に周知されている。後期授業開始前に全学生に対して、大学全体の授業実施方針として面授業と遠隔授業を組み合わせで実施する授業形態について、これらの連絡、周知に対しては、コロナ禍のために来日することができない留学生についても十分に理解、納得されている。なお、学生からの授業実施についても問い合わせはコロナ禍前に比較しても少数であった。	大学内のすべての学生に対して同じ方法であり、まだ来日できない留学生を含めて学生全員に十分に理解、納得されている。	現在の方法で特に大きな問題が生じておらず、基本的には引き続き現在の方法にて学生の理解が十分に得られるよう考えている。遠隔授業等の質を高めることにより、面後授業の実施割合が低下する局面でも、学生の理解や納得を得るよう努めていきたいと考えております。
634 名古屋市立大学	②③		①③		①③④⑤		②大多数が理解	本学ウェブサイトにおいて、授業実施方針を掲載しており、文部科学省からお示しいただいている遠隔授業等が実施可能な場合についても触れつつ、遠隔授業が行われる場合について言及しています。コロナ禍が収まって以降、文部科学省という公的機関の関与の下、一貫した考え方により、授業実施方針を決定していることを示すことができ、多くの学生の理解・納得を得る上で大きな助力をいただいていると感じております。		今後も感染状況等によって、遠隔授業等の活用が考えられるため、優れた遠隔授業等についての取組を全学的に集約し、FD活動に役立てたいと考えています。遠隔授業等の質を高めることにより、面後授業の実施割合が低下する局面でも、学生の理解や納得を得るよう努めていきたいと考えております。

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
635 愛知県立芸術大学	④		②		②⑤		②大多数が理解			
636 愛知県立大学	②③④	特になし	①②③	特になし	①②③④⑤	特になし	①ほぼ全員が理解	授業の方針については、新型コロナウイルスの流行が発生した令和2年 看護学部、情報科学部においては、実験、実習が多く、十分な度より、大学の掲示板やホームページにて公開していることも 感染症対策を行った上で対面授業を行っている。また、語学に、各授業において、受講方法や授業内容など学生に適時公開 授業などについては対面授業の有益性を認めつつ、発声や会話するともに学生より意見を聴取している。また、全学として などによる感染を防止するため、授業内容を考慮して通隔授業 今の取組を継続しつつ、今後も十分な情報公開と意見聴取を行う授業アンケートを行って、大学全体として学生の意見を聴取し による授業を行っている科目もある。授業教育や専門教育など、て対応している。これらの意見において、当初は否定的な意見 授業時間割において、極力、対面授業と通隔授業を混在させも見受けられたが、その学生に対しては、十分な説明と有益な ないようにしている。このような対応について、学生に対して意見に対してその対応を行うなどしている。 十分な説明を行っており、理解を得られている。		
637 愛知工科大学							②大多数が理解	一部の学生から、リモートを望む声が届いている。	一部の範囲での異なる状況はない。	特になし
638 名古屋産業大学							②大多数が理解	webページ、メール等で周知しており、講義に参加する学生からも通隔授業の要望が出てきている。	特になし	特になし
639 人間環境大学	①②③		①②③		①②③⑤		①ほぼ全員が理解	学生に対して、事前に丁寧な説明を行っている。		
640 名古屋文理大学	②④		②③		④⑤		①ほぼ全員が理解	大学からの方針を全学生に対し学生ポータルサイトにて通知しているが、特段不満を述べる学生の意見は無い。		特段取り組む予定は無い。
641 愛知みずほ大学	②③④		①③		②③⑤		②大多数が理解	大学の取組方針を周知し、学生から芽がった意見を取り入れている。		大学の取り組み方針を継続的に周知していく。
642 愛知学院大学	①②		①②		⑤		④把握していない	原則感染防止対策を取り、従来通りの面接授業を実施する方針である。ただし、緊急事態宣言発令期間中等は、感染拡大を鑑み、通隔授業で実施する。		
643 愛知工業大学							①ほぼ全員が理解			学生への迅速かつ丁寧な情報発信と柔軟な個別対応
644 金城学院大学	②③④		①③		①③⑤		①ほぼ全員が理解	①学生に対し複数回に渡り丁寧な説明を実施②1年半に渡るコロナ禍の授業で学生も慣れっこになっている。		
645 相山女子園大学	②		③		②		②大多数が理解	一部の学生から授業形態等についての質問があり、情報が行き届いていないと考える。		
646 大同大学	③④		①②③		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生から、特に強い要望は受けていない(学生アンケートにて通隔や対面それぞれを希望する声はある)		授業の改善
647 中京大学	①②		②		①⑤		②大多数が理解			
648 名古屋学院大学							②大多数が理解	学生、保護者からの質問メールや電話が昨年よりかなり減少したため、理解が得られたかと思われる。	特になし	今後、通隔授業を対面授業に切りかえる場合には早めに情報発信と説明を行う。
649 名古屋商科大学							①ほぼ全員が理解			
650 名古屋女子大学	①②		①		④		②大多数が理解	前期と授業実施方法が同じであり、通隔授業を取り入れる基準についても説明しているため。		
651 南山大学	①②③		①③		①③④⑤		②大多数が理解	本学の方針について、各クォーターごと、さらには緊急事態宣言発令ごとに学長名および教務部長名の文書を発表しているため、一定の理解を得られていると考えている。	教室定員の3分の1ないし2分の1で教室割当をしているため、大人数講義の多い社会科学系の学部では通隔授業が多くなる。また、演習系科目は対面で行っているが、学部・学科によって演習のない学年もあることから、学年による面接授業の実施比率に差が生じている。これらの学生については、理解・納得の度合いが低くなる可能性がある。	
652 日本福祉大学	①②③④		①③		①③④⑤		②大多数が理解	学生の理解については、4半期(前期前半・前期後半・後期前半・後期後半の授業期間開始前)ごとに大学ポータルサイト(電子掲示板・学部メール等)、大学印にて授業の実施方針や授業の形態等について周知している。併せて、履修科目ごとに科目担当教員から授業形態等について学生に周知を行っている。	現段階で具体的な取り組みは予定していないが、今後、学生に対して授業形態(対面・通隔)による教育効果や目的などを明確に示していく必要があると考えている。	
653 名城大学							④把握していない			
654 名古屋音楽大学	①②				⑤		②大多数が理解			
655 豊田工業大学							①ほぼ全員が理解	すでに全面的な面接授業を実施している。学期初めのガイダンスに加え、部の中の感染状況の変化に応じて、ホームページやEメールで授業方針を説明している。これらの対応に対して、特に学生から不満の声は出ていない。		ガイダンス、ホームページ、Eメール等による授業方針の説明を継続して行う。

No.	学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
656	名古屋外国語大学	①②③		②		③④⑤		②大多数が理解	後期授業実施方針発表時や履修登録時の質問の内容から推量される。		
657	名古屋造形大学	②		②		②⑤		①ほぼ全員が理解			
658	愛知産業大学	②		①②		④⑤		①ほぼ全員が理解	入学時から、LMS（学習支援システム）にて各種連絡事項を配信しているため、必ず確認するように周知しているため。また、ガイダンスにおいて丁寧に説明しているため。		
659	東海学園大学	②③		①②		④⑤		②大多数が理解	春学期の授業評価アンケートの集計結果	特になし	学生に向けての迅速な情報提供
660	豊橋創造大学							①ほぼ全員が理解			
661	愛知東邦大学	②③④		①③		①②④⑤		③大多数とは言えない	方針への理解に関する調査等を実施していないため。		
662	星城大学							①ほぼ全員が理解			
663	愛知文教大学							①ほぼ全員が理解	学生からの意見を聞くと、オンライン授業より実際に通学して学生生活をする対面授業を望む意見が大半であった		
664	桜花学園大学							②大多数が理解	基本的な感染対策については繰り返し徹底を呼び掛け、個別の事情には受講や通学の方法等可能な限り細かく対応している。現時点で学生からの苦情等報告はない。		方針の変更・決定の際は迅速に公開し、学長メッセージ・学部長講和・ゼミ指導等複数の手段による学生理解の調査を図る。
665	愛知大学	②③④		③		⑥		④把握していない	学生に対して、令和3年度秋学期の授業実施についての案内を行い、40%の学生がこれを閲覧したことは確認していますが、理解・納得しているかの確認はできていません。		通隔授業の実施にあたっては、教育の質の確保のための環境整備や活動を推進するとともに、特に授業方法等に関して、学生から寄せられた意見については、できる限り反映できるよう教員に周知してまいります。また、大学から発信する情報について、学生の理解や納得を得られるように説明してまいります。
666	愛知学泉大学							②大多数が理解	緊急事態宣言発出中は対面型授業と非対面型授業で行った。この時の調査では学生の大多数が対面型授業を望んだ。		授業アンケートにおいて、授業の実施方法についても学生の声を確認し、実施していく。
667	至学館大学	②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	各学科の各学年に少人数の専門演習を配置しているので周知できている。		
668	中部大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学長および副学長名にて複数回にわたり実施方針について周知を図っている。		
669	藤田医科大学	①②		①②③		①③		②大多数が理解	学生アンケートにおいて授業形態については若干意見が出ている。		
670	名古屋芸術大学	②③		①②③		④⑤		①ほぼ全員が理解	昨年度に面接授業の代替として通隔授業を実施するようになって以降、都度、授業の実施方針について全ての学生に対して学生ポータルサイトを通じて周知しており、浸透できていると考えている。		従前のとおり、都度、周知を図っていく。
671	愛知医科大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	本学の方針の理解を得るため、学部長等から随時説明を行っている。	特になし	引き続き学生や保護者に対し、本学の方針等を適宜説明していく。
672	愛知淑徳大学	①②		①②		①③④⑤		②大多数が理解			
673	名古屋経済大学	②③		①		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	履修登録にあたり、履修の手引きおよびゼミを通じて授業形態等を周知し、学生自らが履修またはオンライン授業を選択し、履修登録している。また、授業形態に関し、全学生へのメール発信やホームページでの告知もしている。以上から、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得していると思われる。	異なる状況は存在しない	現在における取り組みを維持する。
674	名古屋学芸大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			今後もきめ細かく学生対応に取り組む
675	日本赤十字豊田看護大学							①ほぼ全員が理解			
676	修文大学							①ほぼ全員が理解	通学して授業を受けたいとの声が多い。対面授業に対して苦情等もありません。	特に差はなし	現在も実施しているが、今後も学生にアンケート調査をしていく予定。
677	岡崎女子大学							①ほぼ全員が理解			
678	一宮研神大学	①②③		①②		①②⑤		①ほぼ全員が理解			

No.	学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
679	名古屋柳城女子大学	②③④		①③		②③④		②大多数が理解			
680	名古屋国際工科専門職大学							①ほぼ全員が理解			
681	豊橋創造大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
682	愛知学院大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	学生はすでに医療従事者としての意識を持っていることから面接授業の必要性は周知している。また、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等、客観的指標ともリンクしている。		学生には随時丁寧に授業形態の方針等を伝えていく予定である。
683	名古屋文理大学短期大学部							④把握していない	調査をしていないため。		
684	名古屋女子大学短期大学部	①②		①		④		②大多数が理解	前期と授業実施方法が同じであり、通隔授業を取り入れる基準についても説明しているため。		
685	名古屋短期大学							②大多数が理解	基本的な感染対策については繰り返し徹底を呼び掛け、個別の事情には受講や退学の方法等可能な限り細かく対応している。現時点で学生からの苦情等報告はない。		方針の変更・決定の際は迅速に公開し、学長メッセージ・学部長講和・ゼミ指導等複数の手段による学生理解の徹底を図る。
686	愛知みずほ短期大学	①②③④		②		⑤		①ほぼ全員が理解	後期授業に先立って学生に時間割とともに授業形態を周知し、混乱することなく実施されている。		
687	名古屋柳城短期大学	②③④		①③		②③④		②大多数が理解			
688	名古屋文化短期大学	①③④		①③		③④		①ほぼ全員が理解	本学はコース担任制をとっており、各コースにおいて情報提供の徹底を図っている。感染拡大当初は学生より様々な不安・不満の声も上がったが、今年度は特に大きな不満等が出ていないため。	特になし。	これまで通り、適切な情報発信を継続していく。
689	愛知工科大学自動車短期大学							①ほぼ全員が理解	資格取得のために実技を履く必要があり、通隔授業では実技を履くことができないから。	一部の範囲での異なる状況はない。	特になし
690	愛知大学短期大学部	②③④		③		⑥	現時点で特に通隔授業の実施に伴う影響を大きく受けている学生に対する配慮は計画していませんが、学生の様子を見ながら検討いたします。	④把握していない	学生に対して、令和3年度秋学期の授業実施についての案内を行い、40%の学生がこれを周知したことは確認していますが、理解・納得しているかの確認はできておりません。		通隔授業の実施にあたっては、教育の質の確保のための環境整備やFD活動を推進するとともに、特に授業方法等に関して、学生から寄せられた意見については、できるだけ反映できるよう教員に周知してまいります。また、大学から発信する情報について、学生の理解や納得を得られるように説明してまいります。
691	愛知学泉短期大学							②大多数が理解	緊急事態宣言発出中は対面型授業と非対面型授業で行った。この時の調査では学生の大多数が対面型授業を望んだ。		授業アンケートにおいて、授業の実施方法についても学生の声を確認し、実施していく。
692	修文大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	通学して授業を受けたいとの声が多い。対面授業に対して苦情等もありません。	特になし	現在も実施しているが、今後も学生にアンケート調査をしていく予定。
693	愛知文教女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
694	岡崎女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
695	至学館大学短期大学部	②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	各学年に少人数の専門演習を配置しているので周知できている。		
696	名古屋経営短期大学							②大多数が理解	webページ、メール等で周知しており、講義に参加する学生からも通隔授業の要望が出てきている。	特になし	特になし
697	愛知江南短期大学	①		①		②		①ほぼ全員が理解			
698	愛知医療学院短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		④把握していない	令和3年度前・後期で基本的な方針に変更はなく、8割以上の授業を面接授業としているため、学生の理解・納得状況を確認していない。		毎年実施する「学生満足度調査」で確認する予定である。
699	豊田工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学生からの相談を受ける場は設けており、十分機能しているため。	なし	なし
700	三重大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	HPやシラバスにおいて授業形態を記載し周知している。また、学生の登校する機会の確保や、学生との意見交換会を実施するなど、オンライン授業の改善もしているため。		Withコロナ、afterコロナを見据えて対面、オンライン授業双方の学修環境の改善や、学生の声を聴く機会を設けるなどして学生の理解を深めていく。
701	三重県立看護大学	②③		①		④		①ほぼ全員が理解			
702	四日市大学	③④		①③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	オリエンテーション等を通じて学生の理解を進めている。		授業開始前のオリエンテーション時間を有効に使い、情報発信の強化。
703	星学館大学	②		①		②③④⑤		②大多数が理解	対面授業において不満が出ていない。	特になし	特になし
704	鈴鹿医療科学大学							①ほぼ全員が理解	授業の形態等が変更になる場合には、その都度、学長発信文書とともに、通隔と面接授業を表記した時間割を編成し、その都度配信をしている。不明な点等について、大学事務局または担任教員へ連絡をするように伝えていくが、特に問い合わせなど受けていない。	不明な点等について、大学事務局または担任教員へ連絡をするように伝え、大学のホームページや内専用ポータルサイトを利用して、情報発信をし続ける。	
705	鈴鹿大学	①②		①②		⑤		①ほぼ全員が理解	全ての学生へメールを「送信して情報を伝えている		
706	四日市看護医療大学	②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
707	三重短期大学	②③		②		②③		①ほぼ全員が理解	ガイダンスでの説明や、授業形態の一覧を学生に配布している。		新入生にはガイダンス、オリエンテーションで詳しく説明する。
708	鈴鹿大学短期大学部	①②		①②		⑤		①ほぼ全員が理解	全ての学生へメールを「送信して情報を伝えている		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
709 高田短期大学	②		①		②⑤		②大多数が理解	ごく一部の学生から、面接授業への不安の声が挙がるが、大半の学生は理解を示している。		根拠よく、何度も説明していく。
710 ユマニク短期大学							①ほぼ全員が理解			
711 鈴鹿工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	後期授業形態については、段階的に学生・保護者に通知している。また、そのことに関して、学生・保護者からの問い合わせ 特になしはない。		特になし
712 鳥羽商船高等専門学校							②大多数が理解	今年度6月に全学生対象のアンケートを実施した際の回答では面接授業・遠隔授業どちらが良かったかの投函においてほぼ同数の回答であった。現在面接授業を行っているがほぼ全ての学生が納得しているとは考え難いが、現在、学生等から遠隔授業への切り替えを希望する声も聞こえてこないため概ね納得していると考えられる。		学生・保護者へ向けてHP等において情報を積極的に公表していく。
713 近畿大学工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	授業の情報について学生へのメール配信、ホームページでの公表による周知を行っているため。		特になし
714 滋賀大学	①②③		①②③		①②⑤		②大多数が理解	学生への授業評価アンケートの回答結果に基づき判断した。また、令和3年度後期の授業方針及び授業科目ごとの実施形態を学生へ周知の上、後期の履修登録を行わせている。		学内電子掲示板を通じて密なコミュニケーションを心がける。学部長と学生との懇談会を設ける。
715 滋賀医科大学	①②③④		②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	既に定着している令和3年度前期の授業方針を継続するので、学生の理解は得られているものと考えている。		今後も適宜遠隔授業について情報提供を行う。また、4月初旬に実施する全学年対象の学年別ガイダンスにおいて、令和4年度の授業の実施について説明を行う。
716 滋賀県立大学	①②③		①		④⑤		②大多数が理解	令和2年度の遠隔授業等のアンケート結果を踏まえ、今年度の方針を決定しているため		授業評価アンケートを実施
717 成安造形大学	②		②		③⑤		①ほぼ全員が理解	前期から同様の内容で進めていることと、授業開始前の全体ガイダンスにおいて説明し、なおかつ各科目シラバスで学生に提示しているため		引き続き、授業開始前のガイダンスにおいて、より詳しく説明を行っていく予定です。
718 聖泉大学	①②		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	基礎疾患等、修学上の不安がある学生への配慮等、個々の学生の状況に応じて可能な限り対応している。		
719 長浜バイオ大学	②③		①②		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和2年度は、多くの科目で遠隔授業を行ったため、学生から授業形態等に関する問い合わせが減少した。令和3年度前期より、ほぼ全ての科目を面接授業にしたので問い合わせはほとんどなくなった。		学期初めに実施するガイダンスや担任との面談の際に、授業形態等を丁寧に説明する。
720 びわこ成蹊スポーツ大学	①②③		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業評価アンケートの結果、コメント等により、授業形態を理解していると判断している。		2022年度入学者に対して一部の科目でIoTを活用した遠隔授業を行う旨のアナウンスを行う予定である。
721 びわこ学院大学	①②		①		④⑤		②大多数が理解	事前周知をはかっており、苦情が一切ないため。		
722 滋賀文教短期大学	②		①		②⑤		④把握していない	根拠となる具体的なアンケート等を現状実施していないため。		引き続き、丁寧な説明や周知を行っていく。
723 滋賀短期大学							①ほぼ全員が理解	学期の始まる前には必ず学長からのメッセージ（方針）を大学ホームページ、学生ポータルサイト、学内掲示で示しているが、それについて学生から特に問題を指摘する意見はない。		これまで通り、学期開始前や感染状況に変化のある場合には、学長からメッセージを公表する。
724 びわこ学院大学短期大学部	①②		①		④⑤		②大多数が理解	事前周知をはかっており、苦情が一切ないため。		
725 京都大学							②大多数が理解	学生には、状況に応じてホームページや学生向けポータルサイト・メールで周知している。また、ホームページ上の意見箱 なしにおいても丁寧な説明をして学生への納得を求めている。		なし
726 京都教育大学							①ほぼ全員が理解	対面授業の実施や必要に応じた対面授業休止とオンライン授業との併用等、授業形態について複数回の説明を行っている。		引き続き丁寧な説明に努める。
727 京都工芸繊維大学	①②③④		②		④⑤		①ほぼ全員が理解	後学期の授業方針を通知して以降、特に不満や批判的な意見は寄せられていないため。		
728 京都市立芸術大学	②③		②③		⑤		②大多数が理解	本学の主要な授業科目である実技系科目の授業を面接授業として可能な限り実施していることもあり、学生から学修ができない旨の意見など、不満の声は少ない。		今のところ、取り組む予定はない。
729 京都府立大学	①②③④		①②③		③④		②大多数が理解	大学HP・キャンパスWebシステムにより学生全員に周知している。		授業形態について、変更があり次第、大学HP・キャンパスWebシステムにより学生全員に周知する予定。
730 京都府立医科大学	①②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	長期休暇後の授業再開時や緊急事態宣言前後など、その都度、授業方針等を説明しており、大多数の学生は理解・納得しているものと考えている。		学生には、これまでと同様に、その都度説明を行い、理解してもらう。
731 福知山公立大学	①②③④		①②③		②⑤		②大多数が理解	オリエンテーション（対面、遠隔を併用）時に学生に説明し、特に苦情等もなく、順調に後学期の授業をおこなっているため。		

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
732 平安女学院大学	②③④		①③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	少人数教育を徹底し、教員が学生の状況を知悉しているため繰り返し方針を伝えることができる。		ガイダンスの動画の配信など、ICT技術を活用していきたい。
733 大谷大学							①ほぼ全員が理解	本学では、2020年度前期はゼミナールや実技・実習を中心とする一部授業において直接授業を実施し、2020年度後期から現在まで、受講者多数等の一部科目を除き、コロナ感染予防対策を講じたうえで、コロナ禍以前と同様の範囲でガイドラインに準じながら直接授業を実施している。また、2020年度後期に行った授業アンケートでは、直接授業の満足度が最も高いという結果であった。これらを総合的に判断した結果、ほぼ全ての学生が、原則直接授業実施という方針に理解・納得していると捉えている。		本学は全学部・全学年においてゼミナールを必修化しており、ゼミナール担当教員を指導教員として位置づけている。ゼミナール担当教員は、単なる科目担当者ではなく、担当学生の大学生活全般の個別サポートの役割を担っている。そのため、引き続き指導教員と学生の連携をより密にし、個別指導を中心として学生の理解や納得を得られるように努めていく。
734 京都外国語大学	①②③		①②		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生個々のポータルサイトでの周知を行うと同時に質問や意見を求めた。		今後も状況の変化など機会ある毎に周知を図る。
735 京都産業大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	全学部、年次に対するガイダンスを実施し、学長からの動画にて方針を説明。また、実施した学生アンケート結果から。		現時点では未定
736 京都女子大学	②③		①②③		④⑤		④把握していない	アンケートが時期的に未実施のため。	アンケートが時期的に未実施のため。	アンケートが時期的に未実施のため。
737 京都薬科大学	①③		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	授業形態等の理解・納得についてアンケートは取っていないが、学生から授業への苦情が大幅に減少し、教務課の窓口相談に来る学生の態度や話しぶり等を通常から観察している担当職員の見解である。		
738 京都光華女子大学	①②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	感染状況や授業によって異なる授業形態について、保護者や学生より、一部問い合わせが生じている現状があるため。		
739 種智院大学							①ほぼ全員が理解			
740 京都橘大学	①②③④		①②③		①③⑤		②大多数が理解	授業の実施形態について、緊急事態宣言等に伴う方針変更のたびにポータルサイト等にて周知している。これまでのところ大きな混乱なく授業実施ができていたことから、授業の形態等について大多数の学生が理解・納得できていると考える。		継続的に学生へのアンケート等を実施し、状況の把握につとめる。
741 同志社大学	②③④⑤	通開授業の実施に関するガイドラインを策定している。	①②③		①②④⑤		④把握していない	令和3年度中に在学生に対して実施した学生調査において、直接授業と通開授業それぞれに対し賛否両論の意見があったが、回答率が高くなかったため、それらの意見が本学の大多数の学生の意見を反映しているとは言えない。		■現在の以下の取組みについて、今後も随時更新しながら取組みを継続する。・学長のメッセージをホームページに掲載しており、このメッセージの中で授業形態や大学としての対応について触れ、理解を求め、・学生の学修活動に混乱を生じさせないよう、授業形態、教室利用の運用基準、受講機会確保のための配慮、自習室等について説明した「2021年度秋学期授業について」や授業に関する案内をまとめた「受講の手引き」を作成し、ガイダンスとして大学ホームページに掲載する。・次年度の入学予定者に対して、新入生向けに特化したページを設け、あらかじめ本学の授業形態やICT教育について詳しく説明する。・学生調査を実施し、教職員間での調査結果の共有と、学生へのフィードバックを行う。■通開授業の質的向上のため、これまでに得た知見を踏まえて、既存のガイドラインを改訂し教員に周知する。■Wi-Fi環境の拡充、授業収録用Webカメラやビデオカメラの増備、機軸機能を備えた教室の空間設備の段階的整備、二酸化炭素濃度測定機の設置により、目に見えない形で教育環境の整備を進め、学生の受講機会の確保や通開授業の質的向上を図る。
742 同志社女子大学	②③		②		③⑤		④把握していない	授業の実施方法について、(学生の理解・納得の状況)に係る大学全体としての調査等は実施していないが、学生から問い合わせ等があった場合には、個別に丁寧に説明したうえで、理解を得るようにしている。		特に予定はない。
743 京都ノートルダム女子大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生へはLMSを通じて授業形態等の方針を通知している。常に6割から8割以上の学生が通知を閲覧していることを確認しており、学生から電話やメールで問い合わせがあった場合、教務課から本人の状況の確認とともに説明を行い、理解を求めている。		
744 花園大学							②大多数が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
745 佛教大学	①②③④⑤	教学部門の職員がICT機器の操作について教員の質問に応え必要に応じてサポートをしている。遠隔授業の方法についての研修修会や学生に全理してもらい遠隔授業について感じていることを話してもらい教職員研修会を実施し教員に教育の質を高めてもらうよう研修の場を設けている。	①③		①②③⑤⑥	緊急支援金5万円の支給（学修環境全般を整えるための支援）	②大多数が理解	授業方針について学長・副学長の学生向けメッセージをHPとポータルサイトに提出している。		遠隔授業（ハイブリッド型を含む）での学習効果を紹介するとともに、教員側には必ずオンライン研修を上げ履修などができるようにすることや、質問にすばやく対応するためTAを配置するなどの取組を検討している。
746 立命館大学	①②③④		①②③④	シラバス上で各回の授業形態を記載するとともに、感染状況が悪化しキャンパスへの入構制限を実施した場合の授業実施方法（オンライン授業への切り替え、評価方法の変更等）などを事前に記載し、公開した。	②③④⑤⑥	自宅等で遠隔授業に出席することを想定し、安価な光通信回線やモバイルルーター契約の斡旋を行っている。	②大多数が理解	シラバスで授業回ごとの実施形態を公開するとともに、感染状況に伴い授業形態を切り替える場合については、一定の準備期間を設け、また大学HPやSNS等で授業形態について丁寧にアナウンスを実施している。昨年の春学期にみられたような授業形態に対する学生からの問い合わせなどの混乱は生じていない。		授業形態を変更する場合は、できる限り早期に学生等に対して情報提供と丁寧な説明を行う。また、授業アンケート等を通じて授業実施形態や学習環境についての意見を汲み上げ、授業改善につなげている。
747 龍谷大学	①②③④		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	学生には、学生向けポータルサイトやホームページを通じて、授業の実施形態などについて周知している。授業は大きな混乱もなく実施しており、学生は状況を理解しているものと考ええる。		これまで、対面授業における基礎疾患のある学生に対する授業配慮やオンライン授業の実施に伴う経済的支援など、対面授業及びオンライン授業に対する学修サポートを実施してきた。今後も引き続き学修サポートを継続することで学生の学修機会を担保し、本学の授業方針について学生の理解が得られるよう努めていきたい。
748 京都先端科学大学	②③		②③		⑤		①ほぼ全員が理解	学期開始時に、授業実施方法についての案内を本学のポータルサイトから全学生に対して行っている。また、学期はじめに行われるオリエンテーションにおいても、授業に関する説明を教員から学生に対面で行っている。		今後も引き続き学生に対しては、対面でのオリエンテーションやポータルサイトを利用して授業実施に関わる説明を丁寧に行っていく予定である。
749 京都精華大学	③④		②③		②⑤		②大多数が理解	アンケートはとっていないが、必要に応じて可能な限り個別対応を行っている。		必要に応じて可能な限り個別対応を行っている。
750 明治国際医療大学	②③④		③		①⑤		①ほぼ全員が理解	学長名の文書発信により、時期に応じて授業方法等の案内を行っている。		
751 京都芸術大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	本件について多数のクレームが寄せられる等の状況にはない	身体性を伴う芸術分野（舞台芸術等）においては、対面の要望が強い	引き続き、ガイダンスや資料等で学生への丁寧な説明に努める
752 京都文教大学	②③		①		②		②大多数が理解	本学は授業実施形態を危機管理レベルに応じて実施している。変更がある際等、都度、学長名、教務部長名で学生に周知している。また1年次より少人数ゼミを設けており、担当教員によるきめ細かなフォローを行っている。		
753 嵯峨美術大学	①②③		①③		④⑤		②大多数が理解	状況に応じて公式ホームページ等で本学の対応方針を発表しているが、それに対し特に学生からの意見等が無いため。		感染状況等の状況に応じて授業方針を定めて適切に周知し、その理由について丁寧な説明に努める。
754 嵯峨美術短期大学	①②③		①③		④⑤		②大多数が理解	状況に応じて公式ホームページ等で本学の対応方針を発表しているが、それに対し特に学生からの意見等が無いため。		感染状況等の状況に応じて授業方針を定めて適切に周知し、その理由について丁寧な説明に努める。
755 京都情報大学院大学	①②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解			
756 京都医療科学大学							①ほぼ全員が理解	1学年当りの人数が80名~90名であり皆がそろうことが当然である意識が強いと感じている	特にな	特にな
757 京都華頂大学							②大多数が理解	学生からの問い合わせや要望等の件数から。		
758 京都美術工芸大学	②③④		②③		①③⑤		①ほぼ全員が理解	学生からのクレームを聞かない		対面・オンラインの比率の変更を行う場合はなるべく早く告知する
759 京都看護大学	②④		①②		②③		①ほぼ全員が理解			
760 池坊短期大学							①ほぼ全員が理解	学修内容の特性上、対面授業を基本としており、また感染対策の現状から、理解できていると考ええる。		全員が参加する授業において、学長や副学長が直接説明して回り、状況の理解を求めた。

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
761 京都経済短期大学	②		②③		⑤		④把握していない	理解・納得の状況について調査等を実施していないため。		ガイダンス等での説明や情報提供を実施していく。
762 華頂短期大学							②大多数が理解	学生からの問い合わせや要望等の件数から。		
763 京都外国語短期大学	①②③		①②		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生個々のポータルサイトでの周知を行うと同時に質問や意見を求めた。		今後も状況の変化など機会ある毎に周知を図る。
764 京都光華女子大学短期大学部	①②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	時期や授業ごとに異なる授業形態について、保護者や学生より一部問い合わせが生じている為		
765 龍谷大学短期大学部	①②③④		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	学生には、学生向けポータルサイトやホームページ等を通じて、授業の実施形態などについて周知している。授業は大きな混乱もなく実施しており、学生は状況を理解しているものと考えている。		これまで、対面授業における基礎疾患のある学生に対する授業配慮やオンライン授業の実施に伴う経済的支援など、対面授業及びオンライン授業に対する学修サポートを実施してきた。今後も引き続き学修サポートを継続することで学生の学修機会を担保し、本学の授業方針について、学生の理解が得られるよう努めていきたい。
766 京都文教短期大学	②③		①		①③		②大多数が理解	本学は授業実施形態を危機管理レベルに応じて実施している。変更がある際等、都度、学長名、教務部長名で学生に周知している。また1年次よりアドバイザー制度（担任制）を設け、担当教員によるきめ細かなフォローを行っている。		
767 京都西山短期大学							①ほぼ全員が理解	面接授業での理解度の方が高いと感じている学生が大多数のため。		授業時間内に理解度を把握するための取組を徹底する予定。
768 舞鶴工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学生から面接授業に対する反対意見は無い。		
769 大阪大学	②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	授業実施方針に関して、学生にアンケートは行っていないため。しかし、オンライン授業の状況把握のため、学生の履修動向、授業の満足度や望ましい授業の形態、学生生活の状況などについて調査を行っており、実態は把握している。		学生自らが大学や各学部が行っている措置の妥当性を理解し納得できるよう、新型コロナウイルス感染症に関する最新のデータやこれまでの知見に基づき正しい知識を大学が説明することで、学生が感染症に対する正しい理解を得ることに努める。
770 大阪教育大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	本年7月期に学生に対してアンケートを実施したところ、後期の授業に関して、面接授業のみを希望する割合は多く、通開授業との併用を容認する回答が多かった。また、令和3年度後期の授業実施方針を大学ウェブページに掲載するとともに、学生ポータルサイト及び個別メール配信により周知しているが、特定の反対意見は無い。	該当なし	前期同様、今後コロナ感染状況の実勢に伴い、大学として面接授業と通開授業の比率を変更する方針変更を行うことが想定されるが、必要に応じて学生に対してアンケートを実施し、学生の希望や教育効果を踏まえて判断するとともに、大学ウェブページへの掲載、学生ポータルサイト及び個別メール配信により速やかに学生に周知する。
771 大阪市立大学	②③④		①③		③④⑤		②大多数が理解	学生アンケートを実施した結果による		対面授業を行う教室を中心に、教員にアクリルパーテーションを設置する他、消毒液設置場所の増等により、引き続き感染予防対策を講じる。
772 大阪府立大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度の授業の実施方針については、令和2年度に実施したオンライン授業に関する学生アンケート等で学生の意見を聞いた上で「対面授業を基本として、一部の授業をオンラインで実施または併用する」方針を決定し、学内ポータル及び大学Webサイトで、学生・保護者・教職員向けに広く周知しており、併せて各科目ごとのような実施方法で行うかについても、学生に時間別で周知している。これらの内容に対する意見があった場合は、学生の納得が得られるように丁寧に方針に至った経緯や対応等を説明していること、基礎疾患のある学生に対してはオンラインでの対応も行うことから、上記の方針に対して大きな反対意見は受けていないため、理解・納得を得られているものと考えている。		令和3年度は情報発信の方法を工夫し、新型コロナウイルス感染症対応に係る授業関連情報を一元管理して、学生がアクセスしやすい状況を作る等の工夫するとともに、留学生、外国人教員向けに、英語翻訳による発信も行っている。また、授業対応に対する学生の納得度や不満に思っている点等については、定期的に実施している学生向けアンケート等での状況把握に努め、改善すべき課題の把握や改善対応、適切な説明を行うなどとして、学生の納得を深められるように努めていく。
773 大阪経済大学	②③		①②		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	窓口ならびにメール等で意見が寄せられるが、方針に疑念をもった意見は無い。順調に履修登録も完了している。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
774 大阪工業大学	①②④		①②		①③④⑤		②大多数が理解	大学のHP、学生へのメッセージ（ポータルサイト）にて大学としての考え・方針を掲載、配信しているため。また、学生及び保護者からの問い合わせが非常に少なく、対応への理解が得られていると考えている。		検討中。
775 大阪歯科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
776 相愛大学	②		①③		①②③⑤		②大多数が理解	昨年度に比べて圧倒的に学生や保護者からの意見や苦情が少ない。		
777 桃山学院大学	①②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	2021年度秋学期の授業方針を決定し、2021年7月29日に大学Webサイト等で発表した。その後、同方針や授業形態に関する不満等の連絡はないことから、「大多数の学生は授業の形態についての理解・納得を得ている」と認識している。	特になし	新入生歓迎イベントの実施
778 摂南大学	①③④		①②③		③⑤		②大多数が理解	学生の閲覧可能なサイト、HPで周知しているが、問い合わせもあるため。		
779 桃山学院教育大学	③		①		⑤		②	学生による授業評価アンケート等による		
780 大阪医科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	1.後期方針を作成し、事前の周知及び学修ツールへ掲載し、授業初日に説明している。 2.学生から教務部門に寄せられる意見については学内で共有し、授業の実施方針を検討する際の参考にしている。		
781 大阪音楽大学	③		①		③⑤		①ほぼ全員が理解	ポータルシステム等で方針を学生個々に配信すると同時に質問や要望に個別対応しているため。		地域の感染状況等を確認しながら、面接授業の数を増すよう取り組む。
782 大阪学院大学	②③		②		②⑤		④把握していない			
783 大阪芸術大学	①②③		①		①⑤		②大多数が理解	個々の授業において担当教員が説明しており、不安を感じる学生への個別対応も行っている為、各教員からの報告により概ね納得していると考えている。		HPや情報配信システムで方針などを説明する。
784 大阪産業大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	令和2年度は、コロナ禍に入った前期において、オンデマンドや課題提示型など様々な遠隔授業を行った結果、保護者や学生からの苦情をいただいております。しかし後期に入り、面接授業と遠隔授業のいずれでも受講が可能なハイフレックス型のハイブリッド方式を全学的に導入して以降、苦情を聞くことがほとんどなくなりました。また学生においては、年度末に各学科で実施した、在学生向けの令和2年度授業に関するアンケートにおいて、面接授業と遠隔授業の両者の利点を認識していることをアンケート等で把握し、学生より不満等が出ていないことを確認しました。令和3年度は、令和2年度後期の形態を踏まえて、ほぼすべての授業で面接授業と遠隔授業の両者を組み合わせて行われるため、上(3-7)の回答としています。		
785 大阪樟蔭女子大学	②③		①②③		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態については、全体にはホームページの学長メッセージにて大学の方針を周知しており、個別の授業に関しては、授業担当者から学生にIT等を使って、授業形態・授業内容について丁寧に説明を行っていただいている。感染不安による不登校者もほぼなくなっている。		先と同様、学長からの方針説明と、授業担当者から学生へ丁寧に説明を基本として行う。WEBによる新型コロナウイルスに関する学生からの問い合わせへの対応も丁寧に行っている。それ以外には、本学のアドバイザー（担当）制度があり、定期的な面談時に学生の理解・納得の状況を把握できていると思われる。
786 大阪商業大学	②		①		③⑤		④把握していない	昨年度より、原則対面の方針で授業を実施している。授業アンケート等で特段の不満が出ていないことから、今年度も方針を該当なしと踏襲することとしたため、状況調査をしていない。		授業アンケート等による実態把握
787 大阪体育大学	①②		①②		②⑤		②大多数が理解	授業方針決定後に学生（保護者）へ案内した後、クレーンや意見などはほとんど寄せられなかった。また、学生からそのような声が届いているという科目担当教員からの報告もない。		方針の変更がある場合は、メール、ポータルサイト、ホームページ等で事前に周知することを徹底する。
788 大阪電気通信大学	②③		②③		①②③⑤		①ほぼ全員が理解	令和2年度と比較すると、学生から授業形態についての問い合わせや要望が寄せられる件数が大幅に減少しているため、大学からの周知・説明に理解・納得しているものと考えています。		
789 大阪大谷大学	②③④		①③		①②③④⑤		②大多数が理解	本学の授業に関する方針は、新型コロナウイルス感染症状況に応じて変更になる可能性があることはホームページを通じて学生に周知している。その他各授業担当者からもLMSを通じて授業の形態等も含め詳細な説明を行っている。質問等があればLMSや学内メールで受け付けており、学からの問い合わせ事項を常に把握するための仕組みを構築している。		
790 追手門学院大学	②③④⑤	オンデマンド型授業の配信資料については「録画講義の動画配信」「音声による解説を加えた講義資料の配信」や「動画による解説を加えた講義資料の配信」など、音声や動画をを用いた解説を組み合わせた資料の配信を原則としている。	②③		③④⑤		②大多数が理解	秋学期オリエンテーション資料等で授業の実施方法について案内し、授業ごとの実施形態について説明している。不明点等について相談するための学部別のメール相談窓口を開設しているが、秋学期授業についての不満の声等は特になし。		学生へ適切な情報を提供し、不明点についてはチャットボット、学部別メール相談窓口などで確認できる仕組みを整備するとともに、アカデミックアドバイザー（担当教員）からも説明およびフォローを行う。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
791 関西大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	年度当初より秋学期を含めた2021年度の授業に関する基本方針について周知しており、秋学期開始（9月21日）にあっても9月1日に重ねてその方針について周知した。それに対して混乱や学生からの問合せ、意義等もなく円滑に授業を行うことができています。		現時点で予定しているものはない。
792 関西医科大学							①ほぼ全員が理解			
793 関西外国語大学	①②③④		④	面接授業の代替として面接授業は行っていない。	②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態に関するクレーム等がほぼないため。		検討中。
794 近畿大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生の理解・納得状況についてあらためて調査はしていないが、限られた年数しか在籍できない学生からは、対面授業を望む声も多く、大学における教育は豊かな人間性を涵養する上で、学内で教員と学生、学生同士が人的な交流を行うことが重要であると考えている。しかしながら、感染拡大が完全に収束したとは言えない状況であり、再度の感染拡大も想定されるため、各種免許や大版府の要請に基づき段階的に対面授業を増やしていくという本学の方針に理解・納得いただけたと考えている。		新たな対策として、発言が多い授業特性のある対面授業については、座席にアクリル板を設置する。また、引き続きセルフプロテクションを徹底するよう啓発するとともに、自身の感染予防のために、PCR検査や抗原検査（キャンパス内で無料実施）の定期的な活用を推奨し、安心して学生が入構できるキャンパスづくりを行う。そのうえで、対面授業に不安のある学生に対しては、メディア授業による受講を認めるなどの教育的配慮も継続して行うことで、本学の授業実施方針に対して学生の理解を得られるよう努める。
795 四天王寺大学	①②③		①②		③④⑤		④把握していない			
796 帝塚山学院大学	②③④		①②③		①②③④⑤⑥	情報通信の環境としては、学内の全てのエリアにおいて学生向けフリーWi-Fiを整備して、いつでも利用できるようにしている。	②大多数が理解	秋学期の授業方針通知後、方針そのものについての問い合わせや意見、苦情は届いていないため。		学生アンケート等が出された授業運営に関する具体的な要望や授業について対応を検討し、可能なものから順次対応・改善していく。
797 梅花女子大学	②		③		①⑤		①ほぼ全員が理解			
798 阪南大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生にアンケートを実施し、把握している。		学生には、様々なツールを利用して引き続き丁寧に説明を行っている。
799 大阪経済法科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	後期授業の実施方針等についてウェブサイト、ポータルサイト、郵送等での案内を適宜行い、理解を得てきた。また、後期の授業開始に先立って、ゼミ単位でクラスミーティングを実施し、授業運営方針の周知と、全体的な面接授業の実施にあたっての学生の疑問や不安の解消に努めている。また、入国できていない留学生や、基礎疾患等のある学生については、遠隔で受講できる体制を整えており、ほぼ全ての学生より理解・納得が得られていると考えている。		引き続き、学生への情報発信に努めるとともに、面接授業の実施にあたっての不安等を解消するため、感染対策の徹底を図る。
800 大阪国際大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生への事前周知やオリエンテーションでの説明、また学生アンケートに基づく回答内容等による。		学生へのこのままで丁寧な説明とアンケートを通じた意見聴取を行う予定です。
801 関西福祉科学大学	②⑤	遠隔授業に際し、動画撮影によるオンデマンド配信を行うことで学生側も複数回同一講義を視聴できるメリットがあるなど遠隔授業の質の確保に繋がった。	①②	特記事項なし	①③④⑤	特記事項なし	②大多数が理解	授業形態に関して本学への問い合わせはあるものの、授業形態の在り方を見直す内容までには至っていないことから判断し、特記事項なし②と回答した。		学生、保護者から質問、問い合わせがあった場合には、所属学科学科教員、及び職員が丁寧に対応し説明している。
802 太成学院大学							②大多数が理解			
803 常磐会学園大学							①ほぼ全員が理解			
804 大阪観光大学	①②		①		③④⑤		③大多数とは言えない	学生アンケートから、面接・遠隔授業希望それぞれ意見が分かる。	特に1年生と2年生は面接授業を希望する学生が多い	引き続き、遠隔授業の質の向上を進める
805 大阪人間科学大学	③④		①②③		②③④⑤		④把握していない			
806 羽衣国際大学							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
807 大阪成蹊大学	①②③		①②③		④⑤		①ほぼ全員が理解	面接授業を中心にしながらも、教育の質を保つことができる科目については通開授業を実施している。通開授業については、履修ガイドに記載し、オリエンテーションでもしっかりと説明し、対応しているため、学生は授業の形態を理解している。		
808 関西医科大学	②		①②		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生・保護者に対し、学生ポータルサイト・ホームページで通開授業の実施について公開した際、学生・保護者から意見・意義がなかったため。		登校日が制限され、また学生の共有スペースの利用が中止されているため、それらの開放及び中止となっているイベント・行事の再開について検討する。
809 千里金蘭大学							①ほぼ全員が理解			
810 東大阪大学	②③		①③		②		②大多数が理解	授業アンケートを実施している		
811 大阪女学院大学							①ほぼ全員が理解	2科目のみ担当教員の基礎疾患によりオンライン授業を実施しているが、履修学生の中には対面授業を希望しているため①と回答した。		大学の規模が小さいことから、授業形態に関する要望は随時受付しており、その都度個別に、真摯に回答している。今後も丁寧な対応を継続していく予定である。
812 島野大学	②③		①③		②③⑤		③大多数とは言えない	昨年度の通開授業についてのアンケート実施や、随時担任教員が行っている個別面談等で学生の意見は聞いているが、今期の授業に関するアンケートなどの方法での把握まではできていないため。		引き続き定期的なアンケート実施と情報発信に努める。
813 大阪青山大学	②③		③		⑤		③大多数とは言えない	「通開授業実施に対する学生アンケート」を実施し、授業内容の理解が難しいとする学生の比率から判断するもの。		
814 四條畷学園大学							②大多数が理解			
815 大阪河崎リハビリテーション大学	②③④		①		②④⑤		①ほぼ全員が理解	本学における感染拡大防止対策を学生の協力のもと実施しており、実技・グループ学習を伴う科目については、対象学生のPCR検査を実施(ワクチン2回接種者を除く)し、順調に運営している為		
816 大阪総合保育大学	②③		①③		③④		②大多数が理解			
817 森ノ宮医療大学							①ほぼ全員が理解			
818 大阪保健医療大学							①ほぼ全員が理解	国、大阪府からの要請に基づいて、教学体制を変更する場合は、事前に学生へ説明を行い、その後、学生等から特に不満や不服についての申し出がないため。		国、大阪府からの要請に基づいて、教学体制を変更する場合は、学生へ理解、納得してもらるように、事前に親切、丁寧な説明を行う。
819 大阪物産大学	①②④		①②③		①③④		②大多数が理解			
820 滋慶医療科学大学	②③		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	今年4月に新設した単科の学部で在学は1年生のみであり、本学の方針等について説明を行う機会が十分に理解を得ている。		
821 大阪行医医療大学							①ほぼ全員が理解	対面授業にすべての学生が出席しており、通開授業を望む意見は出ていない。		予防接種など感染防止対策の啓蒙
822 大和大学							①ほぼ全員が理解	全学生へのポータル等による授業形態等についての丁寧な説明と担任にいつでも相談できる体制が整っているため。		
823 大阪国際工科専門職大学	①②④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	担任制度をとっており、学生との個別面談が実施できている為		
824 平安女学院大学短期大学部	②③④	学生の機器の貸し出しを行った。また、学内のWi-Fiの増強など設備面で①③の整備を行った。	①③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	少人数教育を徹底し、教員が学生の状況を熟知しているため繰り返し方針を伝えることができる。		ガイダンスの動画の配信など、ICT技術を活用していきたい。
825 大阪キリスト教短期大学							①ほぼ全員が理解	学生連絡専用の学内ポータルサイトより、周知徹底を講じている。		
826 大阪城南女子短期大学							②大多数が理解			
827 大阪夕陽丘学園短期大学	②		③		③④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートや授業成果確認アンケートなどで傾向を把握しているため		LMSシステムの使用法などワンポイントアドバイスを折りにふれ発信していく
828 大阪信愛学院短期大学	②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	変更を望む強い要望は無い		常に状況を説明している。
829 大阪成蹊短期大学	②		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	大学として授業実施における説明を全学生に伝達したうえで、更に各学科毎でも周知を行い、学生からの疑問・質問に対し、全て回答できているため。		
830 大阪女学院短期大学							①ほぼ全員が理解	ごく少数の学生のみの、対面授業への不安や公共交通機関で通学することへの不安を表明しているため①と回答した。		大学の規模が小さいことから、授業形態に関する要望は随時受付しており、その都度個別に、真摯に回答している。今後も丁寧な対応を継続していく予定である。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
831 関西外国語大学短期大学部	①②③④		④	面接授業の代替として面接授業は行っていない。	②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業形態に関するクレーム等がほほならない。		検討中。
832 常磐会短期大学	①②③④		①③		②③④⑤		②大多数が理解	学生による前期授業評価、および2021年8月1回生（現2回生）の卒業率などが実施できていない。現1回生及び1回生に卒業率などの情報を提供している。	授業そのものではないが、幼児教育・保育の短期大学として、学生の学びの総合的成果を評価する合宿祭、体育祭（身体表現）などを実施している。また、学生の学習成果の可視化と行事教育に結びつけるために、伝統を引き継ぐ体験が持たなかったことから、行事教育に 科目内での意義的な取組を進めたい。学生の理解が不十分となっていると認識している。	
833 環女子短期大学							①ほぼ全員が理解	面接授業を開始するにあたり、学生や保護者の方からの反対意見等はありませんが、そのように理解しています		新しい情報等は、迅速にHPや学内掲示を行い、知らせる
834 大阪音楽大学短期大学部	③		①		③⑤		①ほぼ全員が理解	ポータルシステム等で方針を学生個々に配信すると同時に質問や要望に個別対応しているため。		地域の感染状況等を確認しながら、面接授業の数を増すよう取り組む。
835 大阪学院大学短期大学部	①②③		②		②⑤		①ほぼ全員が理解	全員出席の対面によるオリエンテーションで周知した。		
836 大阪千代田短期大学	①②③		①②		②③⑤		②大多数が理解	前期授業アンケートで後期も授業形態の継続を望む声が多かった		授業アンケートにて意見を聞くなどしていきたい
837 関西女子短期大学	②		①②		⑤		②大多数が理解	令和3年度前期において実施した授業アンケートにおいて、大多数が遠隔授業に満足しているとの結果が得られています。		学生・保護者からの問合せがあった場合は、学科教員および職員が丁寧に対応し、説明してまいります。
838 近畿大学短期大学部							②大多数が理解	学生の理解・納得状況についてあらためて調査はしていないが、置かれた年数しか在籍できない学生からは、対面授業を望む声も多く、大学における教育は豊かな人間性を養育する上で、学内で教員と学生、学生同士が人的な交流等を行うことが重要であると考えている。そのためにも短期大学部という修業年限が限られた課程の特性から、感染防止対策を徹底したうえで対面授業を原則としつつ、各種発令や大阪府からの要請、感染状況を踏まえ実施形態を変更するという本学の方針に理解・納得いただくと考えている。		新たな対策として、発言が多い授業特性のある対面授業については、座席にアクリル板を設置する。また、引き続きセルフプロテクションを徹底するよう啓発するとともに、自身の感染確認のためにも、PCR検査や抗原検査（キャンパス内で無料で実施）の定期的な活用を推奨し、安心して学生が入構できるキャンパスづくりを行う。そのうえで、対面授業に不安のある学生に対しては、メディア授業による受講を認めるなどの教育的配慮も継続して行うことで、本学の授業実施方針に対して学生の理解を得られるよう努める。
839 四條畷学園短期大学							①ほぼ全員が理解			
840 四天王寺大学短期大学部							④把握していない			
841 大阪国際大学短期大学部	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生への事前周知やオリエンテーションでの説明、また学生アンケートに基づく回答内容に因る。		学生へのこまめな丁寧な説明とアンケートを通じた意見聴取等を行う予定です。
842 東大阪大学短期大学部	②③		①③		②		②大多数が理解	授業アンケートを実施している		
843 藍野大学短期大学部	②③		①②		④⑤		④把握していない	年度当初など授業形態について説明しているが、理解度などを把握するようなアンケートなどは行っていないため。		
844 大阪健康福祉短期大学	②③		①③		③⑤		①ほぼ全員が理解	学生に感染症対策等を説明した上で面接授業を主流に行っているが、ほぼ全ての学生が出席している。		例年学生主体で行っている「全学協議会」という取り組みで、学生から出された要望について大学側が回答し、可能なことについては改善・実現する。新型コロナウイルス感染症対策で新たな対応が必要となった場合は、Google Classroomや大学ホームページ等で全体に周知する。また、直接学生に注意喚起を行う。
845 大阪府立大学工業高等専門学校							②大多数が理解	学校の方針について、事前にメール配信等で案内しており、大多数の学生が登校し、授業を受けているため。		引き続き、学校の方針について、事前に連絡し、学生の理解・納得を得られるよう努める。
846 神戸大学	①②③④		①②③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	大学及び各学部・研究科ホームページや本学の学務管理システム等を通じて授業に関する方針や実施形態を丁寧に説明するよう努めているため。		特になし（これまでの取組を継続して行う。）
847 兵庫教育大学	①②③④		①②③		③④⑤⑥	遠隔授業等で使用するタブレット端末やパソコンを購入する学生に対して、購入費用の一部補助を実施した。	②大多数が理解	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、授業実施に係る適時の通知を学生に対して行っているため		引き続き、メールや大学ウェブサイトの活用、クラスミーティングなどの対面の機会を利用して情報提供に努める。
848 神戸市外国語大学	①②③④		①		⑤		③大多数とは言えない	緊急事態宣言が発令されていない時期は原則全ての授業をハイブリッド方式で行う方針の為、学生は希望する受講方法を選択可能である。しかし、緊急事態宣言期間中については、ワクチン接種の進展等を踏まえ授業方法の制限の緩和を検討中の段階である。		3-8のとおり
849 神戸市看護大学	②		①②		①②④⑤		①ほぼ全員が理解	本学の設けたガイドラインレベルを決定する都度、学生に向けてメールを配信して状況を伝えている。後期授業も混乱なくできており、学生には周知内容が浸透している。		引き続き、ガイドラインの決定内容を確認かつ速やかな周知に努める。
850 兵庫県立大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	BOPレベルの公表など、大学としての判断根拠を学生及び父兄に公表しているため		学生及び父兄からの理解が得られるよう、引き続き早め早めの情報公開に努める
851 芸術文化観光専門職大学							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	通開授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組	
852 甲南大学	②③		①②		①②④⑤		①ほぼ全員が理解	シラバス上に主な授業形態を記載しており、学生は授業選択時にその内容を確認した上で履修登録している。また授業形態変更時にもLMS上で随時連絡しており、周知徹底ができています。 授業の実施比率に多少のばらつきがあるが、丁寧な情報発信によりフォローしている。		学生に対する丁寧なメッセージ発信（定期的な「学生メッセージ」発信等）や授業対策会議による改善策の検討・実施などを継続して行っており、このような対応を今後も継続する。	
853 甲南女子大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	大学Webページ、教学システム、LMS等複数の媒体から学生へ通知し、学科ごとのオリエンテーションやゼミ等の授業でも個別の教員から丁寧に説明しているため。また、その通知や説明に対して、クレーム等も特になかった。		3-8に記載の取り組みを、今後も丁寧に継続していく。	
854 神戸海星女子学院大学							①ほぼ全員が理解				
855 神戸学院大学	①②③④		①②③		③⑤		②大多数が理解	授業に関する調査（学生アンケート）において、本学の授業に関する対応に関して1年次生の8%、2～6年次生以上の16%の学生が不満と回答。		学生が混乱なく、学修に取り組めるよう、複数ある学習支援システムの集約化を検討する予定である。また、引き続き学生アンケート調査を継続し、学生の意見に耳を傾け、改善を図る予定である。	
856 神戸女子大学	①②③		②③		②③④⑤		④把握していない				
857 神戸薬科大学	①②③④		①②③		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学の授業実施方針・方法は2020年度後期から大きな変更はなく、既に周知の上、実施しているが、大学窓口に対しては方針等に対する意見・照会等がほぼない。		各学期が始まる前に方針等については改めて周知しており、今年度においては、取り組む予定の事項はない。	
858 神戸親和女子大学	②④		①②		②④⑤		②大多数が理解				
859 神戸国際大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	HPIに加え、全教職員にメールや会議にて周知し、全学生には学生ポータルシステムを通じ、配信・丁寧に説明している。また学生LINEでも発信を行っている。		同様に丁寧な周知説明を図っていきます。	
860 兵庫大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	現時点での授業形態（原則対面）について、学生及び保護者から特に意見は寄せられていない。		対面で行う学びでの重要性について、学長メッセージを適宜発信していく。	
861 神戸常盤大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業実施については、前期授業振り直しアンケートを実施し、学生の声を聞いた上で、後期開始前に対面によるガイダンスの機会を設け、コロナ禍の現状に即した授業形態を取る旨、説明を行った。結果、授業形態に関する質問や問い合わせ等がなかったことから、学生への一定の理解・納得を得たものと解する。		学期ごとに、またコロナ禍の状況に変化があった場合等、要所で大学の大学から学生への説明の機会を設ける予定である。	
862 宝塚医療大学							①ほぼ全員が理解				
863 芦屋大学	①		①		①		①ほぼ全員が理解				
864 大平前大学	②③		①②		②③④⑤		②大多数が理解	授業方針についての苦情はきていない。		特になし	授業方針の早めの公表と『活動制限指針』のレベル明示。
865 関西学院大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	2021年9月に在学生に対して実施した春学期についての「学生状況調査」では、対面授業再開に関して「教室での授業が楽しみである」の問いに「すごく思う」「そう思う」と回答した学生が全体の48%であった。一方で「オンラインでの授業を継続したい」との問いに「すごく思う」「そう思う」と回答した学生も全体の41%存在し、対面授業を希望する学生が多いものの、前年度に引き継ぎ、感染リスクやオンラインのメリットを考慮しオンライン授業を希望する学生も少なくないことが判明した。なお、授業形態別の満足度については、「非常に満足」「満足」と回答した学生は、対面授業が全体の51%、オンライン授業（同時双方向型）が46%、オンライン授業（動的オンデマンド型）が47%であった。秋学期は、春学期と同様に一部の対面授業をオンライン授業に移行するものの、地域社会における感染状況を踏まえ十分な感染防止対策を講じながら各キャンパスでの対面授業も実施し、大学図書館、PC教室、コモンズ（共同学習スペース）、運動施設、食室・店舗を開放するという方針を早や中期的の地が一工夫で学生に周知したが、現状では大きな反対意見は出ておらず、理解・納得を得られていると考える。		・地域社会における感染状況に応じて授業方針を変更する場合は、事前に理由や必要性を十分説明し、受講準備で混乱しないよう丁寧な情報提供に努める。・毎学期末に実施している学生状況調査（在学生に対してオンライン受講環境、授業に対する意識、学修時間、授業形態別の満足度、学生生活の悩み等について質問。）を継続することにより、学生の意識・要望の変化を把握し、適切な対応が取れるよう活用する。	
866 甲子園大学							②大多数が理解	学生から授業の形態等に対する苦情等はなく、学生の日常生活の様子からもそのようなことは伺えない。		大学の授業の形態等については、変更の都度、学生にメール等で周知しており、それを継続する。	

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
867 神戸学院大学	①②③		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度後期方針について、感染状況に応じて学生に丁寧に説明し、周知している。		
868 園田学園女子大学	②③		③		②③⑤		②大多数が理解	昨年度に引き続いて、遠隔授業の授業実施についての説明を行っているが、学生からの特別な不満の声はなく、学生との面談においても授業形態について理解している回答を得ているため。	特にありません。	オリエンテーション等の学生の集まる機会を利用して、教務課又は各学科の担当教員から説明をする予定である。
869 武庫川女子大学	②③④		②		①④⑤		③大多数とは言えない	学科によっては遠隔授業の比率が高く、学生の保護者より対面での実施を希望する声が届いている。大学としてもできるだけ対面授業を実施したいが、キャンパスの構造として人数教育を想定した教室が多く、3密を回避した大教室を利用している。また遠隔授業が思いやりのない学生には大学での遠隔授業の利用をすすめている。	学生から直接不満の声は届いていないが、遠隔授業の比率が高い学科においては学生の保護者から対面での授業実施を希望する声が届いている。	学内の感染防止対策をしっかりと講ずることにより、できるだけ対面授業を増やすことができるよう、施設・設備面の学内調整を続けている。
870 兵庫医科大学							①ほぼ全員が理解	学年ごとに学生を集め、教務部長が説明を行ったが、特に学生から意見等はなかったため。		
871 姫路獨協大学	①②		①		⑥		④把握していない	1、2年で実施されている実技授業、入門演習授業等 コミュニケーションをとれる面接授業を行うこととしている。また遠隔授業が思いやりのない学生には大学での遠隔授業の利用をすすめている。	学生に対して10月上旬の授業アンケートを実施していないため①～③の状況であるといえない。ただし遠隔授業と面接授業の混在に対しての不満メールも数件受けています。	前期同様、後期も学生生活アンケートを実施していく予定です。
872 流通科学大学	①②③		①		①④⑤		②大多数が理解	履修状況からの判断。学習指導の際にも確認。掲示物による案内による。		継続して案内する。
873 神戸芸術工科大学	②⑤	一部学科において、遠隔授業（リアルタイム/Teams 等利用）での実習授業においても、TAを配置しました。例えば授業時間内に学生個人チャンネルをパトロールし、個別相談、学生目線で教員説明を聞き、不明な場合は教員に再度の説明を求める等の取り組みを行いました。	②		②④⑤		②大多数が理解	学生に対して、後期開始前に、授業方針をWeb提示するとともに、後期オリエンテーション（教員主催、事務局主催）においても説明を行いました。また保護者に対して9月に行った成績通知書の送付時に、後期授業方針についての案内を同封しました。その後、学生、保護者より授業方針についての問合せなどは特にありませんでした。		前期終了後に学生に行ったアンケートでは、対面授業、遠隔授業それぞれへの支持が一定数ありました。前期授業評価アンケート等において、対面で実施した授業に対し、豊かさを必要とする声やコメントなどの記載も見受けられました。そのため、授業担当教員に、前期授業時（オリエンテーション）において、当該授業が授業方法（対面授業、遠隔授業）を行う事由、目的等についても丁寧に説明するよう依頼をしています。
874 関西福祉大学	①②③④		①②③		②③④⑤		④把握していない	状況調査等は実施していない。		・遠隔授業に対する授業評価は、FD委員会において調査・集計しており、学内で共有するとともに分析し、今後の授業運営に活かしていく。 ・授業実施方針について未学では、対面授業を中心とする方針であり、やむを得ず変更する場合も、オリエンテーション等で丁寧に説明していく。
875 関西国際大学	①②③		①②③		②⑤		②大多数が理解	これまで、数回にわたり、学生向けに学長名文書を発行し、コロナに関する正しい理解と、適切な対応、学生向けにフクテン接種を推奨してきた。また、全学生を対象に数回にわたり、アンケートを実施し、学生の状況を把握し、施策に落とし込んでいる。さらに、大学においても隔域接種等を実施し、学生にフクテン接種の機会を提供してきた。アンケートの結果や、学生のフクテン接種率が7割を超えていること、また、現在面接授業を実施しているところがあるが、実施形態に対して、学生保護者からの苦情等が、ほぼないことから、大多数の学生は、授業受講に向けて必要な対応をとることともに、授業の形態等について理解していると考えている。		なし
876 神戸医療福祉大学	②		①		④⑤		②大多数が理解	後期の授業開講方針を決定し学生および保護者に通知した後、面接授業の開始についての要旨はほとんど寄せられていない。一方で、一部の面接授業を受講することに対する不安や、自宅等で外出することなく学習を継続できることに関する安心感を訴える声も一定数寄せられている。また、現在の開講方針は昨年より継続したものであるため、2年以上の学歴においては理解を得られやすいものであると考えている。以上より、現在の大学の授業の開講形態については概ね理解されていると判断している。面接授業の開始については概ね理解されていると判断している。面接授業の開始については概ね理解されていると判断している。面接授業の開始については概ね理解されていると判断している。		
877 神戸情報大学院大学	①②		①②③		②③		①ほぼ全員が理解	学生数が少ないので、ひとりひとりに確認できている。		
878 関西看護医療大学							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
879 兵庫医療大学	②④		②		①③		①ほぼ全員が理解	可能な限りコロナ禍以前に近い形で対面授業を実施しているため。		
880 姫路大学	①②		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	学生に行った授業に関するアンケートや授業担当教員が学生に対して直接と遠隔の授業についてのアンケートを行った結果も参考にしたため。		
881 大阪芸術大学短期大学部							①ほぼ全員が理解			
882 大手前短期大学	②③		①②		②③④⑤		②大多数が理解	授業方針についての苦情はきていない。	特になし	授業方針の早めの公表と『活動制限指針』のレベル明示。
883 神戸女子短期大学	①②		①②③		②③④		①ほぼ全員が理解			
884 神戸常盤大学短期大学部	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	授業実施については、前期授業振り回りアンケートを実施し、学生の声を聞いた上で、後期開始前に対面によるガイダンスの機会を設け、コロナ禍の現状に即した授業形態を伝える。説明を行った。結果、授業形態に関する質問や問い合わせ等がなかったことから、学生への一定の理解・納得を得たものとする。		学期ごとに、またコロナ禍の状況に変化があった場合等、要所で大学の大学から学生への説明の機会を設ける予定である。
885 福泉短期大学							①ほぼ全員が理解			実習先に留意しながら、実習先を確保する。保育科1年生と2年生が密にならないように工夫している。
886 豊岡短期大学							①ほぼ全員が理解	学生に対し、授業実施前のオリエンテーションにて丁寧に説明し、学生の理解を得ているため。		
887 甲子園短期大学							①ほぼ全員が理解	面接授業を実施しているため。		
888 神戸教育短期大学							②大多数が理解	方針に沿って指示した内容が、ほぼできていると授業で確認できている	なし	掲示や通知を時間をおいてあげる
889 聖和短期大学	①②③		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	授業方針については学内Webサービス等で学生に周知している。また、大学図書館、PC教室、コモンズ（共同学習スペース）、運動施設、食堂・店舗を開放するという方針もあわせて周知しているが、学生および保護人から反対意見等はないため、一定の理解を得られていると考える。		地域社会における感染状況に応じて授業方針を変更する場合は、事前に理由や必要性を十分説明し、受講準備で混乱しないよう丁寧な情報提供に努める。
890 園田学園女子大学短期大学部							②大多数が理解	昨年度に引き続いて、遠隔授業の授業実施についての説明を行っているが、学生からの特別な不満の声はなく、学生との面談においても授業形態について理解している回答を得ているため。	特になし。	オリエンテーション等の学生の集まる機会を利用して、教務課又は各学科の担当教員から説明をする予定である。
891 産業技術短期大学	①②④		①②③		④⑤⑥	面接授業時等に、教員から遠隔授業を受講する方法や受講時の注意点をアナウンスしている。	②大多数が理解	アンケート等で、面接授業と遠隔授業の比率についての否定的意見はほぼ見受けられず。遠隔授業という形態自体には肯定的意見が散見される。①に近い印象だが、一定の回答を精査できていないため、②とした。		・面接授業のほうが教育効果の高い科目については、感染状況を見て単対面授業を実施できるよう調整する。・遠隔授業に使用するツールについて、質問の多い事項等が出てくれば、解説の指示を作成し、学生および教員に周知する。・遠隔授業のノウハウを蓄積し教員のスキルを高め、情報共有による全体的な質向上を図る。
892 東洋食品工業短期大学							①ほぼ全員が理解			
893 兵庫大学短期大学部	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	現時点での授業形態（原則対面）について、学生及び保護者から特に意見は寄せられていないため。	特になし。	対面で行う学びでの重要性について、学長メッセージを適宜発信していく。
894 淡川短期大学							①ほぼ全員が理解	すべて対面実施を前提としているため		
895 武庫川女子大学短期大学部	②③④		②		①④⑤		③大多数とは言えない	学科によっては遠隔授業の比率が高く、学生の保護者より対面での実施を希望する声が届いている。大学としてもできるだけ対面授業を実施したいが、キャンパスの構造として少人数教育を想定した教室が多く、3階を回遊した大教室を利用しているため、対面授業を全ての科目において実施することが困難な状況にある。	学生から直接不満の声は届いていないが、遠隔授業の比率が高い学科においては学生の保護者から対面での授業実施を希望する声が届いている。	学内の感染防止対策をしっかりと講じることにより、できるだけ対面授業を増やすことができるよう。施設・設備面の学内調整を続けていく。
896 姫路日ノ本短期大学							①ほぼ全員が理解	教職員や教務学生課から授業方針等を伝え、学生からの異議がなく、通知したとおりの授業方針・形態で現在に至るまで授業を行うことができているため。		新型コロナウイルス感染症への対策の徹底、新型コロナウイルス感染症に感染した学生へのケア・サポートの充実、学生への授業方針・形態・内容の周知徹底
897 明石工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	特に問い合わせや要望がないため。	特になし。	特になし。
898 神戸市立工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			
899 奈良教育大学	③④		①③		⑤		②大多数が理解	遠隔授業を実施する理由や必要性について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努めているから。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
900 奈良女子大学	②③		③		③④⑤		②大多数が理解	授業形態については、本学ホームページで周知しており、また併せてメールでも全学生へ周知している。後期の授業実施方法については、前期の履修を踏まえた行った学生へのアンケート調査を授業担当者にフィードバックし、工夫を怠っていない。		特にありません
901 奈良先端科学技術大学院大学	②		①		②⑤		①ほぼ全員が理解	学長からのビデオメッセージ、新入生必修のガイダンスによる周知、保護者も含めた通知等を行い、相談窓口も設けている。		10月11日および12日に学生と学長の懇談会を実施し、その際に学長から学生に対して本学の授業実施に関する方針を説明した。
902 奈良県立医科大学	②④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	不満の声がほぼないため。	特になし	これまでどおり、文章や口頭で学生に説明するとともに、医学科及び看護学科の全学年の代表が集まるキャンパスミーティングやカリキュラムモニタリングワーキングで学生の意見も聴取し、反映する。
903 奈良県立大学	①②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解			
904 帝塚山大学	②③④		①②		①		②大多数が理解			
905 天理大学	①②③		①②③④	機器の操作を含め、遠隔授業にかかると学生専用の質問窓口(mail)を早くから設置し、質問者には個別に電話も含めて対応している。	②③④⑤		④把握していない	大学としてこの案件についての調査は実施しておらず把握はしていないが、3-4回回答したとおり遠隔授業に対して大学として問い合わせ窓口を設け個別に対応している。また、面接授業に不安のある学生には「授業配慮願」を提出後、確認出来れば各授業担当者に連絡して対応を依頼している。		大学として活動基準を定め、状況の変化に応じて「新型コロナウイルス感染症緊急対策本部会議」で検討し、検討結果とその理由を大学中や学生システムを通して全学生に通知しているが、今後継続して学生に状況の確認と大学の対応をこまめに発信していく予定である。
906 奈良大学	①②③④		①②③		②⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度後期の授業を実施するにあたり、大学HPと学生用WEBポータルサイトに授業の実施方法（対面授業と既設の授業の区分、既設授業の具体的な実施方法の確認手順など）を状況に即して情報発信をしています。情報発信の際、問い合わせ先（電話とメールアドレス）を明記している。こちらへ数件の問い合わせはあるものの、授業の実施方法を強く批判するご意見を今年度前期に引き続き、頂戴しておらず。後期授業の開始後も特段の混乱も確認されず、前期授業と同様に、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得していると判断しています。		9月当初の感染急拡大から、9月後半から現在までの急速な感染者数減に鑑み、今後、対面授業の割合を増加させていく際、学生が不安を感じないよう、混乱を生じさせないよう情報発信を丁寧に行う予定としています。
907 奈良学園大学	②		①		④⑤		②大多数が理解	科目担当教員および担任から機会をとらえて授業実施形態等について説明し、理解を得ようとしており、学生側からの改善要求にも授業実施形態変更の要望はごく少数であると答える。	このことに関しては学部や学年での差は決して大きくない。	ガイダンス等機会を捉えて繰り返し丁寧に説明するしかないと考えている。
908 畿央大学							②大多数が理解	学内で実施したアンケートにおいて、多くの学生がコロナ収束入学当初に式典や各種イベントを含めて全面的な休止期間が後も現在のような「対面授業と遠隔授業を効果的に併用する授業運営の継続」を望んでいることが明らかになったため。	入学当初に式典や各種イベントを含めて全面的な休止期間があった現2年生において、現状への不満が高まっている傾向はある。	特に現2年生を対象とした文芸機舎確保等の支援の取り組みを実施してきたが、今後も継続していく予定。
909 天理医療大学	①②④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解			
910 奈良芸術短期大学	②④		②③		④⑤⑥	個別対応を行っている。	①ほぼ全員が理解	入学ガイダンスの徹底		特になし
911 奈良佐保短期大学							①ほぼ全員が理解			
912 白鳳短期大学							①ほぼ全員が理解			常に学生の心身の变化に目を向け、どんな些細なシグナルも教員が敏感にキャッチできる体制を作る。授業アンケートを通じて授業の進捗に関わらず質保証が担保できるような取組環境を確保する。
913 奈良工業高等専門学校							②大多数が理解	最近の近隣地区における感染状況を踏まえて、対面授業を実施しており、特段、遠隔授業を実施してほしいとの要望は聞いていない。		学内での感染防止対策を十分に行う。
914 和歌山大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度は4月の授業開始前のガイダンスにこれまでの2倍の4日間をあて、授業計画・授業実施形態・履修方法・履修相談だけでなく、学生相談の時間も十分に確保しています。2年生以上の在学生に対しては、Web掲示板等で必要な情報を提供し、LMS (Moodle) を利用した場合には、ログの記録から説明を読んでいない学生を特定して、周知を徹底しています。また、学期によってZoomなどを利用して対面に近い効果をおいています。さらに、お問い合わせフォームを設け、全学体制で学生の質問等へ丁寧な対応を行っています。		3-8の回答を再掲することになりますが、今後も学生に対して丁寧な説明と適切な情報提供を継続していきます。4月の授業開始前のガイダンスは令和3年度と同様に授業計画・授業実施形態・履修方法・履修相談だけでなく、学生相談の時間も十分に確保します。2年生以上の在学生に対しては、Web掲示板等で必要な情報を提供し、LMS (Moodle) を利用した場合には、ログの記録から説明を読んでいない学生を特定して、周知を徹底します。また、Zoomなどを利用して対面に近い効果をおげ、さらに、お問い合わせフォームを設け、全学体制で学生の質問等へ丁寧な対応を行います。
915 和歌山県立医科大学	②③④		①②③		①②④		②大多数が理解	面接授業の実施について後期授業開始前に学部長から学生に説明をされたり、学生からの意見は特になく、全員出席しているため。		
916 高野山大学							①ほぼ全員が理解	学生・保護者からのクレーム等はなかったため。		①ホームページ等での情報周知、②学生・保護者からの相談体制の充実
917 和歌山信愛大学							①ほぼ全員が理解	令和3年度前期も面接授業を実施していたので、後期も変更がないため	前期との変更点が後期にないので十分に理解されている。	
918 和歌山リハビリテーション専門学校							①ほぼ全員が理解	保護者会でも特に質問はなかったため	1学年しかいませんし、また、保護者会での質問はなかったため、全員理解納得していると思われる。	引き続き、対面授業の重要性について周知していく
919 和歌山信愛女子短期大学							②大多数が理解			
920 和歌山工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			基本的な感染対策を取りつつ、面接授業を実施することを基本とする。
921 鳥取大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	授業アンケートの結果で肯定的な回答の割合が高かったため。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
922 公立鳥取環境大学	②		②		④⑤		①ほぼ全員が理解	ガイダンス等により、充分な説明や周知を行っている。		
923 鳥取看護大学							①ほぼ全員が理解	コロナ禍以前と同様の範囲で対面授業を行っているため		
924 鳥取短期大学							①ほぼ全員が理解	特になし	特になし	特になし
925 米子工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	年度末学生アンケートにおいて、授業の達成度や学生生活の満足度に大きな低下は見られなかった。	特になし	提供する授業の質を高めること。例) 遠隔授業におけるライブ配信、多方向通信など
926 鳥根大学							②大多数が理解	令和2年度前期～令和3年度前期において授業評価アンケートを実施した結果、授業への満足度はおおむね高いことが示された。令和3年度後期においても同様の状況と考えられる。		現在、学生による学修相談（ピア・サポート）はオンラインによるものが多いが、これを対面で行う割合を多くしていく。
927 鳥根県立大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	(松江キャンパス)時間割等に授業形態について周知していることと、各科目担当からも受講生に対し事前に周知しており、学生からの問い合わせもほとんどないため。		
928 鳥根県立大学短期大学部	①②④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	時間割等に授業形態について周知していることと、各科目担当からも受講生に対し事前に周知しており、学生からの問い合わせもほとんどないため。		
929 松江工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	文書及び口頭で複数回説明し、特段の反対意見等はないため。		今後の予定はない。
930 岡山大学	①②③④		①③		①③④⑤		②大多数が理解	大学HP、一斉メール及び各学部等における説明において、新型コロナウイルス感染拡大状況、それに伴う大学の対応について周知しており、学生は状況を理解していると考えられる。また、令和3年度後期は、対面授業を優先することとしているが、オンライン授業を行う方が教育効果が高いと考えられる場合オンライン授業を実施することとし、体調不良の学生、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い学生や、感染リスクを懸念する学生は、対面授業において公文の扱いや、オンラインでの受講を可能としているので、大多数の学生の希望に対応することができていると考える。		原則としてこれまでの取り組みを継続するとともに、必要に応じてアンケート調査等で実態やニーズを把握し、今後の取り組みを検討する予定である。
931 岡山県立大学	①②③④		①③		①③④⑤		②大多数が理解	適宜、情報発信を行っているため		アンケート等により収集した要望に対する具体的な対応を進める。
932 新見公立大学	④		②		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生に対して、新型コロナ対策の方針について随時インフォメーションを配信しており、さらに後期が始まる際のガイダンスにおいて説明を行っている。		新型コロナ対策の方針について、状況を見ながら学生への情報発信を行う。
933 吉備国際大学							②大多数が理解	令和2年度に、コロナ禍によりオンライン授業を実施し、初めて対面授業に切り替える際には、多くの学生や保護者から不安の声があった。令和3年度秋学期からの授業方針（対面授業）については、9月中旬にWEB学修支援システムにより、学生、保護者へご連絡したが、これに関して、現在まで問い合わせや意見等の連絡はほとんどなく、10月1日よりシステムに対して取学なし期がスタートしている。本学では、大学においてワクチンの集団接種を実施し、現在までに6割以上の学生がすでに2回のワクチン接種を受けている。地域の感染状況も落ち着きを見せており、対面授業実施に不安を感じる学生、保護者が少なくなっているのではないかと考えている。		取り組む事項 ①継続的な感染予防対策の実施・講義室の学生数を5割以下に制限し、指定席とする。・マスク着用の義務、手指の消毒、定期的な換気をお願い。②感染状況により、オンライン授業を活用した切り替えを適宜行う。③WEB学修支援システムやホームページを活用して学生に大学の方針や感染予防対策をこまめに通知する。④チューターや健康管理センターを中心に学生の相談支援体制を強化する。
934 岡山商科大学	①②③④		①②		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生全員に後期の授業形態についてメールで連絡。		授業形態や学生支援の変更についてはその都度メールにて全員に連絡する予定。
935 岡山理科大学	②③④		①②		③④⑤		②大多数が理解	授業の実施形態については、シラバスによりあらかじめ提示されており、授業の実施形態が変更となる場合は、その授業ごとに変更内容を周知している。また、授業実施方法についての方針は、本学ホームページやポータルサイトで全学生に対して周知している。		
936 くらしき作陽大学							①ほぼ全員が理解	特に反対意見が届いていないため。		
937 ノートルダム清心女子大学	①②③④		①②③		③④⑤		②大多数が理解	ポータルサイトに学生からの質問を受け付ける機能を持たせて、質問を受け付けたり、保護者にアンケートをとるなどして、その中で回答を随時行っており、全ての学生とはいえないが、大多数の学生は、理解、納得していただいていると認識している。		
938 川崎医科大学							②大多数が理解	カリキュラム検討委員会の学生委員より、感染リスクの観点から遠隔授業を望む理由がある一方で、遠隔授業の場合、勉強リズムが崩れたり、受講に対する緊張感が保てないなど、学修に対するデメリットを挙げる意見が多くあった、との報告があったため。		特になし

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
939 就実大学	②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学FやWeb Classを通じて周知している。また、授業オンライン化の相談窓口についても案内している。		
940 川崎医療福祉大学							①ほぼ全員が理解	授業方針の発出時に保護者や学生から特にご意見等が無かったためのように判断しています。発出の際に決定に至った理由を詳細に説明していること、また10月から始まった秋学期においては学生の大多数がフロンティア接種を終えていることから理解が得られているものと思われます。	全学的に理解が得られていると判断しています。	今まで通り授業実施形態の変更を行う場合は、その判断に至る詳細な理由の説明を行う予定です。
941 山陽学園大学	②③		①②		②⑤		②大多数が理解	授業について学生向けにメールを発信したり、これまでアドバイザーが連絡を取り合う等行っており、周知できている。		LMS (Moodle) も活用し、さらに学生向けの周知を行う。
942 倉敷芸術科学大学							①ほぼ全員が理解	基本的方針などについて、大学ホームページ、メールなどで周知徹底を図った。		
943 岡山学院大学							①ほぼ全員が理解			
944 中国学園大学							①ほぼ全員が理解			
945 環太平洋大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	定期的に学生調査を行っている。教育内容・授業内容に対する満足度は85%程度となっている。		年2回、学生FDを実施し、学生の声をカリキュラムに反映させている。
946 岡山医療専門職大学							①ほぼ全員が理解			
947 美作大学							①ほぼ全員が理解	令和3年当初より、ガイダンスやクラス会等で授業形態等の説明をしているため。	特にそのような状況はない。	これまで通りガイダンスやクラス会にて丁寧に説明していく。
948 倉敷市立短期大学							①ほぼ全員が理解			
949 就実短期大学	②③④		①②③		③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学FやWeb Classを通じて周知している。また、授業オンライン化の相談窓口についても案内している。		
950 岡山短期大学							①ほぼ全員が理解			
951 作陽短期大学							①ほぼ全員が理解	特に反対意見が届いていないため。		
952 中国短期大学							①ほぼ全員が理解			
953 美作大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	令和3年当初より、ガイダンスやクラス会等で授業形態等の説明をしているため。	特にそのような状況はない。	これまで通りガイダンスやクラス会にて丁寧に説明していく。
954 山陽学園短期大学	②③		①②		②⑤		②大多数が理解	授業について学生向けにメールを発信したり、これまでアドバイザーが連絡を取り合う等行っており、周知できている。		LMS (Moodle) も活用し、さらに学生向けの周知を行う。
955 川崎医療短期大学	②③④		①②③		④		④把握していない	学生に対して、理解・納得の度合いを測る調査等は行っていないため。		対面から遠隔への移行等、授業形態が変更となれば、その都度学生に対して変更の理由や受講方法の説明等を行う。
956 津山工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	コロナ禍以前の方針と変わりないため。	特になし。	現時点で学生の理解や納得が得られていると考えているため、特に取り組む予定はない。
957 広島大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度後期の授業の実施に関する方針の公開後、学生から数件問い合わせがあったが、特に不満の意見はなく、また、授業期ごとに実施している「授業改善アンケート」でも「総合的に判断してこの授業に満足しましたか」に対して、「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が88%(第2タームの結果)となっており、大多数の学生は、理解・納得が得られていると認識している。		授業の実施に関する方針については、引き続き、ウェブサイトや学生向け情報ポータルサイトを通じて事前に学生への十分周知し、理解を求めるとともに、授業期ごとに実施している「授業改善アンケート」の自由記述等学生の意見を収集し、授業の改善につなげることで学生の満足度の向上を図る。
958 県立広島大学	①②③④		①②③④	オンライン授業等に関する学生の要望や意見等とともに、オンライン授業の満足度についてアンケート調査を行っている。(令和2年5月、令和2年7月、令和2年9月、令和3年2月、令和3年6月:計5回)	①②③④⑤		②大多数が理解	直近のオンライン授業等についてのアンケート調査において、78%の学生がオンライン授業に満足しており、今後においても74%の学生がオンライン授業の継続を希望している。		定期的に学生に対するアンケート調査を実施し、学生の要望や意見を取り入れながら、今後の授業形態や手法の改善に向け絶えず検討していく。

No.	学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
959	広島市立大学	②③		①②		③⑤		②大多数が理解	令和3年8月31日に本学ウェブサイト等において、「2021年度後期の授業実施方針等について」を公表していますが、これについて特段の質問や意見は寄せられなかったことから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているものと考えています。		授業の実施方針等については、その考え方も含め、引き続きウェブサイト等を通じて学生や保護者に対し随時お知らせすることとしています。
960	福山市立大学	④		③		②④⑤		①ほぼ全員が理解	学内電子掲示板及び各授業担当教員により、授業形態等について周知を図っている。		引き続き、学内電子掲示板及び各授業担当教員により、授業形態等について周知を図る。
961	叡徳大学							①ほぼ全員が理解			
962	日本赤十字広島看護大学	①②③④	該当なし	①②③	該当なし	②③④⑤	該当なし	①ほぼ全員が理解	県の感染症対策方針にあわせて随時変更している。本学の「授業・施設利用等の留意点」を全学生の個人メール配信し確認を求めています。		学生へのアンケート調査や、大学と自治会との意見交換を実施しています。
963	エリザベト音楽大学							①ほぼ全員が理解	前期終了後のオンライン・アンケート結果より。		これまでの実施内容を検証し、より良い方向で進めていける様に検討・協議する。
964	広島経済大学							①ほぼ全員が理解	「登校及び対面授業実施の注意事項」を昨年度からポータルサイト等を通じて学生に周知しており、このことに対する学生からの異論・反論がないため。	本学の方針の理解・納得の度合いについて、一部の範囲での異なる状況は現段階において見受けられない。	これまでと変わりはない。
965	広島工業大学	②③④		①②③		③④		①ほぼ全員が理解	授業の形態等について、学生からの意見は、ほとんどない。		
966	広島修道大学	②③④		①②③		①④⑤		②大多数が理解	コロナ禍における対応について、授業方針や留意点などを、学生ポータルやwebサイトにて周知している。		コロナ禍における対応について、継続的な周知を実施していく。
967	広島女学院大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学内ポータル上でのメッセージ配信を行い、オリエンテーションでも説明し、授業担当教員も確認しているため。		
968	広島国際学院大学	②		②		⑤⑥	令和2年度以降の学生募集を停止している。	①ほぼ全員が理解	後期授業開始に当たり学生に対して授業実施方針を周知している。		
969	広島文教大学	①②		②③		③④		④把握していない	令和2年度前期学生生活に関するアンケートの実施結果では、8割以上の学生が授業内容への満足感を感じていることが確認できたが、令和3年度後期の授業実施形態に関する意識調査等を行っていないため。		申請に基づき希望者には面接授業期でも通隔授業による受講ができるよう対応する。
970	安田女子大学							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	通隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
971 福山大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	大学の後期授業の実施方針について、大学のポータルシステムを通じて全在籍学生に対して通知・説明を行ってきたが、学生からの不満や苦情の訴えは特になし。		今後も、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて大学の授業に關する活動方針を変更しながら感染防止と学修機会の確保に取り組んでいく予定であるが、変更を行う場合には、その都度学生に対して丁寧な説明を行っていく。
972 比治山大学	①②③		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	全員面談やオリエンテーションでの説明、各授業の実施方法一覧、個別の掲示などの取組から、学生の理解・納得が得られているとした。		引き続き、丁寧な説明をしていく。
973 福山平成大学	②③		①		③④⑤		②大多数が理解	通隔授業についてのアンケートを実施した結果、大多数の学生が好意的な回答であったことから、授業に関する方針についても理解、納得していると推察します。		コロナの感染状況レベル等の変化に応じ、引き続き学生に迅速な情報発信を行う。
974 広島化学工業大学							②大多数が理解			
975 広島国際大学	①②③④		③		①⑤		②大多数が理解	授業実施方針は大学ホームページに掲載し、ガイダンスで周知している。		なし
976 広島都市学園大学	①②③④		①②		①②③④⑤		②大多数が理解			
977 山陽女子短期大学	①②③		②③		②③		①ほぼ全員が理解	全員が授業に間違いなく出席している		
978 比治山大学短期大学部	①②③		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	全員面談やオリエンテーションでの説明、各授業の実施方法一覧、個別の掲示などの取組から、学生の理解・納得が得られているとした。		引き続き、丁寧な説明をしていく。
979 広島化学工業短期大学							②大多数が理解			
980 安田女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
981 呉工業高等専門学校	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	学生からのアンケート結果による。		
982 広島商船高等専門学校							②大多数が理解	後期再開前にすべての保護者に学校方針の文書を送付し、理解練習船実習があるため、特定のクラスのみ、9月1日から授業してもらえよう求めた。また、後期再開後の現在において、実施しており、開始前に一部保護者から問い合わせ等があった。混乱等は生じていない。		より学生・保護者への連絡を緊密にしたい。
983 尾道市立大学	①②		①		④⑤		④把握していない			学生支援に関する情報発信や、生活面に関する相談体制の強化を図る。
984 山口大学	①②④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	年度始めに学生に、感染対策を講じつつ面接授業を主として実施する旨及び感染の不安によって面接授業に出席できない場合は代替措置をする旨を説明し、理解を得よう求めた。その結果、感染を懸念して面接授業に出席できない学生も少数であった。		現状を継続。
985 下関市立大学	②④		①③		①④⑤		②大多数が理解	授業開始にあたり、面接授業を行う基準や受講のルール、欠席の基準を伝えるなど、丁寧に説明を行っているため。		
986 山口県立大学	②③⑤	通隔授業は、そのほとんどをZOOMを活用したリアルタイム双方向型で行っている。また、学生が確実に通隔授業を受講できるよう、事前に自宅での接続テストを行っている。	①②④	令和3年度後期の授業方針を検討する際に、学生へのアンケート調査を実施して意向を把握した。	①③④⑤		①ほぼ全員が理解	令和3年度後期の授業方針を検討する際に、学生へのアンケート調査を実施して意向を把握した。		今後も、授業や課外活動等の方針については、都度学生全員に行き渡るようにポータルシステムやメール等による周知を行うとともに、チューター制度や学生相談室等も活用して不安な学生へのサポートに努める。
987 山陽小野田市立山口東京理科大学							①ほぼ全員が理解			
988 梅光学院大学							①ほぼ全員が理解			本学ではチューター制度を取り入れているため、定期的なチューターとの面談の機会を設けるとともに、学生や保護者に向けて学校の方針を掲示板等で発信する。
989 徳山大学	①②③		①		①②④⑤		①ほぼ全員が理解	前期・後期の履修登録状況から理解・納得が十分でないと思われる学生に対してアドバイザーを配置し、チャット・メール・電話等（本人に連絡が取れない学生について保護者に）により確実に連絡を取るようになっている。		
990 東亜大学	①②④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解			
991 至誠館大学	②		①②		④⑤		④把握していない			
992 宇都フロンティア大学	②		①		②④⑤		①ほぼ全員が理解	苦情等は発生していない。授業等全般にわたり、意見箱を設置しており、意見があればその都度対応し納得してもらっている。		

No.	学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
993	山口学芸大学							①ほぼ全員が理解	①昨年度から地域の感染状況を踏まえた大学の行動基準を制定、ホームページに公開し、常にその基準に基づいた方針にしている。②前期中に学生の一部にアンケートを行い、授業開始時期等について意見を聞いた。開始時間を遅らせた対面授業の実施に多くが賛成した。		3-8の取組を継続する（行動基準の公表と授業開始時間の検討）
994	宇都フロンティア大学短期大学②			①		②④⑤		①ほぼ全員が理解	昔情等は発生していない。授業等全般にわたり、意見箱を設置しており、意見があればその都度対応し納得してもらっている。		
995	下関短期大学							①ほぼ全員が理解			なし
996	山口短期大学	②④		①				①ほぼ全員が理解			
997	山口芸術短期大学							①ほぼ全員が理解	①昨年度から地域の感染状況を踏まえた大学の行動基準を制定、ホームページに公開し、常にその基準に基づいた方針にしている。		3-8の取組を継続する（行動基準の公表と授業開始時間の検討）
998	岩国短期大学							①ほぼ全員が理解	学生及び保護者からの質問がないため。		
999	徳山工業高等専門学校	②③④		①③		⑥	面接授業を中心としており、遠隔授業での対応する機会がわずかであるため、個別の事案ごとにサポートを行っている。	①ほぼ全員が理解	理解度、問題点について学生にアンケートを実施している。該当がない		面接授業を基本とするが、遠隔授業を実施する場合は都度丁寧に説明を行う。
1000	宇都工業高等専門学校	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	本校の授業の形態等については、学生に十分説明し、理解・納得を得られており、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得していると考えられる。		・学生が集合する機会を捉えて対面により学校の説明及び相談窓口の活用について周知する。・本校ウェブサイト及びコミュニケーションツール(Microsoft Teams)等を用いて学校の方針等に関する情報の発信を随時行う。・本校の方針への理解・納得度に関する調査の実施を検討する。
1001	大島商船高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学生、保護者から面接授業の実施を強く要望された。	特になし	特になし
1002	徳島大学	①②③		①②		②③④⑤		②大多数が理解	令和2年度 学生の学籍に関する実態調査による。	特になし。	F Dプログラムの推進等により、教育の質的向上に取り組むとともに、感染状況に応じた適切な授業形態の選択及び情報提供を行う。
1003	鳴門教育大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	本学では、本学ウェブページの掲載や教務事務システムによる電子掲示等により、随時、授業実施方針の変更等をわかりやすく周知しており、令和3年度後期の授業方針についても同様に学生に周知している。また、令和3年度前期の遠隔授業に関するアンケートを実施した結果、回答者中8割近くの学生が遠隔授業を肯定的にとらえていること、一方でキャンパスに入学して学ぶ機会や課題での交流機会を学生は重要視していること、遠隔授業のみでは対応が難しい課題等があることが明らかになった。これらのアンケート結果を踏まえ、令和3年度後期の授業は面接授業と遠隔授業を併用して実施する方針としている。上記のように、丁寧な周知やアンケート結果を踏まえた対応を行うことで、学生の理解を得ている。		授業実施方針については、本学ウェブページの掲載や教務事務システムによる電子掲示等も併せて活用することにより、学生にわかりやすい周知を行う。また、授業実施方針の改訂等に当たっては、授業評価アンケート等を通じて、学生の意見を取り入れている。
1004	四国大学							①ほぼ全員が理解	対面による教育の重要性をオリエンテーション等で学生に周知している。		
1005	四国大学短期大学部							①ほぼ全員が理解	対面による教育の重要性をオリエンテーション等で学生に周知している。		
1006	徳島工業短期大学							①ほぼ全員が理解	授業を通して説明をしている。		保護者への説明・周知
1007	阿南工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	後学期開始前にWeb説明会を開催し、学生及び保護者に対して後学期における本校の授業方針について説明を行い、質疑応答を行ったが、説明及び回答内容についての疑問はなかった。また、説明会当日の録画データを全学生、保護者に公開し、未視聴者に対しても後学期授業の方針について周知徹底を行った。後学期を通常の対面授業を開始したが特に問題は発生していない。		学生会や学生と継続的に意見交換し、学生の状況把握に努めるとともにそのニーズを読み取り、可能な限り学校経営に反映させる。Webおよび放送により、学生のみなさん保護者を食ひ、適宜学校方針を共有してきており、今後もそれを継続する。学校方針の変更などについては、クラス担任教員から学生に直接伝えるとともに、ホームページへの掲載、メールにより学生と保護者に重ねて周知する。
1008	香川大学	①②③		①②		①③④⑤		①ほぼ全員が理解	2021年2月に「遠隔授業に関するアンケート調査」を実施し、その結果、7割の学生から「満足」「ある程度満足」との回答を得られたため。	学部間や学年間で大きな相違は見られなかった。	
1009	香川県立保健医療大学	②		①②		②④⑤		①ほぼ全員が理解	授業の形態については、前期と同様であり、このことについて、学生にHP等において周知を図り、特段の意見は出ていない。		授業の形態や新型コロナウイルス感染症対策等について、適宜、適切に周知徹底を図る。
1010	四国学院大学							②大多数が理解	春学期に行われた授業評価アンケートの学生の反応から判断	特になし	特になし
1011	高松大学							④把握していない	特に調査を実施していないため。	特になし	特になし
1012	香川短期大学							②大多数が理解	後期授業に関する方針について本学ホームページで示しており、学生やその保護者から、それに対する問い合わせや意見等は全くなかった。それゆえ、概ね学生及び保護者の理解・納得を得られていると考える。		ホームページや各学期開始のオリエンテーション、メールを通じて、学生及び保護者に理解を求め、各種アンケートで納得度を把握する。
1013	高松短期大学							④把握していない	特に調査を実施していないため。	特になし	特になし
1014	せとうち観光専門職短期大学							①ほぼ全員が理解	開学初年度ということもあり、校舎に対して在籍する学生が少ないこと、令和3年度後期より実習関連科目が増えることもあり、ガイダンス等で面接授業を前項に説明しているため	単科校であるため異なる状況はない	本学の領域である観光分野において、コミュニケーションの重要性を伝えるとともに、現場における基本的なコロナ対策の重要性を、いるんな場面で伝えていく。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1015 香川高等専門学校							①ほぼ全員が理解	特に学生からの不満や要望が挙がっていない。HPの「新型コロナウイルス感染症に対する本校の対応について」による。		引き続き感染症対策を徹底する。
1016 愛媛大学	①②③④⑤	オンライン授業ガイドラインや遠隔授業をグレードアップするためのヒント案を作成して教員へ共有するとともに、学生・教員からのアンケート調査を分析し、課題解決に努めている。	①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和2年度前半学期末、後半学期末、令和3年度前半学期末と学生アンケートを継続して行い、遠隔授業全体を総合した満足度を問う設問に対し、回答学生の70%を超えた結果を得ている。		引き続き、個々の学生にきめ細かな情報提供を行うとともに、相談体制を継続する。・感染状況を見極めながら、対面授業やイベント等の実施を検討していく。
1017 愛媛県立医療技術大学							①ほぼ全員が理解	授業の形態等については、変更が生じる前に周知・説明を徹底しており、それを受けて学生から不満の声等はほとんどあがっていないため。		今までどおり、最新情報の周知・説明を徹底。
1018 松山大学	②③	該当せず	①②③		②③④⑤		②大多数が理解	ホームページや学内ポータルを通じて順次情報を発信している。	特になし	特になし
1019 聖カタリナ大学							②大多数が理解			
1020 松山東雲女子大学							②大多数が理解	全国および県内の感染状況や知事からのメッセージ・感染対策等を伝えた上で、本学としての方針を本学HP、学生向けページ、メール、オンラインセッション等にて発信している。これまで発信してきた内容に対し、学生から苦情等の申し出はないことから、大多数の学生が理解・納得しているものと理解している。		今後も引き続き、学生に対し丁寧な情報発信に努めると共に、授業改善アンケートによる遠隔授業・ハイブリッド授業に関する意見集約を行い、今後の取組みに活かしていく。
1021 今治明德短期大学							②大多数が理解	小規模であるため、コロナ禍以前と変わらず対面授業を行っているため。		特になし
1022 聖カタリナ大学短期大学部							②大多数が理解			
1023 松山東雲短期大学							①ほぼ全員が理解	全国および県内の感染状況や知事からのメッセージ・感染対策等を伝えた上で、本学としての方針を本学HP、学生向けページ、メール、オンラインセッション等にて発信している。これまで発信してきた内容に対し、学生から苦情等の申し出はないことから、大多数の学生が理解・納得しているものと理解している。		今後も引き続き、学生に対し丁寧な情報発信に努めると共に、授業改善アンケートによる遠隔授業・ハイブリッド授業に関する意見集約を行い、今後の取組みに活かしていく。
1024 松山短期大学							①ほぼ全員が理解	37.5℃以上の発熱や倦怠感などの症状があり、授業を欠席した場合には、欠次の手続きを取らせるなどの対応を行っており、学生は授業の形態について理解していると思われる。		
1025 新居浜工業高等専門学校	①④		①③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生個人からの感染不安における遠隔授業の配備の希望については、個々に柔軟に対応しているため。	特になし	特になし
1026 弓削商船高等専門学校							①ほぼ全員が理解	夏季休業中の保護者アンケートにより気にかかる点を問うているが、授業形態に関する不安はほぼ挙がっていない。		
1027 高知大学	①②③④		①②		①④⑤		④把握していない			
1028 高知県立大学	①②③④		①②③		②④⑤		④把握していない	授業の形態等について周知した後、学生の理解や納得状況の確認は行っていない(ただし、反対意見等も見受けられなかった)。		特になし。
1029 高知工科大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解			
1030 高知リハビリテーション専門職大学							①ほぼ全員が理解			
1031 高知学園大学							①ほぼ全員が理解			
1032 高知学園短期大学							①ほぼ全員が理解			
1033 高知工業高等専門学校	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	在校生は、令和2年度及び令和3年度前期に対面授業と遠隔授業の併用を経験しており、令和3年度後期に実施する予定の授業形態を十分理解している。新入生には、入学後に全員にノートPCを貸与し、4月中旬に遠隔授業での使用方法等を周知徹底している。また、前期に対面授業と遠隔授業の併用を経験しており、令和3年度後期に実施する予定の授業形態を理解している。		今年度からの継続として、新入生には、1年間ノートPCを貸与し、1年生研修や情報の授業を通して、遠隔授業への対応方法(授業の受け方、課題の提出方法等)を理解させていく予定。また、来年度からは2年生にもノートPC貸与し、1年生から引き続き、自前のPCを用意しなくても遠隔授業に対応できるようにする予定。
1034 九州工業大学	①②③④		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	前述の意見箱によせられる授業の形態についての要望が、大学 特定の学部等や学年において、理解・納得の度合いが異なる状況。教育・教育環境改善に関して、意見箱で授業アーカイブの取集・公開の要望があったため、整備を検討した。		
1035 福岡教育大学	①②④		①②③		②③④⑤		④把握していない	授業評価アンケート結果等を見る限り、遠隔授業に関する否定的な意見は見られないが、これから学生の意識調査等を実施する予定である。		これからの授業形態の在り方や実施に関するアンケートを学生・教員双方に実施し、今後の在り方について検討する。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1036 九州大学	①②③④		①②③		①②③④⑤⑥	令和3年度春季・秋季入学式のライブ配信を行った。	②大多数が理解	本学の行動指針等については、全ての学生の個別アドレス宛にメールを送信するなどにより、定期的に説明しており、また、授業の実施についても、各期毎に部局等において周知し、学生が理解できるように努めている。		今後も引き続き、現在と同様の取組により、学生への周知等を行っていく予定。
1037 北九州市立大学	②③④		①②③		②③④⑥	学内Wi-Fi環境を増強し、学生がより円滑に遠隔授業を受講できるように配慮した。	②大多数が理解	9月14日に2学期の授業方法を学生に案内し、9月27日から2学期授業が開始され、支障なく進行しているため。また、学生・保護者からの反対・異論は寄せられていないため。		
1038 九州歯科大学	①②③④		①③		③④⑤		②大多数が理解	・大多数の学生が問題なく授業に参加していること。学生アンケート等で、様々な意見が述べられていること。		
1039 福岡女子大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		④把握していない	授業の方針に関するアンケート等を実施していないため、学生の理解・納得状況については把握していない。ただし、公表後に学生から特に反応は起きていない。		全体の授業実施形態については全学生・教職員にメールで周知している。また、各授業で実施形態を変更する時は、担当教員から履修学生に連絡することになっている。
1040 福岡県立大学	②③④		②		⑤		④把握していない	大学ホームページや教務システムに方針を掲載し、学生へ周知しているが、学生の理解・納得状況については調査していないため。		なし
1041 福岡工業大学	②③④		①②③		①②③④⑤⑥	授業の理解度が低い学生のために、上級生による学習支援を実施	①ほぼ全員が理解	後期授業開始前に、大学方針及び全授業の授業形態の周知を行う。また、アンケートによる意見徴収を実施		
1042 九州共立大学							②大多数が理解	大学ホームページ、学生ポータルサイト（UNIPA）、各学期のガイダンスなどを通して、授業方針の理解を通じて履修登録が学部間での理解・納得状況に差異はない、適切に行えていることが理由。		現状と同様の対応で問題ないと認識している。
1043 九州女子大学							②大多数が理解	学生から授業の形態について質問があった場合、その都度学科および教務部で対応しているため。		適切な情報発信および授業方法の工夫を行っていくたい。
1044 九州国際大学	②③		①②		②⑤		②大多数が理解	各学期前に「授業開始に向けた基本方針」を作成し、学生、保護者、教職員に配信し、理解と協力をお願いしている。		
1045 福岡歯科大学							①ほぼ全員が理解	授業方針を全学生へメール等で周知しており、学生からの意見や要望が特になかったため		定期的な学生との面談等
1046 九州産業大学	①②	なし	①②③	なし	②③④⑤	なし	②大多数が理解	実施方針等について、できるだけ早めに決定し、大学HP、メールで周知している。数件の問い合わせがあるものの、全体的には理解を得られているものと判断する。		引き続き早急の決定を心がけ、学生に丁寧な案内を行っている。
1047 久留米大学	①②③		①②		①②③④⑤		②大多数が理解	・学年LINEや電子シラバス（moodle）等で周知している。・これまでの学生からのアンケート結果によるもの。		学生の授業に係る問題点を把握するために、前期に引き続き、後期授業期間に授業評価アンケートを実施する予定としている。また、アンケート調査結果を基に、より良い学習環境を提供できるように取り組み、学生の理解につなげていきたい。
1048 西南学院大学	②③④		①		⑤⑥	アンケート又は定期健康診断時にスクリーニングを実施し、大きく影響を受けた学生には個別面談を実施している。	③大多数とは言えない	学生へのアンケート結果より、コロナ禍においても対面を強く望むもの、遠隔を強く望むもの、双方の意見が見られたため。特になし		丁寧な説明、情報提供に努める。
1049 第一薬科大学	①		①		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生が閲覧できるサイトに令和3年度後期の授業に関する方針を掲載しているため		
1050 中村学園大学	②③④		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	授業アンケートの結果で学生の授業評価において8割以上が良いと評価しており、遠隔授業への不満のコメントも少ない。		
1051 西日本工業大学	①②③		④	ほとんどの授業が対面授業であるが、一部の授業はハイブリッド授業を選択しており、遠隔か対面授業かは、学生の選択であるので、学生の理解を得られていると考える。	②③		①ほぼ全員が理解	前期における授業アンケートのコメントで、一部遠隔を求める学生はいるものの、ほとんど異論はなかった。		特になし。
1052 福岡大学							②大多数が理解	公式ウェブサイトおよび学内ポータルにおいて、後期授業についての基本方針を示している。	なし	なし
1053 日本経済大学	②③		①②		②⑤		①ほぼ全員が理解	全く不満の声がないということはないが、コロナ禍の中での対応ということで、概ね理解は得られている。	なし	なし
1054 久留米工業大学	①②③④		②③		③④⑤		④把握していない	直接学生に確認を行っていない為。		
1055 産業医科大学	①②③④		②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生からの意見・要望を十分に取り入れたうえで実施している。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1056 筑紫女学院大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	アンケートを学生に対しておこなった訳ではないため明確な根拠はないが、学生に対して授業の方針をしっかりと示し、基礎疾患をもっている学生に対しては遠隔授業を認めるなどある程度柔軟に対応し、後期授業もスムーズにおこなえているため、学生も社会状況などを考慮し、後期の授業方針に理解を示してくれていると考える。		特になし
1057 福岡女学院大学	①②③		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	2021年8月に後期に向けてのアンケートを実施した。その結果から、大多数の学生が授業形態等に理解・納得していると判断する。		今年度を振り返り、次年度に向けての方針を決定することについて、学生からの理解・納得を得るために、2022年5月に学生に対してアンケート調査を実施する予定。
1058 西南女学院大学	②③		①②		①③⑤		④把握していない	遠隔授業に対する学生の理解・納得の状況に関するアンケートを実施していない。		
1059 九州情報大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	コロナ禍における、その時点での大学としての考え方や授業方針等をWebや掲示板にて発信し、ゼミ、演習他、授業担当からも情報伝達に努めている。		
1060 九州栄養福祉大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	在学生には、授業の実施形態をはじめ本学で定めている感染防止のための行動指針について、学内の学生専用ポータルサイトを利用してそれぞれに通知を行っている。また、その件についての問い合わせ対応等もしている。		本学の1R推進本部が全学生を対象に毎年実施している「学生の満足度調査」において、実施形態も含めた授業の満足度並びに要望等を出してもらい、必要に応じて改善を行っていく。
1061 日本赤十字九州国際看護大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	本学では「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針」を定め、緊急事態宣言等の判断基準にもとづく感染対策行動の段階（レベル）を決定している。セメスターごとのガイダンスの機会だけでなく、上記の段階（レベル）変更の際には、学生全体に授業実施の留意事項を説明するとともに、感染の復旧に対しては丁寧に対応している。例えば、前定期試験を面接で実施することを告知した際、ごく少数であったが感染リスク等を理由として面接試験に反対する学生に対し、学部長をはじめとして教員も全課システムを使用し学生の心配や意見を聞いたうえで本学の方針を丁寧に説明した。その結果、定期試験についての大学の方針が理解され、問題なく対面での定期試験を実施できた。その他には学生からは特に意見は寄せられておらず、学生は大学の方針を理解・納得していると考えている。		面接授業を再開するにあたり、本学の感染防止対策についての説明と合わせて、授業形態について改めて丁寧に説明する予定である。
1062 聖マリア学院大学	②④		①②③		①③④		②大多数が理解	集計段階ではあるが、学生による前期科目授業評価結果より、「科目の総合評価」5点満点中4点以上の科目が9割以上あることからそのように判断した。		
1063 福岡女学院看護大学	①②③		①③		①③④⑤		②大多数が理解	以前実施した学生の自治組織によるアンケート調査で授業の形態について肯定し、理解を示す結果を確認しており、授業に関して窓口に関し合わせがあったものは個別で対応し、納得を得ている。また、本学は小規模人数の大学であり、ほぼ必修科目であることやアドバイザー制度等により、学生の状況は直接的に把握できていると考えている。		今後も状況の変化に応じて授業の実施方法等を明示し、説明をおこなう。
1064 保健医療経営大学	②		①②③		⑥	令和2・3年度新入生はいない	①ほぼ全員が理解	教員から個別の学生に対し、繰り返し連絡・指導を行っているため		
1065 純真学園大学	①②③		①②③		②④⑤		④把握していない	学生に対し調査等実施していないため。		クラスアワーで周知する。
1066 福岡看護大学	②		①②		②④		①ほぼ全員が理解	学生から特にクレーム等ができていない状況から判断した。		新入生に対しては、遠隔授業の対応についてPC等通信環境設備の案内を促している。
1067 福岡国際医療福祉大学	②		①②③		④⑤		④把握していない	講義形態の変更は都度、学生に連絡しているが、納得の状況を把握する調査等は行っていないため。		
1068 折尾愛真短期大学							④把握していない			
1069 九州女子短期大学							②大多数が理解	学生から授業の形態について質問があった場合、その都度、学科および教務部で対応しているため。		適切な情報発信および授業方法の工夫を行ってきたい。
1070 西南女学院大学短期大学部	②③		①②		①③⑤		④把握していない	遠隔授業に対する学生の理解・納得の状況に関するアンケートを実施していない。		
1071 東京紫短期大学							①ほぼ全員が理解	在学生には、授業の実施形態をはじめ本学で定めている感染防止のための行動指針について、学内の学生専用ポータルサイトを利用してそれぞれに通知を行っている。また、その件についての問い合わせ対応等もしている。		本学の1R推進本部が全学生を対象に毎年実施している「学生の満足度調査」において、実施形態も含めた授業の満足度並びに要望等を出してもらい、必要に応じて改善を行っていく。
1072 福岡女子短期大学							②大多数が理解			
1073 近畿大学九州短期大学							②大多数が理解	ガイダンス等で、授業方針については、学生全員に説明をしている。		特になし ガイダンスの実施
1074 久留米信愛短期大学							①ほぼ全員が理解	令和3年度後期のオリエンテーションにおいて、教務部より授業の仕方について理解を求める案内をしている。各授業の開始時に毎回各教科担当者が授業の実施方法について説明をしている。毎回採用している消毒を徹底管理を行っている。以上3つの理由から理解納得してもらっていると考えられる。		コロナ禍の現状把握と文部科学省からの指示に沿って順次検討していく予定。
1075 香蘭女子短期大学	②		①		⑤		②大多数が理解	後期授業開始時、全学生に対してホームページやメール送信により案内している。また、クラスアドバイザーからも周知する体制をとっている。		学生の満足度調査等で問う方法も考えられるが、現在詳細等未定である。
1076 純真短期大学							④把握していない	後期、学生への調査等は行っていないものの、前期からの対面授業実施にあたり、学生及び保護者からの対面授業に対する否定的な意見は特に伺えない。		

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1077 精華女子短期大学	①②④		①③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	学生・保護者の理解が得られるよう、委員会等で説明内容を検討し、担当的存在であるクラスアドバイザーがクラスの全学生に説明するとともに、事務担当部署よりポータル、メール等で全学年に通知しているため。		3-8に記載した内容を今後も行う予定です。
1078 中村学園大学短期大学部	②③④		①②③		①②④⑤		②大多数が理解	授業アンケートの結果で学生の授業評価において8割以上が良いと評価しており、遠隔授業への不満のコメントも少ない。		
1079 西日本短期大学							①ほぼ全員が理解	基本的に対面授業を実施していますが、学生から不満の声は出ておりません。		感染防止対策を徹底して対面授業を実施できるよう継続的に注意喚起を行います。
1080 福岡工業大学短期大学部	②③		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	後期授業前にオリエンテーションを実施し周知した。		
1081 福岡学院大学短期大学部	①②③		①②③		①③④⑤		②大多数が理解	2021年8月に後期に向けてのアンケートを実施した。その結果から、大多数の学生が授業形態等に理解・納得していると判断する。		今年度を振り返り、次年度に向けての方針を決定することについて、学生からの理解・納得を得るために、2022年3月に学生に対してアンケート調査を実施する予定。
1082 九州産業大学造形短期大学部	①②	なし	①②③	なし	②③④⑤	なし	②大多数が理解	実施方針等について、できるだけ早めに決定し、大学HP、メールで周知している。数件の問い合わせがあるものの、全体的には理解を得られているものと判断する。		引き続き早めの決定を心がけ、学生に丁寧な案内を行っていく。
1083 九州大谷短期大学							①ほぼ全員が理解			
1084 福岡こども短期大学	①②③④		①②③		②③④⑤		④把握していない			
1085 福岡医療短期大学							①ほぼ全員が理解	令和2年度から繰り返し学生へ説明し、理解を得ているため。		休職前等、感染状況に応じてホールの利用で感染防止対策等を学生へ説明予定
1086 久留米工業高等専門学校	①②③		①②		④⑤		①ほぼ全員が理解			
1087 有明工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	特段、学生や保護者から授業方針についての要望等は出ていないため。		学生の理解や納得を得るため、全校集会等の機会を利用し学生への説明を行う。
1088 北九州工業高等専門学校	①②④		①		②⑤		②大多数が理解	クラス担任を通じて、甲等で継続的に学校の方針を周知している。		クラス担任のほか、教務担当教員によるクラス毎の説明会を実施し、丁寧な説明を行う。
1089 佐賀大学	②③④		①②③		②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度前学期に実施した授業アンケートの結果、授業に関する満足度は8割を超える学生が肯定的な回答をしていることから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していたと言える。令和3年度後学期授業方針は令和3年7月末に本学HPで公表し、全ての学生に行き渡る形でメール配信を行ったが、これまでに特段の問題点は寄せられていない。授業アンケートについては今後も引き続き実施し、学生の意見・理解の状況を取り入れていく。	特になし	引き続き、授業アンケートの内容から、学生の理解・納得の状況を把握し、学生に寄り添った対応を行う。また、授業の形態等に関する方針等を定め公表するにあたっては、判断の理由や根拠等について、学生一人ひとりに伝わるような形で発信する。
1090 西九州大学	②③④		②		①②③⑤		②大多数が理解			
1091 佐賀女子短期大学							①ほぼ全員が理解	後期開始前に遠隔授業について学生にアンケートを行い不備等がほぼ見受けられなかったことと、後期開始前に、授業の形態等についての説明を全体にしており、その後学生からの質問等もなく円滑に授業が実施されているため。		
1092 西九州大学短期大学部	①②③④		①②③		④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケート		
1093 九州龍谷短期大学							②大多数が理解			
1094 長崎大学	①②③④⑤	教職員に対して、オンライン授業実施に係るマニュアルを提示、オンライン授業の質の向上に資するFD・研修を実施。	①②③		①③④⑤		④把握していない	学生に対しては、後期の授業実施に関する大学の方針をメール、LMS、アプリ等のツールにて丁寧に説明しているものの、現時点ではアンケート等を実施しておらず、理解・納得しているか等については把握できていない。		学生に対して、授業終了後にアンケート調査を実施しており、回答状況を分析の上、改善等が必要な事項については、全体で共有し、検討する。
1095 長崎県立大学	②④		①③		①②③④⑤		②大多数が理解	コロナウイルス感染症の状況に応じて授業方針を決定し学生に通知しており、それに対して学生からの苦情はほとんどないため。		なし
1096 長崎総合科学大学							①ほぼ全員が理解	昨年は遠隔授業の実施を希望する学生がいたが、今年は希望がない。学生からは、直接授業を受けられることに感謝しているとのコメントもあっている。		
1097 活水女子大学							①ほぼ全員が理解			
1098 長崎純心大学	①		①②		①④⑤		④把握していない	方針についてのアンケートをとり、確認したわけではなく、学校の方針として学生に伝えらるにとどまっている。		IR組織において調査する予定。
1099 長崎国際大学	①②④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	後期からの授業形態については、学内ポータルサイト等において大学の方針や授業形態について予め通知している。加えて様々な理由により対面授業を受けられない学生に対しても相談を受け付け、場合によっては遠隔授業等で個別に対応している。		今後についても新型コロナウイルスの感染状況、対面授業の実施状況、学生の各種相談状況や学生アンケート等を総合的に判断し柔軟に対応していきたい。
1100 長崎外国語大学							①ほぼ全員が理解	学内ポータルで全学生宛に方針説明のメッセージを発送済みであり、現在まで否定的な反応は皆無である。		上記の通り対面授業実施の必要性に係る説明は来次に実施し、学生の理解を充分に得ているものと考え、今後の取組は予定していない。
1101 横西学院大学	①②④		②③		②③⑤		②大多数が理解			入学時や学期ごとに行われるオリエンテーションの際に、遠隔授業の取り組みに関するレクチャーを時間を拡充して行う予定。
1102 長崎女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
1103 長崎短期大学							①ほぼ全員が理解	周知を徹底しているため		
1104 佐世保工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解			

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1105 崇城大学	②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	「新型コロナウイルス感染症に対する活動方針」にて授業に対する方針を示しており、また、時間割上で授業の形態を明記している。		授業アンケートを継続的に実施し、その結果をFD委員会等と共有し、様々な面から改善を行っていく。
1106 熊本大学	①②③④		①②③		②④⑤		②大多数が理解	本学の方針について、学生へ周知の上、授業を実施しているが、学生から大学の方針に異議を唱える内容の意見箱への投稿等がほとんどないため。		対面授業と遠隔授業を効果的に併用する等、学修機会の確保と感染防止の徹底の両立を図ることを学生に通知している。引き続き情報通信機器等の貸出や学内施設の開放など、学生の適情環境の確保に向けた支援を行う。
1107 熊本県立大学	②④		②③		⑤		②大多数が理解	学生へのアンケート結果により概ね理解されていると考える。		
1108 熊本学園大学	②③	・「遠隔授業受講に関するガイドライン」を作成し、学生に対して遠隔授業を受ける際の注意事項を示している。 ・教員については「遠隔授業に関するFD」を実施している。	①②		③⑤		④把握していない	学生に対しては、授業の実施方針について学生ポータルサイトに掲示を出して周知している。授業の実施については大きなトラブルなく実施されており、学生は理解しているのと思われるが、調査等を実施した訳ではなく、状況については把握していない。		
1109 尚絅大学							①ほぼ全員が理解	ホームページに後期授業形態について周知を行っており、それに対し、学生からのクレーム等もなく、授業を行っているが	特になし	各学期に行っている授業改善アンケートの実施
1110 九州ルーテル学院大学	①②③④		①②③		②③④⑤		①ほぼ全員が理解	遠隔授業に関する学生アンケートにて遠隔授業に対する意見を集約し、遠隔授業に関するFD研修を開催。外部講師を含む授業担当者に学生からの意見をフィードバックしている。		オフィスソフトの導入など遠隔授業がスムーズに実施できるよう更なる環境整備に努める
1111 九州看護福祉大学							①ほぼ全員が理解	授業等の形態等について、特に学生からの異議は寄せられていない。		
1112 平成音楽大学							①ほぼ全員が理解			
1113 熊本保健科学大学	②③④⑤	令和2年度後期より、新たな授業支援システムを導入し、遠隔授業の質をより高められるよう取り組んでいる。	①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	面接授業においては、学内でPCR検査や新型コロナウイルス検体採取（職域検体）を行うなどし、学生が安心して授業に臨めるようになっている。一方、遠隔授業においては、令和2年度後期から導入した新たな授業支援システムを活用し、教育効果が高まるよう努めている。また、授業料の納付案内を送り付け（1学年ごと）、全保護者・学生に対して学長名による本学の教育体制についての説明文書を送付している。		「学生との意見交換会」を開催し、学生の意見を吸い上げながら、理解を得られるよう努めている。
1114 尚絅大学短期大学部	①②		①②		③④⑤		①ほぼ全員が理解	学科長自ら学生に対し遠隔と対面どちらも用いた時間割である理由を説明しており、それに対し、学生からのクレーム等もな	特になし	各学期に行っている授業改善アンケートの実施
1115 熊本高等専門学校							①ほぼ全員が理解	保護者への文書送付や学生本人への周知、HPへの掲載等を行っているため。	なし	なし
1116 大分大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度後期の授業の実施形態について、全学生にメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図っているが、学生から理解・納得ができないという意見等は届いていない。		・学生へのガイダンス等において、授業実施形態において、理解を得られるよう丁寧の説明を行う。 ・授業実施形態に変更がある場合は、全学生に対してメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図る。 ・学生からの意見については、WEBページ上の意見箱で、随時受付を行い、回答を行う。
1117 大分県立看護科学大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生に必要性を周知し理解を得られているため		入学時や全学年を対象としたオリエンテーション、各科目におけるオリエンテーションを行う
1118 日本文理大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		①ほぼ全員が理解	毎学期末に各科目の受講アンケートを実施し、科目の授業形態について調査しており、その状況から①の回答を行った。		
1119 別府大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	昨年の授業実施の際に多くの質問があったが、今年はあまり質問等もないため	特になし	学長からのメッセージや教務課、学生課等からの丁寧な周知を行う予定。今後、コロナ禍における学生アンケートを行い、学生の意見を集約する。
1120 立命館アジア太平洋大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	本学では、学校医などの専門家の監修などを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の感染状況等に応じて、大学に関する事業（一度も入国できていない国際学生が感染で2年度入学生にて210名の事業継続計画（Business Continuity Plan・BCP）の策定を、21年度入学生にて640名、合計760名程度存在している。また、ま定めている。上記のBCPレベルに照らしつつも基本として面接した留学生が有効期限切れから約370名程度国際学生が日本へ授業を可能ながり追求する方針を示している。感染状況に合わせた再度入国できていないと試算しており、合計約120名の国際学生に授業形態を変更せざるを得ない状況について理解を示し、日本へ入国できていないと理解している。1回生の約40%の在留学生を擁する背景（文化、宗教、価値観等）を持つ国々の学生が日本へ入国できていない現状があり、学年において様々な人々と対面で交流できないことに納得感が得られているかは不透明な点がある。		九州大学と進めているIssue-based Collaborative Online International Learning(I-COIL)の具体化を通してコロナ禍における新たな教育手法の開発に取り組み。また、非同期授業実施に向けたシステム（Panopto）を導入し、個別学習と多文化協働学習を振り返った有機的なカリキュラム設計を検討する予定である。
1121 大分県立芸術文化短期大学	①④		②		⑤⑥	新入生に対して遠隔授業に関するオリエンテーションを実施するとともに、新たに授業支援システムを導入した	②大多数が理解	学生からは特に意見がないため		
1122 大分短期大学							④把握していない			
1123 東九州短期大学							①ほぼ全員が理解	全学生が60名未満で、かつ、すべての授業で面接授業を実施しており、相談窓口も複数設けているため		ワクチン接種に係る不父や副反応による体調不良に関する規程を学生に周知
1124 別府清部学園短期大学							①ほぼ全員が理解	9月下旬に後期授業の方針を学長より学生に対して、丁寧な説明会を実施した。10月1日には学長より全学生に対して、授業の方針について説明をした。		
1125 別府大学短期大学部	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	昨年の授業実施の際に多くの質問があったが、今年はあまり質問等もないため	特になし	学長からのメッセージや教務課、学生課等からの丁寧な周知を行う予定。今後、コロナ禍における学生アンケートを行い、学生の意見を集約する。

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得の状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1126 大分工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	これまで、学生保護者へ新型コロナウイルス感染症対策を説明しているが、特に反対の意見はないため		
1127 宮崎大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	授業の実施方針等については、本学ホームページに掲載するとともに、各学部等より学生へ周知指導を依頼しているが、特に大きな問題は起こっていない。		学生からの要望・意見聴取 (Web、メール、学生相談)、授業担当教員からのFDアンケート (学生の授業の取組状況)
1128 宮崎公立大学	③④⑤	学習管理システム (LMS) として、Moodleを活用し、授業のお知らせ、教材の提示、課題の提出、学生からの質問の受付等を行っている。	①②③		②③④⑤		②大多数が理解	学生の理解・納得の状況については把握していないが、後期の授業にあたり、学生に対しては、ガイダンス (Zoom開催) において、本学の方針 (対面授業を主体とする) を説明した。また、学長より、オンライン授業の良さとともに、大学の学びを充実させるためには、対面での活動やコミュニケーションも重要であるというメッセージを出すなど、理解・納得を得る取組を行った。		今後も、学生アンケートを行う等、学生の声に耳を傾けながら、授業実施方針を判断していきたい。
1129 宮崎県立看護大学	②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	令和3年度当初に学生に対して行った遠隔授業に関するアンケート結果より、8割弱の学生から満足との回答があったため、また後期の授業開始にあたり、学年ごとにガイダンスの時間を設け、授業方針について説明を行ったため。	1年生・2年生の満足度が8割〜9割弱なのに対し、3年生には適任状況の不具合により授業の映像が途切れること、長時間の通話状況により体への負担がかかること、スマートフォンを使用して遠隔授業を受けた場合に授業の映像が見づらいためが挙げられた。本学においてはこれらの問題に対する対応策を検討し、実施するところである。	
1130 南九州大学	③		①		②④⑤		①ほぼ全員が理解	学期開始時のオリエンテーションでの説明に加え、メールなど一人一人に確実に伝達できる形で連絡をした。また、ホームページや内部ポータルなど学生等が必ず目にするところや分かりやすいところへ後期の授業方針について提示するようにしているから。		
1131 宮崎産業経営大学	①②④		①②③		②③		①ほぼ全員が理解	学生に対しては十分なメールやオンラインで説明を行っている		学生に対しては十分なメールやオンラインでの説明を継続していく
1132 宮崎国際大学							①ほぼ全員が理解	新学期が始まる前に後期オリエンテーションを実施し、学生の意見を十分に把握している。		なし
1133 九州保健福祉大学							①ほぼ全員が理解	事前に学生に方針を通知し、後期授業に向けたオリエンテーション等でも周知・確認し、現在のところ特に混乱や反対意見も出ていないため。		特に現状の取組から変更の予定はない
1134 南九州短期大学	③		①		②④⑤		①ほぼ全員が理解	学期開始時のオリエンテーションでの説明に加え、メールなど一人一人に確実に伝達できる形で連絡をした。また、ホームページや内部ポータルなど学生等が必ず目にするところや分かりやすいところへ後期の授業方針について提示するようにしているから。		
1135 宮崎学園短期大学							①ほぼ全員が理解	学生アンケートや学生代表との協議会において授業の形態等に関する相談事項は特になかったため。		
1136 都城工業高等専門学校							①ほぼ全員が理解	学校として対応方針を示しているため		特になし
1137 鹿児島大学	①②③④		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	全学及び各学部のホームページや学習管理システム (manaba) において幅広く授業の実施方針の周知を図っている。		
1138 鹿児島体育大学	②③④		①②		②③④⑤⑥	令和2年度、3年度ともに4月に新入生を対象としたオンライン授業を受けるにあたって解任教を聞いた。3つにクラスに受講者を分散し対面方式にて開講した。内容は遠隔授業の方法、LMSシステムの使い方や履修登録の確認等を説明した。	①ほぼ全員が理解	メール、LMSシステムによる連絡、また学内関係者のみ確認できるサイトに授業形式の情報提供や授業方法を積極的に発信している。また、演技・美術・実習科目は対面にて開講し、1年生から3年生のほぼ全学生が対面の授業を受ける機会となっていることから、学生の高い納得度を得られていると思われる。全学生が小規模の集団に所属 (1・2年生は小クラス、3・4年生はゼミ形式) しており、その指導教員が個別に修学指導をしている。窓口対応率例数や苦情が来ていないことから、学生の高い理解度を得られていると考える。		授業の方針で変更があれば、逐一通知をおこない、メール、LMSシステムによる連絡を随時行う。
1139 鹿児島国際大学							①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染予防に最大限注意を払いながら、原則として面談授業 (対面授業) 実施する方針をホームページ上に掲載し、学生に周知している。このことによる問い合わせはない。、納得しているものと考えている。		なし。
1140 第一工科大学	②④		②③		①③⑤		①ほぼ全員が理解	学生に対する後期オリエンテーション、学習管理システム (moodle) 及び卒の学生向け掲示板において、授業開始前に周知している。		保護者説明会を実施して、保護者を含めて理解や納得を得る予定である。
1141 志摩館大学							①ほぼ全員が理解	昨年度は授業形態に対するクレームが非常に多かったが、今年度は皆無である。		
1142 鹿児島純心女子大学							①ほぼ全員が理解			
1143 鹿児島県立短期大学							④把握していない	特になし	なし	なし
1144 鹿児島純心女子短期大学							①ほぼ全員が理解			
1145 鹿児島女子短期大学							①ほぼ全員が理解	学生には本学評やユニバーサルサポートで随時連絡周知している。		
1146 第一幼児教育短期大学							①ほぼ全員が理解	オリエンテーション、授業内で説明を行っており、クラスアドバイザー等による個別の相談窓口も設けているため。		
1147 鹿児島工業高等専門学校							②大多数が理解	学生からの意見箱では、ごく一部、対面授業への不安の声が聞くことがあるが、大多数の学生が毎日、元気に登校してきていて特になし。		特になし

No. 学校名	遠隔授業の工夫	その他の内容	理解を得る取組	その他の内容	新入生等への配慮	その他の内容	学生の理解・納得状況	学生の理解・納得状況の回答理由	学部・学年ごとの差	今後の取組
1148 琉球大学	②③		①③		①③④⑤		②大多数が理解	授業評価アンケートでは授業全体の満足度について71.6%の学生が肯定的な回答を寄せていることから大多数の学生から、理解を得られていると判断した。また、これまでに得られた課題のもとに、更なる学習効果を最大化するための遠隔授業・対面授業のベストミックスを目指していくこととしている		授業評価アンケートで得られた課題をもとに、FDガイド（遠隔授業編）を作成し、オンデマンド型授業の授業デザインやオンライン型授業の留意点、ビデオ会議サービスの比較、シラバスで明記すべき事項、遠隔授業の好事例、成績評価の考え方、障がいを持つ学生への配慮等、様々な情報を集約している。引き続き授業実施にあたっては、学生の学習機会の確保と新型コロナウイルス感染症対策の徹底の両立を行い、学生が安心して学習できる機会・環境の確保のため、上記FDガイドに基づく工夫を行いながら、更なる学習効果を最大化するための遠隔授業・対面授業のベストミックスを目指していくこととしている
1149 名城大学	①②		①②③		①②③④⑤		②大多数が理解	学生を対象とした令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査>及び令和2年度混成型授業の実施に関する実態調査>のアンケート結果を根拠としております。		
1150 沖縄県立芸術大学	①②		①		④		④把握していない	授業の形態等については、学生に対し説明に努めている。詳しい状況は把握していない。		感染症対策の徹底や面接授業の必要性を丁寧に説明する。
1151 沖縄県立看護大学	②③④		①③		①②③④⑤		②大多数が理解	前学期終了時に学生調査を実施し状況を把握している。		機会を設けて説明会を実施する。
1152 沖縄科学技術大学院大学							①ほぼ全員が理解	授業形態の選択及びその理由等の説明を行うことにより、状況に応じた授業方針について学生の理解を図った。海外渡航規制の影響で日本に入国できない新入生学生に対しては、2021年9月からオンラインでの講義を受講するか、または2022年1月まで入学を延期するかのいずれか一方を選択してもらった。オンラインでの受講を希望した学生は、入学時点で授業形態について十分に理解している。		引き続き、透明性を確保しつつ情報共有を行っていく。
1153 沖縄国際大学	①②③		①③		①④⑤		①ほぼ全員が理解	学内ポータルシステムより全学生へ掲示周知している。		沖縄県内コロナ感染者数の状況に応じ、期間を区切りながら柔軟に大学の方針決めをし、学生へ掲示、周知していく。
1154 沖縄大学	③④		①③		②		②大多数が理解	方針を甲で公表している。また、大学独自の活動制限レベルについても全学生にメールで周知し、一部を除き問題なく授業を進めているため。		特になし
1155 沖縄キリスト教学院大学							①ほぼ全員が理解	基礎疾患及び感染への不安等、「遠隔授業受講希望申請」等の対応を行っているが、2021年度後期においては、希望学生が無特定の学部、学年における違いはない。く、面接授業に対応できていると推測する。		
1156 沖縄キリスト教短期大学							①ほぼ全員が理解	基礎疾患及び感染への不安等、「遠隔授業受講希望申請」等の対応を行っているが、2021年度後期においては、希望学生が無特定の学部、学年における違いはない。く、面接授業に対応できていると推測する。		
1157 沖縄女子短期大学	①②③④		①③		④⑤		②大多数が理解			
1158 沖縄工業高等専門学校							②大多数が理解	令和3年度の本科2年生以上の学生については、令和2年度において、県独自の緊急事態宣言下においても十分な感染対策を講じた上で、面接授業を継続できたことを経験しており、令和3年度の授業形態について十分な理解・納得が得られているものと認識している。		本校の定めるコロナ禍での学生生活に関するガイドラインについて、丁寧に説明する機会を複数回設ける。本校の定めるコロナ禍における行動基準を正しく理解するための説明の場を複数回設ける

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1 北海道大学	②一部利用制限		①②③⑤		電子資料の拡充、オンライン講習等の実施、自宅への図書郵送サービス、窓口のリモート対応システムの導入（R3予定）など ②一部制限の取組を行っている。		大学の定める新型コロナウイルス感染拡大防止のための北海道大学の行動指針（BOP）がレベル1（制限（小））になった場合は、学生団体から活動計画を提出させ、幅広く許可するが、合宿は禁止する。また、同行動指針がレベル2（制限（中））となった場合は、以下のような活動の一部制限を行う。・課外活動施設の利用人数を制限 ・合宿の禁止 ・都道府県知事の要請内容によっては活動地域を限定		①②③④⑤⑥⑦⑧	1) オンライングループカウンセリングの実施 オンライン会議システムを用いて、カウンセラーが複数の学生に対してグループカウンセリングを実施し、学生相互の交流促進及び問題解決へのサポートを行った。 2) 新規渡日留学生向け情報の提供 新規渡日留学生の自己隔離期間中の不安や孤立を軽減するため、自己隔離期間中に参加できる情報を取りまとめで提供した。 3) オンラインのワークショップの開催 オンライン会議システムを用いて、心のケアやリフレッシュなどを目的とした学生向けワークショップを複数回行った。なお、一部のワークショップは留学生向けに英語で実施した。
2 北海道教育大学	②一部利用制限		①②③		・オンライン学修相談 ・リモートアクセス可能なコンテンツの紹介	①全面実施			①②③④⑥⑦	
3 室蘭工業大学	②一部利用制限		①③		・ILL複写・貸借の無償化。 ・電子ブックの積極的な選定。	①全面実施			①②③⑥⑦	
4 小樽商科大学	②一部利用制限		①②③		・電子書籍のコンテンツ充実 ・データベースの学外アクセスの拡大 ・大学院生及び、遠隔地在住学生に対する図書の宅配保証サービス ・オンラインによる図書貸出更新（延長）サービス	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
5 帯広畜産大学	②一部利用制限		①②③		電子ブック、電子ジャーナル、データベースを学外から学生が学修、研究のために利用できることをホームページなどで周知	①全面実施			①②③④⑥⑦	
6 北見工業大学	①全面利用可能		①②③		電子ブックの購入を積極的に行い、電子ブックの展示や選書ツアーを企画・実施している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
7 旭川医科大学	②一部利用制限	非該当	①②③⑤	非該当	特になし	④その他	非該当	本学には体育会という組織等は無く、「部活動」ではなく「学生団体活動」として、学生は課外活動に動いている。よって、サークル活動に近い活動ととれるが、各団体に感染対策計画を提出させ、その内容を審査し、許可が出た団体のみ活動が可能である。	①②③⑥	非該当
8 札幌医科大学	①全面利用可能		①②③		リモートによる電子資料の利用提供、学生向けの電子ブック（動画）の追加購入	③全面制限	講義が対面に移行していないため。		①②③④⑤	
9 公立はこだて未来大学	②一部利用制限		①②③⑦	QRコードにより、利用者・利用状況を把握するための措置を講じる。	電子資料の拡充やアクセス環境の整備、郵送による本の貸出、オンライン講習会の実施など、非来館型サービスの実施に取り	②一部制限	学生団体には、十分に感染予防対策を検討させるとともに、サークル活動で感染が生じた場合の感染拡大を最小限に抑えるため、オンライン以外の活動を行うにあたっては、事前に感染予防対策内容を明記した活動計画書および活動者名簿を提出させ、その内容について大学の承認を得ることとしている。	①②③④⑤⑥		

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
10	創価公立大学	②一部利用制限		③⑦	学外者の利用をお断りしている。		①全面実施			①②③⑥	
11	名寄市立大学	②一部利用制限		①②③⑤		オンラインで提供できる図書館サービスの拡大	①全面実施			①②③④⑥⑦⑧	・新入生の入学後すぐに持病や、体や精神的に不安がある学生のカルテ呼出相談実施・体と心のチェックリスト実施後、高ポイント該当者呼出相談
12	札幌市立大学	②一部利用制限		①②③⑤		図書、文献複写の郵送	①全面実施			①②③④⑥	
13	公立千歳科学技術大学	①全面利用可能		①③		座席の間隔をあげ利用させていますが、その制限は特に行っていません。	①全面実施			①②③⑥⑦	
14	北翔大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生の合意を得た上で、学内の教職員との連携や情報共有を行い、問題解決にあたった
15	札幌大学	②一部利用制限		①③			④その他		当面の間、活動を休止とするが公式大会（全国大会及び全国大会に繋がる大会に際して）を控えている場合は「各クラブにおける行務、活動ガイドライン」が整っていることを条件に活動を認める。	①②③④⑥⑦	
16	札幌学院大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
17	函館大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②④⑤⑥	
18	藤女子大学	①全面利用可能		①②③		ラーニングcommons、アクティブ・ラーニングスペースを学生が個別に学修できるスペースとして活用/利用促進の観点から学生限定で図書館検索機をYouTubeで公開/資料を除却する除菌ボックスを設置/平日のみ2時間半延長開館/4年次生と大学院生限定で他大学からの文献複写や図書貸借の費用を無料化/電子書籍の一部は学外からも利用可能(今年度限定)/学外からの図書館データベースへのリモートアクセスを期間限定実施/図書館ゼミガイダンスはオンライン形式・対面形式と教員の要望に応じた対応をする	④その他		本学独自の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための対策ガイドラインを設け、北海道警の警戒ステータス等に応じた危機管理指針を策定し、感染状況レベルに応じた学生の課外活動を申請式で認めている。	①②③④⑥	
19	北星学園大学	②一部利用制限		①②③		図書郵送サービス、文献複写郵送サービスを実施した。VPN接続サービスを利用することで学外からでも学内専用データベース等を利用可能にした。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
20	北海学園大学	①全面利用可能		①③			②一部制限	活動内容や規模などを申請させ、感染予防対策を精査したうえで、大学の行動指針（BOP）を踏まえ、十分と認められる運動部の活動のみ許可している。		①②③⑤⑥⑦	
21	北海道科学大学	②一部利用制限		①③		希望図書を郵送で貸し出し	①全面実施			①②③④⑥	
22	酪農学園大学	①全面利用可能		①②			④その他		申請、許可された部活動のみ活動可能。	①②③④⑤⑥⑦	
23	旭川大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③⑥	
24	北海道医療大学	②一部利用制限		①②③		新型コロナウイルスの影響により、図書館の利用について一部の制限を設けているが、学外からの学習支援の強化を図っている。過年度よりリモート接続にかかる環境を整備しており、各種コンテンツが利用できる他、シラバス掲載資料は可能な限り電子ブックの購入を進めている。また、各種コンテンツにかかる講習会は、オンライン開催およびオンライン配信を予定している。資料の貸出は通常とおり実施しているが、対応授業の状況や体調不良による返却期限の延期について、利用者の申し出により柔軟な対応を行って、利用環境の緩和を実施している。	④その他		感染対策を講じた具体的活動計画を提出した団体について感染対策委員長の承認を受けた団体のみ活動を認める	①②③	
25	北海商科大学	②一部利用制限		①②		図書の貸出期間の延長等。	①全面実施			①②	
26	星架坡都大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
27	北海道情報大学	②一部利用制限		①②③		・学外からでも利用できるデータベース・電子書籍の充実・郵送による貸出・返却（学生は無料）	①全面実施			①②③	
28	札幌国際大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
29	北洋大学	①全面利用可能		⑦	緊急事態宣言下においては入館を禁止とする		①全面実施			①②③⑥	
30	日本赤十字北海道看護大学	②一部利用制限		①③			③全面制限	北海道内においては、課外活動に関連するクラスターの発生が散見されること、また、本学は看護系単科大学であり看護学学習があることから、より慎重な対応として課外活動を禁止している。		①②③⑥	
31	北海道文教大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
32 天使大学	②一部利用制限	なし	①③		・学術データベース、電子書籍等の学外アクセス利用の充実 ・貸出期限延長の対応	④その他		顧問の許可を得たうえで、感染防止に配慮しての実施を認める	①②③④⑤⑥⑦	
33 稚内北星学園大学	①全面利用可能					①全面実施			①	
34 札幌大谷大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
35 札幌保健医療大学	②一部利用制限		①②③⑤			④その他		体育会運動部はないため	②③	
36 日本医療大学	②一部利用制限		①③			②一部制限	地域の感染の状況を見極めた上で、総合的に判断することとし ているため		①②③④	
37 北海道千歳リハビリテーション大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
38 旭川大学短期大学部	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④	
39 帯広大谷短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
40 創路短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
41 光塩学園女子短期大学	①全面利用可能		③			④その他		運動部活動の存在なし（サークル活動のみ）	①②③④⑤⑥⑦	
42 札幌大谷大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
43 函館大谷短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑤⑥	
44 函館短期大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①	
45 北星学園大学短期大学部	②一部利用制限		①②③		図書館送サービス、文庫複写郵送サービスを実施した。VPN接続サービスを利用することで学外からでも学内専用データベース等を利用可能にした。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
46 北海道科学大学短期大学部	②一部利用制限		①③		希望図書を送りで貸し出し	①全面実施			①②③④⑥	
47 北翔大学短期大学部	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生の合意を得た上で、学内の教職員との連携や情報共有を行い、問題解決にあたっている
48 拓殖大学北海道短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③	
49 北海道武蔵女子短期大学	①全面利用可能		①③		対面の着座を禁止しているため座席の利用制限を行っている③を選択した。現在のところそれが図書館利用が制限されているとは考えていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
50 札幌大学女子短期大学部	②一部利用制限		①③			④その他		当の間、活動を休止とするが公式大会（全国大会及び全国大会に繋がる大会に限る）を控えている場合は「各クラブにおける行動・活動ガイドライン」が定まっていることを条件に活動を認める。	①②③④⑥⑦	
51 札幌国際大学短期大学部	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
52 国学院大学北海道短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①③	
53 函館工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③⑦	学外者の利用は不可とする		①全面実施			①②③④⑤⑥	
54 苫小牧工業高等専門学校	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑦	
55 創路工業高等専門学校	①全面利用可能		①③⑦	毎日び返本・机・椅子のアルコール消毒作業	座席を間引いているが、図書館の利用には影響なし	①全面実施			①②③④	
56 旭川工業高等専門学校	①全面利用可能	特になし	①③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥	
57 弘前大学	②一部利用制限		①③		密にならないよう閲覧席を間引きしている代わりに、グループ学修室を1人学修用のスペースとして開放している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
58 青森公立大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③	
59 青森県立保健大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
60 青森大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④	
61 崇田学園大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
62 弘前学院大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑥	
63 八戸工業大学	②一部利用制限		②		自学自習のための施設（スペース）を新規に開放する。	①全面実施			①②⑤⑥⑦	
64 八戸学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
65	青森中央学院大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②⑤	
66	弘前医療福祉大学	②一部利用制限		①②		校内でWi-Fiを利用できるように情報ネットワークの強化をはかり、図書館以外でも研究・教育情報へのアクセスをはかっているようにした。	④その他		本学はサークルのみで本項で規定する運動部は存在しない。体育会系サークルについては活動を認めている。	①②④⑥	
67	青森朝の星短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
68	奥田学園大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑤	
69	青森中央短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②⑤	
70	八戸学院大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②⑥	
71	弘前医療福祉大学短期大学部	②一部利用制限		②		校内でWi-Fiを利用できるように情報ネットワークの強化をはかり、図書館以外でも研究・教育情報へのアクセスをはかっているようにした。	④その他		本学はサークルのみで本項で規定する運動部は存在しない。体育会系サークルについては活動を認めている。	①②④⑥	
72	八戸工業高等専門学校	①全面利用可能		①③		なし	①全面実施			①②③④	
73	岩手大学	①全面利用可能		①③		?っている制限はグループ研修や私的会話などのみであり、資料の利用や個別研修などの基本的なサービスは継続して実施できているため、現時点で「制限の代わりを取り組み」を?う予定はない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	年度初めにある学生健康診断の際に、相談したいことがあるかを確認する項目があり、「ある」と答えた学生には個別に連絡し、保健師が相談し、必要に応じてカウンセリングに繋いでいる。
74	岩手県立大学	①全面利用可能		①③⑥		自宅からも利用できるデータベース等の一覧の作成・HP公開	①全面実施			①②④⑥⑦⑧	・精神障がいを含めた障がいのある学生に対する修学上の支援を行うため、特別支援コーディネーターを配置している。・悩みや障がい等を抱えた学生のための居場所・支援拠点として、学生サポートサロン（相談、自習、休憩可能なスペース）を設置している。
75	岩手医科大学	①全面利用可能	なし	①⑦	入館時の手指消毒、館内の注意喚起の掲示（ソーシャルディスタンス保持、マスク着用、換エチケット、会話を慎む、ゴミ設置禁止）、ラーニングコモンスは席数を減らして使用可能としている	特になし	③全面制限	現在の県内感染状況や部活動に関連したクラスター発生現状をみても、現時点での部活動は延期せざるを得ないと判断した（9月開催の学生部に関する会議にて決定）		①②③④⑥⑦	
76	富士大学	②一部利用制限	特になし	①②③		パソコン席について、1席ずつ間隔を空けているため、満席となる場合は空いている教室のパソコンを使用できるようにしている。学内でコロナウイルスが感染した際は、昼休みに除菌時間を設け、午前か午後のみ利用とした。	①全面実施			①②③⑤	
77	盛岡大学	②一部利用制限		①②③		情報リテラシー教育ステーションにおける収容人数を超える講義（図書館利用講座）の場合、対面ではなく、オンラインで実施することがある。人数がリール以上に多い場合、数回に分けての利用講座開催を行うことで対応している。	①全面実施			①②③④	
78	岩手保健医療大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
79	岩手県立大学盛岡短期大学部	①全面利用可能		①③		自宅からも利用できるデータベース等の一覧の作成・HP公開	①全面実施			①②④⑥⑦	・精神障がいを含めた障がいのある学生に対する修学上の支援を行うため、特別支援コーディネーターを配置している。・悩みや障がい等を抱えた学生のための居場所・支援拠点として、学生サポートサロン（相談、自習、休憩可能なスペース）を設置している。
80	岩手県立大学宮古短期大学部	①全面利用可能	なし	①③		なし	④その他		運動部活動はない	①②③④⑥	
81	修紅短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①③④⑥	
82	盛岡大学短期大学部	②一部利用制限		①②③		情報リテラシー教育ステーションにおける収容人数を超える講義（図書館利用講座）の場合、対面ではなく、オンラインで実施することがある。人数がリール以上に多い場合、数回に分けての利用講座開催を行うことで対応している。	①全面実施			①②③④	
83	一関工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤	
84	東北大学	②一部利用制限	各キャンパスの食堂において、数か所の食堂を設置しているキャンパスについては、前週に引き続き学生の利用者が減っていることから、小規模の食堂を閉鎖している。しかし、対面授業拡大による学生利用の状況次第では今後利用拡大を計画する。	①②③		電子資料の積極的購入と、学外から利用できる電子資料案内の充実。郵送による貸出（貸出時の送料は図書館負担）。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	新入生、大学院生を含む全学生を対象に、心身の健康状態に関する調査を行い、大学生生活不適応ハイクラス群に対して個別に連絡をとり、学生相談所の利用等を勧めている。また、学生が自分でメンタルヘルズ問題に対応できるように「エソワームメント・リーフレット」を作成し、学生に配布している。
85	宮城教育大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④	
86	宮城大学	②一部利用制限		①②③		・学内者（希望者のみ）への文庫複写等の郵送サービスの実施や、学外からのデータベースや電子リソースへのアクセス方法の周知および支援等の実施。・オンラインを活用した学習支援や利用促進事業の実施。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
87	仙台大学	①全面利用可能		①②③⑦	大学関係者以外の一般住民の利用を中止している。	一部、電子書籍やデータベースをオンラインで閲覧できるようにしている。	①全面実施			①②③④⑤	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
88 東北学院大学	②一部利用制限		①②③		図書館利用説明会のコンテンツをオンラインで提供・学外からの接続にも対応した電子資料の積極的な導入・郵送貸出および返却サービス・延滞ペナルティの緩和・予約および取置きサービスの拡大	①全面実施			①②③④⑤⑥	本学学生相談室において、学生を対象に嘱託専門医による「こころの健康相談」を実施（4回/年）。
89 東北工業大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
90 東北福祉大学	①全面利用可能		①②③		①配送による貸出・返却 ②メールによるレファレンス・サービス ③文献複写の配送 ④閲覧が館内に限定されている電子リソースの館外利用を可能にする環境整備	①全面実施			①②③⑥	
91 東北医薬科大学	②一部利用制限		②③④		学外からの電子資料の利用について、学術認証フェデレーションを利用したりリモート アクセスサービスを導入し、より一層の充実を図っている。	③全面制限	学内外で医療系実習を実施しており、学内で感染者が出てしまうと実習・授業の中止のみならず、附属病院、関係医療機関まで影響を及ぼしてしまうため。		①②③④⑤⑥⑦	
92 東北生活文化大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施	制限による大きな不具合はないので特に取り組みは行っていない。		①②③④⑥⑦	
93 宮城学院女子大学	②一部利用制限		①②③		感染状況に伴い、学生の入構制限が設けられた場合は速やかに郵送貸出ができるような体制を整えている。また、図書館の基本的な利用方法を説明した動画等を準備し、いつでも配信できるようにしている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	不安や悩みを抱えた学生については、希望により病院紹介、就労移行支援紹介を行っている。具体的には、現在精神科領域の病院が大変逼迫しているため、学生とともに病院を探し、予約をし、場合によって情報提供書を作成し送している。就労移行支援については、低学年の時期から長期休暇中等を利用して、就労移行支援事業所の紹介・見学の同行を行い、卒業時には相談先が決まっている切れ目のない支援を心掛けている。
94 石巻専修大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
95 仙台白百合女子大学	①全面利用可能		①			④その他		令和3年10月7日時点においては、原則自粛としているが、感染対策を講じたうえで短期に加え、学費許可により、活動を許可している。今年度後期より、本学独自の「課外活動ガイドライン」を作成し、このガイドラインに基づいて活動させている。	①②③⑥	
96 東北文化学園大学	①全面利用可能		①②③⑤		座席の利用制限に伴う対応策として、学生が学外からも学修や研究に取り組めるよう、電子書籍の収集や図書館webサービスの学外アクセス環境を整備している。	④その他		公式の大会に出場する運動部の活動については、練習時および大会に顧問が付き添うことにより活動を認めている。	①②③⑥⑦⑧	新入生や在学生を対象とした心理講話の際に、自由記述のアンケート調査を実施し、ハイリスクと思われる学生に対して、カウンセラーから連絡を取っている。
97 尚絅学院大学	②一部利用制限		①②③⑤		郵送による圖書の貸出・返却を実施。	④その他		活動指針レベルとしては、身体活動・発声を伴う活動は、原則禁止としているが、感染対策を講じた課外活動許可申請を新型コロナウイルス感染症対策会議に申請し、許可が下れば活動可能である。	①②③④⑤⑥⑦	
98 宮城誠真短期大学	①全面利用可能		①			④その他		部活動はなし	①④⑥	
99 聖和学園短期大学	②一部利用制限	なし	①②③		利用人数が制限に達するケースがなかったため、特になし	①全面実施			①②③	
100 東北生活文化大学短期大学部	①全面利用可能		①②③			①全面実施	制限による大きな不具合はないので特に取り組みは行っていない。		①②③④⑥⑦	
101 仙台青葉学院短期大学	②一部利用制限		①③			④その他		運動部は存在しない。	①②③④⑥	
102 仙台赤門短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			②	
103 仙台高等専門学校	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑥⑧	心理教育の授業（グループワーク）
104 秋田大学	②一部利用制限		①②③		①非来館かつ24時間提供可能な電子資料の拡充。（具体例：・シラバス参考書等を中心に、電子ブックの購入強化。・学生を対象とした電子ブックリクエストキャンペーンの実施。・試験サービスの活用。・電子ジャーナル・データベースの学外アクセスを可能にする臨時ID取得。・学部対応のアクセス数追加などの契約変更。）②オンラインによる利用者支援の充実（具体例：・HPのトップに初学用バナーを作成。利用案内サイトへのナビゲート。・Zoomによるリモートでのレファレンスサービス実施。・データベース提供元の講師による秋田大学専用のウェビナー講習会開催。・図書館職員によるZoomでの論文収集講習会の実施。）	①全面実施			①②③④⑤⑥	
105 秋田県立大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
106 国際教養大学	①全面利用可能		①②③		電子資料の購入、電子資料の学外からの接続強化、必修科目授業までの図書館ガイダンスや新入生オリエンテーションでの利用方法の指導、利用案内動画作成、オンラインレファレンス、図書館の郵送貸出・貸出サービス	①全面実施				①②③④⑤⑥⑦
107 秋田公立美術大学	①全面利用可能		②③			④その他		本学に運動部活動はない。(全てサークル)		①②③④⑥
108 ノースアジア大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①⑤⑥⑦
109 秋田看護福祉大学	①全面利用可能		①②		開館時間を短縮(平日30分、土曜は半日の短縮)しているが、開館時間中の貸出や利用に関しては、制限を設けていないため、学生の学修・研究の支援は問題なく行うことができている。	①全面実施				①⑤⑥
110 日本赤十字秋田看護大学	①全面利用可能		①②③			④その他		本学において運動部はございません。		①②③④⑤⑥
111 秋田栄養短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①⑤⑥⑦
112 聖園学園短期大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部が存在しない。		①②③④⑤⑥
113 日本赤十字秋田短期大学	①全面利用可能		①②③			④その他		本学において運動部はございません。		①②③④⑤⑥
114 秋田工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③⑦		①トヨタ足踏み式消毒スタンドと非接触温度測定器を設置 ②扉に足形でイエローテープを貼付、消毒液活用を促す ③貸 特になし ④貸 特になし ⑤貸 特になし ⑥貸 特になし ⑦貸 特になし	①全面実施				①②③④⑤
115 山形大学	②一部利用制限		①②③⑤⑦	入館時に検温、手指消毒と入館記録表の記入(または着席記録システムで記録)をお願いしている。共用部分の除菌	電子ブック等、電子的学術情報提供の利用促進及び学認による学外からの利用方法の告知。	④その他		各運動部に感染症対策や練習内容等を申請させ、大学が内容を確認の上、認めた内容について、活動を許可している。		①②③④⑤⑥⑦
116 山形県立保健医療大学	①全面利用可能		①③⑦	学生が図書館を利用した場合、着席した席の番号を記録している		④その他		本学では「サークル活動」のみで「運動部活動」は行っていない。		①②③
117 山形県立米沢栄養大学	①全面利用可能	なし	①③		文献複写やレファレンスの相談をメールでも受付している	②一部制限	10月11日までは屋内での活動を制限していたが、感染状況が落ち着いたことから、10月12日からは再開させている			①②③⑤⑥⑦
118 東北芸術工科大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①②③④⑥
119 東北公益文科大学	①全面利用可能		①③		図書館外からアクセスできる電子書籍数を引き続き増やしながら、学生が必要な時に利用できるようにしている。	①全面実施				①②③④⑤⑥
120 東北文科大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①②④⑥
121 山形県立米沢女子短期大学	①全面利用可能	なし	①③		文献複写やレファレンスの相談をメールでも受付している	②一部制限	10月11日までは屋内での活動を制限していたが、感染状況が落ち着いたことから、10月12日からは再開させている			①②③⑤⑥⑦
122 羽黒学園短期大学	②一部利用制限		①			④その他		本学にはいわゆる体育会に属する運動部は存在しません。		①②③④⑤⑥
123 東北文科大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施				①②④⑥
124 鶴岡工業高等専門学校	①全面利用可能		①			①全面実施				①②③④

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
125 福島大学	①全面利用可能		①②③		電子書籍など、来館しないで利用できる電子資料の拡充に努めている。また、さらに利用が制限された場合には、図書の新送貸出や、事前申込による図書の出貸・代行コピーなども実施している。	①全面実施			①②③⑥⑦	
126 福島県立医科大学	①全面利用可能		②③			④その他		各部の活動内容に応じた感染対策を計画させ、内容を審査したうえで判断する。	①②③	
127 会津大学	①全面利用可能		①③		リモートアクセス可能な電子資料の拡充と、その利用促進に取り組んでいる。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
128 奥羽大学	①全面利用可能					④その他		県内の新規感染者数が継続的に低下していることを条件に学長が許可証を発行したクラブのみが活動できる。	①②③⑥	
129 郡山女子大学	①全面利用可能		①③⑦	電子書籍の追加購入		④その他		感染回避策が講じられている運動部の活動を支援する	①②③⑥⑦⑧	学生向け講座。全学生を対象に「コロナ禍にまけない”こころのもち方”講座」をオンデマンド方式で開催
130 医療衛生大学	①全面利用可能		①②		図書を各学部へ別置、対応できるようにしている。	①全面実施			①②③⑥	
131 東日本国際大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
132 福島学院大学	①全面利用可能	特になし。	①③⑤		コロナの状況によりLINEでの来館予約を実施。	④その他		活動日、活動時間、活動内容の確認により活動を許可する。	①②③⑤⑥	
133 会津大学短期大学部	①全面利用可能		①③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥	
134 郡山女子大学短期大学部	①全面利用可能		①③⑦	電子書籍の追加購入		④その他		感染回避策が講じられている運動部の活動を支援する	①②③⑥⑦⑧	学生向け講座。全学生を対象に「コロナ禍にまけない”こころのもち方”講座」をオンデマンド方式で開催
135 桜の聖母短期大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①②④⑤⑥	
136 いわき短期大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
137 福島学院大学短期大学部	①全面利用可能		①③⑤		コロナの状況によりLINEでの来館予約を実施。	④その他		活動日、活動時間、活動内容の確認により活動を許可する。	①②③⑤⑥	
138 福島工業高等専門学校	①全面利用可能	なし。	①②③④		・利用時間の短縮と、学修コーナーにアクリル板を設置している。・一部座席に利用制限を設けている。・面接授業を行って	④その他		・部として、感染対策を講じ、その方法を学生委員会に提出して許可を得ている。・活動は、公式大会出場を目指す練習と、公式大会への出場とする。・上記においても、練習時間は1日3時間以内とする。	①②③④	
139 茨城大学	②一部利用制限		①③		学外からでもアクセス可能な電子ブックの購入につとめている。	①全面実施			①②③④⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
140 筑波大学	①全面利用可能		①②③		“電子的資料の充実（自宅からのアクセス可能資料の拡大、電子書籍の充実等）図書貸出、文献複写サービスの自宅への郵送サービスの実施 オンラインレファレンス、オンライン講習会等図書館外から利用可能なサービスの実施”	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	“オンラインで本学学生同士が交流をもったり、愚談きをしてもらうような場所を提供するため、学生相談室においてオンライン相談システム「Romo」を導入し、「ランタイムカフェ」を定期的に開催している。・有償だが、薬物療法も含む継続的な精神科診療を行っている。・コロナ禍での学生支援のため、本学大学全キャンパス「株式会社Roid Life Mapping」との無償での使用貸借契約に基づき、学生支援アプリ（「CibyLink」（学生生活向上アプリ）、「Lifelink」（情報交換アプリ））を本学学生向けに無償提供している。・「CibyLink」（学生生活向上アプリ）は、学生が抱えているであろう想いや困りごとが項目化されており、自身に該当する項目を選択すると、それに関する参考となるアドバイスを得ることができる。アドバイスについては、本学教員の監修のもと作成されている。「Lifelink」（情報交換アプリ）は、システムが趣味等の項目によりコネクトを行い、テキストチャットにおいて情報交換を行う場を提供するものである。”
141 筑波技術大学	②一部利用制限		①②③		電子ジャーナル・電子ブックの学外アクセスを可能にしている。遠隔地でオンライン授業を受けている学生に対して、郵送貸出期限の延長をしている。資料の貸出を希望する学生や教員に対して、学内メールボックスへ届ける配達サービスやカウンターでの資料の取り置きをしている。	③全面制限	本学は全国より障害のある学生を受け入れており、その大部分がキャンパス内の学生寮宿舎で共同生活を行っているため、新型コロナウイルス感染症拡大防止には、特に慎重に取り組んでいる。		①②③④⑤⑥	
142 茨城県立医療大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
143 茨城キリスト教大学	②一部利用制限		①②③⑤		データベース等電子資料への学外からのアクセスの充実を図っている。	①全面実施			①③⑤⑥	
144 常磐大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③④	
145 つくば国際大学	②一部利用制限		①②③		・契約データベースの学外利用・送本貸出・オンラインによる図書館ガイダンス・オンラインによる個別の利用案内（データベースの検索方法など）	①全面実施			①②③⑥	
146 筑波学院大学	②一部利用制限		②		利用時間の短縮のみ実施	①全面実施			①②⑤⑥	
147 日本ウェルネススポーツ大学	①全面利用可能		⑦	特に制限なし		①全面実施			①②③	
148 茨城女子短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①④⑤⑥⑧	ゼミ担当者は相談を申し出た学生や、あるいは教員から個別に声かけ学習から学生生活全般に至るまでさまざまな相談に応じている
149 つくば国際短期大学	②一部利用制限	異なる状況は無い。	①②③⑤		特にありません。	④その他		運動部が無い。	①②③④⑥	
150 常磐短期大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③④	
151 茨城工業高等専門学校	①全面利用可能	別のキャンパスなし	①②③		特になし	①全面実施			①②④	
152 宇都宮大学	②一部利用制限		①			④その他		各団体の申請に基づき、活動を許可している。	①②③④⑤⑥⑦	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
153	足利大学	①全面利用可能		①②③		感染対策及び面接授業の実施状況に応じて、閉館時間の1時間程度の繰り上げや館内座席の対面、隣席での利用制限を行っている。換気や消毒を徹底することで、月曜日から金曜日まで毎日閉館し学生の学修・研究のための利用が継続できるよう努めている。また、入国できない留学生や図書館の貸出期日までの返却が困難な学生に対しては、貸出期間の延長を行い利用が継続できるように対応している。				①②③④⑥	
154	白鷲大学	②一部利用制限		①③		閲覧席の間隔を開けて利用するようにしているが、現状、学生	②一部制限	大学の所在する自治体（栃木県）の感染警戒度に応じて、運動部の活動を制限している。現時点では、大会等を控えた運動部のみ対面での活動を認めている。		①②③⑤⑥	
155	作新学院大学	①全面利用可能		①③⑦	図書館利用の学生に対し、利用時間や使用座席等の記録を求めている	学習中にも、ディスタンスを確保（1.5m以上）するため、「1テーブル1人使用」及び「使用できないテーブルの明確化」を行っている。これにより座席利用制限をしているが、それでも常時150人分の座席を確保できており、日常の学習活動に支障はない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
156	国際医療福祉大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
157	宇都宮共和大学	②一部利用制限	特になし	①			①全面実施			①②③⑥	
158	文星芸術大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
159	自治医科大学	②一部利用制限		①③		座席については座数を減らしているが、40%利用可能であるので、時間制限などはなく自由に利用できる。	④その他		緊急事態宣言下では全面的に活動を禁止し、通常時は感染対策を含む活動計画書を提出させ、内容を確認した上で活動を許可している。	①②③④	
160	獨協医科大学	②一部利用制限	特になし	①③		電子コンテンツ（電子ブック、動画等）の追加購入、学習によるリモートアクセスの推奨、インターネット・メール・電話等による非来客型サービス（リファレンス、MyLibrary、Webセミナー、各施設に設置してあるブックポストの利用等）の推奨。	①全面実施			①②③④	
161	佐野日本大学短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施		体育館に属するものがない	①②③④⑤⑥⑦	
162	宇都宮短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
163	國學院大学栃木短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
164	作新学院大学女子短期大学部	①全面利用可能		①③⑦	図書館利用の学生に対し、体温、体調、利用時間、使用座席等の「入退出記録」の記入を求めている	学習中にも、ディスタンスを確保（1.5m以上）するため、「1テーブル1人使用」及び「使用できないテーブルの明確化」を行っている。これにより座席利用制限をしているが、それでも常時150人分の座席を確保できており、日常の学習活動に支障はない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
165	足利短期大学	①全面利用可能		②③			④その他		感染防止対策を講じ、各運動部の判断に委ねている。	①⑧	少人数のグループ担任制を導入し、学生生活全般の相談を行っている。
166	宇都宮文星短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
167	小山工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		コロナ禍で密にならないようするための必要最低限の利用制限をかけているものであり、代替の取組は行っていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
168	群馬大学	②一部利用制限		①②③⑤⑦	群馬県の警戒度に応じた大学の対策レベルにより、サービス内容を変更する。	電子ブックの積極的な購入	④その他		10月1日（金）から10月14日（木）までは、原則、活動禁止。なお、活動禁止により問題が生じる場合には、顧問教員と十分に検討、相談した上で、学務部学生支援課に申し出て、活動は大学の許可を得る。10月15日（金）以降は、感染防止計画を策定し、顧問教員の了承の下、事前に届け出た団体に限り活動を許可するが、飲食を伴う集食や活動は禁止、遠征・合宿の自粛を強く要請する。	①②③④⑤⑥⑦	
169	高崎経済大学	①全面利用可能		①②③		郵送による図書館の貸出し	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	・気がかりな学生に関するアンケート調査の実施 各教員から気がかりと感じる学生について情報を提供してもらうことにより、潜在している気がかり学生を早期に見出すこと。また、関連部署等の教職員がその内容を共有し連携することによって、該当学生の学修の支援となる原因の解消に向け、適切な早期対応を取っている。・自己理解講座の実施 希望する学生及び必要と思われる学生を対象に、認知行動療法をベースにした「自己理解講座」を実施している。 ストレスや困難を乗り越える方法について、グループワークを通して学ぶ機会としている。
170	前橋工科大学	②一部利用制限		①③			④その他		体育系の部・サークルは存在するが、体育会組織はないので回答対象外	①②③	
171	群馬県立女子大学	②一部利用制限		①③		着席可能人数を減らしているが、利用上支障がないため、特別な取組は行っていない。	④その他		活動日ごとに「課外活動に係る感染症拡大防止対策申請書」の提出を求め、許可された場合、感染対策を講じた上で活動してもらっている。	①②③④⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
172	群馬県立県民健康科学大学	①全面利用可能		①②③		学修場所として、共有スペースを図書館より長時間解放している。	④その他		運動部なし（サークルのみ）	①②③④⑥	
173	青英大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥⑦	
174	桐生大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤	
175	群馬バス大学	②一部利用制限		①②③		電子ブックや電子ジャーナル等の電子リソースを積極的に導入・拡大し、学内の利用だけでなくリモートアクセスによる学外からの利用にも対応した。	④その他		活動を希望する運動部、サークルに対して大学の許可のもと感染防止対策を徹底した上での活動を認めている。	①②③⑥⑦	
176	群馬医療福祉大学	①全面利用可能		①②③		学外からアクセスできる電子資料の充実を図った。	④その他		「運動部活動」はなく、サークル活動のみのため	①②③④⑥	
177	高崎健康福祉大学	①全面利用可能		①②③⑤		特になし	①全面実施			①②③④⑥⑦	
178	高崎商科大学	②一部利用制限		①②③⑤			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
179	上武大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①③	
180	関東学園大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①	
181	共愛学園前橋国際大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③⑥	
182	群馬医療福祉大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		学外からアクセスできる電子資料の充実を図った。	④その他		「運動部活動」はなく、サークル活動のみのため	①②③④⑥	
183	東京福祉大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			④その他		所謂体育会系運動部がないため。	①③⑥	
184	高崎商科大学短期大学部	②一部利用制限		①②③⑤			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
185	新島学園短期大学	①全面利用可能		①②③		新型コロナウイルスの感染状況により、郵送貸出の実施を検討する。	①全面実施			①②③	
186	桐生大学短期大学部	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤	
187	共愛学園前橋国際大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①③⑤	
188	青英短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥⑦	
189	群馬工業高等専門学校	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑥	
190	人間総合科学大学	②一部利用制限	昼食時の感染リスクが高いため、食事の教室を指定する場合があります。	②③④	ソーシャルディスタンスのため一部席の制限		③全面制限	緊急事態宣言中は禁止		①②⑥	
191	埼玉大学	②一部利用制限		①②③		郵送による図書館資料の貸出を行う。また、電子書籍を優先的に購入している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	Web問診による健康診断を受け付けた。
192	埼玉県立大学	②一部利用制限		①②③⑤			④その他		本学で定める危機管理レベルに応じて、活動内容・場所等を限定し、活動希望の届出があった団体にその範囲内で活動を許可している。	①②③④⑥	
193	日本医療科学大学	②一部利用制限		①②		学生会館を開放し、学習スペースを確保している。	①全面実施			①②③⑥	
194	日本薬科大学	②一部利用制限		①②③⑤		① Wi-Fi 環境を構築（令和 3 年 9 月工事完了）し、構内の教室以外で、学生がオンライン講義（授業）に参加可能とした。② 学生の主体的かつ能動的な修学姿勢を促すために、来年度以降、学生が本学所有の DB 及び電子ジャーナル（公式サイトに掲載）にフリーアクセスできる「VPN 回線」を構築する予定です。	①全面実施			①②③④⑥	
195	武蔵野学院大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①	
196	浦和大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
197	ものづくり大学	②一部利用制限		①③⑦	消毒、検温	電子書籍の導入	①全面実施			①②③④⑤⑥	
198	共栄大学	②一部利用制限		①②③		図書館で提供しているデータベース、電子ジャーナル、電子書籍を学外から利用可にするよう進めている。	①全面実施			①②③④⑥	
199	埼玉学園大学	②一部利用制限		①②③			④その他		本学には体育会に属する運動部はない。	①③⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
200 尚美学園大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④	
201 西武文理大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②⑥	
202 十文字学園女子大学	①全面利用可能		①②		開館時間短縮の対応として、貸出期間の延長、郵送貸出しを実施している。	④その他		10/7(木)までは、原則対面での活動を自粛とする。10/8(金)より、感染対策を講じつつ、すべての運動部の活動を実施する予定。	①②③⑥	
203 平成国際大学	②一部利用制限		①②③⑦	外部者の利用を禁止する。		①全面実施			①②③④⑤⑥	
204 東京国際大学	①全面利用可能		①②③⑦	対面による図書館利用ガイダンスの中止	・電子ジャーナル・電子書籍・データベースの学外アクセス利用の試験的提供 ・各種オンラインデジタルベースの無料トライアル実施 ・少人数(10名以下)での図書館ツアーの実施 ・非来館型サービスの一環として「図書館利用ガイダンスに相当する資料(日/英版)」の作成および提供	①全面実施			①②③⑤⑥	
205 城西大学	①全面利用可能		①②③		オンライン授業を受講する学生や基礎疾患があるため身障できない学生を対象に、蔵書資料を無料で自宅に郵送するサービスや文献の複写物を無料で自宅に郵送するサービスを実施している。図書館の利用相談、文献検索相談、事項調査相談を従来の体面、e-mail、電話の対応だけでなくZoomでも受け付けている。図書館学生アドバイザーによる学習支援の相談窓口をTwitterでも受け付けている。オンライン授業や登校できない学生の学習・教育・研究支援として、電子リソースを自宅からも利用できるリモートアクセスサービスを導入し対応している。教員と連携し図書館ガイダンスをオンラインやハイブリッドでも実施。データベース・電子ジャーナルの利用講習会や研究倫理講演会、ビブリオハートをオンラインで開催している。図書館の設備・サービスやレポート作成のポイントなどをゲームしながら理解できるRPGゲーム「TOSHOKAN QUEST」を作成し、ホームページで公開している。新入生のオリエンテーションではRPGゲームと図書館学生アドバイザーが作成した図書館紹介動画も案内した。	①全面実施			①②③④⑤⑧	定期的なウェブで全学生対象に困りごとアンケートを実施し、相談希望や不安の高い回答の学生に対し、学生サービス課や学生相談室より個別に連絡し、対応を行っている。
206 東邦音楽大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部活動はありません。	①②	
207 獨協大学	①全面利用可能		①②③		本学における図書館利用の制限については、学生の利用に大きな影響がないように配慮しており、問題はないと考えています。	①全面実施			①②③⑥	
208 日本工業大学	②一部利用制限		①②③⑦	返却された図書は24時間後に配架する・学習用机などに抗菌剤	図書の郵送貸出サービス(郵送・送料は無料)・図書貸出期間を14日から30日間に変更・返却期限超過の罰則なし	①全面実施			①②③⑤⑥	
209 埼玉医科大学	②一部利用制限	特になし	①②③		教室を自習室として開放している	②一部制限	部活動再開に向けて再開申請書を各部署毎に作成、提出させ、内容(新型コロナウイルス感染対策等)を精査したうえで再開を許可している。一部、申請書未提出、新型コロナウイルス感染対策が不十分と思われる場合には許可をしていないため。		①②③④⑥	
210 埼玉工業大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①③⑥	
211 駿河台大学	②一部利用制限		①③		自宅学習を支援するために、電子書籍の購入促進、自宅からもデータベース・電子書籍・電子ジャーナルが利用可能となるリモート環境の整備、図書館への滞在時間短縮を希望する利用者のための資料取り置きサービス、来館が困難な利用者のための図書宅配サービスや文献複写物の自宅郵送サービス等を行っている。また、通常時よりも来校機会が減っているため、状況を鑑みながら、図書返却期限の自動延長、圖書返却が遅れた際に発生するペナルティの免除等の対応を行っている。	①全面実施		①②③④⑤⑥⑦⑧	1)入学当初に、「健康状況報告書(体調面・心身の健康面)」を全員が提出することとなっている。提出については、定例健康診断時(4月)としており、健康相談室のカウンセラー及び専任講師が対話をし、受け取りを行っている。このことから、学生の体調面・心身の健康面の様子を入学当初に知ることができ、当該学生への対応及び支援を行っている。2)各学部のFD・SD研修会においては、健康相談室のカウンセラー及び専任講師が出席し、「支援が必要と思われる学生」についての情報交換を行っている。その後、実際に支援を必要とする学生がいる場合には、その対応方法について、各学部と健康相談室が連携し、学生対応を行っている。3)全教職員を対象に学生相談をテーマとした研修会を毎年開催し、教職員全体で学生のメンタルヘルスの対応について学び、健康相談室との連携について研修している。	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
212 聖学院大学	①全面利用可能		①②③⑦	消毒用アルコールの設置(手指、利用前の機器、什器消毒用)	・図書館の郵便貸出、複写資料の郵送 ・メールによるレファレンス	①全面実施			①②③⑤⑥	
213 女子栄養大学	①全面利用可能		①②⑤			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
214 日本保健医療大学	②一部利用制限		①③			④その他		本学に運動部が存在しないため。	①②	
215 文教大学	①全面利用可能		①③		・対面授業を受講することが困難な学生を対象に郵送による資料提供を実施・従来、集合型で実施している図書館利用ガイダンス(主に学部生)を、集合型とオンライン型を組み合わせて実施・オンラインレファレンスを実施・提供元の協力のもと、電子コンテンツの提供環境を一時的に向上	②一部制限	文教大学の活動指針(ガイドライン)に則り、学生委員会と対策支部で認めた場合のみ、活動が許可されるため。	①②③④⑤⑥		
216 大東文化大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
217 武蔵野短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①	
218 埼玉純真短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②⑥	
219 城西短期大学	①全面利用可能		①②③		オンライン授業を受講する学生や基礎疾患があるため登校できない学生を対象に、蔵書資料を無料で自宅に郵送するサービスや文献の複写物を無料で自宅に郵送するサービスを実施している。図書館の利用相談、文献検索相談、事項調査相談を従来の体面、e-mail、電話の対応だけでなくZoomでも受け付けている。図書館学生アドバイザーによる学習支援の相談窓口をtwitterでも受け付けている。オンライン授業や登校できない学生の学習・教育・研究支援として、電子リソースを自宅からも利用できるリモートアクセスサービスを導入し対応している。教員と連携し図書館ガイダンスをオンラインやハイブリッドでも実施。データベース、電子ジャーナルの利用講習会や研究倫理講演会、ビブリオバトルをオンラインで開催している。図書館の設備・サービスやレポート作成のポイントなどをゲームをしながら理解できるRPGゲーム「TOSHOKAN QUEST」を作成し、ホームページで公開している。新入生のオリエンテーションではRPGゲームと図書館学生アドバイザーが作成した図書館紹介動画も案内した。	①全面実施		①②③④⑤⑥	定期的にウェブで全学生対象に困りごとアンケートを実施し、相談希望や不安の多い回答の学生に対し、学生サービス課や学生相談室より個別に連絡し、対応を行っている。	
220 国際学院埼玉短期大学	②一部利用制限		①②③			④その他		学校のいわゆる体育会に属する部活動がない。	①②③④⑥	
221 浦和大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
222 秋草学園短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
223 川口短期大学	②一部利用制限		①②③			④その他		本学には体育会に属する運動部はない。	①③⑥	
224 埼玉医科大学短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②④	
225 埼玉女子短期大学	①全面利用可能	なし	①③		なし	①全面実施			①②③④⑥	
226 山科学園短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②⑥	
227 武蔵丘短期大学	②一部利用制限	体育館、トレーニングルームについては、許可された部活動以外は制限を設けている。	⑦	学生や教職員には制限を設けていないが、学外者の利用は禁止している。		①全面実施			①②③④⑤⑥	
228 埼玉東萌短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施		図書館内のPCの利用者には、別途PC室の利用許可や、貸出日数・貸出冊数等の調整等を行っている。	①②③⑥⑦	
229 流通経済大学	①全面利用可能		①②③		電子書籍の購入促進イベントや、データベースのアクセスアップを行い自宅での学習にも支障が少ないようにしている。新採データベース導入やデジカバサービス導入も視野に入られてスムーズな学習支援を行っている。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
230 明海大学	①全面利用可能	坂戸キャンパス(看護部)では、学生の課外活動による施設利用を制限している。	①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
231 東都大学	①全面利用可能		①③		特になし	④その他		もともと部活動が実施されていない	①②④	特になし
232 千葉大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
233 千葉県立保健医療大学	①全面利用可能		①②③⑤		電子ジャーナル、データベース、電子書籍をリモートアクセスで利用するための環境整備と周知を行う。また、文献検索ガイダンスなど利用者教育のオンライン開催を行う。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
234 千葉経済大学	①全面利用可能	なし	①③		データベースを学外から利用できるよう環境を整備した	①全面実施			①②③④⑥	
235 千葉科学大学	①全面利用可能		①②③			④その他		感染対策を徹底し、密にならない活動場所を確保できるか等の条件を満たした部活については活動を実施。	①②③⑥	
236 愛国学園大学	①全面利用可能					④その他		現在、運動部活動がない	①③④⑤⑥	
237 開智国際大学	①全面利用可能		①②			④その他		原則禁止だが、活動を必要とする場合、申請を行い、学内判断を行い活動可と判断されれば活動できる	①②	
238 清和大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③④⑥	
239 城西国際大学	①全面利用可能		①②		リモートアクセス可能な電子資料及びデータ・ベース、また、自宅で読める電子図書の内容を随時行っている。図書の郵送貸出しサービスも実施している。	①全面実施			①②③⑥	
240 淑徳大学	①全面利用可能	PC演習室の利用は1回あたり2時間程度とし、11時頃にPC演習室の見回りを実施している。(席間隔が確保されているか、食器などが正しいの見回りのため) 食堂は営業中止とし、指定された学年以外の学内での食事を禁止している。	①②③⑤		・学内限定で閲覧可能なデータベース、電子書籍の臨時外部アクセス用ID・パスワードの取得・書籍を学生個人宅へ宅配等で発送・オンライン授業受講目的の場合のみ、パソコンや機材を確保するためメールによる事前申請制・貸出期間延長及び外部データベースのアクセス強化	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
241 敬愛大学	①全面利用可能		①③		座席の間引きを行っているが、利用を希望する学生が利用できない状況にはない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
242 千葉工業大学	②一部利用制限		①②③		1.電子ジャーナルの版権の配慮により、一部電子ジャーナルについて、本来学内アクセス限定の雑誌を自宅からでもアクセスできるようにした。2.学内に入構できない時期に貸出済み資料について、返却を延長した。	②一部制限	感染リスクを考慮し、試合やイベント等のある団体は、感染対策を講じつつ、一時的に許可	①②③④⑤⑥		
243 千葉商科大学	①全面利用可能		①②③		・ライティングサポートセンターでのセミナーや個別相談・資料検索(レファレンス)・図書館活用塾	④その他		新型コロナウイルス感染状況に応じた部活動のガイドラインを定め、ガイドラインを順守することを条件に、活動を希望する運動部の活動を許可する予定。ガイドラインには、感染予防対策、活動時間、内容や大会の参加可否等を定めている。	①②③⑤⑥⑦	
244 中央学院大学	①全面利用可能		①②③		コロナ禍に伴って外部データベースへ学外からもアクセスできるようにしていたが、その期限を延長した。また、来館できない学生に向けて郵送による貸出を行い、発送時の送料も負担している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
245 麗澤大学	①全面利用可能		⑦	入館前の検温と消毒、閲覧用機の消毒を実施している		③全面制限			①②③⑥	
246 和洋女子大学	②一部利用制限		①②③⑤		貸出期限の制限解除(予約が入ったら返却依頼をする)	④その他		感染対策をした上で申請され、許可したものは可	①②③④⑥⑦⑧	⑧担任・アドバイザー制度
247 国際武道大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①⑥⑦	
248 神田外語大学	①全面利用可能	特になし。	①③		宅配便による図書の貸出し	①全面実施			①②③④⑤⑥	
249 秀明大学	①全面利用可能		①②③④⑦	消毒器、空気清浄機の導入	学外からアクセス可能な電子書籍、データベース閲覧システムを導入、利用済資料の一定期間(一昼夜)別置き実施	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	秀明大学健康サポートホットライン 医師・看護師などが対応する24時間電話健康相談サービス・メンタルヘルスのカウンセリングサービス)の利用ができる。
250 川村学園女子大学	①全面利用可能		①③		座席の利用制限を実施しているが、利用者数に対して座席の確保はできているので代替は実施しない。	①全面実施			①⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
251	東京情報大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①②③④⑦⑧	メンタルヘルス等の調査時に「カウンセラーとの相談を希望する」と回答し、連絡先（電話番号）の記載があった学生に対し連絡を取り、相談を受けている。
252	東京基督教大学	②一部利用制限		①			④その他		運動部は無い	①②③④⑤⑥	
253	聖徳大学	②一部利用制限		①			②一部制限	活動申請のあった陸上競技部等の屋外の部活動は実施している。その他の部活動も感染対策を行い認めていく予定である。ただし、密接、密集の可能性がありその回避が難しいと判断される部活動については、解決策が見いだされた時点で認めていく方針である。		①②③⑥⑦	
254	江戸川大学	①全面利用可能		①②③		玄関への消毒液設置、図書館ガイダンスのオンライン化、郵送による図書貸出、ILLサービスの実施、オンラインでの図書リクエスト受付サービス、VPN活用による電子ジャーナル等の利用促進	①全面実施			①②③④	
255	了徳寺大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
256	樟草学園大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
257	三育学院大学	①全面利用可能	×	⑦	手指の消毒、机上の消毒	離れたキャンパスにいる学生へのネットを介した文献複写サービスの提供	②一部制限	マスクをして運動することに限界があるので、可能な部分のみ（バドミントン、バレーボール）実施している。	×	①②③④⑥	×
258	亀田医療大学	②一部利用制限		①③⑦	学外者の来館利用を停止中としている	電子資料の購入と、それに伴う学外からのアクセス方法等について周知している	③全面制限	令和3年10月7日（木）時点では、対面の部活動を禁止しているが、感染拡大状況を鑑み、運動部の活動について解除の検討を行う予定		①②③④⑤	
259	東邦大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
260	千葉経済大学短期大学部	①全面利用可能	なし	①③		データベースを学外から利用できるような環境を整備した	①全面実施			①②③④⑥	
261	千葉明德短期大学	①全面利用可能		①②③		なし	④その他		存在しない	①②③⑥⑦	
262	昭和学院短期大学	②一部利用制限		①②③		現時点では、②、③の制限を行う必要がなく、他の取組は考えていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
263	聖徳大学短期大学部	②一部利用制限		①			②一部制限	活動申請のあった陸上競技部等の屋外の部活動は実施している。その他の部活動も感染対策を行い認めていく予定である。ただし、密接、密集の可能性がありその回避が難しいと判断される部活動については、解決策が見いだされた時点で認めていく方針である。		①②③⑥⑦	
264	清和大学短期大学部	①全面利用可能		②		特になし	①全面実施			①②	
265	千葉敬愛短期大学	②一部利用制限		①			③全面制限	新型コロナウイルス感染症拡大の防止		②③	
266	東京経営短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①③④⑤⑥⑦	
267	樟草学園短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
268	木更津工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			④その他		事前に活動予定を申請させ、許可された部活動のみ活動できる。	①②③⑤	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
269 東洋学園大学	①全面利用可能		①②③			④その他		感染予防対策計画書を提出の上、本学が開催する感染予防講習会をすることで、一部制限はあるが活動を認めている。	①②③④⑤⑥⑧	
270 創価大学	①全面利用可能		①②③		・来館を伴わない圖書の貸出（貸出時の送料無料）を実施。 ・オンラインによる各種図書館ガイダンスや読者イベント等を開 ①全面実施				①②③④⑤⑥⑦	
271 東京大学	②一部利用制限		①③		来館が困難な本学在籍者のために、郵送による総合図書館資料の貸出及び増写物提供サービスを実施している。学内に複数ある図書館・室間の図書配送サービスについて、従来、離れたキャンパス間のみで実施していたが、同一キャンパス内でも実施することとし、所蔵部局の図書館・室に加えて拠点図書館での取り寄せ資料の受取、返却を可能にすることにより、利便性を向上させた。		本学の活動制限指針及び課外活動方針に基づき、活動内容と感染対策を精査して許可している。	①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生に対して、個別に相談の機会を設け、希望者をカウンセラー、医師等の専門家への相談につなげている。また、必要に応じて担当教員や家族と連絡して学生を支える体制を構築している。コロナ禍の自宅での生活の長期化による睡眠リズムの乱れや運動不足、孤立感などのメンタルヘルスの不調を解消するため、オンラインにより自宅で手軽に参加し、継続することが出来る運動プログラムを実施している。	
272 東京医科大学	②一部利用制限		①③		インターネットで利用可能な電子書籍をより充実させる。なお、本学図書館においては従来から、電子書籍・電子ジャーナル・学術情報データベース他各種ネットワークツールを導入しており、自宅や研究室から学修・研究を継続できる環境を整えているが、選定速度や学費などの面において情報基盤環境が十分とは考えないため、これらを改善するための支援をぜひお願いしたい。			①②③④⑤⑥		
273 東京外国語大学	②一部利用制限		①②③		・来学困難者を対象とした宅配による資料の貸出 ・学内アクセス限定オンライン資料の、VPN・「学認」を利用した学外からの利用促進 ・シラバス掲載資料を中心に、電子書籍等オンライン資料の購入・整備	①全面実施			①②③⑥	
274 東京芸術大学	②一部利用制限		①②③		現在も附属図書館は夜間開館を実施していないこと、また、オンライン授業等が中心の学生・教職員のため、図書資料の宅配サービス（自宅へ郵送）を継続している。また、昨年度に引き続き電子ブックの拡充を図っている。	②一部制限	10月7日時点ではオンラインによる活動を除き活動を禁止していたが、今後、活動再開ガイドライン策定後、ガイドラインに従って活動する部に対しては活動を認める予定。	①②③⑥		
275 東京工業大学	②一部利用制限		①③		郵送による資料貸出サービスの実施や在宅でも利用可能な電子ブックの積極的導入を進めている。	④その他		感染症予防の対策を記した計画書等を提出させ、許可を得た団体より順次活動を再開している。	①②③④⑤⑥⑧	卒業生の転職活動には希望があれば対応しており、就職できなかった学生への情報提供は行っている。
276 お茶の水女子大学	②一部利用制限		⑦	図書館内の座席数やセミナー室の利用を制限している。一方で貸出し圖書の郵送サービスを実施している。		④その他		活動を希望する団体にはコロナ対応を踏まえた活動内容を申請させ、活動許可を出している。	①②③④⑤⑥⑦	
277 東京学芸大学	②一部利用制限		①②③⑦	図書館の授業利用、館内ガイダンス実施規模の縮小	・図書館ウェブサイトからの図書館ガイダンス動画、情報サービスの提供。遠隔授業における図書館ガイダンス・講習会の実施	④その他		活動を希望し、届出を行った運動部が、活動時間等一部制限のもと活動を実施する。	①②③④⑥⑦	
278 東京農工大学	①全面利用可能		①②③		?顔面（東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃?、群馬?および?型の1都7県）以外に在住のため、来館が困難な利用者向けに、学	①全面実施			①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
279 電気通信大学	②一部利用制限		①②③		館内資料の郵送貸出、電子ブック購入の推進、契約中のデータベース・電子ジャーナル各社が主催するオンライン講習会の案 ④その他			活動再開を希望する団体には、課外活動再開計画書を担当係に提出させ、危機対策本部学生支援部における審査の後、活動を許可された団体が活動を実施している	①②③④⑤⑥⑦	
280 一橋大学	②一部利用制限		①③		学外からのリモートアクセス可能なジャーナル、データベース等のトライアルの契約。ガイダンス等をオンラインで行 ④その他			課外活動については、原則として全面禁止としている。ただし、大会（公式戦）等の重要な予定があり、大会の出場及びそれに伴う練習等の活動を引き続き希望する場合は、特例として個別に審査を行っている。	①②③⑤⑥⑦⑧	各学部において心配な学生がいた場合、学生相談室等にその学生のリストが送付されるとともに対応について依頼がされる。学生相談室は、その依頼に基づき当該学生に対して学生相談室への勧誘のメールを送信している。
281 政策研究大学院大学	②一部利用制限		①②③		・図書や図書館資料複写物の郵送サービス。・電子ジャーナル等の電子リソースへの学外アクセスサービス ④その他			本学に運動部はない。	①②③⑤	
282 東京海洋大学	②一部利用制限		①②③		資料（図書、文庫複写物）の郵送サービス、オンラインでのガイダンスや利用相談ならびに質問受付、電子書籍のタイトル数 ④その他			課外活動については、令和3年度後期から新型コロナウイルス感染症防止対策と活動の両立を図りながら段階的に再開している。再開後の1か月程度は、活動人数の制限、時間を短時間で実施する等の制限を設け、計画的、段階的に活動をステップアップしていくことを前提としている。また、再開できる課外活動団体については、事前に研修への参加と新型コロナウイルス感染症対策として必要書類の提出を必須とし、確認を受けた団体のみとなっている。	①②③⑥	
283 東京都立大学	①全面利用可能		①②		電子ブックの充実	①全面実施			①②③⑤⑥⑧	本学独自の就職支援対策として、卒業・終了後3年以内かつ就職経験のない方については、在学期間と同様にキャリア相談や求人情報の閲覧などのサービスを利用することができる「ジョブサポート制度」を設けている。
284 東京都立産業技術大学院大学	①全面利用可能		①③		図書の貸出及び返却の郵送サービス	④その他		大学院大学のため、部活動自体がない。	①②③⑥	
285 東京福祉大学	②一部利用制限		①②③			④その他	所謂体育会系運動部がないため。		①③⑥	
286 跡見学園女子大学	①全面利用可能		①③		図書配達貸出の実施。契約データベース、電子ブックの学外からのアクセスを可能としている。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
287 文京学院大学	①全面利用可能		①②③		貸出希望図書の自宅配達サービスを実施している（配送料大学負担）。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
288 目白大学	①全面利用可能		①②③		貸出期間の延長、貸し出し図書の郵送対応（郵送料は大学負担）を行っている。	④その他		活動日、活動場所、学生名簿などを記載した書類を提出した上で、大学より許可を得たクラブのみ活動可能としている。	①②③⑥⑦	
289 東京成徳大学	①全面利用可能	特になし	①③		遠隔授業を選択した学生に対する図書の郵送貸出（無料）	①全面実施			①②③④⑤⑥	
290 帝京平成大学	②一部利用制限		①②③⑦	アルコール消毒液の設置と消毒の励行	・ガイダンス動画等の共有 ・電子資料やデータベースへのリモートアクセス ・電子資料の補充 ・開館時におけるブックボストの設置 ④その他			顧問立会いのもと、条件を満たした団体のみ活動	①②③⑥⑦	
291 青山学院大学	②一部利用制限	特になし	①③		①自宅からもアクセス可能な電子コンテンツの拡充（年間を通して電子ブック試読サービスの提供）②オンラインレファレンス/オンライン相談会③オンデマンド講習（図書館利用案内/図書館バーチャルツアー）④資料の郵送返却受付 ①全面実施				①②③⑥⑧	カウンセラーからのメッセージ発信等を行っている
292 上野学園大学	①全面利用可能		②		利用時間の短縮を行っているが、大幅な短縮ではないため、代わりとなる取り組みは特に行っていない。	④その他		運動部なし。	①②③	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
293 大妻女子大学	①全面利用可能		①②③		契約電子資料は、リモートアクセスサービスを介して学外でも学内と同様に利用できるため、引き続き拡充を図っている。	①全面実施				①②③④⑤⑥⑦
294 学習院大学	②一部利用制限		①②③		郵送貸出、自館複写サービスを学内への入構制限がある期間中継続し、特別に実施している。	④その他		基本は、すべての運動部の活動を認める予定だが、その条件として、活動を希望する学生団体より申請を受け付け、活動内容や感染対策等を確認したうえで、許可している。		①②⑤⑥
295 共立女子大学	①全面利用可能					①全面実施				
296 慶應義塾大学	①全面利用可能		①②③⑤		図書館情報サービスのオンライン化をさらに充実させることにより、従来以上に、学生の図書館情報の活用環境を向上させている。このほか、個々の事情によりキャンパスに来ることが困難な学生に対しては、以下の対応を引き続き実施している。 ・郵送による資料の貸出・返却 ・文献複写物の郵送 ・延滞金の免除 ・オンライン（メール、Zoom、Line等）による、レファレンス、セミナー、オリエンテーションの実施 ・学外、自宅から使える電子資料（電子ブック、電子ジャーナル、データベース）の充実、ガイド作成、提供 等	①全面実施				①②③④⑤⑥⑧ 学生相談室の取り組みとして以下を行っている。・自分で自分の心をケアする手がかりを見つけられるような資料集を作成しウェブサイトで公開している。・カウンセラーのファシリテーションのもと、特定のテーマに沿って学生たちがグループワークを行う「学生相談室グループアワー」を例年実施している。「ストレスのセルフケア」、「リラクセス法」、「コロナ禍での別入スキル」、「キャンパスライフ」などをテーマにオンラインもしくは対面でのグループワークを実施している。
297 工学院大学	②一部利用制限	宿泊できる施設のみ利用を制限している。	①③			①全面実施				①②③⑤⑥⑦
298 國學院大学	①全面利用可能		③		座席の利用制限のみ、ソーシャル・ディスタンスを確保するために実施している。また、利用制限後であっても、図書館の利用人数に対して十分な座席数を確保できているため、代わりに行う取組みは予定していない。	①全面実施				①②③⑥
299 国士館大学	①全面利用可能		①③		座席数を制限していることで、論文作成等に影響がでないように、インターネット上で利用できるデータベースなどを紹介している。	①全面実施				①②③④⑥
300 駒澤大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施				①②③⑥⑦
301 実践女子大学	①全面利用可能					①全面実施				①②③⑤⑥⑦

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
302 芝浦工業大学	①全面利用可能		①③		本の貸し出し配達サービスを実施した。	①全面実施			①②③④⑥	
303 順天堂大学	①全面利用可能	●トレーニング施設の利用を制限している。	①②③④⑤		●本学の電子ジャーナル・電子書籍・データベースの電子資料のほとんどは、学外からアクセス可能な契約としている。さらに教科書指定された図書の電子書籍を契約して、ハイパーリンクを付けた指定図書リストをウェブサイトに掲載している。併せて「利用の手引き」により、電子資料の利用について改めて周知した。図書資料は、学外から資料検索や貸出予約が可能となっている。予約があった図書は、貸出対応したうえでご自宅宛に配達している。文献複写依頼は、学外から図書館業務システムやメールを通じて受け付けており、郵送でお送りしている。参考調査依頼には、「調べもの相談受付フォーム」により対応している。このように、場所としての図書館利用に制限をかけているが、差支なくとも情報提供が行き届くよう体制を整えている。●電子ジャーナル・電子書籍等への学外アクセスや電子検索や図書の予約・文献複写依頼を学外から出来るようにしており、図書の郵送貸出サービス、文献検索ガイダンスのオンライン開催などを行っている。●浦安キャンパス学術メディアセンターにおいては、制限の代わりに取り組みは特になし。また、上記4-3に記載の利用制限を付しているが、学生の利用に際して特設支援はしていない。●特設支援。現状、開館時間を17時まで短縮し、利用人数を制限しているが、利用多数のため利用できない学生が発生する状況は起きていない。感染拡大状況を判断し、利用時間についても通常開館に戻すことを検討する。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
304 上智大学	①全面利用可能		①③		在宅で利用できる電子資料を増やす	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
305 昭和大学	②一部利用制限	【長津田キャンパス】各学科、学年での登録ローテーションを指定しないが、自習スペースの利用は、講義・実習等で登録した時のみ利用可。食堂での自習スペースとしての利用は不可。運動施設などについては、感染状況等を踏まえ制限を行っている。	①②③		・自宅等から利用可能な検索ツールと電子ジャーナルについて、図書館ホームページにて情報を適宜更新している。	④その他		・緊急事態宣言解除に伴い、令和3年10月4日より「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則った活動計画書を提出し、学生部長承認のもと、学生部長が許可したクラブ活動から順次活動を再開している。	①②③④⑤⑥⑦⑧	本校では、新型コロナウイルス感染症に限らず、悩みや不安を抱える学生の相談窓口は、学生課・学生相談窓口・保健管理センターがあり、相談内容等の個人情報に十分配慮して、それぞれの窓口が連携して対応している。保健管理センターでは、体調不良等の対応だけでなく、悩みや不安を抱えている学生の相談、校長の面談及び必要に応じた専門医への受療案内をするともに、受療後のフォローを行っている。
306 昭和女子大学	①全面利用可能		①③⑦	出入口だけでなく、各所にアルコール消毒液を設置し、手指の消毒を励行し、感染対策を講じる。	図書配達サービス、複写代行配達サービス、メールによるレファレンスサービス、電子媒体資料の学外からのアクセス拡大の取組を行う。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦⑧	●クラスアドバイザー（クラス担任）と職員が連携することで、支援を要する学生の早期発見 や予防的対応を実施している。●就活生に対して、就職活動の相談を行う部署（キャリア支援センター）と学生生活の悩みや、不安の相談を行う部署（学生相談室）が、学生本人から了承を得たうえで、情報を共有し連携しながら対応にあたっている。
307 昭和薬科大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑥⑦	
308 杉野服飾大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②⑥	
309 成城大学	①全面利用可能		①②③⑤		・図書の郵送貸出（無償） ・図書返却期限の延長 ・所蔵雑誌論文の複写郵送サービス（無償） ・臨時IDによる学外からの電子資料の利用 ・動画による利用案内 ・Zoom等によるガイダンス	①全面実施			①②③④⑤	
310 聖心女子大学	①全面利用可能		①③		1. 図書館資料郵送貸出（送料大學負担）の継続。2. 資料複写物の郵送（送料大學負担）の継続。3. オンラインIDへの学外からのアクセス保証。4. オンラインによるレファレンス継続。5. 利用借用カードの準備（貸出希望図書の効率的収集をサポート）	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
311 大正大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	（⑧上記に当てはまるもの以外の独自の取組）スクールソーシャルワーカーの新規導入
312 清泉女子大学	②一部利用制限		①②③		ライティングアドバイザーによる、授業や研究に関する課題・レポート・論文等の文章相談をZoomでも受け付けている。	①全面実施			①②③④⑥	
313 聖路加国際大学	①全面利用可能					④その他		運動部を有していない	①②④⑤	
314 高千穂大学	①全面利用可能		①②③		大学院生及び在宅受講を認めた学部生について、送料を大学員担として図書の貸出を託送で実施している。	④その他	各節が加盟する団体等で公式戦が予定されている場合に限定して、各節から感染防止対策マニュアルと運用ごとの活動計画を提出させ、内容を確認したうえで活動を認めている。		①②③④⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
315 拓殖大学	①全面利用可能	特になし	①②③		データベース学外アクセスサービス拡充、図書館ガイダンス期間提供、図書郵送貸出サービス実施	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
316 多摩美術大学	②一部利用制限	該当なし	①③	該当なし	電子書籍・電子ジャーナルの提供数拡充に向けて検討している	③全面制限	感染対策が徹底できないことから、校内での感染防止や学務機会の確保の観点から禁止としている。		①②③④⑥	該当なし
317 中央大学	②一部利用制限	本学の各キャンパスにおける利用方針に関して基本的な取り扱いの違いはないが、各キャンパスに設置する教育研究組織の学問分野の特性や、当該組織が展開する教育研究活動に伴う差異にも柔軟に対応するため、個別の事項については、最終的に各キャンパス長の責任において詳細な判断が行うことができるよう、一定の流動性を担保している。	①③		図書館の座席については、閲覧席の利用について席数の50%以下に制限しているほか、共同学習スペースについては、感染防止対策をとった上で一部のみ利用可としており、制限を課すことにより、図書館としての基本的な機能が失われているという状況にはないものと思料する。ただし、学生の事情により、キャンパスに違うことが困難な場合にも対応すべく、郵送貸出しや複写サービスを実施している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	専門的な資格を有するキャンパスソーシャルワーカー（CSW）を配置し、CSWによる心身・学修に困難を抱える学生のサポートへの対応を行っている。
318 東京医科大学	①全面利用可能		①②③		1. Web上で文献複写申込みができるシステムを学生にも提供開始。2. オンライン授業等で参加できない学生向けに文献郵送サービスを開始。 ※どちらも以前は教職員に限定したサービス	④その他		医学科1～3学年のみ部活動可能。ただし、参加人数は10人までで活動時間は2時間までとしている。また、医学科4～6学年は病院での実習等もあることから、部活動は禁止している。	①②③④⑤⑧	コロナ禍後、健康サポートを管轄する部署から医学科の本人とその家族へそれぞれ電話による聞き取りを実施している。内容は、学生本人の心身の健康、生活、学修、社会的サポート等について伺うものであり、その後の大学生活へのフォローアップにつなげている。
319 東京家政大学	①全面利用可能		①②③⑤		以下の非来館型図書館サービスの充実を行っている。①事情により入構ができない学生に対して図書特別貸出および雑誌文献複写等の郵送サービスを行っている。②従来の電話、メールに加え、申請フォームによる問い合わせ、レファレンス受付を開始した。③学術情報リテラシー支援として学生の自己学習で活用可能な自給別オンデマンド資料を学生がアクセスできるmanaba（学修支援システム）に掲載し、授業支援では学科に合わせたオンデマンド教材を提供している。④自宅からアクセスできる電子リソース、特に電子ブックの充実を図っている。またアクセスをわかりやすくするためのホームページの変更と周知をTwitter等も利用しつつ随時行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
320 東京家政学院大学	①全面利用可能		①③		図書館システムから申込み、図書館資料の郵送貸出・返却を前期から引き続き行っている。郵送貸出にかかる費用は大学負担。これにより、学生は大学に来学せずに指定した住所に図書館資料が届き、借りることができる。	①全面実施			①②③⑥⑦	
321 東京歯科大学	②一部利用制限	特になし	①②③	該当なし	特になし	①全面実施	該当なし	該当なし	①②③	該当なし
322 東京慈恵会医科大学	②一部利用制限		①②③⑤		事前予約としているが、当日でも空きがあれば利用可能としている	②一部制限	学生間の感染を回避して病院内でのクラスター発生要因にならないようにするため慎重に感染対策を精査し、実施可能と判断した運動部については今後活動再開を許可する予定。		①②③④⑤⑥	
323 東京女子大学	①全面利用可能		①②③④⑦	・郵送による図書等の貸出・返却（学生は費用大学負担） ・OPAC専用端末の利用中止（各自スマホやPCで接続）	・郵送による図書等の貸出・返却（学生は費用大学負担） ・オンライン（特にVPN接続）で利用できる資料の拡充（電子ブック、電子ジャーナル、データベース） ・資料の探し方、データベースの利用方法などに関する説明動画の作成と図書館ウェブサイトでの公開 ・オンラインでの情報検索ガイダンスの実施 ・オンラインでの学習相談	④その他		本学には体育会の運動部がないため、該当なし	①②③④⑤⑥	
324 東京女子医科大学	①全面利用可能		①②③⑤		学外からの文献検索。	④その他		Webのみでの活動可。	①②③④⑤⑥	
325 東京電機大学	②一部利用制限		②③⑤⑦	図書郵送貸出サービスの実施、電子図書館サービス、VPNを活用した電子ジャーナルの利用	図書郵送貸出サービスの実施、電子図書館サービス、VPNを活用した電子ジャーナルの利用	①全面実施			①②③④⑥	
326 東京農業大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③⑥	
327 東京薬科大学	②一部利用制限		①②③		外館から大学が契約している電子リソース（電子ジャーナル、データベース）を利用できるようにシステムの整備・環境変更	③全面制限	現時点では学生の課外活動は学内外を問わず禁止しているが、東京都の緊急事態宣言解除後約1ヶ月の感染状況を見極め拡大の兆候がなければ、各都府県で感染対策を講じながら課外活動の再開を許可することも検討している。		①②③④⑤⑥	
328 東京理科大学	①全面利用可能		①②③		電子系コンテンツの充実と遠隔地から使えるリモート環境を整備した。 ・電子ブック 52,486 タイトル ・電子ジャーナル 9,963 種類 ・データベース 17 種類	①全面実施			①②③⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
329 東洋大学	②一部利用制限		②③⑤		次に示す取組みを行っている。①来館利用が困難な者に対し、郵送にて博士論文、修士論文及び卒業論文の作成に必要な図書館資料の自宅受取サービスや学外文献複写の資料郵送サービス。②図書館が実施するガイダンス動画の公開。③学習・研究を行ううえで必要な文献や情報の入手に関する相談を受け付け。④オンラインレファレンスの実施。⑤電子資料(データベース・電子ジャーナル・電子ブック等)の充実を図り、学外からでも接続できるように情報提供。⑥返却期限日を超えた場合でも罰則適用せず、返却時に解除。				①②③④⑤⑥⑦⑧	一部キャンパスでは、メンタルヘルス活動としてストレスチェックを実施している。一例として、白山キャンパスでは、Googleフォームを使用したチェックシートを配備・周知し、その回答によっては電話、オンライン又は対面によるフィードバック面談を行っている。
330 東京音楽大学	②一部利用制限		①②③		本学学生の図書館利用状況から、上記の利用制限措置は学生の学修・研究の継続に大きな影響を与えないと判断する。	①全面実施			①②③④⑥	
331 二松学舎大学	②一部利用制限		①②③⑤		配送による図書館資料の貸出し。データベースや電子ジャーナルなど電子データの学外利用を可とした。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
332 日本大学	①全面利用可能		①②③⑤		・図書館利用ガイド動画の作成・図書館ガイダンスのオンライン開催・メール等を活用したレファレンスサービスの実施 ・図書貸出や文献複写の郵送サービス・郵送による返却受付 ・電子ジャーナル等の学外利用拡充・Web 運営ツールの実施 ・図書館公開講座のWeb開催	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	大学独自の取組みとして、初級カウンセラーとしてのインテーカー認定制度を設け、教職員への研修を行っている。修了者には、修了証を発行している。
333 日本医科大学	②一部利用制限		①②③		自習スペースや共有スペースを確保している。また、研究マインドを育むための正規授業は通常通り行っている。	④その他		コロナ禍の状況を踏まえ、クラブ活動は段階を踏んで規制緩和していく予定。	①②③④⑤	
334 日本歯科大学	②一部利用制限		③			③全面制限	集団になることで感染対策意識が薄れるため。		①②③④	
335 日本社会事業大学	②一部利用制限		①②③		貸出図書の宅配サービス	①全面実施			①②③④⑤⑥	
336 日本女子大学	①全面利用可能		②③⑤⑦	入口に非接触型体温計・消毒液を設置。PC周辺や閲覧室に自由に使える消毒用シートを配置。	学生対象に郵送貸出・雑誌論文の複写送付を実施。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	カウンセリングの継続・医療機関の紹介・学科との連携
337 日本女子体育大学	②一部利用制限		①③			④その他		活動希望部において活動計画書を作成し、運動部強化検討委員会と学生部員・学生支援課長が確認し、許可した部のみ活動が行える。	①②③④⑤⑥	
338 ルーテル学院大学	②一部利用制限		①②③		院生には、事前予約制で時間外の利用を認めている	④その他		学内での活動は禁止、学外については自粛をお願いしている。	①②③⑥	
339 文化学園大学	①全面利用可能		①②③		オンラインで利用、申し込みできる次のサービスを実施する。 ・郵送による図書の貸出・返却。・雑誌の文献複写物の郵送サービス。・オンラインレファレンスサービス。・電子書 ④その他 種の拡充と利用促進。・オンラインジャーナル、データベースの学外からのアクセス方法（VPN）の提供。	④その他		各部長に対し、活動の自粛を要請している。	①②③⑤⑥	
340 法政大学	②一部利用制限		①②③⑦	ガイダンスのオンライン実施や図書館利用、データベース等検索方法の説明動画の作成および公開を行っている。また、読書会など、学生間のコミュニティづくりを目的としたイベントをオンラインでも実施している。	図書の郵送貸出やオンラインレファレンスなど、来館しなくても提供可能なサービスを実施している。あわせて、来館しなくても学修・研究に必要な資料を提供できるよう、オンラインデータベースや電子ブック・ジャーナルを多数揃える。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
341 星薬科大学	②一部利用制限		①②③		○電子ブックの内容充実 ○郵送貸出の実施と返却期限の調整 ○自宅やモバイルデバイスから、大学で契約した電子ジャーナル等が閲覧できるリモートアクセスサービスの利用者拡充 ①全面実施				①②③⑥	
342 武蔵大学	②一部利用制限		①②③		次の①～③の取り組みを行い、利用者の利便を図っている。①図書の新送貸出・返却【全面遠隔授業期間のみ】、②雑誌論文・記事のコピー郵送【全面遠隔授業期間のみ】、③次の4Bのサービスの申し込み方法に、メール受付を追加【2022年度末まで】 A: 他館からのコピー取り寄せ、B: 他館からの図書借受、C: 購入希望図書。なお、設問4-3にある利用制限については、館内利用人数上限を超えたことはなく、在庫利用制限の影響もほとんど生じていない。書架の閲覧制限はしていない。また、開館時間等は例年どおりで、短縮などは行っていない。				①②③④⑥⑦	
343 東京都市大学	①全面利用可能		①②③④⑤		・図書配送サービス：貸出冊数15冊まで、配送料（往復）は図書館負担で学生の自宅に配送する。・学内文庫配送サービス：学内資料の複写物を、配送料は図書館負担で学生の自宅に配送する。・自宅（学外）から利用できるサービスのIPへの届出、電子ブックや電子ジャーナルなど、自宅からでも利用できる資料（図書や雑誌）を備え、利用の仕方をまとめた利用ガイドをHPに掲載している。		・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため本学が定めた活動制限がある。・感染防止対策を定めたうえで大学の許可を経た部活動のみ活動を実施することができる。		①②③④	
344 武蔵野音楽大学	①全面利用可能		①②③		図書資料の宅配依頼に対応している。	④その他		本学には、いわゆる体育会は無く該当しないため。	①②④⑥	
345 明治大学	①全面利用可能		①③		①自宅から使える電子資料（電子ブック・電子ジャーナル・データベース等）の届出、②オンラインで受渡できる図書館関連のガイダンス/講習会/イベントの開催、③レファレンスサービスのメールによる受付、④図書の郵送貸出サービス、⑤雑誌論文の複写郵送サービス（④、⑤は在宅受講特別配慮認定者のみへのサービス）	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	⑧について、心身の健康の保持増進につながるオンラインイベントの実施、学生相談室担当教員によるメッセージ動画等の発信を行っています。⑧について、部活動に関する個人面談・グループ相談をオンラインにて実施し、併せてガイダンス、企業との交流会、OB・OG懇談会等情報の発信を行っています。
346 明治学院大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑥⑦⑧	
347 明治薬科大学	②一部利用制限		②③			②一部制限			①②③④⑤⑥⑦	
348 立教大学	①全面利用可能		①②③		混雑期は閲覧席の代替となる教室の開放を行う。	①全面実施			①②⑤	
349 立正大学	①全面利用可能		①②③		8:30～22:00-9:00～21:00に変更、閉館後1時間かけて館内消毒作業実施。オンラインによるレファレンスサービス、電子書籍の購入、契約データベースサービス拡充（学外からのアクセス可能に）。	④その他		課外活動再開申請書を提出し、活動再開の許可を得た団体は、感染対策を講じつつ活動を実施している。	①②③⑥⑦	
350 早稲田大学	①全面利用可能		①②③⑤		ソーシャルディスタンスを保つのが困難である等、利用者が多くなった場合は利用人数を制限する可能性もあるが、オンライン授業受講の教室や学習スペース等を整備していることもあり、現在まで利用人数を制限するには至っていない。	①全面実施			①②③④⑥⑧	常勤精神科医による「大学生のメンタルヘルス」動画コンテンツを作成し、新入生向けフレッシュマンセミナーで16活用できるよう各学院に提供している。
351 国際仏教学大学院大学	①全面利用可能		①②			④その他		本学に運動部は存在しない。	①②	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
352	学習院女子大学	②一部利用制限		①②③		学外アクセスによる電子書籍の利用や郵送貸出によって、図書館に来館しなくても図書を利用できるようにする。	④その他		学内外の活動は申請書による許可制としている。運動部が利用する学内施設について、10月中は土、日のみの使用としている。	①②③⑤⑥⑧	ストレス自己チェックなどストレスをセルフマネージメントするための動画をオンデマンドで配信
353	東京国際工科専門職大学	①全面利用可能					④その他		運動部はない	①②③⑤	
354	東京保健医療専門職大学	①全面利用可能		①②③			④その他		体育会系の運動部がない	①②③	
355	情報経営イノベーション専門職大学	①全面利用可能	特になし。	①③	特になし。	利用制限はしない。	④その他	部活動がまだない。	特になし。	①②③④⑤	特になし。
356	大学院大学至善館	②一部利用制限		①③		本学では図書館内の座席数を減らして運営するが、利用したくても座席が空いていないという学生がいた場合は使用してない部屋を開放する。	④その他		本学では運動部活動がない	①③⑤	
357	駒沢女子大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	診断書や相談の状況によっては、学生支援課が授業担当教員に、「授業考慮願い」により学生の状況について説明し、必要とされる配慮・考慮を依頼している。
358	亜細亜大学	②一部利用制限		①②③⑦	図書の郵送貸出	図書の郵送貸出及び雑誌の複写の郵送。オンラインコンテンツ(e-book、オンラインデータベース)の利用促進。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	新入生には、4月入学後すぐにUPI(University Personality Inventory)をオンラインで回答してもらい、結果から心配な学生や相談希望のある学生には、個別にメールや電話で連絡を取り、体調や精神的な変化や困りごとがないか確認し、必要に応じて相談へと繋げた。
359	桜美林大学	①全面利用可能		①②⑦	電子図書やインターネット経由で閲覧できるデータベースへのアクセス数を強化した。	電子図書やインターネット経由で閲覧できるデータベースへのアクセス数を強化した。	①全面実施			①②③⑤⑥	
360	国立音楽大学	②一部利用制限	なし	①②③	なし	・事情があり来校できない学生への、オンラインレファレンス、宅配貸出(送料大学負担)・新規オンラインデータベース、電子図書や家語サービスの導入	④その他		該当する団体がない	①②③⑥	
361	国際基督教大学	①全面利用可能	特になし	①②⑦	グループ学習室の利用	宅配便による本の貸し出し(送料大学負担)、文献複写、現物貸出の無料化。	①全面実施			①②③⑥	
362	白百合女子大学	①全面利用可能	別のキャンパスなし。	①③		自宅から貸問出来るオンライン・レファレンスを、昨年9月より開始し、通常開館期間も継続している。回答はメール、Zoom、Google Meet、電話から選択出来る。図書館利用案内動画やバスファインダーなどを充実させ、大学の授業支援システム(manaba course)や図書館ホームページで公開している。既に、ディスクカバーサービスを導入していたので、積極的に電子ブックの購入を進めている。入館制限期間中は、貸出・返却や文献複写の郵送サービスを行い、送料は大学負担としている。	④その他		体育会に属する運動部はありません。	①②③④	
363	成蹊大学	①全面利用可能		②⑦	換気の効率は当然ながら、飛沫感染予防のため、マスク着用と館内での会話を原則禁止し(平常時は学習会話を認めているエリアがある)、閲覧席は密にならないよう通常より椅子を離した配置にしている。また、利用者が適宜手指消毒できるように、館内の複数箇所に消毒用アルコールを置いている。	利用人数の制限といっても、館内の二酸化炭素濃度を考慮したもので、もともと通常開館時の利用客数は入館できる想定エリアがあることから、実際に入館制限を行うには至っていない。また、利用時間の制限は行っていないことから、学生の学修・研究の継続を妨げる運用にはなっていない。	④その他		新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを設け、各学生団体から申請があったものについて、大学保健室のアドバイスを採り入れながら審査し、学生部長が適切であると判断したもについて活動を許可している。	①②③	
364	玉川大学	①全面利用可能		①②③⑤		1. 郵送による貸出・返却(年度内1回目は郵送費(往復)大学負担) 2. 電子書籍配信システム(BookLooper)による電子書籍の貸出 3. 学内専用接続可能な新聞記事DB、電子ジャーナル・電子ブック等の学外からのVPN接続開放 4. ガイダンス動画のオンライン配信、図書館HPの見直しによる利用促進	①全面実施			①②③④⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
365	津田塾大学	①全面利用可能	全学で同じ取り組みなので、特別な対応はない。	①②③		郵送による図書貸出および所蔵雑誌文献複写サービスを実施している。	①全面実施			①②③⑥	
366	帝京大学	①全面利用可能	学習室、図書館、食堂等の利用範囲や利用時間の制限。また、授業、研究、個別学習およびクラブ活動を目的とする利用のみに制限し、学生交流を主とした利用は制限している。	①②③		一部の電子リソース（電子ブック・データベース等）について学外からも利用可能とする。電子ブックの利用、拡大。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	「新入生全員アンケート」で不安を抱える学生に電話で内容確認を行い、必要に応じて面談を行う
367	東京経済大学	①全面利用可能		①			④その他		課外活動特別許可申請（団体内における感染予防対策や対策の責任者、対策を実施する担当者など）による審査により大学が認めた団体は部活動を実施できる。	①②③⑤⑥⑦	
368	東京女子体育大学	①全面利用可能		①②③④			①全面実施			①②	
369	東京神学大学	①全面利用可能		①②③			④その他		学校が承認している部はない。	①③	
370	東京造形大学	①全面利用可能	特記事項なし	①②		特記事項なし	④その他		※本学に体育会の部はありません。	①②③	
371	桐朋学園大学	①全面利用可能	キャンパスでは異なっていない。	①	⑦その他回答ではない。	①回答	④その他	④その他回答。	運動部活動は行っていない。	①②③④⑤	⑧および⑨回答ではない。
372	日本獣医生命科学大学	②一部利用制限		①②③④⑤		・通称講義を大学構内で受講したい学生のために、閉鎖中の2階図書室あるいは電子資料閲覧室の利用を推奨しました。・USBから直接プリントアウト可能なコピー機を館内に増設（従来機器の機能をアップデート）し、館内に滞留する時間を減らし、プリンターが自宅にない学生が印刷しやすい設備。・電子ブックのラインナップを拡充。学外からアクセスできる「アカウント登録」を随時行うよう個別にサポートした。・電子ジャーナルを学外から利用する方法を広報した。・実証が困難な学生については実費で図書の郵送貸出に対応（返却も郵送可）。・シラバスに基づき各講義科目について「関連図書リスト」を順次作成し、教員を通じて提供。館内の滞留時間を減らすと同時に、茶館をたためらう学生に向けた配慮として行っている。・毎日のツイッター発信	④その他	運動部活動は原則活動禁止。ただし、連盟の主催する公式の試合に準じる活動はその連盟の感染対策ガイドラインに則り、感染対策を記入した活動届を顧問の承認の上提出し、学生部長がその活動の許可判断をしている。	①②③④⑤⑥		
373	武蔵野大学	②一部利用制限		②③			④その他		各部から提出された活動申請書（感染対策や実施内容）を基盤の上、学部長の許可制としている。	①②③⑤	
374	武蔵野美術大学	②一部利用制限	特になし	①②③④⑤	④⑤については9月中のみ実施	貸出、返却の郵送対応	②一部制限	主に屋外の活動を許可するため、剣道場や卓球場等は使用禁止としている。		①②③⑥⑦	
375	明星大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
376	和光大学	②一部利用制限		①②③		図書の郵送貸出、電子ブックの拡充	③全面制限	大学独自に設定している行動制限コードレベルがあり、現在のレベルにおいては課外活動は全面禁止になっているため。		①②③	
377	杏林大学	①全面利用可能	特になし	①②③		リモートアクセス機能を活用した電子リソースの利用促進	④その他		感染対策などを記載した活動計画書を提出し、許可された運動部のみ活動を可能としている。	①②③⑧	外部の専門機関に相談できる体制を導入している。
378	日本文化大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			②	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
379 東京工科大学	①全面利用可能		①③		座席は制限していますが、利用者数に対し十分な座席数は確保している。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
380 日本赤十字看護大学	①全面利用可能		①			④その他		本学には体育会が無くサークル活動のみのため回答対象がありません。	①②③④⑤⑥	
381 恵泉女学園大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥	
382 多摩大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
383 東京純心大学	①全面利用可能		①②③		授業を行っていない教室等を利用可能としている	④その他		本学には体育会はありません。	①②③	
384 葛城大学	①全面利用可能		①②③		・大学院生と一部の学部生（体調不良で入構できない学生など）を対象に、貸出図書や文献複写物の自宅配送サービスを実施している。・図書館で契約しているデータベース（一部を除く）を、VPN接続を課して学外でも利用可能としている。・本学は個別に利用IDを発行している契約データベース（利用ID発行数に制限あり）を、利用IDを発行せずにVPN接続を用いて学外でも利用可能としている。・電子書籍サービス「Maruzen eBook Library」を導入して、VPN接続を用いて学外でも閲覧可能としている。	①全面実施			①②③④	「学生生活とこころのアンケート」を全学年対象に実施した。その結果に応じて、個別のフォローアップをしている（こころの健康?カウンセラー、身体の健康?ウェルネス、履修・学修?アドバイザー）
385 東京富士大学	①全面利用可能		①②③		制限は実施しているがきびしいものではない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
386 LEC東京リーガルマインド大学院大学	②一部利用制限		①②③		インターネットを活用して、これまで対面で行ってきたサービスを来校しなくても利用できる仕組みを整えていく。	④その他		本学に運動部はありません。	①③	
387 デジタルハリウッド大学	①全面利用可能		①⑦	郵送による貸出サービスも実施している。		④その他		運動部はない。	①②③	
388 白梅学園大学	②一部利用制限		①③		外部から一部データベースを利用可能としている。郵送貸出、文献複写郵送を継続している。	②一部制限	感染状況を鑑みながら、段階的に緩和する予定		①②③④⑥	
389 東京医療保健大学	②一部利用制限	キャンパス所在地の感染状況による	①②⑤		(1) 図書館資料の郵送による貸出の実施を行い、未館などで資料利用できる体制としている。(2) 在宅で利用できる電子ジャーナル・電子書籍を増強し、利用情報を学内に発信して学外からの電子情報発信して学外からの電子情報資源の利用を促進している。	④その他		専任指導者が常時学生を監督し、リスク管理が可能な部活動を除き「密接を伴う活動」は原則として禁止する予定。	①②③④⑤⑥	
390 東京聖栄大学	①全面利用可能		①②			③全面制限	感染防止対策を徹底した教育活動の継続として、課外活動の制限を継続。		①②③⑥	
391 グロビス経営大学院大学	②一部利用制限		①②			④その他		本調査の定義における運動部活動は行っていない	①②③⑤⑥	
392 文化ファッション大学院大学	②一部利用制限		①②			④その他		運動部活動がない	①②③⑥	
393 大原大学院大学	①全面利用可能	特にございませ	①③		自習室の利用を促す。	④その他		運動部は存在しません。	①③	
394 東京未来大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
395 こども教育宝仙大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③④⑥	
396 東京有明医療大学	①全面利用可能	本学は別のキャンパスは存在しない。	①			④その他		活動計画書を提出させ、十分な感染対策を講じているかを判断し、学生委員会が許可をする。	①②③⑥	
397 東京工芸大学	②一部利用制限		①②③		利用者がオンラインで借りたい本を選ぶと自宅まで配送するサービス（配達貸出サービス）と利用者がオンラインで借りたい本を予約すると図書館発行ですぐ受け取ることができるサービス（自館資料取り置きサービス）を実施し、指定図書の出庫期間を通常3日間のところ2週間に延長している。	①全面実施			①②③⑥⑦	
398 産業能率大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑤⑥⑦	
399 ヤマザキ動物看護大学	②一部利用制限		①③		アグリゲータの電子ジャーナルをリモートでアクセスできるようにしている。文献複写および相互貸借の申込みをオンラインでできるようにしている。	④その他		本学では運動部はないため	①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
400 東京医療学院大学	②一部利用制限		①②⑦	貸出のみ可にしている。	OPACを学外からアクセスできるようにした。	④その他		運動部が存在しないため。	①②③④⑥	
401 事業構想大学院大学	①全面利用可能		①			④その他		社会人大学のため特に運動部活動の活動はありません。	④	
402 帝京科学大学	①全面利用可能		②③		特になし（人数や座席の制限を行っているが、座席に余裕があり制限人数に達することがない）	①全面実施			①②③④⑥	
403 宝塚大学	②一部利用制限		①②③⑤⑦	入退館時に手のアルコール除菌を求めています。	電子書籍、データベースの充実によりコロナ禍以前から言われていた、「非来館型図書館」の一面を強化する取組が必要かと考えます。学生選書については現場の書店だけで行うのではなく、書店が提供するWeb上で行えるシステムを利用する選書も有効と考えます。	④その他		体育会運動部がないため。	①②③④⑤⑥	
404 青山学院女子短期大学	①全面利用可能		①②③			④その他		学生募集停止をしたため、現在クラブ等は休止し活動を行っていない。	①②③	
405 愛国学園短期大学	①全面利用可能		①			④その他		いわゆる体育会に属するサークル活動が存在しない。	①②③④⑥⑦	保護者向けの相談窓口（通稱・面談双方）を設けている。
406 上野学園大学短期大学部	①全面利用可能		②		利用時間の短縮を行っているが、大幅な短縮ではないため、代わりとなる取り組みは特に行っていない。	④その他		運動部なし。	①②③	
407 大妻女子大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		契約電子資料は、リモートアクセスサービス介して学外でも学内と同様に利用できるため、引き続き拡充を図っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
408 共立女子短期大学	①全面利用可能					①全面実施				
409 国際短期大学	①全面利用可能		①			④その他		公認運動部が存在しない	①②③④⑤⑥	
410 駒沢女子短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	診断書や相談の状況によっては、学生支援課が授業担当教員に、「授業考慮願い」により学生の状況について説明し、必要とされる配慮・考慮を依頼している。
411 美技女子大学短期大学部	①全面利用可能					①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
412 渥徳大学短期大学部	②一部利用制限	特になし	①②③⑤		貸出期間の延長及び外部データベースのアクセス強化	④その他		運動部活動はおこなっていない	①②③⑥	
413 女子栄養大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③⑥	
414 女子美術大学短期大学部	①全面利用可能		①②		・郵送貸出 ・電子図書館のサービス開始 ・学外からのオンラインコンテンツの利用支援 ・学外からのオンライン講習会の実施	①全面実施			①②③	
415 杉野服飾大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②⑥	
416 星美学園短期大学	②一部利用制限		①②③			④その他		運動部活動は行っていない。	①②③⑥	
417 帝京大学短期大学	①全面利用可能	なし	①②③		一部の電子リソース（電子ブック・データベース等）について学外からも利用可能とする。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	「新入生全員アンケート」で不安を抱える学生に電話で内容確認を行い、必要に応じて面談を行う
418 帝京短期大学	①全面利用可能		①②		現時点では特に取組を行っていない	①全面実施			①③⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
419 戸板女子短期大学	②一部利用制限		①②③		質問等はオンラインで実施する	①全面実施			①②③④⑤⑥	
420 東京家政大学短期大学部	①全面利用可能		①②③⑤		以下の非来館型図書館サービスの充実を行っている。①事情により入構ができない学生に対して図書特別貸出および雑誌文献複写物の郵送サービスを行っている。②従来の電話、メールに加え、申請フォームによる問い合わせ、レファレンス受付を開始した。③学術情報リテラシー支援として学生の自己学習で活用可能な目的オンデマンド資料を学生がアクセスできるmanaba(学修支援システム)に掲載し、授業支援では学科に合わせたオンデマンド教材を提供している。④自宅からアクセスできる電子リソース。特に電子ブックの充実を図っている。またアクセスをわかりやすくするためのホームページの変更と周知をTwitter等も利用しつつ随時行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
421 東京交通短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
422 東京成徳短期大学	①全面利用可能	特になし	①③		遠隔授業を選択した学生に対しての図書の郵送貸出(無料)	①全面実施			①②③④⑤⑥	
423 新渡戸文化短期大学	①全面利用可能		①③		貸出期間の延長を認め、貸出数制限を増やしている。	③全面制限	引き続き感染リスクを考慮し決定した。		①②③④⑤⑥⑦	
424 東京立正短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
425 東邦音楽短期大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部活動はありません。	①②	
426 文化学園大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		オンラインで利用、申し込みできる次のサービスを実施する。 ・郵送による図書の貸出・返却。 ・雑誌の文献複写物の郵送サービス。 ・オンラインレファレンスサービス。 ・電子書 ④その他の拡充と利用促進。 ・オンラインジャーナル、データベースの学外からのアクセス方法(VPN)の提供。	④その他		各部長に対し、活動の自粛を要請している。	①②③⑤⑥	
427 目白大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		貸出期間の延長、貸し出し図書の郵送対応(郵送代は大学負担)。	④その他		活動日、活動場所、学生名簿などを短縮した書籍を提出した上で、大学より許可を得たクラブのみ活動可能としている。	①②③⑥⑦	
428 創価女子短期大学	②一部利用制限		①③		オンラインによる読書イベントを実施した	①全面実施			①②③⑤⑥	
429 白梅学園短期大学	②一部利用制限		①③		外部から一部データベースの利用を可能としている。郵送貸出、文献複写郵送を継続している。	②一部制限	感染状況を鑑みながら、段階的に緩和する予定		①②③④⑥	
430 東京女子体育短期大学	①全面利用可能		①②③④			①全面実施			①②	
431 フェリスア子ども短期大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部としての活動は行っていない。	①②③④⑤⑥⑦	
432 桐朋学園芸術短期大学	②一部利用制限		①③			④その他		運動部の活動はない	①②③	
433 山野美容芸術短期大学	①全面利用可能		①			③全面制限			①②③④⑤⑥	
434 日本歯科大学東京短期大学	②一部利用制限		①②③			③全面制限	コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しているため		①②③④⑤⑥⑦⑧	クラス主任、副主任を中心として、個人面談の実施やいつでも相談できるような体制を整えている。また、嘱託のカウンセラーやハラスメント委員と連携し、学生の不安や悩みに対応できるように努めている。
435 東京歯科大学短期大学	②一部利用制限	特になし	①②③	該当なし	特になし	①全面実施	該当なし	該当なし	①③④	該当なし
436 ヤマギキ動物看護専門職短期大学	①全面利用可能		③		閲覧用に、図書館以外の学内のスペースを必要に応じて開放している。	④その他		本学に運動部はないため。	①②③④⑥	
437 有明教育芸術短期大学	②一部利用制限		②			②一部制限	感染拡大を防ぐため		①③④⑥	
438 真眸学園短期大学	①全面利用可能		①②③		間隔を空けて座席を使用したり、同一書架の前の人数を制限したりしているが、順番に利用することで対応できおり、制限によって利用希望の学生が利用できないという状況には至っていない。	④その他		運動部はありません。	①②③④⑥	
439 東京工業高等専門学校	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	新入寮生、留学生、編入学生に対して春に個別相談を実施。また、担任・研究指導教員と連携を取り、気になる学生に声掛けをし、面談を実施。
440 東京都立産業技術高等専門学校	②一部利用制限	特になし	①②		特になし。	①全面実施			①②③	
441 サレジオ工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
442 北里大学	①全面利用可能		①③		三密の状況を防ぐため、座席の利用制限を行っているが、自習・読書スペースとして、使用していない講義室を広く開放し	①全面実施			①②③④⑥	
443 女子美術大学	①全面利用可能		①②		・郵送貸出 ・電子図書館のサービス開始 ・学外からのオンラインコンテンツの利用支援 ・学外からのオンライン講習会の実施	①全面実施			①②③	
444 専修大学	②一部利用制限		①②③		非来館型サービスの提供 ・電子リソースの充実（アクセス方法をまとめたサイトの開設、電子ブックのリクエストサービスの開始） ・図書館送貸出サービス ・文献複製物の郵送サービス ・オンラインレファレンス	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
445 東海大学	①全面利用可能	医療機関が併設されている校舎においては、医学部生は医療機関で実習を行い、教職員においても患者と接する機会がある。基礎疾患をお持ちの患者を受け入れている医療機関内での感染リスクを考慮し、当校舎内においては特に学生や教職員間での身体が触れ合う機会が多い運動施設を使用中止としている。	①②③			①全面実施			①②③④⑤⑧	WEBによる自覚症状などの問診を行い、その結果から悩みや不安を抱える学生に対して、面接や電話等で相談を行っている。東海大学こことからだのサポートダイヤルを24時間土日対応で設置している。
446 日本体育大学	②一部利用制限		①②③		電子書籍、電子ジャーナルの学外からのリモートアクセスを可能にするよう努めている。	①全面実施			①②③⑥	
447 横浜国立大学	①全面利用可能		①③		横浜国立大学附属図書館では、十分な身体的距離を確保するために一部の座席を制限することとしていますが、それ以外の制限は設けません。座席を制限することにより、図書館を利用した学修機会が一部制限されますが、資料等の貸し出し制限は設けませんので、代替措置の必要はないと考えています。	④その他		本学の「課外活動ガイドライン」に示す感染対策等を踏まえた計画書を提出した課外活動について、実施可能としています。	①②③④⑤⑥⑦	
448 総合研究大学院大学	②一部利用制限	本学は全国にある大学共同利用機関の研究所等にキャンパスを置いているため。	①②③⑤⑦	電子ジャーナルの学外からのリモートアクセスなど館外からも利用できるようにサポートする。	研究書籍購入の経済的補助やILL費用を情報図書室で負担、購入リクエストの予算を確保するなどの取組を実施。	④その他		運動部がない。	①②③④⑤⑥⑦	
449 横浜国立大学	②一部利用制限	一部の学部・研究科のみが利用する小規模なキャンパス（舞岡・鶴見）では、想定される利用者数が少なく「3密」を回避できるため①としている。また、②としているキャンパスでも、講義室2部屋を改修して1つの大きな講義室とし、換気量を2倍にする等の対応をしている。	①②③⑤		・図書館資料、文献複製の郵送貸出 ・電子書籍の充実 ・オンラインカンファレンスの実施 ・学外からの電子資料利用支援 ・ガイダンス動画の公開	①全面実施			①②③④⑤⑥	
450 神奈川県立保健福祉大学	①全面利用可能					④その他		運動部はなし（サークル活動のみ）	①③⑥	
451 神奈川大学	②一部利用制限		①②③		・送付大学負担による貸出配送・返却サービス ・メールによるレファレンス相談 ・ILL文献複製配送サービス（送付大学負担） ・図書館の利用方法に関する動画コンテンツ作成・オンラインでの対応 ・データベースの利用方法に関する動画コンテンツ作成 ・オンラインでの対応 ・各種オンライン電子資料のリモートアクセス増強 ・教科書、参考書の電子書籍購入	④その他		本学が定める「課外活動における新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン」を遵守することができ、団体内で感染者または濃厚接触者が発生した際に、迅速に対応できると判断した団体については、必要書類を大学に提出させた上で、学内施設での活動を認めている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	障がいや重い疾病により相談を行った学生には、年に2回程度、メールや電話にて状況把握を行い、必要に応じて学校医師等を実施している。
452 関東学院大学	①全面利用可能		①②③		非来館型サービスとして本の郵送サービス、電子ブック、電子ジャーナル、データベースの活用を実施。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
453 鶴見大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
454 フェリス学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
455 横浜商科大学	①全面利用可能		①②③		郵送貸出サービス（コロナ禍で来館できない学生に対し、自宅まで資料を郵送するサービスを行う（無料））、複写物郵送サービス（必要な資料のコピーについて、自宅まで郵送するサービスを行う（無料））、オンラインレファレンスサービス（図書館サービスについて、資料やデータベースの使い方について等、オンライン上で質問を受け付ける）、貸出期限の延長（通常学生の資料貸出期間は、通常2週間のところ、2週間に延長設定）、電子書籍の購入数増加（学外からのアクセスできる電子書籍を今までより積極的に購入）	④その他	感染対策を講じて活動再開を許可した運動部のみ活動を実施している。	①②③④⑧	メンタルヘルス知識の啓発のために学生と教職員向けにニュースレターを発信している	
456 情報セキュリティ大学院大学	①全面利用可能		①			④その他		本学においては運動部はございません。	①②③⑥	
457 横浜薬科大	②一部利用制限		①②③⑤			③全面制限			①②③④⑥	
458 横浜薬科大学	②一部利用制限		①②		夜間の利用時間を短縮しているが、利用者が少ないため、代替の取り組みは行っていない。	②一部制限	全国的に運動部等でクラスターが発生しているから		①②③④⑥	
459 麻布大学	①全面利用可能		①③		取組んでいない。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
460 神奈川歯科大学	②一部利用制限		①②③		オンラインの活用、2023年に予定しているオンライン図書館の開設とその運用法の検討	①全面実施			①②③④⑤	
461 鎌倉女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
462 湘南工科大学	①全面利用可能		①②③		電子図書が増加、文献取り寄せサービスを学生にも新たに提供するという取組を講じている。	①全面実施			①②③⑥⑦	
463 相模女子大学	①全面利用可能		①②③		メールによるレファレンスの受付や図書館ガイダンスを動画配信している他、卒業研究履修生を対象とした郵送による資料貸出や所蔵資料の複写受付をしている。また、電子ジャーナルデータベースといった図書館の電子コンテンツに学外からアクセスできるシステムを導入し、利用の多いコンテンツは同時アクセス数の増設を行った。	①全面実施			①②③⑤⑥	
464 洗足学園音楽大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
465 聖マリアンナ医科大学	②一部利用制限		①			③全面制限	全ての授業が直接授業へ移行できていないため。		①②③④	
466 神奈川工科大学	①全面利用可能		①②③		郵送による貸出しサービス、学外からも利用可能なオンラインジャーナルおよびデータベースの充実。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
467 昭和音楽大学	①全面利用可能		①②③⑤		学外から利用できるデータベースの充実。貸出資料冊数の増加・期間の延長。郵送での資料の貸出・返却。e-bookの導入準備中。	④その他		音楽大学で運動部に属するものがない。	①②③⑥	
468 桐蔭横浜大学	①全面利用可能		①②③		学生の利用人数が上限とならないような感染症対策のための座席制限を設けている。また、電子図書の運用により、図書館外でも一部図書の閲覧が可能となっている。	①全面実施			①②③④⑥	
469 東洋英和学院大学	①全面利用可能	特になし。	①③⑤		貸出資料郵送サービス、オンラインレファレンス、リモートアクセスサービスの提供	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生相談室から定期的なメンタルヘルスに関する発信が行われているほか、各部署における学生のメンタルヘルス不調者は部署が連携し合い、支える体制となっている。
470 松蔭大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①③④⑤⑥	
471 田園調布学園大学	②一部利用制限		②			①全面実施			①	
472 横浜美術大学	②一部利用制限		①			④その他		対面での活動は原則禁止しているが、遠隔（オンライン）での活動は認めている。	①②③④⑤⑥	
473 日本映画大学	①全面利用可能		①			④その他		本学は運動部が存在しない	①②③	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
474	横浜創英大学	②一部利用制限		①③		学習用の座席の利用制限について、間隔を空けるために座席数を減らした。その代わりに別の教室を学習室として学生に開放した。	④その他		サークル活動のみで体育会に属する運動部はない。	①②③⑥	
475	湘南医療大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
476	湘南鎌倉医療大学	②一部利用制限		①②		今年度より、学内外からアクセス可能な電子ジャーナルのタイトル数を大幅に増やしている。	④その他		現在のところ、本学に運動部はない。	①②③⑤	
477	川崎市立看護短期大学	②一部利用制限		①③⑦	学生が利用する際には、学籍番号、入退館時間及び使用した座席を記録・管理している。	電子図書や電子ジャーナル等の資料を導入し、来館せずに利用できる環境を整備する。	②一部制限	学生は学内外問わず活動する際には、大学へ活動申請を行うこととしており、大学が申請ごとに感染症の動向を踏まえつつ判断している。		①②③④⑥⑧	各学生に担任教員を指定し、普段から学習や生活について助言・指導を行っている。また、担任教員のみならず、学生の状況を学内の他の教員とも共有し、講義ごとに必要なサポートを行っている。
478	和泉短期大学	②一部利用制限		①②		従来の図書館利用率を鑑みると、利用人数制限をしても学生の学修の継続の妨げにはならないから	③全面制限	更衣室、シャワー室での感染の可能性が拭ききれないため		①②③④⑥⑦	
479	鶴見大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
480	横浜女子短期大学	②一部利用制限		①②			④その他			①⑥	
481	昭和音楽大学短期大学部	①全面利用可能		①②③⑤		学外から利用できるデータベースの充実。貸出資料冊数の増加・期間の延長。郵送での資料の貸出・返却。e-bookの導入準備中。	④その他		音楽大学で運動部に属するものがない。	①②③⑥	
482	上智大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		感染防止対策として、間接席の人数制限や混雑時の利用人数の制限を行っているが、自習する場として教室や食堂を開放している。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
483	小田原短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②⑤⑥	
484	鎌倉女子大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
485	相模女子大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		メールによるレファレンスの受付や図書館ガイダンスを動画配信している他、卒業研究履修者を対象とした郵送による資料貸出や所蔵資料の複写受付をしている。また、電子ジャーナル・データベースといった図書館の電子コンテンツに学外からアクセスできるシステムを導入し、利用の多いコンテンツは同時アクセス数の増設を行った。	①全面実施			①②③⑤⑥	
486	洗足こども短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
487	神奈川歯科大学短期大学部	①全面利用可能		①③			③全面制限	特に行っていない。	感染者数の増減をみて判断する。	①②③⑥	
488	東海大学医療技術短期大学	②一部利用制限		①②③④		申請することで空き教室での自己(グループ)学習を可としている。	④その他		運動部なし	①②③	
489	湘北短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
490	新潟大学	①全面利用可能		①③⑤		大学キャンパス内の各校舎に学生が利用できるWi-Fi環境がある教室を設けて利用できるようにしている。	④その他		課外活動の対面型による活動について、自ら新型コロナウイルス感染症防止対策を作成し、対策が十分に取られていると本学が認めた課外活動団体に限り、この対策を遵守することを条件として活動の再開を許可している。	①②③④⑤⑥⑦	
491	長岡技術科学大学	①全面利用可能		①③			①全面実施	特にありません。		①②③⑤⑥	
492	上越教育大学	①全面利用可能		①②⑦	・入館ゲート前での非接触式体温検知器による検温を必須とする。 ・体温が37.5度以上ある者、マスクをつけていない者は入館できない。 ・混雑状況により、入館者数・滞在時間を制限する場合がある。 ・原則「食経」禁止。		①全面実施			①②③④⑤⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生のスクリーニングを行い、必要な学生については面談を実施。さらに、半年後に気になる学生に手紙を出し、相談を促す取組を行っている。

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
493 新潟県立看護大学	①全面利用可能		⑤⑦	学外者の利用可能時間を制限している。		④その他		本学ではサークル活動は行っていますが、運動部活動はありません。	①②④⑥	
494 新潟県立大学	②一部利用制限		①			④その他		運動部に限らず学内での活動は原則禁止とする。学外での対面の活動は許可制とする。	①②③	
495 長岡造形大学	①全面利用可能		①③		「図書館の送付サービス」「文献複写の送付サービス」の実施	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
496 三条市立大学	①全面利用可能					④その他		現在、運動部なし。	①②③④	
497 長岡大学	②一部利用制限		①②③		開館時間短縮や間隔を空けるために座席数を減らしたが、コロナ禍前と比べて図書館利用に関して影響を与えるほどの制限はしたとは考えていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
498 新潟医療福祉大学	①全面利用可能		①②③		図書の新送貸出（本学独自の規定により入構制限が課される場合にのみ利用可能）、文献複写物の自宅への送付サービス（本学独自の規定により入構制限が課される場合にのみ利用可能）、学外で利用できる電子コンテンツの拡充、図書館ガイダンス、文献検索等利用者教育の動画を公開、従来館内において対面形式で実施していた学習支援サービスをオンラインで実施、従来対面形式で実施していた補習セミナーの動画を公開などに取り組んでいる。	①全面実施			①②③④⑥	
499 新潟青陵大学	①全面利用可能		①			④その他		各部が感染対策ガイドラインを作成し、活動申請書を提出し許可された部活の活動を認めている。	①②③⑥	
500 新潟工科大学	①全面利用可能		①③⑦	利用資料は一定期間保管後に配架する。	電子書籍を提供し、学外でも資料を利用できるようにしている。	①全面実施			①②④⑤⑥	
501 新潟経営大学	②一部利用制限		③			①全面実施			①②⑥	
502 新潟国際情報大学	①全面利用可能		①③		密を避けるため閲覧席の利用制限をしているが、それに代わる特別な取り組みは行っていない。試験期など図書館が混雑する時期に、椅子を見ながら利用制限している閲覧席の一部開放を検討する予定。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
503 敬和学園大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
504 新潟薬科大学	②一部利用制限		①②③		一部の講義室を自習室として開放している。	④その他		大学において、サークル活動に関するガイドラインを作成し、学生自治組織である学友会の承認を得て、学生に公表している。各サークルがガイドラインに則り、感染対策を実施することを条件に活動を実施する。	①②③⑥⑦	
505 国際大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部はない。体育施設は学生の自主的な運用に任せている。	①②③④⑤⑥	
506 新潟産業大学	①全面利用可能		③		一部座席の利用制限のみであるため、特別の配慮は行わない（電話、メール等での問合せや電子書籍ジャーナルの利用は常時可）。	①全面実施			①②③④⑥	
507 事業創造大学院大学	①全面利用可能		①②③			④その他		経営系の大学院大学であり、運動部をもっていない。	①②③④⑥	
508 新潟リハビリテーション大学	①全面利用可能		①②③		アクティブ・ラーニングエリアの利用	①全面実施			①②③④⑤⑥	
509 新潟食料農業大学	①全面利用可能		①②③		郵送による図書貸借サービスを実施	①全面実施			①②③⑤⑥	
510 開志専門職大学	①全面利用可能		①②			④その他		運動系の部活動、サークルが立ち上がっていない。	②③	
511 長岡崇徳大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
512 新潟青陵大学短期大学部	①全面利用可能		①			④その他		各部が感染対策ガイドラインを作成し、活動申請書を提出し許可された部活の活動を認めている。	①②③⑥	
513 新潟工業短期大学	①全面利用可能		①③		特になし	①全面実施			①③⑥	
514 新潟中央短期大学	②一部利用制限	特になし	①③		特になし	④その他		本学に運動部が存在しない	①②⑥	
515 日本歯科大学新潟短期大学	②一部利用制限		①②③④⑤			③全面制限			①②③④⑤⑥	
516 明倫短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
517 長岡工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		利用制限は開館時間の短縮や座席数の制限など軽微なもののみ のため、制限の代替となる取組は特に行っていない。	①全面実施			①②③⑤	
518 富山大学	②一部利用制限	該当なし。	①②③		・事前予約に基づく図書/文献の受け取り ・オンラインでのレファレンス対応	①全面実施			①②③⑤⑥	
519 富山県立大学	①全面利用可能		①③			④その他		本学では、体育会に属するような「運動部活動」を実施している団体は存在しない。(サークル活動のみである)	①②③⑥	
520 高岡法科大学	②一部利用制限		①②③		・貸出図書のリターン期限を延長している。	①全面実施			①②③④⑥	
521 富山国際大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②④⑤⑥	
522 桐朋学園大学院大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部がない	②③	
523 富山短期大学	①全面利用可能		①③			④その他		警戒レベルの状況による	①②⑥	
524 富山福祉短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑥	
525 富山高専専門学校	①全面利用可能		①②		制限の代わりに行う取組は特になし。制限の緩和を段階的に進めている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
526 金沢大学	②一部利用制限	特になし	①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	悩みや不安を抱える学生の把握後の取組として、学生本人だけでなく、教職員や家族、その他の相談担当者との連携や病院主治医との連携を医師、公認心理師が行う。
527 北陸先端科学技術大学院大学	②一部利用制限	特になし	①⑦		「3密」を避けるため、閲覧座席数を減らす。サービスカウンター業務を縮小する(利用者からの質問等は出来るだけメール等を活用、カウンターに職員が常駐せず必要な場合のみ対応する等)。 4-3. ②~⑥に該当するような利用制限は実施しておらず、「⑦その他」として、「③密」を避けるため、閲覧座席数を減らす。」と記載しましたが、深層したのは館内のごく一部、グループ学習コーナーの移動式変形テーブルのみであり、時間制限や属性(学年等)による制限等も一切行っていないことから、館内全体で見ると、特に代替措置を講じるほどの利用制限には該当しないと判断している。	④その他		本学は体育会の運動部がないため。	①②③④⑤⑥⑦	
528 公立小松大学	①全面利用可能	全てのキャンパスで全面的に施設を開放している。	①③		保健医療学部(看護学科・臨床工学科)があるキャンパスの分館にて、卒業生の各種国家試験対策の学習等に配慮し、後期より開館後の時間外利用を実施。平日17時に閉館後、職員不在の17~20時は学生証で入館、自動貸出機利用で対応している。	①全面実施			①②③④⑤⑥	あ
529 石川県立大学	②一部利用制限		①③⑦	学外者の利用禁止	宅配による書籍の貸し出し、返却を可能にした(宅配料金は大学が負担)。	④その他		部活動を行う各団体において、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを作成させた上で大学で承認が得られた団体のみ活動が可能である。	①②③④⑥	
530 金沢美術工芸大学	①全面利用可能		①②③⑦	返却された本を3日間留置する。		①全面実施			①②③④⑥	
531 石川県立看護大学	②一部利用制限		①②		利用人数等を勘案したところ、今のところ代替は不要と考えている。	④その他		本学はサークル活動のみのため、「運動部活動」が存在しない。	①②③④	
532 金沢星稜大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③⑤⑥	
533 金沢工業大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
534 金沢医科大学	①全面利用可能		①③⑤			④その他	各部活から提出される感染対策方針を確認の上、許可制としています。		①②③⑤⑥	
535 北陸大学	②一部利用制限		①③		期間を限定するもの、一部講義室の開放など自習スペースの拡大について案内しています。 スキップ席として座席の利用制限を一部行っています。その代替措置として次の取り組みを行っています。1. 学外からアクセス可能な電子書籍、データベース、電子ジャーナル、オープンアクセス誌などの周知 2. 通院講義の場合にはオンラインによる個別テーマ・スライド講義 3. 通院講義の場合には学生の用途に応じた図書及び文献郵送サービス 4. 県を跨いだ移動が禁じられた場合など通学が困難時の図書及び文献郵送サービス	①全面実施			①②③④⑤⑥	
536 金沢学院大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
537 金城大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑤	
538 北陸学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
539	かなざわ食マネジメント専門職大学	①全面利用可能	特になし	①			④その他		まだ運動部活動の設置がないため	①③	
540	金沢学院短期大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
541	北陸学院大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
542	金城大学短期大学部	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③	
543	金沢星稜大学女子短期大学部	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
544	石川工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面実施	②について、平日の利用時間および利用人数に変更はなく、もともと利用の少ない土曜日を休館としただけであるので学生の学修・研究にさほど影響は出ないものと考えている。③について、産産数を減らしており、平常時は問題ないが試験期間中は座が足りていない。しかしながら、代替となる取り組みは行っていない。		①②③④⑥	
545	国際高等専門学校	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	1年生全員及び2年生の希望者を対象に、心理カウンセラーがボジティブ心理学を利用したアクティビティを年6回程度実施し、各回の終了時には希望者を対象に個別面談を行い学生の悩みや不安への対応を行っています。
546	福井大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	予防的取組みのスクリーニングテストから気がかりな学生を抽出し、呼び出しをしてセアリング後、必要に応じて定期的な面接にて継続的に支援している。
547	福井県立大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
548	敦賀市立看護大学	②一部利用制限	本学は1キャンパスである	①②③		特になし	①全面実施			①②④	
549	福井工業大学	①全面利用可能		①②③		電子書籍の拡充	①全面実施			①②③④⑤⑥	
550	仁愛大学	①全面利用可能		①②③⑤			①全面実施			①②③④⑤⑥	
551	福井医療大学	②一部利用制限		①②③			③全面制限			①②③④⑥	
552	仁愛女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
553	福井工業高等専門学校	①全面利用可能	なし	①②③		座席の利用制限やアクティビティルームの利用人数の制限は行っているが、学生の学修・研究の継続の観点から代替の取組を行う必要はないと考えている。	①全面実施			①②③④⑤	
554	山梨大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑤⑥	
555	都留文科大学	①全面利用可能		①②⑤			①全面実施			①②③④⑥⑦⑧	新入生2年生でストレスフルな学生の把握を行い、健康診断時、呼び出して面接を行っている。
556	山梨県立大学	②一部利用制限		①②③⑤		図書館ホームページの整備、情報発信の充実、VPN接続を利用し自宅からのサイトの閲覧を可能とする	①全面実施			①②③④⑤	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
557 山梨学院大学	①全面利用可能		①③⑦	・当面的間、グループ学習室は授業やゼミ、講習会、ガイダンス等。教職員管理下での利用に限定する。・当面的間、学外者の図書館利用を停止する。	・学外から一部の電子ジャーナル、電子図書が利用できるサービスを継続して実施する。・図書館の活用方法や資料の探し方についてのオンラインコンテンツを公開する。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
558 山梨山大学	①全面利用可能		①⑦	在籍学生が少ない為、基本的にはコロナ以前と同じである。		④その他		本学には運動部はありません。	①②③④⑥	
559 山梨英和大学	②一部利用制限		①②③⑤		図書の貸出やレファレンスなどの一部サービスを郵送・メール対応。図書館の利用方法などを記載した特設サイトの作成。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	入学前教育における学生相談室主導のグループワーク、1・2年次必修ゼミと学生相談室の共同教育
560 健康科学大学	②一部利用制限		①②③⑤			④その他		新型コロナウイルス感染症の地域での感染状況等を含み、許可制としている。	①②⑤⑧	心理カウンセラーや看護学部学生サポートセンターの分室を設置する等体制を強化している。
561 大月短期大学	②一部利用制限		①			④その他		該当がないため	①②③④⑥	
562 山梨学院短期大学	①全面利用可能		①③⑦	当面的間、グループ学習室は授業等で使用する際、教職員管理下での利用に限定し、学外者の図書館利用を停止する。	・学外から一部の電子ジャーナル、電子図書等が利用できるアクセスサービスを継続実施。図書館の活用方法や資料の探し方についてのオンラインコンテンツを公開。閲覧、貸出、ILL、レファレンス等のサービスを通常通り実施する。PCサービスを通常通り実施する。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
563 帝京学園短期大学	①全面利用可能		①②⑤		直接来館しなくても所蔵図書の貸出・返却等を行えるようにしている	④その他		運動部がないため部活動を行っていない	①②	
564 信州大学	①全面利用可能		①⑦	・利用者間の距離を確保するため、座席数を減らしている。・消毒作業時間を確保するため、休日の開館時間を短縮している。	・電子資料の拡充。・オンラインでの学習支援の実施。	①全面実施			①②③⑥⑦	
565 公立諏訪東京理科大学	②一部利用制限	無い	①②③⑦	個別学習室について、換気状況が悪いことから利用を制限している。	図書館外からでも使用可能な電子ジャーナル、電子ブック、データベース等の利用方法の周知、活用促進	④その他		各団体においてどのような感染対策を実施しながら活動を予定しているかを提出させ、これが感染対策として問題ないと判断できた団体に対して活動を許可する。学内で終結する活動については許可しているが、学外者を含む活動や対外試合等については、その時の感染状況等により判断する。なお、夏時期にある運動部が全国大会に出場し、大会中に他大学で感染者が発生し、その際の大会本部の対応に疑問を感じる点が多くあったため、本学としては対外試合の参加についてはかなり慎重に考えている。	①②③④⑤⑥⑦	
566 長野県立大学	②一部利用制限		①②③		図書館に来館しなくても利用可能な電子リソースの充実（電子ブックの購入等）。オンラインレファレンスの実施。	③全面制限	学内の活動レベルが3となっており、10/7時点では原則活動禁止であるため。		①②③⑤⑥⑧	寮生向け先輩学生による相談会。1年生向け先輩学生による相談会。寮生向けHOUによる相談会。学生相談社よりの発行によるメンタルヘルス情報発信。学生相談によるFD・SD研修。ゲートキーパー養成講座。
567 長野県看護大学	②一部利用制限		①②③⑤		学生からメールによる事前予約を受け付け、図書館入口で貸出図書や文献コピーの受け渡しを行う。	④その他		運動部活動がない。	①②③④⑤⑥	
568 長野大学	①全面利用可能		①②③		特になし。	①全面実施			①②③⑥	
569 松本歯科大学	②一部利用制限		①②③④⑤			③全面制限			①②③④⑤	
570 松本大学	①全面利用可能		①②③⑤		①一部データベース、電子書籍を学外からアクセスできるようにした。②郵送貸出や貸出期間の延長をした。③メール・電話での対応やレファレンスを強化した。④レポート書き方講座のオンライン配信（新入生向け）を実施した。	①全面実施			①②③⑥	
571 清泉女子学院大学	①全面利用可能	なし	①③⑦	入退館時の手指消毒、マスク着用、利用後の机等の消毒。	人的距離の確保から座席の利用制限を設けている。図書館内での利用が困難な時は貸出の対応を行っている。また、必要に応じて学生への図書の貸出はメールによる申出と、郵送による対応を行っている。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
572 佐久大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④	
573 長野保健医療大学	②一部利用制限		①③		座席の利用制限を行っているため、自習室として教室を開放している。	④その他		本学はサークルのみで運動部は存在しない。	①②③⑥⑦	
574 松本看護大学	①全面利用可能	特になし	①③		特になし	④その他		本校については、サークル活動のみのため該当なし	①③④⑤	
575 飯田女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
576 長野女子短期大学	①全面利用可能		①			③全面制限	コロナ感染防止のため		①②③⑥	
577 上田女子短期大学	①全面利用可能		⑦	学外者の利用を制限している。		④その他		活発な運動部は無い。ダンスサークル、スポーツサークル（卓球、バドミントン専攻しむ程度）、バレーボールサークルは、感染対策を講じて活動を行っている。	①②③④⑧	月に1回程度、全教職員が参加可能な学生支援会議を行い、集団守秘義務の下、心配な学生の状況について情報共有している。

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
578 松本大学松商短期大学部	①全面利用可能		①②③⑤		①一部データベース、電子書籍を学外からアクセスできるようにした。②郵送貸出や貸出期間の延長をした。③メール・電話での対応やレファレンスを強化した。④レポート書き方講座のオンライン配信（新入生向け）を実施した。	①全面実施			①②③⑥	
579 松本短期大学	①全面利用可能	特になし	①③		特になし	④その他		本校については、サークル活動のみのため該当なし。	①③⑤⑥	
580 清泉女学院短期大学	①全面利用可能	なし	①③⑦	入退館時の手指消毒、マスク着用、利用後の机等の消毒。	人約距離の確保から座席の利用制限を設けている。図書館内での利用が可能な貸出の対応を行っている。また、必要に応じて学生への圖書の貸出はメールによる申出と、郵送による対応を行っている。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
581 信州豊南短期大学	①全面利用可能		①⑦	混み合っているときは、図書のリクエストへの持ち出しを可（不混雑時のみ長い滞在の制限を行うが、図書は貸出しし学内の目録室での閲覧を認めている。	混雑時のみ長い滞在の制限を行うが、図書は貸出しし学内の目録室での閲覧を認めている。	④その他		全ての部活動を実施しているが、活動の終了時間を通常時より短くしている。	①②③④	
582 信久大学信州短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③	
583 長野工業高等専門学校	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥	
584 岐阜大学	①全面利用可能	特になし。	①②③		・貸出冊数の上限引き上げ ・郵送貸出の実施 ・貸出期間の延長 ・学外からの電子ジャーナル/ブック、データベースの利用（一部）	①全面実施			①②③④⑤⑥	
585 岐阜薬科大学	①全面利用可能	ありません。	①②		別段取組は行わない。	①全面実施			①②③④	
586 岐阜県立看護大学	②一部利用制限		①			④その他		運動部はない。	①②③④⑥	
587 情報科学芸術大学院大学	②一部利用制限		①②③			④その他		運動部はありません	①②③④	
588 中京学院大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
589 岐阜協立大学	①全面利用可能		①②③		学生の学修・研究の継続を支援するため、2020年度より、来館の必要のない電子書籍の購入を開始した。今後は、これを充実させる取組を行っていく予定である。※2については、平日17:00~18:30の延長開館および、土曜19:00~14:30の開館を一時取り止めているが、従前の利用人数は、0名~数名程度であった。※3については、1階の学習室の座席数のみ3分の2に減らしているが、現状、最大でも座席の半分が埋まる程度の利用状況であり、これによる影響はない状況である。	①全面実施		①②③④⑥		
590 岐阜女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
591 朝日大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
592 岐阜聖徳学園大学	①全面利用可能		①②③		・データベース及び電子ジャーナルの学外からのアクセス許可 ・電子書籍の導入 ・図書館内ブックログによる新着図書案内 ・図書館内機器リポジトリによる本学教員の学術研究成果物の提供 ・学術認証フェデレーションにより、本学発行のID・パスワードで学外サービスの利用を提供	①全面実施		①②④⑥⑦		
593 東海学院大学	①全面利用可能					①全面実施			①③⑥⑦	
594 中部学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
595 岐阜医療科学大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③	
596 岐阜保健大学	②一部利用制限		①③		空き教室での教室解放をお行う。	③全面制限	緊急事態宣言は解除になったが、実習があり、コロナに感染してしまうと、受け入れ不可能になるため。		①②③④	
597 岐阜市立女子短期大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑥	
598 中部学院大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
599 岐阜聖徳学園大学短期大学部	①全面利用可能	特になし	①②③		データベース及び電子ジャーナルの学外からのアクセス許可、電子書籍の導入、図書館内ブックログによる新着図書案内、図書館内機器リポジトリによる本学教員の学術研究成果物の提供、学術認証フェデレーションにより、本学発行のID・パスワードで学外サービスの利用を提供。	①全面実施		①②④⑥⑦		

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
600	正眼短期大学	①全面利用可能					④その他		運動部がない	⑧	少人数なので、担任教員や教職員が随時面談を行い、教職員が問題を共有し対応している。
601	中京学院大学短期大学部	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
602	東海学院大学短期大学部	①全面利用可能					①全面実施			①③⑥⑦	
603	中日本自動車短期大学	①全面利用可能		①⑦	利用者に氏名を記入させる		①全面実施			①	
604	大垣女子短期大学	②一部利用制限	特になし。	①②③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握をした後、UPI（精神的健康度調査）の得点が高い学生や悩みを記述した学生を個別に呼び出し、カウンセリングしている。
605	高山自動車短期大学	①全面利用可能					④その他		短期大学であり、運動部も少なく、部員も少人数であることにより、各運動部の判断に委ねている。	①③⑥	
606	岐阜保健大学短期大学部	②一部利用制限		①③		空き教室での教室解放を行う。	③全面制限			①②③④	
607	平成医療短期大学	②一部利用制限		①②③④		インターネット上で電子ブックを閲覧できるようにしている。	④その他		運動部はありません。	①②③	
608	岐阜工業高等専門学校	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
609	静岡大学	①全面利用可能		①②③		・在宅学習用のコンテンツ（自宅等からオンラインで読むことができる本や雑誌等）の増加 ・図書に関するデータベースや電子ジャーナルの活用方法等のオンラインセミナーの開催	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
610	浜松医科大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤	
611	静岡県立農林環境専門職大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③	
612	静岡県立大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥	
613	静岡文化芸術大学	②一部利用制限					②一部制限	静岡県の警戒レベルに合わせて学内方針を決定した		①②③④⑤⑥	
614	静岡社会健康医学大学院大学	①全面利用可能					④その他		運動部がない	①③	
615	光産業創成大学院大学	①全面利用可能		①			④その他		小規模校で公認の部活動はありません。	①	
616	静岡福祉大学	②一部利用制限	特になし	①②③		特になし	③全面制限	感染拡大防止のため		①②③⑤⑥	
617	浜松学院大学	①全面利用可能		①②③⑦	学外利用者の制限	実施する制限において学生の学修・研究の継続に影響を及ぼすことはないことを認識している。	①全面実施			①②③⑥⑧	成績指導の際にメンタルケアの必要な学生を、相談窓口へ紹介している。
618	静岡英和学院大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③	
619	常葉大学	①全面利用可能		①②		一部のデータベースを学外アクセス可能とした。	②一部制限	宿泊、飲食による感染リスクが高まる理由から合宿は原則中止としている。		①②③④⑥⑧	学部・研究科の単位で、独自に学生への心の支援を行っている。大学のポータルサイトや動画を活用して、学生に対して呼びかけを行っている。

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
620 静岡理工科大学	②一部利用制限		①③⑦	消毒液の設置、館内に臨時返却ボックス設置、カウンター周辺、閲覧室の清掃・除菌、返却本の除菌（一定時間の隔離、除菌シートでの拭き取り）	館外・自宅から利用できる電子資料の充実と利用範囲の拡大を図り、学生の自宅学習を支援。電子ブックや電子ジャーナルの充実、自宅からのリモートアクセス支援を提供。図書館ガイダンスや文献検索講座などWebでの受講を提供	①全面実施			①②③④⑤⑥	
621 聖隷クリスティーア大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤	
622 静岡産業大学	②一部利用制限		①②③		郵送による貸し出し、返却。	①全面実施			①②③④	
623 日本大学短期大学部	①全面利用可能		①②③⑤		・図書館利用ガイド動画の作成・図書館ガイダンスのオンライン開催・メール等を活用したレファレンスサービスの実施 ・図書貸出や文献複写の郵送サービス・郵送による返却受付 ・電子ジャーナル等の学外利用拡充・Web速習ツールの実施 ・図書館公開講座のWeb開催	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	大学独自の取組みとして、初級カウンセラーとしてのインテーカー認定制度を設け、教職員への研修を行っている。修了証には、修了証を発行している。
624 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③	
625 静岡県立大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			④その他		現在、体育会に属する運動部はありません。	①②③④⑥⑦	
626 静岡英和学院大学短期大学部	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③	
627 常葉大学短期大学部	①全面利用可能		①②		一部のデータベースを学外アクセス可能とした。	②一部制限	宿泊、飲食による感染リスクが高まる理由から合宿は原則中止としている。		①②③④⑥⑧	学科の単位で、独自に学生への心の支援を行っている。大学のポータルサイトや動画を活用して、学生に対して呼びかけを行っている。
628 浜松学院大学短期大学部	①全面利用可能					①全面実施			①②③⑥	
629 沼津工業高等専門学校	②一部利用制限	特になし	①③		特になし	①全面実施			①②③④	
630 名古屋大学	①全面利用可能		①③⑦	入館時に自動検温マスクチェックシステムによるチェックを実施。館内巡回時に、目視による図書館利用者の体調把握。	オンライン授業等に対応できるように、持ち込みPCを利用した委託可能な個人スペースを提供。ウェブ会議システムを活用したオンラインの利用相談・学習相談の受付。自宅への貸出図書・文献複写物の無料配送。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握後の取り組みとして、学生や担当教員にメール等で個別に連絡をとり、カウンセラーとの面談を行っている。
631 名古屋工業大学	①全面利用可能	なし	①②③⑦	・入館ゲート前に検温器を設置 ・図書館内各所に消毒液を設置 ・閉館後に共用設備を消毒 ・返却図書を24時間別	・「②」について、閉館後の消毒作業時間確保のため利用時間を短縮しているが、閉館時間を30分早めるとし、短縮は最小限としている。 ・「③」について、閲覧席・パソコンを間隔を空けて提供するため、席数を減らしている。 ・「④」について、学生が難しい利用者には、自宅への図書の郵送貸出を実施。学内所蔵資料の複写物やILL文献複写到着物のカウンターでの受渡しに代わる学内便送付を実施。 ・「⑤」について、閉館後の消毒作業時間確保のため利用時間を短縮しているが、閉館時間を30分早めるとし、短縮は最小限としている。 ・「⑥」について、閲覧席・パソコンを間隔を空けて提供するため、席数を減らしている。 ・「⑦」について、学生が難しい利用者には、自宅への図書の郵送貸出を実施。学内所蔵資料の複写物やILL文献複写到着物のカウンターでの受渡しに代わる学内便送付を実施。 ・「⑧」について、閉館後の消毒作業時間確保のため利用時間を短縮しているが、閉館時間を30分早めるとし、短縮は最小限としている。 ・「⑨」について、閲覧席・パソコンを間隔を空けて提供するため、席数を減らしている。 ・「⑩」について、学生が難しい利用者には、自宅への図書の郵送貸出を実施。学内所蔵資料の複写物やILL文献複写到着物のカウンターでの受渡しに代わる学内便送付を実施。	④その他	国等の施策（緊急事態宣言等）に合わせる。	①②③④⑤⑥⑦⑧	成績不振者へのクラス担当委員による定期的な面談の実施や、その面談により心的不安を抱えている学生を把握した場合は、授業への出席率の低下学生に対して、学生なでも相談室からアプローチし、教員と連携して支援している。また、学生生活に不安や孤独を感じている学生が気軽に来れるように、居所支援として、チャット等を利用した方法により、学生が孤立しないよう支援している。	
632 愛知教育大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③⑤⑥	
633 豊橋技術科学大学	②一部利用制限		①②③		1. 電子ブック・電子ジャーナル・データベースなど電子資料の学外からの利用方法を周知。また、電子ブック・電子ジャーナル資料の拡充。2. 図書館利用ガイダンス・文献情報ガイダンスをWeb（ Moodle・動画配信等）で実施。3. ILL文献複写到着物のカウンターでの受渡しに代わる学内便送付を実施。4. 図書返却方法は、カウンターでの受領に代わる常時ブックポスト返却が利用可能。5. 来学が難しい利用者には、自宅への図書の郵送貸出を実施。学内所蔵資料の複写物やILL文献複写到着物のカウンターについても自宅への送付を実施。（送付費用は大学負担）6. 図書貸出可能冊数を通常より増冊。返却期限を学内入庫不可期間を設定。7. 職員による施設利用後の消毒作業を実施することとし、閉館時間内はミーティングルーム等の部屋・産席・配架資料・端末、物品等をほぼ以前同様に使用可とする。（産席はソーシャルディスタンスを保つため減。状況により書架利用のみに限定する場合もあり。）	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
634 名古屋市立大学	①全面利用可能	別のキャンパスにおいて、換気が悪いため、一部の部屋の利用を制限している。	①②③⑦	利用者が新型コロナウイルスに感染した場合に、当該利用者の分の書架に配架中の図書にも感染予防を可能とすることにより、カウンターで目的の図書を即座に受け取れるようにしている。（感染防止のための館内滞在時間の短縮化）	・在架予約のルールを緩和し、これまでは学内他分館からの取り寄せや貸出中の図書のみ予約が可能だったが、通常利用する分館の書架に配架中の図書にも感染予防を可能とすることにより、カウンターで目的の図書を即座に受け取れるようにしている。（感染防止のための館内滞在時間の短縮化） ・出版社等から期間限定で無償提供される電子リソース等について図書館のWebサイトで随時情報提供を行った。 ・従来対面でやってきた授業連携のガイダンスをリモートで実施した他、大学院生を対象とした自由参加型の図書館利用ガイダンスについては、対面開催とリモート開催の両方を設定し、学生が参加方法を選択できるようにした。	①全面実施			①②③⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
635 愛知県立芸術大学	②一部利用制限		①②③		予約取置資料の対象を、貸出中ものから全ての貸出可能な資料へ拡大。学生の求めに応じて資料の事前兼荷・取置を行っている。			運動系サークルは、感染状況の縮小や自身体質の規制緩和等により、感染対策を指導しつつ順次活動再開を許可していく方針。	①②③	
636 愛知県立大学	①全面利用可能	特に異なる状況はない。	①②③⑦	書庫入庫等、サービスの一部については申請制を採ったり、学生の属性で利用の可否を決めている。また、複数人で集まって利用できる部屋については、使用を禁止している。	学・郵送による資料の貸出・図書を取り置き・貸出期間の拡大・データベース等の学外アクセス拡大・図書館オンラインセッション、文献検索についての動画作成提供	①全面実施			①②③④⑥	
637 愛知工科大学	①全面利用可能	キャンパスは一箇所のみである。	①			①全面実施			①②③④	
638 名古屋産業大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
639 人間環境大学	②一部利用制限		①③			②一部制限	感染対策を講じ、許可された部活動のみ活動している。		①③④⑥	
640 名古屋文理大学	①全面利用可能		①			④その他		活動を希望するサークルに対し、感染対策や活動部員名、活動時間などを記載した「活動計画書」を提出させ、審議の上、認められたサークルのみ活動を認める。	①②③⑤⑥⑦	
641 愛知みずほ大学	①全面利用可能		①③⑤			①全面実施			①③⑥	
642 愛知学院大学	②一部利用制限	運動施設等、感染リスクが高いと想定される施設設備について、制限を行っている。	①②③		電子リソース（電子ブック、電子ジャーナル、データベース）の利用促進を促すため、館内掲示、学生ポータルサイトへの発信、レファレンスでの案内などを行っている。また、COVID-19の罹患者が増加傾向にあった2020年2月より、冊子体より電子媒体の資料を重点的に取り入れた。これにより、電子リソースの利用者が大幅に増えた。	①全面実施		活動希望の部においては、毎週PCR検査の実施を話し、陰性が証明できた場合のみ活動可としている。	①②③④⑤⑧	復学時の不安や進路変更に伴う休学者のために、「休学者のための相談週間」を実施している。
643 愛知工業大学	②一部利用制限		①③		一般利用を制限することで、ソーシャルディスタンス確保した座席制限においても在学生の利用機会を確保している。	①全面実施			①②③	
644 金城学院大学	①全面利用可能		①③		特にありません。	①全面実施		各運動部に感染防止対策を記入・提出させ、大学が活動を実施することを許可した部のみ活動している。	①②③④	
645 福山女子園大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑤⑥⑦⑧	卒業生の希望者にキャリア面談の支援をしている。
646 大同大学	①全面利用可能		①②③		図書館で契約している電子ブック・データベースの一部について、自宅などの学外からでも利用できるようにした。	④その他			①②③④⑤⑥	
647 中京大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
648 名古屋学院大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
649 名古屋商科大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥	
650 名古屋女子大学	①全面利用可能		①③⑦	緊急事態宣言期間（～9/30）については利用時間を短縮（平日閉館時間 21時を20時に）	学習資料の電子媒体（電子書籍）での提供、LMS環境の拡充整備。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
651 南山大学	②一部利用制限		①②③⑦		座席については、職員による消毒作業の後、繰り返し利用可能な座席として提供。Webからのセルフ貸出更新サービスの実施。電子メール、Zoomによるレファレンスサービスや館からのILL受付の実施。学外からの電子リソース接続サービスおよび関連する利用ガイドのWeb公開。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
652 日本福祉大学	①全面利用可能	特になし	①②③⑦	入退館時に、学生証（利用証）の提示を求める	・図書館の郵送貸出サービス（送料大卒負担）や文庫の郵送サービス。・自宅からの遠隔利用を含めた学習支援のための電子書籍等の積極導入。・オンライン学習支援ポータルやオンラインレファレンスの導入検討。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
653 名城大学	②一部利用制限		①③			④その他	・座席の利用制限をしているが、十分に足りている。・閲覧制限しているが、出納にて対応している。	所属する連盟や協会等のガイドライン等で認められた活動で、感染対策を講じつつ、活動申請があったすべての運動部の活動を実施している。	①②③	
654 名古屋音楽大学	②一部利用制限		①③			④その他		運動部が存在しない。	②	
655 豊田工業大学	②一部利用制限		①②③		郵送貸出の実施、電子書籍の積極的導入	①全面実施			①②③⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
656	名古屋外国語大学	①全面利用可能		①②③		②について、グループ学習室など個室各室の利用人数の制限を行っているが、より広い部屋の利用等に変更することで対応している。③について、授業の再開を取るために利用制限を行っているが、授業は十分広がり利用上支障は生じておらず、特別な取り組みはしていない。	①全面実施			①②③④⑥	
657	名古屋造形大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
658	愛知産業大学	①全面利用可能		③		特になし。	①全面実施			①②③④⑥⑧	県、市町村の行っているメンタルヘルス等の相談機関の連絡先を記載したカード等を配付している。
659	東海学園大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑦⑧	教員からのコンサルテーションを積極的に受け入れている。学生の居場所づくりとして、学生相談室とは別にリラクゼーションルームを設けている。
660	豊橋創造大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②⑤⑥	
661	愛知東邦大学	①全面利用可能		①②③		郵送貸出サービスを行っている	①全面実施			①②③④⑥⑧	保健・学生相談センターとして、不安を抱える学生の居場所を整備している。
662	星城大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
663	愛知文教大学	②一部利用制限		①③		小規模なので座席に配慮すれば他に制限は無し	①全面実施			①②④⑥⑦	
664	桜花学園大学	①全面利用可能		①③		資料等の企画展示	①全面実施			①②⑥	
665	愛知大学	②一部利用制限		①②③		図書資料の貸し出しにあたり、郵送サービスを実施します。	①全面実施			①②③⑤⑥⑧	健康診断の際、問診票にメンタルヘルスのチェック項目を設け、チェック多数の学生には、その場で面接し学生相談室の案内（リーフレットを渡したり、予約をとる）をとしています。
666	愛知学泉大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
667	至学館大学	①全面利用可能	特になし。	①③			①全面実施			①②③④⑥	
668	中部大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
669	藤田医科大学	①全面利用可能		①③		データベースや電子ジャーナル等の学外リモートアクセスサービス	①全面実施			①②③⑦⑧	以前から担任制を導入している。そのため担任との面談により早期に学生の状態や変化を把握できている。
670	名古屋芸術大学	①全面利用可能		①③		座席の利用制限（通常の約半数）をしているが、それに伴う不都合は特に生じていないことから、それに代わる取組は行って	④その他		学生（団体）からの届出に応じ、個別の状況を確認のうえ学長が許可したもののについて活動を行う。	①②③④⑥⑦	
671	愛知医科大学	②一部利用制限	(別キャンパスはない。)	①②③④		来館を伴わない郵送による図書の貸出、複写物の提供。(郵送料・複写料金は図書館負担) 電子ジャーナル、電子書籍、データベース等への学外アクセスの環境整備、オンライン動画配信等、自宅等から利用できるオンラインリソースの新規導入。	①全面実施			①②③④⑥	
672	愛知淑徳大学	①全面利用可能		①②③	(1) 入館者、来館者の記録・管理、(2) 学生図書館サポーターの館内活動を休止	オンラインサービスを拡充している。(1) 各種の申込、①借り出した資料の期間延長、②貸出中資料の予約、③他キャンパスからの取寄せ、④資料のリクエスト(購入依頼)、⑤教員の発注申込み(メール)、②レファレンスデスクでの質問等、①レファレンス質問の受付・対応、②相互協力の受付・対応、③オリエンテーション動画版の配信、④文献探求講習会動画版の配信、⑤各種資料のIP等による配信、③電子コンテンツの利用促進、①目録(OPAC)へ目次情報を追加表示、②電子ブックの契約を拡充、③電子コンテンツ利用のための個人アカウント代行作成、④広報誌のPDFを学内向けに公開、⑤電子コンテンツの学外からの利用整備、④ウェブサイトのリニューアルや新設、①ウェブサイトの更新、②マイクロソフトTeamsの図書館専門チーム作成、⑤ 出校禁止時の対応、①資料の郵送サービスを実施	①全面実施			①②③⑧	グループワーク、メンタルヘルスに関する通信の発行(予防的観点から)
673	名古屋経済大学	①全面利用可能		①②③		小スペースのグループ学習室提供を休止する代わりに、館内の別フロアを授業等で利用できるよう予約制にしている。また、在宅で利用できる検索ツールや電子コンテンツについて整備し、情報をホームページで発信している。この他、大学が長閑の構内立ち入り禁止の措置を講じた場合には、返却期限の延長措置や、貸出図書・文献複写物の自宅郵送サービスを計画している。	①全面実施			①②③④⑤	
674	名古屋学芸大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
675	日本赤十字豊田看護大学	①全面利用可能	学外の方の利用は制限を行っているが、学生、教職員についてはクォンタム検疫状況や利用方法などを確認し、密にならないよう留意したうえで利用可としている。	①②③⑦		・学稼利用後の机・椅子(費上館)のふきとり消毒を学生各自にお断している。・返却本は図書館員が表紙等のふき取り消毒を行ったあと書架に戻している。・職員が定時に管内の仕舞やスイッチ、エレベーターのボタンなどの消毒を行っている。	①全面実施			①②③	
676	修文大学	①全面利用可能		①③		特になし	①全面実施			①②⑤⑥⑦	
677	岡崎女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
678	一宮研神大学	②一部利用制限		①②③		1. 映像配信サービスの契約 2. データベースリモートアクセス等のベンダー無償提供のサービス申込 3. 電子書籍の自宅利用	④その他	本学には、運動部がありません。		①②③④⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
679 名古屋柳城女子大学	②一部利用制限		①			①全面実施	運動部ではなく、スポーツサークル等であっても接触が多いと思われるものに関しては控えるようにしている。		①②⑤⑥	
680 名古屋国際工科専門職大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①	
681 豊橋創造大学短期大学部	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②⑤⑥	
682 愛知学院大学短期大学部	②一部利用制限		①②③④⑤		電子ブックのリモート利用について周知している。また、Webを活用した文献検索の方法を指導している。教員に積極的に質問等を行う様指導している。	②一部制限	感染対策の徹底が難しいため。		①②③④⑥	
683 名古屋文理大学短期大学部	①全面利用可能		①③		ソーシャルディスタンスを保つために座席数を減らして利用しているのみで制限の代わりに行っている取り組みはない。	④その他		運動部がない。(サークルのみ)	①②③⑤⑥	
684 名古屋女子大学短期大学部	①全面利用可能		①③⑦	緊急事態宣言期間(～9/30)については利用時間を短縮(平日閉館時間 21時を20時に)	学習資料の電子媒体(電子書籍)での提供。LMS環境の拡充整備。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
685 名古屋短期大学	①全面利用可能		①③		資料等の企画展示	①全面実施			①②⑥	
686 愛知みずほ短期大学	①全面利用可能		①③⑤			①全面実施			①②④⑥	
687 名古屋柳城短期大学	②一部利用制限		①			②一部制限	運動部ではなく、スポーツサークル等であっても接触が多いと思われるものに関しては控えるようにしている。		①②⑤⑥	
688 名古屋文化短期大学	①全面利用可能	特になし。	①			①全面実施			①②③④⑥	
689 愛知工科大学自動車短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④	
690 愛知大学短期大学部	②一部利用制限		①②③		図書資料の貸出にあたり、郵送サービスを実施します。	①全面実施			①②③⑤⑥⑧	健康診断の際、問診票にメンタルヘルスのチェック項目を設け、チェック多数の学生には、その場で面接し学生相談室の案内(リーフレットを渡したり、予約をとる)をしている
691 愛知学泉短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
692 修文大学短期大学部	①全面利用可能		①③		特になし	①全面実施			①②⑤⑥⑦	
693 愛知文教女子短期大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②	
694 岡崎女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
695 至学館大学短期大学部	①全面利用可能	特になし。	①③			①全面実施			①②③④⑥	
696 名古屋経営短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
697 愛知江南短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②	
698 愛知医療学院短期大学	①全面利用可能		③		閲覧席、グループワーク用の座席を制限しているため、別の教室を自習室として開放することで対応している。	④その他		申請方式とし、感染対策の内容を確認した上で活動を許可している。	①②③④	
699 豊田工業高等専門学校	①全面利用可能		①②		本校契約電子書籍のリモートアクセス登録、遅延に対して貸出制限緩和	①全面実施			①②③④⑤⑥	
700 三重大学	②一部利用制限		①②③④⑤		学生への所蔵図書の本館貸出や複写物の自宅配送を実施し、また、電子ジャーナル、データベース、電子ブック等の電子コンテンツの学外利用の拡充など、非来館型のサービスを提供している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	相談内容によっては、後日メールにて状況確認を行う等継続的に支援を行なっている。
701 三重県立看護大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②	
702 四日市大学	②一部利用制限		①③		座席制限はしているが、華い学生の利用には支障が出ていないので、通常利用との差はない。	①全面実施			①②④⑥	
703 星学館大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④	
704 鈴鹿医療科学大学	①全面利用可能	特になし。	①			④その他		「課外活動再開許可申請書」を提出し許可された場合、クラブ顧問確認の下、感染対策・防止対策を十分行っただけでの活動を認める。	①②③④⑤⑥⑧	学生健康診断を受診したすべての学生にVPI調査票を実施し、調査の採点で心に問題を抱えている学生を早期発見し、学生相談室と連携し面談を行っている。
705 鈴鹿大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
706 四日市看護医療大学	①全面利用可能		①②			④その他		許可制にしているため、活動額を提出している。	①②③⑤⑥	
707 三重短期大学	②一部利用制限		①②③		メール等による調べ物相談の受付、郵送貸出、閉館時も利用できる図書貸出ロッカー及び返却ポストの設置	①全面実施			①②③⑤⑥	
708 鈴鹿大学短期大学部	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
709 高田短期大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
710 ユマニク短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①④⑥	
711 鈴鹿工業高等専門学校	①全面利用可能		①③⑦	学校関係者以外の利用禁止	特になし	①全面実施			①②③④	
712 鳥羽商船高等専門学校	①全面利用可能		①②		特になし。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
713 近畿大学工業高等専門学校	①全面利用可能	特になし	①②③		特になし	①全面実施			①②③	
714 滋賀大学	①全面利用可能		①②③		対象者の範囲を拡大して文献取り寄せサービスを実施している(本館のみ)。学生を対象に、複写物の送付および郵送貸出を実施している。電子ジャーナル・データベースの学外アクセス方法を案内している。電子ジャーナル・データベースベンダーにトライアルを申し込み、学術情報へアクセスできる機会を確保している。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
715 滋賀医科大学	②一部利用制限		①②③		本学附属図書館の利用制限は学生の学修・研究に支障を与えない程度のものとなっているため、従来は休館日であった日曜日に図書館を開館する以外に、代替の取り組みは特に設けていない。	①全面実施			①②⑤	
716 滋賀県立大学	②一部利用制限		①③		ホールのホワイエとカフェテリアに自習席を設置。(ランタカイムは食事スペースとして利用)	①全面実施			①②③④⑥	
717 成安造形大学	①全面利用可能		①			④その他		本学はいわゆる体育会運動部はなく、サークル活動のみであるので④を回答しました。	①②③	
718 聖泉大学	②一部利用制限		①②③④⑤			①全面実施			①②③④⑥	
719 長浜バイオ大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
720 びわこ成蹊スポーツ大学	②一部利用制限		①②③		・学外から利用可能なWEBサービスや電子コンテンツの拡充 ・図書、文献複写無料郵送サービス	①全面実施			①②③④⑥⑦	
721 びわこ学院大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑤	
722 滋賀文教短期大学	②一部利用制限		①②③		遠隔授業の学生(面接授業日の登校が難しく配慮が必要な学生)へは、郵送(送料大負担)で対応している。	④その他		回答日現在、本学で登録されている運動部の活動はない。	①②③④⑥⑦	
723 滋賀短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
724 びわこ学院大学短期大学部	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑤	
725 京都大学	②一部利用制限		①②③④⑤		教員の要望による講義・学習用電子書籍の整備、貸出資料を自宅に郵送(郵送貸出)、学習相談や利用申請をオンラインで受付、貸出上限冊数を増加、貸出可能期間を延長、返却期限の延長可能回数を増加。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
726 京都教育大学	①全面利用可能		①③		閲覧室の座席は密にならないよう半減程度している(4-3、3年度の実用制限)。上記の座席の代替ではないが、その他の図書館利用にかかる開館日・時間、閲覧・貸出条件などはすべてコロナ禍前の状態に戻しており、学生の学修・研究の継続に与えている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
727 京都工芸繊維大学	①全面利用可能		①②③		○図書館での滞在時間短縮を目的として、事前に貸出図書の申込を受け付け、窓口にて準備する予約制度を実施している。○学生が図書館に来館する回数を削減しつつ利便性を確保するため、図書の郵送貸出を実施している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
728 京都市立芸術大学	①全面利用可能	特になし	①②③		特になし	④その他		活動申請のあった運動部活動について、感染対策の報告を求め、大学事務局にて判断を行った後、問題がない場合に活動を許可する。	①②③④⑥⑦	
729 京都府立大学	①全面利用可能		①②③		クラウド版プロキシサーバーを利用したシステムを導入し、図書館で利用可能な電子コンテンツを自宅や外出先のPCやスマホからでも利用できるようにした。	④その他		「活動計画書」を提出し、大学の許可を受けた団体は、部活動を実施できる。	①②③④⑥	
730 京都府立医科大学	①全面利用可能	全キャンパス同じ。	①③			①全面実施			①②④⑤	
731 福知山公立大学	①全面利用可能		①②③⑤		令和2年度から、図書郵送貸出サービスと文献複写郵送サービスを開始した。	④その他		サークル活動のみで、運動部活動はありません。	①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
732 平安女学院大学	①全面利用可能		①③		来校を制限して、本を郵送して自宅の手元に届くようにしている。	④その他		運動部活動は実施しておりません。	①②③④⑥	
733 大谷大学	②一部利用制限		①③		状況に応じて郵送での貸出にも対応している。	④その他		種外活動団体から、本学の定めたガイドラインに基づき、コロナ対策をふまえた実施計画書（顧問の承認及び署名捺印つき）の提出があり、大学が認めた場合に、その認めた範囲での活動を許可している。	①②④⑤⑥⑧	・ゼミ・演習の欠席が続いている学生に対し、指導教員の希望により、大学からその学生の連帯保証人に手紙を送る「長期欠席調査」を行っている。手紙には事情を確認したい旨を記しており、学生本人または連帯保証人から連絡を受けて事情聞き取りをした際に、学生の精神的体調不良があるとかつた場合は、指導教員と連携して対応にあたりつつ、保健室・学生相談室等につないでいる。 ・新入生が入学時に提出する「健康状態調査票」の内容や学生本人・指導教員等からの申し出により、授業に関して学生に悩みや不安があると分かった際、校医面談を経て、大学指定の条件と一致した場合は、授業に対しての配慮を教員に依頼する文面を配布する「配慮制度」を実施している。
734 京都外国語大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥	
735 京都産業大学	①全面利用可能		①②③		①自宅等から簡単に本を読むことができるよう、紙媒体の書籍だけでなく電子書籍も購入している。特に授業で使う専門書や英語の多読に使う資料、就職活動に必要な資料などを積極的に購入している。②日々の授業やレポート試験などで探している資料が見つからないとき、資料の探し方がわからないときには、メールでのレファレンスサービスを行っている。③新型コロナウィルスの関係でどうしても大学に来られない教員や学生に対して、借りたい資料を自宅に送る図書館の郵送サービスを行っている。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
736 京都女子大学	①全面利用可能		①③		図書館貸出郵送サービス及び文献複写郵送サービスを実施している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	学業不振の背景に心理的問題を抱える学生へ支援の手を届かせるために、成績不良学生を対象とした「学修面談制度」を介して、学科専攻および教務課と、学生相談室とが連携する仕組みを作った。教務課で抽出された成績不良学生の情報が学科専攻に伝わり、学科専攻の教員が当該学生を呼び出して面談を行い、その面談で心理的支援のニーズがありそうな学生を学生相談室が引き継ぐ、というものである。学生相談室では、それらの学生のうちの希望者に対し、カウンセリング等の心理的支援の他に、授業課題等の負担に付き添う支援を提供する。
737 京都薬科大学	②一部利用制限		①②③⑤	4-3における①の亚克力板の設置は無く換気の発行のみ、②の入館人数の制限は行わず利用時間の制限のみ行っています。。		①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
738 京都光華女子大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
739 種智院大学	②一部利用制限		①③		少人数の大学のため利用者が増える場合のみ入館者の制限を行う。	①全面実施			②③	
740 京都橘大学	①全面利用可能		①②③⑦		郵送による図書館の貸借の実施。電子書籍の購入の促進（プラットフォームを増やす）。	①全面実施			①②③	
741 同志社大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
742 同志社女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
743 京都ノートルダム女子大学	②一部利用制限		①③		希望に応じて貸出・複写の郵送サービスをしている。また、メールによるレファレンス受付を行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	キャンパス・ハラスメント防止に関するガイドラインを定めている。
744 花園大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
745 佛教大学	①全面利用可能		①②③		緊急事態宣言の解除により本学の定める活動基準のレベル引き下げに伴い、これまでの短期閉館を通常に戻すことについて現在検討中。また送本貸出や文献複写の郵送サービスを実施中。			活動希望団体からの申請・許可制とし、大学の判断により活動を認める。	①②③④⑤⑥	
746 立命館大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	「5年生以上の会」や学生サポートルーム利用者限定の「ランチャワー」、出会う機会を失った1年生のための出合いの企画、留学生と日本人学生の交流企画（「中国語カフェ」、「韓国語カフェ」、「English cafe」）、あるいは特定のグループに限定しない「全生生の出合いの広場」「哲学カフェ」「就活おしゃべり会」などの取組みをオンラインや対面で開催している。
747 龍谷大学	①全面利用可能		①②③	自宅（学外）から利用できる図書サービス（各種データベース、eBook）の拡充。通学できない理由を有する学生に対する図書等郵送サービスの継続。		①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
748 京都先端科学大学	①全面利用可能		①②③		閉館時間の短縮を行っているが、短縮しているのは夜間（20:00～22:00）で利用者が少ない時間帯のため、現時点では代わりの取組みは考えていない。		①全面実施		①②⑤⑥⑦	
749 京都精華大学	②一部利用制限	概ね①に近い運用となっているが、学生の課外活動等による教室使用については、公認学生団体のみが使用対象となっていることとの制限がある。加えて学内施設の一部（喫茶、食堂）を臨時休業していること、学内ではないが学外研修施設（丹後学舎、和太学舎）の使用停止を継続していることも施設の利用制限として考える。	①②③		学内のどこでも利用可能なデータベース検索の利用を呼びかける。メールでの文献複写・相互貸借の受付や同じくメールでのレファレンスの受付を実施。		①全面実施		①②③⑥⑦	
750 明治国際医療大学	①全面利用可能		①③		リモートアクセスにより自宅でも利用が出来る電子書籍の導入、図書および文献の郵送での提供		①全面実施		①②③⑤⑥	
751 京都芸術大学	①全面利用可能		①③		動画教材の情報提供		①全面実施		①②③④⑤⑥⑦	
752 京都文教大学	①全面利用可能		①③⑤		電子ブックの積極的購入と利用促進		①全面実施		①②③④⑤⑥	
753 嵯峨美術大学	①全面利用可能		①③		座席数は減らしていますが、元々利用者が少なかったため、満席にはなっていません。		①全面実施		①②③④⑥	
754 嵯峨美術短期大学	①全面利用可能		①③		座席数は減らしていますが、元々利用者が少なかったため、満席にはなっていません。		①全面実施		①②③④⑥	
755 京都情報大学院大学	②一部利用制限		①②		コロナ禍以前より、ACW電子図書館等への加入をしており、学生に案内している。新たにIEEE Computer Society Digital Libraryも学生に案内している。		④その他	大学院大学であるため、該当する運動部はない。	①②③⑥	
756 京都医療科学大学	②一部利用制限	特になし	①②③		分散して広く使用できるように施設を開放する		①全面実施		①②④	
757 京都華頂大学	①全面利用可能		①③				①全面実施		①②③⑤⑥	
758 京都美術工芸大学	②一部利用制限		①②③				②一部制限	学内施設（体育館）の利用再開が未調整のため。ただし、学外で対策を講じて実施するものについては禁止まではしていない。	①②③	
759 京都看護大学	②一部利用制限		①				④その他	体育会に属する運動部はない	①②③⑥	
760 池坊短期大学	①全面利用可能		①③		特に大きな影響は生じないと考えている。		④その他	運動部として活動している部活動がない。	①②③④⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
761 京都経済短期大学	②一部利用制限		①			①全面实施			①②⑥	
762 華頂短期大学	①全面利用可能		①③			①全面实施			①②③⑤⑥	
763 京都外国語短期大学	①全面利用可能					①全面实施			①②③④⑤⑥	
764 京都光華女子大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			①全面实施			①②③④⑤	
765 難谷大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		自宅(学外)から利用できる図書サービス(各種データベース、eBook)の拡充。通学できない理由を有する学生に対する図書等郵送サービスの継続。	①全面实施			①②③④⑤⑥⑦	
766 京都文教短期大学	①全面利用可能		①③⑤		電子ブックの積極的購入と利用促進	①全面实施			①②③④⑤⑥	
767 京都西山短期大学	①全面利用可能		③⑦	閉館時の消毒は欠かしておりません。	貸出しの不可の図書を1日だけ貸出し可能とする対応を講じている。	④その他		運動部はございません。	①②③④⑥⑦	
768 舞鶴工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面实施			①②③④⑥	
769 大阪大学	①全面利用可能		①③⑦	・利用者用除菌スプレーとペーパーを閲覧席近くに配置・職員による利用者共用部分の定期的な除菌・貴重資料利用以外の学外者利用停止(入館者数を減らすため)	・オンラインでの学習相談及び調査相談の実施・資料貸出期間の延長可能回数を99回に増加(従来は1回限り)	①全面实施			①②③④⑤⑥⑧	・大阪府との共同事業としてLINEによるチャット形式の心の悩み相談を実施・認知行動療法をベースにしたスマホアプリ「こころ」の活用・対面授業に不安を抱える学生への妻配慮対応・ASD大学生生活準備プログラムの実施・留学生ネットワーク会議、フロンティアスタッフミーティング開催による支援レベルの強化・授業欠席者に直接アプローチし、早期に支援することを計画
770 大阪教育大学	②一部利用制限	該当なし	①②③		利用人数の制限については、入館者統計から上限値を超えた場合に制限することになっているが、実際に超えたことは、これまでのところない。利用時間短縮は、授業の実施状況を調査し、キャンパスへの入構動向を検討したうえで、学生利用に支障の少ない閉館時刻を臨機応変に検討している。座席の利用制限は、ソーシャルディスタンスを確保できるよう、席数を減じているが、これまでのところ、席が不足するケースは起こっていない。	①全面实施			①②③⑤⑥⑦	
771 大阪市立大学	①全面利用可能		①③		密集して座らないよう座席の利用制限は設けているが、座席が不足しない程度の制限に留めている。グループ学習・アクティブラーニング用の施設利用を制限しているが、事前相談があれば、教員の同席など一定の条件を付したうえで柔軟に対応するようにしている。	①全面实施			①②③④⑥	
772 大阪府立大学	①全面利用可能	りんくうキャンパスにおいては、通常時のような自由利用ではなく、一部制限をしている。クラブ室や学生会室等については、申請時に利用内容を確認し、就職活動でのWEB面接など、どうしても必要な場合にのみ、感染防止策を指導したうえで許可している。	①③⑤		・本学学生、教員などを対象に学内文献様写物の郵送サービスを無償で実施。・来館、オンライン面方でレファレンスサービスを実施。・りんくうキャンパスにおいては、図書の閲覧・貸出を希望する場合は、個別申請により対応(図書室常駐職員がいないことから、学生が図書室に長時間滞留することを防止するため)。	④その他		事前手続きの上、許可を得た課外活動団体に対してのみ制限的な活動を認める。	①②③⑤⑥	
773 大阪経済大学	①全面利用可能		③		図書の郵送貸出(※10/11より座席制限エリアの解除)	②一部制限	活動再開にあたり、コロナ感染予防対策が十分に審査を行い、不十分なクラブに対しては、活動を認めていない。		①②③④⑤⑥⑦⑧	上記⑧に関して、館内での情報共有、遊路支援部を中心に活動方法の検討・対応、検査(VRT、GATB)の実施、外部機関との連携した支援の実施

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
774 大阪工業大学	①全面利用可能		①③		貸出し希望図書のカウンター受取予約サービスを昨年度から継続実施。	④その他		活動に当りコロナウイルス感染対策を中心とした活動計画を提出し、大学から許可を受けた団体が活動できる。	①②③④⑤	
775 大阪歯科大学	②一部利用制限		①②③④			②一部制限			①②③④⑤⑥	
776 相愛大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
777 桃山学院大学	①全面利用可能		①②③		・郵送による図書の貸出・返却サービスの実施・学外（自宅等）からでもアクセス可能なデータベース、電子ジャーナル、電子書籍の充実	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
778 摂南大学	②一部利用制限		③		3密を避けるため、従来の座席について間隔をあけるよう配慮している。このために収容可能な人数が減ることになるが、この代わりとなる取組は特に行っていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
779 桃山学院教育大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑥	
780 大阪医薬科大学	②一部利用制限		①②③⑤		1. 図書館の電子資料の学外アクセスを可能にする。 2. 図書館の電子資料の購入を増やす。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
781 大阪音楽大学	①全面利用可能		①			④その他		本学に運動部活動はありません。	①②③⑤⑥	
782 大阪学院大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
783 大阪芸術大学	①全面利用可能		①②③		学生の学修・研究の継続に支障となるような制限を設けていないと認識しています。基本的な感染対策（3密を避ける）の一環として、座席の利用制限と開館時間の短縮を行っているのみで、閲覧や貸出、レファレンスについては以前と変わらないサービスを提供出来ていると考えています。（利用人数の制限、書架の閲覧制限等は行っていません。）あえて付け加えると、学外からでも資料を利用できる電子書籍の量を増やすような取組方針にしたことや、オンラインによる図書館ガイドスの実施を試みています。	①全面実施			①②④⑥	
784 大阪産業大学	②一部利用制限		①②③			④その他		部活動については全面的に禁止の方針ですが、公式戦前等一定の条件のもと活動を許可しています。また、それぞれの競技連盟等の方針に則り、状況に応じて適時確認をしています。	①②③⑥	
785 大阪樟蔭女子大学	②一部利用制限		①③		・学内限定データベースをリモートアクセス可能とする。・図書の郵送貸出サービス・文献複写の郵送サービス・電子書籍の購入・新規電子図書館の導入・オンラインでの文献探索ガイドスの実施・Web展示（「ブックログ」を利用）	①全面実施			①②③④⑥⑦	
786 大阪商業大学	①全面利用可能		①②③		・図書館資料貸出郵送サービス ダンス（蔵書検索の仕方）	①全面実施			①②③④⑥⑦	
787 大阪体育大学	①全面利用可能		①②③		データベース等について、学外からの利用10等による利用促進を行っている。	①全面実施			①②③⑥⑧	マンツーマンで対応し、進捗管理を徹底し、解決に向け寄り添い、内定、卒業、入社まで対応する。また、状況によっては専門分野へリファーする場合もある。
788 大阪電気通信大学	①全面利用可能		①③⑦	郵送での貸し出し対応している		①全面実施			①②③	
789 大阪大谷大学	①全面利用可能		①③		電子ジャーナル及び電子書籍の一部を学外から閲覧できるようにした。	①全面実施			①②③④⑥	
790 追手門学院大学	②一部利用制限		①②③		「電子書籍」の拡充をしている。	④その他		公式戦および公式戦に準ずる活動に伴う練習については、要望を出させ、許可制で実施を認める。	①②③⑤⑥⑧	令和3年度前期に、臨床心理士・公認心理士資格を持つ相談員が、希望する学生に対してグループワーク（ストレスコーピング）をオンラインにて行った。※学生相談室主催。同様の取組を後期にも行う予定である。又、就職活動支援においては、就職支援事業所と大学・学生による支援体制を目指すための説明会を実施している。

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
791 関西大学	①全面利用可能		①③		図書館の貸出期間の延長や貸出中の資料の予約および図書館の取寄せについて、オンラインにて申し込めるサービスを行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	友達づくりを支援する交流サイト「触れずにフレンズ」を開設した。
792 関西医科大学	①全面利用可能		③		以前から講義室を自習室として使わせるなど対応しているの で、特に取り組んだことはない。		④その他	コロナ対策を記載した申請書を大学 に提出させ、許可がおりた部活動の み実施可能としている。	①②③④	
793 関西外国語大学	①全面利用可能		①③⑦	ラーニングコモンズでのグループ利用禁止	従来、学内のみで参照可能であったデータベース検索と電子B OOkについて、学外でも参照できるようにした。	①全面実施			①②③⑤⑥	
794 近畿大学	①全面利用可能		①③		現在（2021年10月5日時点）も閲覧席の開き利用を継続してい るが、図書館に加え、アカデミックセンター（ビブリオテ ア）の閲覧席や自習室を利用することで、座席の不足は生じ ていない。また、データベース、電子ブックの充実も進めてい く予定。		①全面実施		①②③④⑥⑦	
795 四天王寺大学	②一部利用制限		①②③⑤	郵送による図書貸出（郵送料大学負担）			④その他	感染対策を講じることのできる団体 のみ活動を許可している。	①②③⑤⑥	
796 帝塚山学院大学	①全面利用可能		①③		電子書籍の導入を検討している。		①全面実施		①②③④⑤⑥⑦	
797 梅花女子大学	①全面利用可能		①				①全面実施		①②③④⑥	
798 阪南大学	①全面利用可能		①③		自宅郵送貸出サービス、文庫複写物自宅郵送サービス、Web(オ ンライン) レファレンス、情報ツールの動画作成		①全面実施		①②③④⑤⑥	
799 大阪経済法科大学	①全面利用可能		①②③		図書貸出および複写の郵送サービス、電子ブックの拡大、電子 ジャーナル及びデータベースの学外アクセスの拡大、貸出期間 の延長	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	学生相談室の利用方法や相談内容等に係る案内（チラシ）を春 学期成績発表時に全学生に配布している。また、悩みや不安を 抱える学生の把握後は、関連部署や担当教員との連携を図りな がら、授業への配慮依頼等を行っている。
800 大阪国際大学	①全面利用可能		①②③⑤		■電子書籍・電子ジャーナル・データベースについては、常 時、学外からも利用できるように対応。■レファレンス・情報 リテラシー支援については、学生一名から大人数のグループま で、図書館員が200等のWeb会議システムを使用して遠隔対 応。＜今後、学生の発着が禁止または厳しく制限されること が生じた場合には以下についても対応＞■図書等の貸出につい ては、郵送での貸出や返却期限の自動延長を実施。■文献複製 については、送料を大学が負担して自宅や自宅へ郵送。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
801 関西福祉科学大学	①全面利用可能	特記事項なし	①	特記事項なし	特記事項なし		①全面実施	特記事項なし	①③④⑥	特記事項なし
802 太成学院大学	①全面利用可能		①				①全面実施		①⑥	
803 常磐会学園大学	①全面利用可能		①②⑦	卒業生のみメール、あるいは電話での予約が必要	外部よりスマートフォン等で検索が可能であり、郵送による貸 し出しを行なっている。		④その他	運動部はないが、運動系サークルに ついては①を予定。	①②③④⑧	客観や自身の感染に対する不安で通学できない学生向けに履修 プログラムを準備している。
804 大阪観光大学	②一部利用制限		①③		座席の利用制限が中心で大きな影響もないことから、特に代わ りの取組はしておりません		①全面実施		①②③⑥	
805 大阪人間科学大学	①全面利用可能		①⑦		入館時における手洗い及びアルコールによる手指の消毒並びに マスク着用の徹底		①全面実施		①②③⑤	
806 羽衣国際大学	①全面利用可能		①				②一部制限	部活動が感染拡大やクラスター発生の大きな要因となっている ことから、強化クラブを除き、他のクラブは活動を禁止する予 定。	①②③④⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
807	大阪成蹊大学	②一部利用制限		①②③		学部、学科の構成に合った初學者用図書や専門図書に関しては、電子BOOKを多く導入し、図書館から閲覧可能とする。	①全面実施			①②③④⑥⑦	
808	関西医療大学	②一部利用制限		①②③		データベースのリモート利用	③全面制限	新型コロナウイルス感染症予防のため		①②③⑥⑦	
809	千里金蘭大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤	
810	東大阪大学	②一部利用制限		②			①全面実施			①②③④	
811	大阪女学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
812	島野大学	①全面利用可能		①			④その他	活動の希望があり、大学が許可したものについて活動を認める。		①②③④⑤	
813	大阪青山大学	①全面利用可能		①③		在学生からの文獻複写申し込みを学外からも受け付けることができないか検討中。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
814	四條畷学園大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③④⑤	
815	大阪河崎リハビリテーション大学	①全面利用可能		①③			③全面制限	後期授業に係る10月のPCR検査実施期間中はすべて禁止としている。その後、社会情勢をみて活動を再開する予定		①②③④⑤⑥	
816	大阪総合保育大学	②一部利用制限		①			③全面制限			①②③⑥	
817	森ノ宮医療大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
818	大阪保健医療大学	①全面利用可能		①②③⑦	感染状況によっては、貸出のみの対応としている。	特になし。	①全面実施			①②③④⑥	
819	大阪物産大学	②一部利用制限		①②③		電子書籍を積極的に購入し、学外で利用可能な資料を増やす。電子書籍の利用サービスについて、学生に周知する機会を増やし、利用を促す。	④その他		部活動及び対外試合は、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」等の、新型コロナウイルスの感染拡大対策が発令されている場合は、対面での活動を休止とする。(オンラインでの活動は可)「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」等の、新型コロナウイルスの感染拡大対策が解除後は、対面での部活動及び対外試合を再開とする。講義がハイブリット講義など対面での講義開始の場合は、放射線取扱主任者研究会(等の勉強会)及び、SOEC(英語部)等、文化系の部活動の対面での活動を許可する。	①②③④⑥	
820	滋慶医療科学大学	①全面利用可能		①			④その他		今年4月に新設した単科の学部で在学学生は1年生のみであり、これまでコロナ禍の下で部を止めとするサークル活動については実質的な活動がなされていなかった。今後、感染状況等を踏まえながら、まずは部に限らない自治活動・サークル活動全般についての取組を、学生と大学側が連携して始めていく予定である。	①②③④	
821	大阪行岡医療大学	①全面利用可能		①③		図書館以外の場所に自習スペースを設けている	①全面実施			①②③④⑥	
822	大和大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑥⑦	
823	大阪国際工科専門職大学	①全面利用可能		③			④その他		運動部を持っていない。	①③	
824	平安女学院大学短期大学部	①全面利用可能		①③		本の郵送サービスを実施し、来校が難しい学生に本の貸し出しを行っている。	④その他		運動部活動は実施していません。	①②③④⑥	
825	大阪キリスト教短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③⑥	
826	大阪城南女子短期大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③	
827	大阪夕陽丘学園短期大学	②一部利用制限	特になし	①③			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
828	大阪信愛学院短期大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④	
829	大阪成蹊短期大学	②一部利用制限		①②③		学部・学科の構成に合った初學者用図書や専門図書に関しては、電子BOOKを多く導入し、図書館から閲覧可能とする。	①全面実施			①②③④⑥⑦	
830	大阪女学院短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
831	関西外国語大学短期大学部	①全面利用可能		①③⑦	ラーニング commonsでのグループ利用禁止。	従来、学内のみで参照可能であったデータベース検索と電子目録について、学外でも参照できるようにした。	①全面実施			①②③⑤⑥	
832	常磐会短期大学	②一部利用制限		①②	卒業生のみメール、あるいは電話での予約が必要	外部よりスマートフォン等で検索が可能であり、郵送による貸し出しを行っている。	④その他		遠隔授業期間のみ部活動を禁止している。	①②③④⑤⑥⑦	
833	堺女子短期大学	②一部利用制限		①③⑦	書籍の閲覧は可、貸し出し中止。CD・DVD等は閲覧・貸し出し中止。		④その他		現在、本学に運動部活動はない	②⑥	
834	大阪音楽大学短期大学部	①全面利用可能		①			④その他		本学に運動部活動はありません。	①②③⑤⑥	
835	大阪学院大学短期大学部	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
836	大阪千代田短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①③④⑥	
837	関西女子短期大学	①全面利用可能		①③		貸出期間を通常よりも長く設定している。	①全面実施			①②③⑥	
838	近畿大学短期大学部	①全面利用可能		①③		現在（2021年10月5日時点）も閲覧席の開き利用を継続しているが、図書館に加え、アカデミックシアター（ピリオシアター）の閲覧席や自習室を利用することで、座席の不足は生じていない。また、データベース、電子ブックの充実も進めている予定。	①全面実施			①②③④⑥⑦	
839	四條畷学園短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑥	
840	四天王寺大学短期大学部	②一部利用制限		①②③⑤		郵送による図書貸出（郵送料大学負担）	④その他		感染対策を講じることのできる団体のみ活動を許可している。	①②③⑤⑥	
841	大阪国際大学短期大学部	①全面利用可能		①②③⑤		■電子書籍・電子ジャーナル・データベースについては、常時、学外からも利用できるように対応。■レファレンス・情報リテラシー支援については、学生一名から大人数のグループまで、図書館員がZoom等のWeb会議システムを使用して遠隔で対応。＜今後、学生の発着が禁止または厳しく制限されることが生じた場合には以下についても対応＞■図書館等の貸出については、郵送での貸出や返却期間の自動延長を実施。■文献複写については、送料を大学が負担して自宅や下宿へ郵送。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
842	東大阪大学短期大学部	②一部利用制限		②			①全面実施			①②③④	
843	藍野大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			④その他		部活動はない。	①②③④⑥	
844	大阪健康福祉短期大学	①全面利用可能		①			④その他		現在、運動部が存在していない。	①②③⑤	
845	大阪府立大学工業高等専門学校	①全面利用可能		①③		感染対策のため、座席数を一部減らしているが、図書館以外のスペースの使用を案内して対応している。	①全面実施			①②③	
846	神戸大学	②一部利用制限		①②③		・郵送による資料貸出・チャットでの質問（利用案内／参考調査）交付・在宅学習・研究に利用できるコンテンツの案内	④その他		運動部活動を学内外で行うにあたっては、学生からの申請書により、関連の委員会等での審議の上、行うことを許可している。	①②③⑥⑦	特になし。
847	兵庫教育大学	①全面利用可能		①②③		郵送貸出	①全面実施			①②③④⑤⑥	
848	神戸市外国語大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
849	神戸市看護大学	①全面利用可能					④その他		運動部なし	①②③④⑥	
850	兵庫県立大学	①全面利用可能		①			④その他		学生から申請を受け、感染対策を確保した上で、ガイドラインの遵守を条件に許可することとしている。	①②③④⑤⑥	
851	芸術文化観光専門職大学	②一部利用制限		①			④その他		今年度（新設した大学のため）運動部は活動していない	①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
852 甲南大学	①全面利用可能		①②③		学内にオンライン学習が可能なスペースを拡大するほか、郵送での本の貸し出しや文献複写物の郵送サービス(無償)、電子コンテンツの拡張、オンラインでの図書館ガイダンスの実施など。			各運動部が学生部に対し感染対策を兼ねた実施計画を提出し、認められた運動部に対し活動を許可している。	①②③④⑤⑥	
853 甲南女子大学	①全面利用可能		①②③		1回につき最大2冊まで、無料で貸出図書配達サービスを実施している。また、1回につき最大20冊まで、学内所蔵資料を複写した文献、または他館から取り寄せた文献を、無料で自宅へ郵送している。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
854 神戸海星女子学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
855 神戸学院大学	①全面利用可能		①②③		現在図書館は、大学の方針に従って、開館時間を2019年までの開館時間より短縮し、館内に入場できる人数を大学のガイドラインに従って座席を間引くことにより密回避をしている。しかし③にある書架の制限は行っていない。	④その他		運動部からの申請によって、具体的な感染対策を確認したうえで活動を許可する。	①②③④⑤⑥⑦	
856 神戸女子大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤	
857 神戸薬科大学	①全面利用可能	ない。	①③		学修・研究のための資料閲覧環境を確保することを目的として、次のおり、電子ジャーナル・電子ブックの利用を促進する取り組みを行っている。・リモートアクセスの利用方法について随時情報を発信。それらの情報をリスト化しWebサイトに掲載している。・OPAC(所蔵検索)で電子ブックの検索も可能とすることで、利用可能な資料の情報を一元化している。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
858 神戸親和女子大学	①全面利用可能		①②③④			①全面実施			①②③⑤⑥	
859 神戸国際大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	オンライン授業に向き合えない学生対象に保健センター登校を促して、自習室での学習の場を提供し、不安や悩み事に対応している。
860 兵庫大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
861 神戸常盤大学	②一部利用制限		①③		電子書籍を増加した。学外からの電子資料へのアクセスを可能とした。webで行える機能を拡大(メールでのレファレンス・文献複写申込み・リクエスト・web運営・web上でのブックリユース申込み)をした。HPにオンデマンドガイダンス資料を公開・文献検索ガイダンスを遠隔で実施等の学習支援を継続している。	④その他		クラブ期間が活動を認められた場合、感染対策ガイドラインを学生委員会に提出し、学生委員会が承認した活動を認めている。	①②③	
862 宝塚医療大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤	
863 芦屋大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①②③⑥	
864 大手前大学	①全面利用可能	特になし	①③		授業の空き時間は教室を開放。	②一部制限	事前に活動内容、感染対策等を盛り込んだ申請書を提出し、認められた部のみ許可。		①②③⑤⑥	
865 関西学院大学	①全面利用可能		①②③⑦	自動貸出機の設置	非来館型の図書館サービスの拡充に努めている。具体的には、学習や就職活動の準備等のために、大学図書館が契約している各種データベース、電子ジャーナル、電子ブックの提供とともに、学外からそれらを開覧できるようにリモートアクセスサービスを整備・提供。・貸出図書や文献複写物の自宅への郵送サービスの実施。・大学図書館Webサイトに、テーマに応じた電子情報を紹介する各種コンテンツを作成・掲載・オンラインでのレファレンス対応。など	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
866 甲子園大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑥⑦	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
867	神戸女学院大学	②一部利用制限		①②③		図書館は本学が決定している行動基準方針に準じて利用制限等を行っており、現段階の基準においては各図書館（室）とも感染拡大防止に最大限留意して閉館することが義務付けられている。コロナが蔓延して基準が上がり、予約閉館などやむを得ず利用制限が必要になった場合は、図書搬送貸出・文献複写物 ①全面実施 ①全面実施				①②③⑥	
868	園田学園女子大学	①全面利用可能	特にありません。	①②③⑦	着席利用した場合には「図書館利用報告書」に、着席場所や利用時間を記入して退館時に提出、及び利用した机の消毒作業を利用者が行う。	学外から利用できる以下のサービスを、ホームページ・学生ポータルサイト等で周知する。（電子書籍・電子ジャーナル・データベースの利用、図書予約・希望図書購入・相互利用の申込み、図書館利用指導や検索指導の資料のダウンロード、郵送による貸出・返却）	①全面実施			①②③⑥	
869	武庫川女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑧	面談の実施、授業配慮の提案や支援部署のサポート等
870	兵庫医科大学	②一部利用制限		①②③		十分な座席を確保しているため、影響は少ないと思われる。	①全面実施			①②③④⑤⑧	1) コロナ禍以降、特に低学年のドロップアウト防止のための対策として、相談対応の主な実務担当者（医学教育センター、第1-2学年次の学年担任、学生保健室、学生相談室等）が参集し、支援が必要な学生に関する情報共有と意見交換の場を定期的に設けることとしており、連携を密にそれぞれの立場から学生にアプローチして必要なサービスにつなげる体制を取っている。2) コロナ禍以降、下宿先の学生と連絡が取れない等、遠方の保護者の方からの相談が増加傾向にあるため、保護者についてもZOOMを用いたオンライン面談を行い、必要に応じて学生にアプローチしたり、学生の許可を得た上で保護者に情報提供する等して対応している。
871	姫路獨協大学	②一部利用制限		②		図書返却ポストを開館中でも密を避けるため利用可能としている。	④その他		運動部の活動を行う場合、管轄する学生課に申請し許可が得れば活動可能としている。ただし週の数と1回の活動時間制限を設けている。	①②⑥	
872	流通科学大学	②一部利用制限		①③		通学が困難と認められた学生に対する図書の郵送貸出し返却サービスを実施	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
873	神戸芸術工科大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活・国際交流課、学生相談室カウンセラーと月1回ミーティングを実施。メンタルヘルスクアが必要な学生等の情報共有を行い、その後の支援につなげている。
874	関西福祉大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤	
875	関西国際大学	①全面利用可能	なし	①②③		ZOOMでのガイダンス、電子書籍の拡充、データベースの拡充、郵送貸出の実施（一部の期間は無料での郵送貸出を実施）	④その他		「活動開始申請書」「感染防止計画書」を学生課に提出し、許可を受けた運動部は活動を実施する。	①②③④⑤⑥	
876	神戸医療福祉大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③	
877	神戸情報大学院大学	②一部利用制限		②⑦	学生数が少なく、学生の情報収集もネットが主流なので、もとも利用者数が少ない。		④その他	(本学は専門職大学院であり) 運動部が存在しない。		①②③④⑥	
878	関西看護医療大学	②一部利用制限		①②③			③全面制限				

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
879	兵庫医療大学	①全面利用可能		③		・郵送貸出サービス・複写物（学内所蔵資料）郵送サービス・電子ジャーナル、電子ブック、データベースへの学外からのアクセス	①全面実施			①②③⑤	
880	姫路大学	①全面利用可能		①②③⑤	・契約電子ジャーナル、データベース、電子書籍の学外アクセス手段の提供。・郵送貸出、郵送返却（いずれも費用は申込者負担）の受付。・所蔵資料の複写物郵送サービス。・レファレンスサービスのweb申請と回答。図書館間相互利用で取り寄せた文献複写物の自宅への郵送（費用は図書館負担）。・学生購入希望図書、図書館間相互利用など各種図書館サービスのweb申請。・図書館利用や文献検索に関する動画資料の作成、提供。・オンライン講習会の実施		①全面実施			①②③⑤⑥	
881	大阪芸術大学短期大学部	①全面利用可能		②③			④その他		各運動部の自主性に任せている	①②③	
882	大手前短期大学	①全面利用可能	特になし	①③		授業の空き時間は教室を開放。	①全面実施	事前活動内容、感染対策等を盛り込んだ申請書を提出し、認められた部のみ許可。		①②③⑤⑥	
883	神戸女子短期大学	①全面利用可能		①②③⑤		電子資料の学外アクセスを可能にした。図書・文献複写の郵送サービスを行う（郵送料は大学負担）。	④その他		「クラブ活動における感染拡大防止対策に関する誓約書」「活動計画書」の提出に基づく、学生部による許可制	①②③④⑤⑥	
884	神戸常盤大学短期大学部	②一部利用制限		①③		電子書籍を増加した。学外からの電子資料へのアクセスを可能とした。webで行える機能を拡大（メールでのレファレンス・文献複写申込み・リクエスト・web図書・web上でのブックリユース申込み）をした。HPにコンテンツガイドライン資料を公開。文献検索ガイダンスを遠隔で実施等の学習支援を継続している。	④その他	クラブ顧問が活動を認めた場合、感染対策ガイドラインを学生委員会に提出し、学生委員会が承認し活動を認めている。		①②③	
885	福栄短期大学	①全面利用可能		①②⑦	実習で活用する本の返却費用を補助する。	遠隔授業が継続された為に、実習貸出期間延長の対応を行っている。	③全面制限	本学のフェーズ4では、中止にしている。		①②③⑥	
886	豊岡短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
887	甲子園短期大学	①全面利用可能		①			④その他		活動している運動部がないため	①②③	
888	神戸教育短期大学	①全面利用可能		①③		座席を制限しても余裕があるので、特に取り組む事はない	④その他		運動部がない	①②③	
889	聖和短期大学	①全面利用可能		①②③		非来館型の図書館サービスの拡充に努めている。具体的には、学習や就職活動の準備等のために、大学図書館が契約している各種データベース、電子ジャーナル、電子ブックの提供とともに、学外からそれらを開覧できるようにリモートアクセスサービスを整備・提供。・貸出図書や文献複写物の自宅への郵送サービスの実施。・大学図書館Webサイトに、テーマに応じた電子情報を紹介する各種コンテンツを作成・掲載。オンラインでのレファレンス対応。など	④その他		運動部はありません。	①②③④⑥⑦	
890	園田学園女子大学短期大学部	①全面利用可能	特になし。	①②③⑦	着席利用した場合には「図書館利用報告書」に、着席場所や利用時間を記入して退館時に提出、及び利用した机の消毒作業を利用者が行う。	学外から利用できる以下のサービスを、ホームページ・学生ポータルサイト等で周知する。（電子書籍・電子ジャーナル・データベースの利用、図書予約、希望図書購入、相互利用の申込み、図書館利用指導や検索指導の資料のダウンロード、郵送による貸出・返却）	①全面実施			①②③⑥	特になし。
891	産業技術短期大学	①全面利用可能		①②③		各学科で決められた教室を自習室として開放し、学修できるように設定している。また、資料の返却期限について、遠隔授業日にある際は、柔軟に対応している。なお、利用時間の制限は、全て対面授業に戻った時には元の開館時間に戻す予定。	③全面制限	本学のコロナ感染拡大防止の活動方針に伴い、運動部の活動（全クラブ・サークル）を禁止している（10月7日時点）		①②③④⑥	
892	東洋食品工業短期大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④	
893	兵庫大学短期大学部	①全面利用可能		①③		特になし。	①全面実施			①②③④⑥	
894	淡川短期大学	①全面利用可能					①全面実施			①②③④⑤⑥	
895	武庫川女子大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥⑧	面談の実施、授業配慮の提案や支援部署のサポート等
896	姫路日ノ本短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑥	
897	明石工業高等専門学校	②一部利用制限	特になし。	①③		特になし。	①全面実施			①②③④	
898	神戸市立工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
899	奈良教育大学	①全面利用可能		①③		特になし	①全面実施			①②③④⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
900 奈良女子大学	②一部利用制限		①②		図書館（学術情報センター）では、感染予防対策のため、図書館内にある教室の利用（取替）可能人数に制限をかけている（同様の制限を全学的にもかけている）。取替が可能な人数の場合に授業を実施いたぐため、人数超過の場合には、別教室での実施、または遠隔授業へ切り換えている。			次の①②③をすべて満たす活動内容に限って許可申請を受け付けその内容を審査し、結果を連絡している。 ①1日2時間以内で少人数（目安4名）での屋外での活動②期間が指導助言できる日種のみ活動③学内者のみの活動とし、学外者との活動は禁止上記①②③より緩和した活動内容の許可を申請する場合は、事前に関から緩和理由及び内容等についてメールで申請し、理事（教育・学生担当）がその趣意、内容を審査し結果を連絡する。	①②③④⑤⑥⑦	
901 奈良先端科学技術大学院大学	②一部利用制限		①③⑦	机上のアルコール消毒	座席数を減らしているが、満席になることはないので、特に講じていない。	④その他		本学は小規模の大学院大学であり体育会が存在しない。	①②③⑤⑥⑧	修了までに就職先が決まらなかった修了生や転職希望の修了生に対してキャリア相談を実施している。
902 奈良県立医科大学	②一部利用制限		①②③		特になし	④その他		練習計画書を提出し、許可された運動部は活動を実施する予定。	①②③④	
903 奈良県立大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③⑥⑦	
904 帝塚山大学	②一部利用制限		①②③		貸出冊数の増、貸出期間の延長、データベースの学外利用、送付貸出対応	①全面実施			①②③④⑥	
905 天理大学	①全面利用可能		①③⑦	郵送による館外貸出返却サービスを実施。（送料は受益者負担）登録配慮学生やオンライン授業に対応するため。		①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
906 奈良大学	①全面利用可能		①②③		学外からのデータベース利用を可能としている。送本貸出を可能としている。	①全面実施			①②③④⑥⑦	
907 奈良学園大学	②一部利用制限		①③			①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
908 畿央大学	②一部利用制限		①②③		登学できない学生に対する郵送対応、貸出期間の延長など。	①全面実施			①②③④⑥⑦	
909 天理医療大学	②一部利用制限		①②③			④その他	本学には運動部は存在しない		①②③④⑥	
910 奈良芸術短期大学	①全面利用可能		①③			④その他	運動部はない		①③⑥	
911 奈良佐保短期大学	①全面利用可能		①③			④その他	運動部はなし		①②③④⑥	
912 白鳳短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①③④⑥	
913 奈良工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		特に代替の取組は行っていない。	①全面実施			①②③④⑤	
914 和歌山大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
915 和歌山県立医科大学	②一部利用制限		①②③⑤		学外から電子リソースにアクセスできるようリモートアクセスサービスツールを導入し、同時に電子書籍や学術情報データベース等利用できる電子リソースを拡充している。	②一部制限	コロナ禍における活動指針に反したため。		①②③④	
916 高野山大学	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③⑤⑥	
917 和歌山信愛大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③⑤	
918 和歌山リハビリテーション専門学校	①全面利用可能					④その他		開学年度でもあり、今のところ活動自体がない	①⑤	
919 和歌山信愛女子短期大学	①全面利用可能		①②			④その他		運動系クラブがない	①②③④	
920 和歌山工業高等専門学校	①全面利用可能		①③		郵送での図書貸出	①全面実施			①②③④⑤	
921 鳥取大学	①全面利用可能		①②③		間隔確保のため、閲覧席数を半数程度に制限している。自宅学習・研究に利用可能なコンテンツをまとめたウェブページ、講習会・利用案内動画の公開、電子書籍購入強化を行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
922 公立鳥取環境大学	①全面利用可能		①②③⑤		(1) 借受希望資料(図書、雑誌)の事前取り置きサービスを実施。メールにより希望する資料の交付を、貸出の可否について返信。貸出可能な図書については、来館または郵送で対応している。貸出可能な雑誌については、来館のみで対応している。(2) メールによるレザレンサービス及び他館からの資料取り寄せサービスを実施。他館から取り寄せた資料の受け渡しは、来館のみで対応している。	①全面実施			①②③⑤⑥	
923 鳥取看護大学	①全面利用可能		①		各種講座のオンライン配信	①全面実施			①②③④	
924 鳥取短期大学	①全面利用可能	特になし	⑦	入口での手指消毒 利用後、机の除菌	特になし	④その他		感染対策について顧問に協定し、許可を得てから活動している。	①②③④⑤⑥	
925 米子工業高等専門学校	①全面利用可能	なし	①③		1.アクリル板の設置台数を増やし、利用可能な座席数を増やす(予定) 2.空き教室を、自習室として開放(予定)	①全面実施			①②③④⑧	長期休業明けに学生相談室からのお知らせを全学生・教職員にメール連絡している。
926 鳥根大学	①全面利用可能		①②③		・オンラインで利用できる資料(電子ブック等)やチュートリアルの充実 ・オンライン会議システムを使用した情報検索講習会の実施 ・バーチャルツアー(VR図書館ツアー)のPRでの公開 ・医学・看護学関連の電子ブック、文献データベース、診療支援ツール等にアクセスしやすく専用のページを作成した。 ・文献検索講習会の動画を制作し、授業の中で利用してもらっている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
927 鳥根県立大学	②一部利用制限		①②③		座席の一部利用制限をかけているもの十分な座席数が稼働しており、代替措置は講じていない。	②一部制限	(出雲キャンパス)臨地実習があるため、しっかりと健康観察を行う必要があるため		①②③④⑤⑥	
928 鳥根県立大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
929 松江工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		②について、今年度は、夜間及び土曜日開館を再開し、平日については1時間短縮(8時45分~19時閉館)したが、制限の代わりを行う取組は特に行っていない。③について、対面の利用席についてのみ、片側を利用制限しているが、制限の代わりを行う取組は特に行っていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
930 岡山大学	②一部利用制限	情報実習室の教育用パソコンについて、授業以外での学生の個人利用を制限している。また、学生の自主学習スペースのうち、換気の仕組みが不十分なスペースについて、利用を制限している。	①③		・電子ブックの購入 ・電子ジャーナルの利用促進	①全面実施			①②③④⑤⑥	
931 岡山県立大学	①全面利用可能		①③		・電子ブックを重点的に購入し充実を図る ・電子ブック、電子ジャーナル等のオンライン資料に自宅などからもアクセス可能な仕組みを導入し、図書館に来館しなくても閲覧可能にする。 ・講習会、選書イベント等をオンラインで実施する。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
932 新見公立大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
933 吉備国際大学	①全面利用可能	なし	①③		座席数を減らしているが、学修、研究の妨げにはならないと考える。	①全面実施			①②④	
934 岡山商科大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④	1. 学生の悩み一学生課一学生相談室この流れで学生への対応を行っている。 2. ゼミ担当教員による面談を年2回実施している。 3. 2020年度はコロナの為に中止したが、保護者を年1回開催している。 4. 欠席調査による出席状況の悪い学生にはゼミ担当教員から指導している。
935 岡山理科大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
936 くらしき作陽大学	②一部利用制限		①②③		特になし	②一部制限	感染対策の徹底が困難なため。		①②④⑥	
937 ノートルダム清心女子大学	①全面利用可能		①②③		郵送による貸出返却、メールによる複写申し込み、メールによる購入希望図書の受付、図書館ガイダンスオンライン対応を行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	学内連携を図るために、「学生支援相談連絡票」を作成し、対応のための情報共有を行っている。
938 川崎医科大学	②一部利用制限	なし	①②③		学生の自修室の利用時間を延長している。	①全面実施			①②⑧	各学年に学年担当・副担当を配置、さらに学年編割りで8名程度の小グループを作り、各小グループに教員2名を配置しており、面談等を通して学生の状況を把握している。

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
939	就実大学	①全面利用可能		①②③⑤		貸出冊数の拡大、返却期限日の延長、複写物や図書の郵送、ポータルサイトやキャンパスメールを利用した文献複写依頼、貸借依頼、参考調査、図書購入リクエストの受付を実施。また、契約しているデータベースについては、契約業者と協議し、学外から利用できるよう、ID/PWの発行やポータルサイト内でのURL設定等を行った。電子ブックについても、同様に、学外から利用できるよう臨時ID/PWの発行を依頼した。これらの内容が学生に伝わるよう、e-learningシステムWebClassに図書館ガイダンスコースを設定し、図書館の利用案内教材を掲載した。電子ブックやデータベース等、電子資料の拡充を図った。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
940	川崎医療福祉大学	①全面利用可能		①②③		電子リソース（情報検索サービス、電子書籍等）のリモートアクセスでの提供の推進	①全面実施			①②③⑥	
941	山陽学園大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
942	倉敷芸術科学大学	①全面利用可能		①②③		利用時間の短縮、座席の利用制限を実施しており、学生の学修・研究に支障をきたさず制限ではない。	①全面実施			①②③⑥	
943	岡山学院大学	①全面利用可能		①③⑦	在学生及び教職員のみ利用とし、一般の利用を制限	座席の距離間隔の確保から座席数を減らしているが、通常時の利用者数から考えても十分である。	①全面実施			①②④⑤	
944	中国学園大学	①全面利用可能		①②⑦	学外利用者の利用（近隣住民等）を制限している		①全面実施			①②③④⑤⑥	
945	環太平洋大学	①全面利用可能		①②③⑤		電子貸し出しの助行	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	
946	岡山医療専門学校	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②	
947	美作大学	②一部利用制限		①③⑦	学園関係者以外利用を制限している。（2021.10.1現在）	特になし。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
948	倉敷市立短期大学	②一部利用制限		①③			④その他		顧問の方針による	①③④⑥	
949	就実短期大学	①全面利用可能		①②③⑤		貸出冊数の拡大、返却期限日の延長、複写物や図書の郵送、ポータルサイトやキャンパスメールを利用した文献複写依頼、貸借依頼、参考調査、図書購入リクエストの受付を実施。また、契約しているデータベースについては、契約業者と協議し、学外から利用できるよう、ID/PWの発行やポータルサイト内でのURL設定等を行った。電子ブックについても、同様に、学外から利用できるよう臨時ID/PWの発行を依頼した。これらの内容が学生に伝わるよう、e-learningシステムWebClassに図書館ガイダンスコースを設定し、図書館の利用案内教材を掲載した。電子ブックやデータベース等、電子資料の拡充を図った。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
950	岡山短期大学	①全面利用可能		①③⑦	在学生及び教職員のみ利用とし、一般の利用を制限	座席の距離間隔の確保から座席数を減らしているが、通常時の利用者数から考えても十分である。	①全面実施			①②④⑤	
951	作陽短期大学	②一部利用制限		①②③		特になし	②一部制限	感染対策の機能が困難なため。		①②④⑥	
952	中国短期大学	①全面利用可能		①②⑦	学外利用者の利用（近隣住民等）を制限している		①全面実施			①②③④⑤⑥	
953	美作大学短期大学部	②一部利用制限		①③⑦	学園関係者以外利用を制限している。（2021.10.7現在）	特になし。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
954	山陽学園短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
955	川崎医療短期大学	①全面利用可能		①②③		特になし	④その他		感染拡大防止対策を記した活動欄により、大学が許可した場合に限り活動を認めている。	①②③④⑥	
956	津山工業高等専門学校	①全面利用可能	特になし。	①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
957	広島大学	②一部利用制限	なし	①③		・図書館講習会について、動画や資料を図書館WEBページで公開し、いつでも確認できるようにしている。・オンラインによる個別相談（レファレンス）に対応できるようにした。・電子書籍のタイトル数を増加させている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
958	県立広島大学	②一部利用制限		①②③⑤		宅配による図書資料の貸出返却を大学負担にて実施するほか、本学所蔵の文庫・複写については複写料・郵送料ともに大学負担で実施している。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
959 広島市立大学	①全面利用可能					①全面実施				①②③④⑤⑥
960 福山市立大学	②一部利用制限		①③⑦	(グループ学習室のみ) 利用人数の制限や、利用時間の短縮等を講じる。	・データベースの学内アクセスを実施	・電子書籍の導入	④その他	本学においては体育会に属する運動部はなく、全てサークルの位置付けとなっております。サークル活動については、感染対策を講じつつ、全ての活動を実施する予定です。		①②③④⑥⑦
961 観音大学	①全面利用可能		①③			①全面実施				①②③
962 日本赤十字広島看護大学	②一部利用制限	該当なし	①②③	該当なし	県外在住の大学院生を対象に、貸出図書や文献複製(館内資料、ILLで取り寄せた資料)の送付(送料自己負担)を行っています。	④その他	該当なし	活動を希望する場合、運動部に感染対策を記載した活動許可申請書の提出を義務付け、内容を確認したうえで大学が許可します。	①②③④⑤⑥⑧	学生支援として、メンタルサポートに関する健康教育講演会を開催予定です。
963 エリザベト音楽大学	①全面利用可能		①③			④その他		学内に運動系のサークルが存在していません。		①②③⑤⑥
964 広島経済大学	②一部利用制限		①②③		①学部生の貸出し冊数を倍増(5冊から10冊)した。②今年度から本学図書館が契約しているデータベースについて、教員及び学生が学外アクセスできるサービス(Web接続サービス)を開始した。③前期オンライン授業期間中、遠隔地の学生を対象とした貸出し図書の郵送サービスを行った。	④その他		活動の再開を承認している。その為、各部やサークル等は活動を再開するため、体調管理記録(直近2週間の健康観察票と行動記録表)と感染対策(非接触体温計、消毒セット等の設置や「活動時の予防対策の指針」)を学生課に提示し可否判断を仰ぐ。承認されれば活動を再開する。活動再開後、各部・サークル等は、部員の体調管理には注意し、体調不良者には参加させないなどの対応をはかる。原則、指導教(顧問等)は帯同するが、帯同出来ない場合、当番の間は帯同を意図し学生との連絡は密に取り、状態を共有する。		①②③④⑤⑥⑦
965 広島工業大学	②一部利用制限		①③		座席数を制限しているが、閲覧に必要な席数は十分確保しているため、代替案は講じていない。	①全面実施				①②③④⑥⑦
966 広島修道大学	②一部利用制限		①③⑦	(1) 自動貸出機の利用推奨 (2) システムによる入退館管理 (3) 抗菌・抗ウイルス剤を使用した閲覧机やカウンター等館内施設の清掃・消毒	(1) 電子書籍の試読サービス提供 (2) 電子書籍の購入 (3) 図書館ホームページにバナーを設置し、電子資料(データベース、電子ジャーナル、電子書籍)の学外からのアクセス方法を広報	①全面実施				①②③⑤⑥⑦
967 広島女学院大学	②一部利用制限		①③⑦	パソコン周辺に消毒液とコトンを置き、学生にパソコン使用後に各自消毒することを依頼している。また職員は、毎日退出前に多数の人が触れた場所を消毒している。	①初年次セミナー図書館案内の動画作成・配信 ②電子書籍のトライアルを利用して、10月4日から3か月間、和書・洋書の電子書籍の試読サービスを実施している。(リモートアクセスも可) ③データベースのリモートアクセスを実施	①全面実施				①②③④⑥
968 広島国際学院大学	②一部利用制限					①全面実施				①②③⑥
969 広島文教大学	②一部利用制限	キャンパス内施設利用の時間的な制限をしている。通常の時間より早くキャンパスを閉めている。	②③		本の貸し出し期限の延長、学外でも利用できるデータベース、電子ジャーナルの案内	④その他		活動状況把握のため届出制とする。		①②③⑥
970 安田女子大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①②③⑤⑥

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
971	福山大学	①全面利用可能		①②③⑦	・座席利用票により、座席使用者、使用日時の把握 ・座席の消毒（1時間に1回館内巡回）	・図書館送貸出返却サービス（送料は大学負担）・返却期限延長措置 ・図書館ガイドダンス動画作成、配帳 ・データベース・電子ジャーナル・電子書籍について、学外からの利用（リモートアクセス） ・可能措置（令和2年度学術認証フェデレーション参加） ・電子書籍導入拡大 ・オンラインでのイベント等の実施（読書会、ブックハンティング、データベース利用講習会）	④その他		すべての運動部に対して「サークルの感染対策」「サークル活動再開願」これらの2点を提出してもらい承認を得たら実施する。	①②③④⑤⑥⑦⑧	新入生健康調査を実施して、心理・精神的健康状態について把握に努めている。「障害のある学生対応委員会」を設置して、支援を希望する学生からの要望に対応している。教養ゼミにおいて、相談室の使い方を詳細に知ってもらうためのガイドダンスを行っている。
972	比治山大学	①全面利用可能		①②③		電子書籍の購入や本来、学内での利用のみであった電子書籍・データベースを学外からも利用できるようにした。	①全面実施			①②③④⑥	
973	福山平成大学	②一部利用制限		①②③⑤		図書館に蔵書している資料を含んだ横断検索システムや学外から利用できるデータベースの導入	①全面実施			①②⑥	
974	広島文化学園大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③⑥	
975	広島国際大学	①全面利用可能		①②③		データベース・電子図書・電子ジャーナルにおけるリモートアクセス、字読の利用促進。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦⑧	学生相談室カウンセラーより、学生・教職員宛にメンタルヘルスケアについて、「学生相談室からのお知らせ」レター文書を発信している。
976	広島都市学園大学	①全面利用可能		①②⑤			①全面実施			①②⑥	
977	山陽女子短期大学	①全面利用可能		①			④その他		本学には、サークル活動以上の運動部活動はなく、調査対象である体育会に属するものはない	①②③④⑤⑥	
978	比治山大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		電子書籍の購入や本来、学内での利用のみであった電子書籍・データベースを学外からも利用できるようにした。	①全面実施			①②③④⑥	
979	広島文化学園短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
980	安田女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤⑥	
981	呉工業高等専門学校	②一部利用制限		③⑦	・出入口に手指消毒用アルコール及び拭拭用除菌シートを設置 ・受付カウンターにビニールカーテンを設置 ・受付カウンター横に除菌ボックスを設置し、図書等の返却時に除菌後配架	座席を半減しているが、特に混雑はないため、これに代わる取組はしていない。	①全面実施			①②③④⑤	
982	広島商船高等専門学校	②一部利用制限		⑦	授業での使用は1クラスに制限している。放課後は特に制限を設けていない。 アルコール等の消毒用品を常備している。	学生数が600名程度であり、コンピューターの使用及び自習するための場所が他にも多数あるため、特別の取組は実施していない。	①全面実施			①②③④⑥	
983	尾道市立大学	②一部利用制限		①③			④その他		事前に活動許可申請をした部活動のみ活動を許可している。	①②③④⑤⑥	
984	山口大学	①全面利用可能		①②③		電子ブックの充実、リモートアクセス（学外からの電子資料へのアクセス）サービスの利用促進。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
985	下関市立大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑤⑥	
986	山口県立大学	②一部利用制限		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
987	山陽小野田市立山口東京理科大学	②一部利用制限		①③		③について座席の利用制限のみで対応のため学修・研究の継続に影響はない	①全面実施			①②③④⑤⑥	
988	梅光学院大学	①全面利用可能		①②			④その他		全面的に対面での活動を禁止しているが、オンラインでの活動を許可している。オンラインで活動する場合は活動計画書の提出を義務付けている。	①②③④⑥	
989	徳山大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②④⑤⑥	
990	東亜大学	②一部利用制限		①②③		学生から電話、メール等の図書貸出申請があった場合は、郵送等で貸出を行っている。ただし、記録が残る方法で送付し、送料については学生負担としている。	①全面実施			①②③⑤⑥	
991	至誠館大学	①全面利用可能		③⑤			①全面実施			①④⑥	
992	宇部フロンティア大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③⑥	

No.	学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
993	山口学芸大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
994	宇都フロンティア大学短期大学部	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③⑥	
995	下関短期大学	①全面利用可能		①			④その他		本学には運動部活動がない	①②⑥	
996	山口短期大学	①全面利用可能		②			①全面実施			①②③④⑤⑥	
997	山口芸術短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
998	岩国短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③	
999	徳山工業高等専門学校	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1000	宇都工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③⑦	・消毒液や除菌シートを配置し、利用者によるクリーニングを可能にしている。・利用者が使用できる除菌BOXを設置している。・利用者把握のため、使用済に記入させている。	本校図書館においては、感染症対策として、座席等の間隔を確保するための座席数を制限し利用人数を制限しているが、学生への取替貸出は通常どおり行っている。なお、従来の同一フロアに学修用スペースを設けており、学生は適宜利用することができるようになっているため、座席制限に伴う代替措置は取っていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1001	大島商船高等専門学校	①全面利用可能	特になし	①③		本校図書館では、引き続き、座席の利用制限を実施するが、制限により利用ができなくなる学生は想定されないため、特に取り組みを行う予定はない。	①全面実施			①②③④⑥	
1002	徳島大学	①全面利用可能		①③		自宅等から利用できる電子リソースの拡充と利用範囲の情報提供。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1003	鳴門教育大学	①全面利用可能		①③		座席の利用制限（約半分）を行っていますが、利用について、利用者には不都合等、特に影響は出ていません。新型コロナウイルス感染症により、閉館した場合、以下の取組を行っています。① 貸出し中の図書については、閉館日数分の貸出期間延長を実施② 郵送貸出を実施。自宅等外から図書館ホームページより郵送貸出の申込を行う。（この場合の郵送料は、往は大学、復は依頼者）	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1004	四国大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1005	四国大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1006	徳島工業短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①②③⑤⑥	
1007	阿南工業高等専門学校	①全面利用可能		①③		座席制限により影響を受けた学生へは、図書館棟内の教室等を開放し、学修・研究を継続出来るようにしている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1008	香川大学	①全面利用可能		①②③⑦	入館者の入館時の体温測定、マスク着用、アルコールによる手指消毒の徹底。毎日閉館時に閲覧室の机、ドアノブ、手すり、エレベーターの押ボタン等の消毒を実施。	電子ブックの整備、ガイダンス等利用方法に関するWebコンテンツの作成。毎朝、閉館前には机、椅子などが「触れる部分」のアルコール消毒を実施。	④その他		所定の活動計画書を提出させ、審査の上、週2回、1回2時間までの活動を認めることがある。なお、練習試合や学生連盟主催の大会、イベント等対外的な活動については、原則禁止とする。ただし、連盟等が主催する県内外の公式な大会等への参加については、感染対策を徹底するなど一定条件のもとで許可を与える。	①②③④⑤⑥	
1009	香川県立保健医療大学	①全面利用可能		①②③			④その他		運動部活動がない。	①②⑥	
1010	四国学院大学	②一部利用制限		②			①全面実施			①②⑤	
1011	高松大学	①全面利用可能		①②③		要望があれば、文献複写物や貸出図書の郵送対応としている。	①全面実施			①②③⑤⑥	
1012	香川短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
1013	高松短期大学	①全面利用可能		①②③		要望があれば、文献複写物や貸出図書の郵送対応としている。	①全面実施			①②③⑤⑥	
1014	せとら観光専門職短期大学	①全面利用可能		①			④その他		運動部はありません。	②	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1015 香川高等専門学校	①全面利用可能		①③		高松キャンパス図書館では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対策として、館内座席の1/2を着席不可として制限しているが、館内滞留者数、座席利用者数を十分に上回っており、学生の学修・研究の継続に支障はない。特に試験期間中等、利用希望者の増加が見込まれる時期には、臨時に机を増設するなどして対応し、学生の学修の拠点でもある図書館の役割を果たしている。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	全学生対象の相談室アンケートを年2回実施。「就学意欲」等が低い学生は学生相談室教員が個別の面談を行う。その際、追加の独自アンケートを実施し、必要があればスクールカウンセラーとの面談を行っている。
1016 愛媛大学	②一部利用制限		①②③			④その他		禁止ではなく、一部活動に制限を設けている（特に合宿、遠征）。学生が感染防御対策を十分検討し、大学が活動内容、感染防御対策を確認した上で活動を許可している。	①②③④⑤⑥	
1017 愛媛県立医療技術大学	①全面利用可能		①③			④その他		本学は、サークル活動はあるが、運動部活動は実施していない。	①②③④⑤⑥	
1018 松山大学	①全面利用可能	特になし	①③	該当せず	座席の利用制限以外は特に利用制限をしておらず今のところは来館した学生の座席も不足していないため代わりとなる取組みは行っていない。	①全面実施	該当せず	該当せず	①②③④⑤⑥⑦	特になし
1019 聖カタリナ大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②	
1020 松山東雲女子大学	②一部利用制限		①③		③について、間隔を空けて利用するよう案内しているが、十分スペースに余裕があるため、利用者の制限とはなっていない。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
1021 今治明德短期大学	①全面利用可能		③		特になし	④その他		運動部がない	①③⑥	
1022 聖カタリナ大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②	
1023 松山東雲短期大学	②一部利用制限		①③		③について、間隔を空けて利用するよう案内しているが、十分スペースに余裕があるため、利用者の制限とはなっていない。	①全面実施			①②③⑤⑥⑦	
1024 松山短期大学	②一部利用制限		①③		座席の利用制限以外は特に利用制限をしておらず、今のところ、来館した学生の座席も不足していないため、代わりとなる取組みは行っていない。	①全面実施			①②③⑤⑧	メンタルヘルスに関するセミナー
1025 新居浜工業高等専門学校	②一部利用制限		①③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1026 弓削商船高等専門学校	①全面利用可能		①②③		ブックハンティング（イベント）の代わりに書袋受け付けていないシリーズもののリクエストを募集した。	①全面実施		部活動での対外試合の後は、原則として登校日を含めて4日間は、個人での活動のみにとどめる。ただし、感染防止対策を徹底した上で、顧問の監督や責任のもと個人練習やトレーニングは認める。それ以降については段階的に移行をしていく。クラブ後2週間は健康チェックを徹底して、各顧問が把握しておくようにする。	①②③④⑤⑥⑧	5-1.④の取り組みについては、学生だけでなく全ての保護者に行なっている。全教職員を対象に、学生のメンタルヘルスケアに関連する研修を行なっている。学生のメンタルヘルスに関するトピックやF-1.①についての情報を、学生相談室等より定期的に発信している。メンタルヘルスに関する情報や学外の相談先などを、学校ホームページや学内掲示板等において、紹介している。
1027 高知大学	②一部利用制限		①②③		学外から利用できる電子書籍のリスト及びアクセス方法並びに電子ジャーナル・データベース等への学外からのアクセス方法等の周知を図っている。	①全面実施			①②③④⑥	
1028 高知県立大学	②一部利用制限		①③⑦	グループ学習室の利用者数制限	特になし。	④その他		大学の許可を得ている団体で、かつ、大学で定める制限範囲内の活動を認める予定。	①②③④⑥	
1029 高知工科大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1030 高知リハビリテーション専門学校	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③⑤	
1031 高知学園大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②④⑤⑥	
1032 高知学園短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②④⑤⑥	
1033 高知工業高等専門学校	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1034 九州工業大学	①全面利用可能	特になし	①③		電子資料やWEBサービスの充実によって、来館せずに利用できるサービスを増やし学修・研究支援を行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1035 福岡教育大学	②一部利用制限		①②③		図書館の制限に伴う代替措置は講じていない	④その他		活動を希望する部活については、活動計画書を作成・提出させ、感染防止策についての点検後、許可制にて活動を実施している。	①②③④⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1036 九州大学	②一部利用制限		①②③⑦	・緊急事態宣言発令時は、大学の方針に合わせて、開館時間短縮を行ったり、24時間無人開館を停止する。 ・改修工事実施中のため、仮設運用となっており、もともと利用に制限が生じている部分がある。	・新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない学生に対しては、希望に応じて来賓負担で図書や複写物を自宅へ送付するなど柔軟に対応。 ・閉館時間中に資料や文庫等写物を受け取れる「時間外ロッカー」を図書館玄関に設置した。	②一部制限	運動部にとまらず、全ての課外活動において、感染拡大防止への最大限の配慮（感染防止対策ガイドラインの遵守等）を各学生（団体）に求め、活動計画を提出させた上で、課外活動を許可することとしている。なお、今後、課外活動部員から感染が判明した場合には、一旦全ての活動を停止させ、健康状況を確認の上、問題がない活動から再開することとしている。また、感染状況が悪化した場合には、状況に応じて活動を更に制限することも想定している。	①②③④⑤⑥⑦		
1037 北九州市立大学	②一部利用制限		①②③		大学図書館のホームページ上で、図書館員が作成したオンデマンド動画等による図書館利用に関する情報提供を行った。具体的には、「情報検索ガイド」や「図書館ツアー」などを掲載しており、これらの動画は逐次更新を行っている。	①全面実施			①②③④⑥	
1038 九州歯科大学	①全面利用可能		①③			②一部制限	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、リスクが高いと考えられる活動（マスクなしで密接し、身体接触を伴う練習等）は原則禁止としているため。		①②③④	
1039 福岡女子大学	②一部利用制限	本学にはキャンパスは1つしかない。	①③		感染拡大防止の観点から、閲覧席数の削減や、グループ学習室等（窓がなく換気が難しいため）の利用制限を行っている。現在のところコロナ禍の影響により学生の利用が滞っているため、閲覧席数が不足するような状況になっていないが、今後閲覧席数が不足するような場合には、閲覧席数を増やす等の対策を講じる予定にしている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1040 福岡県立大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
1041 福岡工業大学	①全面利用可能		①②③⑦	オリエンテーションなど、館内イベントを少人数グループに分けて実施	・ 図書館の利用について、来館できなくても閲覧を可能にするため、電子書籍の予算を増やし、多くの電子書籍（現在、約1,000点）を整備し、今後も拡充予定。 ・ 学術データベース、電子ジャーナルについて、学外利用を可能とする認証システム及びVPN接続を整備し、利便性を向上。 ・ 図書館マイページ機能にオンライン・リファレンスサービスを実装し、提供。 ・ オンライン授業やオンライン面接試験に対応すべく、館内に個別学習ボックスを4式設置し、新たな図書館活用環境を提供。	①全面実施		①②③④⑤⑥		
1042 九州共立大学	①全面利用可能		②③			①全面実施			②⑥	
1043 九州女子大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
1044 九州国際大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥	
1045 福岡歯科大学	②一部利用制限		①			③全面制限	感染対策が徹底できないため		①②③④	
1046 九州産業大学	①全面利用可能	なし	①②③⑤	なし	①学外（自宅）から利用できるデジタル資料・コンテンツの情報収集を随時学内周知、②図書館資料貸出・文献複写物の郵送サービス、資料の貸出予約サービス	①全面実施	なし	なし	①②③④⑥⑧	④について、健康診断後のフォローアップを電話にて実施。必要な学生に入室を促す。
1047 久留米大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑥	
1048 西南学院大学	①全面利用可能	なし	①②③		・ 資料郵送貸出 ・ 動画コンテンツの提供 ・ オンライン授業に関する著作権や資料利用についてのサポート ・ 電子資料の拡充と学外アクセスの提供 ・ 図書館利用説明会等のオンラインでの実施 ・ メール等での学修相談	④その他		公式戦に出場する運動部のみ、活動を許可する。（許可制）	①②③④⑥	なし
1049 第一薬科大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②	
1050 中工学園大学	①全面利用可能		①②③		・ 電子図書への閲覧拡大、推奨 ・ 郵送による図書貸出、返却 ・ 普通教室を利用したラーニングスペース（自習室）の増設	①全面実施			①②③④	
1051 西日本工業大学	①全面利用可能	特になし。	①			①全面実施			①②③④⑥	
1052 福岡大学	①全面利用可能	なし	①③		10月1日からは、図書館ウェブサイトの図書館活用ガイドのページに、館内ツアー（動画）をアップし、図書館の基本的な使い方を紹介している。また、リモートアクセスにより自宅等から利用できる電子資料の充実にも努め、図書館資料の遠隔利用環境の拡充を図っている。	①全面実施			①②③④⑤	
1053 日本経済大学	①全面利用可能		①②		図書館HPの充実（電子ジャーナル、電子書籍、データベース等）	④その他		学生が主催する大会（公式戦）が予定されており、部活ごとに作成した「感染対策」「活動計画」及び「新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル」を提出し、許可が下りた場合にのみ活動を認めています。なお、活動期間中には体温測定など健康観察を常に行うよう求めています。	①②③④⑤⑥⑦	
1054 久留米工業大学	②一部利用制限		①②③⑤		機関リポジトリの充実を図っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1055 産業医科大学	①全面利用可能		①②③		貸出希望者には館外で受け渡すという「貸出サービス」を行う。また、返却に関しては、開館中も館外に置いているブックポストを開け、図書館に入ることなく返却が行えるようにする。	①全面実施			①②③④⑥⑧	⑧指導教員制度

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1056 筑紫女学院大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1057 福岡女学院大学	①全面利用可能		①③		①来館が難しい学生に対し、無料郵送サービス（貸出・文献複写物提供）を行う。②予約取寄せサービス（貸出希望図書や文献の複写代行・取寄せ）を行う。③電子リソース（電子ブック・ジャーナル・データベース）の充実。④メール・電話による個別リファレンスサービス。⑤通商・ハイブリッドでの図書館ガイダンスを実施。	①全面実施			①②③⑤⑥	
1058 西南女学院大学	②一部利用制限	面接授業がある日であれば自由に利用できるが、それ以外の日は原則として入構は禁止。	①③		学生の大学構内への立入りが全面禁止となっている時は郵送貸出を行う。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1059 九州情報大学	①全面利用可能		①②③⑤		図書貸出の際、返却期間の猶予を設けるなど学生が課題や研究に取り組み場合の事情や状況に配慮しながら、個別の対応を行っている。	①全面実施			①③⑥⑦	
1060 九州栄養福祉大学	②一部利用制限		①③		現在、座席利用の制限に対して支援は出ていないが、必要に応じて別途閲覧室の確保を予定している。	②一部制限	学生の健康面での安心・安全を最優先に考え、感染防止対策を本学の基準と照らし合わせて承認されたサークルのみ活動を許可しているため。		①②③④⑥⑦	
1061 日本赤十字九州国際看護大学	②一部利用制限		①②③⑤⑦	その他、以下の対策を講じている。 ・利用者へのマスク着用義務、入館時の手指消毒、カウンターでの検温。 ・使用後の座席、パソコン、マウスの除菌シートによる清掃。 ・返却された資料の除菌シートによる清掃。	・WEB図書館ツアー、利用案内の動画のほか、学外からも利用できる電子コンテンツのマニュアル等をポータルに公開して周知している。 ・初年次教育支援として、オンデマンド（Moodle配信）による文献検索、参考文献の書き方等の動画を配信。 ・学生の理解度を確認するため、学生が動画を視聴した後、問題を解く内容とし、回答についてはMoodle内でフィードバックをした。その他、文献検索ガイダンスにもオンデマンドにて対応した。 ・卒業研究支援として、シート形式によるメールでの支援を実施しており、卒業研究提出の1週間前まで受け付けている。 ・図書及び文献複写物の郵送サービスを実施している（送料は利用者負担）。	④その他	本学では、「運動部活動」に該当する活動はない。なお、サークル活動について、本学では「新型コロナウイルス感染症防止のための行動指針」を定め、緊急事態宣言等の判断基準に基づき感染対策行動の段階（レベル）を決定しており、「段階（レベル）0」になれば、すべての学生の課外活動を実施することとしている。	①②③④⑤⑥		
1062 聖マリア学院大学	②一部利用制限		①②③④		一部の図書館資料を学外からアクセス可能にするなどオンラインサービスを行っている。	④その他	部活再開に向けては引き続き検討中であるが、現時点においては①～③の選定が難しい。		①②③④⑤⑥⑧	必要に応じ受診を促し、受診先の病院と連携し、学生生活をサポートしている。
1063 福岡女学院看護大学	②一部利用制限		①②③		電子書籍の整備を進め、学外からの閲覧を可能とする。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑧	教員間で情報交換し、会議で報告している。
1064 保健医療経営大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②④⑥	
1065 純真学園大学	②一部利用制限		①			④その他		「サークル活動は疎く」とあるため、該当なし。	①②③④⑥	
1066 福岡看護大学	①全面利用可能	別キャンパス無し	①②③		2021年度前期に電子書籍の追加購入やオンラインデータベースの新規契約など、余裕を伴わずに利用できる資料環境を整え	③全面制限	感染拡大状況を臨み検討中		②⑥	
1067 福岡国際医療福祉大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④	
1068 折尾愛真短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①③	
1069 九州女子短期大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
1070 西南女学院大学短期大学部	②一部利用制限	面接授業がある日であれば自由に利用できるが、それ以外の日は原則として入構は禁止。	①③		学生の大学構内への立入りが全面禁止となっている時は郵送貸出を行う。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1071 東筑紫短期大学	②一部利用制限		①③		現在、座席利用の制限に対して支援は出ていないが、必要に応じて別途閲覧室の確保を予定している。	②一部制限	学生の健康面での安心・安全を最優先に考え、感染防止対策を本学の基準と照らし合わせて承認されたサークルのみ活動を許可しているため。		①②③④⑥⑦	
1072 福岡女子短期大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①③⑥	
1073 近畿大学九州短期大学	①全面利用可能	特になし	①②③		通信教育のスクーリング実施日であれば、土日・祝日でも通信課程の学生も利用できる。	①全面実施			①②③⑥⑦	
1074 久留米信愛短期大学	①全面利用可能		③		座席の利用制限のみなので、特段の取り組みは講じていない。	①全面実施			①②④⑤⑥	
1075 香蘭女子短期大学	①全面利用可能	特に該当なし。	①⑦	テーブル、パソコン、ロッカー等の消毒を行っている。		①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	
1076 純真短期大学	①全面利用可能		①			④その他		該当なし	①②③④⑥	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1077 精華女子短期大学	①全面利用可能		①②③		本学では座席数を半分に減らしているが、コロナ以前から満席になることはまれで半分ほどでも十分対応できたため、この方法を当面継続する予定です。	①全面実施			①②④⑥	
1078 中村学園大学短期大学部	①全面利用可能		①②③		・電子図書への閲覧拡大、複製・郵送による図書貸出、返却 ・普通教室を利用したラーニングスペース(自習室)の増設	①全面実施			①②③④	
1079 西日本短期大学	②一部利用制限		①③		座席の利用制限を課す代わりに申し出があれば貸出期限を延長したり、購入希望図書を積極的に購入するなど学生の学修意欲の低下を抑える取り組みを行っている。	④その他		感染対策を記載した『顔出』を提出することを条件に活動を許可している。	①②③④⑥	
1080 福岡工業大学短期大学部	①全面利用可能		①②③⑦	オリエンテーションなど館内イベントを少人数グループに分けて実施		①全面実施			①②③④⑤⑥	
1081 福岡学院大学短期大学部	①全面利用可能		①③		①来館が難しい学生に対し、無料郵送サービス(貸出・文献複写物提供)を行う。②予約取置きサービス(貸出希望図書や文庫の取寄せ代行・取寄せ)を行う。③電子リソース(電子ブック・ジャーナル・データベース)の充実。④メール・電話による個別レファレンスサービス⑤遠隔・ハイブリッドでの図書館ガイダンスを実施。	①全面実施			①②③⑤⑥	
1082 九州産業大学造形短期大学部	①全面利用可能	なし	①②③⑤	なし	①学外(自宅)から利用できるデジタル資料・コンテンツの情報収集を随時案内周知。②図書館資料貸出・文献複写物の郵送サービス、資料の貸出予約サービス	①全面実施	なし	なし	①②③	なし
1083 九州大谷短期大学	①全面利用可能		①			④その他		部活動の設置は無し	①②③⑥	
1084 福岡こども短期大学	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②	
1085 福岡医療短期大学	①全面利用可能		①③		図書館の代わりに学修場所として、学生ホールやセミナー室など他の部屋での分散利用を促している。	③④全面制限		感染対策のため	①②③④⑥	
1086 久留米工業高等専門学校	②一部利用制限		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1087 有明工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		大きな利用制限はしていないため、特に代替の取組は行っていない。圖書の返却は非接触のブックポストを利用できるようにしている。	①全面実施			①②③④⑥	
1088 北九州工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		特になし	①全面実施			①②③④⑤	
1089 佐賀大学	①全面利用可能		①②③		図書館に来館できない学生を想定し、新たに電子図書館(電子書籍)サービスを導入した。大学外から利用できない学術データベースの一部において、学外からも利用ができるよう変更を行った。	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	毎号テーマを決めて「学生支援室だより」をメール配信しており、現在、第19号まで配信済みである。
1090 西九州大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②④⑤	
1091 佐賀女子短期大学	①全面利用可能		①②③⑦	地域開放の停止、マスク着用、手指消毒		①全面実施			①②③④⑤⑥	
1092 西九州大学短期大学部	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑥⑦	
1093 九州龍谷短期大学	①全面利用可能		①			④その他		本学に「運動部活動」はありません	①②	
1094 長崎大学	②一部利用制限		①③⑦	図書館内の一部の施設利用に関して、利用人数制限及び申請制を用いている。	・キャンパス外(自宅等)からでも利用できる電子ブックの購入を増やし、また、学生から電子ブックの図書購入リクエストも受け付けるようにしている。・貸出図書の見直し(貸出停止)を停止。・キャンパス外から利用できる電子ジャーナル等の利用方法について、改めて周知を行っている。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1095 長崎県立大学	②一部利用制限	同じ取り扱い	①②③⑤			①全面実施			①②③⑥	
1096 長崎総合科学大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②	
1097 活水女子大学	①全面利用可能		①③		座席の開引きを行っているが、代替りの取り組みは行っていない。	①全面実施			①②③④⑦	
1098 長崎純心大学	①全面利用可能		①③		図書館ホームページ上に問い合わせフォームを設け、来館せずに資料の問い合わせ等に対応できるようにした。また、図書の見出期間を延長した。	①全面実施			①②	
1099 長崎国際大学	①全面利用可能		①③	現在、図書館でのサービス提供は従来通り実施しており、場所の提供(座席/LC利用)の制限のみを行っている状況である。学修・研究の継続の観点として、大学に来られない最終学年の学生については、所蔵資料及び文献複写の郵送サービスは必要に応じて対応している。自宅での遠隔授業受講学生に対し、電子ブック、データベース等の学外アクセス可能なものは利用できるよう継続して対応している。また、遠隔授業の受講者は、発言をしないことを条件に館内閲覧席の利用は容認している。		①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	本学では「学生生活サポート室」を設置しており、平日に約2時間開室している。事前 に学生支援の研修を受けた各学部学科の教員と大学院生が、学修面や対人関係などの大学生生活全般 においての相談にのっている。
1100 長崎外国語大学	①全面利用可能		①③		座席の利用制限(間隔の確保)のみであり現状代替策の必要はないものとする	④その他		いわゆる「体育倉」が存在しない	①②③⑤⑦⑧	学生支援委員会とカウンセラーとの間でカウンセリング報告会を実施し、相談内容の共有とアドバイザーへの情報提供等を行い、指導に役立っている
1101 横西学院大学	①全面利用可能		①⑦			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1102 長崎女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①	
1103 長崎短期大学	①全面利用可能		①②			①全面実施			①③⑥	
1104 佐世保工業高等専門学校	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③④⑤⑥⑦	支援を必要としている学生に対して関係教職員、スクールソーシャルワーカー、カウンセラー等によるケース会議を開催し、情報共有並びに今後の対応を検討している。

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1105 崇城大学	②一部利用制限		①②③		学外から「学認」を使用し、電子コンテンツ（電子ジャーナル、データベース、電子ブック）を利用可能にした。電子ブックの購入を優先し、電子ブックの試験を数回実施し、利用促進に努めた。	①全面実施				①②③④⑥⑦
1106 熊本大学	②一部利用制限		①②③		電子ブック、電子ジャーナル、オンラインデータベースの拡充、オンライン（Zoom）による資料探索支援及び学修相談サービスの実施。	④その他		顧問教員の責任の下、感染対策が十分取られると判断される公式大会については、審査の上、参加を許可している。また、公式大会参加に向けての練習についても、公式大会参加の審査と併せて審査を行った上で活動を許可している。		①②③④⑤⑥⑦
1107 熊本県立大学	①全面利用可能		①②③			④その他		学内の活動及び公式戦以外は禁止		①②③⑥
1108 熊本学園大学	①全面利用可能		①②③		・他建物内にWi-Fi、PCの利用ができる場所がある。・自習するスペースが他建物にいくつも用意してある。・PCの貸し出しを行っている。	①全面実施				①②③④⑥
1109 尚絅大学	①全面利用可能	特になし	①③		座席の数を減らしてありますが、コロナ前より来館者も減っており、特に影響がないため制限の代わりに取り組む必要性が現時点ではありません。	④その他		本学に運動部はありません。		①②③④⑤⑥⑦
1110 九州ルーテル学院大学	②一部利用制限		①②③			④その他		本学の部活動はサークル活動であるため		①②④⑤⑥
1111 九州看護福祉大学	①全面利用可能		①③		電子ジャーナルや電子ブックなど電子資料の活用に努めている。	①全面実施				①②③④
1112 平成音楽大学	①全面利用可能		①⑦		小規模大学なので利用人数や時間の制限がなくとも利用可能である。手指の消毒、マスク着用は徹底している。	④その他		該当する運動部がない		①②③④⑤⑥
1113 熊本保健科学大学	②一部利用制限		①②③		・貸出図書を送付サービス ・文献複写の送付サービス ・レファレンスの電話、メール受付および回答サービス ・電子ブックやデータベース等の電子リソースの充実	②一部制限	全学的に病院施設等へ向いての学外実習があるため、感染防止の観点から一部の活動において制限せざるを得ない。			①②③④⑤⑥⑦
1114 尚絅大学短期大学部	①全面利用可能	特になし	①③		座席の数を減らしてありますが、コロナ前より来館者も減っており、特に影響がないため制限の代わりに取り組む必要性が現時点ではありません。	④その他		本学に運動部はありません		①②③④⑤⑥⑦
1115 熊本高等専門学校	①全面利用可能	なし	①②③⑦	利用者受付簿に入館・退館時刻、体温の記録。入館時の手指消毒と利用後の机のアルコール拭き上げ。	座席制限については、密にならないようにするために隣り合わせや隣かい合わせにならない席に座るよう誘導するものであり、代わりになる取組は検討していない。また、通常であれば開館時間が8:30-19:30であるところを昨年度から感染拡大防止のため、開館時間短縮で17時閉館としていたが、感染対策を徹底したうえで、後期からは19:30まで開館できるようにし、現状行える範囲での学修の拠点としての役割を果たす取り組みをしている。	①全面実施				①②③④⑤⑥
1116 大分大学	①全面利用可能		①②③		・電子書籍の整備・充実、利用者内動画をホームページに公開、レポート講習会等のオンライン教材をホームページに公開	①全面実施				①②③④⑤⑥⑦
1117 大分県立看護科学大学	①全面利用可能		②		・希望があれば着払いで本の貸出を行っている。・学外からIDでデータベースを利用可能	①全面実施				①②③④
1118 日本文理大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施				①②③④⑤⑥
1119 別府大学	①全面利用可能	特になし	①			①全面実施				②④⑤⑥
1120 立命館アジア太平洋大学	①全面利用可能		①③		十分な座席の間隔（1メートル目安）を確保するため座席の利用制限を行っている。館内だけでなく自宅で読書ができるよう郵送で図書の貸出・返却を行っている。	④その他		本学にはいわゆる体育会系組織されていないが、各種の競技連盟・学生連盟等に登録している複数の運動部活動については、各部における感染対策ガイドラインの作成や、活動前のPCR検査の実施等の感染対策を講じることが条件として、学内外施設での活動を認めている。		①②③④⑤⑥⑧
1121 大分県立芸術文化短期大学	①全面利用可能		①③		とくになし	①全面実施				②③
1122 大分短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①③
1123 東九州短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①②③④⑥⑦
1124 別府清部学園短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施				①②④⑤⑥
1125 別府大学短期大学部	①全面利用可能	特になし	①			①全面実施				②④⑤⑥

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1126 大分工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③		一部利用を制限しているが、夜間開館及び試験期間の日曜日開館も実施するため、図書館利用については大きな支障は生じていない。	①全面実施			①②③④	
1127 宮崎大学	①全面利用可能		①②③⑤		附属図書館は学内外者ともに利用できるが、利用制限に際しては、学内外者、県内外者等に応じて、段階的に対応しており、可能な限り学生の学修・研究への影響が少なくなるよう努めている。	①全面実施			①②③④⑥	
1128 宮崎公立大学	①全面利用可能		①②③		利用できなくなったサービスはないので、代替りの取組はありません。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1129 宮崎県立看護大学	①全面利用可能		③		特になし。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1130 南九州大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①②③⑥	
1131 宮崎産業経営大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④	
1132 宮崎国際大学	②一部利用制限	部活は自粛している。	①②③		特になし	③全面制限	当面は禁止し、次第に解除する予定。		①②③④⑤⑥	
1133 九州保健福祉大学	①全面利用可能	特になし（別キャンパスはない）	①③⑦	宮崎県の警戒レベルに応じて、利用制限を設けるなど対応を講じるため。	学内からのみアクセス権があるデータベース等を学外からも利用可能にした。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1134 南九州短期大学	①全面利用可能		③			①全面実施			①②③⑥	
1135 宮崎学園短期大学	①全面利用可能		①			④その他		現在サークル活動が行われていない。	①③	
1136 都城工業高等専門学校	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑥	
1137 鹿児島大学	②一部利用制限		①③		・図書館への来館を必要とせず自宅等から利用可能な学生用基 本図書や参考図書の電子書籍の充実 ・Zoomを用いたレファレンスサービス	①全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	・極みや不安を抱える学生の把握後の取組については、面談の上、修業可能と判断した場合は、修学奨励を認めるために授業担当教員等に支援申請書を提出し、配慮をお願いする。その後、2週間程度を目途に学生から聞き取り調査を行い、支援状況の確認を行う。・障害学生支援センター専任教員による面談を行ったり、学内相談機関へのリファー、学外関係機関の情報提供を行っている。
1138 鹿児島体育大学	①全面利用可能	該当なし	①③		特になし	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1139 鹿児島国際大学	①全面利用可能		①②③			①全面実施			①②③④⑤⑥	
1140 第一工科大学	①全面利用可能	特になし。	①③		座席の利用制限のみであり、図書館利用の制限に代わる取組は考えていない。	①全面実施			①②③	
1141 志摩館大学	②一部利用制限		①③		特に講じていない。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1142 鹿児島純心女子大学	①全面利用可能		①③			①全面実施			①②③④⑤	
1143 鹿児島県立短期大学	①全面利用可能	なし	①③		閲覧室の座席数を3割程度減らしたが、それに代わる取組は行っていない。	①全面実施			①②	
1144 鹿児島純心女子短期大学	①全面利用可能		①③		ありません。	①全面実施			①⑥	
1145 鹿児島女子短期大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②④⑥	
1146 第一幼児教育短期大学	①全面利用可能		①②⑦	入館中の座席を指定制として記録を行い、利用者を追跡できるようにしている。		①全面実施			①②④⑥	
1147 鹿児島工業高等専門学校	②一部利用制限	特になし	①②③	特になし	特になし	①全面実施			①②④	

No. 学校名	施設の利用可否	キャンパスごとの差異	図書館の感染対策	その他の内容	代替手段	運動部活動の状況	制限の理由	その他の内容	学生のメンタルケア	その他の内容等
1148 琉球大学	②一部利用制限		①③		電子書籍の利用環境充実や学修教材の電子公開、オンラインセミナーなど、オンラインでの図書館サービスの充実を図り学術資料利用環境の整備・促進について積極的に取り組んでいる。	①全面実施			①②③④⑤⑥	
1149 名桜大学	①全面利用可能		①			①全面実施			①②③⑤	
1150 沖縄県立芸術大学	①全面利用可能		①②③⑦	入館時の検温、手袋着用、入道館記録票の記入	貸出冊数の引き上げを実施している。学部学生・研究生・科目等履修生5冊→10冊、大学院生10冊→15冊	④その他		運動部は存在しない。	①②③⑥	
1151 沖縄県立看護大学	②一部利用制限		①			④その他	部活動なし（サークルのみ）		①②③④⑤	
1152 沖縄科学技術大学院大学	①全面利用可能		⑦	本学の図書館では主に学生が研究に活用できるデジタルと印刷物の資料を提供している。修学スペースとしては、1年目の学生にはキャンパス内の部屋に設置された複数のデスクのうち一台が割り当てられ、2年目には学生が所属する研究ユニットにおいて別のデスクを割り当てられるため、本学学生にとっては学修拠点については「⑦その他」と回答した。		②一部制限	現時点では、それぞれの運動部は沖縄県のガイドラインに従い一部の活動を制限している。		①②③④⑤⑥⑧	メンタルヘルスに関する研修を全学生に受講必須としている。カウンセリングサービスが学内の関係部署と連携し、メンタルヘルスに関するセミナー等を開催している。
1153 沖縄国際大学	①全面利用可能		①②③⑤		新たな電子ブックプラットフォームを導入し、シラバスを電子ブックで公開し、契約しているデータベースを学外よりアクセスし利用できるサービス/オンライン電子ジャーナルの拡充/オンライン・レファレンス/各種オンライン講習会の開催	①全面実施			①③⑥⑦	
1154 沖縄大学	②一部利用制限	なし	①②③		特になし	④その他		原則、活動は禁止としている。ただし特別許可を申請することができる。	①②③	
1155 沖縄キリスト教学院大学	①全面利用可能		①⑦	感染状況に応じて学校の活動基準が定められており、それに連動して対策を講じている。常に換気を行っているが、感染者数の状況に応じて利用制限（入館の制限、時短、座席の利用制限、閲覧のみ等）の対策を取っている。また、10月の時点で学外利用者のみ利用制限はあり、学生・教職員の利用制限はない。	前期は、館内利用制限を付す事もあったため、動画（新入生向け図書館ツアー（利用の案内）、文献セミナー（ゼミ対応）を作成し、授業に支障のないよう対策を取った。	①全面実施			①②③④	
1156 沖縄キリスト教短期大学	①全面利用可能		①⑦	感染状況に応じて学校の活動基準が定められており、それに連動して対策を講じている。常に換気を行っているが、感染者数の状況に応じて利用制限（入館の制限、時短、座席の利用制限、閲覧のみ等）の対策を取っている。また、10月の時点で学外利用者のみ利用制限はあり、学生・教職員の利用制限はない。	前期は、館内利用制限を付す事もあったため、動画（新入生向け図書館ツアー（利用の案内）、文献セミナー（ゼミ対応）を作成し、授業に支障のないよう対策を取った。	①全面実施			①②③④	
1157 沖縄女子短期大学	②一部利用制限		①②			①全面実施			①②④⑤⑥	
1158 沖縄工業高等専門学校	①全面利用可能		①②③⑦	1. 日本図書館協会「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参照の上、必要な対策を行い、「各都道府県感染防止対策徹底宣言ステッカー」の取得を行った。 2. 図書館出入口、及びプラスチック類を触る前に手指消毒用アルコールの配備を行った。 3. 返却図書は24時間以上の滞留時間を伴う。返送配架を行っている。 4. 入館時にマスクの着用を義務づける。 5. 図書貸出しは、自動貸出機を利用し、対人接触を避ける。 6. 図書返却は、ブックポスト・返却機を利用し、対人接触を避ける。 7. 図書館内小部屋（アーカイブ室）は更なる入室人数制限を執り行う。 8. 学内新型コロナウイルス感染症対策に係る助産のレベルに応じ常態・間断・利用可能時間の変更を行う。 9. 図書業務担当者は、使い捨て手袋を利用した業務を行い、手袋は毎日取り替える。 10. 補助が必要な利用者には、常時同行せず、必要に応じて職員を呼び出せるよう、無線プザーボタンを貸与する。 11. 図書館出入口のゲートを後止し、入館時に利用者が列となり密となる状態とならないようにした。 12. 図書館利用者帰来は、毎日消毒を行う。 13. 従来対面貸出であった電話延長ケーブルなどをセルフサービス化した。	1. クラウド受付を利用した郵送貸出サービスを提供し利用者は自宅にいながら図書貸出を受けることができる。 2. 電子図書システム、電子ジャーナルを提供し、順次自宅から利用できるよう返却センターの対応を行っている。 3. 対面式であったブックハンティングを、オンライン方式に変更し、人が集まらない体制を採用している	①全面実施			①②③④⑤⑥	